

Natural for Mainframes

メッセージおよびコード

バージョン 4.2.5

October 2009

This document applies to Natural バージョン 4.2.5 and to all subsequent releases.

Specifications contained herein are subject to change and these changes will be reported in subsequent release notes or new editions.

Copyright © Software AG 1979-2009. All rights reserved.

The name Software AG™, webMethods™, Adabas™, Natural™, ApplinX™, EntireX™ and/or all Software AG product names are either trademarks or registered trademarks of Software AG and/or Software AG USA, Inc. Other company and product names mentioned herein may be trademarks of their respective owners.

目次

1	メッセージおよびコード	1
2	Natural システムエラーメッセージ	3
3	Natural システムエラーメッセージ 0001～0050	9
4	Natural システムエラーメッセージ 0051～0100	23
5	Natural システムエラーメッセージ 0101～0150	37
6	Natural システムエラーメッセージ 0151～0200	49
7	Natural システムエラーメッセージ 0201～0250	61
8	Natural システムエラーメッセージ 0251～0300	71
9	Natural システムエラーメッセージ 0301～0350	85
10	Natural システムエラーメッセージ 0351～0400	99
11	Natural システムエラーメッセージ 0401～0450	111
12	Natural システムエラーメッセージ 0451～0500	123
13	Natural システムエラーメッセージ 0551～0600	131
14	Natural システムエラーメッセージ 0601～0650	133
15	Natural システムエラーメッセージ 0651～0700	151
16	Natural システムエラーメッセージ 0701～0750	163
17	Natural システムエラーメッセージ 0751～0800	175
18	Natural システムエラーメッセージ 0801～0850	185
19	Natural システムエラーメッセージ 0851～0900	197
20	Natural システムエラーメッセージ 0901～0950	207
21	Natural システムエラーメッセージ 0951～1000	219
22	Natural システムエラーメッセージ 1001～1050	231
23	Natural システムエラーメッセージ 1051～1100	237
24	Natural システムエラーメッセージ 1101～1150	241
25	Natural システムエラーメッセージ 1151～1200	253
26	Natural システムエラーメッセージ 1201～1250	263
27	Natural システムエラーメッセージ 1251～1300	269
28	Natural システムエラーメッセージ 1301～1350	271
29	Natural システムエラーメッセージ 1351～1400	279
30	Natural システムエラーメッセージ 1451～1500	281
31	Natural システムエラーメッセージ 1501～1550	283
32	Natural システムエラーメッセージ 1551～1600	293
33	Natural システムエラーメッセージ 1601～1650	305
34	Natural システムエラーメッセージ 1651～1700	309
35	Natural システムエラーメッセージ 1701～1750	313
36	Natural システムエラーメッセージ 1751～1800	317
37	Natural システムエラーメッセージ 1801～1850	319
38	Natural システムエラーメッセージ 1951～2000	323
39	Natural システムエラーメッセージ 2001～2050	325
40	Natural システムエラーメッセージ 2151～2200	327
41	Natural システムエラーメッセージ 2651～2700	329
42	Natural システムエラーメッセージ 2951～3000	331
43	Natural システムエラーメッセージ 3001～3050	333

44 Natural	システムエラーメッセージ	3051~3100	343
45 Natural	システムエラーメッセージ	3101~3150	353
46 Natural	システムエラーメッセージ	3151~3200	359
47 Natural	システムエラーメッセージ	3201~3250	369
48 Natural	システムエラーメッセージ	3251~3300	381
49 Natural	システムエラーメッセージ	3351~3400	389
50 Natural	システムエラーメッセージ	3401~3450	391
51 Natural	システムエラーメッセージ	3451~3500	395
52 Natural	システムエラーメッセージ	3501~3550	397
53 Natural	システムエラーメッセージ	3551~3600	409
54 Natural	システムエラーメッセージ	3601~3650	419
55 Natural	システムエラーメッセージ	3651~3700	423
56 Natural	システムエラーメッセージ	3701~3750	425
57 Natural	システムエラーメッセージ	3751~3800	437
58 Natural	システムエラーメッセージ	3801~3850	453
59 Natural	システムエラーメッセージ	3851~3900	461
60 Natural	システムエラーメッセージ	3901~3950	475
61 Natural	システムエラーメッセージ	3951~4000	485
62 Natural	システムエラーメッセージ	4001~4050	497
63 Natural	システムエラーメッセージ	4051~4100	509
64 Natural	システムエラーメッセージ	4101~4150	519
65 Natural	システムエラーメッセージ	4201~4250	525
66 Natural	システムエラーメッセージ	4251~4300	537
67 Natural	システムエラーメッセージ	4301~4350	547
68 Natural	システムエラーメッセージ	4351~4400	551
69 Natural	システムエラーメッセージ	4401~4450	553
70 Natural	システムエラーメッセージ	4451~4500	563
71 Natural	システムエラーメッセージ	4501~4550	571
72 Natural	システムエラーメッセージ	4551~4600	579
73 Natural	システムエラーメッセージ	4601~4650	581
74 Natural	システムエラーメッセージ	4651~4700	593
75 Natural	システムエラーメッセージ	4701~4750	605
76 Natural	システムエラーメッセージ	4751~4800	609
77 Natural	システムエラーメッセージ	4801~4850	613
78 Natural	システムエラーメッセージ	4851~4900	627
79 Natural	システムエラーメッセージ	4901~4950	639
80 Natural	システムエラーメッセージ	4951~5000	645
81 Natural	システムエラーメッセージ	5001~5050	649
82 Natural	システムエラーメッセージ	5051~5100	653
83 Natural	システムエラーメッセージ	5101~5150	655
84 Natural	システムエラーメッセージ	5151~5200	659
85 Natural	システムエラーメッセージ	5201~5250	661
86 Natural	システムエラーメッセージ	5251~5300	665
87 Natural	システムエラーメッセージ	5301~5350	667
88 Natural	システムエラーメッセージ	5351~5400	671

89 Natural システムエラーメッセージ 5401～5450	679
90 Natural システムエラーメッセージ 5451～5500	685
91 Natural システムエラーメッセージ 5501～5550	689
92 Natural システムエラーメッセージ 5551～5600	695
93 Natural システムエラーメッセージ 5601～5650	701
94 Natural システムエラーメッセージ 5651～5700	709
95 Natural システムエラーメッセージ 5701～5750	719
96 Natural システムエラーメッセージ 5751～5800	727
97 Natural システムエラーメッセージ 5801～5850	735
98 Natural システムエラーメッセージ 5851～5900	741
99 Natural システムエラーメッセージ 5901～5950	749
100 Natural システムエラーメッセージ 5951～6000	753
101 Natural システムエラーメッセージ 6001～6050	759
102 Natural システムエラーメッセージ 6051～6100	771
103 Natural システムエラーメッセージ 6101～6150	783
104 Natural システムエラーメッセージ 6151～6200	795
105 Natural システムエラーメッセージ 6201～6250	807
106 Natural システムエラーメッセージ 6251～6300	817
107 Natural システムエラーメッセージ 6301～6350	829
108 Natural システムエラーメッセージ 6351～6400	841
109 Natural システムエラーメッセージ 6401～6450	847
110 Natural システムエラーメッセージ 6451～6500	851
111 Natural システムエラーメッセージ 6501～6550	861
112 Natural システムエラーメッセージ 6651～6700	865
113 Natural システムエラーメッセージ 6701～6750	867
114 Natural システムエラーメッセージ 6751～6800	869
115 Natural システムエラーメッセージ 6851～6900	871
116 Natural システムエラーメッセージ 6901～6950	873
117 Natural システムエラーメッセージ 6951～7000	881
118 Natural システムエラーメッセージ 7001～7050	887
119 Natural システムエラーメッセージ 7051～7100	895
120 Natural システムエラーメッセージ 7151～7200	897
121 Natural システムエラーメッセージ 7201～7250	899
122 Natural システムエラーメッセージ 7351～7400	901
123 Natural システムエラーメッセージ 7401～7450	905
124 Natural システムエラーメッセージ 7501～7550	907
125 Natural システムエラーメッセージ 7551～7600	911
126 Natural システムエラーメッセージ 7601～7650	913
127 Natural システムエラーメッセージ 7651～7700	915
128 Natural システムエラーメッセージ 7701～7750	921
129 Natural システムエラーメッセージ 7951～8000	925
130 Natural システムエラーメッセージ 8151～8200	927
131 Natural システムエラーメッセージ 8201～8250	929
132 Natural システムエラーメッセージ 8251～8300	931
133 Natural システムエラーメッセージ 8301～8350	939

134 Natural システムエラーメッセージ 8951~9000	945
135 Natural システムエラーメッセージ 9051~9100	947
136 Natural システムエラーメッセージ 9101~9150	949
137 Natural システムエラーメッセージ 9151~9200	951
138 Natural システムエラーメッセージ 9851~9900	953
139 Natural システムエラーメッセージ 9901~9950	955
140 Natural システムエラーメッセージ 9951~9999	967
141 Com-plete/SMARTS 環境下の Natural のアベンドコード	977
Com-plete/SMARTS 環境下の Natural のアベンドコードおよびエラーメッセー ジ	978
142 CICS 環境下の Natural のメッセージ	979
CICS 環境下の Natural のアベンドコードとエラーメッセージ	980
CICS 環境下の Natural の情報メッセージ	1003
NCISCPRI 警告およびエラーメッセージ	1004
143 IMS/TM 環境下の Natural のエラーコード	1007
3500	1010
3501	1010
3502	1010
3503	1011
3505	1011
3506	1011
3507	1011
3508	1012
3509	1012
3510	1012
3511	1012
3513	1013
3515	1013
3517	1013
3518	1013
3519	1014
3520	1014
3521	1014
3522	1014
3523	1015
3524	1015
3525	1015
3527	1015
3530	1016
3531	1016
3600	1016
3601	1017
3602	1017
3604	1017
3605	1018

3607	1018
3611	1018
3612	1019
3613	1019
3614	1019
3620	1019
3621	1020
3623	1020
3624	1020
3626	1020
3627	1021
3628	1021
3629	1021
3630	1022
3631	1022
3632	1022
3633	1022
3634	1023
3635	1023
3636	1023
3640	1024
3641	1024
3642	1024
3650	1024
3651	1025
3652	1025
3661	1025
3662	1025
3663	1026
3664	1026
3665	1026
3666	1026
3668	1027
3669	1027
3670	1027
3671	1027
3672	1028
3673	1028
3680	1028
3682	1028
3683	1029
3684	1029
3685	1029
3686	1030
3690	1030

3692	1030
3800	1031
3801	1031
3802	1031
3803	1031
3804	1032
3805	1032
3810	1032
3811	1033
3812	1033
3813	1033
3814	1033
3815	1034
3816	1034
3820	1034
3821	1034
3822	1035
3823	1035
3830	1035
3831	1036
3832	1036
3950	1036
3951	1036
3960	1037
3961	1037
3962	1037
3963	1037
3970	1038
3971	1038
4093	1038
144 BS2000/OSD 環境下の Natural のバッチエラーメッセージ	1039
NB20001 - Natural パラメータモジュールが見つかりません	1040
NB20002 - バッファプールマネージャの CMP の有効化におけるエラー	1040
NB20003 - バッファプールマネージャの CMP の要求におけるエラー	1040
NB20004 - リエントラント部分の CMP の有効化におけるエラー	1040
NB20005 - グローバルバッファプールの CMP の有効化におけるエラー	1041
NB20006 - Natural のリエントラント部分のロードにおけるエラー	1041
NB20007 - シリアライゼーション項目の有効化におけるエラー	1041
NB20008 - アクセス要求のエンキューにおけるエラー	1041
NB20009 - アクセス要求のキュー解除におけるエラー	1041
NB20010 - ADABAS コミュニケーションを確立できません	1042
NB20020 - サーバーエラーによりセッションが終了しました	1042
NB20022 - NAF CMP の初期化中のエラー	1042
NB20023 - NAF パラメータモジュールがリンクされていません	1042

NB20025 - モジュール NATINV が最初にニュークリアスにリンクされていませ ん	1042
NB20026 - モジュール NATLAST がニュークリアスにリンクされていませ ん	1043
NB20027 - 次のアドレスのリンクエラー：nnnnnnnn	1043
NB20030 - ダイナミックパラメータファイルの読み込み中のエラー	1043
NB20031 - ダイナミックパラメータファイルのオープン中のエラー	1043
NB20032 - Natural バッチドライバのリエントラント部分が見つかりません	1043
NB20040 - フロントエンドのリエントラント部分が異なるアドレスモードを示 しています	1044
NB20041 - モジュール NATINV の無効なバージョン	1044
NB20042 - マクロ BS2STUB の無効なバージョン	1044
145 TIAM 環境下の Natural のエラーメッセージ	1045
NRTnnnn メッセージ	1046
146 UTM 環境下の Natural のエラーメッセージ	1051
NUInnnn メッセージ	1052
NUSnnnn メッセージ	1068
NUWnnnn メッセージ	1072
147 CICS および openUTM 環境下で有効な Natural スワッププールマネージャのエ ラーメッセージ	1075
NUS0100 - ロールスレッドのオーバーフロー、Natural ユーザースレッドの長 さ = NNN KB	1076
NUS0102 - ロールファイルへの書き込み中のタイムアウト	1076
NUS0104 - 不適切なスワッププールディレクトリ - システム管理者に連絡して ください	1076
NUS0106 - 待機タイムアウト、SWP ディレクトリが一時的にロックされていま す - Enter キーを押してください	1077
NUS0108 - SWP ディレクトリが永続的にロックされています、修復が起動され ます - TAC を入力してください	1077
NUS0109 - スワッププールエラー N - スワッププールが修復されます	1077
NUS0110 - ロールファイルへの TTTT 書き込みが失敗しました、ユーザース レッドが失われました	1077
NUS0112 - ロールファイルからロールイン後の不適切なユーザースレッド	1078
NUS0113 - スワッププールが修復されました - ユーザースレッドが失われまし た	1078
NUS0114 - 内部エラー - FREE が合計スワッププールエントリを超えていま す	1078
NUS0116 - 内部エラー - ユーザー / 端末 ID またはプロセス ID が見当たりませ ん	1078
NUS0118 - SWP ディレクトリスロットが非アクティブ化ルーチンからロックさ れています	1079
NUW0120 - スワッププール初期化データにアクセスできませんでした、Adabas RC=AA DB=BB FILE=CC OPCD=DD	1079
NUI0122 - Natural プロファイルの無効なスロットサイズテーブル	1079
NUI0123 - パラメータモジュールの無効なスロットサイズテーブル	1080

NUI0124 - Natural スワッププールの定義されたサイズが小さすぎます、最小値 = NNNN KB	1080
NUI0125 - 不適切なスワッププールパラメータモジュール	1080
NUS0126 - ESA データスペースからのユーザースレッドの読み取りに失敗しました (RC=nn)	1080
NUS0127 - ESA データスペースへのユーザースレッドの書き込みに失敗しました (RC=nn)	1081
NUI0128 - SWP ESA データスペースの初期化に失敗しました (RC=nn)	1081
148 圧縮／圧縮解除エラーメッセージ	1083
NUS0201 - 無効な操作コードまたは最初のエントリが圧縮バッファではありません	1084
NUS0202 - テーブルエレメントの数がゼロです	1084
NUS0203 - テーブルエレメントの数が最大値を超えています	1084
NUS0204 - スレッドの合計長が圧縮を下回っています	1084
NUS0205 - バッファタイプが見当たりません	1085
NUS0206 - 圧縮されたバッファが合計長を超えています	1085
NUS0207 - 合計長が上限を超えています	1085
NUS0208 - 不適切な合計バッファ長	1085
NUS0209 - 不適切な使用済みバッファ長	1085
NUS0210 - スレッドが圧縮解除するには小さすぎます	1086
NUS0211 - バッファオフセット／アドレスが正ではありません	1086
NUS0212 - バッファソート順におけるエラー	1086
NUS0213 - 不適切なバッファの重複	1086
NUS0214 - 合計または使用済みバッファ長が無効です	1086
NUS0215 - 操作には無効なスレッドステータス	1087
NUS0216 - 接頭辞における無効なバッファ長	1087
NUS0217 - 接頭辞における無効な長さの最小値	1087
NUS0218 - 接頭辞における無効な長さの最大値	1087
NUS0219 - 圧縮バッファ前の無効な長さ	1087
NUS0220 - 圧縮スレッドで CMCCBR が呼び出されました	1088
NUS0221 - CMCCBR スレッドステータスが未定義です	1088
NUS0222 - 無効なバッファ ID またはアイキャッチャーが破壊されています	1088
NUS0223 - 外部バッファの CMFREMP からのエラー	1088
NUS0224 - 下のバッファの物理 GETMAIN エラー	1088
NUS0225 - 下の可変バッファの物理 GETMAIN エラー	1089
NUS0226 - ワークプールの FREE MAIN が行われませんでした	1089
NUS0227 - ストレージオーバーフロー - zzz を yyy バイト超えています	1089
NUS0228 - ビットテーブルバッファの GETMAIN が失敗しました	1089
149 NAT7545 の GETMAIN エラー番号	1091
エラー 04：スレッドの上限値を超えています	1092
エラー 08：無効なバッファタイプ	1092
エラー 12：圧縮テーブルがいっぱいです	1092
エラー 16：バッファがすでに存在します	1093
エラー 20：最初に要求されたバッファが PCB ではありません	1093
エラー 24：無効な GETMAIN の長さ	1093

エラー 28：物理バッファテーブルのアドレスが見当たりません	1093
エラー 32：物理バッファテーブルがいっぱいです	1093
エラー 36：不適切なバッファ接頭辞テーブルのエントリ（CMBPFT）	1094
エラー 40：物理 FREEMAIN が行われませんでした	1094
エラー 44：ワークプールまたは固定バッファが下ではなく上に割り当てられて います	1094
エラー 48：バッファ接頭辞テーブルのエントリのアドレスが解決されませんで した	1094
エラー 52：CMGETMP からのエラー - メッセージ NAT7545 の :4: を参照	1095
エラー 56：スレッドオーバーフローサイズが NTPRM で定義された OVSIZE を超えています	1095
エラー 60：Getmain バッファサイズが最小バッファサイズを下回っていま す	1095
エラー 64：Getmain バッファサイズが最大バッファサイズを上回っていま す	1095
エラー 68：境界未満のワークプールの合計サイズが最大サイズを超えていま す	1096
エラー 72：境界を超えるワークプールの合計サイズが最大サイズを超えていま す	1096
150 NAT7546 の FREEMAIN エラー番号	1097
エラー 100：バッファの接頭辞における不適切な合計バッファ長	1098
エラー 104：固定バッファタイプの無効な FREEMAIN 長	1098
エラー 108：可変バッファの無効な FREEMAIN 長	1098
エラー 112：使用済みの長さが FREEMAIN バッファ長を上回っています	1099
エラー 116：16 MB 境界未満の固定バッファの Freemain が失敗しました	1099
エラー 120：物理バッファのアイキャッチャーが破壊されています	1099
エラー 124：物理バッファ用の Freemain がすでに行われています	1099
エラー 128：物理バッファの無効な FREEMAIN 長	1100
エラー 132：Freemain 長がワークプールのサイズを超えています	1100
エラー 136：Freemain 長が物理ストレージの合計サイズを超えています	1100
エラー 140：Freemain 用の無効なバッファアドレス	1100
エラー 144：可変／固定バッファ用の CMFREMP からのエラー	1101
エラー 148：ワークプール用の CMFREMP からのエラー	1101
エラー 152：FREEMAIN ALL 中の CMFREMP からのエラー	1101
エラー 156：スレッド外部のバッファ用の CMFREMP からのエラー	1101
151 プログラム CMPSTART のメッセージ	1103
CMP0001 - プール名：グローバルプールがアクティブです	1105
CMP0002 - データスペース名：データスペースが作成されました	1105
CMP0003 - SYSDTA でパラメータが見つかりません	1105
CMP0004 - SYSDTA からのパラメータの読み込みに失敗しました	1105
CMP0005 - プール名：グローバルプールは正常に終了しました	1106
CMP0006 - データスペース名：データスペースは正常に破壊されました	1106
CMP0007 - プール名：グローバルプールはオペレータの要求により異常終了し ました	1106
CMP0008 - プール名：グローバルプールはキャンセルにより終了しました	1106

CMP0009 - プール名：マクロ <code>name</code> におけるエラー、プールが割り当てられていません、 <code>R15=nn</code>	1107
CMP0010 - プール名：要求されたプールはすでに有効です	1107
CMP0011 - プール名：グローバル <code>Natural</code> ロードプールを " <code>PFIX=YES</code> " で有効にする必要があります	1107
CMP0012 - プール名： <code>Natural</code> タイプ、プール初期化に失敗しました、プールが割り当てられていません、 <code>R15=nn</code>	1107
CMP0013 - キーワードパラメータ名の定義が見当たりません	1108
CMP0014 - キーワードパラメータ名のオペランドが有効ではありません	1108
CMP0015 - キーワードパラメータ名のオペランドが最大長を超えています	1108
CMP0016 - 名前がキーワードパラメータに有効な名前ではありません	1108
CMP0017 - 指定されたサイズは境界を超える場所には大きすぎます	1109
CMP0018 - 指定されたサイズは境界未満の場所には大きすぎます	1109
CMP0019 - 13 MB を超えるアドレスは境界未満の場所には無効です	1109
CMP0020 - 16 MB 未満のアドレスは境界を超える場所には無効です	1109
CMP0021 - " <code>TYPE</code> " が定義される場合、" <code>LIBR</code> " の定義は許可されません	1110
CMP0022 - ライブラリが定義されています、" <code>NAME</code> " のオペランドが8文字を超えています	1110
CMP0023 - <code>Natural</code> バッファプールの名前が8文字を超えています	1110
CMP0024 - " <code>PFIX=YES</code> " を定義する場合、パラメータ " <code>ADDR</code> " のオペランドも定義する必要があります	1110
CMP0025 - パラメータ " <code>TYPE</code> " または " <code>LIBR</code> " の1つのオペランドが見当たりません	1111
CMP0026 - " <code>DESA=YES</code> " を定義する場合、パラメータ " <code>DATA=</code> " も定義する必要があります	1111
CMP0027 - <code>ESA</code> データスペース要求で、パラメータ " <code>LIBR</code> " は定義できません	1111
CMP0028 - マクロ " <code>ASHARE</code> " を使用する場合、" <code>PFIX=YES</code> " を定義する必要があります	1111
CMP0029 - <code>CMPSTART</code> は <code>BS2000</code> バージョン 10.0 以上でのみ実行します	1112
CMP0030 - オペレータ要求のエラー、コマンドが見つかりません	1112
CMP0031 - ジョブ変数名：マクロ名のエラー、 <code>R15=nn</code>	1112
152 <code>Natural</code> グローバルバッファプールマネージャのメッセージ	1113
<code>Natural</code> グローバルバッファプールマネージャ構文エラーメッセージ	1114
<code>Natural</code> グローバルバッファプールマネージャランタイムメッセージ	1115
<code>Natural</code> グローバルバッファプールマネージャドライバのメッセージ	1117
153 ロールサーバーメッセージ	1119
RSM0001 - サブシステム ID が無効です	1122
RSM0002 - ロールファイル番号が数値ではありません	1122
RSM0003 - 無効な数のロールファイル	1122
RSM0004 - <code>LRB</code> スロットの数が指定されていません	1122
RSM0005 - <code>LRB</code> スロットの数が数値ではありません	1123
RSM0006 - <code>LRB</code> スロットの数 > 32767	1123
RSM0007 - 無効な <code>CF</code> 構造名	1123
RSM0008 - <code>IEANTRT</code> からの不適切なリターンコード： <code>rc</code>	1123

RSM0009 - DCB バッファを取得できませんでした。理由：reasoncode	1123
RSM0010 - DDNAME の OPEN に失敗しました：ddname	1124
RSM0011 - 重複したロールファイル DSN	1124
RSM0012 - 一時ロールファイルバッファを取得できませんでした。理由： reasoncode	1124
RSM0013 - RF ディレクトリバッファを取得できませんでした。理由： reasoncode	1124
RSM0014 - LRB ディレクトリを取得できませんでした。理由：reasoncode	1125
RSM0015 - データスペースの作成に失敗しました。理由：reasoncode	1125
RSM0016 - ALESERV ADD が失敗しました。理由：reasoncode	1125
RSM0017 - LRB のサイズ > 524287 ブロック	1125
RSM0018 - LX テーブルを取得できませんでした。理由：reasoncode	1126
RSM0019 - ロールサーバーバージョン 42x がアクティブです	1126
RSM0020 - サブタスクが終了しました：taskname rc	1126
RSM0021 - サブタスク終了が開始されました	1126
RSM0022 - すべてのサブタスクが終了しました	1126
RSM0023 - MODIFY または STOP 以外のコマンドを受け取りました	1127
RSM0024 - トレースがアクティブにされました	1127
RSM0025 - トレースを停止しました	1127
RSM0026 - コマンドはアクティブな状態でのみ許可されます：command	1127
RSM0027 - 不明なコマンド command	1127
RSM0028 - すでに割り当て解除されています	1128
RSM0029 - メインタスク内の反復的なアベンド。CANCEL コマンドを待機 中	1128
RSM0030 - 最低値が数値でないか無効です	1128
RSM0031 - 最高値が数値でないか無効です	1128
RSM0032 - ワークバッファを取得できませんでした：reasoncode	1129
RSM0033 - すべてのリソースが割り当て解除されました	1129
RSM0034 - START は割り当て解除の状態でのみ許可されます	1129
RSM0035 - START パラメータが見当たりません	1129
RSM0036 - DUMP がロールファイル n に成功しました	1129
RSM0037 - DUMP がロールファイル n に失敗しました	1130
RSM0038 - SNAP が失敗しました。タスク RB を取得できませんでした	1130
RSM0039 - XES 機能が使用可能ではありません	1130
RSM0040 - IXLCONN に失敗しました。理由コード：reasoncode	1130
RSM0041 - CF 初期化が次のリストで成功しました：n	1131
RSM0042 - CF 初期化が次のリスト/RSN コードで失敗しました： reasoncode	1131
RSM0043 - IXCJOIN が失敗しました。リターン/理由コード：reasoncode	1131
RSM0044 - Act conn バッファを取得できませんでした	1132
RSM0045 - 適用された Zap：	1132
RSM0046 - ロールファイルはジョブ jobname ASID asid により使用中です	1132
RSM0047 - オペレータコマンド：command	1132
RSM0048 - IARV64 GETSTOR が失敗しました。リターンコード：rc	1133
RSM0049 - RSN=FAILURE で CF から切断されました	1133

RSM0050 - RSN=NORMAL で CF から切断されました	1133
RSM0051 - ロールファイル n は CF 構造より新しい状態です	1133
RSM0052 - IARV64 GETSTOR 用のストレージが十分ではありません - MEMLIMIT を増やします	1134
RSM0053 - SNAP に十分なメモリではありません	1134
RSM0054 - SYSUDUMP の OPEN に失敗しました	1134
RSM0055 - CF 構造に十分なリストが含まれません	1134
RSM0056 - LRB スロットサイズが無効か、数値ではありません	1135
RSM0057 - IEANTCR からの不適切なリターンコード：rc	1135
RSM0058 - ロールサーバーが subsid ですすでにアクティブです：ジョブ jobname ASID asid	1135
RSM0059 - ロールファイル ddname がバージョン 412 未満です	1135
RSM0060 - ユーザー出口がロードされました：NATRSU14	1136
RSM0061 - ロールファイルが使用されていない場合はスロットサイズを指定す る必要があります	1136
RSM0062 - インコアロールファイルで実行中	1136
RSM0063 - カップリング機能は使用されません	1136
RSM0064 - 最高／最低値が無視されました	1137
RSM0065 - XES イベント出口が予期しないイベントタイプを受け取りました： nn	1137
RSM0066 - REBUILD の開始：CF 構造は一時的に使用できません	1137
RSM0067 - REBUILD の終了：CF 構造が再度使用可能です	1137
RSM0068 - LRB スロットサイズパラメータが無視されました	1138
RSM0069 - 無効な非アクティビティタイム	1138
RSM0070 - 無効なタイムアウトチェック時間	1138
RSM0071 - タイムアウトチェック時間が非アクティビティタイムなしで指定さ れています	1138
RSM0072 - タイムアウト処理の開始中	1139
RSM0073 - タイムアウト処理が n セッションを削除しました	1139
RSM0074 - タイムアウト処理がリターンコード rc で終了しました	1139
RSM0075 - TIMEOUT ON/NOW が拒否されました：有効なタイムアウトパラ メータがありません	1139
RSM0076 - タイムアウト処理が無効にされました	1140
RSM0077 - 無効な TIMEOUT パラメータ。NAT、NOW、ON、OFF、TOC、 または ? を指定してください	1140
RSM0119 - 有効なロールサーバー設定：	1140
RSM0190 - +++++ 診断の開始 +++++	1140
RSM0190 - +++++ 診断の終了 +++++	1141
154 ロールサーバー要求のリターンコードおよび理由コード	1143
155 SIP サービスのリターンコードおよび理由コード	1149
リターンコード	1150
リターンコード 0 の SIP 理由コード	1150
リターンコード 12 の SIP 理由コード	1150
156 認可サービスマネージャのメッセージ	1153
ASM0001 - サブシステム ID が無効です	1154

ASM0002 - グループ名がありません：シスプレックスでの削除の伝播が無効に されています	1154
ASM0003 - IEANTRT からの予期しないリターンコード：rc	1154
ASM0004 - LX テーブルを取得できませんでした。理由：理由コード	1155
ASM0005 - 認可サービスマネージャバージョン vrs がアクティブです	1155
ASM0006 - MODIFY または STOP 以外のコマンドを受け取りました	1155
ASM0007 - トレースがアクティブにされました	1155
ASM0008 - トレースを停止しました	1156
ASM0009 - 無効なコマンド：コマンド	1156
ASM0010 - SNAP ルーチンからの不適切なリターンコード：rc	1156
ASM0011 - サブタスクが終了しました：タスク名 rc	1156
ASM0012 - サブタスクの終了を処理中です	1157
ASM0013 - カップリング機能は SIP に使用されません	1157
ASM0014 - 無効な SIP CF 構造名	1157
ASM0015 - 無効な数の SIP スロットが指定されました	1157
ASM0017 - nnnn スロットで SIP CF 構造に接続しています	1157
ASM0018 - nnnn スロットで SIP CF 構造が初期化されています	1158
ASM0019 - SIP スロットの数が指定されていません：SIP サービスは使用でき ません	1158
ASM0020 - 無効な SIP スロットサイズが指定されました	1158
ASM0021 - IEANTCR からの予期しないリターンコード：rc	1158
ASM0045 - 適用された Zap：	1159
ASM0047 - オペレータコマンド：コマンド	1159
ASM0058 - ASM がすでに subsid でアクティブです：ジョブ jobname ASID asid	1159
ASM0066 - REBUILD の開始：CF 構造は一時的に使用できません	1159
ASM0067 - REBUILD の終了：CF 構造が再度使用可能です	1160
ASM0119 - 有効な認可サービスマネージャサーバー設定：	1160
157 Natural for DL/I インターフェイスステータスコードおよびアベンドコード	1161
ステータスコード	1162
アベンドコード - CICS 環境下のみ	1162
158 Natural for VSAM インターフェイスのアベンドコード	1171
159 Entire Transaction Propagator のアベンドコード	1173
160 RPC サーバーフロントエンドのメッセージ	1175
RPC0001 PARM 文字列が見当たりません	1176
RPC0002 Natural ドライバ名が長すぎます：name	1176
RPC0004 スレッドサイズが数値でないか大きすぎます：value	1176
RPC0006 スレッドの数が数値でないか大きすぎます：value	1176
RPC0007 Natural ドライバが見つかりません：name	1177
RPC0010 偽装用の認可環境が確立されました	1177
RPC0011 Natural RPC サーバーを起動中	1177
RPC0012 Natural RPC サーバーを再起動中	1177
RPC0013 Natural RPC サーバーを終了中	1178
RPC0014 Natural Security ログオンが失敗したか、Natural スタックで見当た りません	1178

RPC0015	偽装が SAF RC/理由 xxxx/yyyy で失敗しました	1178
RPC0016	偽装が CICS RC/理由 xxxx/yyyy で失敗しました	1178
RPC0017	Natural RPC サーバー環境を初期化中	1178
RPC0018	Natural RPC サーバーセッションテンプレートを作成中	1179
RPC0019	Natural RPC サーバー環境を終了中	1179
RPC0020	Natural RPC サーバーをトランスポートから切断中	1179
161	出力ファイル/ワークファイルサーバー NATPWSV2 のエラーメッセージ	1181
PWS001	: モジュール "BS2STUB" 内のアドオンテーブルが無効であるか使用できません	1182
PWS002	: 共通メモリコントロールプールがいっぱいです	1182
PWS003	: name という名前の共通メモリプールはすでに利用可能です	1182
PWS004	: アドオンテーブルエントリ cmp-name の実行中の macro name から のエラー、RC : nnnn	1182
PWS005	: BS2STUB のアドオンテーブル内のエントリ TYPE=PWK が見つかり ません	1183
PWS006	: イベント終了名の ENAEI が失敗しました、RC : nnnnnnnn	1183
PWS007	: 終了コンティンジェンシーの ENACO が失敗しました、RC : nnnnnnnn	1183
PWS008	: サーバー終了の SOLSIG が失敗しました、RC : nnnnnnnn	1183
PWS009	: 出力ファイル/ワークファイルサーバー SOLSIG イベントの ENAEI が失敗しました、RC : nnnnnnnn	1183
PWS010	: 出力ファイル/ワークファイルサーバー SOLSIG イベントの DSOFEI が失敗しました、RC : nnnnnnnn	1184
PWS011	: 出力ファイル/ワークファイルサーバー SOLSIG イベントの RSOFEI が失敗しました、RC : nnnnnnnn	1184
PWS012	: 出力ファイル/ワークファイルサーバー POSSIG イベントの ENAEI が失敗しました、RC : nnnnnnnn	1184
PWS013	: 出力ファイル/ワークファイルサーバー POSSIG イベントの DPOFEI が失敗しました、RC : nnnnnnnn	1184
PWS014	: 出力ファイル/ワークファイルサーバー POSSIG イベントの RPOFEI が失敗しました、RC : nnnnnnnn	1185
PWS015	: クライアントコントロールブロック (TSN) が見つかりません	1185
索引	1187

1 メッセージおよびコード

このドキュメントでは、次のトピックについて説明します。

 Natural システムエラーメッセージ	Natural ニュークリアスにより発行される場合があるシステムエラーメッセージについて説明します。ライブラリ固有のメッセージおよび他の Software AG 製品に関連するメッセージは記載されていません。
 Com-plete/SMARTS 環境下の Natural のアベンドコード	Natural Com-plete/SMARTS TP インターフェイスにより発行されるアベンドコードについて説明します。*
 CICS 環境下の Natural のメッセージ	Natural/CICS TP インターフェイスにより発行されるアベンドコード、SCP 環境初期化エラー、SCP 環境リカバリエラー、SCP 処理エラーおよび Natural CICS インターフェイスセッションエラーについて説明します。*
 IMS/TM 環境下の Natural のエラーコード	Natural IMS TP インターフェイス (NII) により発行される場合があるエラーコードおよびメッセージについて説明します。*
 BS2000/OSD 環境下の Natural のバッチエラーメッセージ	Natural BS2000/OSD バッチドライバにより発行される場合があるエラーメッセージについて説明します。*
 TIAM 環境下の Natural のエラーメッセージ	Natural TIAM TP インターフェイスにより発行される場合があるエラーメッセージについて、NRT および NUI メッセージのグループごとに説明します。*
 openUTM 環境下の Natural のエラーメッセージ	Natural UTM TP インターフェイスにより発行される場合があるエラーメッセージについて、NUI、NUS および NUW メッセージのグループごとに説明します。*
 CICS および openUTM 環境下で有効な Natural スワッププールマネージャのエラーメッセージ	ユーザーセッションエラーの結果として Natural スワッププールマネージャにより発行される場合があるエラーメッセージ (NUS01nn) について説明します。*
 圧縮/圧縮解除エラーメッセージ	ユーザーセッションエラーの結果として Natural スレッド圧縮/圧縮解除ルーチンにより発行される場合があるエラーメッセージ (NUS02nn) について説明します。

●	NAT7545 の GETMAIN エラー番号	失敗した GETMAIN 要求の結果としてエラーメッセージ NAT7545 に表示されるエラー番号について説明します。
●	NAT7546 の FREEMAIN エラー番号	失敗した FREEMAIN 要求の結果としてエラーメッセージ NAT7546 に表示されるエラー番号について説明します。
●	プログラム CMPSTART のメッセージ	タスクが BS2000/OSD 環境下の Natural でグローバル共通メモリプールを開始することである、プログラム CMPSTART により発行される場合があるエラーメッセージ (CMPnnnn) について説明します。 *
●	Natural グローバルバッファプールマネージャのメッセージ	z/OS および z/VSE 環境下の Natural グローバルバッファプールマネージャにより発行される情報およびエラーメッセージについて説明します。
●	ロールサーバーメッセージ	Natural ロールサーバーにより発行される場合があるメッセージについて説明します。 *
●	ロールサーバー要求のリターンコードおよび理由コード	ロールサーバー要求のリターンコードおよび理由コードについて説明します。 *
●	SIP サービスのリターンコードおよび理由コード	セッション情報プールサービス要求のリターンコードおよび理由コードについて説明します。 *
●	認可サービスマネージャのメッセージ	Natural 認可サービスマネージャにより発行される場合があるメッセージについて説明します。 *
●	Natural for DL/I インターフェイスステータスコードおよびアベンドコード	ステータスコードに関する情報を記載し、CICSの影響下でのみ使用されるアベンドコードについて説明します。 *
●	Natural for VSAM インターフェイスのアベンドコード	VSAM 用 Natural インターフェイスにより発行される場合があるアベンドコードについて説明します。 *
●	Entire Transaction Propagator のアベンドコード	Entire Transaction Propagator CICS インターフェイス (製品コード: ETC) の操作中に発生する可能性のあるアベンドコードについて説明します。 *
●	RPCサーバーフロントエンドのメッセージ	RPCサーバーフロントエンドにより発行されるメッセージについて説明します。 *
●	出力ファイル/ワークファイルサーバー NATPWSV2 のエラーメッセージ	出力ファイル/ワークファイルサーバー NATPWSV2 により提供されるエラーメッセージについて説明します。 *

 **注意:** * Natural システムメッセージとは異なり、これらのメッセージおよびコードの長い説明メッセージは、このドキュメントだけで提供されます。オンラインでは提供されません。

関連ドキュメント：

- インストール
- オペレーション
- TP モニタインターフェイス

2 Natural システムエラーメッセージ

この情報は次の項目で構成されています。

- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0001～NAT0050
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0051～NAT0100
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0101～NAT0150
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0151～NAT0200
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0201～NAT0250
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0251～NAT0300
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0301～NAT0350
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0351～NAT0400
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0401～NAT0450
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0451～NAT0500
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0551～NAT0600
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0601～NAT0650
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0651～NAT0700
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0701～NAT0750
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0751～NAT0800
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0801～NAT0850
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0851～NAT0900
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0901～NAT0950
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT0951～NAT1000
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT1001～NAT1050
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT1051～NAT1100
- **Natural** システムエラーメッセージ NAT1101～NAT1150

- Natural システムエラーメッセージ NAT1151～NAT1200
- Natural システムエラーメッセージ NAT1201～NAT1250
- Natural システムエラーメッセージ NAT1251～NAT1300
- Natural システムエラーメッセージ NAT1301～NAT1350
- Natural システムエラーメッセージ NAT1351～NAT1400
- Natural システムエラーメッセージ NAT1451～NAT1500
- Natural システムエラーメッセージ NAT1501～NAT1550
- Natural システムエラーメッセージ NAT1551～NAT1600
- Natural システムエラーメッセージ NAT1601～NAT1650
- Natural システムエラーメッセージ NAT1651～NAT1700
- Natural システムエラーメッセージ NAT1701～NAT1750
- Natural システムエラーメッセージ NAT1751～NAT1800
- Natural システムエラーメッセージ NAT1801～NAT1850
- Natural システムエラーメッセージ NAT1951～NAT2000
- Natural システムエラーメッセージ NAT2001～NAT2050
- Natural システムエラーメッセージ NAT2151～NAT2200
- Natural システムエラーメッセージ NAT2651～NAT2700
- Natural システムエラーメッセージ NAT2951～NAT3000
- Natural システムエラーメッセージ NAT3001～NAT3050
- Natural システムエラーメッセージ NAT3051～NAT3100
- Natural システムエラーメッセージ NAT3101～NAT3150
- Natural システムエラーメッセージ NAT3151～NAT3200
- Natural システムエラーメッセージ NAT3201～NAT3250
- Natural システムエラーメッセージ NAT3251～NAT3300
- Natural システムエラーメッセージ NAT3351～NAT3400
- Natural システムエラーメッセージ NAT3401～NAT3450
- Natural システムエラーメッセージ NAT3451～NAT3500
- Natural システムエラーメッセージ NAT3501～NAT3550
- Natural システムエラーメッセージ NAT3551～NAT3600
- Natural システムエラーメッセージ NAT3601～NAT3650
- Natural システムエラーメッセージ NAT3651～NAT3700
- Natural システムエラーメッセージ NAT3701～NAT3750
- Natural システムエラーメッセージ NAT3751～NAT3800
- Natural システムエラーメッセージ NAT3801～NAT3850

- Natural システムエラーメッセージ NAT3851～NAT3900
- Natural システムエラーメッセージ NAT3901～NAT3950
- Natural システムエラーメッセージ NAT3951～NAT4000
- Natural システムエラーメッセージ NAT4001～NAT4050
- Natural システムエラーメッセージ NAT4051～NAT4100
- Natural システムエラーメッセージ NAT4101～NAT4150
- Natural システムエラーメッセージ NAT4201～NAT4250
- Natural システムエラーメッセージ NAT4251～NAT4300
- Natural システムエラーメッセージ NAT4301～NAT4350
- Natural システムエラーメッセージ NAT4351～NAT4400
- Natural システムエラーメッセージ NAT4401～NAT4450
- Natural システムエラーメッセージ NAT4451～NAT4500
- Natural システムエラーメッセージ NAT4501～NAT4550
- Natural システムエラーメッセージ NAT4551～NAT4600
- Natural システムエラーメッセージ NAT4601～NAT4650
- Natural システムエラーメッセージ NAT4651～NAT4700
- Natural システムエラーメッセージ NAT4701～NAT4750
- Natural システムエラーメッセージ NAT4751～NAT4800
- Natural システムエラーメッセージ NAT4801～NAT4850
- Natural システムエラーメッセージ NAT4851～NAT4900
- Natural システムエラーメッセージ NAT4901～NAT4950
- Natural システムエラーメッセージ NAT4951～NAT5000
- Natural システムエラーメッセージ NAT5001～NAT5050
- Natural システムエラーメッセージ NAT5051～NAT5100
- Natural システムエラーメッセージ NAT5101～NAT5150
- Natural システムエラーメッセージ NAT5151～NAT5200
- Natural システムエラーメッセージ NAT5201～NAT5250
- Natural システムエラーメッセージ NAT5251～NAT5300
- Natural システムエラーメッセージ NAT5301～NAT5350
- Natural システムエラーメッセージ NAT5351～NAT5400
- Natural システムエラーメッセージ NAT5401～NAT5450
- Natural システムエラーメッセージ NAT5451～NAT5500
- Natural システムエラーメッセージ NAT5501～NAT5550
- Natural システムエラーメッセージ NAT5551～NAT5600

- Natural システムエラーメッセージ NAT5601～NAT5650
- Natural システムエラーメッセージ NAT5651～NAT5700
- Natural システムエラーメッセージ NAT5701～NAT5750
- Natural システムエラーメッセージ NAT5751～NAT5800
- Natural システムエラーメッセージ NAT5801～NAT5850
- Natural システムエラーメッセージ NAT5851～NAT5900
- Natural システムエラーメッセージ NAT5901～NAT5950
- Natural システムエラーメッセージ NAT5951～NAT6000
- Natural システムエラーメッセージ NAT6001～NAT6050
- Natural システムエラーメッセージ NAT6051～NAT6100
- Natural システムエラーメッセージ NAT6101～NAT6150
- Natural システムエラーメッセージ NAT6151～NAT6200
- Natural システムエラーメッセージ NAT6201～NAT6250
- Natural システムエラーメッセージ NAT6251～NAT6300
- Natural システムエラーメッセージ NAT6301～NAT6350
- Natural システムエラーメッセージ NAT6351～NAT6400
- Natural システムエラーメッセージ NAT6401～NAT6450
- Natural システムエラーメッセージ NAT6451～NAT6500
- Natural システムエラーメッセージ NAT6501～NAT6550
- Natural システムエラーメッセージ NAT6651～NAT6700
- Natural システムエラーメッセージ NAT6701～NAT6750
- Natural システムエラーメッセージ NAT6751～NAT6800
- Natural システムエラーメッセージ NAT6851～NAT6900
- Natural システムエラーメッセージ NAT6901～NAT6950
- Natural システムエラーメッセージ NAT6951～NAT7000
- Natural システムエラーメッセージ NAT7001～NAT7050
- Natural システムエラーメッセージ NAT7051～NAT7100
- Natural システムエラーメッセージ NAT7151～NAT7200
- Natural システムエラーメッセージ NAT7201～NAT7250
- Natural システムエラーメッセージ NAT7351～NAT7400
- Natural システムエラーメッセージ NAT7401～NAT7450
- Natural システムエラーメッセージ NAT7501～NAT7550
- Natural システムエラーメッセージ NAT7551～NAT7600
- Natural システムエラーメッセージ NAT7601～NAT7650

- Natural システムエラーメッセージ NAT7651～NAT7700
- Natural システムエラーメッセージ NAT7701～NAT7750
- Natural システムエラーメッセージ NAT7951～NAT8000
- Natural システムエラーメッセージ NAT8151～NAT8200
- Natural システムエラーメッセージ NAT8201～NAT8250
- Natural システムエラーメッセージ NAT8251～NAT8300
- Natural システムエラーメッセージ NAT8301～NAT8350
- Natural システムエラーメッセージ NAT8951～NAT9000
- Natural システムエラーメッセージ NAT9051～NAT9100
- Natural システムエラーメッセージ NAT9101～NAT9150
- Natural システムエラーメッセージ NAT9151～NAT9200
- Natural システムエラーメッセージ NAT9851～NAT9900
- Natural システムエラーメッセージ NAT9901～NAT9950
- Natural システムエラーメッセージ NAT9951～NAT9999

3 Natural システムエラーメッセージ 0001～0050

NAT0001：不正な構文、または未定義の変数名／キーワードが使用されています。

テキスト	不正な構文、または未定義の変数名／キーワードが使用されています。
[説明]	構文チェックで不正なステートメント名またはキーワードが検出されました。 - ステートメント名、変数名、あるいはキーワードのスペルが間違っています。 - または、前のステートメントの副節にエラーがあります。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0002：指定されたファイル名またはファイル番号は、**Natural** に定義されていません。

テキスト	指定されたファイル名またはファイル番号は、 Natural に定義されていません。
[説明]	- ファイル名を書き間違えています。 - または、 Natural データディクショナリに定義されていません。 - または、ファイルにアクセスするための権限を持っていません。
[対処]	- 正しいファイル名を使用してください。 - または、データディクショナリに登録してください。 - または、 Natural 管理者に連絡をとってファイルへのアクセス権を取得してください。

NAT0003：ファイル名またはファイル番号に対して不正な文字列が使用されています。

テキスト	ファイル名またはファイル番号に対して不正な文字列が使用されています。
------	------------------------------------

[説明]	ファイル名またはファイル番号の位置に不正な構文が指定されています。変数名に使用できる文字のみをファイル名に使用できます。変数名には、英字（最初の文字は必ず英字を使用）、数字および次の特殊文字のみを使用することができます。 - ハイフン_ 下線 @ アトマーク/スラッシュ # シャープ \$ ドル記号 & アンパサンド
[対処]	不正な文字をファイル識別子から削除してください。

NAT0004 : **DEFINE DATA** ステートメントはプログラムの先頭に指定する必要があります。

テキスト	DEFINE DATA ステートメントはプログラムの先頭に指定する必要があります。
[説明]	DEFINE DATA ステートメントを使用する場合は、常にプログラムの先頭に指定する必要があります。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0005 : 算術／論理式に右カッコがありません。

テキスト	算術／論理式に右カッコがありません。
[説明]	カッコは算術演算および論理条件での評価を制御するために使用します。カッコを使用する場合は、必ずペア（左カッコと右カッコ）で使用する必要があります。
[対処]	算術演算および論理条件のカッコを正しく使用しているかどうかを確認してください。

NAT0006 : アクティブな処理ループがないときに **ESCAPE** ステートメントが使用されています。

テキスト	アクティブな処理ループがないときに ESCAPE ステートメントが使用されています。
[説明]	ESCAPE ステートメントは、アクティブな処理ループ内でのみ使用できます。
[対処]	処理ループの構成をチェックし、アクティブなループの中で ESCAPE を指定するようにしてください。

NAT0007 : READ LOGICAL または HISTOGRAM の THRU または TO 節の指定が誤っています。

テキスト	READ LOGICAL または HISTOGRAM の THRU または TO 節の指定が誤っています。
[説明]	READ LOGICAL または HISTOGRAM ステートメントでは、 - THRU 節を指定する場合、終了値を指定する必要があります。 - TO 節を指定する場合、開始値と終了値を指定する必要があります。 開始値または終了値は、定数または値を持つ変数で指定する必要があります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0008 : 検索条件の構文に誤りがあります。

テキスト	検索条件の構文に誤りがあります。
[説明]	1) WITH 節にはディスクリプタを使用する必要があります。 グループ表記は使用できません。 2) READ ステートメントの ENDING AT 節でスーパーディスクリプタを検索キーとして使用するときは、そのスーパーディスクリプタがデータエリア内にビューとともに定義されている必要があります。 3) READ ステートメントが DB2 に関係している場合、検索変数はビューの一部である必要があります。
[対処]	1) フィールドがデータディクショナリ内でディスクリプタとして定義されていることを調べるために LIST FILE コマンドを使用してください。 2) ビューにスーパーディスクリプタを追加してください。

NAT0009 : 論理条件式に不正な関係演算子があります。

テキスト	論理条件式に不正な関係演算子があります。
[説明]	論理関係式に不正な関係演算子があります。 次の関係演算子を使用することができます。 = または EQ または EQUAL TO ^= または NE または NOT EQUAL < または LT または LESS THAN <= または LE または LESS EQUAL > または GT または GREATER THAN >= または GE または GREATER EQUAL
[対処]	関係式の構造を修正します。

NAT0010 : 検索条件式に値の指定エラーがあります。

テキスト	検索条件式に値の指定エラーがあります。
[説明]	検索条件の関係演算子までは正しく指定されていますが、比較される値が誤って指定されています。 変数を使用して値を指定する場合は、事前に変数が定義されている必要があります。
[対処]	英数字タイプのディスクリプタ値がアポストロフィで囲まれていることを確認してください。数値タイプの場合はアポストロフィでは囲みません。事前に定義されている変数のみを値として参照します。

NAT0011 : 関係式の中に正しくないフォーマットの組み合わせが見つかりました。

テキスト	関係式の中に正しくないフォーマットの組み合わせが見つかりました。
[説明]	次のように関係式では比較する値は同じフォーマットである必要があります。 英数字 関係演算子 英数字 数値 関係演算子 数値 バイナリ 関係演算子 バイナリ
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0012 : 検索変数の長さの調整ができません。

テキスト	検索変数の長さの調整ができません。
[説明]	関係式内で指定された値が、検索変数に定義された長さを超えています 値が1つしか存在しない場合は、検索変数の長さを指定された値の長さにダイナミックに調整できます。 "OR="、"THRU"、"BUT NOT" の場合は、長さをダイナミックに調整できません。
[対処]	複数の値が存在する場合は 検索変数に適切な長さを指定してください。

NAT0013 : **READ** ステートメントの **BY** 節にディスクリプタ名/ISN が指定されていません。

テキスト	READ ステートメントの BY 節にディスクリプタ名/ISN が指定されていません。
[説明]	READ ステートメントで、"BY" 節を使用したときは、ディスクリプタ名または "ISN" をレコード読み込みの順序定義として指定する必要があります。
[対処]	- BY 節を使用しないでください。 - または、BY 節の後に ISN やディスクリプタ名を指定してください。

NAT0014 : **FIND** ステートメントの **SORTEDBY** 節にエラーがあります。

テキスト	FIND ステートメントの SORTEDBY 節にエラーがあります。
[説明]	- Adabas ソートのために指定したフィールドがディスクリプタではありません。 - または、ソートディスクリプタが指定されていません。 - または、4つ以上のソースフィールドが指定されています。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0015 : **Natural** システム関数表記にカッコがありません。

テキスト	Natural システム関数表記にカッコがありません。
[説明]	Natural システム関数表記はカッコで囲む必要があります。 Natural システム関数名を変数に使用した場合も、このエラーが発生します。
[対処]	- システム関数表記をカッコで囲んでください。 - または、システム関数とは異なる変数名に変更してください。

NAT0016 : **INCLUDE** ステートメントまたはコピーコード内に不正なパラメータがあります。

テキスト	INCLUDE ステートメントまたはコピーコード内に不正なパラメータがあります。
[説明]	コピーコード内のパラメータ数。
[対処]	INCLUDE ステートメント、またはコピーコード内のエラーを修正してください。

NAT0017 : **MASK** または **SCAN** の使い方、または指定されたマスク長が正しくありません。

テキスト	MASK または SCAN の使い方、または指定されたマスク長が正しくありません。
[説明]	MASK/SCAN は、EQ または NE 演算子の後にのみ指定できます。 マスク長は、フィールド長と同じかそれより短い必要があります。 次の文字をマスクに使用できます。 . 変数内でマスクングを行わない位置 DD 日付 U 英大文字 MM 月 N 数字 YY 年 H 16進数文字 YYYY 世紀内の年 P 印刷可能文字 JJJ ユリウス日 L 英小文字 N1-N2 値の範囲 C 英数字 S 特殊印刷文字 A 英大文字/小文字 X 値の中の位置
[対処]	正しくマスクが指定されているかどうかを確認してください。

NAT0018 : 算術演算のオペランドの構成に誤りがあります。

テキスト	算術演算のオペランドの構成に誤りがあります。
[説明]	- 算術演算での変数名のスペルに誤りがあります。または - 数値定数構成に正しくない文字が使用されています。または - 平方根演算関数に誤りがあります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0019 : 算術演算の受け取りフィールドにエラーがあります。

テキスト	算術演算の受け取りフィールドにエラーがあります。
[説明]	算術演算の受け取りフィールドは、正しい変数で定義する必要があります。 COMPUTE/ASSIGN 処理で変数名のスペルミス、または "=" 文字がありません。 また受け取り変数が INT、SIN などのシステム関数の場合にもこのエラーは発生します。 MULTIPLY/DIVIDE の受け取りフィールドが定数ではないことも確認してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0020 : **MULTIPLY** ステートメントに **"BY"** がありません。

テキスト	MULTIPLY ステートメントに "BY" がありません。
[説明]	MULTIPLY ステートメントでは、2つのオペランドを掛け合わせるため "BY" が必要です。 例: MULTIPLY 1 BY 2 GIVING RESULT
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0021 : **DIVIDE** ステートメントに **"INTO"** がありません。

テキスト	DIVIDE ステートメントに "INTO" がありません。
[説明]	DIVIDE ステートメントでは、2つのオペランドの間に "INTO" を指定する必要があります。 例: DIVIDE 2 INTO 7 GIVING RESULT
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0022 : MOVE ステートメントに "TO" がありません。

テキスト	MOVE ステートメントに "TO" がありません。
[説明]	MOVE ステートメントでは、値が移される結果フィールドを識別するために "TO" が必要です。 例: MOVE 1 TO #A MOVE #B TO #C #D #E #F
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0023 : フォーマット要素の指定にエラーがあります。

テキスト	フォーマット要素の指定にエラーがあります。
[説明]	FORMAT ステートメント、または 入出力ステートメント／個々の入出力項目で 指定されたフォーマット指定にエラーがあります。 正しいフォーマットエレメントキーワードを使用して フォーマット要素を指定する必要があります。 詳細については、Natural セッションパラメータドキュメントを 参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0024 : VERT モードでは "AS" オプションの後には "文字列" または "CAP" を指定する必要があります。

テキスト	VERT モードでは "AS" オプションの後には "文字列" または "CAP" を指定する必要があります。
[説明]	DISPLAY VERTICALLY AS を指定すると、 出力項目の縦型出力を要求する特殊オプションになります。 スペルミス、またはオプションが提供されない場合は行われません。 有効なオプションは次のとおりです。 DISPLAY VERTICALLY AS "ヘッダーテキスト" DISPLAY VERTICALLY AS CAPTIONED (または DISPLAY VERTICALLY AS CAP) DISPLAY VERTICALLY AS "ヘッダーテキスト" CAPTIONED 詳細については、Natural ステートメントドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0025 : **Natural** システム関数表記に右カッコがありません。

テキスト	Natural システム関数表記に右カッコがありません。
[説明]	SORT ステートメントでは、同一の Natural システム関数に対して複数の評価変数を指定できます。 同一のシステム関数で評価すべきフィールドリストはカッコで囲む必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0026 : **VERT** の後の出力項目が存在しない、または正しくありません。

テキスト	VERT の後の出力項目が存在しない、または正しくありません。
[説明]	DISPLAY ステートメントで、複数項目を縦型出力するための "VERT(ICALLY)" が指定されましたが、 "VERT" の後ろに正しい出力項目が見つかりませんでした。 変数名のスペルミスかまたは文字列の始まりにアポストロフィがありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0027 : 値の指定エラーが見つかりました。

テキスト	値の指定エラーが見つかりました。
[説明]	定数、事前に定義されている変数、またはデータベースフィールドを値として指定できます。 変数名のスペルミス、または文字列をアポストロフィで囲んでいません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0028 : **READ LOGICAL** ステートメントに、ディスクリプタがありません。

テキスト	READ LOGICAL ステートメントに、ディスクリプタがありません。
[説明]	READ LOGICAL ステートメントには、読み込み順序の制御に使用するディスクリプタの指定が必要です。 READ LOGICAL ステートメントに読み込み順が指定されないと、Natural はデータディクショナリのファイルに定義されたデフォルト順序の使用を試みます。 READ LOGICAL ステートメントにディスクリプタが指定されておらず、データディクショナリにデフォルト順も指定されていない場合は、このエラーメッセージが表示されます。
[対処]	- ディスクリプタを指定してください。 - または、データディクショナリにデフォルト順が定義されていることを確認してください。

NAT0029 : HISTOGRAM にディスクリプタ指定ミス／構文エラーがあります。

テキスト	HISTOGRAM にディスクリプタ指定ミス／構文エラーがあります。
[説明]	HISTOGRAM ステートメントでディスクリプタフィールドが指定されていません。または構文が正しくありません。HISTOGRAM ステートメントは、ディスクリプタの値を読み込みます。 データベースのインバーテッドリストを使用して 値が読み込まれるので、 ディスクリプタフィールドのみ指定することができます。
[対処]	正しいディスクリプタを指定してください。

NAT0030 : 関係式に誤りがあります。

テキスト	関係式に誤りがあります。
[説明]	正しい関係演算子は次のとおりです。 = または EQ または EQUAL TO ^= または NE または NOT EQUAL < または LT または LESS THAN <= または LE または LESS EQUAL > または GT または GREATER THAN >= または GE または GREATER EQUAL
[対処]	詳細については、Natural ドキュメントの「論理条件の基準」を参照してください。

NAT0031 : REDEFINE ステートメントに左カッコ／右カッコがありません。

テキスト	REDEFINE ステートメントに左カッコ／右カッコがありません。
[説明]	REDEFINE で新しい変数を定義するには、 始め／終わりに左カッコ／右カッコが必要です。 例: REDEFINE #A (#A1 (N3) #A2 (A7))
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0032 : AT BREAK または IF BREAK のコントロールフィールドが不正です。

テキスト	AT BREAK または IF BREAK のコントロールフィールドが不正です。
------	--

[説明]	<p>AT BREAK ステートメントまたは IF BREAK 条件で、ブレイクコントロールフィールドを示すために、データベースフィールドまたはユーザー定義変数を使用できます。ユーザー定義変数を使用する場合、事前にこれを定義しておく必要があります。ブレイクコントロール変数には、"C"（属性制御）フォーマットを除く、任意のフォーマットを使用できます。ブレイク変数の最大長は英数字変数 253 バイトとバイナリ変数 126 バイトです。より大きなサイズの英数字変数を使用する必要がある場合は、明示的な "/n/" 節でブレイク桁数を減らす必要があります。アルファ DYNAMIC として定義された変数にも同じことが適用されます。例：#A300(A300) #DYN(A) DYNAMIC が定義されていると仮定します。 AT BREAK OF #A300 /10/ IF BREAK OF #DYN /177/</p>
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0034 : 行送りの数を指定する数字定義がない、または正しくありません。

テキスト	行送りの数を指定する数字定義がない、または正しくありません。
[説明]	SKIP、EJECT、または NEWPAGE ステートメントで行送りする数は数値定数、または数値変数で指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0035 : AT START OF DATA ステートメントの "DATA"/AT TOP OF PAGE の "PAGE" がありません。

テキスト	AT START OF DATA ステートメントの "DATA"/AT TOP OF PAGE の "PAGE" がありません。
[説明]	AT START OF DATA ステートメントには "DATA" が必要です。AT TOP OF PAGE ステートメントには "PAGE" がありません。スペルミス、または指定されていない可能性があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0037 : 名前がありません。または名前を誤って指定しています。

テキスト	名前がありません。または名前を誤って指定しています。
[説明]	<p>次のいずれかの条件でこのエラーが発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - コンパイル時：ステートメントに指定されたオブジェクト名（例：サブプログラム、ダイアログ）のフォーマットまたは長さが正しくありません。 - ランタイム：オブジェクト名を指定するためにダイナミック英数字変数が使用されており、変数の現在の長さが最大長の 8 文字を超えています。
[対処]	名前は、1~8 桁の文字定数、または変数 (A1~A8) で指定してください。あるいは 8 文字を超えるダイナミック変数を使わないでください。

NAT0038 : REDEFINE ベースフィールドのフィールド参照が正しくありません。

テキスト	REDEFINE ベースフィールドのフィールド参照が正しくありません。
[説明]	REDEFINE ステートメントのベースフィールドは、ユーザー定義変数またはデータベースフィールドのいずれかになります。ユーザー定義変数の場合は、事前に定義する必要があります。データベースフィールドの場合は、アクティブな処理ループ内のフィールドである必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0039 : REDEFINE のフィールドの合計長がベースフィールドの長さを超えました。

テキスト	REDEFINE のフィールドの合計長がベースフィールドの長さを超えました。
[説明]	REDEFINE ステートメント内のフィールド長の合計はベースフィールドの長さ以下となる必要があります。グループに HANDLE または DYNAMIC タイプのフィールドが含まれる場合、HANDLE または DYNAMIC 変数の前でのみフィールドを再定義できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0040 : AT TOP OF PAGE は、1 レポートに対して 1 回だけ指定できます。

テキスト	AT TOP OF PAGE は、1 レポートに対して 1 回だけ指定できます。
[説明]	同じレポートに対して AT TOP OF PAGE は 1 度しか指定できません。さまざまな条件により複数の AT TOP OF PAGE 処理を実行する場合は、同一の AT TOP OF PAGE ステートメント内に指定し、処理を分ける必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0041 : AT END OF PAGE は、1 レポートに対して 1 回だけ指定できます。

テキスト	AT END OF PAGE は、1 レポートに対して 1 回だけ指定できます。
[説明]	AT END OF PAGE は、1 レポートに対して 1 回だけ指定できます。AT END OF PAGE 条件で複数の処理を定義したい場合は、同一の AT END OF PAGE ステートメント内で条件ごとに各処理を指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0042 : CIPHER コードの指定に誤りがあります。

テキスト	CIPHER コードの指定に誤りがあります。
[説明]	データベースファイルに対するサイファコードは、8桁の数値定数、または数値変数で指定できます。数値変数は (N8) フォーマットです。CIPHER と値との間には等号 (=) を指定する必要があります。値が数値変数で与えられる場合、この変数は REDEFINE できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0043 : Adabas パスワードとして正しくない内容が指定されました。

テキスト	Adabas パスワードとして正しくない内容が指定されました。
[説明]	Adabas パスワードは、英数字定数として、または英数字変数を使用して定義できます。PASSWORD とパスワード値との間に等号 (=) を指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0044 : 出力項目が定義されていない、または添字指定が正しくありません。

テキスト	出力項目が定義されていない、または添字指定が正しくありません。
[説明]	次の場合このエラーが発生します。 - 出力項目の名前にエラーがあります。 - 事前に定義していない変数が参照されています。 - キーワードのスペルミスがあります。 - 正しくない添字指定があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0045 : UPDATE/DELETE ステートメントの参照指定に誤りがあります。

テキスト	UPDATE/DELETE ステートメントの参照指定に誤りがあります。
[説明]	参照構文に誤りがあります。または参照が許されていません。参照は FIND/GET/READ ステートメントに対してのみ可能です。UPDATE/GET/DELETE は FIND ステートメントと同じ行にあってはなりません。GET SAME ステートメントへの参照はできません。この場合は最初にレコードをアクセスしたステートメントを参照してください。
[対処]	上記の原因をチェックし、エラーを修正してください。

NAT0046 : UPDATE/STORE ステートメントのパラメータフィールドリストにエラーがあります。

テキスト	UPDATE/STORE ステートメントのパラメータフィールドリストにエラーがあります。
[説明]	1つの UPDATE/STORE ステートメントでは、 1つのファイルのフィールドしか更新できません。フィールドに対する値は、定数、ユーザー定義変数、または データベースフィールドの内容です。
[対処]	パラメータリストをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0047 : 変数の定義にエラーがあります。

テキスト	変数の定義にエラーがあります。
[説明]	次のエラーのうちの1つが検出されました。 - OBTAIN ステートメント内で、参照したフィールドが データベース配列内に存在しません。 - ステートメント参照および/またはフィールド長指定のエラーが検出されました。 - 添字指定エラーが検出されました。 正 OBTAIN ARRAY (1:5) 正 OBTAIN ARRAY (#I:#I+9) 誤 OBTAIN ARRAY (#I:#J)
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0048 : UPDATE/STORE でフィールド/値のフォーマットの組み合わせが正しくありません。

テキスト	UPDATE/STORE でフィールド/値のフォーマットの組み合わせが正しくありません。
[説明]	パラメータリストのフィールドと値の組み合わせは 通常の割り当て規則に従います。 あるフォーマットの値を非互換なフォーマットのフィールドに 割り当てようとしてしました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0049 : UPDATE/STORE ステートメントの値エントリにエラーがあります。

テキスト	UPDATE/STORE ステートメントの値エントリにエラーがあります。
[説明]	UPDATE/STORE ステートメントの値として指定できるのは、 定数、ユーザー定義変数、またはデータベースフィールドです。 データベースフィールドを値として指定する場合は、 現在アクティブな FIND/READ/GET ループを参照する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0050 : GET SAME ステートメントに参照エラーがあります。

テキスト	GET SAME ステートメントに参照エラーがあります。
[説明]	GET SAME ステートメントはデフォルトで最後のデータベースアクセスを参照しますが、特定のデータベースへのアクセスを明示的に指定して参照することもできます。明示的な参照を行う場合は、そのデータベースアクセスがアクティブである必要があります。
[対処]	GET SAME の参照をチェックし、エラーを修正してください。

4 Natural システムエラーメッセージ 0051～0100

NAT0051 : GET ステートメントにフィールド参照エラーがあります。

テキスト	GET ステートメントにフィールド参照エラーがあります。
[説明]	GET ステートメントに次のうちの1つのエラーが検出されました。 - 参照するフィールドが指定されたファイルに存在しません。 - データベース配列を指定する添字指定に誤りがありました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0052 : GET/READ ステートメントで不正な ISN 値を指定されました。

テキスト	GET/READ ステートメントで不正な ISN 値を指定されました。
[説明]	GET/READ ステートメントの ISN 値は整数定数、ユーザー定義変数、または Natural システム変数 *ISN を指定できます。 *ISN を使用する場合、ISN でレコードを読むために使用されたデータベースステートメントのステートメントラベル、またはソースコード行番号 (r) を指定する必要があります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0053 : 同一レポートに複数の WRITE TITLE/TRAILER ステートメントが指定されました。

テキスト	同一レポートに複数の WRITE TITLE/TRAILER ステートメントが指定されました。
[説明]	WRITE TITLE/TRAILER ステートメントは、1 レポートに対して1回しか指定できません。
[対処]	WRITE TITLE/TRAILER ステートメントのレポート参照をチェックしてください。

NAT0054 : **Natural** システム関数のエントリにエラーがあります。

テキスト	Natural システム関数のエントリにエラーがあります。
[説明]	Natural システム関数はアスタリスク (*) で示されています。 * の後に正しい Natural システム関数名を指定する必要があります。 例：MOVE *MAX (SALARY) TO RICHPERSON
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0055 : **Natural** システム関数の引数にエラーがあります。

テキスト	Natural システム関数の引数にエラーがあります。
[説明]	引数として指定できるのは、事前に定義されたユーザー定義変数、 またはデータベースフィールドです。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0056 : **SORT** ステートメントが正しく使用されていません。

テキスト	SORT ステートメントが正しく使用されていません。
[説明]	SORT ステートメントは、アクティブな処理ループ内でのみ使用 できます。 SORT ステートメントは、他の SORT ステートメントによって 初期化された処理ループ中に指定することはできません。 プログラムが複数の SORT ステートメントを含んでいる場合は、 すべて USING 節を含まなければなりません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0057 : **WITH LIMIT** 節の数字指定にエラーがあります。

テキスト	WITH LIMIT 節の数字指定にエラーがあります。
[説明]	後の処理のために選択するレコードの制限数の指定が正しくありません。 指定できる値は、数値定数、または事前に定義された数値変数です。 例：WITH LIMIT(123) WITH LIMIT(#LMT)
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0058 : 処理レコード数の指定にエラーがあります。

テキスト	処理レコード数の指定にエラーがあります。
[説明]	FIND/READ/HISTOGRAM ステートメントで開始された処理ループの処理レコード数は (n) で制限することができます。 n には数値定数、または事前に定義された数値変数を指定できます。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0059 : WHERE 節にフィールド指定エラーがあります。

テキスト	WHERE 節にフィールド指定エラーがあります。
[説明]	エラーの原因は、次のとおりです。 - 指定された名前に誤りがあります。 - 未評価の Natural システム関数を参照しました。 - 許可されていないところに新しい変数が定義されました。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0060 : 論理条件の変数指定に誤りがあります。

テキスト	論理条件の変数指定に誤りがあります。
[説明]	関係式の左辺が正しく指定されていません。 エラーの原因として、 ステートメント内の関係演算子に続く変数名 またはキーワードのスペルミスが考えられます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0061 : ADD/MULTIPLY/SUBTRACT/DIVIDE の GIVING 節にエラーがあります。

テキスト	ADD/MULTIPLY/SUBTRACT/DIVIDE の GIVING 節にエラーがあります。
[説明]	ADD/MULTIPLY/SUBTRACT/DIVIDE ステートメントの "GIVING" 節の後には、 変数参照のために有効な表記を指定する必要があります。 ユーザー定義変数またはデータベースフィールドを使用できます。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0062 : MOVE ステートメントの受け取りフィールドが正しくありません。

テキスト	MOVE ステートメントの受け取りフィールドが正しくありません。
------	----------------------------------

[説明]	<p>MOVE ステートメントの "TO" の後には、変数参照のために有効な表記を指定する必要があります。ユーザー定義変数、またはデータベースフィールドを使用できます。</p> <p>受け取りフィールドがシステム変数である場合は、MOVE LEFT/RIGHT JUSTIFIED は使用できません。</p> <p>"MOVE .. SUBSTR(..) オペランド" には下記が適用されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> - SUBSTR 引数フィールドは、英数字またはバイナリでなければなりません。 - バイナリ SUBSTR(..) への数字フィールド (N タイプ) の MOVE は許可されていません。 - 受け取りフィールドがバイナリの場合、パラメータ "(PM=I)" は許可されていません。 - A/B タイプ以外の受け取りフィールドへの SUBSTR(..) の MOVE は許可されていません。 <p>LEFT/RIGHT JUSTIFIED オプションの使用は許可されていません。</p>
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0063 : Natural システム関数の評価フィールドにエラーがあります。

テキスト	Natural システム関数の評価フィールドにエラーがあります。
[説明]	<p>AT BREAK/END DATA 条件に続く WRITE/DISPLAY ステートメントの Natural システム関数の評価フィールドが正しく指定されていません。</p> <p>ユーザー定義変数またはデータベースフィールドを使用できます。</p> <p>ユーザー定義変数を使用する場合、事前にこれを定義しておく必要があります。</p> <p>データベースフィールドを使用する場合、アクティブな処理ループ内で使用できる必要があります</p> <p>配列内のデータベースフィールドの場合、1つの添字 (1次元配列)、または添字の範囲指定 (2次元配列) を使用できます。</p>
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0064 : パラメータのオペランドが不正です。

テキスト	パラメータのオペランドが不正です。
[説明]	<ul style="list-style-type: none"> - CALL または、SEND METHOD ステートメントのパラメータ値に、不正なオペランドが指定されています。 - PROCESS GUI または PROCESS REPORTER ステートメントのパラメータオペランドが、適切な処理に必要なパラメータ定義に違反しています。 - OPEN DIALOG または SEND EVENT ステートメントのパラメータオペランドが、適切なダイアログのパラメータ定義と一致しません。
[対処]	パラメータのオペランドをチェックしてください。

NAT0065 : グループ、またはピリオディックグループが **VERT** モードで参照されました。

テキスト	グループ、またはピリオディックグループが VERT モードで参照されました。
[説明]	グループおよびピリオディックグループは 出力に複数の行を必要とするのため、DISPLAY ステートメントの HORIZONTAL モードでのみ参照できます。 参照する前に、出力モードを "HORIZ" に指定してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0066 : **LIMIT** ステートメントの定数指定にエラーがあります。

テキスト	LIMIT ステートメントの定数指定にエラーがあります。
[説明]	LIMIT ステートメントの値は数値定数しか指定できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0067 : **FOR** ステートメントのコントロール値指定にエラーがあります。

テキスト	FOR ステートメントのコントロール値指定にエラーがあります。
[説明]	コントロール値は数値でなければならず、定数、ユーザー定義変数、またはデータベースフィールドを指定できます。 TO 値は数値定数、ユーザー定義変数、またはデータベースフィールドを指定できます。 データベースフィールドは、アクティブな処理ループ内で有効である必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0068 : **GLOBALS** コマンドのパラメータエラーです。

テキスト	GLOBALS コマンドのパラメータエラーです。
[説明]	GLOBALS コマンドのパラメータは、パラメータ識別子およびパラメータに対する正しいパラメータを指定する必要があります。 詳細については、Natural システムコマンドおよびセッションパラメータドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0069 : COUPLED 節を含んだ検索条件にエラーがあります。

テキスト	COUPLED 節を含んだ検索条件にエラーがあります。
[説明]	FIND ステートメントの COUPLED 節は、Adabas のカップリング機能を含む検索を指定するために使用されます。COUPLED 節は、4 つまで指定できます。詳細については、Natural ステートメントドキュメントの FIND ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0070 : GIVE SYSTEM FUNCTIONS 節は、1 レポートにつき 1 回しか指定できません。

テキスト	GIVE SYSTEM FUNCTIONS 節は、1 レポートにつき 1 回しか指定できません。
[説明]	GIVE SYSTEM FUNCTIONS 節は、AT END OF PAGE 条件で Natural システム関数を参照可能にするために使用しますが、1 レポートにつき 1 回だけしか指定できません。詳細については、Natural ステートメントドキュメントの DISPLAY ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0071 : 定義された名前に誤りがあります。

テキスト	定義された名前に誤りがあります。
[説明]	サブルーチンの名前は、ユーザー定義変数に適用される規則と同じ規則に従っている必要があります (Natural ドキュメントの「ユーザ定義変数」を参照)。クラス、プロトタイプ、または関数の名前も (クラス/プロトタイプ名にピリオドの使用が許可されることを除いて) 同じ規則に従っている必要があります。
[対処]	名前の定義を修正してください。

NAT0072 : 同じ名前のサブルーチンがすでに存在します。

テキスト	同じ名前のサブルーチンがすでに存在します。
[説明]	- 複数のサブルーチンに対して同じサブルーチン名を使用しています。プログラム内のサブルーチン名はユニークでなければなりません。 - または、内部サブルーチンにパラメータを渡そうとしました。外部サブルーチンに対してのみパラメータを渡すことができます。
[対処]	定義されたサブルーチンの名前をチェックしてください。パラメータの受け渡しをチェックしてください。

NAT0073 : **SORT** フィールドエラー。フィールドが事前に定義されていません。

テキスト	SORT フィールドエラー。フィールドが事前に定義されていません。
[説明]	SORT ステートメントのソート条件に使用するフィールドは、アクティブな処理ループ内で使用可能なデータベースフィールドまたは、事前に定義されているユーザー定義変数です。 同一フィールドは、SORT キーフィールド内または USING 節内で 2 度参照できません。 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの SORT ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0074 : **PERFORM SUBROUTINE** に指定された名前が正しくありません。

テキスト	PERFORM SUBROUTINE に指定された名前が正しくありません。
[説明]	1) サブルーチン名をアポストロフィで囲んではいけません。 2) PERFORM ステートメントを使用してインラインサブルーチン呼び出す場合は、サブルーチンに渡す明示パラメータを PERFORM ステートメントで指定しないでください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0075 : **RETURN** または **END-SUBROUTINE** ステートメントがない、または位置が正しくありません。

テキスト	RETURN または END-SUBROUTINE ステートメントがない、または位置が正しくありません。
[説明]	次のいずれかの場合にこのエラーが発生します。 1) 対応する DEFINE SUBROUTINE がない RETURN または END-SUBROUTINE が見つかりました。 2) サブルーチンが、条件ステートメントブロック (例: IF、DECIDE) 内で開始されましたが、当ステートメントの終了 (END-IF など) で閉じられませんでした。 例: フィールドが "A" の場合、 DEFINE SUBROUTINE ABC WRITE "HELLO" END-IF 3) サブルーチンが空です。 つまり、DEFINE SUBROUTINE ステートメントブロック内にステートメントがありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0076 : 指定されたワークファイルが使用可能でない、または定義されていません。

テキスト	指定されたワークファイルが使用可能でない、または定義されていません。
[説明]	バッチ環境では、ワークファイルは、参照ワークファイルを識別する JCL ステートメントで定義する必要があります。 ワークファイルをサポートしているオンライン環境下では、Natural セッション起動時にパラメータ設定でワークファイルを定義する必要があります。
[対処]	指定したワークファイルが正しいかどうかプログラムをチェックしてください。 指定が正しい場合は、Natural 管理者に使用可能なワークファイルについて確認してください。

NAT0077 : READ/WRITE WORK FILE のデータフィールドにエラーがあります。

テキスト	READ/WRITE WORK FILE のデータフィールドにエラーがあります。
[説明]	データフィールドは、データベースフィールドまたはユーザー定義変数として指定できます。 RECORD オプションを使用する場合は、変数を事前に定義しないでください。また、ダイナミック変数（利用可能な場合）を使用しないでください。 SELECT オプションを使用する場合は、変数を事前に定義することができます。 WRITE WORK FILE では数値定数も使用できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0078 : READ WORK FILE の "FILLER nX" の指定にエラーがあります。

テキスト	READ WORK FILE の "FILLER nX" の指定にエラーがあります。
[説明]	"FILLER nX" を使用して、データ構成の定義にフィラーを指定できます。n は整数です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0079 : AT END OF FILE 節の指定が正しくありません。

テキスト	AT END OF FILE 節の指定が正しくありません。
[説明]	READ WORK FILE ステートメントで AT END OF FILE 節を指定する場合は ONCE オプションも指定する必要があります。 ONCE オプションを指定しないと、通常の処理ループが作成され、エンドオブファイル条件は処理ループの正常終了として扱われます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0080 : コマンド/プログラム名が正しくありません。

テキスト	コマンド/プログラム名が正しくありません。
[説明]	入力したコマンド、または実行するプログラム名の最初の文字が正しくありません。システムコマンドまたはプログラム名の最初の文字は英字でなければなりません。 数字または特殊文字は使用できません。
[対処]	正しいコマンドまたはプログラム名を入力してください。

NAT0081 : READ コマンドにプログラム名がありません。

テキスト	READ コマンドにプログラム名がありません。
[説明]	READ コマンドは、ソースオブジェクトをアクティブな Natural ライブラリ（または、オプションでコマンドに指定したライブラリ）から、オブジェクトタイプに適したエディタワークエリアに読み込みます。 コマンドの正しい構文は次のとおりです。READ オブジェクト名 <ライブラリ ID> Natural Security がアクティブな場合、ライブラリ ID は指定できません。 また、ライブラリ ID を "SYS" で始めてはいけません（SYSTEM を除く）。
[対処]	正しいオブジェクト名を指定して、READ コマンドを入力してください。

NAT0082 : 不正なコマンドです。またはライブラリに :1::2: がありません。

テキスト	不正なコマンドです。または、ライブラリに がありません。
[説明]	次のいずれかが原因として考えられます。 - コマンド行に、STEPLIB またはアクティブなライブラリ内にはない Natural コマンドまたはプログラム名を入力した場合。 - Natural プログラム/サブプログラム/サブルーチン/ヘルプルーチンを実行したときに、要求したカタログ済みのオブジェクトが現在アクティブなライブラリまたは STEPLIB として定義されたライブラリに存在しない場合。 - 指定したオブジェクトが格納されているシステムファイルとは異なるシステムファイルを Natural セッションで使用しています。
[対処]	正しいコマンド、または存在するカタログ済みの Natural オブジェクト名を入力してください。SYSPROF コマンドを使用して正しいシステムファイルを使用しているかどうかをチェックしてください。

NAT0083 : ワークエリアが空のときに、**SAVE** や **CATALOG** コマンドが発行されました。

テキスト	ワークエリアが空のときに、SAVE や CATALOG コマンドが発行されました。
[説明]	すべてのオブジェクトは、エディタワークエリアからのみSAVE/CATALOGされます。また、READ/EDIT コマンドでワークエリアに読み込まれます。 ("RUN プログラム名" コマンドも、指定したプログラムのソースを、コンパイル/実行前にエディタワークエリアに読み込みます。)
[対処]	SAVE/CATALOG を使用する前に READ/EDIT を使用してください。

NAT0084 : 同一のオブジェクト名がすでに存在します；**SAVE/CATALOG** されませんでした。

テキスト	同一のオブジェクト名がすでに存在します；SAVE/CATALOG されませんでした。
[説明]	Natural はユニークなオブジェクト名を必要とします。 すでに存在するオブジェクトと同じ名前は使用できません。
[対処]	-すでに SAVE/CATALOG されているオブジェクトとは異なる 名前にしてください。または、 - SAVE/CATALOG コマンドを発行する前に、 同一名の既存オブジェクトを RENAME/PURGE/UNCATALOG/SCRATCH してください。

NAT0085 : **SAVE/CATALOG** コマンドで正しくないプログラム名が指定されました。

テキスト	SAVE/CATALOG コマンドで正しくないプログラム名が指定されました。
[説明]	プログラム名は、英文字で始まり、 8文字以下である必要があります。
[対処]	正しいプログラム名を指定してください。

NAT0086 : **AT END OF FILE** 節内で **READ WORK FILE ONCE** を使用してはいけません。

テキスト	AT END OF FILE 節内で READ WORK FILE ONCE を使用してはいけません。
[説明]	AT END OF FILE 節内で READ WORK FILE ONCE ステートメントを 使用しないでください。 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの READ WORK FILE ステートメントを参照してください。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0087 : **DEFINE DATA** ステートメントの **USING** 節のパラメータが正しくありません。

テキスト	DEFINE DATA ステートメントの USING 節のパラメータが正しくありません。
[説明]	DEFINE DATA ステートメントの USING 節内に不正なパラメータがあります。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0088 : ワークエリアにプログラムが無い状態で、**RUN** コマンドが発行されました。

テキスト	ワークエリアにプログラムが無い状態で、RUN コマンドが発行されました。
[説明]	エディタワークエリアにプログラムがある場合は、プログラム名を指定せずに RUN コマンドを発行して、そのプログラムをコンパイルし、実行することができます。エディタワークエリアが空の場合、プログラムをワークエリアに読み込み、コンパイル/実行するので、RUN コマンドはプログラム名とともに指定する必要があります。
[対処]	- プログラム名を指定してください。または - RUN コマンドを発行する前に READ/EDIT コマンドでワークエリアにソースプログラムを読み込んでください。

NAT0089 : **CHECK** コマンドが発行されましたが、ワークエリアにプログラムが存在しませんでした。

テキスト	CHECK コマンドが発行されましたが、ワークエリアにプログラムが存在しませんでした。
[説明]	CHECK コマンドは、EDIT/READ/RUN コマンドでソースワークエリア内にソースプログラムを読み込んだ後でのみ使用することができます。
[対処]	CHECK コマンドを発行する前に、EDIT または READ コマンドを使用してプログラムをソースワークエリアに読み込んでください。

NAT0090 : **THRU** 節にサブ/スーパーディスクリプタは使用できません。

テキスト	THRU 節にサブ/スーパーディスクリプタは使用できません。
[説明]	THRU 節にサブ/スーパーディスクリプタは使用できません。THRU 節に使用される変数を作成するために、REDEFINE ステートメントを使用できます。HISTOGRAM ステートメントでサブ/スーパーディスクリプタの値を順に読み込んでから、レコードから読み込んだ各値を使用して FIND ステートメントを発行してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0091 : UPDATE コマンドには "ON" または "OFF" だけを指定できます。

テキスト	UPDATE コマンドには "ON" または "OFF" だけを指定できます。
[説明]	UPDATE コマンドは、データベースの更新を可能／不可能にするために使用されます： - "UPDATE ON" データベース更新可能 - "UPDATE OFF" データベース更新不可能 他のオプションは UPDATE コマンドでは使用できません。
[対処]	"UPDATE ON" または "UPDATE OFF" を入力してください。

NAT0092 : DEFINE DATA 内のブロック名が正しくない、または指定されていません。

テキスト	DEFINE DATA 内のブロック名が正しくない、または指定されていません。
[説明]	グローバルデータエリア内に存在するデータブロックのブロック名の処理中に、次のエラーのいずれかが検出されました。 - ブロック名の指定方法が正しくありませんでした。 - 指定されたデータブロックが現在のグローバルデータエリアにありませんでした。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0094 : DEFINE DATA ステートメントで初期値の定義に誤りがあります。

テキスト	DEFINE DATA ステートメントで初期値の定義に誤りがあります。
[説明]	DEFINE DATA ステートメントで初期値の定義が正しくありません。特に、Natural セッションパラメータ DTFORM は、DEFINE DATA ステートメント内の値定義と一致する必要があります。 例： DTFORM=U で D"YYYY-MM-DD" 定数の場合 さらに、数字の初期値には、変数内の定義よりも多い小数点以下桁数や小数点前桁数を持つことはできません。 例： 1 #FLD1 (N2.2) INIT <12.345> 1 #FLD2 (N2.2) INIT <123.45>
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0095 : (RE)INPUT の文字列として、英数字の定数／フィールドだけが使用できます。

テキスト	(RE)INPUT の文字列として、英数字の定数／フィールドだけが使用できます。
[説明]	INPUT または REINPUT ステートメントの "text" には、英数字定数、既存の英数字ユーザー定義変数、または英数字データベースフィールドを指定できます。
[対処]	使用する変数を英数字フォーマットとして定義してあるか、またはテキスト定数がアポストロフィで囲まれているかどうかをチェックしてください。

NAT0096 : **DEFINE DATA** ステートメント内の **GLOBAL** の使用が正しくありません。

テキスト	DEFINE DATA ステートメント内の GLOBAL の使用が正しくありません。
[説明]	DEFINE DATA ステートメントでグローバルデータエリアを参照する場合、キーワード "GLOBAL" の後に "USING グローバルデータエリア名" を指定する必要があります。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0097 : **REDEFINE** ステートメントの変数定義が正しくありません。

テキスト	REDEFINE ステートメントの変数定義が正しくありません。
[説明]	次の理由が考えられます。 - フォーマット指定が正しくありません。 - フィールド長の指定が正しくありません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0098 : **RESET** ステートメントには、少なくとも 1 つのフィールドが必要です。

テキスト	RESET ステートメントには、少なくとも 1 つのフィールドが必要です。
[説明]	RESET ステートメントには、少なくとも 1 つのフィールドをキーワード RESET (またはキーワード INITIAL (使用する場合)) の後に指定する必要があります。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0099 : **COMPRESS** ステートメントでフィールド指定がエラーです。

テキスト	COMPRESS ステートメントでフィールド指定がエラーです。
[説明]	COMPRESS ステートメントは、複数のフィールド/文字を他のフィールドに圧縮します。圧縮する値を少なくとも 1 つ指定する必要があります。指定する値は、文字定数または英数字フィールドでなければいけません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0100 : **COMPRESS** または **MOVE ALL** では "C" (制御)、"L" (論理) フォーマットの使用はできません。

テキスト	COMPRESS または MOVE ALL では "C" (制御)、"L" (論理) フォーマットの使用はできません。
------	---

[説明]	-COMPRESS ステートメントを使用して、複数の値を1つの受け取りフィールドに圧縮できません。 圧縮される値を持つフィールドのフォーマットが "C" または "L" であってはなりません。 -MOVE ALL ステートメントは1つの値を1つの受け取りフィールドに繰り返し転送できます。転送される値は英数字 (A) かアンパック (N) フォーマットです。
[対処]	エラーを修正してください。

5

Natural システムエラーメッセージ 0101～0150

NAT0102 : **SORT** ステートメントに **Natural** システム関数の参照エラーがあります。

テキスト	SORT ステートメントに Natural システム関数の参照エラーがあります。
[説明]	システム関数 MAX、MIN、AVER、および TOTAL だけが評価されます。これらの値は * 関数 (変数) の形で SORT オペレーションの後に参照することができます。 例: MOVE *TOTAL(SALARY) TO PAYROLL-TOTAL(N8)
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0103 : **COMPRESS** で受け取りフィールドに不正なフィールド名が指定されました。

テキスト	COMPRESS で受け取りフィールドに不正なフィールド名が指定されました。
[説明]	COMPRESS ステートメントでは、結果を入れるための正しいフィールド名を "INTO" (または "TO") の後に指定する必要があります。 受け取りフィールドは英数字 (A) フォーマットでなければなりません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0104 : 1つのソースコード行に複数のループ開始ステートメントが指定されています。

テキスト	1つのソースコード行に複数のループ開始ステートメントが指定されています。
[説明]	処理ループを開始するステートメントは、1つのソースコード行に1つしか指定できません。
[対処]	ループ開始ステートメントを複数行に分けてください。

NAT0105 : データベースの更新が認められていません。

テキスト	データベースの更新が認められていません。
[説明]	Natural 管理者が、指定されたデータベースの更新を不可にしています。データベースを更新するプログラムを作成することはできません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0106 : **SAVE/CATALOG/STOW/PURGE/UNCATALOG/SCRATCH** は使用できません。

テキスト	SAVE/CATALOG/STOW/PURGE/UNCATALOG/SCRATCH は使用できません。
[説明]	Natural 管理者が、SAVE/CATALOG/STOW/PURGE/UNCATALOG/SCRATCH コマンドを使用できないようにプロファイルパラメータ ROSY および/または RECAT を設定しています。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0107 : **ET** データに **2000** バイト以上を指定できません。

テキスト	ET データに 2000 バイト以上を指定できません。
[説明]	END TRANSACTION ステートメントで指定できるユーザーデータは最大 2,000 バイトです。
[対処]	ET データの量を減らしてください。

NAT0108 : **WRITE WORK FILE** でグループフィールドの参照エラーがあります。

テキスト	WRITE WORK FILE でグループフィールドの参照エラーがあります。
[説明]	グループ名によって参照された個々のフィールドの処理中にエラーが発生しました。
[対処]	グループの定義をチェックしてください。

NAT0109 : **GET SAME** または **UPDATE** ステートメントで不正な参照が行われました。

テキスト	GET SAME または UPDATE ステートメントで不正な参照が行われました。
[説明]	GET SAME または UPDATE ステートメントでは、現在アクティブな処理ループ (つまり、データベースアクセスの処理ループが閉じられていない状態) の FIND/READ/GET ステートメントしか参照できません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0110 : END ステートメントの後にソーステキストを指定することはできません。

テキスト	END ステートメントの後にソーステキストを指定することはできません。
[説明]	END ステートメントは Natural オブジェクトのソースの終了を示します。 END ステートメントの後には、 ステートメントやコメントを指定することはできません。 エラーの原因は、 - スペルミス、または - AT END OF PAGE、AT END OF DATA、END TRANSACTION ステートメントでの "PAGE"、"DATA"、"TRANSACTION" の省略、または- END-DEFINE、 END-FIND、END-IF などのステートメントでのハイフンの書き忘れなどが考えられます。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0111 : :1:でのみ有効な処理です。

テキスト	...でのみ有効な処理です。
[説明]	指定された処理は現在利用できません。 その理由は、Software AG 製品やコンポーネントが、 - Natural FNAT システムファイルにインストールされていない。 - または、Natural ニュークリアスにリンクされていない。 - または、ダイナミック起動に使用可能ではない。 例えば、Natural Security をインストールしていないときに システムコマンド MAIL を使用すると、このエラーが発生します。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0112 : グループ名の使用が正しくありません。

テキスト	グループ名の使用が正しくありません。
[説明]	このステートメントにグループ名を指定しないでください。 代わりに、エレメンタリフィールドを指定してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0114 : SET KEY ステートメントの構造にエラーがあります。

テキスト	SET KEY ステートメントの構造にエラーがあります。
[説明]	詳細については、Natural ステートメントドキュメントの SET KEY ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0115 : GET TRANSACTION DATA ステートメントの変数定義にエラーがあります。

テキスト	GET TRANSACTION DATA ステートメントの変数定義にエラーがあります。
[説明]	エラーの原因は変数名のスペルミスが考えられます。 GET TRANSACTION DATA ステートメントでは、 どのフォーマットのどのタイプの変数でも指定できます。 変数は、GET TRANSACTION DATA ステートメントで 新しく定義することも、またはすでに定義されている変数を参照することもできます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0116 : AT BREAK ステートメントの "/n/" 指定が正しくありません。

テキスト	AT BREAK ステートメントの "/n/" 指定が正しくありません。
[説明]	AT BREAK ステートメントまたは IF BREAK 条件内の "/n/" 表記が 正しく指定されていません。 "n" には、先頭または末尾に空白文字のない、 スラッシュ (/) で囲まれた 1～253 の範囲内の値の数値定数を 指定する必要があります。 例：AT BREAK OF POST-CODE /5/ IF BREAK OF BIRTH /2/
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0117 : SUSPEND IDENTICAL SUPPRESS に "IDENTICAL" がありません。

テキスト	SUSPEND IDENTICAL SUPPRESS に "IDENTICAL" がありません。
[説明]	SUSPEND IDENTICAL SUPPRESS ステートメントには "IDENTICAL" を必ず指定する必要があります。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0118 : ファンクションキーに割り当てる値のフォーマットが "A" ではありません。

テキスト	ファンクションキーに割り当てる値のフォーマットが "A" ではありません。
[説明]	ファンクションキーに割り当てる値は、文字定数、または "A" フォーマットのユーザー定義変数です。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0119 : **MOVE ALL** ステートメントの **UNTIL** 値のフォーマットが正しくありません。

テキスト	MOVE ALL ステートメントの UNTIL 値のフォーマットが正しくありません。
[説明]	UNTIL オプションで指定できる値のフォーマットは、次のいずれかでなければなりません。 - 正の整数定数値 - "整数 (Integer) " タイプの変数 - 小数桁なしの "数字 (Numeric) / パック (Packed) " タイプの変数 システム変数の使用は許可されていません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0121 : このステートメントはストラクチャードモードで使えません。

テキスト	このステートメントはストラクチャードモードで使えません。
[対処]	- このステートメントを使用しないでください。または - レポートモードに変更してください。

NAT0122 : **IF SELECTION** で指定可能なフィールドのフォーマットは **A**、**C**、**L** だけです。

テキスト	IF SELECTION で指定可能なフィールドのフォーマットは A、C、L だけです。
[説明]	IF SELECTION ステートメントは、英数字、属性制御、および論理フィールドの内容が空白でないことをチェックするためにのみ使用してください。同じタイプのオペランドだけをチェックできます。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0123 : **IF SELECTION** ステートメントのフィールド指定にエラーがあります。

テキスト	IF SELECTION ステートメントのフィールド指定にエラーがあります。
[説明]	IF SELECTION ステートメントには、少なくとも 1 つのフィールドを指定する必要があります。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0124 : **MOVE INDEXED** ステートメントの添字にエラーがあります。

テキスト	MOVE INDEXED ステートメントの添字にエラーがあります。
[説明]	添字には数値定数、または "N" フォーマットで定義されたユーザー定義変数を指定できます。 例：MOVE INDEXED #A <5> TO #B <2> MOVE INDEXED #A <#INDEX> TO #B <#INDEX>
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0125 : DISPLAY/WRITE/INPUT の後に出力項目を指定していないか、無効です。

テキスト	DISPLAY/WRITE/INPUT の後に出力項目を指定していないか、無効です。
[説明]	DISPLAY、WRITE、INPUT ステートメントには少なくとも1つの項目を指定する必要があります。エラーの原因として、他の Natural ステートメントと混同するような変数名をスペルミスなどで誤って指定したことが考えられます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0126 : 変数の修飾エラーがあります。

テキスト	変数の修飾エラーがあります。
[説明]	1 レベルのみ修飾できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0127 : FIND AND RETAIN AS 節には "AS" がありません。

テキスト	FIND AND RETAIN AS 節には "AS" がありません。
[説明]	"AS" は、実行される RETAIN SET 処理を示すので、必ず指定する必要があります。
[対処]	FIND ステートメントの RETAIN 節に "AS" を追加してください。

NAT0128 : 集合を識別するための値は英数字フォーマットでなければなりません。

テキスト	集合を識別するための値は英数字フォーマットでなければなりません。
[説明]	RETAIN 節のレコード集合を識別するために指定できる値（定数または変数）は英数字フォーマットだけです。このエラーは、FIND ステートメントの WITH 節に非ディスクリプタを指定した場合に発生します。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0129 : RETAIN AS 節に指定した集合名の長さが 32 文字を超えました。

テキスト	RETAIN AS 節に指定した集合名の長さが 32 文字を超えました。
[説明]	集合名として指定できるのは、英数字定数または英数字変数であり、集合名の長さは 32 文字以内にする必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0130 : **HORIZ/VERT** キーワードの直前に "/" を指定することはできません。

テキスト	HORIZ/VERT キーワードの直前に "/" を指定することはできません。
[説明]	キーワード HORIZ(ONTALLY) および VERT(ICALLY) を指定すると新しい出力欄に位置付けられます。新しい欄をすでに処理された欄の下に位置付けることはできないので、次の項目を前の項目の下に位置付けることを意味する文字 "/" をキーワード HORIZ、VERT、HORIZONTALLY、VERTICALLY の前に指定することはできません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0131 : **GET TRANSACTION DATA** では少なくとも 1 つの変数が必要です。

テキスト	GET TRANSACTION DATA では少なくとも 1 つの変数が必要です。
[説明]	GET TRANSACTION DATA ステートメントには、トランザクションデータを入れるために少なくとも 1 つの変数が含まれていなければなりません。エラーの原因として、変数名のスペルミス、または変数名として使用できない文字を指定したことが考えられます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0132 : オペランドを定義していないか英数字/バイナリフォーマットではありません。

テキスト	オペランドを定義していないか英数字/バイナリフォーマットではありません。
[説明]	EXAMINE ステートメント内で実行される変数は、事前に定義された英数字またはバイナリフォーマットでなければなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0134 : **EXAMINE** ステートメントの **NUMBER** オプションにエラーがあります。

テキスト	EXAMINE ステートメントの NUMBER オプションにエラーがあります。
[説明]	エラーの原因として、変数名のスペルミスが考えられます。NUMBER 変数は、数値フォーマット ("N"、"P"、または "I") で、整数でなければなりません。詳細については、Natural ステートメントドキュメントの EXAMINE ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0135 : EXAMINE ステートメントに DELETE/REPLACE/GIVING 節がありません。

テキスト	EXAMINE ステートメントに DELETE/REPLACE/GIVING 節がありません。
[説明]	EXAMINE ステートメントには、次のうち少なくとも1つの節が必要です。 REPLACE DELETE GIVING NUMBER GIVING POSITION GIVING LENGTH GIVING INDEX 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの EXAMINE ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0136 : EXAMINE TRANSLATE ステートメントにエラーがあります。

テキスト	EXAMINE TRANSLATE ステートメントにエラーがあります。
[説明]	EXAMINE TRANSLATE ステートメントには、キーワード "TRANSLATE" の後に "INTO UPPER"、"INTO LOWER"、または USING 節がなければなりません。 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの EXAMINE TRANSLATE ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0137 : RELEASE ステートメントにオブジェクトが指定されていません。

テキスト	RELEASE ステートメントにオブジェクトが指定されていません。
[説明]	RELEASE ステートメントで解放されるオブジェクトは、次のとおりです。 STACK - スタックから全データを解放します。 PARAMETERS - セッション中に生成した全パラメータを解放します。 SETS - FIND で検索したすべての集合を解放します。 SET 集合名 - FIND で検索した特定の集合を解放します。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0138 : **FIND** で検索されたレコードの集合名は、英数字で **32** バイト以内です。

テキスト	FIND で検索されたレコードの集合名は、英数字で 32 バイト以内です。
[説明]	集合名は英数字定数か、英数字を含む変数で指定してください。 変数の内容は、検索された集合を識別するために使われるので、 英数字の値は、検索された集合を表す最大長の 32 バイトまでとする必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0139 : **STACK** ステートメントには少なくとも **1** つのデータ項目を指定しなければなりません。

テキスト	STACK ステートメントには少なくとも 1 つのデータ項目を指定しなければなりません。
[説明]	STACK ステートメントのデータ項目として指定できるのは、 "A"、"N"、"B" フォーマットの定数または変数です。 このうち少なくとも 1 つを STACK ステートメントに指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0140 : "**NOT**" は "**AND**" 論理演算の後にだけ定義できます。

テキスト	"NOT" は "AND" 論理演算の後にだけ定義できます。
[説明]	集合の排除処理は、"AND" 論理演算の後に "NOT" 演算を置くことによって行われます。 集合はその時点まで選択されたレコードの数から排除されます。
[対処]	AND 演算の後に排除する集合を置くように 論理条件を組み直してください。

NAT0141 : **SET GLOBALS** ステートメントに不正なキーワードが指定されました。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントに不正なキーワードが指定されました。
[説明]	正しいキーワードは Natural ステートメントドキュメントの SET GLOBALS ステートメントに記述してあります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0142 : **SET GLOBALS** ステートメントのキーワードに指定した値が正しくありません。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントのキーワードに指定した値が正しくありません。
------	---

[説明]	SET GLOBALS キーワードに指定できる値は、定数または変数です。定数を指定する場合には、正しい値（英字または数字）を指定する必要があります。例えば、PS は数字で 0～250 の間でなければなりません。変数を指定する場合にも正しいタイプで指定してください。数字の場合には整数でなければなりません。詳細については、Natural ステートメントドキュメントの SET GLOBALS ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0143 : SET GLOBALS ステートメントの値のフォーマットが正しくありません。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントの値のフォーマットが正しくありません。
[説明]	問題の SET GLOBALS キーワードには、英数字の値が必要です。英数字値には、定数、または英数字（フォーマットが A）変数の内容のいずれかを指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0145 : SET GLOBALS ステートメントの値のフォーマットが正しくありません。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントの値のフォーマットが正しくありません。
[説明]	SET GLOBALS キーワードの正しい値については Natural セッションパラメータドキュメントを参照してください。数値キーワードに対する正しいフォーマットは整数、および英数字キーワードに指定できる値は "ON/OFF" または英数字文字列です。"ON/OFF" の代わりに "T/F" を使用して値を指定することもできます。例：SET GLOBALS EJ=OFF SET GLOBALS EJ=F（上記と同じ意味）
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0146 : SET GLOBALS ステートメントの構文が正しくありません。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントの構文が正しくありません。
[説明]	SET GLOBALS ステートメントには、各パラメータと、パラメータ値の指定との間にアサイン文字 "=" を置く必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0147 : **STACK** ステートメントにコマンドが指定されていません。

テキスト	STACK ステートメントにコマンドが指定されていません。
[説明]	STACK ステートメントの COMMAND オプションが指定されていますが、コマンドが与えられていません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0148 : **TERMINATE** ステートメント内の変数のフォーマットが正しくありません。

テキスト	TERMINATE ステートメント内の変数のフォーマットが正しくありません。
[説明]	TERMINATE ステートメントでは、フォーマットが "N"、"T"、"P" の変数だけを指定できます。0~255 の間の値でなければなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0149 : **MOVE EDITED** ステートメントにフォーマットエラーがあります。

テキスト	MOVE EDITED ステートメントにフォーマットエラーがあります。
[説明]	MOVE EDITED ステートメントで使うフィールドは、編集マスクを定義していない場合は、英数字 (A)、バイナリ (B)、または Unicode (U) のフォーマットで定義する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0150 : **MOVE EDITED** ステートメントに編集マスクがありません。

テキスト	MOVE EDITED ステートメントに編集マスクがありません。
[説明]	MOVE EDITED ステートメントでは、送り出し、または受け取りフィールドに編集マスクが必要です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

6 Natural システムエラーメッセージ 0151～0200

NAT0151 : INPUT ステートメントの MAP 名が正しくありません。

テキスト	INPUT ステートメントの MAP 名が正しくありません。
[説明]	INPUT ステートメントで MAP 名として指定できるのは、文字定数、および英数字変数の内容です。 変数を使用する場合、事前に変数を定義しておく必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0152 : INPUT ステートメントの MAP のフォーマットが正しくありません。

テキスト	INPUT ステートメントの MAP のフォーマットが正しくありません。
[説明]	INPUT ステートメントで MAP 名として指定できるのは、英数字定数、および英数字変数の内容です。 変数を使用する場合、事前にこれを定義しておく必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0153 : フォーマット定義はグループ名には使えません。

テキスト	フォーマット定義はグループ名には使えません。
[説明]	グループ名は、フィールドの集合を単一の構造として参照するために使用します。この構造はこれらのフィールドのフォーマットによって定義されるので、グループ名にフォーマット定義は必要ありません。 あるフォーマットのフィールドを異なるフォーマットのフィールド群として再定義するには、REDEFINE ステートメントを使用する必要があります。 他の原因として、複数の変数を同じレベルにしたいときに、エラーになった変数よりも次の変数の方がレベル番号が高いことが考えられます。

[対処]	- グループに対するフォーマット定義を取り除いてください。または - レベル番号をチェックしてください。
------	---

NAT0155 : **MAP** 名は、7文字を超えてはいけません。

テキスト	MAP 名は、7文字を超えてはいけません。
[説明]	MAP 名として指定できるのは、文字定数、および英数字変数の内容です。 MAP 名の最大長は7文字です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0158 : **MOVE BY NAME** ステートメント内のグループ指定が正しくありません。

テキスト	MOVE BY NAME ステートメント内のグループ指定が正しくありません。
[説明]	MOVE BY NAME ステートメントで指定するオペランドは、 既存の正しいグループ名でなければなりません。ユーザービューを指定することもできます。 個々のフィールド名は指定できません。 ユーザービューを使用する場合、ステートメントラベル、またはソースコードの行番号で 修正しないでください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0159 : **MOVE BY NAME** または **MOVE BY POSITION** 内のフィールドが一致しません。

テキスト	MOVE BY NAME または MOVE BY POSITION 内のフィールドが一致しません。
[説明]	MOVE BY NAME の場合： 一致する名前が見つかりません。両方のグループに少なくとも同じ名前の 1つのフィールドがなければなりません。 MOVE BY POSITION の場合： 参照されたグループ内のフィールドの数が一致しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0160 : **READ LOGICAL** ステートメントのディスクリプタが正しくありません。

テキスト	READ LOGICAL ステートメントのディスクリプタが正しくありません。
[説明]	READ ステートメントの THRU または ENDING AT 節では、 マルチプルバリューフィールドのディスクリプタは使用できません。 READ ステートメントでは、フォネティックディスクリプタを使用しないでください。 ピリオディックグループ内に含まれたフィールドは、READ ステートメント内の 検索フィールドとして使用できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0161 : **DIVIDE REMAINDER** で **ROUNDED** 節を使うことはできません。

テキスト	DIVIDE REMAINDER で ROUNDED 節を使うことはできません。
[説明]	DIVIDE ステートメントでは、 割り算の結果を四捨五入するための ROUNDED オプション、または 割り算の余りを別のフィールドに入れるための REMAINDER オプションを 使用できます。 結果を四捨五入すると余りはないので、 2つのオプションを同時に使用することは明らかに無意味であり、 指定することはできません。
[対処]	ROUNDED オプションと REMAINDER オプションの両方を使用するのではなく、 いずれか1つを使用してください。

NAT0162 : **DIVIDE REMAINDER** では浮動小数点は指定できません。

テキスト	DIVIDE REMAINDER では浮動小数点は指定できません。
[説明]	DIVIDE ステートメントで REMAINDER オプションを使用する場合、 除数および被除数のフォーマットが "F" (浮動小数点) であってはなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0163 : **DEFINE DATA** ステートメントにレベル指定がありません。

テキスト	DEFINE DATA ステートメントにレベル指定がありません。
[説明]	DEFINE DATA ステートメントで、 各変数、グループ、ビュー、および REDEFINE 定義の前には 整数のレベル番号を指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0164 : 変数名が正しくありません。

テキスト	変数名が正しくありません。
[説明]	- DEFINE DATA ステートメントでは、レベル指定の後に 正しい変数名、グループ名、ビュー名を指定する必要があります。 - DEFINE DATA INDEPENDENT ステートメント内では、 "+" 文字 (AIV 変数) で始まる変数名を使用する必要があります。 - AIV 変数の再定義によるフィールド名は、 "+" 文字で始まってはなりません。 - "+" (AIV) で始まる変数名は、DEFINE DATA ステートメントの PARAMETER、OBJECT、LOCAL、または CONTEXT 節内では使用できません。 Natural 変数名指定規則については、 Natural ドキュメントの『ステートメント』 / 「ステートメント使用関連トピック」 / 「ユー ザー定義変数」 の命名規則に関する記載、および DEFINE DATA ステートメントの説明を 参照してください。

[対処]	プログラムの誤りを修正してください。
------	--------------------

NAT0165 : 変数定義のデータ構造が矛盾しています。

テキスト	変数定義のデータ構造が矛盾しています。
[説明]	ステートメントのデータ構造に矛盾が検出されました。 このエラーは次のステートメントで発生します。 - DEFINE DATA - DEFINE FUNCTION (RETURNS 節) - DEFINE PROTOTYPE (RETURNS 節)
[対処]	レベル指定と変数定義をチェックしてください。

NAT0166 : **DEFINE DATA** ステートメントの変数定義が正しくありません。

テキスト	DEFINE DATA ステートメントの変数定義が正しくありません。
[説明]	DEFINE DATA ステートメント内に 正しくない変数定義が見つかりました。
[対処]	変数定義をチェックして、修正してください。

NAT0167 : ビュー名の重複指定が見つかりました。

テキスト	ビュー名の重複指定が見つかりました。
[説明]	プログラムのデータ構造内でビュー名は ユニークでなければなりません。
[対処]	グローバル、パラメータ、ローカルデータ構造の ビュー名をチェックしてください。

NAT0168 : **GIVING** 節のない **DIVIDE** では、**'INTO'** の後に定数を指定してはいけません。

テキスト	GIVING 節のない DIVIDE では、INTO の後に定数を指定しないでください。
[説明]	DIVIDE ステートメントに GIVING 節がない場合、 結果はキーワード "INTO" の後のオペランドに入れられます。 この場合、INTO オペランドが定数であってはなりません。 INTO オペランドを定数にする場合には、 GIVING 節で結果フィールドを指定してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0169 : フォーマット/長さ、または **EM**、**HD**、**PM** の定義にエラーがあります。

テキスト	フォーマット/長さ、または EM、HD、PM の定義にエラーがあります。
[説明]	次のうちのいずれかが、DEFINE DATA ステートメントのフィールド定義では無効です。 - フォーマット (有効なフォーマット: A、U、B、C、D、F、I、L、N、P、T) - 指定された長さ - フォーマットと長さの組み合わせ (フォーマット A と B に有効な長さは 1~1073741824 フォーマット U に有効な長さは 1~536870912 フォーマット F に有効な長さは 4 または 8 フォーマット I に有効な長さは 1、2、または 4 フォーマット C、D、L、T には長さを指定できません) - フォーマット N、P の小数点前後の桁数 (Nnn.m または Pnn.m 表記、nn に有効な値は 0~29、m に有効な値は 0~7、 そして nn + m の合計は 1~29 の範囲内でなければなりません) あるいは、パラメータ EM (編集マスク)、HD (ヘッダー)、または PM (表示モード) が正しく指定されませんでした。 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの DEFINE DATA ステートメントを参照してください。
[対処]	詳細については、Natural ステートメントドキュメントの DEFINE DATA ステートメントを参照してください。プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0170 : **SEPARATE** ステートメントの **INTO** 節に変数を指定しなければなりません。

テキスト	SEPARATE ステートメントの INTO 節に変数を指定する必要があります。
[説明]	SEPARATE ステートメントの INTO 節には、 (定数ではなく) 変数を指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0172 : **SEPARATE** ステートメントに **INTO** 節がありません。

テキスト	SEPARATE ステートメントに INTO 節がありません。
[説明]	SEPARATE ステートメントにはキーワード "INTO" が必要です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0173 : **GIVING** 節にキーワード "NUMBER" がありません。

テキスト	GIVING 節にキーワード "NUMBER" がありません。
[説明]	"GIVING" 節を使う場合は、キーワード "NUMBER" も必要です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0174 : **NUMBER** フィールドは整数 (**N**、**I**、**P**) でなければなりません。

テキスト	NUMBER フィールドは整数 (N、I、P) でなければなりません。
[説明]	SEPARATE ステートメントの GIVING NUMBER 節に指定するフィールドは、次のいずれかのフォーマットでなければなりません。 I N (小数なし) P (小数なし)
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0175 : ソースフィールドおよび最低 1 つのターゲットフィールドが必要です。

テキスト	ソースフィールドおよび最低 1 つのターゲットフィールドが必要です。
[説明]	SEPARATE ステートメントのソースフィールドは、英数字定数または変数でなければなりません。少なくとも 1 つのターゲットフィールドが必要であり、それは英数字変数でなければなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0176 : **EXAMINE** ステートメントの **POSITION** フィールドにエラーがあります。

テキスト	EXAMINE ステートメントの POSITION フィールドにエラーがあります。
[説明]	考えられる原因は、POSITION 変数への参照として使用する変数名のスペルミスです。変数は数字 (N、I、または P) フォーマットで、かつ (小数ではなく) 整数である必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0177 : **EXAMINE** ステートメントの **LENGTH** フィールドにエラーがあります。

テキスト	EXAMINE ステートメントの LENGTH フィールドにエラーがあります。
[説明]	考えられる原因は、LENGTH 変数への参照として使用する変数名のスペルミスです。変数は数字 (N、I、B、または P) フォーマットで、かつ (小数ではなく) 整数である必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0178 : EXAMINE ステートメントの INDEX フィールドにエラーがあります。

テキスト	EXAMINE ステートメントの INDEX フィールドにエラーがあります。
[説明]	考えられる原因は、INDEX 変数への参照として使用する変数名のスペルミスです。変数は、数字フォーマット (N、I、B、または P) で、かつ小数ではなく整数である必要があります。INDEX 変数の数は、検査される配列内の次元数と等しくなければなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0179 : EXAMINE ステートメントの GIVING 節のキーワードが正しくありません。

テキスト	EXAMINE ステートメントの GIVING 節のキーワードが正しくありません。
[説明]	GIVING の後には次のキーワードを指定できます。 NUMBER POSITION LENGTH INDEX キーワードを複数指定する場合、上記の順で指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0180 : INPUT ステートメントの "WITH" の後に "TEXT" がありません。

テキスト	INPUT ステートメントの "WITH" の後に "TEXT" がありません。
[説明]	WITH TEXT 節にはキーワード "TEXT" を指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0181 : WITH TEXT 節に変数の指定エラーがあります。

テキスト	WITH TEXT 節に変数の指定エラーがあります。
[説明]	詳細については、Natural ドキュメントの INPUT または REINPUT ステートメントに関する説明を参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0182 : **WITH TEXT** 節のパラメータリストが正しくありません。

テキスト	WITH TEXT 節のパラメータリストが正しくありません。
[説明]	詳細については、Natural ドキュメントの INPUT または REINPUT ステートメントに関する説明を参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0183 : **WITH TEXT** 節で 10 個以上のパラメータを指定してはいけません。

テキスト	WITH TEXT 節で 10 個以上のパラメータを指定しないでください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0184 : **MARK** 節の変数に指定エラーがあります。

テキスト	MARK 節の変数に指定エラーがあります。
[説明]	変数は整数の数字フォーマットで、事前に定義する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0185 : "**AND**" または "**SOUND**" の後には "**ALARM**" を指定する必要があります

テキスト	"AND" または "SOUND" の後には "ALARM" を指定する必要があります
[説明]	キーワード "ALARM" は、ALARM オプションを識別するための必須キーワードです。キーワード "AND" および "SOUND" は省略できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0186 : キーワード **DO** と **DOEND** はストラクチャードモードでは指定できません。

テキスト	キーワード DO と DOEND はストラクチャードモードでは指定できません。
------	---

[説明]	<p>DO/DOEND ステートメントをストラクチャードモードで使用しようとしたが、DO/DOEND ステートメントはレポーティングモードでのみ使用できます。ストラクチャードモードではステートメント群の終了を示す "END-XXXX" を使用する必要があります。</p> <p>AT BREAK DO...DOEND → AT BREAK...END-BREAK AT END OF DATA DO...DOEND → AT END OF DATA...END-ENDDATA AT END OF PAGE DO...DOEND → AT END OF PAGE...END-ENDPAGE AT START OF DATA DO...DOEND → AT START OF DATA...END-START AT TOP OF PAGE DO...DOEND → AT TOP OF PAGE...END-TOPPAGE IF...DO...DOEND ELSE DO...DOEND → IF...THEN...ELSE...END-IF ON ERROR DO...DOEND → ON ERROR...END-ERROR BEFORE BREAK DO...DOEND → BEFORE BREAK...END-BEFORE PERFORM BREAK DO...DOEND → PERFORM BREAK...END-BREAK</p>
[対処]	レポーティングモードを選択してください。または構文を修正してください。

NAT0187 : ストラクチャードモードで **LOOP** ステートメントを使用してはいけません。

テキスト	ストラクチャードモードで LOOP ステートメントを使用しないでください。
[説明]	<p>LOOP ステートメントはレポーティングモードでのみ使用できます。ストラクチャードモードでは、LOOP ステートメントの代わりに明確化された終了構文 "END-XXXX" を使用する必要があります。</p> <p>例：FIND LOOP → FIND END-FIND</p>
[対処]	<ul style="list-style-type: none"> - レポーティングモードを選択してください、または - 構文を修正してください。

NAT0188 : ストラクチャードモードでは、**END-ALL** を指定せずに **SORT** を使えません。

テキスト	ストラクチャードモードでは、 END-ALL を指定せずに SORT を使えません。
[説明]	<p>ストラクチャードモードでは SORT ステートメント以前に開始された処理ループは END-ALL ステートメントで閉じる必要があります。</p>
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0189 : **END-ALL** と **SORT** はストラクチャードモードでのみ指定できます。

テキスト	END-ALL と SORT はストラクチャードモードでのみ指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0190 : UNTIL または WHILE 節の指定位置が正しくありません。

テキスト	UNTIL または WHILE 節の指定位置が正しくありません。
[説明]	UNTIL/WHILE は、 キーワード "REPEAT" の直後に指定する、または "END-REPEAT" の直前に指定する必要があります。 例： 1.1. REPEAT UNTIL 論理条件 ステートメント END-REPEAT 2.2. REPEAT ステートメント UNTIL 論理条件 END-REPEAT
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0191 : UNTIL/WHILE の後にループ終了ステートメントがありません。

テキスト	UNTIL/WHILE の後にループ終了ステートメントがありません。
[説明]	REPEAT...UNTIL/WHILE ステートメントは、 ストラクチャードモードでは "END-REPEAT"、 レポーティングモードでは "LOOP" ステートメントで それぞれ処理ループを閉じる必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0192 : ESCAPE ステートメントの行き先を指定していません。

テキスト	ESCAPE ステートメントの行き先を指定していません。
[説明]	ESCAPE ステートメントでは、 行き先を指定するためのキーワードが必要です。 - ESCAPE TOP - ESCAPE BOTTOM [IMMEDIATE] - ESCAPE ROUTINE [IMMEDIATE] 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0193 : DECIDE ステートメントに "ON" または "FOR" がありません。

テキスト	DECIDE ステートメントに "ON" または "FOR" がありません。
[説明]	キーワード "DECIDE" の後には、"ON" または "FOR" を指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0194 : DECIDE FOR ステートメントの構文が正しくありません。

テキスト	DECIDE FOR ステートメントの構文が正しくありません。
[説明]	DECIDE FOR ステートメントの正しい構文については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0195 : 指定フィールドは配列指定であってははいけません。

テキスト	指定フィールドは配列指定であってははいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0196 : GIVING INDEX は配列変数にのみ指定できます。

テキスト	GIVING INDEX は配列変数にのみ指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0197 : 当変数フォーマットは、このステートメント内で指定してはいけません。

テキスト	当変数フォーマットは、このステートメント内で指定しないでください。
[説明]	1.1. フォーマット "C" の変数は、DISPLAY、WRITE、INPUT、PRINT、STACK、RUN、および FETCH ステートメント内で使用できません。 2.2. フォーマット HANDLE OF OBJECT の変数は、このステートメント内で使用することができません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0198 : CALL ステートメントで指定できるパラメータは最大 128 個です。

テキスト	CALL ステートメントで指定できるパラメータは最大 128 個です。
[説明]	CALL ステートメントのパラメータの最大数は、128 個です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0199 : ラベルは、ビュー／レベル 1 の変数名と同じ、または重複して定義されています。

テキスト	ラベルは、ビュー／レベル 1 の変数名と同じ、または重複して定義されています。
[説明]	Natural モジュール内では、ラベルは、別のラベル、ビュー名またはレベル 1 で定義された変数名と同じではいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0200 : **INCLUDE** ソース行にエラーがあります。

テキスト	INCLUDE ソース行にエラーがあります。
[説明]	詳細については、Natural ステートメントドキュメントの INCLUDE ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

7

Natural システムエラーメッセージ 0201～0250

NAT0207 : **DEFINE DATA PARAMETER** でグループの再定義はできません。

テキスト	DEFINE DATA PARAMETER でグループの再定義はできません。
[説明]	DEFINE DATA PARAMETER ステートメントでは エレメンタリフィールドしか定義できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0214 : **DECIDE** ステートメントでは、"**FIRST**" または "**EVERY**" を指定する必要があります。

テキスト	DECIDE ステートメントでは、" FIRST " または " EVERY " を指定する必要があります。
[説明]	詳細については、Natural ステートメントドキュメントの DECIDE ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0215 : **DECIDE ON** ステートメントに **VALUE** (または **VALUES**) がありません。

テキスト	DECIDE ON ステートメントにキーワード " VALUE " (または " VALUES ") がありません。
[説明]	DECIDE ON では、キーワード " VALUE " (または " VALUES ") を 指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0216 : **DECIDE ON** ステートメントのフィールド指定が正しくありません。

テキスト	DECIDE ON ステートメントのフィールド指定が正しくありません。
[説明]	DECIDE ON ステートメントのフィールド指定の詳細については、Natural ステートメントドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0218 : **DECIDE ON/DECIDE FOR** ステートメントに構造上の誤りがあります。

テキスト	DECIDE ON/DECIDE FOR ステートメントに構造上の誤りがあります。
[説明]	DECIDE ON/DECCIDE FOR ステートメントの構文の詳細については、Natural ステートメントドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0219 : **DECIDE FOR/ON EVERY** でのみ **ALL** 節を指定できます。

テキスト	DECIDE FOR/ON EVERY でのみ ALL 節を指定できます。
[説明]	ALL 節は、DECIDE FOR EVERY および DECIDE ON EVERY でのみ使用できます。DECIDE FOR FIRST や DECIDE ON FIRST には指定できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0220 : ステートメント **:1:** が無効です。

テキスト	無効なステートメント :
[説明]	考えられる理由は、次のとおりです。 1.1. プログラミングモード (ストラクチャード/レポーティングモード) に応じたキーワード指定がありません (例: "COMPUTE" と "ASSIGN" はストラクチャードモードで ROUNDED を使うときに省略しないでください)。 2.2. ステートメントが、このオブジェクトタイプに適切ではありません (例: DEFINE SUBROUTINE は、ファンクションタイプのオブジェクトの最初のステートメントであってははいけません)。 3.3. いくつかのステートメントを禁止する、互換性スイッチが設定されています (例: プロファイルパラメータ V41MFCOMP)。
[対処]	1. 1. 不足しているキーワードを追加してください。 2.2. オブジェクトタイプまたはステートメントを変更してください。 3.3. 互換性スイッチを OFF にしてください。

NAT0222 : 構文エラーのため、プログラムの実行ができなくなりました。

テキスト	構文エラーのため、プログラムを実行できなくなりました。
[説明]	バッチモードでは、Natural はエラーが検出された後も常に、プログラムの構文チェックを続けています。 プログラムに構文エラーがある場合、コンパイルされたコードがソース入力と一致しないためそのプログラムは実行できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0223 : "USING" の後にキーワード "MAP" または "FORM" を指定する必要があります。

テキスト	"USING" の後にキーワード "MAP" または "FORM" を指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0224 : WRITE で INPUT MAP が指定された、または INPUT で WRITE MAP が指定されました。

テキスト	WRITE で INPUT MAP が指定された、または INPUT で WRITE MAP が指定されました。
[説明]	WRITE USING MAP ステートメントで指定した MAP 名が出力 MAP でなく入力 MAP でした。または INPUT USING MAP ステートメントで指定した MAP 名が入力 MAP でなく出力 MAP でした。 MAP が入力 MAP であるか、または出力 (WRITE) MAP であるかは、その MAP 設定で指定されます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0225 : GIVING LENGTH は非配列変数にのみ有効です。

テキスト	GIVING LENGTH は非配列変数にのみ有効です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0226 : ステートメントのないブロックは認められません。

テキスト	ステートメントのないブロックは認められません。
[説明]	ステートメントのないブロックには IGNORE ステートメントを指定する必要があります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0227 : DELIMITER 節で正しくない変数/定数が指定されました。

テキスト	DELIMITER 節で正しくない変数/定数が指定されました。
[説明]	COMPRESS ステートメントの受け取りフィールドが、 - 英数字またはバイナリである場合、デリミタフォーマットは A1、B1、または U1 である必要があります。 - Unicode の場合、デリミタフォーマットは A1、B2、または U1 である必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0228 : WITH 節に GDA のブロック構造を指定しなければなりません。

テキスト	WITH 節に GDA のブロック構造を指定する必要があります。
[説明]	この GDA にはブロック構造が定義されています。 ブロック構造は、DEFINE DATA GLOBAL USING の WITH 節で指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0229 : UPDATE/STORE ステートメントの WITH 節に誤りがあります。

テキスト	UPDATE/STORE ステートメントの WITH 節に誤りがあります。
[説明]	UPDATE/STORE ステートメントが DEFINE DATA、またはデータエリア内で定義された ビューを基準にする場合、WITH 節を使用しないでください。UPDATE/STORE ステートメントをビューに適用すると、 常に全フィールドが含まれます。
[対処]	UPDATE/STORE ステートメントから WITH 節を取り除いてください。

NAT0230 : オペランドタイプはサポートされていません。

テキスト	オペランドタイプはサポートされていません。
[説明]	- HANDLE または UNICODE、 - 英数字/バイナリ DYNAMIC、 - 253 バイトを超える長さの英数字、 - または、126 バイトを超える長さのバイナリ、 として定義されたオペランドは、 この位置ではサポートされていません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0231 : ここでは **NSD** リンケージ属性のみ指定できます。

テキスト	ここでは NSD リンケージ属性のみ指定できます。
[説明]	NSD 属性はビューに関連する要素です。 FIND ステートメントでは、REFERENCED、REFERENCING、 または RECURSIVELY 節のキーワード "VIA" の後に 属性名が必要です。 SHOW ステートメントでは、次のような SHOW または SHOW RECURSIVELY の後に カッコ内の属性が必要です。 SHOW ATTR1(ATTR2(ATTR3))
[対処]	"LF<ビュー名>" で指定されたビュー内に属性があることをチェックし、 ソースを対応するように修正してください。

NAT0232 : この位置では **DYNAMIC** タイプのオペランドは許されません。

テキスト	この位置では DYNAMIC タイプのオペランドは許されません。
[説明]	DYNAMIC として定義された英数字またはバイナリのオペランドは この位置では使用できません。
[対処]	DYNAMIC フィールドを固定長のフィールドに置き換えてください。

NAT0233 : レベル番号は整数です。

テキスト	レベル番号は整数です。
[説明]	FIND ステートメントの実行が行われる再帰レベルが原因です。 レベル番号は整数である必要があります。 詳細については、『Entire DB プログラマズガイド』の FIND ステートメントの UNTIL 節を参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0234 : "ERE SET" はカテゴリ名で始まらなければなりません。

テキスト	"ERE SET" はカテゴリ名で始まらなければなりません。
[説明]	FIND ステートメントでは、Entire ビューの FIND ヘッダーの後に 構文ロジックが "ERE SET" の部分が検索されます。 "ERE SET" はビュー名で始まり、検索条件で終わります。 検索条件は、Natural キーワードまたは次の "ERE SET" のビュー名が 出現すると終了します いずれ条件も満たされない場合は、構文の解析ができないため、 このエラーが発生します。
[対処]	プログラムのエラーを修正してください。

NAT0235 : ISN は整数値でなければなりません。

テキスト	ISN は整数値でなければなりません。
[説明]	FIND ステートメントでは、 基本検索条件の RELATIONSHIP または ISN 節の ISN の値は、 整数値でなければなりません。 検索される ISN は数値ですが、整数値ではありません。 詳細については、『Entire DB プログラマズガイド』の FIND ステートメントの RELATIONSHIP 節および ISN 節を参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0236 : Entire キーワードの後に等号 "=" がありません。

テキスト	Entire キーワードの後に等号 "=" がありません。
[説明]	このエラーは次のような Entire ステートメントで発生します。 1) FIND ビュー名 WITH ISN = 12335 FIND ステートメントの 基本検索条件の ISN 節には等号が必要です。 2) DLOGON USER = "XXX" PASSWORD = "YYY" LIBRARY = "LLL" APPLICATION = "AER" AUTHORIZATION = A 上記の DLOGON ステートメントの構文では、等号を各キーワードの後に指定する必要があります。 詳細については、『Entire DB プログラマズガイド』の FIND ステートメントおよび DLOGON ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0237 : 右カッコが一致しません。

テキスト	右カッコが一致しません。
[説明]	Entire DB では、左カッコが、それぞれ対応する右カッコと 対になっているかどうかチェックされます。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0238 : ディスクリプタ検索条件の演算子が正しくありません。

テキスト	ディスクリプタ検索条件の演算子が正しくありません。
------	---------------------------

[説明]	<p>FIND ステートメントでは、 次に示す演算子がディスクリプタ検索条件で有効です。</p> <p>= (等しい) ^= (等しくない) < (より小さい) <= (以下) > (より大きい) >= (以上)</p> <p>ディスクリプタ検索条件 (WITH に続く) では、 上記の演算子だけを属性 (NAME または LINE-NUMBER) の後に 指定できます。</p> <p>詳細については、『Entire DB プログラマズガイド』の FIND ステートメントを参照してください。</p>
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0239 : Entire に対する MOVE 値は整数値です。

テキスト	Entire に対する MOVE 値は整数値です。
[説明]	<p>MOVE 値はランタイムに Entire コールのサーチバッファに転送される 定数または変数でなければなりません。</p> <p>このメッセージが出力された場合、数値として 整数、あるいは 小数桁のないアンパックまたはパック10進数 を要求しています。</p>
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0240 : オペランドのフォーマットが正しくありません。フォーマット :1: が必要です。

テキスト	オペランドのフォーマットが正しくありません。フォーマット ... が必要です。
[説明]	<p>オペランドのフォーマットが正しくありません。</p> <p>正しいフォーマットの詳細については、該当するステートメントのオペランド定義テーブル を参照してください。</p>
[対処]	正しいオペランドフォーマットを指定してください。

NAT0242 : 左カッコ "(" が必要です。

テキスト	左カッコ "(" が必要です。
[説明]	<p>Entire DB では、FIND ステートメントの NATIVE および RELATIONSHIP の左カッコがチェックされます。節の元素はカッコで 囲まれている必要があります。</p> <p>詳細については、『Entire DB プログラマズガイド』の FIND ステートメントを参照してくだ さい。</p>
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0243 : **DEFINE DATA** ステートメント／構造内で構文エラーが発見されました。

テキスト	DEFINE DATA ステートメント／構造内で構文エラーが発見されました。
[説明]	DEFINE DATA ステートメントの正しい構文については Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0244 : **"GLOBAL"** の後には、**"USING"** と **GDA** 名が必要です。

テキスト	"GLOBAL" の後には、"USING" と GDA 名が必要です。
[説明]	グローバルデータエリア (GDA) は独立したオブジェクトであり、プログラムの DEFINE DATA ステートメント内でデータを定義することはできません。GDA は次の構文のように DEFINE DATA ステートメントの GLOBAL 節で参照されます。 DEFINE DATA GLOBAL USING GDA 名 ... END-DEFINE
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0245 : **DEFINE DATA** ステートメントの節の指定／順序が正しくありません。

テキスト	DEFINE DATA ステートメントの節の指定／順序が正しくありません。
[説明]	DEFINE DATA ステートメントの節の指定順序は次のとおりです。 DEFINE DATA GLOBAL USING PARAMETER OBJECT LOCAL この後には、DEFINE DATA LOCAL のみを指定できます。
[対処]	各節の順序をチェックして、修正してください。

NAT0246 : ここではフォーマット **"C"**、**"L"**、**HANDLE OF OBJECT** は使用できません。

テキスト	ここではフォーマット "C"、"L"、および HANDLE OF OBJECT は使用できません。
[説明]	次のステートメントでは、データタイプ "C" (属性制御) と "L" (論理) は使用できません。 - GET TRANSACTION DATA ステートメント - END TRANSACTION ステートメント - SORT ステートメントのソート条件 次のステートメントでは、データタイプ HANDLE OF OBJECT は使用できません。 - GET TRANSACTION DATA ステートメント - END TRANSACTION ステートメント - SORT ステートメント
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0247 : パラメータ :1: の処理中にエラーが発生しました。

テキスト	パラメータ ... の処理中にエラーが発生しました。
[説明]	INPUT/WRITE USING MAP または PROCESS PAGE USING ステートメントを、パラメータを明示的に指定せずに一定のマッピングまたはアダプタ名とともに使用すると、処理されるフィールド名は、コンパイル時にマッピングまたはアダプタのソースから動的に取得されます。 この場合、同じ配列構造を持つ同じフィールド名が、プログラムとマッピング/アダプタの両方で定義されている必要があります。指定された変数名が定義されていないか、または配列の次元の数が一致しません。
[対処]	指定されたデータフィールドをチェックしてください。プログラムでの変数の定義は、マッピングまたはアダプタと同じである必要があります。

NAT0248 : **PROCESS** ステートメントで **USING** 変数が正しくありません。

テキスト	PROCESS ステートメントで USING 変数が正しくありません。
[説明]	PROCESS ステートメントの USING 節の ASSIGN 変数の左辺は、Natural PROCESS に定義したビューの一部でなければいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0249 : Natural **PROCESS** の **USING** 節の "**ASSIGN**" にエラーがあります。

テキスト	Natural PROCESS の "USING" 節の "ASSIGN" にエラーがあります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0250 : Natural **PROCESS** ステートメントの **GIVING** 節にエラーがあります。

テキスト	Natural "PROCESS" ステートメントの GIVING 節にエラーがあります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

8

Natural システムエラーメッセージ 0251～0300

NAT0251 : **PROCESS** ステートメントにファイル/**DDM** が定義されていません。

テキスト	PROCESS ステートメントにファイル/DDM が定義されていません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0252 : セキュリティ環境ではライブラリを指定できません。

テキスト	セキュリティ環境ではライブラリを指定できません。
[説明]	Natural Security で保護された環境ではライブラリを指定できません。
[対処]	ライブラリを指定しないでください。

NAT0253 : ステートメントが **DB2** アクセスでは使用できません。

テキスト	ステートメントが DB2 アクセスでは使用できません。
[説明]	次のステートメントまたは構文は DB2 ではサポートされていません。 1. FIND UNIQUE 2. FIND COUPLED 3. FIND FIRST 4. FIND... RETAIN AS 5. GET 6. *ISN の参照 7. DB ループ内での END TRANSACTION 8. DB ループ内での BACKOUT TRANSACTION
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0254 : VAL 関数の受け取りフィールドのフォーマットが正しくありません。

テキスト	VAL 関数の受け取りフィールドのフォーマットが正しくありません。
[説明]	フォーマットおよび長さは相手先と同じでなければいけません。 この算術関数は英数字フィールドから数値を抽出します。 英数字フィールドの内容は数値の文字表示でなければいけません。 先頭または末尾の空白は許可されています。 小数点および先行符号文字は処理されます。
[対処]	フォーマット A (英数字) または B (バイナリ) を 使用しないでください。

NAT0255 : プログラム内で一般的な構文エラーが見つかりました。

テキスト	プログラム内で一般的な構文エラーが見つかりました。
[説明]	ソースプログラムの構文チェック中に 一般的な構文エラーが検出されました。 このエラーに対しては特定のエラーメッセージがないので このメッセージが出力されます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0256 : コマンド行に正しくないエントリが指定されました。

テキスト	コマンド行に正しくないエントリが指定されました。
[説明]	このコマンドでは、 コマンド行に指定されたパラメータは必要ありません。 Natural は、指定されたパラメータが 個々のコマンドの要求するパラメータ構造と一致するかどうかをチェックします。 このエラーのその他の理由としては、 バッチモードで ADHOC がないことが考えられます。
[対処]	コマンド構成をチェックし、再実行してください。

NAT0257 : MASK/SCAN では EQUAL または NOT EQUAL 関係演算子だけを指定できます。

テキスト	MASK/SCAN では "EQUAL" または "NOT EQUAL" 関係演算子だけを指定できます。
[説明]	ある桁だけを比較する場合、値を より大きい (GREATER THAN) またはより小さい (LESS THAN) という 演算子で評価することはできません。 比較関数 MASK および SCAN で使用できる論理演算子は、 "EQUAL" または "NOT EQUAL" だけです。
[対処]	MASK および SCAN では、使用する演算子が "EQUAL" または "NOT EQUAL" のみとなるように 論理条件をもう一度指定してください。

NAT0258 : MASK の引数の指定が正しくありません。

テキスト	MASK の引数の指定が正しくありません。
[説明]	MASK 値はカッコで囲まなくてはなりません。 指定できる項目の詳細については、 Natural ドキュメントを参照してください。 エラーメッセージ NAT0017 も参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0259 : MASK の日付チェックの指定が正しくありません。

テキスト	MASK の日付チェックの指定が正しくありません。
[説明]	日付チェックをする場合、 月/日/年はそれぞれ 2 桁 (DD/MM/YY) で指定してください。 年については、4 桁 (YYYY) で指定することもできます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0260 : テキストリストの構成が正しくありません。

テキスト	テキストリストの構成が正しくありません。
[説明]	テキストリストと構文リストのいずれか一方のエントリ数に 矛盾が見つかりました。 このエラーは、テキストリストの不正な修正を行ったために起きたものです。 新しいエントリをテキストリストに追加する場合は、 マクロ CALT ではなく、マクロ CSYN を使用する必要があります。
[対処]	エラーが起こったキーワードを確認して、 Natural 管理者に連絡してください。

NAT0261 : END ステートメントがありません。

テキスト	END ステートメントがありません。
[説明]	Natural プログラムの最後には END ステートメントが必要です。 または、ピリオド "." が必要です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0262 : 桁数が正しくない、または値が範囲外です。

テキスト	桁数が正しくない、または値が範囲外です。
[説明]	フォーマットが N または P のフィールドの場合、全体の最大桁数は 29 で、小数部の最大桁数は 7 です。フォーマット F のフィールドに指定される値は、Natural ドキュメントの「浮動小数点定数」に記述されている値の範囲内でなければいけません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0263 : 範囲チェックの **MASK** 指定が正しくありません。

テキスト	範囲チェックの MASK 指定が正しくありません。
[説明]	範囲チェックをする場合、範囲を指定する 2 つの値は、同じ桁数でなければなりません。値の位置、および範囲値の桁数をチェックするために、先行のゼロが必要です。また範囲チェックを行う桁数も指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0264 : 英数字定数または **Unicode** 定数の長さがゼロです。

テキスト	英数字定数または Unicode 定数の長さがゼロです。
[説明]	英数字定数または Unicode 定数の長さは、ゼロより大きい必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0265 : 16 進定数 **:1:** でエラーが発生しました。

テキスト	16 進定数 ... でエラーが発生しました。
[説明]	1) 正しくない 16 進数文字が見つかりました。 16 進定数は、文字 0～9 または A～F のみで構成されている必要があります。 2) 正しくない文字数が指定されました。 - フォーマット A (H"..") の 16 進定数では、1 バイトを表すのに 2 文字が必要となります。 したがって、指定する 16 進数文字の数は 2 の倍数である必要があります。 - フォーマット U (UH"..") の 16 進定数では、1 つの Unicode コード単位を表すのに 4 文字が必要となります。 したがって、指定する 16 進数文字の数は 4 の倍数である必要があります。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0266 : 16 進定数で定義されたバイト数が 80 を超えました。

テキスト	16 進定数で定義されたバイト数が 80 を超えました。
[説明]	16 進定数は、80 バイトの中間バッファで内部バイト表示に変換されます。内部表示で 80 バイトより大きい文字定数を定義する場合は、"XXXXXX"- "XXXXXX" 表記を使用して、複数の部分の値をつないで定義してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0267 : COUPLED 節のファイル指定が正しくありません。

テキスト	COUPLED 節のファイル指定が正しくありません。
[説明]	COUPLED 節で指定するファイルは、Adabas ユーティリティプログラムを使って物理的にカップリングされた Adabas ファイルでなければなりません。ファイルは論理 Natural システムファイルであってははいけません。
[対処]	- プログラムをチェックして、エラーを修正してください。または - ファイルのステータスについて Natural 管理者に問い合わせてください。

NAT0268 : データベースカウント変数のフォーマット／長さが正しくありません。

テキスト	データベースカウント変数のフォーマット／長さが正しくありません。
[説明]	ピリオディックグループ名またはマルチプルバリューフィールドに対するカウント変数のフォーマットは、N または P でなければいけません。小数は指定できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0269 : SORTED BY 節のディスクリプタが正しくありません。

テキスト	SORTED BY 節のディスクリプタが正しくありません。
[説明]	SORTED BY 節で指定するディスクリプタはピリオディックグループ内であってははいけません。ディスクリプタがマルチプルバリューフィールドの場合、添字指定は使用できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0270 : 変数添字の使用が正しくありません。

テキスト	変数添字の使用が正しくありません。
[説明]	FIND ステートメントの WITH 節の検索変数に変数の添字を使用することは許可されていません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0271 : **DISPLAY** ステートメントでページ幅 (行サイズ) を超えました。

テキスト	DISPLAY ステートメントでページ幅 (行サイズ) を超えました。
[説明]	DISPLAY ステートメントで出力されるすべての桁に必要な桁数の合計は、論理ページサイズを超えてはいけません。
[対処]	- 表示するフィールドの個数を減らしてください。または - フィールド間の空白を減らしてください。または - 可能であれば論理ページサイズを増やしてください。または - マルチプルバリューを同一欄に縦に出力してください。

NAT0272 : フォーマットが正しくない、またはフォーマットが矛盾しています。

テキスト	フォーマットが正しくない、またはフォーマットが矛盾しています。
[説明]	SCAN 条件では、 - スキャンする値のフォーマットは、"A"、"B"、または "U" である必要があります。 - フィールドのフォーマットは、"A"、"N"、"P"、または "U" である必要があります。 - 値の長さはフィールドの長さを超えてはいけません。 MASK 条件では、 - テストするフィールドのフォーマットは、"A"、"N"、"P"、または "U" である必要があります。 - 1 番目と 2 番目のオペランドのフォーマットの組み合わせには互換性が必要です。 - 1 番目のオペランドが MASK より小さくはいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0273 : 処理 :4: におけるデータエリア :3: の行 :2: でのエラー :1:。

テキスト	処理 ... におけるデータエリア ... の行 ... でのエラー ...。
[説明]	エラーメッセージで示されたように、変数の処理中にデータエリアのある行でエラーが発生しました。
[対処]	データエリアのエラーを修正します。

NAT0274 : 処理 :4: におけるコピーコード :3: の行 :2: でのエラー :1:。

テキスト	処理 ... におけるコピーコード ... の行 ... でのエラー ...。
[説明]	エラーメッセージで示されたように、 変数の処理中にコピーコードのある行でエラーが発生しました。
[対処]	コピーコードのエラーを修正してください。

NAT0275 : **RETRY** ステートメントは、**ON ERROR** ステートメントブロック内でのみ指定できます。

テキスト	RETRY ステートメントは、ON ERROR ステートメントブロック内でのみ指定できます。
[説明]	RETRY ステートメントは、エラー NAT3145 に対してのみ使用できます。 NAT3145 は、更新のために読み込もうとしたレコードが、 他のユーザーによって "ホールド" されていることを示します。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0276 : **PE** グループのフィールドカウントの参照が正しくありません。

テキスト	ピリオディックグループのフィールドカウントの参照が正しくありません。
[説明]	ピリオディックグループのエレメンタリフィールドのオカレンス数の参照は、 エレメンタリフィールド名ではなく、 ピリオディックグループ名を使用する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0277 : 他の変数をグローバル変数に再定義してはいけません。

テキスト	他の変数をグローバル変数に再定義しないでください。
[説明]	アドレス可能にするために、パラメータ変数を、 すでに存在している変数を再定義することによって 定義しないでください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0278 : **SET CONTROL** で使用する値のフォーマットは "A" でなければいけません。

テキスト	SET CONTROL で使用する値のフォーマットは "A" でなければいけません。
[説明]	SET CONTROL ステートメントで 端末コマンドを指定するために使用する値 (定数または変数) は 英数字でなければいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0279 : 非配列フィールドに対してカウントが要求されました。

テキスト	非配列フィールドに対してカウントが要求されました。
[説明]	カウントフィールドは、マルチプルバリュースフィールド、ピリオディックグループ、またはピリオディックグループ内のマルチプルバリュースフィールドとして定義されたデータベースフィールドに対してのみ存在します。ピリオディックグループ内のマルチプルバリュースフィールドのカウントを参照するには、カウントを要求しているピリオディックグループのマルチプルバリュースフィールドのオカレンスを指示するために添字を指定する必要があります。ユーザーがオカレンスのカウントを要求したフィールドは、マルチプルバリュースフィールドでもピリオディックグループでもありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0280 : フィールド添字エントリが正しく指定されていません。

テキスト	フィールド添字エントリが正しく指定されていません。
[説明]	添字指定が許されていない変数に対して添字が指定されています。添字指定は、配列の定義/参照にのみ使用できます。データベース配列は、マルチプルバリュースフィールドと、ピリオディックグループ内のフィールド群にのみ定義できます。配列を参照する際に、その次元の1つに対して定義された添字範囲を超える添字範囲の指定が見つかりました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0281 : 配列に対する添字エントリがない、または正しくありません。

テキスト	配列に対する添字エントリがない、または正しくありません。
[説明]	マルチプルバリュースフィールド、またはピリオディックグループ内のフィールドを参照する場合は、選択する値のオカレンスを示すために添字を指定する必要があります。WRITE/DISPLAY ステートメントでは、デフォルトの添字をセッションパラメータ MC および PC で指定できます。変数添字として使用する変数は、添字記号として使用する前に定義されていなければなりません。非データベースフィールドを配列として定義する場合、そのフィールドを参照するときは、各次元の添字を指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0282 : 1つの添字／添字の範囲だけが使用できます。

テキスト	1つの添字／添字の範囲だけが使用できます。
[説明]	マルチプルバリュースフィールド、または ピリオディックグループ内のフィールドでは、 1つの添字または添字の範囲しか指定できません。 2つの添字を指定できるのは、ピリオディックグループ内の マルチプルバリュースフィールドだけです。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0283 : フィールド、または変数が複数回定義されています。

テキスト	フィールド、または変数が複数回定義されています。
[説明]	変数、またはデータベースフィールドのフォーマットと長さは、 1度しか定義できません。 変数がプログラム内で1度参照されると、 フォーマットと長さの追加定義はできません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0285 : フィールド参照エラーです。

テキスト	フィールド参照エラーです。
[説明]	このエラーの考えられる原因は次のとおりです。 - 変数名を誤って入力した。 - 定義されていない変数名である。 - 特定のデータベース参照が指定されたが、 フィールドは参照されたファイルに存在しない。 - Natural システム関数の値は、 *FUNCTION(FIELD) 形式で参照するが、 参照したシステム関数の評価がそのフィールドに対して 行われていない。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0286 : ファンクション、システム関数、システム変数の使用が無効です。

テキスト	ファンクション、システム関数、システム変数の使用が無効です。
------	--------------------------------

[説明]	<p>- Natural システム関数および Natural システム変数は、Natural プログラム内の特定ステートメント構文でのみ使用可能です。</p> <p>- システム関数またはシステム変数の値は、変数に割り当てた後に参照可能となります。</p> <p>- INPUT ステートメントでは、ほとんどのシステム関数は出力フィールドとしてのみ使用可能で、入力フィールドとして使用することはできません。</p> <p>- システム関数 POS の引数として使用できるシステム変数は *COM だけです。</p> <p>- Natural ファンクションコールは、このコンテキストでは使用できません。</p> <p>Natural ファンクション、Natural システム関数、または、Natural システム変数については、Natural ドキュメントを参照してください。</p>
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0287 : DB フィールドにアクセスできない、または REDEFINE 変数が存在しています。

テキスト	DB フィールドにアクセスできない、または REDEFINE 変数が存在しています。
[説明]	<p>- この位置で、データベースフィールドにアクセスできません。または</p> <p>- REDEFINE ステートメントで使用した変数がすでに定義されています。</p> <p>データベースフィールドは、アクティブな処理ループ内でのみ参照できます。LOOP ステートメントでループを閉じた後は、そのデータベースのフィールド参照はできません。アクティブな処理ループの外でデータベースフィールドの値を使う場合は、ユーザー定義変数に値を割り当ててください。</p> <p>4 桁の配列オカレンスが誤って指定された場合にもこのエラーが発生します。4 桁の配列オカレンスは "/" の後に指定する必要があります。</p> <p>例：#ARRAY (/1000) 正 #ARRAY (1000) 誤</p>
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0288 : Natural システム関数では添字／フォーマットは使用できません。

テキスト	Natural システム関数では添字／フォーマットは使用できません。
[説明]	以前に評価された Natural システム関数の参照、または Natural システム変数の参照に対して長さやフォーマットを指定しないでください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0289 : 参照されたフィールドがディスクリプタではありません。

テキスト	参照されたフィールドがディスクリプタではありません。
[説明]	データベースフィールドを参照するには、フィールドがディスクリプタである必要があります。 READ LOGICAL ステートメントのシーケンスフィールドとして、または HISTOGRAM ステートメントで値を読むためのフィールドを示すとき、FIND ステートメントの WITH 節にディスクリプタを指定する必要があります。 Adabas バージョン 5 では、"非ディスクリプタ" として DDM でマークされたフィールドが、READ または HISTOGRAM ステートメントの検索変数に使用された場合にもこのエラーが発生します。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0290 : サブ/スーパー/ハイパー/フォネティックディスクリプタフィールドが不当に使われました。

テキスト	サブ/スーパー/ハイパー/フォネティックディスクリプタフィールドが不当に使われました。
[説明]	サブ/スーパーフィールドまたはサブ/スーパーディスクリプタは、アクセスステートメント (READ、FIND、HISTOGRAM、GET) を使用してデータベースから読み込むことができますが、更新ステートメント (STORE、UPDATE) で参照することはできません。 ハイパーおよびフォネティックディスクリプタの値は、検索条件にのみ使用することができ、データベースから読み込むことはできません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0291 : データベースフィールドのフォーマットが矛盾しています。

テキスト	データベースフィールドのフォーマットが矛盾しています。
[説明]	データベースフィールドのフォーマットがデータディクショナリに定義されているフォーマットと矛盾しています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0292 : 要求されたフィールドが整数ではないか、長さが無効です。

テキスト	要求されたフィールドが整数ではないか、長さが無効です。
[説明]	処理は整数フィールドの値を要求しています。 これには、整数定数、または整数フォーマットのユーザー定義変数やデータベースフィールドが可能です。 このエラーは次の場合に発生します。 - フィールドのフォーマットが整数ではない。 - フィールドの長さが無効である。

[対処]	整数フォーマット／有効な長さのオペランドを使用してください。
------	--------------------------------

NAT0293：単一の添字しか使えないところで、添字範囲が指定されています。

テキスト	単一の添字しか使えないところで、添字範囲が指定されています。
[説明]	このタイプの機能では単一の添字を必要としており、添字の範囲は指定できません。 例えば、ピリオディックグループフィールドの特定のオカレンスを指定するため、または READ LOGICAL ステートメントでディスクリプタを指定するために、 FIND ステートメントの WITH 節に、単一の添字が必要になります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0294：算術演算ステートメントで中間ストレージがオーバーフローしました。

テキスト	算術演算ステートメントで中間ストレージがオーバーフローしました。
[説明]	算術演算処理の評価中に内部スタックのオーバーフローが起きました。 内部スタックは、算術演算処理で最も内側のカッコから順番に処理するために使われます。
[対処]	1つの算術演算内で実行される演算の数を減らしてください。

NAT0295：算術演算オペランドが数字ではありません。

テキスト	算術演算オペランドが数字ではありません。
[説明]	算術演算では、"N"（アンパック型数値）または"P"（パック型数値）フォーマットのオペランドだけを指定できます。 数値オペランドは、数値定数、または数値変数の内容で定義できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0296：FIND ステートメントの検索条件が正しくありません。

テキスト	FIND ステートメントの検索条件が正しくありません。
[説明]	"OR" 論理演算子を伴うような複合検索条件を評価する場合、複数のデータベースコールが必要になります。 1つの FIND ステートメントについて内部的に生成できるデータベースコールの数は 64 個までです。
[対処]	ステートメント内の検索条件の数を減らしてください。

NAT0298 : SET KEY ステートメントに指定されたパラメータが正しくありません。

テキスト	SET KEY ステートメントに指定されたパラメータが正しくありません。
[説明]	SET KEY ステートメントにプッシュボタン (PB=)、メニュー (ME=)、またはビットマップ (BM=) 節がありますが、対応するパラメータが正しく指定されていません。
[対処]	詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。

NAT0299 : 中間結果の合計長が、31 桁を超えました。

テキスト	中間結果の合計長が、31 桁を超えました。
[説明]	Natural の算術演算では 31 桁までのオペランドを使用できます。中間結果のオペランドの長さは、算術演算の規則に従って評価されます。詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	中間結果の桁数が規則に従っているかチェックしてください。中間結果を使用して、算術演算をいくつかのステートメントに分けてください。

NAT0300 : オペランドはデータの転送に適合していません。

テキスト	オペランドはデータの転送に適合していません。
[説明]	データ転送のフォーマット規則により、ソースオペランドを目的のフィールドに割り当てることができません。詳細については、Natural ドキュメントの「演算割り当てのルール」を参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

9

Natural システムエラーメッセージ 0301～0350

NAT0301 : 編集マスクが長すぎるか、正しく指定されていません。

テキスト	編集マスクが長すぎるか、正しく指定されていません。
[説明]	<p>エラーの原因として考えられる理由は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 指定した編集マスクに、値を出力させる文字がありません。 (例えば、数値編集マスクに対して "Z" や "9" が指定されなかった。 英数字編集マスクに対して "X" が指定されなかった)。 - 数値編集マスクの出力桁数が 31 桁を超えています。 - 編集マスクストリングにより、出力文字数が、最大サイズの 1073741824 文字を超えています。 - 指定した編集マスクストリングが長すぎます。 最大ソース文字は、メインフレームで 80、オープンシステムで 244 です。 - DISPLAY、FORMAT、INPUT、WRITE ステートメントの ステートメントレベルで編集マスクが指定されています。これらのステートメントレベルでは、 "EM=OFF" だけが指定可能で、特定の編集マスクは指定できません。
[対処]	編集マスクの指定を修正してください。

NAT0302 : WRITE/INPUT ステートメントの項目が 1 行に入りきりません。

テキスト	WRITE/INPUT ステートメントの項目が 1 行に入りきりません。
[説明]	WRITE/INPUT ステートメントで指定された項目のサイズが現在の行サイズを超えています。
[対処]	<ul style="list-style-type: none"> - LS パラメータを大きくしてください。または - 項目のサイズを小さくしてください。 (例：REDEFINE ステートメントを使用)。

NAT0303 : 縦形出力の項目が多すぎて、ページがオーバーフローしました。

テキスト	縦形出力の項目が多すぎて、ページがオーバーフローしました。
[説明]	INPUT/WRITE/DISPLAY ステートメントで、指定された縦型出力項目数が現在のページサイズを超えました。
[対処]	- PS パラメータを大きくしてください。または - 縦に出力する項目数を少なくしてください。

NAT0304 : プリンタ番号の指定が正しくありません。

テキスト	プリンタ番号の指定が正しくありません。
[説明]	プリンタ番号は、数値定数、または DEFINE PRINTER で定義された記号定数をカッコで囲んで指定してください。MAP (処理ルール) 内の追加プリンタのサポートは存在しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0305 : テキスト文字列は複数行にまたがってはいけません。

テキスト	テキスト文字列は複数行にまたがってはいけません。
[説明]	テキスト文字列はアポストロフィで始め、同一行内でアポストロフィで閉じなければなりません。1行より長いテキスト文字列が必要な場合には、2つのソースステートメント行に分けて2つの文字列として指定すれば、実行時には1つの空白をはさんだ文字列になります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0306 : DO または DOEND ステートメントがない、または位置が正しくありません。

テキスト	DO または DOEND ステートメントがない、または位置が正しくありません。
[説明]	ステートメントのグループが DO ステートメントで始まっている場合は、DOEND ステートメントで終了する必要があります。DOEND ステートメントの不足は、ソースプログラムの最後に検出されます。そのため、プログラム内でエラーが見つかった位置が必ずしも DOEND がない位置だとは限りません。
[対処]	それぞれの DO ステートメントに、対応する DOEND ステートメントがあることを確かめてください。

NAT0307 : 行 :1: のループが、条件ブロック内で閉じていません。

テキスト	行 ... のループが、条件ブロック内で閉じていません。
[説明]	条件ステートメントブロック内で開始される処理ループは同ブロック内で閉じる必要があります。 例 (正) : 例 (誤) : ----- IF ... IF ... DO DO FIND ... FIND ... DISPLAY ... DISPLAY ... LOOP DOEND DOEND END END
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0308 : 存在しない処理ループを閉じようとしてしました。

テキスト	存在しない処理ループを閉じようとしてしました。
[説明]	LOOP ステートメントはアクティブな処理ループを閉じるためだけに使われます。 - 閉じるべき処理ループが正しく開始されませんでした。または - 閉じるべき処理ループがすでに閉じられています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0309 : AT BREAK/END 条件の位置が正しくありません。

テキスト	AT BREAK/END 条件の位置が正しくありません。
[説明]	AT BREAK/END 条件は、他の特殊条件に依存するステートメントブロック内では使用できません。ブロックは次のとおりです。 AT BREAK AT END/TOP OF PAGE AT START/END OF DATA ON ERROR IF
[対処]	AT BREAK/END 条件の位置を変えてください。

NAT0310 : AT END OF/AT BREAK が指定されたが、アクティブな処理ループがありません。

テキスト	AT END OF/AT BREAK が指定されたが、アクティブな処理ループがありません。
[説明]	AT BREAK/END 条件は、 アクティブな処理ループ内でのみ使用できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0311 : ソース/オブジェクトプログラムのユーザー出口でエラーが発生しました。

テキスト	ソース/オブジェクトプログラムのユーザー出口でエラーが発生しました。
[説明]	ユーザーが制御しているファイルに ソース/オブジェクトプログラムを格納するために使われる ユーザー出口から 0 以外のレスポンスコードを受け取りました。
[対処]	ユーザー出口のコーディングをチェックしてください (Natural に戻ったときのレジスタ 15 内のレスポンスコード)。

NAT0312 : AT START/END OF DATA、または AT BREAK での参照番号が不正です。

テキスト	AT START/END OF DATA、または AT BREAK での参照番号が不正です。
[説明]	上記の条件ステートメントが特定の処理ループを参照するために 参照番号を使用しましたが、参照番号の示す行には、 処理ループを開始するステートメントがありませんでした。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0313 : ループ内に AT START OF DATA/BEFORE BREAK は 1 回しか指定できません。

テキスト	ループ内に AT START OF DATA/BEFORE BREAK は 1 回しか指定できません。
[説明]	1 つの処理ループ内には AT START OF DATA 条件は 1 回しか指定できません。 AT START OF DATA 条件で複数ステートメントを指定する場合は、 DO/DOEND 構造を使用してください (下記参照)。 例： READ ... AT START OF DATA DO IF ... DO ... DOEND IF ... DO ... DOEND DOEND DISPLAY LOOP END
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0314 : 1つのプログラム内で **ON ERROR** 条件を複数指定してはいけません。

テキスト	1つのプログラム内で ON ERROR 条件を複数指定しないでください。
[説明]	1つのプログラム内では ON ERROR 条件は1回しか指定できません。 ON ERROR 条件で複数の条件をチェックしたい場合は、ON ERROR 条件内で IF ステートメントを使用してください。 例： ----- READ ... UPDATE ... ON ERROR IF ... END-IF IF ... END-IF END-ERROR END-READ END
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0315 : "/n/" 節の使用に矛盾があります。

テキスト	"/n/" 節の使用に矛盾があります。
[説明]	"/n/" 指定は、AT BREAK ステートメントまたは IF BREAK 条件の評価で検査する変数の桁数を指定するために使用できます。 "/n/" 節は、フォーマットが英数字、バイナリ、数値、またはパック 10 進数のブレイク変数にだけ指定できます。 "n" の値は、変数に定義した桁数（英数字やバイナリのブレイク変数の場合はバイト数、数値またはパック 10 進数のブレイク変数の場合は桁数）より大きくてはいけません。 さらに、指定した値が、253 バイト（英数字フィールド）、または 126 バイト（バイナリフィールド）を超えてはいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0316 : 指定された条件内でそのステートメントは許されません。

テキスト	指定された条件内でそのステートメントは許されません。
[説明]	ある条件内にはステートメントの使用に制限があります。 指定したステートメントはこのタイプの条件内では使用できません。 例えば、外部サブルーチン内では DEFINE SUBROUTINE ステートメントと、DEFINE DATA ステートメントのみが指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0317 : 1つの項目（表示欄の幅）は **250** 桁を超えてはいけません。

テキスト	1つの項目（表示欄の幅）は 250 桁を超えてはいけません。
[説明]	DISPLAY 欄で出力できる項目の最大長は 250 桁です。
[対処]	- 項目を再定義して、複数部分に分けてください。または - 縦モードでフィールドを出力してください。

NAT0318 : EXAMINE TRANSLATE には "FULL VALUE" を指定してはいけません。

テキスト	EXAMINE TRANSLATE には "FULL VALUE" を指定しないでください。
[説明]	EXAMINE ステートメントとは異なり、EXAMINE TRANSLATE ステートメントには "FULL VALUE" を指定しないでください。EXAMINE TRANSLATE ステートメントは常にフィールドのすべての内容を処理します。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0319 : AVER、TOTAL、SUM の評価フィールドは数値でなければなりません。

テキスト	AVER、TOTAL、SUM の評価フィールドは数値でなければなりません。
[説明]	Natural システム関数 AVER、TOTAL、および SUM の評価フィールドは、数値フォーマットで定義されていなければなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0320 : 編集マスクを使用できるのは出力項目だけです。

テキスト	編集マスクを使用できるのは出力項目だけです。
[説明]	INPUT ステートメントで、編集マスクを使用できるのは出力項目（属性 = M または O）だけです。入力項目（属性 = A）に編集マスクは使用できません。 出力項目に 16 進数の編集マスクを使用するときは、属性 M (= 変更) を使用できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0322 : 変数のタイプは **Natural** システム関数として正しくありません。

テキスト	変数のタイプは Natural システム関数として正しくありません。
------	------------------------------------

[説明]	<p>1) Natural システム関数のフィールドとして Natural システム変数は使用できません。 システム変数を Natural システム関数で評価する場合は、ユーザー定義変数にシステム変数の値を移し、そのユーザー定義変数を評価フィールドとして使用してください。</p> <p>2) Natural システム関数のフィールドとしてパスワード/サイファ変数として使用したものを使用できません。 パスワード/サイファと同じ変数を使用する場合は、ユーザー定義変数に値を割り当て、それをシステム関数の評価フィールドとして使用します。</p>
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0323 : **ON ERROR** ステートメントは条件ブロック内で使用できません。

テキスト	ON ERROR ステートメントは条件ブロック内で使用できません。
[説明]	<p>ON ERROR ステートメントは、次のステートメントブロック内では指定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> - AT START/END OF DATA - AT TOP/END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - IF - IF NO RECORDS FOUND - AT END OF FILE - DEFINE SUBROUTINE
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0324 : **:1**: 行目の **DO** ステートメントに対して **DOEND** がありません。

テキスト	... 行目の DO ステートメントに対して DOEND がありません。
[説明]	DO ステートメントでステートメントブロックを開始した場合、DOEND ステートメントで終了する必要があります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0325 : データディクショナリのフィールド名が正しくありません。

テキスト	データディクショナリのフィールド名が正しくありません。
[説明]	Natural データディクショナリ内のデータベースビュー定義で同じフィールド名が2回使われました。
[対処]	<ul style="list-style-type: none"> - Natural 管理者に連絡してください。または - LIST FILE コマンドを使ってビュー定義をチェックしてください。

NAT0327 : 数字編集マスクが値の正しい位置を指定しませんでした。

テキスト	数字編集マスクが値の正しい位置を指定しませんでした。
[説明]	指定した数字編集マスクは、編集マスクが適用される値に実際に存在するものの桁も含んでいません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0328 : ソートフィールドが最大の個数／長さを超えました。

テキスト	ソートフィールドが最大の個数／長さを超えました。
[説明]	- ソートフィールドの合計長が 253 バイトを超えました。または - ソートするフィールドの数が 10 を超えました。
[対処]	ソート条件のサイズを小さくしてください。

NAT0329 : **PERFORM BREAK PROCESSING** には **AT BREAK** が必要です。

テキスト	PERFORM BREAK PROCESSING には AT BREAK が必要です。
[説明]	PERFORM BREAK PROCESSING の後に、 AT BREAK 条件が指定されていません。 このエラーは、PERFORM BREAK PROCESSING ステートメントが IF 条件内にあり、PERFORM BREAK PROCESSING ステートメントと すぐ後の AT BREAK ステートメントとが DO DOEND ステートメントで明確に区切られていない場合にも発生します。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0330 : **AT END OF DATA** ステートメントが同一ループ内で複数回指定されました。

テキスト	AT END OF DATA ステートメントが同一ループ内で複数回指定されました。
[説明]	AT END OF DATA ステートメントは 1つの処理ループ内で1回しか指定できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0332 : **LC** および **IC** パラメータは、同時に使用できません。

テキスト	LC および IC パラメータは、同時に使用できません。
[説明]	LC および IC 文字は、 値に対してどちらか1つしか指定できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0333 : 英数字の編集マスクに数値を指定できません。

テキスト	英数字の編集マスクに数値を指定できません。
[説明]	このエラーは Natural データディクショナリに指定された編集マスクの定義が正しくない場合にも起きます。
[対処]	プログラムまたはデータディクショナリをチェックし、編集マスクの指定を修正してください。

NAT0335 : SCAN のテキスト文字列がアポストロフィで囲まれていません。

テキスト	SCAN のテキスト文字列がアポストロフィで囲まれていません。
[説明]	SCAN オペレーションに使用されるテキスト文字列はアポストロフィで囲んで、1 ソースコード行内に指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0336 : 検査するフィールドを変更する場合、そのフィールドは変数でなければいけません。

テキスト	検査するフィールドを変更する場合、そのフィールドは変数でなければいけません。
[説明]	EXAMINE ステートメントでは、検査するフィールドを変更する場合（つまり、DELETE/REPLACE ステートメントを使用する場合）、そのフィールドは定数ではいけません。変換するフィールドは変数でなければならないので、EXAMINE TRANSLATE ステートメントに定数が指定された場合にもこのエラーが発生します。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0337 : 変換テーブルのフォーマット／長さは A2、B2、または U2 でなければいけません。

テキスト	変換テーブルのフォーマット／長さは A2、B2、または U2 でなければいけません。
[説明]	EXAMINE TRANSLATE ステートメントの USING 節に指定される変換テーブルのフォーマット／長さは、A2、B2、または U2 でなければなりません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0338 : アクティブでない参照でデータベースフィールドを使用されました。

テキスト	アクティブでない参照でデータベースフィールドが使用されました。
[説明]	データベースフィールドの参照はアクティブな処理ループ内でのみ可能です。処理ループが閉じられると、そのループで有効なフィールドの参照はできなくなります。
[対処]	データベースフィールドの参照がアクティブな処理ループ内で行われていることを確認してください。

NAT0339 : **WRITE** で使用するグループ名にはヘディング指定はできません。

テキスト	WRITE で使用するグループ名にはヘディング指定はできません。
[説明]	グループ名が WRITE (または INPUT) ステートメントで使用された場合、グループに対して特定のヘッダー文字を指定することはできません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0340 : タブ指定が正しくない、またはすでに使用している桁にタブを指定しています。

テキスト	タブ指定が正しくない、またはすでに使用している桁にタブを指定しています。
[説明]	タブ "nT" は行の前方の桁しか指定できません。タブ記号は、新しい値をすでに使用されている場所に重ねて位置付けてはいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0341 : 文字の繰り返し数が **250** を超えた、または正しくありません。

テキスト	文字の繰り返し数が 250 を超えた、または正しくありません。
[説明]	繰り返し機能は、1 文字のテキストを指定された長さまで繰り返すものです。繰り返し数はカッコで囲んだ整数定数で指定します。最大繰り返し数は 250 です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0342 : **AT BREAK** ステートメントはこのタイプの処理ループ内では指定できません。

テキスト	AT BREAK ステートメントはこのタイプの処理ループ内では指定できません。
[説明]	AT BREAK ステートメントは、FIND/READ/HISTOGRAM/SORT ステートメントで開始される処理ループ内でのみ指定できます。ユーザーが開始するブレイク処理は、PERFORM BREAK PROCESSING ステートメントで実行できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0343 : 繰り返しに使用される文字列は、1文字でなければいけません。

テキスト	繰り返しに使用される文字列は、1文字でなければいけません。
[説明]	繰り返し機能を使って繰り返す文字列は、1文字でなければいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0344 : **WRITE TITLE/TRAILER** ステートメントは、条件内では使用できません。

テキスト	WRITE TITLE/TRAILER ステートメントは、条件内では使用できません。
[説明]	WRITE TITLE または WRITE TRAILER ステートメントは、次のステートメントブロック内で指定しないでください。 - IF - AT START/END OF DATA - AT TOP/END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - AT END OF FILE - ON ERROR - IF NO RECORDS FOUND - DEFINE SUBROUTINE
[対処]	WRITE TITLE/WRITE TRAILER を上記のステートメントブロックの外に指定してください。

NAT0345 : データディクショナリの編集マスク定義にエラーがあります。

テキスト	データディクショナリの編集マスク定義にエラーがあります。
[説明]	データディクショナリで定義されたデータベースフィールドに対する編集マスク定義が正しくありません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。一時的な解決方法は、プログラムで編集マスクを定義することです。

NAT0346 : データ定義モジュール (DDM) :1: がロードできません。

テキスト	データ定義モジュール (DDM) ... をロードできません。
[説明]	要求されたファイルのデータ定義モジュール (DDM) をロードできません。 内部 DDM ロードバッファが十分なサイズを確保できませんでした。
[対処]	大きなスレッド/パーティション/リージョン/タスク環境内で Natural を起動してください。

NAT0347 : **SORT** ステートメントを条件内に指定してはいけません。

テキスト	SORT ステートメントを条件内に指定しないでください。
[説明]	SORT ステートメントは存在するすべての処理ループを終了させ、全レコードを格納した後、新たに処理ループを開始します。 したがって、SORT ステートメントは、次のステートメントブロック内では使用できません。 - AT START/END OF DATA - IF - AT TOP/END OF PAGE - IF NO RECORDS FOUND - AT BREAK - ON ERROR - BEFORE BREAK PROCESSING - DECIDE - AT END OF FILE
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0348 : **AT TOP/END OF PAGE** ステートメントを条件内に指定してはいけません。

テキスト	AT TOP/END OF PAGE ステートメントを条件内に指定しないでください。
[説明]	AT TOP OF PAGE および AT END OF PAGE ステートメントは、次のステートメントブロックの外でしか使用できません。 - AT START/END OF DATA - AT TOP/END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - AT END OF FILE - IF - IF NO RECORDS FOUND - ON ERROR - DEFINE SUBROUTINE
[対処]	AT TOP/END OF PAGE ステートメントは、上記のステートメントブロックの外に指定してください。

NAT0349 : **GLOBALS** コマンドや **SET GLOBALS** ステートメントのパラメータ値が正しくありません。

テキスト	GLOBALS コマンドや SET GLOBALS ステートメントのパラメータ値が正しくありません。
[説明]	SET GLOBALS ステートメント (または GLOBALS コマンド) に指定されたパラメータ値が正しくありません。このパラメータに対しては、"ON" および "OFF" (または "T" および "F") だけを指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0350 : 1つの INPUT/WRITE/DISPLAY 内で指定された縦型項目が多すぎます。

テキスト	1つの INPUT/WRITE/DISPLAY 内で指定された縦型項目が多すぎます。
[説明]	1つの INPUT/WRITE/DISPLAY ステートメントは縦に最大 250 行出力できます。 "X/Y" 指定の X の値は 250 を超えてはいけません。 ヘッダ行数は 14 行を超えてはいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

10

Natural システムエラーメッセージ 0351～0400

NAT0351 : VERT、NOHDR、2 番目の DISPLAY に対して、ヘッダー文字列を指定できません。

テキスト	VERT、NOHDR、2 番目の DISPLAY に対して、ヘッダー文字列を指定できません。
[説明]	- レポートの最初の DISPLAY ステートメント以外でヘッダーテキストを指定できません。 - VERT モードでは、各フィールドに対してヘッダー文字列を指定する場合は、オプション "CAPTIONED" を使用してください。 個々のフィールドのヘッダーはヘッダー文字列として、列の上に縦に出力されます。 - オプションの AS "文字列" を CAPTIONED とともに使用する場合は、個々のフィールドに指定した文字列は、フィールド値と同じ行に列のフィールド値の前に出力されます。 - 同一レポートを参照する DISPLAY ステートメントは前の DISPLAY ステートメントでヘッダーが作られているので、ヘッダーを指定することはできません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0352 : FORMAT/SET GLOBALS の SF パラメータが 30 以上、または数値ではありません。

テキスト	FORMAT/SET GLOBALS の SF パラメータが 30 を超えている、または数値ではありません。
[説明]	SF パラメータの値は 30 以下の整数定数で指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0353 : パラメータは、事前に定義してはいけません。

テキスト	パラメータは、事前に定義しないでください。
[説明]	最初のパラメータアドレスだけが、呼び出されたプログラムに渡されます。他のすべてのパラメータは、物理的に最初のパラメータの直後に置く必要があります。これはパラメータ変数が CALL FILE/READ WORK FILE ステートメントで新たに定義された場合にのみ行われます。
[対処]	CALL FILE ステートメントでは事前に定義された変数を参照しないでください。

NAT0354 : 入力フィールドに対する充填文字の指定が正しくありません。

テキスト	入力フィールドに対する充填文字の指定が正しくありません。
[説明]	入力フィールドの空の部分を満たす文字にはアポストロフィで囲まれた 1 文字を指定する必要があります。AD パラメータによって値のリストのどこにでも指定できます。 例：INPUT (AD="<") #FIELD A #FIELD B
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0355 : "AD=" の後に正しくない属性が定義されました。

テキスト	"AD=" の後に正しくない属性が定義されました。
[説明]	AD パラメータの値については、Natural ドキュメントのセッションパラメータ AD を参照してください。さらに、次の場合は、当エラーが INPUT ステートメントで発生します。 -(AD=M) が *COM 以外のシステム変数に指定されている場合 -(AD=T) がシステム変数に指定されている場合
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0357 : READ WORK FILE で OFFSET/FILLER に対するエントリが正しくありません。

テキスト	READ WORK FILE で OFFSET/FILLER に対するエントリが正しくありません。
[説明]	READ WORK FILE に対するレコードレイアウトの OFFSET/FILLER は、整数の定数で指定する必要があります。フィルターエントリは "nX" の形で指定します。OFFSET/FILLER オプションが READ WORK FILE ステートメント内の不正な位置に指定された場合にも、このエラーが発生します。READ WORK FILE ステートメントの構文については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0358 : "AD=" の後に何も属性が指定されていません。

テキスト	"AD=" の後に何も属性が指定されていません。
[説明]	"AD=" の後には、少なくとも 1 つの属性を指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0359 : サブルーチン内の処理ループが正しく閉じられていません。

テキスト	サブルーチン内の処理ループが正しく閉じられていません。
[説明]	サブルーチン内で処理ループを開始した場合、LOOP ステートメントを RETURN ステートメントの前に置いて、同一サブルーチン内でループを閉じる必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0360 : IF 条件内に実行ステートメントがありません。

テキスト	IF 条件内に実行ステートメントがありません。
[説明]	REDEFINE や FORMAT のようなステートメントは実行コードを作成しないので、IF 条件内に指定することができません。変数の再定義はどの条件下でも真なので、IF 条件内に REDEFINE や FORMAT ステートメントを置くことは意味がありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0361 : 指定されたプリンタ番号は割り当てられていません。

テキスト	指定されたプリンタ番号は割り当てられていません。
[説明]	- 指定プリンタに対応する JCL ステートメントが指定されませんでした。 - または、TP モニタを使用している場合、TP モニタがオフラインプリンタをサポートしていない、または必要なパラメータモジュールが生成されていません。
[対処]	- プリンタ番号を修正してください。 - または、Natural 管理者に連絡してください。

NAT0362 : サブルーチンの定義が重なっています。

テキスト	サブルーチンの定義が重なっています。
[説明]	DEFINE SUBROUTINE ステートメントで開始したサブルーチン定義は、他のサブルーチン定義を開始する前に END-SUBROUTINE または RETURN ステートメントで終了する必要があります。 DEFINE SUBROUTINE ステートメントは他の DEFINE SUBROUTINE ステートメントブロック内で 使用しないでください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0363 : サブルーチンの定義が正しくありません。

テキスト	サブルーチンの定義が正しくありません。
[説明]	DEFINE SUBROUTINE ステートメントは次の条件ステートメントブロック内では使用できません。 - AT START OF DATA - AT END OF DATA - AT TOP OF PAGE - AT END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - AT END OF FILE - IF NO RECORDS FOUND - ON ERROR
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0364 : 同じワークファイルへの複数の書き込みに矛盾があります。

テキスト	同じワークファイルへの複数の書き込みに矛盾があります。
[説明]	このエラーは、1つのプログラム内に同じワークファイルにデータを書き込む WRITE WORK FILE ステートメントが2つ以上ある場合に発生します。 - 同じワークファイルへの書き込みはすべて固定長、または変数の長さで実行する必要があります。 つまり、関係のある WRITE WORK FILE ステートメントごとに "VARIABLE" を指定する必要があります。 (WRITE WORK FILE (1) VARIABLE ステートメントに対応する EXPORT ステートメントの前後関係に注意してください。) - 同じワークファイルへの書き込みがすべて固定長の場合、フィールド長の合計は関係のある WRITE WORK FILE ステートメントごとに同じでなければなりません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0366 : **Natural** システム関数の使用が正しくありません。

テキスト	Natural システム関数の使用が正しくありません。
[説明]	MAX、MIN、SUM、AVER のような NATRUAL システム関数は、AT BREAK、AT END OF DATA、AT END OF PAGE 条件下でのみ使用できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0367 : **Natural** システム関数の参照が正しくありません。

テキスト	Natural システム関数の参照が正しくありません。
[説明]	ページごとの Natural システム関数の評価が WRITE/DISPLAY ステートメントの GIVE SYSTEM FUNCTION 節で要求された場合は、MAX、MIN、SUM、AVER のような Natural システム関数は AT END OF PAGE 条件でのみ使用できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0368 : ディスクリプタに対する検索フィールドが長すぎます。

テキスト	ディスクリプタに対する検索フィールドが長すぎます。
[説明]	検索フィールドの最大長は 126 バイトです。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0369 : パラメータ **DY** は英数字フィールドにのみ使用できます。

テキスト	パラメータ DY は英数字フィールドにのみ使用できます。
[説明]	ダイナミック属性（点滅、高輝度表示、下線、色指定など）は英数字フィールドに対してのみ使用できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0370 : 英数字定数の連結が正しくありません。

テキスト	英数字定数の連結が正しくありません。
------	--------------------

[説明]	<p>連結文字 ("-") が見つかりましたが、連結されている定数セグメントが見当たらないか、または不正なフォーマットです。</p> <p>英数字定数 ("文字列" または H"..") の後にハイフン ("-") がある場合は、別の英数字定数がその後続く必要があります。</p> <p>例: "ABC"- "DEF"-H"F1F2F3"- "XYZ"</p> <p>Unicode フォーマットの定数 (U"文字列" または UH"..") の後にハイフン ("-") がある場合は、Unicode フォーマットの別の定数がその後続く必要があります。</p> <p>例: U"ABC"-U"DEF"-UH"00310032"-U"XYZ"</p> <p>英数字定数セグメントと Unicode 定数セグメントを連結することはできません。</p>
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0373 : RENUMBER の増分指定にエラーがあります。

テキスト	RENUMBER の増分指定にエラーがあります。
[説明]	<p>行モードのエディタでは (nnnn) 形式で行番号の再設定に増分の指定ができます。</p> <p>ユーザーが RENUMBER オペレーションで指定した増分では行番号が 9999 より大きいものができてしまいます。</p>
[対処]	行番号が 9999 を超えないように、増分を RENUMBER で指定してください。

NAT0375 : フォーマット要素のタイプが正しくありません。

テキスト	フォーマット要素のタイプが正しくありません。
[説明]	現在のタイプの FORMAT エlementには、"ON" および "OFF" (または "T" および "F") だけを指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0376 : グローバル変数 :1: が一致していません。

テキスト	グローバル変数 ... が一致していません。
[説明]	<p>プログラム間で渡されるグローバル変数のフォーマットおよび (または) 長さが一致していません。</p> <p>同名のグローバル変数は、"+変数名" というデータとして参照される場合、複数プログラム間でグローバル変数の値を転送できるように、フォーマットおよび長さが一致していなければなりません。</p>
[対処]	<p>EDIT VARIABLES コマンドで現在存在するグローバル変数をチェックし、プログラムで参照しているものと比較してください。</p> <p>-フォーマットと長さを一致させてください。-または、LOGON コマンドでグローバル変数を解放してください。</p>

NAT0378 : "/" 記号を使ってグループの下にフィールドをおくことはできません。

テキスト	"/" 記号を使ってグループの下にフィールドを置くことはできません。
[説明]	DISPLAY ステートメントでグループフィールドを参照する場合は、グループの個々のフィールドに対して複数欄のレイアウトが作られます。グループレイアウトの下に個々のフィールドを指定することはできません。
[対処]	個々のフィールドを別の欄に指定してください。

NAT0379 : "x/y" 形式の出力位置の指定が正しくありません。

テキスト	"x/y" 形式の出力位置の指定が正しくありません。
[説明]	"x/y" 形式では、"x" および "y" に対して定数でしか指定できません。現在の行サイズ、およびページサイズの制限を超えて、出力行および桁を指定することはできません。また、すでに出力位置として指定されているところに重ねて指定することはできません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0380 : ダイナミックソース変数の構造にエラーがあります。

テキスト	ダイナミックソース変数の構造にエラーがあります。
[説明]	ダイナミックソース変数を示す文字 "&" の後に正しい変数名がありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0383 : ソースワークエリアのプログラムが昇順に番号付けされていません。

テキスト	ソースワークエリアのプログラムが昇順に番号付けされていません。
[説明]	プログラム内で正しく参照するには、ソースプログラムの行番号を昇順に付ける必要があります。
[対処]	RENUMBER コマンドを使用して、プログラムの行番号を再設定してください。重複する番号が存在する場合は、参照番号をチェックしてください。すべての参照番号は自動的に再番号付けされます。

NAT0384 : 明確なフォーマットおよび (または) 長さの指定がありません。

テキスト	明確なフォーマットおよび (または) 長さの指定がありません。
[説明]	GLOBALS コマンドまたは SET GLOBALS ステートメントの FS パラメータで、デフォルトのフォーマット/長さが指定されないように設定されています。 したがって、すべてのユーザー定義変数にはフォーマット/長さを明確に指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0385 : DC、IA、ID パラメータの値が同じであってはなりません。

テキスト	DC、IA、ID パラメータの値が同じであってはなりません。
[説明]	セッションパラメータ DC、IA、および ID の値は互いに異なるものです。これらのパラメータの値は、他の2つのパラメータとは異なる値でなければなりません。
[対処]	GLOBALS コマンドを使用して、DC、IA、および ID に指定されている値をチェックし、互いに異なる値を指定するようにしてください。

NAT0386 : ソースの参照に指定したグローバル変数が定義されていません。

テキスト	ソースの参照に指定したグローバル変数が定義されていません。
[説明]	"&NAME" の形式で、ソースパラメータとして参照するすべてのグローバル変数は、その値を割り当てるプログラムを事前に実行して、定義しておく必要があります。 グローバル変数を使用してソースプログラムを作成する場合は、EDIT コマンドを使って構文チェックをしないで作っても構いませんが、構文チェックをしながらプログラムを作る場合は、"&NAME" 参照の前に適切なグローバル変数の環境を作成しておく必要があります。
[対処]	- EDIT モードでプログラムを作成してください。または - "&NAME" 参照の前にグローバル変数を定義するプログラムを実行し、適切なグローバル変数の環境を作成してください。

NAT0387 : 名前付き定数を変更することはできません。

テキスト	名前付き定数を変更することはできません。
[説明]	変数に、初期値（プログラムの中で変更される）を持たせて、プログラムの中で後から元の値を再使用する場合、 DEFINE DATA ステートメントの INIT 節および RESET INITIAL ステートメントを使用してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0389 : 不正な参照 "0000" が指定されました。

テキスト	不正な参照 "0000" が指定されました。
[説明]	行番号を指定してデータベースアクセスステートメントを参照する場合、行番号を "0000" に指定できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0390 : ここでは、フォーマット／長さが **F16** の変数は使用できません。

テキスト	ここでは、フォーマット／長さが F16 の変数は使用できません。
[説明]	長さ 16 の浮動小数点の変数は、次の Natural ステートメントでは使用できません。 - DISPLAY - WRITE - PRINT - INPUT
[対処]	上記のステートメントで F16 の変数を使用しないでください。

NAT0392 : **DATE** または **TIME** 変数を使った処理が正しくありません。

テキスト	DATE または TIME 変数を使った処理が正しくありません。
[説明]	このエラーは次のいずれかが原因で発生します。 - 日付／時間オペランドと数値オペランドの間に "+", "*", または "-" 以外の算術演算子が使われました。 - 1つの日付／時間オペランドと1つの浮動小数点オペランドに算術演算子が使われました。 - 日付以外のフォーマットのフィールドが日付変数に割り当てられています。 詳細については、Natural ドキュメントの「日付および時間の算術演算」を参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0393 : プログラムを実行できません。

テキスト	プログラムを実行できません。
[説明]	1) 現在の Natural バージョンでは、サポートしていない次の処理が試行されました。 - Natural プログラミングオブジェクトの実行。 - または、コンパイル時に GDA、LDA、PDA、またはマップのロード。 サポートされる Natural プログラムバージョンについては、対応する Natural ドキュメントを参照してください。 2) 実行されるプログラムは、現在のバッファプールのブラックリストに含まれています (SYSBPM ユーティリティドキュメントを参照)。
[対処]	1) 現在のバージョンの Natural でプログラムをもう一度コンパイルしてください。 2) ブラックリストからプログラムを削除してください。

NAT0394 : フォーマット指定が正しくありません。

テキスト	フォーマット指定が正しくありません。
[説明]	詳細については、Natural セッションパラメータドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0395 : 属性 "CV" は "HE" 定義の前に定義する必要があります。

テキスト	属性 "CV" は "HE" 定義の前に定義する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0396 : 入力フィールドに対してローマ数字の編集マスクは使用できません。

テキスト	入力フィールドに対してローマ数字の編集マスクは使用できません。
[説明]	INPUT ステートメントで出力フィールドに対してのみローマ編集マスクを使用することができます。 例: INPUT #D (EM=R AD=O)
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0397 : INPUT または WRITE ステートメントの添字範囲が正しくありません。

テキスト	INPUT または WRITE ステートメントの添字範囲が正しくありません。
[説明]	INPUT または WRITE ステートメントでは、コンパイル時にオカレンス番号が認識されないため、配列の添字範囲指定が無効となります。 無効な添字範囲の例： - 異なる変数による範囲指定：(#I:#J) - 定数と変数による範囲指定：(1:#i) - X array の完全な範囲表記：(*) 有効な添字範囲の例： - 定数による範囲指定：(1:5) - 同じ変数による範囲指定：(#I:#I+5)
[対処]	有効な添字範囲を指定します。

NAT0398 : ラベル定義は行の先頭に指定しなければいけません。

テキスト	ラベル定義は行の先頭に指定しなければいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0399 : INCLUDE ステートメントだけをソース行に入力しなければいけません。

テキスト	INCLUDE ステートメントだけをソース行に入力しなければいけません。
[説明]	INCLUDE ステートメントだけをソースコード行に入力しなければいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0400 : ライブラリ ID が正しくありません。

テキスト	ライブラリ ID が正しくありません。
[説明]	ライブラリ ID は、8 文字以内にする必要があります。 ライブラリ ID には、大文字の英字、数字、および一部の特殊文字を使用できます。 空白を含めることはできません。 先頭の文字は、大文字の英字でなければなりません。 ライブラリの命名規則の詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	正しいライブラリ ID を使用してください。

11 Natural システムエラーメッセージ 0401～0450

NAT0401 : プログラム名が正しくありません。

テキスト	プログラム名が正しくありません。
[説明]	プログラム名は、英文字で始まり、8文字以下である必要があります。
[対処]	正しいプログラム名を使用してください。

NAT0402 : EDIT コマンドで使われた文字列がアポストロフィで閉じられていません。

テキスト	EDIT コマンドで使われた "文字列" がアポストロフィで閉じられていません。
[説明]	."文字列" はその文字で始まる行へ位置付けするために行エディタで使用できます。 .S"文字列" は指定した文字列でソースプログラムをスキャンし、その文字列を含むすべての行を選択するために使います。
[対処]	コマンドをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0403 : 行エディタのサブコマンドが正しくありません。

テキスト	行エディタのサブコマンドが正しくありません。
------	------------------------

[説明]	<p>次のサブコマンドを行エディタで使用できます。</p> <p>.B 一番下へ位置付けます。</p> <p>.Cn(m) n 行から開始する m 行分をコピーします。</p> <p>.C"text"(m) "text" で始まる行を m の位置へコピーします。</p> <p>.D 行を削除します。</p> <p>.D(n) 複数行を削除します。n は行数。</p> <p>.E 行を終了します。</p> <p>.I 行を挿入します。</p> <p>.I(program) プログラムを挿入します。</p> <p>.Mn n 行を移動します。</p> <p>.M"text"(m) "text" で始まる行を m の位置へ移動します。</p> <p>.R(n) 増分 n で行番号を再設定します。デフォルト n=10</p> <p>.S"text" text を検索します。</p> <p>(text は文字列、program はプログラム名、n および m は行番号)</p> <p>PF キーの使用については、Natural ドキュメントの EDT コマンドを参照してください。</p>
[対処]	<p>PF キーの使用について、Natural ドキュメントの EDT コマンドを参照してください。正しいコマンドを実行してください。</p>

NAT0404 : 編集コマンドの "+/-" (プラス/マイナス) の数字が正しくありません。

テキスト	編集コマンドの "+/-" (プラス/マイナス) の数字が正しくありません。
[説明]	<p>" +/--n" は、行エディタで前/後に位置付けするために使用します。</p> <p>"n" は "+/-" 符号の直後に置く数値定数です。</p>
[対処]	正しいコマンドを入力します。

NAT0406 : SORT ステートメントでは添字の範囲指定はできません。

テキスト	SORT ステートメントでは添字の範囲指定はできません。
[説明]	<p>完全な配列のみ SORT ステートメントの USING 節内に指定することができます。これは、添字として "*" を指定すること、または、明示的に定数で完全な範囲を指定することで、実現できます。</p> <p>例： 01 ARRAY (A5/1:20)</p> <p>...</p> <p>SORT BY ... USING ARRAY(*) または</p> <p>SORT BY ... USING ARRAY(1:20)</p>
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0407 : タブ "nT" 指定が正しくありません。

テキスト	タブ "nT" 指定が正しくありません。
[説明]	"nT" 指定は使用可能な行サイズ以内でなければなりません。 "n" の値が 0 であってははいけません。 また、現在指定している行サイズより大きくなってはいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0408 : VERT モードでタブ指定 "nT" が正しくない、または重なって指定されています。

テキスト	VERT モードでタブ指定 "nT" が正しくない、または重なって指定されています。
[説明]	"nT" は、出力位置を指定するために使用します。 VERT モードでは、タブ指定は 2 つの出力欄の間で 1 度だけしか指定できません。"VERT" エントリの前では欄の位置は 1 度しか定義できないので、 VERT モードで個々のフィールドに対して出力位置を 指定することはできません。 指定する場合は、"nX" 指定を使用してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0409 : フィールドの位置参照は、出力欄の間で 1 度しか指定できません。

テキスト	フィールドの位置参照は、出力欄の間で 1 度しか指定できません。
[説明]	"T*NAME" 形式での位置の参照は、 DISPLAY ステートメントで新しい出力欄に 位置付ける場合にだけに使用できます。 VERT モードの 1 出力欄内で、"T*NAME" を指定して 個々のフィールドを位置付けることはできません。 出力欄内で位置決めをする場合は、"nX" 指定を使用してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0411 : 出力位置の参照は最初の DISPLAY ステートメントでなければなりません。

テキスト	出力位置の参照は最初の DISPLAY ステートメントでなければなりません。
[説明]	"T*NAME" 形式での出力位置欄の参照は、 プログラム内の最初の DISPLAY ステートメントで 欄として定義された変数だけを指定できます。 データベースフィールドの短縮形 (2 文字) は使用できません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT0412 : "nX" または "nT" 指定の位置が行サイズを超えました。

テキスト	"nX" または "nT" 指定の位置が行サイズを超えました。
[説明]	"nX" または "nT" が現在指定されている行サイズを超えて出力位置を指定されました。
[対処]	nX/nT を修正してください。または、行サイズパラメータを大きくしてください。

NAT0413 : **.I(name)** で指定されたモジュールがソースライブラリにありません。

テキスト	.I(name) で指定されたモジュールがソースライブラリにありません。
[説明]	- ソースライブラリからコピーするソースモジュールがそのライブラリ内にありません。 - または、".I(name)" エントリが正しく指定されていません。
[対処]	正しいソースモジュール名で、コマンドをもう一度発行してください。

NAT0415 : **PRINT** ステートメントでは "**T***"、"**P***" 記号は使用できません。

テキスト	PRINT ステートメントでは、"T*" および "P*" 記号は使用できません。
[対処]	PRINT ステートメントでは、"T*" および "P*" を使用しないでください。

NAT0416 : **PRINT** ステートメントでは、"**x/y**" 表記は使用できません。

テキスト	PRINT ステートメントでは、"x/y" 表記は使用できません。
[対処]	PRINT ステートメントでは、"x/y" 表記を使用しないでください。

NAT0417 : **READ WORK FILE** では変数の添字範囲は指定できません。

テキスト	READ WORK FILE では変数の添字範囲は指定できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0418 : "**RETURN**" はストラクチャードモードでは使用できません。

テキスト	"RETURN" はストラクチャードモードでは使用できません。
[説明]	"RETURN" はレポートモードでしか使用できません。ストラクチャードモードではサブルーチンの終了に END-SUBROUTINE ステートメントを使います。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0419 : ストラクチャードモードでは "USING" を使わなければいけません。

テキスト	ストラクチャードモードでは "USING" を使わなければいけません。
[説明]	SORT ステートメントがストラクチャードモードで使用される場合、中間ストレージに書き出すフィールドを指定するには USING 節を指定する必要があります。 USING KEYS を指定すると、全ソートキーフィールドが中間ストレージに書き出されます。 USING オペランド 2... は、ソートキーフィールドに加えて中間ストレージに書き出すフィールドを指定するために使います。 ストラクチャードモードのデフォルトでは、BY 節で指定したフィールドは中間ソートストレージには書き出されません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0422 : 外部サブルーチンのステートメント、またはその位置が正しくありません。

テキスト	外部サブルーチンのステートメント、またはその位置が正しくありません。
[説明]	外部サブルーチンに複数の DEFINE SUBROUTINE ステートメントがあってははいけません。 また、DEFINE SUBROUTINE ステートメントブロックは END-SUBROUTINE (レポーティングモードでは RETURN) で閉じる必要があります。 DEFINE SUBROUTINE ブロック外に指定可能なステートメントは、DEFINE SUBROUTINE ステートメントの前にある DEFINE DATA LOCAL/GLOBAL ステートメント、およびサブルーチン終了の END ステートメントだけです。
[対処]	外部サブルーチンのエラーを修正してください。

NAT0423 : READ WORK FILE ステートメントの GIVING LENGTH 節が正しくありません。

テキスト	READ WORK FILE ステートメントの GIVING LENGTH 節が正しくありません。
[説明]	エラーの原因として次のことが考えられます。 1.1. "GIVING" の後にキーワード "LENGTH" がありません。 2.2. オペランドが指定されていない、またはフォーマット/長さが正しく定義されていません (フォーマット/長さは I4 です)。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0424 : PC "COMMAND" オプションのオペランドが正しくありません。

テキスト	PC "COMMAND" オプションのオペランドが正しくありません。
[説明]	WRITE WORK FILE/WRITE PC/DOWNLOAD ステートメントの COMMAND オプションに対するオペランドは、英数字フォーマットでなければならず、また長さは 80 文字以内にする必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0425 : 修飾された変数名の使用が正しくありません。

テキスト	修飾された変数名の使用が正しくありません。
[説明]	修飾された変数名はデータ変数を参照するときにはしか使用できません。これらは DEFINE DATA ステートメントで変数を定義するときには使えません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0426 : データ構造の変数名の使い方が間違っています。

テキスト	データ構造の変数名の使い方が間違っています。
[説明]	DEFINE DATA ステートメントで、変数名が既存のデータ構造の定義に使用されました。前の変数定義が他のデータ構造の一部ではありませんでした。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0428 : データ構造の変数名の定義が正しくありません。

テキスト	データ構造の変数名の定義が正しくありません。
[説明]	DEFINE DATA ステートメントで使用された変数がすでに存在しています。この変数名は前に現在のデータ構造内のデータ要素として定義してあります。 DEFINE DATA ステートメント内でユニークでない変数名は、レベル 1 の構造名で変数を修飾することによって参照できます。したがって、2つのデータ構造の変数名が同じレベル 1 の構造名を持つ場合、それらを同一変数名にすることはできません。 例： 1 GROUP 2 STRUCTURE-1 3 SAME-NAME (A1) 2 STRUCTURE-2 3 SAME-NAME (N7) <== ユニーク参照不可 1 OTHER-STRUCTURE 2 SAME-NAME (P4) <== ユニーク参照可 (OTHER-STRUCTURE.SAME-NAME で)
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0429 : データベース配列の添字が正しく指定されていません。

テキスト	データベース配列のインデックスが誤って指定されました。
[説明]	配列定義の際、各次元への添字指定は 単独で定義できない範囲を含んではいけません。 単独で定義できない範囲指定とは次のような添字指定です。 #FIELD(#I+1) または #FIELD(#J-1) #FIELD(*) #FIELD(#I+#J)
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0431 : 修飾語は構造レベル名でなければいけません。

テキスト	修飾語は構造レベル名でなければいけません。
[説明]	変数名の修飾語はすべて構造レベル名でなければなりません。 つまり、それら修飾語自体データ構造内に 2次構造を定義する必要があります。 現在の変数名の指定に不正な修飾語があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0434 : 修飾語名が変数をユニークに識別していません。

テキスト	修飾語名が変数をユニークに識別していません。
[説明]	修飾語名リストが現在の変数名をユニークに参照していません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0435 : データベース配列に誤った添字が指定されました。

テキスト	データベース配列のインデックスが誤って指定されました。
[説明]	Natural バージョン 1.2 では添字範囲指定に "-" 記号を使用していましたが、 この記号はバージョン 2.1 の ":" 記号で定義した データベース配列を参照することはできません。 この逆も認められていません。 また、データベース配列の定義に この2つの記号を混ぜて使うこともできません。 バージョン 1.2 で定義したデータベース配列を参照する場合、 "I+1" または "I-2" などの添字記号を使用できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0436 : データ構造の内部サイズが大きすぎます。

テキスト	データ構造の内部サイズが大きすぎます。
[説明]	DEFINE DATA ステートメントのデータ構造サイズが大きすぎます。
[対処]	変数の数、または変数のオカレンス数を減らしてください。

NAT0437 : 現在の構造に対する定数定義がありません。

テキスト	現在の構造に対する定数定義がありません。
[説明]	ある変数が DEFINE DATA ステートメントの "CONST" キーワードで定数として定義されている場合、その構造内の各エレメンタリフィールドは定数として定義する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0438 : レコード長は **1073741824** バイトを超えてはいけません。

テキスト	レコード長は 1073741824 バイトを超えてはいけません。
[説明]	READ/WRITE WORK FILE ステートメントで読み込む/書き込むレコードの長さは 1073741824 バイト (= 1 GB) を超えてはいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0439 : 可変長フィールドは **WRITE WORK VARIABLE** でのみ指定できます。

テキスト	可変長フィールドは WRITE WORK VARIABLE でのみ指定できます。
[説明]	VARIABLE 節が指定されていない WRITE WORK FILE ステートメントで可変長フィールドを使用することはできません。 例: (誤) WRITE WORK FILE 1 array(1:j) (正) WRITE WORK FILE 1 VARIABLE array(1:j)
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0440 : **DISPLAY** と **NEWPAGE** は **AT TOP/END OF PAGE** では使用できません。

テキスト	DISPLAY と NEWPAGE は AT TOP/END OF PAGE では使用できません。
[説明]	DISPLAY/NEWPAGE ステートメントを AT TOP OF PAGE/AT END OF PAGE ステートメントブロック内に指定しないでください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0441 : RETURN または END-SUBROUTINE は条件ブロック内に使用できません。

テキスト	RETURN または END-SUBROUTINE は条件ブロック内に使用できません。
[説明]	RETURN または END-SUBROUTINE ステートメントを次のステートメントブロック内に指定しないでください。 - AT START/END OF DATA - AT TOP/END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - AT END OF FILE - IF NO RECORDS FOUND - ON ERROR
[対処]	プログラム/サブルーチンのエラーを修正してください。

NAT0442 : RETRY ステートメントは条件ブロック内に指定できません。

テキスト	RETRY ステートメントは条件ブロック内に指定できません。
[説明]	RETRY ステートメントを次のステートメントブロック内に指定しないでください。 - AT START/END OF DATA - AT TOP/END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - AT END OF FILE - IF NO RECORDS FOUND - DEFINE SUBROUTINE
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0443 : C ルーチン名がジャンプテーブルに見つかりません。

テキスト	C ルーチン名がジャンプテーブルに見つかりません。
[説明]	CALL <MODULE> <ROUTINE> <ARGUMENTS> <routine> によって宣言されたルーチンが、モジュールヘッダー csect <module> に宣言されたジャンプテーブルルックアップルーチンによって検出されません。ジャンプテーブルルックアップルーチンも C で書かれていることに注意してください。
[対処]	これは Natural Expert の内部エラーです。Software AG に連絡して、エラーの発生した状況を説明してください。

NAT0444 : Entire システムファイル用の LFILE 指示がタイプ Entire ではありません。

テキスト	Entire システムファイル用の LFILE 指示がタイプ Entire ではありません。
[説明]	Entire システムファイル (249,250) に対する LFILE 指示をチェックしてください。 Entire NTDB マクロエントリをチェックしてください。 NATPARM モジュールの NTDB マクロはデータベースタイプを決定します。 - NTDB ENTIRE,xyz ("xyz" はデータベース ID) NATPARM モジュールの NTLFILE マクロは Entire クロスリファレンスファイルおよびデータファイルを 定義します。 - NTLFILE 249,xyz,10 (SYS1) - NTLFILE 250,xyz,11 (SYS2) または、LFILE をダイナミックパラメータとして指定できます。 例：LFILE=(249,xyz,10),LFILE=(250,xyz,11) いずれの場合も、データベースハンドラは タイプ ENTIRE として宣言する必要があります。詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT0445 : C バッファが他のアプリケーションに使用されています。

テキスト	C バッファが他のアプリケーションに使用されています。
[説明]	2つのアプリケーションが Natural バッファを使用しています。 このエラーは2つ目のアプリケーションを開始したときに検出され、 データを保護するために、2つ目のアプリケーションは開始できません。
[対処]	2つのアプリケーションでバッファを分割して使用できる場合は 問題を解決できます。Software AG に連絡してください。

NAT0446 : 属性表記内にステートメント名が見つかりました。

テキスト	属性表記内にステートメント名が見つかりました。
[説明]	Natural キーワードと同じ名前をカテゴリの属性に 定義したときに起こります。
[対処]	属性の名前を変更してください。

NAT0447 : Entire ファイルに対して FIND UNIQUE を使用できません。

テキスト	Entire ファイルに対して FIND UNIQUE を使用できません。
[説明]	このステートメントは Entire ではサポートされていません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0448 : C インターフェイス - メモリバッファが得られません。

テキスト	C インターフェイス - メモリバッファが得られません。
[説明]	C で書かれた処理が MALLOC オペレーションを実行してワークバッファを得るとき、環境インターフェイス NICMAIN の GETMAIN# エントリによってワークバッファを与えられます。 (逆に NICMAIN は C モジュールに宣言されたセカンドバッファからワークバッファを得ます。) このバッファは Natural 環境に定義されていません。 このため、EXRSIZE または EXCSIZE の割り当てができません。
[対処]	- NATPARAM モジュールで定義されている EXRSIZE または EXCSIZE に十分なスペースがあるかどうかチェックしてください。 - または、バッファサイズを大きくしてください。

NAT0449 : C ワークバッファが小さすぎます。

テキスト	C ワークバッファが小さすぎます。
[説明]	CALL <module> <routine> <arguments> C ワークバッファの初期化時に必要な最小サイズは次のとおりです。 <size of extern/static> + 4K
[対処]	これは Natural Expert の内部エラーです。 Software AG に連絡してください。

NAT0450 : メモリが不十分なために C サブルーチンを実行できません。

テキスト	メモリが不十分なために C サブルーチンを実行できません。
[対処]	これは Natural Expert の内部エラーです。 Software AG に連絡してください。

12 Natural システムエラーメッセージ 0451~0500

NAT0451 : Entire DB リクエストハンドラがロードできない、または見つかりません。

テキスト	Entire DB リクエストハンドラがロードできない、または見つかりません。
[説明]	Entire DB リクエストハンドラは、Natural バージョン 2.1 ではモジュール "AERNAT" に、Natural バージョン 2.2 ではモジュール "NATDREQ" に含まれています。おそらく、このモジュールが Natural にリンクされていません。
[対処]	リンクジョブをチェックして、必要なモジュールを Natural にもう一度リンクしてください。

NAT0452 : Entire が起動できません。

テキスト	Entire が起動できません。
[説明]	原因は、次のいずれかです。 - 要求を満たすための十分なスペースがありません。 - Entire バッファ (ZSIZE) が小さすぎます。最小値は 44 です。 - リンク、またはダイナミックなロードができなかったため、Adabas/Entire ニュークリアス (AERNUC) にアクセスできません。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT0454 : Entire DB の再配置可能エラー。

テキスト	Entire DB の再配置可能エラー。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0455 : Entire への最初のコマンドが "DLOGON" ではありません。

テキスト	Entire への最初のコマンドが "DLOGON" ではありません。
[説明]	Entire データにアクセスする前に、DLOGON ステートメントを正常に実行する必要があります。これにより、ユーザー ID で、指定するアプリケーション、セキュリティチェック、およびデータのアクセス権が決定します。
[対処]	アクセスする前に、システムが DLOGON を呼び出すことを確認し、コードを修正してください。

NAT0456 : Entire に対するファンクションコードが正しくありません。

テキスト	Entire に対するファンクションコードが正しくありません。
[説明]	Entire が解釈できないファンクションコードフィールド (CB のオフセット 2) を持つコントロールブロック (Adabas と同様のフォーマット) を Entire が受け取りました。これは、システムの非互換性および/または Entire ワークエリアの上書きによって起こります。
[対処]	アプリケーションダンプを生成し、Software AG サポートに連絡してください。

NAT0457 : Entire のバージョンが矛盾しています。

テキスト	Entire のバージョンが矛盾しています。
[説明]	これは、インターフェイス CSECT DDIPFNAT (AERNUC) と他のバージョンの初期化モジュール ADDINIT (AERNAT) のリンクによって起こります。
[対処]	- Natural/Entire リンクジョブの "INCLUDE" データセットをチェックしてください。または- システム管理者に連絡してください。

NAT0458 : 指定された名前の "RETAIN AS" 集合が存在しません。

テキスト	指定された名前の "RETAIN AS" 集合が存在しません。
[説明]	これは、例えば FIND が存在しない ISN 集合、または解放された ISN 集合を参照した場合に起こります。詳細については、『Entire DB プログラマズガイド』の FIND ステートメントの RETAIN 節を参照してください。
[対処]	アプリケーションプログラムの ISN 集合の利用が正しいことを確認してください。

NAT0459 : コントロールブロックが整列されていません。

テキスト	コントロールブロックが整列されていません。
[説明]	ダイレクトコマンドのコントロールブロックのフルワードを 整列させる必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、 コントロールブロックを揃えてください。

NAT0460 : レコード長がオープン長より大きい。

テキスト	レコード長がオープン長より大きい。
[説明]	Entire DB が EXPORT/IMPORT によって ワークファイル 1 にレコードを書き込もうとしましたが、このワークファイルがすでに 4096 バイトより小さい長さのレコードで開かれていました。
[対処]	読み込み／書き込みするプログラムをチェックして、 最初の読み込み／書き込みレコードが 少なくとも 4096 バイトあることを確認してください。または、DCB をチェックしてくださ い。

NAT0461 : **DEFINE WINDOW** ステートメントの **CONTROL** 節にエラーがあります。

テキスト	DEFINE WINDOW ステートメントの CONTROL 節にエラーがあります。
[説明]	DEFINE WINDOW ステートメントの CONTROL 節は、 次のように指定する必要があります。 CONTROL SCREEN、または CONTROL WINDOW CONTROL 節が省略されると、 CONTROL WINDOW がデフォルトで適用されます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0462 : **DEFINE WINDOW** ステートメントの **SYMBOL** 節にエラーがあります。

テキスト	DEFINE WINDOW ステートメントの SYMBOL 節にエラーがあります。
[説明]	DEFINE WINDOW ステートメントの正しい構文については、 Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0463 : カラー、または属性の指定が正しくありません。

テキスト	カラー、または属性の指定が正しくありません。
[説明]	DEFINE WINDOW ステートメントの REVERSED 節または FRAMED 節に不正な属性または不正なカラーコードが指定されました。REVERSED 節または FRAMED 節に指定できる属性は、CD (カラー定義) だけです。カラー定義は (CD=cc) と定義する必要があります ("cc" はカラーコードです)。詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0464 : DEFINE/SET WINDOW にウィンドウ名がない、または正しくありません。

テキスト	DEFINE/SET WINDOW にウィンドウ名がない、または正しくありません。
[説明]	DEFINE WINDOW または SET WINDOW ステートメントでは、定義するウィンドウ名はキーワード "DEFINE/SET WINDOW" の直後に指定する必要があります。ウィンドウ名については、ユーザー定義変数名と同じ規則が適用されます (Natural ドキュメント参照)。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0465 : WINDOW :1: の使用が矛盾しています。

テキスト	WINDOW ... の使用が矛盾しています。
[説明]	- このウィンドウ名が2つの DEFINE WINDOW ステートメントにより2回定義されました。または - ウィンドウがプログラム (INPUT WINDOW ステートメントなど) で参照されましたが、そのウィンドウが DEFINE WINDOW ステートメントで定義されていませんでした。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0466 : DEFINE WINDOW ステートメントの SIZE 節にエラーがあります。

テキスト	DEFINE WINDOW ステートメントの SIZE 節にエラーがあります。
[説明]	DEFINE WINDOW ステートメントの SIZE 節は、次のように指定する必要があります。 SIZE AUTO SIZE QUARTER SIZE lines * columns SIZE 節が省略されると、SIZE AUTO がデフォルトで適用されます。DEFINE WINDOW 構文の詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。

[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
------	----------------------------

NAT0467 : **DEFINE WINDOW** ステートメントの **BASE** 節にエラーがあります。

テキスト	DEFINE WINDOW ステートメントの BASE 節にエラーがあります。
[説明]	DEFINE WINDOW ステートメントの BASE 節は、次のように指定する必要があります。 - BASE CURSOR - BASE TOP LEFT - BASE TOP RIGHT - BASE BOTTOM LEFT - BASE BOTTOM RIGHT - BASE 行位置／欄位置 BASE 節が省略されると、BASE CURSOR がデフォルトで適用されます。 DEFINE WINDOW 構文の詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0468 : **DEFINE WINDOW** ステートメントの **TITLE** 節にエラーがあります。

テキスト	DEFINE WINDOW ステートメントの TITLE 節にエラーがあります。
[説明]	DEFINE WINDOW ステートメントの TITLE 節には、キーワード "TITLE" の直後に英数字の変数、または定数を指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0469 : **CLOSE WORK FILE** ステートメントの位置が正しくありません。

テキスト	CLOSE WORK FILE ステートメントの位置が正しくありません。
[説明]	CLOSE WORK FILE ステートメントを同じワークファイルを参照する READ WORK FILE ループ内に指定しないでください。
[対処]	CLOSE WORK FILE ステートメントを READ WORK FILE ループの外側に指定してください。

NAT0470 : **RET**、**SORTKEY**、または **VAL** 関数のオペランドが正しくありません。

テキスト	RET、SORTKEY、または VAL 関数のオペランドが正しくありません。
[説明]	RET、SORTKEY、または VAL 関数のオペランドは英数字でなければなりません。また、SORTKEY オペランドの長さは 253 を超えてはいけません。
[対処]	RET 関数に英数字のプログラム名を指定してください。 システム関数 SORTKEY および VAL を英数字以外のフィールドに適用しないでください。 SORTKEY オペランドの長さを 253 以下にしてください。

NAT0471 : **SUBSTRING** オプションのオペランドが正しくありません。

テキスト	SUBSTRING オプションのオペランドが正しくありません。
[説明]	SUBSTRING オプションに指定するフィールド名は、英数字 (A)、バイナリ (B)、または Unicode (U) フォーマットで指定する必要があります。サブstringのフィールド開始位置および長さは、数値でなければなりません。基礎となるフィールドの物理長を超えることはできません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0472 : このユーザー定義名は **Natural** の予約語です。

テキスト	このユーザー定義名は Natural の予約語です。
[説明]	Natural プロファイルパラメータで KC=ON (keyword check) が設定されているため、ユーザー定義名は Natural の予約語と同じではいけません。
[対処]	違う名前を使用してください。

NAT0473 : **DEFINE PRINTER** ステートメントのパラメータに間違いがあります。

テキスト	DEFINE PRINTER ステートメントのパラメータに間違いがあります。
[説明]	次の条件を満たさない場合にこのエラーが起こります。 - "PROFILE"、"FORMS"、または "NAME" の後のオペランドは英数字フォーマットで、長さが 8 以下。 - "DISP" の後のオペランドは英数字フォーマットで、長さが 4 以下。 - "COPIES" の後のオペランドは整数 (フォーマットは N、P、または I で、小数なし)。 - これらの節はそれぞれ 1 度しか指定できません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0474 : フィールド属性 **DF** は、このタイプのフィールドには使用できません。

テキスト	フィールド属性 DF は、このタイプのフィールドには使用できません。
[説明]	フィールド属性 DF は、日付タイプのフィールドに使用します。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0475 : INCLUDE ステートメントのネストは 20 レベル未満でなければなりません。

テキスト	INCLUDE ステートメントのネストは 20 レベル未満でなければなりません。
[説明]	プログラム中に少なくとも 20 レベルの INCLUDE ステートメントのネストがあります。
[対処]	INCLUDE ステートメントのネストを 20 レベル未満に減らしてください。

NAT0476 : :1: のデータサイズは、:2: を超えてはいけません。

テキスト	... のデータサイズは、... を超えてはいけません。
[説明]	変数またはデータ構造のサイズが許可された最大サイズを超えています。
[対処]	変数またはデータ構造のサイズを減らしてください。

NAT0477 : 指定された数値は有効な範囲 :1: に含まれていません。

テキスト	指定された数値は有効な範囲 ... に含まれていません。
[説明]	指定された値は許された範囲外にあります。
[対処]	正しい数値を指定してください。

NAT0478 : CODEPAGE 節の使用または指定が正しくありません。

テキスト	CODEPAGE 節の使用または指定が正しくありません。
[説明]	CODEPAGE 節は、フォーマット A または B のオペランドだけに使用できます。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0479 : MOVE ENCODED ステートメントでのオペランドタイプの組み合わせが正しくありません。

テキスト	MOVE ENCODED ステートメントでのオペランドタイプの組み合わせが正しくありません。
[説明]	MOVE ENCODED ステートメントは、あるコードページエンコードのデータを、別のエンコードに変換するために使用します。 このため、CODEPAGE 節の追加により 1 つのオペランドを英数字またはバイナリフィールドとして指定するか、 または 1 つのオペランドを英数字またはバイナリとして指定し、他のオペランドを Unicode として指定する必要があります。 正しいオペランドの組み合わせは次のとおりです。 MOVE ENCODED A/B IN CODEPAGE <cp1> TO U MOVE ENCODED A/B IN CODEPAGE <cp1> TO A/B MOVE ENCODED A/B IN CODEPAGE <cp1> TO A/B IN CODEPAGE <cp2> MOVE ENCODED U TO A/B IN CODEPAGE <cp2> MOVE ENCODED A/B TO A/B IN CODEPAGE <cp2> MOVE ENCODED U TO A/B MOVE ENCODED A/B TO U

[対処]	プログラムの誤りを修正してください。
------	--------------------

NAT0480 : フィールド属性 **SB** の使用が不正です。

テキスト	フィールド属性 SB の使用が不正です。
[説明]	<p>選択ボックス節 (SB=..) は、英数字フィールドにだけ使用できます。</p> <p>さらに、</p> <ul style="list-style-type: none"> - 指定されたパラメータフィールドは同様に英数字でなければなりません。 - パラメータフィールドの数は、20 以下にする必要があります。 <p>選択ボックス節 (SB=..) は、次に対して使用することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 名前付き定数として定義されたフィールド (DEFINE DATA の CONST 節参照)。 - システム変数 (例: *PROGRAM、*COM)。 - マルチプルバリュウフィールド (例: #ARRAY(1:10))。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0481 : **SB=** または **RB=** 節の複数使用は許可されていません。

テキスト	SB= または RB= 節の複数使用は許可されていません。
[説明]	INPUT フィールドのための選択ボックス (SB=..) またはラジオボタン (RB=..) 節を複数定義しないでください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0482 : 長さインジケータは **UPDATE** または **STORE** で参照できません。

テキスト	長さインジケータは UPDATE または STORE で参照できません。
[説明]	<p>長さインジケータフィールドを使用すると、読み込み (READ/FIND) 操作時に、Adabas のロング英字 (LA) または LOB フィールド (LA/LOB) の長さを取得できます。</p> <p>長さインジケータフィールドは、STORE または UPDATE ステートメントで使用されるビューで参照しないでください。</p> <p>例: DEFINE DATA LOCAL 1 V1 V1 VIEW OF MYFILE 2 L@LA-FIELD (I4) <- 長さインジケータフィールド 2 LA-FIELD (A) DYNAMIC END-DEFINE STORE V1</p> <p>LA または LOB フィールドが STORE/UPDATE フィールドリストの一部である場合、ダイナミック変数の現在の長さに基づいて、対応する長さフィールド情報が Natural ランタイムシステムによって自動的に追加されます。同じ LA/LOB フィールドに対して長さを重複して設定することを避けるため、長さフィールドは STORE/UPDATE フィールドでは使用できません。</p>
[対処]	LA/LOB フィールドおよび長さフィールドは、STORE/UPDATE フィールドで使用しないでください。UPDATE または STORE で使用されているデータビューから長さフィールドを削除します。

13 Natural システムエラーメッセージ 0551～0600

NAT0600 : :1: 行目の IF ステートメントに対して **END-IF** がありません。

テキスト	... 行目の IF ステートメントに対して "END-IF" がありません。
[説明]	ストラクチャードモードでは、IF ステートメントブロックは対応する END-IF ステートメントで終了する必要があります。 例： READ ... IF ... COMPUTE ... COMPUTE ... END-IF DISPLAY END-READ END
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

14 Natural システムエラーメッセージ 0601~0650

NAT0601 : :1: 行の **AT START OF DATA** に対応する **END-START** がありません。

テキスト	... 行の AT START OF DATA に対応する "END-START" がありません。
[説明]	ストラクチャードモードでは、 AT START OF DATA ステートメントブロックは 対応する END-START ステートメントで 終了する必要があります。 例： READ ... AT START OF DATA MOVE ... DISPLAY ... END-START DISPLAY ... END-READ END
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0602 : :1: 行の **AT END OF DATA** に対応する **END-ENDDATA** がありません。

テキスト	... 行の AT END OF DATA に対応する "END-ENDDATA" がありません。
------	---

[説明]	ストラクチャードモードでは、 AT END OF DATA ステートメントブロックは 対応する END-ENDDATA ステートメントで 終了する必要があります。 例： READ ... AT END OF DATA COMPUTE ... DISPLAY ... END-ENDDATA DISPLAY ... END-READ END
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0603 : :1: 行の **AT BREAK** に対応する **"END-BREAK"** がありません。

テキスト	... 行の AT BREAK に対応する "END-BREAK" がありません。
[説明]	ストラクチャードモードでは、 AT BREAK ステートメントブロックは 対応する END-BREAK ステートメントで 終了する必要があります。 例： READ ... AT BREAK ... DISPLAY ... END-BREAK DISPLAY END-READ END
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0604 : :1: 行の **AT TOP OF PAGE** に対応する **END-TOPPAGE** がありません。

テキスト	... 行の AT TOP OF PAGE に対応する "END-TOPPAGE" がありません。
------	---

[説明]	ストラクチャードモードでは、 AT TOP OF PAGE ステートメントブロックは 対応する END-TOPPAGE ステートメントで 終了する必要があります。 例： READ ... DISPLAY ... AT TOP OF PAGE WRITE ... END-TOPPAGE DISPLAY ... END-READ END
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0605 : :1: 行の **AT END OF PAGE** に対応する **END-ENDPAGE** がありません。

テキスト	... 行の AT END OF PAGE に対応する "END-ENDPAGE" がありません。
[説明]	ストラクチャードモードでは、 AT END OF PAGE ステートメントブロックは 対応する END-ENDPAGE ステートメントで 終了する必要があります。 例： READ ... AT END OF PAGE DISPLAY ... WRITE TRAILER ... END-ENDPAGE DISPLAY ... END-READ END
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0606 : :1: 行の **BEFORE BREAK** に対応する **"END-BEFORE"** がありません。

テキスト	... 行の BEFORE BREAK に対応する "END-BEFORE" がありません。
[説明]	ストラクチャードモードでは、 BEFORE BREAK PROCESSING ステートメントブロックは 対応する END-BEFORE ステートメントで 終了する必要があります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0607 : IF NO RECORDS FOUND に対応する "END-NOREC" がありません。

テキスト	IF NO RECORDS FOUND に対応する "END-NOREC" がありません。
[説明]	ストラクチャードモードでは、 IF NO RECORDS FOUND 節は 対応する END-NOREC ステートメントで 終了する必要があります。 例： FIND ... IF NO RECORDS FOUND DISPLAY ... END-NOREC DISPLAY END-FIND
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0608 : :1: 行の AT END OF FILE に対応する END-ENDFILE がありません。

テキスト	... 行の AT END OF FILE に対応する "END-ENDFILE" がありません。
[説明]	ストラクチャードモードでは、 AT END OF FILE ステートメントブロックは 対応する END-ENDFILE ステートメントで 終了する必要があります。 例： READ WORK FILE AT END OF FILE COMPUTE ... DISPLAY ... END-ENDFILE DISPLAY ... END
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0609 : :1: 行の ON ERROR ステートメントに対応する "END-ERROR" がありません。

テキスト	... 行の ON ERROR ステートメントに対応する "END-ERROR" がありません。
------	--

[説明]	ストラクチャードモードでは、 ON ERROR ステートメントブロックは 対応する END-ERROR ステートメントで 終了する必要があります。 例： FIND ... UPDATE ... ON ERROR RETRY END-ERROR END TRANSACTION END-FIND END
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0610：このステートメントはレポーティングモードで使ってはいけません。

テキスト	このステートメントはレポーティングモードで使ってはいけません。
[説明]	ストラクチャードモードでしか使えないステートメントを実行しようしました。
[対処]	正しいプログラミングモードになっていることを確かめてください。

NAT0611：ループ／条件が適切に閉じられていません。

テキスト	ループ／条件が適切に閉じられていません。
[説明]	アクティブなループまたは条件が適切に閉じられていません。 例えば、ストラクチャードモードで FIND ステートメントを実行したが、 対応する END-FIND ステートメントを指定しませんでした。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0612：指定したループ終了はストラクチャードモードでしか使えません。

テキスト	指定したループ終了はストラクチャードモードでしか使えません。
[対処]	プログラミングモードおよびプログラムをチェックし、エラーを修正してください。

NAT0613 : :1: 行の **FIND/SELECT** に対応する **END-FIND/END-SELECT** がありません。

テキスト	... 行の FIND/SELECT に対応する END-FIND/END-SELECT がありません。
[説明]	<p>ストラクチャードモードでは、 FIND/SELECT ステートメントのループは、 対応する END-FIND/END-SELECT ステートメントで 閉じる必要があります。 例： ! FIND ... ! SELECT ... ! ! UPDATE ! DISPLAY ... ! ! END TRANSACTION ! END-SELECT ! ! END-FIND ! END !</p>
[対処]	FIND/SELECT ループを閉じるために、END-FIND/END-SELECT を指定してください。

NAT0614 : :1: 行の **READ** に対応する **END-READ** がありません。

テキスト	... 行の READ に対応する END-READ がありません。
[説明]	<p>ストラクチャードモードでは、 READ ステートメントのループは 対応する END-READ ステートメントで 閉じる必要があります。 例： READ ... DISPLAY COMPUTE ... END-READ</p>
[対処]	READ ループを閉じるために、END-READ を指定してください。

NAT0615 : :1: 行の **HISTOGRAM** に対応する **END-HISTOGRAM** がありません。

テキスト	... 行の HISTOGRAM に対応する END-HISTOGRAM がありません。
[説明]	<p>ストラクチャードモードでは、 HISTOGRAM ステートメントのループは 対応する END-HISTOGRAM ステートメントで 閉じる必要があります。 例： HISTOGRAM ... DISPLAY ... END-HISTOGRAM</p>
[対処]	HISTOGRAM ループを閉じるために、END-HISTOGRAM を指定してください。

NAT0616 : :1: 行の **SORT** に対応する **END-SORT** がありません。

テキスト	... 行の SORT に対応する END-SORT がありません。
[説明]	ストラクチャードモードでは、 SORT ステートメントのループは 対応する END-SORT ステートメントで 閉じる必要があります。 例： FIND ... END-ALL SORT ... DISPLAY ... END-SORT
[対処]	SORT ループを閉じるために、END-SORT を指定してください。

NAT0617 : :1: 行の **REPEAT** に対応する **END-REPEAT** がありません。

テキスト	... 行の REPEAT に対応する END-REPEAT がありません。
[説明]	ストラクチャードモードでは、 REPEAT ステートメントのループは 対応する END-REPEAT ステートメントで 閉じる必要があります。 例： REPEAT END-REPEAT
[対処]	REPEAT ループを閉じるために、END-REPEAT を指定してください。

NAT0618 : :1: 行の **FOR** に対応する **END-FOR** がありません。

テキスト	... 行の FOR に対応する END-FOR がありません。
[説明]	ストラクチャードモードでは、 FOR ステートメントのループは 対応する END-FOR ステートメントで 閉じる必要があります。 例： FOR END-FOR
[対処]	FOR ループを閉じるために、END-FOR を指定してください。

NAT0619 : :1: 行の **READ WORK FILE** に対応する **END-WORK** がありません。

テキスト	... 行の READ WORK FILE に対応する END-WORK がありません。
[説明]	<p>ストラクチャードモードでは、 READ WORK FILE ステートメントのループは 対応する END-WORK ステートメントで 閉じる必要があります。 例： READ WORK FILE END-WORK</p>
[対処]	READ WORK FILE ループを閉じるために、END-WORK を指定してください。

NAT0620 : :1: 行の **CALL FILE** に対応する **END-FILE** がありません。

テキスト	... 行の CALL FILE に対応する END-FILE がありません。
[説明]	<p>ストラクチャードモードでは、 CALL FILE ステートメントのループは 対応する END-FILE ステートメントで 閉じる必要があります。 例： CALL FILE END-FILE</p>
[対処]	CALL FILE ループを閉じるために、END-FILE を指定してください。

NAT0621 : :1: 行の **CALL LOOP** に対する **END-LOOP** がありません。

テキスト	... 行の CALL LOOP に対応する END-LOOP がありません。
[説明]	<p>ストラクチャードモードでは、 CALL LOOP ステートメントのループは 対応する END-LOOP ステートメントで 閉じる必要があります。 例： CALL LOOP END-LOOP</p>
[対処]	CALL LOOP ループを閉じるために、END-LOOP を指定してください。

NAT0622 : :1: 行の **DEFINE SUBROUTINE** に対する **RETURN/END-SUBROUTINE** がありません。

テキスト	... 行の DEFINE SUBROUTINE に対応する RETURN/END-SUBROUTINE がありません。
[説明]	このエラーは、次のいずれかの条件で発生します。 1) サブルーチンが、条件ステートメントブロック (例: IF 、 DECIDE) 内 またはループ開始ステートメント (例: REPEAT 、 FIND) 内で 開始されましたが、当ステートメントの終了 (例: END-IF 、 END-REPEAT) で 閉じられませんでした。 例: ! IF FIELD = "A" THEN ! REPEAT ! ! DEFINE SUBROUTINE ABC ! DEFINE SUBROUTINE ABC ! ! WRITE "HELLO" ! WRITE "HELLO" ! ! END-IF ! END-REPEAT ! 2) サブルーチンが開始されましたが、プログラムの終了時に 閉じられませんでした。 例: DEFINE SUBROUTINE ABC END
[対処]	サブルーチンを閉じるために、 RETURN または END-SUBROUTINE を指定してください。

NAT0623 : 変数/フィールド/ビューは **DEFINE DATA** 内で定義しなければなりません。

テキスト	変数/フィールド/ビューは DEFINE DATA 内で定義する必要があります。
[説明]	DEFINE DATA ステートメントがある場合、 使用するすべての変数/フィールドは、 DEFINE DATA ステートメントで LDA 、 GDA 、または PDA に定義する必要があります。 これらはキーワード USING を使用して DEFINE DATA ステートメントで参照します。 このエラーが DDM に対して起こり、 DEFINE DATA ステートメントがある場合、 DDM のビュー (およびプログラムで参照する全データベースフィールド) は、その DEFINE DATA ステートメントで定義する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0624 : **END-...** ステートメントがない、またはその位置が正しくありません。

テキスト	END-... ステートメントがない、またはその位置が正しくありません。
------	---

[説明]	<p>例： READ ... IF AGE > 65 THEN COMPUTE ... DISPLAY ... END-READ END-IF END</p> <p>END-IF ステートメントは、END-READ ステートメントの前で しかも IF ステートメントの THEN 節で実行する 最後のステートメントの後に指定する必要があります。 ここでは、プログラムが実行する機能によって COMPUTE または DISPLAY ステートメントの後に指定できます。 "xxx ... END-xxx" 形式のステートメントは、 正確に対にする必要があります。</p>
[対処]	<p>すべてのステートメントブロックが、 対応する "END-xxx" ステートメントで終了していること、および 各 "xxx" が "END-xxx" と正しく対になっていることをチェックしてください。</p>

NAT0625 : DECIDE ステートメントに対応する END-DECIDE がありません。

テキスト	<p>DECIDE ステートメントに対応する END-DECIDE がありません。</p>
[説明]	<p>DECIDE ON または DECIDE FOR ステートメントで開始した ステートメントブロックは、 END-DECIDE ステートメントで終了する必要があります。 このエラーは、END-DECIDE ステートメントの位置が 正しくない場合にも発生します。</p>
[対処]	<p>DECIDE ステートメントと対応する END-DECIDE ステートメントが 正しく対になっていることを確認してください。</p>

NAT0626 : ステートメントは :1: ではサポートされません。

テキスト	<p>ステートメントは ... ではサポートされません。</p>
[説明]	<p>使用中のデータベースタイプではステートメントを使用できません。 どのステートメントがどのデータベースタイプを サポートしているかの詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。</p>
[対処]	<p>プログラムをチェックして、エラーを修正してください。</p>

NAT0627 : キーワード "TO" による値の範囲は :1: に対してサポートされません。

テキスト	キーワード "TO" による値の範囲は ... に対してサポートされません。
[説明]	ステートメントオプション "TO" は、使用中のデータベースタイプでは使用できません。 READ または HISTOGRAM ステートメントの値の範囲を指定するために "TO" が使用される場合、Natural は終了値チェックを行いませんが、データベースによって実行されます。ただし、これには、アクセスされるデータベースの対応する機能を必要とします。したがって、基盤データベースが Adabas バージョン 7 (以降)、VSAM、DL/I、または DB2 の場合に限り、オプション "TO" を使用することができます。どのステートメントがどのデータベースタイプをサポートしているかの詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0628 : :1: のための MULTI-FETCH オプションの使用が不正です。

テキスト	... のための MULTI-FETCH オプションの使用が不正です。
[説明]	基礎となるデータベースが Adabas バージョン 5.3 (以降) である場合、MULTI-FETCH オプションは単に使用することができます。さらに、READ または HISTOGRAM ステートメントが "DYNAMIC .. SEQUENCE" 節に含まれている場合、MULTI-FETCH オプションの使用は許可されてません。詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0629 : 関係式に矛盾のある範囲の組み合わせがあります。

テキスト	関係式に矛盾のある範囲の組み合わせがあります。
[説明]	関係式内で 2 つの配列を比較する場合、一方の配列のそれぞれの次元のオカレンス数がもう一方の配列の対応する次元のオカレンス数と一致する必要があります。一方の配列に対応する次元が定義されていなければ、その次元は、1 次元とみなされます。1 つの次元の可変オカレンス数をもう一方の対応する次元の固定オカレンス数と比較しないでください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0630 : RESET INITIAL ステートメントにエラーがあります。

テキスト	RESET INITIAL ステートメントにエラーがあります。
[説明]	RESET INITIAL ステートメントの正しい使い方については、Natural ドキュメントを参照してください。 特に、再定義されたフィールドの RESET INITIAL ができないこと、および RESET INITIAL はデータベースフィールドには適用できないことに注意してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0631 : 算術/ASSIGN ステートメントで正しくない添字が指定されました。

テキスト	算術/ASSIGN ステートメントで正しくない添字が指定されました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0632 : HISTOGRAM ステートメントで正しくないビュー構造が定義されました。

テキスト	HISTOGRAM ステートメントで正しくないビュー構造が定義されました。
[説明]	ビューを使用した HISTOGRAM ステートメントでは、ビューは検索に使う 1 つの変数だけを定義しなくてはなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0633 : スーパー/サブディスクリプタを含むビューの使用が正しくありません。

テキスト	スーパー/サブディスクリプタを含むビューの使用が正しくありません。
[説明]	Adabas バージョンによっては、サブ/スーパーディスクリプタは、HISTOGRAM ステートメントでしか読み込むことはできません。または、すべてのデータベースアクセスステートメントで読み込み可能です。 ただし、UPDATE または STORE ステートメントは、サブ/スーパーディスクリプタに適用しないでください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0634 : アクセス条件はこのタイプのデータベースにサポートされていません。

テキスト	アクセス条件はこのタイプのデータベースにサポートされていません。
[説明]	この DDM の DBID は非 Adabas データベースを示しています。 非 Adabas データベースは Natural のデータベースアクセスステートメントに対して一定の制限を持っています。
[対処]	アクセスするデータベースタイプに適用される制限については、Natural ドキュメントを参照してください。

NAT0635 : **DEFINE DATA** での "**BY VALUE**" または "**OPTIONAL**" の使い方が間違っています。

テキスト	DEFINE DATA での "BY VALUE" または "OPTIONAL" の使い方が間違っています。
[説明]	キーワード "BY VALUE" または "OPTIONAL" は、DEFINE DATA PARAMETER 節で定義されたフィールドにのみ使用できます。 ただし、REDEFINE フィールドまたはグループに対しては使用できません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0636 : **:1:** に対する **STARTING WITH ISN** 節の使い方が間違っています。

テキスト	... に対する STARTING WITH ISN 節の使い方が間違っています。
[説明]	STARTING WITH ISN 節は、次の場合にのみ使用できます。 - Adabas アクセス : FIND READ 論理順 READ 物理順 - VSAM アクセス : READ 物理順
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0637 : 不正な **USING** 節が指定されています。

テキスト	不正な USING 節が指定されています。
[説明]	OPEN CONVERSATION ステートメント内に不正な USING 節が指定されています。次の原因が考えられます。 1.1. USING キーワードが指定されていません。 1.2. 不正なオブジェクト名が指定されています。 英数字タイプの定数または変数で 8 バイト以内である必要があります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0638 : **CLOSE CONVERSATION** ステートメント内に不正な節があります。

テキスト	CLOSE CONVERSATION ステートメント内に不正な節があります。
[説明]	CLOSE CONVERSATION ステートメント内のオペランドが正しくありません。 キーワード ALL または *CONVID または (I4) タイプの変数を指定してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0639 : 参照される **GDA** は、現在のバージョンに変換できません。

テキスト	参照される GDA は、現在のバージョンに変換できません。
[説明]	バージョン 2.2、2.3、または 3.1 でカタログされた GDA が、 DEFINE DATA GLOBAL ステートメントで参照される場合、GDA の内容は、 現在の Natural バージョンに必要なレイアウトに自動的に変換されます。 ただし、内部的な理由で、この GDA オブジェクトでは自動変換が機能しません。
[対処]	GDA を再カタログしてください。

NAT0640 : このステートメントタイプでは、ラベルによる参照はできません。

テキスト	このステートメントタイプでは、ラベルによる参照はできません。
[説明]	ラベルは次のステートメント参照にのみ使用できます。 FIND、READ、GET、HISTOGRAM、SORT、FOR、 CALL FILE、CALL LOOP、STORE、REPEAT
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0641 : **DEFINE PRINTER** ステートメントの構文が正しくありません。

テキスト	DEFINE PRINTER ステートメントの構文が正しくありません。
[説明]	正しい構文は次のとおりです。 DEFINE PRINTER (論理名 = n) OUTPUT オペランド1 ここで "論理名" とはプリンタに割り当てた名前、 "n" は 1～31 のプリンタ番号です。 "オペランド1" はオンラインスプーリングシステム内の出力先です。 また、次の名前でデフォルトに対し 追加レポートを割り当てることができます。 SOURCE - Natural ソースエリア内に出力 CONNECT - Con-nect フォルダに出力 DUMMY - 出力を削除 HARDCOPY - 現在のハードコピーデバイスに出力
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0642 : **OUTPUT** 変数/定数の定義が正しくありません。

テキスト	OUTPUT 変数/定数の定義が正しくありません。
[説明]	フィールドは A8 のフォーマットで指定する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0643 : :1: 行の **PROCESS PAGE MODAL** に対応する **END-PROCESS** がありません。

テキスト	... 行の PROCESS PAGE MODAL に対応する END-PROCESS がありません。
[説明]	このエラーは次のいずれかの条件で発生します。 1) PROCESS PAGE MODAL ステートメントが、条件ステートメントブロック（例：IF、DECIDE）内 またはループ開始ステートメント（例：REPEAT、FIND）内で 開始されましたが、当ステートメントの終了（例：END-IF、END-REPEAT）で 閉じられませんでした。 例：! IF FIELD = "A" THEN ! REPEAT ! ! PROCESS PAGE MODAL ! PROCESS PAGE MODAL ! ! MOVE #A TO #B ! MOVE #A TO #B ! ! END-IF ! END-REPEAT ! 2) PROCESS PAGE MODAL ステートメントが開始されましたが、プログラム終了時に 閉じられませんでした。 例: PROCESS PAGE MODAL END
[対処]	PROCESS PAGE MODAL ブロックを閉じるために、END-PROCESS を指定してください。

NAT0644 : パラメータの最大数を超過しました。

テキスト	パラメータの最大数を超過しました。
[説明]	CALLNAT または PERFORM ステートメントで許可されている パラメータの最大数は 4096 です。
[対処]	パラメータ数を減らします。

NAT0645 : :1: 行の **PARSE XML** に対する **END-PARSE** がありません。

テキスト	... 行の PARSE XML に対応する END-PARSE がありません。
[説明]	ストラクチャードモードでは、 PARSE XML ステートメントのループは 対応する END-PARSE ステートメントで 閉じる必要があります。 例: PARSE XML DOC DISPLAY END-PARSE
[対処]	PARSE XML ループを閉じるために、END-PARSE を指定してください。

NAT0647 : プログラムコードがバージョン **4.1** と互換性がありません。理由 **:1:**。

テキスト	プログラムコードがバージョン 4.1 と互換性がありません。理由 ...。
[説明]	コンパイラパラメータ V41COMP=ON が設定されています。次の構文構造は、Natural バージョン 4.1 では使用できません。 理由コード： 01 : Unicode タイプは許可されていません。 07 : システム変数が間違っています。 02 : X-Array は許可されていません。 08 : I/O フィールドオプション (DL=.)。 03 : 定数の長さが 253 バイトを超えています。 09 : INCLUDE パラメータが 80 バイトを超えています。 04 : コンパイラオプションが間違っています。 10 : DYNAMIC フィールドがデータビューで使用されています。 05 : ステートメントの節が間違っています。 06 : SET GLOBALS の使い方が間違っています。 エラーの説明の詳細については、Natural ドキュメントのコンパイラパラメータ V41COMP (NTCMPO マクロ) を参照してください。
[対処]	示されているプログラミング機能を使用しないでください。または、V41COMP=OFF を設定してください。

NAT0648 : 矛盾するパラメータ **:1:** が指定されました。理由コード **:2:**。

テキスト	矛盾するパラメータ ... が指定されました。理由コード
[説明]	CALLNAT ステートメントに提供されたパラメータが、サブプログラムの対応するパラメータ定義と互換性がありません。 理由コード： 04 : CALLNAT パラメータが空のパラメータ ("nX") として指定されましたが、サブプログラムの定義が "OPTIONAL" ではありません。 08 : サブプログラムの必須パラメータが、CALLNAT ステートメントに指定されていません。 12 : パラメータのフォーマットが一致しません。 16 : パラメータの長さが一致しません。 20 : パラメータの配列定義が一致しません。
[対処]	互換性のあるパラメータを指定してください。

NAT0649 : データベースタイプ **:1:** はサポートされていません。

テキスト	データベースタイプ ... はサポートされていません。
[説明]	データベースタイプが、現在の Natural バージョンでサポートされていません。
[対処]	別のデータベースタイプを使用してください。

NAT0650 : :1: に対して不正な比較演算子が **READ/HISTOGRAM** で使用されています。

テキスト	... に対して不正な比較演算子が READ/HISTOGRAM で使用されています。
[説明]	比較演算子 LT、GT、LE、および GE は、使用中のデータベースタイプでは使用できません。 比較演算子 LT、GT、LE、または GE を READ/HISTOGRAM ステートメントで使用する場合、基礎となるデータベースは Adabas バージョン 7 (以降)、VSAM、DL/I、または DB2 でなければなりません また、Super Natural ユーザーファイルへのアクセスには、比較演算子 LT、GT、LE、または GE は使用できません。 どのステートメントがどのデータベースタイプをサポートしているかの詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

15 Natural システムエラーメッセージ 0651～0700

NAT0651 : パラメータ数 (:1/:2:) が一致しません。

テキスト	パラメータ数 (CALLNAT NBR/SUBPGM NBR) が一致しません。
[説明]	参照されるサブプログラムに定義されたパラメータ数と、CALLNAT で提供されるパラメータ数が一致しません。

NAT0652 : :1: に対するシーケンス節が正しくありません。

テキスト	... に対するシーケンス節が正しくありません。
[説明]	ビュー名によって定義された指定データベースは、READ または HISTOGRAM ステートメントに指定された順序でのレコード処理をサポートしていません。 READ .. IN LOGICAL SEQUENCE .. および HISTOGRAM ステートメントでは、DESCENDING の使用には Adabas バージョン 6.1 (以降)、VSAM、または DB2 が必要です。 VARIABLE の使用には Adabas バージョン 6.2 (以降)、VSAM、または DB2 が必要です。 DYNAMIC の使用には Adabas バージョン 7 (以降)、または DB2 が必要です。 READ .. BY ISN .. ステートメントでは、DESCENDING、VARIABLE、または DYNAMIC の使用は許可されていません。 READ .. IN PHYSICAL SEQUENCE .. ステートメントでは、DESCENDING または VARIABLE の使用には VSAM または DB2 が必要です。 DYNAMIC の使用には DB2 が必要です。
[対処]	指定したデータベースビューまたはシーケンス節を修正してください。

NAT0653 : 不正な方向オペランドが指定されています。

テキスト	不正な方向オペランドが指定されています。
[説明]	次のいずれかのステートメントでの読み込み方向を制御するために使用されるフィールド (#DIR) が正しく指定されていません。 READ ... IN VARIABLE #DIR SEQUENCE ... READ ... IN DYNAMIC #DIR SEQUENCE フィールド (DIR) のフォーマット/長さは A1 です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0654 : NULL インジケータフィールドの使い方または定義が間違っています。

テキスト	NULL インジケータフィールドの使い方または定義が間違っています。
[説明]	次の状況が考えられます。 1.1. NULL インジケータフィールド (N@..) が I2 で DDM 内に定義されていません。 2.2. 検索変数として NULL インジケータフィールドが使用できるのは等価演算子 ("=", EQ) の場合だけです。他の演算子 (NE や LT など) では使用できません。 3.3. NULL インジケータフィールドは、FIND ..SORTED BY .. 節内のソートフィールドとして使用することはできません。 4.4. DB2 アクセス用に FIND ステートメントが生成されている場合は、検索値は数値定数で提供する必要があります。

NAT0655 : :1: に対する WITH REPOSITION 節の使用が間違っています。

テキスト	... に対する WITH REPOSITION 節の使用が間違っています。
[説明]	READ ... WITH REPOSITION ... の使用によるアクティブなループ内の再位置決めは、データベースが Adabas バージョン7 (以降)、VSAM、または DL/I の場合の論理順の READ ステートメントにだけ許されます。
[対処]	WITH REPOSITION 節を削除するか、またはデータベースタイプ定義を修正してください (プロファイルパラメータ DB も参照)。

NAT0656 : ORDER BY 節の指定列 :1: がユニークではありません。

テキスト	ORDER BY 節の指定列 ... がユニークではありません。
[説明]	ORDER BY 節で指定される列名は、列選択リスト内でユニークでなければなりません。
[対処]	AS 節を使用して列選択リスト内でユニークな名前を定義してその名前を使用するか、または列選択リスト内のその列の位置を表す数値を順序条件として指定します。

NAT0657 : ジョイン表現オペランドが同じテーブルセットに属しています。

テキスト	ジョイン表現オペランドが同じテーブルセットに属しています。
[説明]	ジョイン表現オペランドがジョイン表現の異なる側にある場合、別のジョインテーブルセットに属している必要があります。
[対処]	ジョイン表現オペランドがそれぞれ別のテーブルに属するように、ジョイン表現を修正します。

NAT0658 : インジケータ変数は、ダイナミックテキスト変数で許可されていません。

テキスト	インジケータ変数は、ダイナミックテキスト変数で許可されていません。
[説明]	ダイナミックテキスト変数に対するインジケータ変数の指定は、許可されていません。
[対処]	ダイナミックテキスト変数からインジケータ変数を削除してください。

NAT0659 : WITH 節でのキーワード **UR** の使い方が正しくありません。

テキスト	WITH 節でのキーワード UR の使い方が正しくありません。
[説明]	"WITH UR " の指定は、選択ステートメントでのみ有効です。 DELETE、UPDATE、および INSERT ステートメントでは、WITH 節の指定には、キーワード CS または RR のみを使用できます。
[対処]	WITH 節のキーワードを CS または RR に変更するか、または WITH 節を削除してください。

NAT0660 : **GDA :1** のセグメントのタイムスタンプに矛盾があります。

テキスト	GDA ... のセグメントのタイムスタンプに矛盾があります。
[説明]	GDA のオブジェクトおよびシンボルテーブルがロードされましたが、それらのタイムスタンプに相違があります。矛盾した GDA セグメントを使用すると、コンパイラの異常を引き起こす場合があります。 通常は、GDA がカタログされる際に両方の項目が同じ時刻で構築されるため、これらが同じ生成タイムスタンプとなっている必要があります。 矛盾が発生する原因は、同じバッファプールを共有していない、異なる Natural セッションでほぼ同じ時刻に GDA がカタログされたためです。
[対処]	SYSBPM ユーティリティを使用して、GDA のオブジェクトおよびシンボルテーブルをバッファプールから削除してください。削除後に、プログラムのカタログ化を再実行してください。

NAT0661 : リストアされたジョインリストのレベル／層が実際の年と一致しません。

テキスト	リストアされたジョインリストのレベル／層が実際の年と一致しません。
[説明]	内部コンパイラエラーが発生しました。 ネストされたジョインテーブルの処理では、コンパイラはジョインリストを選択レベル／層のコンテキストでスタックに保存します。保存されたこのジョインリストエントリをリストアする際に、コンパイラは実際のレベル／層が選択レベル／層と一致しないことを検出しました。 これは、コンパイラの処理に誤りがあることを示します。
[対処]	顧客サービスに連絡してください。

NAT0662 : **SELECT** ステートメントで使用されているテーブルが多すぎます。

テキスト	SELECT ステートメントで使用されているテーブルが多すぎます。
[説明]	1つのSQL ステートメントで、コンパイラが処理できる最大のテーブル数は256です。この制限を超えています。
[対処]	SELECT ステートメントで使用するテーブルを減らします。

NAT0663 : 内部エラー。コンパイラがゼロの選択レベルを検出しました。

テキスト	内部エラー。コンパイラがゼロの選択レベルを検出しました。
[説明]	コンパイラがゼロの選択レベルを検出しましたが、この値はゼロよりも大きい必要があります。 これは内部エラーによって発生します。
[対処]	顧客サービスに連絡してください。

NAT0664 : **SELECT** 節のネストレベルが最大値を超えています。

テキスト	SELECT 節のネストレベルが最大値を超えています。
[説明]	コンパイラは、SELECT 節のネストレベルが10以下のSELECT ステートメントだけを処理できます。
[対処]	SELECT 節のネストを10以下に抑えてください。

NAT0665 : 1つのネストレベル上の **SELECT** ステートメントが多すぎます。

テキスト	1つのネストレベル上のSELECT ステートメントが多すぎます。
[説明]	コンパイラでは、ネストされたSELECT ステートメントの1つのレベルに対して最大255のSELECT ステートメントを処理できます。
[対処]	1つのレベル上のSELECT ステートメントの数を減らしてください。

NAT0666 : ヘルプ要求の後、プログラム作成を続けてください。

テキスト	ヘルプ要求の後、プログラム作成を続けてください。
[説明]	このメッセージはエラーメッセージではなく、最後に作成したプログラム行を再表示し、ヘルプ機能を正常に終了させ、ユーザーにプログラム作成を続けるよう指示するものです。
[対処]	プログラムの作成を続けてください。

NAT0667 : バッチモードではオンラインヘルプ処理は使えません。

テキスト	バッチモードではオンラインヘルプ処理は使えません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0668 : 不正なブロック名が指定された、またはブロックが存在しません。

テキスト	不正なブロック名が指定された、またはブロックが存在しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0669 : GDA :1: のシンボルテーブル (SYT) をロードできませんでした。

テキスト	GDA ... のシンボルテーブル (SYT) をロードできませんでした。
[説明]	コンパイル時に、DEFINE DATA GLOBAL で参照される GDA のシンボルテーブルをロードする必要があります。 ロード要求が失敗し、コンパイラを続行できませんでした。 考えられる理由： GDA オブジェクトのシンボルテーブルが、NATUNLD/INPL で転送された際に、削除されました。
[対処]	シンボルテーブルを含む GDA を指定します。

NAT0670 : "UNION" の後に "SELECT" がありません。

テキスト	"UNION" の後に "SELECT" がありません。
[説明]	SELECT ステートメントがキーワード "UNION" を含むことは、その SELECT ステートメントがさらに副 SELECT で継続されることを示します。 キーワード "UNION" の後には、キーワード "SELECT" が続く必要があります。 "SELECT" は、後続の副 SELECT の開始を示します。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0671 : "INTO" または "FROM" が不在、または位置が正しくありません。

テキスト	"INTO" または "FROM" が不在、または位置が正しくありません。
[説明]	UNION 連結 SELECT 構造の最初の SELECT ステートメントには、 選択リストの後に INTO 節がなければいけません。 後続の SELECT は INTO 節を含んでいてはなりません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0672 : 順序項目の指定が正しくありません。

テキスト	順序項目の指定が正しくありません。
[説明]	整数タイプの定数、および列変数だけを 順序項目として指定できます。 SELECT 構造に "UNION" がある場合は、 整数タイプの定数だけが指定可能です。 SELECT に受け取りダイナミックフィールドがある場合、 整数タイプの定数は許可されていません。 これは、受け取った値が切り捨てられる可能性があるためです。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0673 : :1: および :2: の項目数が一致しません。

テキスト	リスト 1 およびリスト 2 の項目数が一致しません。
[説明]	リスト 1 およびリスト 2 の項目が一致しません。 指定されたリスト 1 の項目数は、 リスト 2 の項目数と同じでなければいけません。 リストの代わりにビューを使用できる場合、 再定義されたフィールドやグループは無視されるのに対して、 実際のデータ変数だけが処理されます。
[対処]	SQL ステートメントに関する、リスト内の項目数を修正してください。

NAT0674 : SELECT リストの表現定義が正しくありません。

テキスト	SELECT リストの表現定義が正しくありません。
[説明]	指定された SELECTION リスト項目が、不正なスカラ表現です。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0675 : INTO リスト／インジケータ変数の定義が正しくありません。

テキスト	INTO リスト／インジケータ変数の定義が正しくありません。
[説明]	INTO リスト変数またはインジケータ変数の指定が正しくありません。 INTO リスト変数がプログラムにまだ定義されていない、または 2度以上定義されている場合、 Natural は適切なフォーマット／長さの定義を必要とします。 インジケータ変数のフォーマット／長さは、B2 または I2 です。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0676 : ビュー名の定義が正しくない、またはビューが見つかりません。

テキスト	ビュー名の定義が正しくない、またはビューが見つかりません。
[説明]	指定されたビュー名の定義が正しくありません。 または、指定されたビューがプログラムに見つかりません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0677 : スカラ関数表現が正しくありません。

テキスト	スカラ関数表現が正しくありません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0678 : 関数表現が正しくありません。

テキスト	関数表現が正しくありません。
[説明]	COUNT、SUM、AVG、MAX、MIN 関数に指定された引数が 正しくありません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0679 : 指定したテーブル名が正しくない、またはデータベースが DB2 ではありません。

テキスト	指定したテーブル名が正しくない、またはデータベースが DB2 ではありません。
[説明]	指定したテーブル名が正しい ID ではありません。 参照する DDM のデータベース ID は、 NTDB マクロで DB2 データベースとして指定されていません。 このエラーの別の原因として、 テーブル指定内に認可 ID が明示されており、 テーブル名にハイフンが含まれていることが考えられます。 例：SELECT ... FROM SQL.SQL-TABLE ... 上記の例は正しくありません。ハイフンを含むテーブル名が使用される場合、 認可 ID を接頭辞として明示しないでください。

[対処]	- 正しいテーブル名を使用してください。 - または、このタイプのデータベースに対してこのステートメントを使用しないでください。 - または、Natural 管理者に連絡してください。
------	--

NAT0680 : 指定された条件が正しくありません。

テキスト	指定された条件が正しくありません。
[説明]	指定された検索条件内で、その条件が存在しない、または、完全に／正しく指定されていないので、Natural はその条件を解決することができません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0681 : 指定された条件が正しくありません。

テキスト	指定された条件が正しくありません。
[説明]	次のいずれかの状態により、このエラーが発生します。 - EXISTS 条件の副参照が誤って指定されました。 - 検索条件の左カッコに対して、対応する右カッコが指定されていません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0682 : 指定された **LIKE** 条件が正しくありません。

テキスト	指定された LIKE 条件が正しくありません。
[説明]	LIKE 条件の "LIKE" または "ESCAPE" の後に指定された "原子" のいずれかが正しくありません。 原子は定数または有効なユーザー定義変数でなければなりません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0683 : **"IS <NOT> NULL"** 条件にキーワード **"NULL"** が指定されていません。

テキスト	"IS <NOT> NULL" 条件にキーワード "NULL" が指定されていません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0684 : 指定された **BETWEEN** または **IN** 条件が正しくありません。

テキスト	指定された BETWEEN または IN 条件が正しくありません。
[説明]	次のいずれかの状態により、このエラーが発生します。 - BETWEEN 条件の "BETWEEN" または "AND" の後の スカラ表現が正しくありません。 - BETWEEN 条件にキーワード "AND" が指定されていません。 - IN 条件で、指定された副参照が正しくない、 または、指定された原子が正しくない、 または、原子リストがカッコ内に正しく囲まれていません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0685 : **ALL/ANY/SOME** 条件の副参照が正しくありません。

テキスト	ALL/ANY/SOME 条件の副参照が正しくありません。
[説明]	キーワード "ALL"、"ANY"、"SOME" の後の副参照が 指定されていない、または正しくありません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0686 : 副参照が正しくありません。

テキスト	副参照が正しくありません。
[説明]	副参照の左カッコ、およびキーワード "SELECT" の後に、 選択またはテーブル表現が 指定されていない、または正しくありません。 あるいは、副参照終了の右カッコが指定されていません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0687 : **GROUP BY** 節の列参照が正しくありません。

テキスト	GROUP BY 節の列参照が正しくありません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0688 : "**SELECT ***" に対する **INTO** フィールドが正しくありません。

テキスト	"SELECT *" に対する INTO フィールドが正しくありません。
[説明]	"SELECT * ..." を使用する場合、 INTO 節に指定されるすべての変数はテーブル変数でなければなりません。 - INTO 節にビューを指定する場合、 そのビューに定義された全フィールドは 対応するテーブル (群) に含まれていなければなりません。 - INTO 節に個々のフィールドを指定する場合、 これらの全フィールドは 対応するテーブル (群) に含まれていなければなりません。

[対処]	プログラムの誤りを修正してください。
------	--------------------

NAT0689 : 指定されたビューは空です。

テキスト	指定されたビューは空です。
[説明]	INTO VIEW 節に指定されたビューは、 "実" データベースフィールドを含んでいません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0690 : インジケータ :1: のマスタフィールドがビュー内にありません。

テキスト	インジケータ ... のマスタフィールドがビュー内にありません。
[説明]	INTO 節に指定されたビューは 不正なインジケータ変数名を含んでいます。 ビューのフィールド名の接頭辞が "L@" または "N@" の場合、 Natural はこのフィールドが インジケータフィールドであるとみなします。 これは、接頭辞に続く名前がそのビューに すでに定義されているデータベースフィールドの 名前でなければならないことを意味します。 このマスタフィールドが存在しません。
[対処]	データエリアのエラーを修正します。

NAT0691 : インジケータ変数 :1: に対するフォーマット/長さの定義が正しくありません。

テキスト	インジケータ変数 ... に対するフォーマット/長さの定義が正しくありません。
[説明]	INDICATOR または LINDICATOR 変数の フォーマット/長さは、B2 または I2 でなければいけません。 これは、マスタが英数字またはバイナリでない場合でも適用されます。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0692 : 範囲変数 :1: が不正に指定されました。

テキスト	範囲変数 ... が不正に指定されました。
[説明]	このエラーの考えられる原因は次のとおりです。 1) 範囲変数は修飾できません。 2) 同じ範囲変数が 2 回使用されました。 3) ビューに指定された別名の範囲変数は テーブルに割り当てられていません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0693 : インジケータ変数が列参照として使用できません。

テキスト	インジケータ変数が列参照として使用できません。
[説明]	データベースが認識できないので、 名前の接頭辞が N@ または L@ であるような特別な DDM フィールドを列参照として使用できません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0694 : フィールド :1: を SELECT または SQL UPDATE ビューに使用してはいけません。

テキスト	フィールド ... を SELECT または SQL UPDATE ビューに使用しないでください。
[説明]	SELECT または SQL UPDATE ステートメントで参照されるビューは、 ピリオディックグループフィールド、または カウント変数フィールド (C*...) を含んではいけません。 DB2 はこれらの変数をサポートしません。
[対処]	上記のフィールドをビューから取り除いてください。

NAT0695 : SELECT リストにユーザー定義変数を指定できません。

テキスト	SELECT リストにユーザー定義変数を指定できません。
[説明]	SELECT リストに指定される各フィールドは、 対応する FROM 節に指定されたテーブルの列、または定数で なければいけません。 ユーザー定義変数は指定できません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0696 : UPDATE は "SELECT * INTO VIEW" でのみ有効です。

テキスト	UPDATE は "SELECT * INTO VIEW" でのみ有効です。
[説明]	SELECT ステートメントと一緒に UPDATE ステートメントを使用する場合、 SELECT ステートメントは "SELECT * INTO VIEW" 形式でなければいけません。 これ以外の SELECT ステートメント形式では UPDATE は使用できません。 レポートモードでは、SELECT ステートメントで読み込まれたビューを更新するには、 "UPDATE SAME" を指定する必要があります。 更新する列を明示することはできません。
[対処]	正しい SELECT および UPDATE の組み合わせを プログラムで使用してください。

NAT0697 : SELECT UNION に矛盾したカッコがあります。

テキスト	SELECT UNION に矛盾したカッコがあります。
[説明]	"UNION" で連結された複数の SELECT 式の組にエラーがあります。 - 左カッコはあるが、右カッコがない。 - または、その逆。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0698 : フィールド :1: は両方のテーブルに存在するので修飾しなければなりません。

テキスト	フィールド ... は両方のテーブルに存在するので修飾する必要があります。
[説明]	SELECT ステートメントが複数のテーブルにアクセスし、参照されるフィールドの1つが複数のテーブルに含まれています。そのため、参照があいまいになってしまいます。
[対処]	フィールドに修飾語を指定してください。

NAT0699 : 列 :1: がテーブル内にありません。

テキスト	列 ... がテーブル内にありません。
[説明]	SQL ステートメント内に指定した列が、指定されたテーブル内で見つかりませんでした。
[対処]	有効または定義した列を指定してください。 または、指定した参照を省略してください。

NAT0700 : キーワード "SET" がないか、または範囲変数指定が正しくありません。

テキスト	キーワード "SET" がないか、または範囲変数指定が正しくありません。
[説明]	テーブル指定の後の SQL UPDATE ステートメントに、キーワード "SET" がありません。 または、範囲変数が正しくありません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

16

Natural システムエラーメッセージ 0701～0750

NAT0701 : SQL UPDATE ステートメントの割り当て節が正しくありません。

テキスト	SQL UPDATE ステートメントの割り当て節が正しくありません。
[説明]	- 指定された列が更新するために参照されたテーブルに存在しません。または - 列指定の後に等号 (=) が指定されていません。または - 等号の後のスカラー表現にエラーがあります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0702 : ビューで、SQL UPDATE には "SET *" しか指定できません。

テキスト	ビューで、SQL UPDATE には "SET *" しか指定できません。
[説明]	ビューが SQL UPDATE ステートメントで参照される場合、 "SET *" を指定する必要があります。 SQL UPDATE ステートメントで DDM を参照する場合のみ、 割り当てリストの明示が可能であり、必要となります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0703 : SQL INSERT/DELETE ステートメントで、不正な範囲変数が指定されました。

テキスト	SQL INSERT/DELETE ステートメントで、不正な範囲変数が指定されました。
[説明]	SQL INSERT または SQL DELETE ステートメントで、 不正な範囲変数（識別子）が DDM（テーブル）名の後に指定されました。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0704 : **INSERT** に左カッコ、または右カッコが指定されていません。

テキスト	INSERT ステートメントに左カッコ/右カッコがありません。
[説明]	INSERT ステートメントのフィールド名リスト、または値のリストがカッコで正しく囲まれていません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0705 : **INSERT** するフィールドが **DDM**/テーブルに指定されていません。

テキスト	INSERT するフィールドが DDM/テーブルに指定されていません。
[説明]	INSERT ステートメントの列リストに指定されたフィールドが、参照された DDM/テーブルに存在しません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0706 : **INSERT** の **VALUES** に指定された値が正しくありません。

テキスト	INSERT の VALUES に指定された値が正しくありません。
[説明]	INSERT ステートメントの VALUES 節に指定できる値は、次のいずれかです。 - キーワード "NULL" (空値を割り当てるため) - 特殊レジスタ (USER、CURRENT TIMEZONE、CURRENT DATE、CURRENT TIME、CURRENT TIMESTAMP) - 定数、またはユーザー定義変数
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0708 : **VALUES** 節がない、または **SELECT** 節の指定が正しくありません。

テキスト	VALUES 節がない、または SELECT 節の指定が正しくありません。
[説明]	INSERT ステートメントで、正しい VALUES 節、または正しい SELECT 節を指定する必要があります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0709 : 添字範囲フィールドの使用が正しくありません。

テキスト	添字範囲フィールドの使用が正しくありません。
------	------------------------

[説明]	<p>1) SQL ステートメント (例: SELECT、INSERT) のパラメータとして配列の範囲を使用する場合は、指定した範囲の開始値は 1 にする必要があります。</p> <p>例： INSERT INTO table (col) VALUES (arr(1:3))</p> <p>2) 添字の範囲とともに指定したフィールドのデータタイプは英数字またはバイナリでなければなりません。</p> <p>1) の例で、arr は A または B フォーマットで定義する必要があります。</p> <p>3) 配列は 1 次元でなければなりません。つまり、DEFINE DATA で (A10/1:3;1:5) というように定義された配列は許されません。</p> <p>4) (1:I) のような変数による添字の範囲は許されません。</p>
[対処]	構文をチェックして、エラーを修正してください。

NAT0710 : レジストリ内に **CLSID** がありません (**DCOM** コード **:1:**) 。

テキスト	レジストリ内に CLSID がありません (DCOM コード ...) 。
[説明]	与えられたクラス名に該当する CLSID がレジストリ内にありません。
[対処]	CREATE OBJECT ステートメント内で使用するクラス名が正しく登録されていることを確認してください。

NAT0711 : オブジェクトを作成することができません (**DCOM** コード **:1:**) 。

テキスト	オブジェクトを作成することができません (DCOM コード ...) 。
[説明]	<p>CREATE OBJECT ステートメント内で指定したクラスのオブジェクトを作成できません。一般的な原因は次のとおりです。</p> <p>1) クラスが正しく登録されていません。</p> <p>2) オブジェクトの作成を認められていません。</p> <p>3) 指定したノードが存在しません。または、到達できません。</p>
[対処]	上記のいずれかの状況が該当するかどうかをチェックしてください。

NAT0712 : **Natural Security** に対するライブラリ名を指定しなければなりません。

テキスト	Natural Security に対するライブラリ名を指定する必要があります。
[説明]	<p>Natural Security がインストールされている場合、システムコマンド REGISTER と UNREGISTER は単一ライブラリに対してのみ使用できます。したがって、ライブラリ名として "*" を指定しないでください。</p> <p>現在ログオンしているライブラリの全クラスにコマンドを適用するときは、ライブラリ名を省略できます。コマンドを別のライブラリのクラスに適用する場合、このライブラリ名を指定する必要があります。</p>
[対処]	ライブラリ名を省略するか、または既存のライブラリ名を入力してください。

NAT0714 : 内部エラー (DCOM コード :1:)

テキスト	内部エラー (DCOM コード ...)
[説明]	次のいずれかの理由により、内部エラーが発生しました。 1) 文字列を ANSI から UNICODE に変換することができません。 2) オートメーションインターフェイス機能の実行に失敗しました。 3) オブジェクト作成中にデフォルトディスパッチインターフェイスが戻りませんでした。 4) タイプ情報の分析に失敗しました。 5) ディスパッチインターフェイスを取得できません。
[対処]	使用したクラスが正しく登録されているかどうかをチェックしてください。

NAT0715 : レジストリエントリの変更ができませんでした。

テキスト	レジストリエントリを変更できませんでした。
[説明]	DCOM クラスの登録に必要なシステムレジストリ内のエントリを Natural は変更または作成できませんでした。
[対処]	システムレジストリの変更を許可されているかどうかをチェックしてください。許可されていない場合は、クラスの登録はできません。

NAT0716 : レジストリエントリを削除できませんでした。

テキスト	レジストリエントリを削除できませんでした。
[説明]	DCOM クラスを登録解除したときに必要なくなったシステムレジストリ内のエントリを Natural は削除できませんでした。 1.1. システムレジストリ内からエントリを削除することを許可されているかどうかをチェックしてください。許可されていない場合は、クラスを登録解除することはできません。 2.2. クラス登録後に登録解除するクラスの CLSID が変更されたかどうかをチェックしてください。変更された場合は、レジストリ内でクラスを見つけることはできません。
[対処]	説明を参照

NAT0717 : レジストリエントリを読むことができませんでした。

テキスト	レジストリエントリを読むことができませんでした。
[説明]	DCOM クラスの登録/登録解除に必要なシステムレジストリ内のエントリを Natural は読むことができませんでした。
[対処]	システムレジストリの変更を許可されているかどうかをチェックしてください。許可されていない場合は、DCOM クラスの登録/登録解除はできません。

NAT0718 : 登録中に内部エラーが発生しました。

テキスト	登録中に内部エラーが発生しました。
[説明]	登録中に内部エラーが発生しました。
[対処]	最初にクラスを登録解除してから、再度登録してください。

NAT0719 : 登録ファイルが正しく作成できませんでした。

テキスト	登録ファイルが正しく作成できませんでした。
[説明]	サーバーおよびクライアントの登録ファイル (.reg) をクラスに作成できませんでした。
[対処]	これらのファイルの作成を許可されているかどうかをチェックしてください。

NAT0720 : DCOM サーバーメッセージ : :1:

テキスト	DCOM サーバーメッセージ : ...。
[説明]	Natural クライアントにより呼び出された DCOM サーバーが上記メッセージを返しました。
[対処]	なし

NAT0723 : サーバー環境での、相互 I/O はできません。

テキスト	サーバー環境での、相互 I/O はできません。
[説明]	Natural がサーバーとして役割を果たしている間に、相互 I/O (レポート 0 への I/O) を実行しようとしてしました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。Natural INPUT ステートメントの入力データが、Natural スタック経由で与えられます。MAINPR パラメータの使用により、レポート 0 への出力がリダイレクトされます。

NAT0724 : 不正なオブジェクトハンドルが使用されています。

テキスト	不正なオブジェクトハンドルが使用されています。
[説明]	オブジェクトハンドルは、CREATE OBJECT ステートメントでそのオブジェクトが作成された後、または、有効なハンドルが割り当てられた場合にのみ使用できます。
[対処]	SEND METHOD ステートメントまたはプロパティアクセス内で使用する前に、オブジェクトが正しく作成されていることを確認してください。

NAT0725 : :1: ステートメントの配置が正しくありません。

テキスト	... ステートメントの配置が正しくありません。
[説明]	現在の Natural オブジェクトに不正なステートメントが指定されています。 原因として次のような例が考えられます。 1.1. DEFINE CLASS ステートメントは、Natural クラスオブジェクトにのみ指定可能であり、クラスオブジェクトごとに 1 度だけ指定できます。 2.2. Natural ファンクションオブジェクトの最初のステートメントは DEFINE FUNCTION ... END-FUNCTION でなければいけません。 3. コピーコードオブジェクトに END ステートメントを使用してはいけません。
[対処]	ステートメントの配置をチェックするか、オブジェクトタイプをチェックしてください。

NAT0726 : 不正な :1: 名が指定されています。

テキスト	不正な ... 名が指定されています。
[説明]	DEFINE CLASS ステートメント内では、さまざまな名前に対して次の規則が適応されます。 1.1. クラス、インターフェイス、プロパティ、またはメソッド名は 32 文字以内である必要があります。 2.2. クラス名はピリオドを含む場合があります。ピリオドで分割された各識別子は、ユーザー定義変数の命名規則に従う必要があります。 3.3. インターフェイス、プロパティ、またはメソッド名は、ユーザー定義変数の命名規則に従う必要があります。 インターフェイス名はクラス名と同じではいけません。 4.4. コピーコードまたはサブプログラム名は、8 文字以内である必要があります。
[対処]	名前をチェックして、エラーを修正します。

NAT0727 : :1: 名は定義されていません。

テキスト	... 名は定義されていません。
[説明]	PROPERTY ステートメント内 - インターフェイスが定義されていません。 - または、指定したインターフェイスに対してプロパティ名が定義されていません。 METHOD ステートメント内- インターフェイス名が定義されていません。 - または、指定したインターフェイスに対してメソッド名が定義されていません。
[対処]	名前をチェックして、エラーを修正します。

NAT0728 : キーワード **:1:** が必要です。

テキスト	キーワード ... が必要です。
[説明]	該当するキーワードが必要です。
[対処]	キーワードをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0729 : **:1:** 名はすでに定義されています。

テキスト	... 名はすでに定義されています。
[説明]	指定されたクラスに対してインターフェイス名がユニークではありません。 または、指定されたインターフェイスに対してプロパティまたはメソッド名がユニークではありません。
[対処]	名前をチェックして、エラーを修正します。

NAT0730 : プロパティおよび割り当てたオブジェクト変数はデータ転送互換ではありません。

テキスト	プロパティおよび割り当てたオブジェクト変数は データ転送互換ではありません。
[説明]	プロパティのフォーマット/長さ指定および割り当てられたオブジェクト変数は、データ転送に互換性がありません。 READONLY 属性が指定されている場合は、送信フィールドとしてのオブジェクト変数と、受信フィールドとしてのプロパティのデータ転送規則が適用されます。そうではない場合は、プロパティのデータ転送規則、および送信フィールドと受信フィールドとして割り当てたオブジェクト変数のデータ転送規則が適用されます。
[対処]	フォーマット/長さ指定をチェックして、エラーを修正してください。

NAT0731 : **:1:** プロパティへオブジェクト変数が割り当てられていません。

テキスト	... プロパティへオブジェクト変数が割り当てられていません。
[説明]	プロパティへオブジェクト変数が割り当てられていません。
[対処]	プロパティにオブジェクト変数を割り当ててください。

NAT0732 : 不正なグローバルユニーク ID が指定されました。

テキスト	不正なグローバルユニーク ID が指定されました。
[説明]	指定した値は、有効なグローバルユニーク ID ではありません。
[対処]	グローバルユニーク ID の有効値をチェックし、エラーを修正してください。

NAT0733 : タイプ情報を取得できませんでした :1:

テキスト	タイプ情報を取得できませんでした ...。
[説明]	ある状況で Natural はクラスについてのタイプ情報が必要になりました。クラスに対するタイプ情報が見つかりませんでした。一般的な原因は、サーバー側でクラスが正しく登録されていないことです。
[対処]	クラスが正しく登録され、タイプ情報が存在することを確認してください。

NAT0734 : インターフェイス :1: が見つかりません。

テキスト	インターフェイス ... が見つかりません。
[説明]	指定したインターフェイスは、オブジェクトのタイプ情報に見つかりませんでした。
[対処]	指定したインターフェイス名をチェックしてください。

NAT0735 : メソッドまたはプロパティが見つかりません (DCOM コード :1) 。

テキスト	メソッドまたはプロパティが見つかりません (DCOM コード ...) 。
[説明]	指定されたメソッドまたはプロパティが、オブジェクトのインターフェイスで見つかりませんでした。
[対処]	指定されたインターフェイス名 (存在する場合)、メソッド、またはプロパティ名をチェックします。

NAT0736 : クラス :1: の Natural オブジェクトを作成できませんでした。

テキスト	クラス ... の Natural オブジェクトを作成できませんでした。
[説明]	CREATE OBJECT ステートメント内で指定したクラス名でオブジェクトを作成できませんでした。考えられる理由は、登録された場所で、関連する Natural クラスモジュールが検出されないことです。
[対処]	CREATE OBJECT ステートメント内で使用しているクラス名をチェックし、関連する Natural クラスモジュールが有効であるかどうかをチェックしてください。

NAT0737 : メソッドまたはプロパティが見つかりません。

テキスト	メソッドまたはプロパティが見つかりません。
[説明]	指定されたメソッドまたはプロパティが、オブジェクトのインターフェイスで見つかりませんでした。
[対処]	指定されたインターフェイス名 (存在する場合)、メソッド、またはプロパティ名をチェックします。

NAT0738 : 同じ **:1** **:2** のクラスはメンバ **:3** としてすでに存在します。

テキスト	同じ のクラスはメンバ ... としてすでに存在します。
[説明]	他のクラスモジュール内にすでに存在するクラス名を使用しました。 ライブラリ内のクラス名はユニークである必要があります。
[対処]	クラス名を変更してください。

NAT0739 : **READONLY** プロパティ **:1** は修正してはいけません。

テキスト	READONLY プロパティ ... は修正しないでください。
[説明]	プロパティが、読み込み専用として宣言されている場合は、 修正することはできません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0740 : インターフェイス **:3** の **:1** **:2** のディスパッチ ID が不正です。

テキスト	インターフェイス ... の のディスパッチ ID が不正です。
[説明]	クラスのメソッドおよびプロパティは、割り当てられた数字識別子 (ディスパッチ ID と呼ばれる) を持っています。通常、これらの ID は、 Natural によって内部的に、そして自動的に割り当てられています。 ID 節を使用してメソッドまたはプロパティに ID を明示的に割り当てる場合、 インターフェイスごとにユニークな数字を割り当てる必要があります。 ディスパッチ ID は、正の整数値でなければなりません。
[対処]	ユニークで正確なフォーマットの ID となるように、異なる ID を割り当てます。 または、ID を割り当てないでください。

NAT0741 : クラス **:2** の **:1** インターフェイスのグローバルユニーク ID がありません。

テキスト	クラス ... の ... インターフェイスのグローバルユニーク ID がありません。
[説明]	与えられたインターフェイスのグローバルユニーク ID が、 Natural クラス定義内にありません。レジストリ内のこのインターフェイスの情報を入力する ために、 グローバルユニーク ID が必要です。
[対処]	インターフェイスに対してグローバルユニーク ID を定義してください。

NAT0742 : クラス :1: に対するタイプライブラリの作成に失敗しました。

テキスト	クラス ... に対するタイプライブラリの作成に失敗しました。
[説明]	Natural ETC ライブラリ内の Natural クラスの登録中に作成されるタイプライブラリ (.TLB) が作成できませんでした。 考えられる理由は、与えられたクラスに対してすでにタイプライブラリが存在するか、または別のツールによって開かれているので、Natural が修正できないことです。
[対処]	他のツールでタイプライブラリが使用されていないかどうかをチェックしてください。

NAT0743 : :1: に対してレジストリ情報がありません。

テキスト	... に対してレジストリ情報がありません。
[説明]	DCOM で Natural クラスをアクセス可能にするには、レジストリにそのクラスを入力する必要があります。クラスが Natural 内のローカルでのみ使用される場合は、レジストリへの入力はありません。
[対処]	DCOM でクラスを使用しない場合は、エラーを無視してください。 それ以外の場合は、次のことを確認してください。 - クラスに対して有効な ID が定義されているか。 - クラスに対して少なくとも 1 つのインターフェイスが定義されているか。

NAT0744 : SEND METHOD 内のパラメータ数が矛盾しています。

テキスト	SEND METHOD 内のパラメータ数が矛盾しています。
[説明]	SEND METHOD ステートメント内で指定したパラメータ数は、次の両方の数と同じでなければなりません。 - メソッド内で定義したパラメータ数 - DEFINE CLASS ステートメントのメソッド宣言で宣言したパラメータ数
[対処]	クラスモジュールおよびメソッド内のパラメータ定義と、SEND METHOD ステートメント内のパラメータをチェックしてください。

NAT0745 : SEND METHOD 内のパラメータ :1: の変換時にエラーが発生しました。

テキスト	SEND METHOD 内のパラメータ ... の変換時にエラーが発生しました。
[説明]	パラメータを適切な VARIANT フォーマットに変換することができません。 または、サーバーから返された VARIANT フォーマットを適切な Natural 変数に変換することができません。 次の原因が考えられます。 - "C" フォーマットの Natural 変数をメソッドパラメータとして渡すことはできません。 - 引数として渡される配列は、対応するメソッドパラメータと、次元数および次元ごとのオカレンス数で一致している必要があります。
[対処]	NaturalX ドキュメントでデータ変換規則を確認します。

NAT0746 : クラス名 :1: はレジストリ内ですでに定義されています。

テキスト	クラス名 ... はレジストリ内ですでに定義されています。
[説明]	異なる CLSID を持つが同じ名前のクラスがシステムレジストリ内に見つかったので、そのクラスは登録できませんでした。
[対処]	クラス名を変更してください。

NAT0747 : サーバー ID :1: 下にクラスが登録されていません。

テキスト	サーバー ID ... 下にクラスが登録されていません。
[説明]	与えられたサーバー ID 下に登録されていたすべてのクラスを登録解除するために、UNREGISTER コマンドが使用されました。 現在、このサーバー ID 下にはクラスは登録されていません。
[対処]	なし

NAT0748 : プロパティ値または戻り値の変換時にエラーが発生しました。

テキスト	プロパティ値または戻り値の変換時にエラーが発生しました。
[説明]	プロパティ値または戻り値を適切な VARIANT フォーマットに変換できませんでした。 または、サーバーから返された VARIANT フォーマットを適切な Natural 変数に変換できませんでした。 次の原因が考えられます。 - "C" フォーマットの Natural 変数をプロパティ値として渡すこと、または戻り値として受け取ることはできません。 - プロパティ値として渡された配列、または戻り値として受け取った配列は、対応するプロパティ/戻り値パラメータと、次元数および次元ごとのオカレンス数で一致している必要があります。
[対処]	NaturalX ドキュメントでデータ変換規則を確認します。

17 Natural システムエラーメッセージ 0751~0800

NAT0751 : :1: クラス :2:/:3: が失敗しました。理由 :4: :5:。

テキスト	... クラス .../... が失敗しました。理由。
[説明]	理由 1 : "SEARCH CLASS" 中にエラーが発生しました。 2 : クラスが見つかりません。 3 : COM を利用できません。 4 : NATGWCOM をロードできません。 5 : NATGWCOM からのリターンコード。 6 : クラスが、異なるクラス GUID ですでに登録されています。 7 : レジストリを OPEN できません。 8 : サーバー情報の登録中にエラーが発生しました。 9 : クライアント情報の登録中にエラーが発生しました。 10 : 有効な Natural 環境がありません (NATDIR/NATVERS)。 11 : 不正なアクティベーションポリシー、またはデフォルトサーバーが指定されていません。 12 : 内部エラーが発生しました。

NAT0759 : ハンドル/ダイナミック変数および X-array は再定義できません。

テキスト	ハンドル/ダイナミック変数および X-array は再定義できません。
[説明]	次のように宣言された変数は再定義できません。DEFINE DATA LOCAL - 1 #H HANDLE OF OBJECT (<- タイプ HANDLE を指定) - ダイナミック長の 1 #AD (A) DYNAMIC (<- 英数字フィールドまたはバイナリフィールドとして宣言) - 1 #VA (A10/1:*) オカレンス数 (<- 可変配列として宣言) - END-DEFINE。 また、再定義によってこうした変数を宣言してはなりません。 グループは、これらのいずれかのフィールドを最初の位置に含んでいる場合、 再定義することはできません。
[対処]	変数定義をチェックして、修正してください。

NAT0760 : 不正な OPTIMIZE FOR 節。

テキスト	不正な OPTIMIZE FOR 節。
[説明]	1) OPTIMIZE FOR を SELECT SINGLE ステートメントに指定することはできません。 2) OPTIMIZE FOR に指定された値が、整数定数ではありません。 3) キーワード ROWS が、整数定数の後にありません。
[対処]	構文をチェックして修正します。

NAT0761 : UPDATE/DELETE ..WHERE CURRENT CURSOR の使用が正しくありません。

テキスト	UPDATE/DELETE ..WHERE CURRENT CURSOR の使用が正しくありません。
[説明]	UPDATE/DELETE テーブル WHERE CURRENT CURSOR は、SELECT ステートメントを参照する必要があります。例えば、FIND ステートメントを参照することはできません。
[対処]	構文をチェックして修正します。

NAT0762 : UPDATE/DELETE テーブルが SELECT ステートメントと一致していません。

テキスト	UPDATE/DELETE テーブルが SELECT ステートメントと一致していません。
[説明]	- UPDATE テーブル WHERE CURRENT CURSOR - または DELETE FROM テーブル WHERE CURRENT CURSOR ステートメントで参照されるテーブルが、対応する SELECT ステートメントに指定されたテーブルではありません。
[対処]	構文をチェックして修正します。

NAT0763 : <<...>> に不正な英数字定数が指定されました。

テキスト	<<...>> に不正な英数字定数が指定されました。
[説明]	<<...>> に指定された定数が、Natural 定数のルールに従っていません。 例えば、英字定数はアポストロフィ (') で囲む必要があります。
[対処]	構文をチェックして修正します。

NAT0764 : <<...>> の変数参照を解決できません。

テキスト	<<...>> の変数参照を解決できません。
[説明]	1) 変数インジケータ (:) の直後のトークンが、変数名の規則に従っていません。 2) 指定された変数が、プログラムに定義されていません。
[対処]	構文をチェックして修正します。

NAT0765 : **FROM** 節の **AS** キーワードの後に、有効な相関名がありません。

テキスト	FROM 節の AS キーワードの後に、有効な相関名がありません。
[説明]	SELECT ステートメントの FROM 節の AS キーワードの後には、相関名が必要です。相関名が見つかりませんでした。
[対処]	キーワード AS を取り除くか、またはキーワード AS の後に有効な相関名を挿入します。

NAT0766 : **INNER**、**LEFT**、**RIGHT**、**FULL** などの後には、キーワード **JOIN** が必要です。

テキスト	INNER、LEFT、RIGHT、FULL などの後には、キーワード JOIN が必要です。
[説明]	次に示すキーワードの後には、キーワード JOIN が必要となります。 INNER、LEFT、LEFT OUTER、RIGHT、RIGHT OUTER、FULL、FULL OUTER
[対処]	キーワード JOIN を挿入します。

NAT0767 : **FROM** 節には相関名が必要です。

テキスト	FROM 節には相関名が必要です。
[説明]	副参照が FROM 節で指定された場合は、相関名が必要となります。相関名は、SUBSELECT 節の後に指定する必要があります。
[対処]	相関名を FROM 節内の副参照の後に挿入します。

NAT0768 : **FROM** 節内に、正しくないテーブル参照があります。

テキスト	FROM 節内に、正しくないテーブル参照があります。
[説明]	FROM 節内に、正しくないテーブル名があります。テーブル名、または結合テーブルの副参照のいずれかを指定しています。
[対処]	正しいテーブル名を参照するように FROM 節を修正してください。

NAT0769 : 結合でのキーワード **VALUE** または **COALESCE** の使用法が正しくありません。

テキスト	結合でのキーワード VALUE または COALESCE の使用法が正しくありません。
[説明]	キーワード VALUE と COALESCE は、関連する結合演算が FULL 結合または FULL OUTER 結合である場合、結合式でのみ使用することができます。
[対処]	キーワード VALUE と COALESCE は、FULL 結合が指定された場合にのみ使用してください。

NAT0770 : ネストされた結合テーブル式に右カッコがありません。

テキスト	ネストされた結合テーブル式に右カッコがありません。
[説明]	ネストされた結合テーブル式では、左カッコの数と右カッコの数が一致する必要があります。
[対処]	右カッコを挿入してください。

NAT0771 : 式には、結合条件のキーワード **ON** が必要です。

テキスト	式には、結合条件のキーワード ON が必要です。
[説明]	ネストされた結合テーブル式にキーワード ON がありません。 結合テーブル式には、キーワード ON で始まる結合条件が含まれている必要があります。 結合条件式は次のようになります。 ON <結合式> <関係演算子> <結合式>
[対処]	キーワード ON を挿入します。

NAT0772 : 結合条件に不正な関係演算子があります。

テキスト	結合条件に不正な関係演算子があります。
[説明]	結合条件に不正な関係演算子があります。 有効な演算子は次のとおりです。 = ¬= ◇ > ¬> < ¬< >= <= FULL 結合または FULL OUTER 結合の場合は、"=" だけが有効な演算子となります。
[対処]	正しい関係演算子を指定してください。

NAT0773 : 少なくとも 2 つの列名が **VALUE** または **COALESCE** の後に続く必要があります。

テキスト	少なくとも 2 つの列名が VALUE または COALESCE の後に続く必要があります。
[説明]	キーワード VALUE または COALESCE の後には、少なくとも 2 つの列名が続く必要があります。 これらの列名は、コンマで区切り、カッコ内に配置する必要があります。 例： VALUE (column1,column3,...,columnX) 次の構文要素が不足しないようにしてください。 - 左カッコ - 右カッコ - 列名を区切るためのコンマ

[対処]	不足しているコンマ、オペランド、またはカッコを挿入してください。
------	----------------------------------

NAT0774 : 列名が、結合されるいずれのテーブルにも含まれていません。

テキスト	列名が、結合されるいずれのテーブルにも含まれていません。
[説明]	結合式には、結合されるいずれかのテーブルに存在する列名だけが含まれている必要があります。少なくとも1つの列名が、結合されるいずれのテーブルにも含まれていません。
[対処]	列名をチェックして、結合されるテーブルに含まれていない列名を特定します。テーブル名を結合式で修正します。

NAT0776 : プログラムを実行できません。

テキスト	プログラムを実行できません。
[説明]	Natural プログラムのロード中に、内部的な回復不可能なエラーが発生しました。プログラムを Natural バッファプールにロードすることができません。
[対処]	プログラムをチェックし、Natural 管理者に連絡してください。

NAT0777 : Natural バッファプールが最大限に達しています。

テキスト	バッファプールが最大限に達しています。
[説明]	Natural バッファプールが最大限に達しています。Natural バージョン 2 では、カタログした Natural プログラムは Natural バッファプールにロードされなければいけません。有効なスペースが十分になれば、プログラムは実行できません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0778 : プログラムが実行可能になっていません。

テキスト	プログラムが実行可能になっていません。
[説明]	実行するプログラムは他のユーザーによるカタログ処理中です。このプログラムを Natural バッファプールにロードするとき、Natural は、プログラムコードが適切で実行可能な状態であることを保証できません。
[対処]	時間をおいてから、プログラムを実行してください。

NAT0779 : プログラムを実行できません。

テキスト	プログラムを実行できません。
[説明]	Natural による Natural バッファプールへのプログラムのロードの試行が 32 回行われ、失敗しました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0780 : **Case-Expression** が正しくありません。

テキスト	Case-Expression が正しくありません。
[説明]	指定された Case-Expression が正しくありません。 キーワード ELSE、THEN、WHEN、END の配置が正しくありません。 または、これらのキーワードのいずれかが不足しています。 または、いずれかのサブ式が正しくありません。
[対処]	Case-Expression の構文をチェックして、エラーを修正してください。

NAT0781 : **Natural DB2** の内部エラーがあります。

テキスト	Natural DB2 の内部エラー。
[対処]	Natural ソース/オブジェクトプログラムを用意して Software AG サポートに連絡してください。

NAT0782 : **FIND** や **READ** ステートメントでフィールドが選択されませんでした。

テキスト	FIND や READ ステートメントでフィールドが選択されませんでした。
[説明]	FIND または READ ステートメントは、どのようなフィールドも読み取りません (空のビュー) が、SQL データベースにアクセスするように命令されます (例: DB2)。 これにより、空の列リストでの SQL SELECT ステートメントの生成を生じます。ただし、これは許されません。
[対処]	FIND または READ ステートメントで最低でも 1 つのフィールドを読み取ってください。

NAT0783 : **DB2** アクセスに対する **Natural** ステートメントが正しくありません。

テキスト	DB2 アクセスに対する Natural ステートメントが正しくありません。
[説明]	次の Natural ステートメントは、DB2 データベースへのアクセス時にはサポートされません。 - GET - STORE USING NUMBER (ISN)
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0784 : **SQL :1:** 生成に対してスペースが不十分です。

テキスト	SQL ... 生成に対してスペースが不十分です。
[説明]	生成中、対応するバッファがオーバーフローしました。 より大きなスレッド/パーティション/リージョンを提供するか、またはプログラムの SQL 部分を分割して、それらを別の異なるプログラムに移します。 このメッセージは、SQL ステートメントを含むバッファ、または SQL XREF データを含むバッファに関連します。
[対処]	より大きなスレッド/パーティション/リージョンで Natural を起動するか、または、SQL ステートメントの数やサイズを小さくしてください。

NAT0785 : **Natural DB2** の内部エラーがあります。

テキスト	Natural DB2 の内部エラー。
[対処]	Natural ソース/オブジェクトプログラムを用意して Software AG サポートに連絡してください。

NAT0786 : **Natural DB2** : **UPDATE** に対してフィールドが割り当てられていません。

テキスト	UPDATE ステートメントに対してフィールドが割り当てられていません。
[説明]	UPDATE ステートメントが指定されていますが、ビューにデータベースフィールドが指定されていません。
[対処]	DB2 列に値を割り当ててください。

NAT0787 : **Natural DB2** : 読み取り専用フィールドは更新できません。

テキスト	読み取り専用フィールドは更新できません。
[説明]	読み取り専用フィールドが UPDATE ステートメントで指定されました。 読み取り専用フィールドは更新できないため、これは許可されません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0788 : **UPDATE/DELETE** を **FIND SORTED** とともに 使用しないでください。

テキスト	UPDATE/DELETE を FIND SORTED とともに 使用しないでください。
[説明]	DB2 のロジックに従い、UPDATE/DELETE は READ BY、FIND ... ORDER BY、SELECT ... ORDER BY、または READ RESULT SET とともに使用しないでください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0789 : Natural DB2 : SORTED BY 節で指定されたフィールドが参照されません。

テキスト	SORTED BY 節で指定されたフィールドが参照されません。
[説明]	SORTED BY 節で参照されるフィールドが、プログラム内のいずれの場所でも参照されていません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0790 : IMS アクセスにプライマリキーがありません。

テキスト	IMS アクセスにプライマリキーがありません。
[説明]	ループ内に端末ステートメントがある場合、Natural DB2 では、UPDATE または DELETE にプライマリキーが必要となります。
[対処]	Natural DB2 ファイルサーバーロジックに対応するように、プログラムを変更してください。

NAT0791 : 日付タイプがサポートされていません。

テキスト	日付タイプがサポートされていません。
[説明]	検索条件内に、DB2 データベースマネージャがサポートしないフォーマットの Natural 変数または定数があります。サポートされないフォーマットは次のとおりです。 N (アンパック10進数) I1 (長さ1の整数) L (論理) D (日付) T (時間)
[対処]	DB2 データベースにアクセスするプログラムでは、上記のフォーマットを使用しないでください。

NAT0792 : マスタフィールドなしで空値、または長さを参照されています。

テキスト	マスタフィールドなしで空値または長さが参照されています。
[説明]	長さインジケータまたは空値インジケータフィールドを参照する場合、長さまたは空値インジケータを適用するマスタフィールドが参照されなければなりません。
[対処]	プログラムを修正してください。

NAT0793 : 空値／長さインジケータをディスクリプタとして使用することはできません。

テキスト	空値／長さインジケータをディスクリプタとして使用することはできません。
[説明]	空値インジケータまたは長さインジケータをディスクリプタとして使用することはできません。 検索条件に使用できるのはマスタフィールドだけです。
[対処]	Natural プログラムの検索条件を変更してください。

NAT0794 : **SELECT FOR UDPATE** しようとしたましたが、**UPDATE** が許されていませんでした。

テキスト	SELECT FOR UDPATE しようとしたましたが、UPDATE が許されていませんでした。
[説明]	このメッセージは、UPDATE が許されていない場合に SELECT SINGLE FOR UPDATE ステートメントが指定された場合にも表示されます。
[対処]	プログラムをチェックして修正します。

NAT0797 : 検索条件での集合名の使用法が正しくありません。

テキスト	検索条件での集合名の使用法が正しくありません。
[説明]	FIND ステートメントの基本検索条件に集合名が指定されましたが、 -アクセスするファイルが Adabas ファイルではありません。または、 -基本検索条件が COUPLED 条件に含まれています。 いずれの場合も、集合名は使用できません。 集合名の使用法については、Natural ドキュメントの FIND ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムの検索条件を変更してください。

NAT0798 : 共通テーブル式が正しくありません。

テキスト	共通テーブル式が正しくありません。
[説明]	指定された共通テーブル式が正しくありません。 共通テーブル式の後は、キーワード WITH7ICTE と次の構文が続く必要があります。 cte-name (colname,...) AS (fullselect) 多くの場合、カッコ、キーワード AS、またはコンマが不足しているか、あるいは 過剰に指定されていることが考えられます。
[対処]	共通テーブル式を修正してください。

NAT0799 : スカラ全選択は、単一の列値で構成されている必要があります。

テキスト	スカラ全選択は、単一の列値で構成されている必要があります。
[説明]	スカラ全選択は、式内のスカラ値としてのみ使用できます。 スカラ全選択は、カッコで囲まれた全選択であり、 単一の列値で構成される単一の行を返します。 指定された全選択の結果セットが、複数の列で構成されています。
[対処]	全選択の選択リストで1つの列だけを指定してください。

NAT0800 : :1: 連続エラーの後、ログオンができませんでした。

テキスト	... 連続エラーの後、ログオンできませんでした。
[説明]	ログオン失敗の回数が多すぎるので、 Natural セッションが終了されました。
[対処]	ユーザー ID とパスワードをチェックした後、 Natural セッションを開始してください。

18 Natural システムエラーメッセージ 0801~0850

NAT0801 : このユーティリティ用に定義されたアクセス権はありません。

テキスト	このユーティリティ用に定義されたアクセス権はありません。
[説明]	ユーティリティは限られた用途でしか使用できません。
[対処]	セキュリティ管理者に連絡してください。

NAT0802 : システムファイル **:1:** へのアクセスが拒否されました。理由 **:2:**。

テキスト	システムファイル ... へのアクセスが拒否されました。理由 ...。
[説明]	理由 : 1 - Natural for UNIX : システムファイルが NATCONF.CFG にありません。 2 - システムファイルの使用は、Natural 開発サーバー環境内に制限されています。 4 - このシステムファイル結合へのアクセスは拒否されました。 10 - 環境プロファイルが定義されていません。 12 - このライブラリセッションプロファイルの使用は許可されていません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0803 : ライブラリ **SYSLIB** および **SYSLIBS** は、システムが使用するためログオンできません。

テキスト	ライブラリ SYSLIB および SYSLIBS は、システムが使用するためログオンできません。
[説明]	ライブラリ SYSLIB および SYSLIBS は、Natural 内部システムで使用するために予約済みとなっており、これらのライブラリにログオンすることはできません。
[対処]	他のライブラリにログオンしてください。

NAT0804 : パスワード変更の場合、変更確認のため新パスワードを再入力します。

テキスト	パスワード変更の場合、変更確認のため新パスワードを再入力します。
[説明]	パスワード変更を希望する場合、変更確認のため再度新パスワードを入力する必要があります。 入力ミスによるユーザーパスワードの変更を防ぐため、ユーザーパスワードの確認が要求されます (新パスワードはログオン画面に表示されません)。
[対処]	パスワードを変更する場合、新しいパスワードを再入力してください。 パスワードを変更しない場合は、 Enter キーを押して、ログオン処理を続けてください。

NAT0805 : 新パスワードが確認されません。ログオンできませんでした。

テキスト	新パスワードが確認されません。ログオンできませんでした。
[説明]	ログオン処理で、パスワード変更を確認するため、新パスワードの再入力が必要でしたが、 - 新パスワードが入力されませんでした、または- 最初と違うパスワードが入力されました。 パスワード変更が確認されなかったことを意味します。
[対処]	もう一度ログオンしてください。

NAT0806 : ライブラリが見つかりません。

テキスト	ライブラリが見つかりません。
[説明]	ログオンしようとしたライブラリは、 Natural Security に定義されていません。使用するすべての Natural ライブラリが、 Natural Security に定義されている必要があります。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0807 : このライブラリへのログオンは許されていません。

テキスト	このライブラリへのログオンは許されていません。
[説明]	ログオンしようとしたライブラリは、保護されています。 このライブラリにログオンするには、 このライブラリにリンクされたユーザーでなければなりません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0808 : 再スタート可能なライブラリが見つかりません。

テキスト	再スタート可能なライブラリが見つかりません。
[説明]	ログオン処理で、ユーザーが "RESTART" を指定しましたが、再スタート可能なライブラリがありませんでした。
[対処]	- RESTART オプションは、ライブラリがアクティブにされた後にだけ使用してください、および/または - Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0809 : LOGON 時に端末 ID を入力してはいけません。

テキスト	LOGON 時に端末 ID を入力しないでください。
[説明]	ログオン時にユーザー ID として端末 ID が入力されました。これは許可されていません。ライブラリ ID を使うと、端末保護されたライブラリにアクセスできます。
[対処]	ユーザー ID でなく、適切なライブラリ ID を使用してください。

NAT0810 : グループ ID は LOGON に使用できません。

テキスト	グループ ID は LOGON に使用できません。
[説明]	ログオン処理で、ユーザー ID としてグループ ID が入力されました。グループ ID は、ログオン処理に使用することはできず、ライブラリへの適切なリンクにのみ使用できます。
[対処]	正しいユーザー ID で、ログオンしてください。

NAT0811 : LOGON にユーザー ID を入力しなければなりません。

テキスト	ユーザー ID を入力する必要があります。
[説明]	Natural の開始ログオンにユーザー ID の指定がないと、Natural セッションはアクティブになりません。後続のログオンではユーザー ID を指定する必要はありません。別のユーザー ID が指定されるまで最初のユーザー ID が内部的に使われます。Natural Security を導入している場合、各ログオンでユーザー ID を指定する必要があります。
[対処]	正しいユーザー ID を入力してください。

NAT0812 : ユーザー ID に対するセキュリティプロファイルに内部的な矛盾があります。

テキスト	ユーザー ID に対するセキュリティプロファイルに内部的な矛盾があります。
〔説明〕	Natural Security のログオン処理で、指定されたユーザー ID に対するセキュリティプロファイルに内部的な矛盾が検出されました。データレコードを直接操作したため、ユーザーセキュリティプロファイルが変更されました。
〔対処〕	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0813 : デフォルトのライブラリへのログオンが許可されていません。

テキスト	デフォルトのライブラリへのログオンが許可されていません。
〔説明〕	ユーザーに対して、ユーザーのデフォルトのライブラリが有効ではありません。
〔対処〕	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0814 : ライブラリ ID、および/または ユーザー ID を入力しなければなりません。

テキスト	ライブラリ ID、および/またはユーザー ID を入力する必要があります。
〔説明〕	ログオン画面では、ライブラリ ID とユーザー ID のいずれかまたは両方を入力する必要があります。
〔対処〕	ユーザー ID および/またはライブラリ ID を入力してください。

NAT0815 : ライブラリ ID を入力してください。

テキスト	ライブラリ ID を入力してください。
〔説明〕	ユーザーはデフォルトのライブラリも、プライベートライブラリも持たないので、ログオンするライブラリ ID を指定する必要があります。
〔対処〕	ライブラリ ID または「?」を入力して、利用可能なライブラリのリストを取得します。

NAT0816 : この端末からライブラリにアクセスできません。

テキスト	この端末からライブラリにアクセスできません。
〔説明〕	ユーザーが使用している端末からではなく、特定の端末からしかアクセスできないライブラリにアクセスしようとしていました。
〔対処〕	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0817 : 非バッチモードでは、バッチユーザー ID でのログオンはできません。

テキスト	非バッチモードでは、バッチユーザー ID でのログオンはできません。
[説明]	バッチモードがアクティブになっていないが、バッチユーザー ID を使用してログオンしようとしてしました。これは許可されていません。
[対処]	タイプが "batch" に等しくないユーザー ID を使用してログオンします。

NAT0818 : ユーザー ID がない、またはこの端末は定義されていません。

テキスト	ユーザー ID がない、またはこの端末は定義されていません。
[説明]	- ユーザー ID を入力しませんでした。または - Natural Security に定義されていない端末からログオンしようとしてしました。
[対処]	- ユーザー ID を入力してください。または、 Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0819 : (バッチモードで) LOGON できませんでした。

テキスト	(バッチモードで) LOGON できませんでした。
[説明]	バッチ Natural セッションでログオンしようとしてしましたが、失敗しました。失敗の理由については、エラーメッセージの下に詳細が示されます。
[対処]	メッセージに示された説明に従ってください。

NAT0820 : 端末セキュリティプロファイルに内部的な矛盾が見つかりました。

テキスト	端末セキュリティプロファイルに内部的な矛盾が見つかりました。
[説明]	Natural Security のログオン処理で、使用される端末のセキュリティプロファイルに内部的な矛盾が検出されました。データベースレコードを直接操作したため、セキュリティプロファイルが変更されました。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0821 : :1: に対してのみライブラリが有効です。

テキスト	... に対してのみライブラリが有効です。
[説明]	表示されたデバイスタイプに対してのみ有効なライブラリにログオンしようとしてしました。
[対処]	有効なデバイスタイプからそのライブラリを使用してください。

NAT0822 : ユーザーのプライベートライブラリは **:1:** に対してのみ有効です。

テキスト	ユーザーのプライベートライブラリは ... に対してのみ有効です。
[説明]	表示されたデバイスタイプに対してのみ有効なプライベートライブラリにログオンしようとしてしました。
[対処]	有効なデバイスタイプからそのプライベートライブラリを使用してください。

NAT0823 : バッチユーザー ID でのログオンはできません。

テキスト	バッチユーザー ID でのログオンはできません。
[説明]	バッチユーザー ID を使用してログオンしようとしてしましたが、このユーザー ID では、バッチモードで直接ログオンすることはできません。
[対処]	タイプが "batch" に等しくないユーザー ID を使用してログオンします。

NAT0824 : ライブラリのセキュリティプロファイルに内部的な矛盾を見つけました。

テキスト	ライブラリのセキュリティプロファイルに内部的な矛盾が見つかりました。
[説明]	Natural Security のログオン処理で、指定されたライブラリのセキュリティプロファイルに内部的な矛盾が検出されました。データベースレコードを直接操作したため、セキュリティプロファイルが変更されました。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0825 : セキュリティプロファイルに内部的な矛盾を見つけました。

テキスト	セキュリティプロファイルに内部的な矛盾が見つかりました。
[説明]	Natural Security ログオン処理で、呼び出されたセキュリティプロファイルに内部的な矛盾が検出されました。データベースレコードを直接操作したため、セキュリティプロファイルが変更されました。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0826 : 不正な数字が入力されました。正しい番号を入力してください。

テキスト	無効な番号。正しい番号を入力してください。
[説明]	表示された数字のうちの1つだけをログオン処理で入力できます。
[対処]	正しい番号を入力します。

NAT0827 : 有効なライブラリがありません。

テキスト	有効なライブラリがありません。
[説明]	その端末では、 そのユーザー ID に対して有効なライブラリがありません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0828 : "SYSSEC" にはログオンできません。

テキスト	"SYSSEC" にはログオンできません。
[説明]	ユーザーは Natural Security ライブラリ "SYSSEC" に ログオンする権限を与えられていません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0829 : ユーザーパスワードの変更は禁止されています。

テキスト	ユーザーパスワードの変更は禁止されています。
[説明]	Natural Security システムファイルの更新が 禁止されているため、ユーザーパスワードの変更はできません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0830 : ヘルプ画面は確認されませんでした。

テキスト	ヘルプ画面は確認されませんでした。
[説明]	ログオン処理に入ろうとしましたが、要求された確認は 提供されませんでした。
[対処]	ログオンを続けてください。

NAT0831 : *** Natural LOGON PROCEDURE ***

テキスト	*** Natural LOGON PROCEDURE ***
[説明]	Natural のログオン処理中、行 1 にテキストが表示されました。

NAT0832 : *** YOU ARE LINKED DIRECTLY TO : ...***

テキスト	*** YOU ARE LINKED DIRECTLY TO : ...***
[説明]	Natural のログオン処理中、行 2 にテキストが表示されました。

NAT0833 : * YOU ARE LINKED VIA A GROUP TO :... *****

テキスト	*** YOU ARE LINKED VIA A GROUP TO :... ***
[説明]	Natural のログオン処理中、行 3 にテキストが表示されました。

NAT0834 : * YOUR TERMINAL IS LINKED TO : ... *****

テキスト	*** YOUR TERMINAL IS LINKED TO : ... ***
[説明]	Natural のログオン処理中、行 2 にテキストが表示されました。

NAT0835 : * PUBLIC LIBRARIES ARE: ... *****

テキスト	*** PUBLIC LIBRARIES ARE: ... ***
[説明]	Natural のログオン処理中、ライブラリ ID に対し「?」を入力した結果として、行 2 にテキストが表示されました。

NAT0836 : Press ENTER for next page, or enter "." for logon screen.

テキスト	Press ENTER for next page, or enter "." for logon screen.
[説明]	ログオン処理中、トレイラ行にテキストが表示されました。

NAT0837 : Or select a library by entering its number ==>

テキスト	その番号を入力してライブラリを選択してください。
[説明]	ログオン処理中、トレイラ行 2 にテキストが表示されました。

NAT0838 : パスワードを変更してください。新旧のパスワードを入力してください。

テキスト	パスワードを変更してください。新旧のパスワードを入力してください。
[説明]	Natural Security プロファイルによって、パスワードを定期的に変更することが義務づけられています。
[対処]	"PASSWORD" フィールドに旧パスワードを入力し、 "NEW PASSWORD" フィールドに新パスワードを入力してください。新パスワードの確認を 要求されるので、 "NEW PASSWORD" フィールドに新パスワードを再度入力してください。

NAT0839 : ライブラリ "SYSSEC" が見つかりません。

テキスト	ライブラリ "SYSSEC" が見つかりません。
[説明]	セキュリティ環境では、ライブラリ "SYSSEC" は必須です。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0840 : プライベートライブラリが見つかりません。

テキスト	プライベートライブラリが見つかりません。
[説明]	このユーザーのプライベートライブラリのセキュリティプロファイルが見つかりません。Natural Security のログオン処理で、次の内部的な矛盾が検出されました。プライベートライブラリがユーザーセキュリティプロファイルに指定されましたが、そのプライベートライブラリに対するセキュリティプロファイルがありません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0841 : ユーザーがプライベートライブラリを持っていません。

テキスト	ユーザーがプライベートライブラリを持っていません。
[説明]	"ADMINISTRATOR" または "PERSON" タイプのユーザーで、かつセキュリティプロファイル内にプライベートライブラリ定義を持つユーザーだけが、プライベートライブラリにログオンできます。
[対処]	ライブラリ ID または「?」を入力して、利用可能なライブラリのリストを取得します。

NAT0842 : そのプライベートライブラリへのログオンは認められません。

テキスト	そのプライベートライブラリへのログオンは認められません。
[説明]	他のユーザーのプライベートライブラリにログオンしようとしてしました。他のユーザーのプライベートライブラリにはログオンできません。ログオンできるのは、ユーザー自身のプライベートライブラリだけです (ユーザーにプライベートライブラリが定義されている場合)。
[対処]	ライブラリ ID または「?」を入力して、利用可能なライブラリのリストを取得します。

NAT0843 : ユーザー ID が正しくありません。TP モニタからのユーザー ID しか認められません。

テキスト	ユーザー ID が正しくありません。TP モニタからのユーザー ID しか認められません。
[説明]	"自動ログオン" がアクティブな場合 (Natural パラメータ AUTO=ON が設定されている場合)、 ユーザーが TP モニタにログオンしたユーザー ID でしか Natural にログオンできません。
[対処]	TP モニタにログオンしたユーザー ID を入力してください。

NAT0844 : ユーザーが定義されていません。再スタートできません。

テキスト	ユーザーが定義されていません。再スタートできません。
[説明]	ユーザーが最後に使用したライブラリは、そのユーザーのセキュリティレコードに格納されています。Natural Security に定義されていないユーザーは、そのようなレコードを持つことはできません。 Natural Security に定義されているユーザーだけが再スタートを認められていますが、ユーザーは Natural Security に定義されていません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0845 : コマンドモード禁止で、開始トランザクションが指定されていません。

テキスト	コマンドモード禁止で、開始トランザクションが指定されていません。
[説明]	コマンドモードが認められていなければ、 開始トランザクションを指定するか、 またはコマンド/プログラムが Natural スタック内になければいけません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0846 : グループが見つかりません。

テキスト	グループが見つかりません。
[説明]	ユーザーはグループを通してライブラリにリンクされていますが、 そのグループが見つかりません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0847 : ライブラリ ID は英字で始めなければいけません。

テキスト	ライブラリ ID は英字で始めなければいけません。
[説明]	ライブラリ ID の最初の文字は英字でなければなりません。
[対処]	ライブラリ ID を英字で始めてください。

NAT0848 : 開始トランザクション :1: が見つかりません。

テキスト	開始トランザクション ... が見つかりません。
[説明]	使用するライブラリのセキュリティプロファイルに指定された開始トランザクションが、ライブラリ内にも STEPLIB 内にも見つかりません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0849 : この ID のライブラリはすでに存在しています。

テキスト	この ID のライブラリはすでに存在しています。
[説明]	ユーザー ID / ライブラリ ID はユニークでなければいけません。
[対処]	他のライブラリ ID と重複しないユーザー ID を入力してください。

NAT0850 : リスタートプログラム :1: が見つかりません。

テキスト	リスタートプログラム ... が見つかりません。
[説明]	使用するライブラリのセキュリティプロファイルに指定されたリスタートプログラムが、ライブラリ内にも STEPLIB 内にも見つかりません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

19 Natural システムエラーメッセージ 0851~0900

NAT0851 : エラープログラム **:1:** が見つかりません。

テキスト	エラープログラム ... が見つかりません。
[説明]	使用するライブラリのセキュリティプロファイル、または ETA パラメータで指定されたエラープログラムが、ライブラリ内にも STEPLIB 内にも見つかりません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0852 : セキュリティプロファイルが完全ではありません。

テキスト	セキュリティプロファイルが完全ではありません。
[説明]	タイプ MEMBER のユーザーとして Natural Security に定義されている場合、少なくとも 1 つのグループに属している必要がありますが、 - ユーザーはいずれのグループにも追加されていません。または- ユーザータイプが変更されています。または - 端末が Natural Security に定義されているが、いずれのグループにも含まれていません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0853 : ライブラリ **:1:** へのログオンができます。このライブラリは空です。

テキスト	ログオンがライブラリに受け入れられました... このライブラリは空です。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT0854 : ライブラリ **:1:** へのログオンができます。

テキスト	ログオンがライブラリに受け入れられました...
[対処]	対処は必要ありません。

NAT0855 : 新しいパスワードは少なくとも **:1:** 文字でなければなりません。

テキスト	新しいパスワードは少なくとも ... 文字でなければなりません。
[説明]	Natural Security では、最小限のパスワードの長さが指定されています。
[対処]	長いパスワードを指定してください。

NAT0856 : 不正なログオンデータで自動ログオンされたため、ログオンできませんでした。

テキスト	不正なログオンデータで自動ログオンされたため、ログオンできませんでした。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0857 : ユーザーは現在ロック状態です。

テキスト	ユーザーは現在ロック状態です。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0858 : 有効期限の日付フォーマットが正しくありません。

テキスト	有効期限の日付フォーマットが正しくありません。
[説明]	メールボックスの期限日付は、画面の右上角に表示される日付と同じフォーマットで入力する必要があります。
[対処]	正しいフォーマットの期限日付を入力してください。

NAT0859 : 有効期限の日付は過去の日付であってははいけません。

テキスト	有効期限の日付は過去の日付であってははいけません。
[対処]	正しい日付を入力します。

NAT0860 : コードが正しくありません。

テキスト	コードが正しくありません。
[対処]	正しいコードを入力します。

NAT0861 : ユーザーはライブラリへの特別リンクを持っていません。

テキスト	ユーザーはライブラリへの特別リンクを持っていません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0862 : この Natural セッションは Natural Security の制御下ではありません。

テキスト	この Natural セッションは Natural Security の制御下ではありません。
[説明]	要求した機能を実行するには、Natural セッションが Natural Security の制御下で稼動している必要があります。
[対処]	要求した機能を実行する前に、Natural Security の制御下で（必要な場合は Natural 管理者に頼んで）Natural を呼び出してください。 Natural Security がインストールされていない場合、その機能は利用できません。

NAT0863 : そのリンク ID ":1:" では、このライブラリにログオンできません。

テキスト	そのリンク ID "... " では、このライブラリにログオンできません。
[対処]	正しいユーザー ID でログオンしてください。 必要な場合は Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0864 : No. Lib. ID Library Name*Type*Linked via*Spec.

テキスト	No. Lib. ID Library Name*Type*Linked via*Spec.
[説明]	Natural Security によってテキストが表示されます。

NAT0865 : セキュリティファイルが正しくありません。DBA に連絡してください。

テキスト	セキュリティファイルが正しくありません。DBA に連絡してください。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT0866 : Natural ニュークリアスが Natural Security ニュークリアスではありません。

テキスト	Natural ニュークリアスが Natural Security ニュークリアスではありません。
[説明]	Natural ニュークリアスと Natural システムファイル (FNAT) との間に矛盾があります。ニュークリアスは非セキュリティと指定されていますが、Natural システムファイルには Natural Security 固有のプログラムが含まれています。考えられる理由は次のとおりです。 - ニュークリアスが不正に ZAP されました。 - Natural マスタ制御レコードが不正に ZAP されました。 - Natural Security NATLOAD が正常に実行されませんでした。

[対処]	Natural 管理者に連絡してください。Natural の NATLOAD を再実行し、Natural Security システムの場合は、Natural Security の NATLOAD を再実行してください。
------	---

NAT0867 : この環境にはメールボックスが存在していない/設定されていません。

テキスト	この環境にはメールボックスが存在していない/設定されていません。
[対処]	- 他のメールボックス ID を指定してください。または - Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0868 : メールボックス :1: のデータがすでに期限終了になりました。

テキスト	メールボックス ... のデータがすでに期限終了になりました。
[対処]	必要な場合は、有効期限の日付を変更してください。

NAT0869 : ファイルのセキュリティレコードが直接変更されました。

テキスト	ファイルのセキュリティレコードが直接変更されました。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0870 : **UPLOAD** することができません。

テキスト	UPLOAD することができません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0871 : **DOWNLOAD** することができません。

テキスト	DOWNLOAD することができません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0872 : ファンクションコードが正しくありません。

テキスト	ファンクションコードが正しくありません。
[対処]	正しいファンクションコードを入力します。

NAT0873 : ユーザー ID、またはパスワードが正しくありません。

テキスト	ユーザー ID、またはパスワードが正しくありません。
[対処]	正しいユーザー ID、および正しいパスワードを入力してください。

NAT0874 : ENTER キーを押すと次のページへ、"." を押すとセッションを終了します。

テキスト	Enter キーを押すと次のページへ、"." を押すとセッションを終了します。
------	---

NAT0875 : ユーザーは現在アクティブではありません。

テキスト	ユーザーは現在アクティブではありません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0876 : 新規パスワードは有効ではありません。異なるものを選んでください。

テキスト	新規パスワードは有効ではありません。異なるものを選んでください。
[説明]	次のいずれかが原因で、新規パスワードが拒否されました。 1) 以前のパスワードに非常に似ているため。 2) パスワード規則に従っていないため。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0877 : ユーティリティへのアクセスはセキュリティによって拒否されました。DBA に連絡してください。

テキスト	ユーティリティへのアクセスはセキュリティによって拒否されました。DBA に連絡してください。
[説明]	ユーティリティは限られた用途でしか使用できません。
[対処]	セキュリティ管理者に連絡してください。

NAT0878 : 割り当てられたグループ :1: は現在アクティブではありません。

テキスト	割り当てられたグループ ... は現在アクティブではありません。
[説明]	Natural Security (NSC) 環境 : - メッセージに示された NSC グループ ID は、現在、非アクティブとしてこのグループ ID をマークする日付で定義されています。 NSF 環境の追加情報 : - セキュリティシステムに定義されたユーザー ID 用のグループ ID は、NSC に定義されていない、 または NSC グループプロファイルが非アクティブ、 または NSC ユーザープロファイルが別のユーザータイプです。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0879 : アクティブなグループの割り当てがありません。

テキスト	アクティブなグループの割り当てがありません。
[説明]	ユーザーは、有効なアクティベーション日付を持つグループに割り当てられていません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0880 : **BATCH** コンパイルで **10** 以上の構文エラーが発生しました。

テキスト	BATCH コンパイルで 10 以上の構文エラーが発生しました。
[対処]	構文の誤りを修正し、もう一度コンパイルしてください。

NAT0881 : コンパイル中に、内部 **:1:** テーブルが **:2:** 最大サイズを超えました。

テキスト	コンパイル中に、内部 ... テーブルが ... 最大サイズを超えました。
[説明]	プログラムのコンパイル中、オブジェクトを構築するためにさまざまなテーブルが生成されました。それらのテーブルの1つが最大サイズを超えました。 ID リスト： GPT - 生成プログラムバッファ KST - 定数バッファ MPT - 配列構造バッファ RNM - SQL 生成バッファ SBT - データベースアクセスバッファ VAT - SQL 生成バッファ VDT - 変数アクセスバッファ
[対処]	バッファ ID に応じて、プログラムのサイズを削減してください。

NAT0884 : 内部エラーです。セーブエリアチェーンが破壊されました。

テキスト	内部エラーです。セーブエリアチェーンが破壊されました。
[説明]	再配置可能な Natural のセーブエリアが壊されました。Natural は一連の内容をリセットし、再スタートします。 Natural は常にそのセーブエリアの一連の内容が正しいかテストします。 このエラーは、 - レジスタ 13 が正しくない、- セーブエリアがオーバーフローした、または- 再配置されたユーザーエリアが正しくないために起こります。 セーブエリアオーバーフローの原因の1つとして、 再帰的なプログラムコールの回数が多すぎるものが考えられます。
[対処]	Natural によって自動的に修正されます。再スタートしてください。 必要に応じて、再帰的なプログラムコールの回数を減らしてください。

NAT0885 : 内部エラーです。I/O バッファが上書きされました。

テキスト	内部エラーです。I/O バッファが上書きされました。
[説明]	画面／プリンタに出力するために使用されるバッファエリアは他の目的のためにも使われます。 この状況は、I/O バッファの内容が破壊され、バッファが初期化されていないときに発生します。
[対処]	コマンドシーケンスを記録し、Natural 管理者に相談してください。

NAT0886 : 拡張バッファのストレージがオーバーフローしました。

テキスト	拡張バッファのストレージがオーバーフローしました。
[説明]	Natural プログラムの処理中およびコンパイル中に、一定のテーブルが拡張バッファに格納されます。 拡張バッファのサイズは、Natural 管理者が ESIZE プロファイルパラメータで定義しています。 このエラーは、Natural スタックに非常に多量のデータを書き込もうとした場合にも起きます。
[対処]	- ソースプログラムのサイズを小さくしてください。 - または、Natural 管理者に連絡してください。

NAT0887 : 内部スタックがオーバーフローしました。

テキスト	内部スタックがオーバーフローしました。
[説明]	ランタイムバッファへのスタック処理中に、テーブルオーバーフローが起きました。この状況は本来発生するものではなく、考えられる理由は、ランタイムバッファテーブルに過剰な格納を行ったことです。
[対処]	Natural 管理者に依頼して、RUNSIZE パラメータを増やしてください。 問題が続く場合は、Software AG Natural サポートに連絡してください。

NAT0888 : コンパイル中または、実行中にストレージがオーバーフローしました。

テキスト	コンパイル中または、実行中にストレージがオーバーフローしました。
[説明]	USIZE または DATSIZE バッファのオーバーフローによりこのエラーが発生します。 - コンパイル時の場合： 個々のプログラムからオブジェクトモジュールを作成するために必要な全テーブルを保持するには USIZE が小さすぎます。 - 実行時の場合：ネストされたオブジェクトのコール数が多すぎます。 呼び出される各オブジェクトに必要な DATSIZE を確認するために、LIST DIR コマンドを使用してください。 プロファイルパラメータ USIZE および DATSIZE については、Natural ドキュメントを参照してください。

[対処]	- Natural 管理者に USIZE または DATSIZE バッファを大きくするように依頼してください。 - または、コンパイルするプログラムサイズを小さくしてください。 - または、実行時のオブジェクトコールのネスト数を減らしてください。
------	---

NAT0890 : ソースパラメータの構成が正しくありません。

テキスト	ソースパラメータの構成が正しくありません。
[説明]	このエラーは、他のソースパラメータ内にパラメータソース指定があるために、起きたと考えられます。 Natural は現在、1 レベルのパラメータソース処理しかできません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0891 : Natural のシンボルテーブルが最大サイズ **512 K** を超えました。

テキスト	Natural のシンボルテーブルが最大サイズ 512 K を超えました。
[説明]	プログラム内のシンボルは、コンパイル時にプログラム内のシンボルテーブル (SYT) と呼ばれるバッファで変換されます。SYT の最大サイズ (512 K) をオーバーフローしています。
[対処]	プログラム内の変数の数を減らし、再コンパイルしてください。

NAT0894 : オペランドのフォーマット/長さが正しくありません。

テキスト	オペランドのフォーマット/長さが正しくありません。
[説明]	無効なフォーマット/長さ定義がオペランドに対して使用されています。 次の理由が考えられます。 MINVAL/MAXVAL : オペランドのフォーマット/長さ定義の組み合わせが、中間フォーマット生成の規則に従っていません。 一定のフォーマット/長さを結果として設定するために、IR 節を使用してください。
[対処]	オペランドのフォーマット/長さを変更してください。

NAT0898 : GFID エラー **1** が発生しました。

テキスト	GFID 検証エラー (理由/LDA 名/ビュー名/フィールド名)。
------	------------------------------------

[説明]	データベースアクセスステートメントのグローバルフォーマット ID (GFID) の生成中に、検証エラーが発生しました。 これは、ビューフィールド定義が DDM で変更されたが、このビューを含む LDA が再カタログされていないためです。 理由コード： 4：DB ショートネームが変更されました。 8：フィールドフォーマットが変更されました。 12：フィールド長が変更されました。 16：ビューの合計長が異なります。
[対処]	該当する LDA を再カタログするか、または COMPOPT コマンドや OPTIONS ステートメントを使用して、GFID が使用されないように GFID=OFF に設定します。

NAT0899： DDM :1: の構造に内部エラーがあります。

テキスト	... の構造に内部エラーがあります。
[説明]	DDM が正しく生成されませんでした。 DDM に内部の矛盾がありました。
[対処]	DDM を再生成してください。

NAT0900： データエリアの割り当て中にストレージオーバーフローがおきました。

テキスト	データエリアの割り当て中にストレージオーバーフローが起きました。
[説明]	- そのプログラムのデータエリアを含むストレージエリアが、データフィールドに対するアドレス割り当て中にオーバーフローしました。または - プログラム内の参照される外部サブルーチンの数が 50 を超えています。 - 実行可能なオブジェクトの構成中にオーバーフローが発生しました。
[対処]	プログラム内のデータエリアを減らしてください。または、使用するデータベースフィールドを減らしてください。または、DATSIZE プロファイルパラメータを増やして、セッションを再スタートしてください。

20

Natural システムエラーメッセージ 0901～0950

NAT0901 : ソートレコード長が **10240** バイトを超えました。

テキスト	ソートレコード長が 10240 バイトを超えました。
[説明]	ソートするレコードの長さの合計が 10240 バイトを超えてはいけません。 注：ソートストレージに書き出されるフィールドは、SORT ステートメントで指定したフィールドだけでなく、全データベースフィールドと、SORT ステートメントの前に定義したユーザー定義変数です。
[対処]	ソートレコードのサイズが 10240 バイトを超えないようにしてください。

NAT0902 : フォーマットバッファの生成に失敗しました。理由コード :1:

テキスト	フォーマットバッファの生成に失敗しました。理由コード ...
[説明]	フォーマットバッファの生成中に、次のエラー状況が発生しました。 理由コードの説明： 4 - バッファの生成がオーバーフローし、利用可能な十分なメモリがなかったためそのバッファを拡張できませんでした。 [対処] => これより大きなスレッド/パーティション/リージョン内で Natural を起動してください。 8 - 生成されたフォーマットバッファの長さが最大サイズの 32K を超えています。 [対処] => フォーマットバッファのフィールドの数を減らしてください 12 - ランタイムに利用可能な十分なメモリがなかったため、フォーマットバッファを拡張できませんでした。 [対処] => これより大きなスレッド/パーティション/リージョン内で Natural を起動してください。
[対処]	理由コードの説明を参照してください。

NAT0903 : 実行時にストレージのオーバーフローが起きました。

テキスト	実行時にストレージのオーバーフローが起きました。
[説明]	ループテーブルエントリの生成中に ストレージがオーバーフローしました。
[対処]	構造化プログラミング技法を使用して、 プログラムを分割してください。

NAT0904 : プログラム内に <MOVE "" TO 変数> ステートメントが多すぎます。

テキスト	プログラム内に <MOVE "" TO 変数> ステートメントが多すぎます。
[説明]	プログラム内に <MOVE "" TO 変数> ステートメントが 多すぎます。
[対処]	ステートメントを <RESET 変数> に置き換えてください。

NAT0906 : **Natural** ニュークリアスが **V 1.2** ランタイムをサポートしません。

テキスト	Natural ニュークリアスがバージョン 1.2 ランタイムをサポートしません。
[説明]	Natural ニュークリアスが、バージョン 1.2 ランタイムなしでリンクされています。 バージョン 2 以降でカタログ/格納されたオブジェクトだけを 実行できます。
[対処]	バージョン 1.2 ランタイムシステムを含めてニュークリアスを再びリンクし、 使用する環境で新しいコピーをアクティブにしてください。

NAT0907 : レコードバッファの生成に失敗しました。理由コード :1:

テキスト	レコードバッファの生成に失敗しました。理由コード
[説明]	データベースステートメントの生成中に、次のエラー状況が発生しました。 理由コードの説明： 4 - オープンシステム用 Natural の場合： Adabas アクセスステートメントのレコードバッファサイズが 64 KB を超えました。 4 - メインフレーム用 Natural の場合： Adabas バージョン 7 (以前) または VSAM に送られるデータベースアクセスステートメント の レコードバッファサイズが、32 KB を超えています。 32 KB よりも大きいレコードバッファサイズが使用できるのは、 呼び出されたデータベースが Adabas V8 (プロファイルパラメータ DB を参照) として定義さ れている場合のみです。 8 - DB2/SQL アクセスステートメントで、レコードバッファの最大サイズ 32 KB を超えています。
[対処]	レコードバッファフィールドの数を減らしてください。

NAT0909 : データバッファ **:1:** は、**NATXCAL** がアクティブな間は拡張できません。

テキスト	データバッファ ... は、 NATXCAL がアクティブな間は拡張できません。
[説明]	サブプログラムが 3GL インターフェイス (NATXCAL 、 NCIXCALL 、 NCIXCPRM) 経由で呼び出される場合、データバッファに含まれるいずれかのデータフィールドが、3GL プログラムを呼び出した CALL ステートメントによりパラメータとして提供されている場合、そのデータバッファは拡張できません。 次のいずれかのデータバッファが影響を受ける可能性があります。 AIVDAT - AIV 変数のバッファ GLBUSER - ユーザーグローバル変数のバッファ GLBSYS - システムグローバル変数のバッファ DATSIZE - ローカル変数のバッファ
[対処]	示されているバッファが " DATSIZE " の場合は、 DATSIZE プロファイルパラメータの値を増やして、 Natural を起動してください。

NAT0910 : **CALL**、**SORT**、または **WORK FILE** ステートメントのためのコアが足りません。

テキスト	CALL 、 SORT 、または WORK FILE ステートメントのためのコアが足りません。
[説明]	CALL 、 SORT 、または WORK FILE ステートメントの処理では、パーティション内にバッファが必要となります。 パーティション内に、プログラムが必要とするストレージを割り当てるのに十分なメモリがありません。
[対処]	大きなパーティションの下で再実行してください。または、 Natural 管理者に連絡してください。

NAT0911 : **:1:** はメインフレームバージョン **:2:** と非互換です (**:3:** 参照)。

テキスト	... はメインフレームバージョン ... と非互換です (... 参照)。
[説明]	使われたステートメント/キーワードは、 Natural の対応するメインフレームバージョンと互換性がありません。 エラーメッセージで参照された互換性スイッチを設定することで、このエラーを避けることができます (例: プロファイルパラメータ V41MFCOMP=ON/OFF)。
[対処]	互換性のあるステートメント/キーワードだけを使用するか、または互換性スイッチを OFF にしてください。

NAT0916 : リターンコード :1: 場所 :2: ユーザー出口 :3:

テキスト	リターンコード ... 場所 ... ユーザー出口 ... これにより、Natural によるプログラムの実行が中断されます。
[説明]	ユーザー出口によって、操作の完了を妨げる状況が検出されました。 この状況がリターンコードにより Natural に知らされました。 このリターンコードは、ユーザー出口に固有のものです。 Natural プログラムは終了させられました。
[対処]	Natural 管理者またはこのユーザー出口の作成者に連絡してください。

NAT0917 : エラー :1: :2: :3: 内

NAT0918 : ON ERROR、または AT ブロックから ESCAPE (TOP) はできません。

テキスト	ON ERROR、または AT ブロックから ESCAPE (TOP) はできません。
[説明]	このエラーの原因は以下のいずれかです： 1.1. 現在アクティブな ON ERROR ブロックから出るために、 ESCAPE ステートメントが使われましたが、ON ERROR ブロックは FETCH、STOP、TERMINATE、または RETRY ステートメントで抜ける必要があります。 2.2. 次の条件内に ESCAPE TOP ステートメントが使用されました。 - AT BREAK - AT START OF DATA - AT END OF DATA
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0919 : CALL ステートメント内のパラメータが多すぎます。

テキスト	CALL ステートメント内のパラメータが多すぎます。
[対処]	CALL ステートメント内のパラメータの数を減らしてください。

NAT0920 : プログラム :1: がロードできません :2:。

テキスト	プログラム ... がロードできません ...。
------	--------------------------

[説明]	<p>指定した外部プログラムをダイナミックにロードまたはスタティックに配置できませんでした。詳細については、失敗した LOAD 要求に関して提供された、オペレーティングシステム/TP モニタのリターンコードを参照してください。</p> <p>考えられる理由：</p> <ul style="list-style-type: none"> - ダイナミックにロードされるプログラムが、Natural に現在定義されているロードライブラリに含まれていません。 - CICS 環境下：プログラムが CICS に定義されていません。 - プログラムをダイナミックにロードするために利用できる十分なストレージがありませんでした (Com-plete 環境下：Com-plete スレッドが小さすぎました)。 - ダイナミックにロードされる最大プログラム数を超えました。 - スタティックプログラムの場合：プログラムが、CSTATIC パラメータを使用して NATPARM で定義されていません。または、NATPARM モジュールにリンクされていません。
[対処]	<ul style="list-style-type: none"> - プログラムが Natural で有効なライブラリ内にあること、または Natural にリンクされていることを確認してください。 - Natural 管理者に連絡して Natural プロファイルパラメータ CDYNAM または CSTATIC の設定について相談してください。

NAT0921 : コール最大レベルに達しました。

テキスト	<p>コール最大レベルに達しました。</p>
[説明]	<p>Natural は、別の Natural オブジェクトへのコールをレベル 99 までサポートします。Natural オブジェクトが別の Natural オブジェクトを呼び出すとき (例：CALLNAT、INPUT MAP、PERFORM、FETCH RETURN 経由で)、レベルカウンタ *LEVEL は 1 ずつ増加します。 *LEVEL が 99 を超えると、このエラーが発行されます。 このエラーは、通常、オブジェクトがそれ自体を再帰的に呼び出すときに発生します。</p>
[対処]	<p>プログラムをチェックして、エラーを修正してください。</p>

NAT0922 : バッファプールがアクティブではありません。

テキスト	<p>バッファプールがアクティブではありません。</p>
[説明]	<p>Natural バージョン 2 が、アクティブなバッファプールマネージャを要求しています。</p>
[対処]	<p>Natural 管理者に連絡してください。</p>

NAT0923 : プログラムのコールが正しくありません(:1/:2/:3/:4/:5/:6:)。

テキスト	プログラムが正しくありません(:1/:2/:3/:4/:5/:6:)。
[説明]	Natural オブジェクト :3: (タイプ :2:、ロード元のライブラリ :4:、データベース :5:、ファイル番号 :6:) は、ステートメントまたはコマンド :1: で呼び出すことができません。
[対処]	適切なステートメント/コマンドで、Natural オブジェクトを呼び出して下さい。

NAT0924 : このコンテキスト (:1: :2: :3:) 内に不正なコマンドがあります。

テキスト	このコンテキスト (:1: :2: :3:) 内に不正なコマンドがあります。
[説明]	コマンド :1: は、オブジェクト :3: タイプ :2: に対して正しくありません。
[対処]	マニュアルを参照し、再度やり直して下さい。

NAT0925 : グローバルデータエリアが、それを使うプログラムと一致しません。

テキスト	グローバルデータエリアが、それを使うプログラムと一致しません。
[説明]	プログラムがグローバルデータエリアを使うたびに、Natural は、プログラムのコンパイル時がグローバルデータエリアのコンパイル時より後かどうかをチェックします。グローバルデータエリアが後にコンパイルされた場合、Natural は、グローバルデータエリアがプログラム内で生成したレイアウトと一致していないとみなして、このエラーメッセージを表示します。
[対処]	プログラムを再コンパイルして、システムを再起動して下さい。

NAT0926 : Natural オブジェクトタイプが "PROGRAM" のものだけ "RUN" できます。

テキスト	Natural オブジェクトタイプが "PROGRAM" のものだけ "RUN" できます。
[説明]	RUN コマンドが、ソースプログラムでないオブジェクトに発行されました。 または、エディタワークエリア内に "PROGRAM" でないタイプのオブジェクトが存在しているときに、プログラム名を指定せずに、RUN コマンドを発行しました。 サブプログラムまたはサブルーチンの実行をテストするには、このオブジェクトをカタログ/格納し、このオブジェクトを呼び出すプログラムを (それぞれ CALLNAT と PERFORM を使用して) 作成する必要があります。 マップ、ヘルプルーチン、およびヘルプマップは、マップエディタでテストできます。 グローバルデータエリア、ローカルデータエリア、およびパラメータデータエリアは、データエリアとその初期値を定義し、Natural オブジェクトの DEFINE DATA ステートメントで参照したときだけ実行可能となります。

[対処]	ワークエリア内にプログラムがあるか、 そのエディタタイプが "PROGRAM" になっているか、 指定したオブジェクトが PROGRAM であるかをそれぞれチェックしてください。 上記のヒントに従って、他のタイプのオブジェクトもテストしてください。
------	---

NAT0927 : **FETCH RETURN** ステートメントが **Natural Security** に拒否されました。

テキスト	FETCH RETURN ステートメントが Natural Security に拒否されました。
[説明]	FETCH RETURN ステートメントで呼び出されたプログラムは、 セキュリティ保護されているので、 他の Natural プログラムから呼び出すことはできません。
[対処]	Natural または Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0928 : プログラムは、**SYS*** ライブラリからしか実行できません。

テキスト	プログラムは、SYS* ライブラリからしか実行できません。
[説明]	このプログラムはセキュリティ保護されているので、 SYS* ライブラリからしか実行できません。(SYSTEM は SYS* ライブラリ扱いにはなりません。)
[対処]	正しいライブラリにログオンしてください。

NAT0929 : このプログラムは、バッチモードでは実行できません。

テキスト	このプログラムは、バッチモードでは実行できません。
[説明]	オンラインの機能/要素を持つプログラムを バッチモードで実行しようとしてしました。
[対処]	会話モードでプログラムを実行してください。

NAT0930 : このプログラムは、オンラインでは実行できません。

テキスト	このプログラムは、オンラインでは実行できません。
[説明]	バッチモード環境でのみ使える機能/要素を持つプログラムを 会話モードで実行しようとしてしました。
[対処]	バッチモードでプログラムを実行してください。

NAT0931 : CMSYNIN ジョブ制御定義がありません。

テキスト	CMSYNIN ジョブ制御定義がありません。
[説明]	バッチモード実行で、メインコマンドの定義、および Natural のソース入力をするための DD ステートメントがありません。コマンドが読めません。
[対処]	CMSYNIN ファイルの定義をジョブ制御で指定してください。

NAT0932 : プログラムのバージョンエラーです。

テキスト	プログラムのバージョンエラーです。
[説明]	実行中のプログラムが画面 I/O 間に別ユーザーによって再カタログされました (つまり、最初のユーザーがまだ使用中であるのに次のユーザーによってプログラムが格納された可能性があります)。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0933 : GDA のタイムスタンプが一致しません。

テキスト	GDA のタイムスタンプが一致しません。
[説明]	プログラムが、再カタログされたグローバルデータエリア (GDA)、またはプログラムをカタログした後で他の環境から移動された GDA を参照する場合に、このエラーが発生します。 GDA を参照するプログラムが異なる環境から現在の環境に移動される場合がありますが、これも GDA タイムスタンプの矛盾を引き起こすことになります。 GDA が再カタログされた場合、その GDA を参照するオブジェクトもすべて再カタログする必要があります。
[対処]	プログラム構造をチェックして、必要な場合はプログラムを再カタログしてください。または、プロファイルパラメータ RECAT=ON を使用してください。Natural Optimizer Compiler でカタログされたプログラムでは、RECAT=ON の設定は利用できません。

NAT0934 : GDA :1: がアクティブな GDA :2: と矛盾しています。

テキスト	GDA ... がアクティブな GDA ... と矛盾しています。
[説明]	Natural バージョン 2 プログラムが、アプリケーション内でグローバルデータエリアを割り当てようとしたが、このアプリケーションでは、COMMON グローバルデータエリア経由で定義されていないグローバル変数が Natural バージョン 1.2 によって使用されています。
[対処]	CREATE GLOBALS コマンドを使用して、Natural バージョン 1.2 プログラムのグローバル変数で COMMON グローバルデータエリアを定義してください。

NAT0935 : パラメータ数が矛盾しています (:1: :2:/:3:/:4:/:5:) 。

テキスト	パラメータ数が矛盾しています (:1: :2:/:3:/:4:/:5:) 。
[説明]	オブジェクト :2: (タイプ :1:、ロード元ライブラリ :3:、データベース :4:、ファイル番号 :5:) に定義されたパラメータの数が、オブジェクトを呼び出すために使用されたパラメータの数と一致しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0936 : パラメータ :1: (:2: :3:/:4:/:5:/:6:) のフォーマット／長さが矛盾しています。

テキスト	パラメータ :1: (:2: :3:/:4:/:5:/:6:) のフォーマット／長さが矛盾しています。
[説明]	オブジェクト :3: (タイプ :2:、ロード元ライブラリ :4:、データベース :5:、ファイル番号 :6:) の位置 :1: に定義されたパラメータは、それを呼び出すために使用された対応するパラメータのフォーマット／長さとは一致しません。 次の条件が満たされている必要があります。 - フォーマットは等しくなければならない。 - 長さは等しくなければならない。 - 精度は等しくなければならない。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0937 : パラメータの配列定義が不正です。 :1: (:2: :3:/:4:/:5:/:6:).

テキスト	パラメータの配列定義が不正です。 :1: (:2: :3:/:4:/:5:/:6:).
[説明]	オブジェクト :3: (タイプ :2:、ロード元ライブラリ :4:、データベース :5:、ファイル番号 :6:) の位置 :1: のパラメータとして定義された配列は、それを呼び出すための対応するパラメータとして使用された配列または配列範囲とは一致しません。 次の条件が満たされている必要があります。 - ランクが等しくなければならない。 - 各次元のオカレンスが等しくなければならない。 3GL ルーチンがサブプログラムを呼び出し、サブプログラムの PDA が可変配列範囲 (1:V) を指定する場合にも、このエラーが発生します。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0938 : 保護パラメータ :1: がターゲットフィールド (:2: :3:/:4:/:5:/:6:/) として使用されています。

テキスト	保護パラメータ :1: がターゲットフィールド (:2: :3:/:4:/:5:/:6:/) として使用されています。
[説明]	オブジェクト :3: (タイプ :2:、ロード元ライブラリ :4:、データベース :5:、ファイル番号 :6:) の位置 :1: に定義されたパラメータは、ターゲットオペランドとして使用されています。ただし、このパラメータは保護されています。 パラメータは、定数であるか、または属性 (AD=ON) が指定されているので、修正しないでください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0939 : Natural エディタがリンクされていないため、ロードできません。

テキスト	Natural エディタがリンクされていないため、ロードできません。
[説明]	Natural エディタモジュールがリンクされていないため、ロードできません。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT0940 : 端末コマンドはサポートされていません。

テキスト	端末コマンドはサポートされていません。
[説明]	画面ページングの端末コマンドは、どの TP モニタ下でも使用できません。
[対処]	正しいコマンドを入力します。

NAT0941 : 画面ページングシステムファイルのサイズが正しくありません。

テキスト	画面ページングシステムファイルのサイズが正しくありません。
[説明]	画面ページングコマンドが入力されましたが、画面ページングに使用されたシステムファイルのサイズが "0" でした。これは、画面を格納できないことを示します。
[対処]	正しい画面ページングのシステムファイルサイズで Natural セッションを再スタートしてください。

NAT0942 : ハードコピー処理の使い方が正しくありません。

テキスト	ハードコピー処理の使い方が正しくありません。
[説明]	Natural のハードコピー機能は、Com-plete 下の TP モニタでのみ使用可能です。
[対処]	正しい Natural コマンドを入力してください。

NAT0943 : 画面ページング処理へのオープンコールに対し、エラーが返されました。

テキスト	画面ページング処理へのオープンコールに対し、エラーが返されました。
[対処]	画面ページングシステムファイルのステータスをチェックします。

NAT0944 : 画面ページングレコードがオーバーフローしました。

テキスト	画面ページングレコードがオーバーフローしました。
[説明]	画面ページサイズより大きいレコードを画面ページングシステムファイルに書き出そうとしました。
[対処]	物理端末バッファサイズを大きくしてください。

NAT0946 : 画面ページングシステムファイルへの書き出し処理が失敗しました。

テキスト	画面ページングシステムファイルへの書き出し処理が失敗しました。
[説明]	画面ページングシステムファイルへの書き出し処理中にエラーが発生しました。
[対処]	画面ページングシステムファイルのステータスをチェックします。

NAT0947 : 画面ページングシステムファイルの読み込み処理が失敗しました。

テキスト	画面ページングシステムファイルの読み込み処理が失敗しました。
[説明]	画面ページングシステムファイルの読み込み処理中にエラーが発生しました。
[対処]	画面ページングシステムファイルのステータスをチェックします。

NAT0950 : 未処理 LE 条件 :1: のために異常終了しました。

テキスト	未処理 LE 条件 ... のために異常終了しました。
[説明]	LE (IBM 言語環境) サブプログラムの実行中にエラー条件が発生しました。エラーを処理するサブプログラムの条件ハンドラがアクティブではなかったため、コントロールは Natural LE の条件ハンドラに渡されました。 この条件ハンドラは、CEEDUMP に LE スナップダンプを書き込み、さらに詳細な LE エラーメッセージを発行するために、LE サービスを呼び出します。

[対処]	LE エラー条件、メッセージ、およびスナップダンプをチェックしてエラーの理由を特定します。必要な場合は、LE サブプログラムを修正してください。
------	--

21 Natural システムエラーメッセージ 0951~1000

NAT0951 : 実行が正常に終了しました。

テキスト	実行が正常に終了しました。
[説明]	このメッセージは、Natural バッチジョブの正常実行、または正常終了を示します。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT0952 : データベースループ処理が制限を超えました。

テキスト	データベースループ処理が制限を超えました。
[説明]	HISTOGRAM/FIND/READ のデータベースループの処理制限が、数値定数またはユーザー定義変数で指定されています。 この制限を超えることは一般にはエラーではありません。 ただし、この上限を超えたデータベースループのレコードは検索条件に合っていないため処理されません。 注：処理ループの全体的な制限は、Natural セッションパラメータ LT で指定することもできます。
[対処]	- 制限値を増やしてください。 - または、このエラーメッセージを無視してください。

NAT0953 : タイムリミットを超えました。

テキスト	タイムリミットを超えました。
[説明]	TP モードでは、このメッセージは、システム生成時に TP モニタに指定されたタイムアウトパラメータが、現在のプログラムを操作するために十分でないことを意味しています。 バッチモードでは、プログラムが無限ループではないとわかると (SET GLOBALS ステートメントまたは GLOBALS コマンドの) MT パラメータを使用して、CPU 時間を増やすことができます。

[対処]	プログラムをチェックし、必要な場合は修正してください。 プログラムにエラーがない場合は、Natural 管理者に連絡してください。
------	--

NAT0954 : プログラムの実行中に異常終了 :1: が発生しました。

テキスト	プログラムの実行中に異常終了 ... が発生しました。
[説明]	Natural オブジェクトプログラムの実行中に異常終了が発生しました。 このエラーの主な原因として、実行中に正しくない数値データが入っている算術オペランドを使用したことが考えられます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0955 : プログラムのコンパイル中に異常終了 :1: が起きました。

テキスト	プログラムのコンパイル中に異常終了 ... が起きました。
[説明]	Natural の構文/コンパイルフェーズで、内部的な異常終了が起きました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0956 : コマンド分析中に異常終了 :1: が起きました。

テキスト	コマンド分析中に異常終了 ... が起きました。
[説明]	コマンドの評価中、Natural システムに異常終了が起きました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0957 : データベースループが "LE=ON" で指定された制限に達しました。

テキスト	データベースループが "LE=ON" で指定された制限に達しました。
[説明]	FIND、READ、または HISTOGRAM ステートメントで指定されたデータベース処理ループの制限に達しました。 これにより、ループステートメントが終了されますが、プログラムフローは中断したループ後のステートメントによって通常どおり続行されます。 パラメータ "LE=ON" が設定されている場合は、プログラムの終了時にエラーメッセージ NAT0957 が表示されます。 この制限は、データベースループステートメント (例: FIND (10) ..) で値を明示的に設定するか、または値が明示的に指定されていない場合は、LIMIT ステートメント (例: LIMIT 10) によりプログラムでグローバルに設定されます。 バッチモードでは、セッションパラメータ CC が "OFF" に設定されている場合にのみ、Natural によって処理が続行されます。
[対処]	制限値を増やすか、または "LE=OFF" を設定してください。

NAT0958 : メソッド :1: の ODA (オブジェクトデータエリア) の使用が不正です。

テキスト	メソッド ... の ODA (オブジェクトデータエリア) の使用が不正です。
[説明]	クラス固有のデータを使用するため、オブジェクトデータエリア (ODA) がメソッドで定義されます。ODA がサブプログラムに定義される場合、このサブプログラムはクラスのメソッドとしてのみ呼び出すことができます (ステートメント SEND METHOD)。また、メソッドに定義された ODA は、クラスに定義された ODA と互換性がある必要があります。メソッドは、SEND METHOD を使用せずに呼び出されているか、またはメソッドに定義された ODA に、クラスに定義された ODA とは異なる数の変数が含まれています。
[対処]	SEND METHOD を使用して、メソッドをアクティブにしてください。メソッドに定義された ODA に、クラスに定義された ODA と同じ数の変数が含まれていることを確認してください。

NAT0959 : クラス :1: とメソッド :2: (:3:) の ODA 構造が矛盾しています。

テキスト	クラス ... とメソッド ... (...) の ODA 構造が矛盾しています。
[説明]	クラス固有のデータを使用するため、オブジェクトデータエリア (ODA) がメソッドで定義されます。したがって、クラスに定義された ODA の構造は、メソッドに定義された ODA の構造と一致している必要があります。矛盾が、カッコ内に示された変数に対して検出されました。
[対処]	メソッドの ODA とそのクラスに含まれている変数が、同じフォーマットと長さを持っていることを確認してください。

NAT0960 : SAVE/CATALOG/PURGE/UNCATALOG 処理が異常終了しました。

テキスト	SAVE/CATALOG/PURGE/UNCATALOG 処理が異常終了しました。
[説明]	処理を繰り返し実行しようとしたが、XREF データが処理されたときに、トランザクションバックアウトに対するレスポンスコード "9" が、Adabas から返されました。
[対処]	Natural 管理者に、Adabas に指定されている最大トランザクション継続時間の調査を依頼してください。

NAT0961 : SAVE/CAT/PURGE/UNCAT を同時に実行したか、Adabas ホールドキューあふれです。

テキスト	SAVE/CAT/PURGE/UNCAT を同時に実行したか、または Adabas ホールドキューあふれです。
[説明]	同じソースプログラム／オブジェクトモジュールが、別のユーザーにより更新処理中です。 このエラーは、Natural ソース／オブジェクトプログラムの "古い" コピーを削除しようとしているとき、Adabas レスポンスコード "145" を受け取った場合にも表示されます。このエラーの一般的な原因は、Adabas ホールドキューのオーバーフローです。
[対処]	後で再実行してください。 このエラーが続く場合は、Natural 管理者に連絡してください。

NAT0962 : Natural システムライブラリへの不正なアクセスです。

テキスト	Natural システムライブラリへの不正なアクセスです。
[説明]	Natural システムライブラリ "SYSLIB" のプログラムにアクセスまたは置き換えを実行しようとした。"SYSLIB" の使用は、Natural システムルーチンで制限されています。 ユーザーはこのライブラリ ID を使用しないでください。
[対処]	システムライブラリ "SYSLIB" にアクセスしないでください。

NAT0963 : プログラム実行時にセキュリティ違反が発生しました (:1)。

テキスト	プログラム実行時にセキュリティ違反が発生しました (...)。
[説明]	現在のユーザーが、使用できない Natural プログラムを実行しようとした。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0964 : サブルーチン／ファンクション :1: はメンバ :2: としてすでに存在しています。

テキスト	サブルーチン／ファンクション ... はメンバ ... としてすでに存在しています。
[説明]	ライブラリ内のサブルーチン／ファンクションの名前は、ユニークでなければいけません。
[対処]	サブルーチン／ファンクションに対して別の名前を選択してください。

NAT0965 : 変換エラーが **RESULT** パラメータ :1: (:2: :3:/:4:/:5:/:6:) を返しました。

テキスト	変換エラーが RESULT パラメータ :1: (:2: :3:/:4:/:5:/:6:) を返しました。
[説明]	オブジェクト :3: (タイプ :2:, ロード元ライブラリ :4: データベース :5: ファイル番号 :6:) の BY VALUE RESULT 属性で 定義されたパラメータ :1: の値を返している際に、 変換エラーが発生しました。 現在の値が Natural ドキュメントの「計算割り当ての規則」の 記述に従っているかどうかをチェックします。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0966 : 変換エラーが **BY VALUE** パラメータ :1: (:2: :3:/:4:/:5:/:6:) を割り当てました。

テキスト	変換エラーが BY VALUE パラメータ :1: (:2: :3:/:4:/:5:/:6:) を割り当てました。
[説明]	オブジェクト :3: (タイプ :2:, ロード元ライブラリ :4: データベース :5: ファイル番号 :6:) の BY VALUE (RESULT) 属性で 定義されたパラメータ :1: の値を割り当てている際に、 変換エラーが発生しました。 現在の値が Natural ドキュメントの「計算割り当ての規則」の 記述に従っているかどうかをチェックします。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0967 : 関数 :1: は現在のコンテキスト内では使用できません。

テキスト	関数 ... は現在のコンテキスト内では使用できません。
[説明]	この関数は、特定のコンテキスト (3GL callnat インターフェイス、 SEND METHOD、または PARSE がアクティブであるなど) 内では 使用できません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0968 : パラメータ :1: を指定する必要があります (:2: :3:/:4:/:5:/:6:) 。

テキスト	パラメータ :1: を指定する必要があります (:2: :3:/:4:/:5:/:6:) 。
[説明]	オブジェクト :3: (タイプ :2:, ロード元ライブラリ :4:, データベース :5:, ファイル番号 :6:) の位置 :1: に定義された パラメータは、必須パラメータです。該当するパラメータが、オブジェクトの呼び出しのとき に渡されませんでした。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0969 : ダイナミックパラメータ :1: が一致しません (:2: :3:/:4:/:5:/:6:) 。

テキスト	ダイナミックパラメータ :1: が一致しません (:2: :3:/:4:/:5:/:6:) 。
[説明]	オブジェクト :3: (タイプ :2:, ロード元ライブラリ :4:, データベース :5:, ファイル番号 :6:) の位置 :1: に定義されたパラメータは、それを呼び出すために使用された対応するパラメータと一致しません。参照によって使用されるパラメータは、呼び出し側と宣言内の両方でダイナミックであるか、または、呼び出し側と宣言内の両方で非ダイナミックでなければなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0970 : プログラムのソース行の制限が 0 に設定されています。

テキスト	プログラムのソース行の制限が 0 に設定されています。
[説明]	このアプリケーションでのユーザーのセキュリティ権限では、ユーザーはソースプログラムを作成できますが、ソース行数の制限が誤って "0" に設定されています。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0971 : ソース行の制限に達しました。

テキスト	ソース行の制限に達しました。
[説明]	このアプリケーションでのユーザーのセキュリティ権限で、新しいプログラムを作成するソース行の制限が定義されています。新しいプログラムを作成する場合、この制限を超えてはなりません。
[対処]	- プログラムサイズを小さくしてください。または - Natural Security 管理者に ソース行の制限を増やすことを依頼してください。

NAT0972 : ユーザーはこのコマンド :1: を使う権限を持っていません。

テキスト	ユーザーはこのコマンド ... を使う権限を持っていません。
[説明]	このアプリケーションでのユーザーのセキュリティ権限では、特定のコマンドしか使用できません。ユーザーは指定したコマンドを使用できません。
[対処]	- この環境ではこのコマンドを使用しないでください。または - Natural Security 管理者に権限の付与を依頼してください。

NAT0973 : ユーザーは指定したステートメントを使う権限を持っていません。

テキスト	ユーザーは指定したステートメントを使う権限を持っていません。
[説明]	このアプリケーションでのユーザーのセキュリティ権限では、特定のステートメントしか使用できません。 ユーザーは指定したステートメントを使用できません。
[対処]	- このステートメントを使用しないでください。または - Natural Security 管理者に権限の付与を依頼してください。

NAT0974 : ユーザーは指定したファイルを使う権限を持っていません。

テキスト	ユーザーは指定したファイルを使う権限を持っていません。
[説明]	このアプリケーションでのユーザーのセキュリティ権限では、特定のファイルしか使用できません。 ユーザーは指定したファイルを使用できません。
[対処]	- このファイルを使用しないでください。または - Natural Security 管理者に権限の付与を依頼してください。

NAT0975 : ユーザーは指定したファイルを更新する権限を持っていません。

テキスト	ユーザーは指定したファイルを更新する権限を持っていません。
[説明]	このアプリケーションでのユーザーのセキュリティ権限では、特定のファイルしか更新できません。 ユーザーは指定したファイルを更新できません。
[対処]	- このファイルを使用しないでください。または - Natural Security 管理者に権限の付与を依頼してください。

NAT0976 : コマンド選択に対して矛盾したセキュリティ定義があります。

テキスト	コマンド選択に対して矛盾したセキュリティ定義があります。
[説明]	Natural Security システムの選択画面で Natural 管理者によって選択されたコマンドが システムに定義されていなかった場合、定義の矛盾が起きます。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0977 : ステートメントの選択で、セキュリティ定義に矛盾が起きました。

テキスト	ステートメントの選択で、セキュリティ定義に矛盾が起きました。
[説明]	Natural 管理者がシステムに定義されていないステートメントを選択した場合、セキュリティ定義に矛盾が起こります。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0978 : デフォルトのフォーマット定義 (N7) の使用が正しくありません。

テキスト	デフォルトのフォーマット定義 (N7) の使用が正しくありません。
[説明]	Natural Security では、ユーザー属性を指定できます。これらのうちの1つのオプションでユーザーがデフォルトのフォーマット定義 (N7) を使用できるかどうかを指定します。ユーザーはこのアプリケーションでは、このオプションを使用できません。
[対処]	ユーザー定義変数には必ずフォーマット/長さを指定する必要があります。

NAT0979 : ライブラリの指定は許されません。

テキスト	ライブラリの指定は許されません。
[説明]	セキュリティ保護環境では、ユーザーはコマンドでライブラリ ID を指定しただけではライブラリにアクセスできません。ユーザーはライブラリに正しくログオンしてから、そのライブラリにアクセスしてください。非セキュリティ環境であっても、ライブラリ ID が "SYS" で始まる場合は保護されます。
[対処]	ライブラリにログオンしてから、コマンドを再発行してください。

NAT0980 : データベースファイル番号の使用が正しくありません。

テキスト	データベースファイル番号の使用が正しくありません。
[説明]	データベースアクセスステートメント内ではファイル番号を使用できません。
[対処]	ファイル番号の代わりにビュー名を使用してください。

NAT0981 : 2文字のデータベースショートネームフィールドの使用は許されません。

テキスト	2文字のデータベースショートネームフィールドの使用は許されません。
[説明]	次の場合、2文字のデータベースショートネームフィールドの参照は許されません。 1) Natural Security 環境で実行している場合。 2) データビューの定義内部 (DEFINE DATA)。 3) DEFINE DATA LOCAL が変数を定義するために以前に使用された場合。 4) コンパイラオプション DBSHORT=OFF が設定されている場合。
[対処]	2文字のデータベースショートネームフィールドを使用しないでください。

NAT0982 : 内部エラー：要求されたシステムコマンドは正しくありません。

テキスト	内部エラー：要求されたシステムコマンドは正しくありません。
[説明]	定義されていない Natural プログラムを必要とするシステムコマンドが要求されました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0983 : Natural Security により更新コマンドの権限を与えられていません。

テキスト	Natural Security により更新コマンドの権限を与えられていません。
[説明]	ユーザーは更新コマンドの実行が認められていません。
[対処]	Natural Security の定義／権限について、Natural 管理者に問い合わせてください。

NAT0984 : このファイルは Natural Security では定義されていません。

テキスト	このファイルは Natural Security では定義されていません。
[対処]	- プログラムをチェックして、エラーを修正してください。 - または、Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0985 : ファンクション :1: (:2:/:3:/:4:) に戻り値が定義されていません。

テキスト	ファンクション ... (.../.../...) に戻り値が定義されていません。
[説明]	戻り値が呼び出し側オブジェクトに必要ですが、呼び出されたファンクションに定義されていません。 関数名、ライブラリ、DBID および FNR がエラーメッセージに示されています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0986 : 戻り変数のフォーマット／長さが矛盾しています (:1:/2:/3:/4)。

テキスト	戻り変数のフォーマット／長さが矛盾しています (.../.../.../...)。
[説明]	DEFINE PROTOTYPE ステートメントに指定された戻り変数は、呼び出されたファンクションに定義された対応する戻り変数とは異なるフォーマット／長さで定義されています。 関数名、ライブラリ、DBID および FNR がエラーメッセージに示されています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0987 : BY VALUE 変数の変換エラーです (:1:/2:/3:/4)。

テキスト	BY VALUE 変数の変換エラーです (.../.../.../...)。
[説明]	ファンクションにおいて属性 BY VALUE で定義される戻り変数の値を返している際に、変換エラーが発生しました。 DEFINE PROTOTYPE ステートメントで指定された値が、Natural ドキュメントで説明されている「演算割り当てのルール」に適合していることを確認してください。 関数名、ライブラリ、DBID および FNR がエラーメッセージに示されています。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0988 : ダイナミック戻り変数の不一致です (:1:/2:/3:/4)。

テキスト	ダイナミック戻り変数の不一致です (.../.../.../...)。
[説明]	参照によって使用される戻り変数は、DEFINE PROTOTYPE ステートメントとファンクション宣言の両方で、ダイナミックまたは非ダイナミックのいずれかになっている必要があります。 関数名、ライブラリ、DBID および FNR がエラーメッセージに示されています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0997 : STORE/UPDATE ステートメントのフォーマットバッファが正しくありません。

テキスト	STORE/UPDATE ステートメントのフォーマットバッファが正しくありません。
[説明]	STORE/UPDATE ステートメントのフォーマットバッファの長さが 0 になっています。これは無効です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0998 : 内部エラー :1: が発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0999 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1000 : **FIND** の集合名が **RETAIN** テーブルに見つかりません。

テキスト	FIND の集合名が RETAIN テーブルに見つかりません。
[説明]	FIND ... RETAIN ステートメントによって作成される FIND 集合テーブルの中にない集合名が参照されました。
[対処]	正しい FIND 集合名を入力してください。

22

Natural システムエラーメッセージ 1001~1050

NAT1001 : 集合の **DBID** またはファイル番号が現在のファイルと一致しません。

テキスト	集合の DBID またはファイル番号が現在のファイルと一致しません。
[説明]	FIND 集合を別の FIND ステートメントで論理条件として使用する場合は、その集合が FIND ステートメントで使用しているのと同じ集合から選択される必要があります。以前に格納された集合のデータベース ID および/またはファイル番号が、現在処理中のデータベース ID および/またはファイル番号と異なります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1003 : データベースコールに対するグローバルリミットに達しました -> **LT** パラメータ。

テキスト	データベースコールに対するグローバルリミットに達しました -> LT パラメータ。
[説明]	データベースから読み込むことのできる最大レコード数を超えました。この数は、プロファイルおよびセッションパラメータ LT で設定されています。FIND、READ、または HISTOGRAM ステートメントを使用して、レコードがデータベースから読み込まれると、カウンタフィールドがまず増加され、その後に LT パラメータの現在の値と比較されます。実際の LT 値の方が大きい場合に、エラー NAT1003 が発生します。レベル 1 のプログラムが新たに起動された場合、カウンタフィールドはリセットされ、再びゼロから開始されます。1 よりも大きいレベルで実行される別のオブジェクトが呼び出された場合、カウンタはリセットされず、前のプログラムのカウント値から続行されます。
[対処]	LT パラメータの値を増やしてください。

NAT1004 : FIND UNIQUE で、レコードが見つからないか、複数レコードが見つかりました。

テキスト	FIND UNIQUE で、レコードが見つからないか、または複数のレコードが見つかりました。
[説明]	FIND UNIQUE ステートメントでは、データベースでレコードが1件のみ見つかる必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1005 : 検索制限の指定より多くのレコードが見つかりました。

テキスト	検索制限の指定より多くのレコードが見つかりました。
[説明]	"WITH LIMIT = nnn" 節は、基本検索条件の評価後に選択されたレコード数が "nnn" より少ない場合にのみ WHERE 条件が評価されることを指定するために使用します。
[対処]	- WITH リミットを大きくしてください、または - 基本検索条件を修正してください。

NAT1006 : 添字に指定された値が "0" である、または最大値を超えました。

テキスト	添字に指定された値が "0" である、または最大値を超えました。
[説明]	マルチプルバリューフィールドまたはピリオディックグループの添字に指定された値が、最大値を超えたか、または1未満です。 バージョン8よりも前の Adabas (メインフレーム上)、VSAM、および DL/I の場合、マルチプルバリューフィールドとピリオディックグループの最大値は 191 です。 DDM の場合、マルチプルバリューフィールドとピリオディックグループの最大値は 9999 です。 Adabas バージョン8 (メインフレーム上) がアクセスされる場合は、添字に使用できる最大値は 65535 です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1007 : バイナリに変換しようとした値が大きすぎます。

テキスト	バイナリに変換しようとした値が大きすぎます。
[説明]	4 バイトのバイナリ数で表現できる値だけを、バイナリに変換できます。 指定された数値は、4 バイトのバイナリ数に収まりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1008 : 変数添字が **RETAIN** リストレコードバッファに定義されました。

テキスト	変数添字が RETAIN リストレコードバッファに定義されました。
[説明]	フォーマットバッファは、EC コマンドで解放されないので、変数添字は RETAIN リストレコードバッファには許されません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1009 : **:1:** データベースコールの後にプログラムが中断されました。

テキスト	... データベースコールの後にプログラムが中断されました。
[説明]	Natural は全データベースコールをカウントし、結果をパラメータ MADIO の値と比較します。この値に達すると、ループとみなされ、プログラムが終了します。画面 I/O 処理の後、データベースコールカウントは 0 にリセットされます。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1010 : **UPDATE=OFF** コマンドで **STORE/UPDATE/DELETE** が拒否されました。

テキスト	UPDATE=OFF コマンドで STORE/UPDATE/DELETE が拒否されました。
[説明]	" UPDATE OFF " が有効な間にプログラムが実行され、そのプログラムがデータベースに対して STORE/UPDATE/DELETE ステートメントを発行した場合に、データベース更新ステートメントがあったが、実行されなかったことを知らせるためにこの警告メッセージが発行されました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1011 : 要求されたファンクションキーは、割り当てられていません。

テキスト	要求されたファンクションキーは、割り当てられていません。
[説明]	ユーザーはファンクションキーで機能を要求する前に、そのキーを SET KEY ステートメントでプログラムに定義しておく必要があります。このエラーメッセージが、 NEXT に対する応答として表示された場合は、このファンクションキーに対する値を KEY コマンドで指定できます。
[対処]	上記のようにファンクションキーを定義してください。

NAT1012 : システムファイルに対する更新はできません。

テキスト	システムファイルに対する更新はできません。
[説明]	ユーザーは SAVE または CATALOG コマンドを発行する権限がありません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1013 : 誤った端末コマンドが要求されました。

テキスト	誤った端末コマンドが要求されました。
[説明]	正しい端末コマンドについては、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	- 正しい端末コマンドを入力してください。 - または、Enter キーを押してください。

NAT1016 : ユーザーアクションによって、アプリケーションが中断されました。

テキスト	ユーザーアクションによって、アプリケーションが中断されました。
[説明]	次のいずれかのアクションによって、アプリケーションが中断されました。 - メインフレームの端末ユーザーが、アテンション割り込み（端末をリセットして Enter キーを押すこと）によって Natural プログラムを中断しました。 - キャンセルボタンをクリックすることによって、Entire Connection アップロードやダウンロードダイアログボックスを閉じたことが原因で、アテンション割り込みが発生しました。 - 通常のシステム中断キーの組み合わせ（Windows の場合は CTRL + BREAK、UNIX の場合は CTRL + C）によって、アプリケーションが中断されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT1017 : 複数のデータベースに対する Adabas 更新が行われました。

テキスト	複数のデータベースに対する Adabas 更新が行われました。
[説明]	Natural は、トランザクションのシステム障害に対する完全性を保障しないので、トランザクション内で複数のデータベースを同時に更新することはできません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1019 : **Magnetic card reader** を **SET KEY** でアクティブにしなければなりません。

テキスト	Magnetic card reader を SET KEY でアクティブにする必要があります。
[説明]	magnetic card reader によってデータを読み込む前に、SET KEY ステートメント (SET KEY MGID、SET KEY CDID、または SET KEY ALL) によって、magnetic card reader をプログラムで認識できるようにする必要があります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1028 : データベースへの処理ループの中での再呼び出しはできません。

テキスト	データベースへの処理ループの中での再呼び出しはできません。
[説明]	すでにアクティブなデータベースへの処理ループからの2度目の実行はできません。 例：PERFORM SUB001 DEFINE SUBROUTINE SUB001 FIND ビュー名 WITH field = "any-value" DISPLAY *ISN *COUNTER *NUMBER PERFORM SUB001 <-- 再呼び出し END-FIND END-SUBROUTINE
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1029 : **Natural** プログラムコールが多すぎて中断しました。

テキスト	Natural プログラムコールが多すぎて中断しました。
[説明]	FETCH、CALLNAT、PERFORM ステートメントは、それぞれカウントされています。このカウントは、 - Natural パラメータモジュール、または - MAXCL に対するダイナミックパラメータ機能 によって与えられる値と比較されます。 この値が、カウント結果以下であると、Natural は、エラートランザクション名を壊し、このエラーを発行します。
[対処]	- プログラムをチェックして、エラーを修正してください。または - MAXCL を "0" または十分な大きさに設定してください。

NAT1030 : 内部エラー、**Natural** システムファイルへの不正なアクセスです。

テキスト	内部エラー、Natural システムファイルへの不正なアクセスです。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT1031 : **VSAM** データセットに不正なアクセスをしました。

テキスト	VSAM データセットに不正なアクセスをしました。
[説明]	VSAM データセットへのアクセスが要求されましたが、Natural システムでは VSAM がサポートされていません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1032 : **DL/I** データベースに対し不正なアクセスをしました。

テキスト	DL/I データベースに対し不正なアクセスをしました。
[説明]	DL/I データセットへのアクセスが要求されましたが、Natural システムでは DL/I がサポートされていません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1049 : 方向オペランドの内容が間違っています。

テキスト	方向オペランドの内容が間違っています。
[説明]	次のステートメントで使用される可変方向オペランド (#op) は不正な文字を含んでいます。 READ ... IN VARIABLE #op SEQUENCE ... または HISTOGRAM ... IN VARIABLE #op SEQUENCE ... 次の値のみ使用できます。 DESCENDING の場合は "D" または "d" ASCENDING の場合は "A" または "a"
[対処]	正しい文字を持った方向オペランドを指定してください。

23

Natural システムエラーメッセージ 1051～1100

NAT1070 : バッファプールの初期化がリンクされていません。

テキスト	バッファプールの初期化がリンクされていません。
[説明]	ドライバエントリ CMBPGETS が見つかりません。 Natural 環境が完全ではありません。
[対処]	Natural 環境をチェックしてください。

NAT1071 : :1: バッファプール :2: の非互換バージョンです。

テキスト	... バッファプール ... の非互換バージョンです。
[説明]	すでに初期化されているバッファプールのバージョンは、 現在の Natural バージョンではサポートされていません。
[対処]	バッファプールが、互換性のある Natural バージョンによって 割り当てられ、初期化されるようにしてください。

NAT1072 : :1: バッファプール :2: の非互換タイプです。

テキスト	... バッファプール ... の非互換タイプです。
[説明]	Natural には、共通の仮想メモリを共有するためのさまざまなタイプのバッファプールがあります。 例： - Natural プログラムの場合はタイプ Natural - 共通の外部ソートスペースの場合はタイプ SORT - 共通の外部エディタバッファの場合はタイプ EDIT 共通のモニタデータの場合はタイプ MONITOR バッファプールタイプには、それぞれ異なるストレージレイアウトがあるため、 バッファプールタイプを区別なく使用することはできません。
[対処]	ローカルバッファプールの場合は、NATPARM ファイルの NTBPI マクロ設定をチェックし、 グローバルバッファプールの場合は、起動 JCL のパラメータ設定をチェックしてください。

NAT1073 : :1: バッファプールの初期化ができませんでした。 (:2:).

テキスト	... バッファプールを初期化できませんでした。 (...).
[説明]	次のいずれかの理由により、バッファプールを初期化できませんでした。 - ローカルバッファプールストレージ用の GETMAIN に失敗しました。 - 指定したバッファプールサイズ (BPSIZE パラメータ) が小さすぎます。 - EDTSTUB の LINK がありません (インストレーションエラー)。
[対処]	インストレーションをチェックし、問題点を修正してください。

NAT1074 : グローバルな :1: バッファプール :2: が見つかりません。

テキスト	グローバルな :1: バッファプール :2: が見つかりません。
[説明]	タイプ :1: のグローバルバッファプール :2: が見つかりません。 グローバルバッファプールがまだ割り当てられていないか、またはグローバルバッファプールの名前が間違っています。 Natural サブシステムが存在しないことが原因でバッファプールが見つからない場合は、Natural サブシステム名をスラッシュ (/) で区切って、グローバルバッファプール名に加えてください。
[対処]	グローバルバッファプール名 (Natural プロファイルパラメータ BPNAME または NTBPI/BPI サブパラメータ NAME) および/または Natural サブシステム名 (Natural プロファイルパラメータ SUBSID) をチェックしてください。

NAT1076 : プリロードリスト :2: :3: のロード中にエラー :1: が発生しました。

テキスト	プリロードリスト :2: :3: のロード中にエラー :1: が発生しました。
[説明]	Natural セッション開始時に、バッファプールプリロードリスト :2: をロードしようとして Natural エラー :1: が発生しました。 プリロードリストの読み込み中に Natural エラーが発生すると、情報 :3: は空白となります。 プリロードリストに指定されたオブジェクトのロード中に Natural エラーが発生すると、:3: にはオブジェクトのライブラリとプログラム名が含まれます。 典型的な Natural エラーは NAT0082 です。これは、プリロードリストまたは指定オブジェクトが見つからなかったことを示すエラーです。
[対処]	プリロードリストのオブジェクト名をチェックしてください。

NAT1077 : バッファプールの伝搬に失敗しました。

テキスト	バッファプールの伝搬に失敗しました。
[説明]	現在使用している Natural バッファプールに対する変更内容の伝播が、Natural プロファイルパラメータ BPPROP の現在の設定によって要求されましたが、伝播は失敗しました。 考えられる理由： - Natural 認可サービスマネージャが、現在の Natural セッションが使用している Natural サブシステム ID で起動されていません。 - Natural 認可サービスマネージャが XCF グループ名なしで起動され、BPPROP=PLEX または BPPROP=GPLEX が現在の Natural セッションによって要求されています。
[対処]	Natural 管理者に連絡するか、または Natural プロファイルパラメータ BPPROP をチェックしてください。

NAT1078 : ローカルバッファプールキャッシュの割り当てに失敗しました。

テキスト	ローカルバッファプールキャッシュの割り当てに失敗しました。
[説明]	ローカル Natural バッファプールのバッファプールキャッシュが要求されましたが、キャッシュを割り当てることができませんでした。このローカル Natural バッファプールは機能していますが、キャッシュなしで実行されています。 このエラーメッセージの前に、理由を示す他のエラーメッセージが表示されます。
[対処]	前に表示されたエラーメッセージをチェックしてください。

NAT1080 : キャッシュ作成障害 :1: :2: :3: 理由 = :4: が発生しました。

テキスト	キャッシュ作成障害 :1: :2: :3: 理由 = :4: が発生しました。
[説明]	キャッシュ作成機能は失敗しました。 このメッセージには、失敗したオペレーティングシステムのマクロおよびマクロ関数 (:1:) が示されています。 このメッセージでは、マクロ要求障害のタイプ (:2:)、つまり、マクロが、マクロ障害 (RC=) または ABEND (CC=) のために失敗したかどうかを示されます。 パラメータ :3: は、それぞれ、ABEND コードまたはマクロ要求のリターンコードです。 パラメータ :4: は、該当する理由コードです。
[対処]	障害の理由について、関連するオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

NAT1081 : キャッシュ削除障害 :1: :2: :3: 理由= :4: が発生しました。

テキスト	キャッシュ削除障害 :1: :2: :3: 理由= :4: が発生しました。
[説明]	<p>キャッシュ削除機能は失敗しました。 このメッセージには、失敗したオペレーティングシステムのマクロおよびマクロ関数 (:1:) が示されています。 このメッセージでは、マクロ要求障害のタイプ (:2:)、つまり、マクロが、マクロ障害 (RC=) または ABEND (CC=) のために失敗したかどうかを示されます。 パラメータ :3: は、それぞれ、ABEND コードまたはマクロ要求のリターンコードです。 パラメータ :4: は、該当する理由コードです。</p>
[対処]	障害の理由について、関連するオペレーティングシステムのマクロを参照してください。

NAT1100 : 数値フィールドの入力値が数値ではありません。

テキスト	数値フィールドの入力値が数値ではありません。
[説明]	<p>数値フィールドの入力値は、正しい数値でなければなりません。 数値フィールドには、前後に1つ以上の空白が含まれていてもよく、1つの符号と、小数点を指定できます。 値がフィールドより大きくてはいけません。</p>
[対処]	正しい数値を入力してください。

24 Natural システムエラーメッセージ 1101～1150

NAT1101 : 指定された最大ページ数を超過しました。

テキスト	指定された最大ページ数を超過しました。
[説明]	Natural セッションパラメータ MP で指定されたページ数の最大値を超過しました。
[対処]	- MP パラメータの値を増やしてください。 - または、生成するページ数を減らしてください。

NAT1102 : 16 進の入力値が 16 進文字を含んでいません。文字

テキスト	16 進の入力値が 16 進文字を含んでいません。
[説明]	16 進入力の指定には、"0" から "9" までと "A" から "F" までの文字しか使用できません。
[対処]	正しい 16 進文字を入力してください。

NAT1103 : REINPUT ステートメントで指定されたフィールド番号が 255 を超過しました。

テキスト	REINPUT ステートメントで指定されたフィールド番号が 255 を超過しました。
[説明]	REINPUT ステートメントでフィールドをマークするためのフィールド番号は、255 以下の数値定数、または数値変数で指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1104 : モーダルウィンドウがアクティブな間は、従来の I/O は許可されません。

テキスト	モーダルウィンドウがアクティブな間は、従来の I/O は許可されません。
[説明]	モーダルウィンドウが PROCESS PAGE MODAL ステートメントによってアクティブにされた場合、従来の I/O (WRITE、PRINT、DISPLAY、INPUT) は許可されません。 モーダルウィンドウでは、PROCESS PAGE ステートメントによって開始されたリッチ GUI 処理のみが許可されます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1105 : 入力のためのキーワード :1: が定義されていません。

テキスト	入力のためのキーワード ... が定義されていません。
[説明]	キーワード/デリミタ入力モードでは、個々のフィールドをキーワード (つまり、 - フィールド名、または - INPUT ステートメントでフィールド名の前に指定されているテキスト) によって指定することができます。 指定された値は、INPUT ステートメントのキーワードとして識別できません。
[対処]	- キーワードテキストでの入力を促すために、%F や IM=F を使ってフォームモードにしてください。または - キーワード値を修正してください。

NAT1106 : 入力フィールド (長さ :1:) に対する値 (長さ :2:) が長すぎます。

テキスト	入力フィールド (長さ ...) に対する値 (長さ ...) が長すぎます。
[説明]	デリミタモードでフィールドに入力したデータ文字列が、フィールドの長さの内部定義より長くなっています。
[対処]	正しい長さのデータ文字列を入力してください。

NAT1107 : PROCESS PAGE (MODAL) はサポートされていません。

テキスト	PROCESS PAGE (MODAL) はサポートされていません。
[説明]	PROCESS PAGE (MODAL) ステートメントの実行は、Natural がリッチ GUI サーバーとして実行されている場合にのみサポートされます。
[対処]	適切なコンポーネントを購入、インストール、または構成してください。

NAT1108 : 前に **INPUT** ステートメントがないのに **REINPUT** ステートメントが実行されました。

テキスト	前に INPUT ステートメントがないのに REINPUT ステートメントが実行されました。
[説明]	REINPUT ステートメントを実行するには、画面との最後のやり取りが INPUT ステートメントで実行されている必要があります。WRITE/DISPLAY ステートメントで作られた画面に対して REINPUT することはできません。また、INPUT ステートメントが、ループ、サブルーチン、または特殊条件ブロック内にあって、そのループ、サブルーチン、または特殊条件ブロックがすでに終了している場合は、その INPUT ステートメントに対して REINPUT することはできません。 例: REPEAT INPUT ... ESCAPE LOOP REINPUT 上記の例では、INPUT ステートメントを含む REPEAT ループが LOOP ステートメントによって閉じられているので REINPUT ステートメントを実行すると、このエラーが発生します。
[対処]	INPUT ステートメントがすでに閉じられています。プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1109 : **REINPUT** ステートメントはバッチモードでは実行できません。

テキスト	REINPUT ステートメントはバッチモードでは実行できません。
[説明]	REINPUT ステートメントのあるプログラムは、バッチモードで実行することはできません。
[対処]	バッチモードで REINPUT を実行しないでください。

NAT1110 : **OBJIN** および **SYNIN** の同調後に再開してください。

テキスト	OBJIN および SYNIN の同調後に再開してください。
[説明]	入力エラーが起きた場合、Natural は現在のプログラムを終了します。再開位置は、OBJIN と SYNIN の両方に、次の "%%" (つまり、現在の端末制御機能値) として定義されます。次の "%%" まで OBJIN と SYNIN の両方を読み飛ばした後、Natural は、SYNIN の "%%" の後の次のコマンドで処理を再開し、OBJIN の次の "%%" の後の入力データを読み込みます。 注: 最初の "%" は、端末コマンドを示す文字です。 この文字には、Natural 管理者が、Natural セッションパラメータ CF または GLOBALS コマンド、または SET GLOBALS ステートメントで定義した、任意の特殊文字を使用できます。
[対処]	入力データをチェックし、エラーを修正してください。

NAT1111 : 入力データ文字列が正しくありません。

テキスト	入力データ文字列が正しくありません。
[説明]	入力データ文字列の等号記号 "=" の後に正しくない文字が見つかりました。
[対処]	入力データ文字列での割り当て文字の使用をチェックしてください。

NAT1112 : 必須入力フィールドにデータが入力されませんでした。

テキスト	必須入力フィールドにデータが入力されませんでした。
[説明]	INPUT ステートメントに対して入力が必要な場合、入力フィールドを入力必須オプションで定義できます。
[対処]	正しい値を入力します。

NAT1113 : サブルーチンのエントリが **PERFORM** を介していません。

テキスト	サブルーチンのエントリが PERFORM を介していません。
[説明]	REINPUT ステートメントは、サブルーチン内の前の INPUT ステートメントを参照します。または、RETRY ステートメントは、サブルーチン内のデータベースステートメントを参照します。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1114 : 内部出力バッファがオーバーフローしました。:1:

テキスト	内部出力バッファがオーバーフローしました。
[説明]	出力エリアへの情報の書き出し中に、オーバーフロー条件が発生しました。
[対処]	- プログラムに定義されているページサイズを小さくした後に、プログラムを再実行してください。または - ページサイズ (PS) を増やした後に、Natural セッションを開始してください。

NAT1115 : **SET GLOBALS** ステートメントの値が正しくありません。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントの値が正しくありません。
------	---------------------------------

[説明]	正しい値は、次のとおりです。 CC ON/OFF CF 任意の文字 CC ON/OFF CF any character DU ON/OFF DC 任意の文字 EJ ON/OFF IA 任意の文字 FS ON/OFF ID 任意の文字 LE ON/OFF IM F/D RECAT ON/OFF PM C/I/N SA ON/OFF DFSTACK S/I/C WH ON/OFF DFOUT S/I ZD ON/OFF ZP ON/OFF 注意："T" と "F" は、それぞれ "ON" と "OFF" の同義語です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1116 : **SET GLOBALS** ステートメントの数値が正しくありません。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントの数値が正しくありません。
[説明]	正しい値は次のとおりです。 LS 0~250 LT 0~2147483647 (ただし、セッション開始時に指定されたデフォルトの LT 値を超えてはいけません。) MT 0~最大値は処理環境によって決まります。 PD 0~255 PS 0~250 SF 1~30 SL 20~80
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1117 : 要求された **MAP** は有効ではありません。

テキスト	要求された MAP は有効ではありません。
[説明]	INPUT USING MAP ステートメントで使用する MAP は、現在のライブラリにオブジェクトの形式で存在している必要があります。 要求された MAP は現在のライブラリにありません。
[対処]	正しいライブラリ名、および正しい MAP 名を使用していることを確認してください。

NAT1118 : ロードされた **MAP** 項目のフォーマット／長さが指定された変数と一致しません。

テキスト	ロードされた MAP 項目のフォーマット／長さが指定された変数と一致しません。
[説明]	INPUT USING MAP ステートメントに指定されたフィールドは、MAP で定義されたフィールドと順序、フォーマット、および長さが一致する必要があります。
[対処]	プログラムおよび MAP をチェックして、エラーを修正してください。

NAT1119 : ロードされた **MAP** が変数リストと一致していません。

テキスト	ロードされた MAP が変数リストと一致していません。
[説明]	INPUT USING MAP ステートメントのフィールドは、MAP で定義されたフィールドと、順序および数が一致する必要があります。 ロードされた MAP のエレメント数が、指定された変数リストのエレメント数と異なっています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1120 : 位置決めパラメータはすでに入力された値を上書きしてはいけません。

テキスト	位置決めパラメータによって、すでに入力された値を上書きしないでください。
[説明]	デリミタモードで入力される位置決めパラメータには、1つの値のみ割り当てることができます。 例：%1=値1,値2-> このエラーが生じます。 値1,%1=値2-> 正しい指定です。Natural では、位置決めモードで入力した値を上書きするために位置またはキーを指定することができます。
[対処]	入力をチェックして、エラーを修正します。

NAT1121 : "%nnn" の数が、範囲内にありません。

テキスト	"%nnn" の数が、範囲内にありません。
[説明]	"%nnn" で指定されたフィールドの位置は、INPUT ステートメントで定義されていません。入力処理できる最大数は、定義された入力フィールドの数で決まります。
[対処]	入力フィールドに正しい数を入力してください。

NAT1122 : "%nnn" の後に "=" がありません。

テキスト	"%nnn" の後に "=" がありません。
[説明]	Natural は、"%nnn" をキーワードとして扱います。値は割り当て文字の後に指定する必要があります (%nnn=値)。
[対処]	入力値に正しい構文を使用してください。

NAT1123 : "%nnn" の番号が数値ではありません。

テキスト	"%nnn" の番号が数値ではありません。
[対処]	フィールド選択のため整数のフィールド番号を入力してください。

NAT1124 : 入力継続が要求されたが、エンドオブファイルになりました。

テキスト	入力継続が要求されたが、エンドオブファイルになりました。
[説明]	INPUT ステートメントに対するデータストリーム内で、データ連結が要求されましたが、次の行にデータがありませんでした。
[対処]	継続行にデータを入力してください。

NAT1125 : 数字入力値の整数部分に、変数定義桁より多い数が入力されました。

テキスト	数字入力値の整数部分に、変数定義桁より多い数が入力されました。
[説明]	数字入力値の整数部分に、変数定義桁より多い数が入力されました。
[対処]	正しい入力データを入力してください。

NAT1127 : 浮動小数点変数の割り当て中にエラーが発生しました。

テキスト	浮動小数点変数の割り当て中にエラーが発生しました。
[説明]	このエラーの主な原因は、変数のオーバーフローです。単精度の浮動小数点変数は、7桁以下の値しか表せません。倍精度の浮動小数点変数は、ほぼ19桁まで使用できます。拡張精度は、20桁またはそれ以上の値に使用する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1128 : "DC"、"IA"、"ID" パラメータの値が同じであってはなりません。

テキスト	"DC"、"IA"、"ID" パラメータの値が同じであってはなりません。
[説明]	DC、IA、または ID パラメータのうちの 1 つに対して、他の 2 つのいずれかと同じ値を SET GLOBALS ステートメントで指定しました。
[対処]	IA、ID、DC には、互いに異なる値を指定してください。

NAT1129 : 物理端末バッファがオーバーフローしました。

テキスト	物理端末バッファがオーバーフローしました。
[説明]	INPUT ステートメントの実行中に、物理端末バッファがオーバーフローしました。INPUT ステートメントを実行すると、すぐに端末へ結果の MAP を書き込むので、オーバーフロー条件がエラーとみなされます。
[対処]	- 表示するフィールド数を減らしてください。または - Natural 管理者に連絡して、物理端末バッファサイズ (TP ドライバソース内) を拡張できるかどうか問い合わせてください。

NAT1130 : 日付文字列のスタック時に無意味な世紀スイッチがあります。

テキスト	日付文字列のスタック時に無意味な世紀スイッチがあります。
[説明]	DFSTACK=C が指定されている場合は、世紀情報なしで日付文字列をスタック上に置きます (Natural V22 モード)。(スライディングウィンドウの制御下または現在の世紀で)この情報を回復すると、無意味な世紀スイッチが発生します。その年はスライディングウィンドウの範囲外であるか、または現在の世紀ではありません。
[対処]	プログラムをチェックし、エラーを修正してください。または、DFSTACK=I を指定してください。

NAT1131 : 画面の入力/出力エラーがあります。

テキスト	画面の入力/出力エラーがあります。
[説明]	端末デバイスへの読み込み/書き込み処理中に端末ドライバがエラーを返しました。
[対処]	使用している端末デバイスが Natural のサポート対象であることを確認してください。

NAT1132 : オフセット :1: での IOPATTR バッファで行サイズの不一致が発生しました。

テキスト	オフセット ... での IOPATTR バッファで行サイズの不一致が発生しました。
[説明]	ページバッファとページ属性バッファとの間の不一致が検出されました。このエラーが発生する主な原因は、ページバッファの一部の行が同じ行サイズで生成されていないことです。
[対処]	FORMAT ステートメントのプログラムで、異なる行サイズがないかどうかチェックしてください。

NAT1133 : 誤った端末処理が要求されました。

テキスト	誤った端末処理が要求されました。
[対処]	正しい端末処理を再入力してください。

NAT1134 : 端末処理はサポートされていません。

テキスト	端末処理はサポートされていません。
[対処]	Enter キーを押して、セッションを続けてください。

NAT1135 : ハードコピー処理はサポートされていません。

テキスト	ハードコピー処理はサポートされていません。
[説明]	ハードコピー (%H) 機能を使用するには、スプーリングサブシステムおよび正しいデバイスアドレスが必要です。 ハードコピー (%H) が要求されましたが、その端末/TP モニタでは使用できません。
[対処]	ハードコピーのサポートについて、Natural 管理者に相談してください。

NAT1136 : 出力ページが 250 行を超えています。

テキスト	出力ページが 250 行を超えています。
[説明]	出力ステートメントを実行しましたが、現在の出力ページで 250 行を超えました。 PS パラメータの最大値は 250 です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1137 : 日付が正しい範囲内ではありません。

テキスト	日付が正しい範囲内ではありません。
[説明]	日付フィールドまたは時間フィールドに、有効な日付ではない値が含まれています。 考えられる理由： - 日付の値が 1582 より小さいか、または 9999 より大きい。 - 日付の値がローマ数字で編集されているが、日付の値が 2887 より大きい。 - 負の値であるか、または有効なパック10進数ではない。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1138 : **SKIP** 値が正しくありません。

テキスト	SKIP 値が正しくありません。
[説明]	SKIP ステートメントに 250 を超える値を指定してはなりません。
[対処]	正しい値を入力します。

NAT1139 : "全値必須" 入力フィールドへの入力が不完全です。

テキスト	"全値必須" 入力フィールドへの入力が不完全です。
[説明]	"全値必須" 入力定義してあるフィールドでは、フィールドに値を完全に入力する必要があります。
[対処]	正しい値を入力します。

NAT1140 : 入力値が浮動小数点数ではありません。

テキスト	入力値が浮動小数点数ではありません。
[説明]	入力した値が正しい浮動小数点数ではありません。 正しい浮動小数点数は、オプション記号 (+, -) で始まり、その後には最高で 1 つの小数点とオプションのべき数が続きます。 べき数は文字 "E" で始め、後にはオプション記号 (+, -) 、その後には 1 桁または 2 桁の小数点桁が続く必要があります。
[対処]	正しい番号を入力します。

NAT1141 : 入力の結果、浮動小数点のオーバーフローがおきました。

テキスト	入力の結果、浮動小数点のオーバーフローが起きました。
[説明]	正または負の浮動小数点が入力されましたが、浮動小数点処理を行うには大きすぎます。
[対処]	正しい番号を入力します。

NAT1142 : 入力の結果、整数値がオーバーフローしました。

テキスト	入力の結果、整数値がオーバーフローしました。
[説明]	入力した整数値が、プログラムで指示した処理を行うには大きすぎます。
[対処]	正しい整数値を入力してください。

NAT1143 : 入力値が入力編集マスクと一致しません。

テキスト	入力値が入力編集マスクと一致しません。
[説明]	入力値とプログラムで定義した入力マスクとが一致しません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT1144 : 割り当て／出力されるデータが編集マスクと一致しません。

テキスト	割り当て／出力されるデータが編集マスクと一致しません。
[説明]	次のエラーのうちの1つが発生しました。 - MOVE EDITED ステートメントが受け取り側編集マスク付きで実行されましたが、送り元のデータが受け取り側の編集マスクに一致しません。 - DISPLAY/INPUT/PRINT/WRITE ステートメントが編集マスク付きで実行されましたが、送り元のデータは指定された編集マスクに一致しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1145 : 入力編集マスク :1: に一致しません。

テキスト	入力編集マスク ... に一致しません。
[説明]	入力フィールドに入力されたデータ値は、そのフィールドに割り当てられた編集マスクに一致しません。
[対処]	表示された編集マスクに適切な値を入力してください。

NAT1147 : DISPLAY GIVING SYSTEM FUNCTIONS の使用法が正しくありません。

テキスト	DISPLAY GIVING SYSTEM FUNCTIONS の使用法が正しくありません。
[説明]	DISPLAY GIVING SYSTEM FUNCTIONS は、1 レポートにつき1度しか使用できません。これは、CALLNATS や外部サブルーチンなどの外部ルーチンにも適用されます。
[対処]	プログラムおよび呼び出されるルーチンをチェックし、重複する DISPLAY GIVING SYSTEM FUNCTIONS を削除してください。

NAT1148 : このデータフィールドに対し、ヘルプは使えません。

テキスト	このデータフィールドに対し、ヘルプは使えません。
[説明]	ヘルプキーを押した、またはあるフィールドに対してヘルプ文字を入力しましたが、このフィールドにはエラーテキストもエラールーチンも定義されていません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1149 : 要求したメッセージは有効ではありません。

テキスト	要求したメッセージは有効ではありません。
[説明]	REINPUT ステートメントで要求したユーザー定義メッセージが、データベース内にありません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1150 : 属性バッファがオーバーフローしました。

テキスト	属性バッファがオーバーフローしました。
[説明]	1 論理ページに多くの属性を指定したため、属性バッファのオーバーフローが起きました。
[対処]	1 ページのフィールド数を減らしてください。

25

Natural システムエラーメッセージ 1151～1200

NAT1151 : Natural システム関数への不正なアクセスです。

テキスト	Natural システム関数への不正なアクセスです。
[説明]	Natural システム関数に不正なアクセスをしようとした。 例えば、参照のみの関数に値を割り当てようとした。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1152 : 画面ページング内の処理が正しくありません。

テキスト	画面ページング内の処理が正しくありません。
[説明]	画面ページ処理中に不正なファンクションコードが入力されました。
[対処]	正しいファンクションコードを入力します。

NAT1153 : 要求した画面ページが有効ではありません。

テキスト	要求した画面ページが有効ではありません。
[説明]	画面ページング中に要求した画面ページは有効ではありません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT1154 : ヘルプ修理中は、ヘルプ機能を使用できません。

テキスト	ヘルプ修理中は、ヘルプ機能を使用できません。
[説明]	ヘルプシステムがすでにアクティブになっているときに、ヘルプキーが押されたか、またはヘルプ文字が入力されました。

NAT1155 : レポートイングモードは使用できません。

テキスト	レポートイングモードは使用できません。
[説明]	Natural セッションをストラクチャードモード (パラメータ SM=ON) で始めた場合、レポートイングモードへの切り替えは許されません。レポートイングモードへの切り替えは、GLOBALS コマンドを使って行うことができます。Natural ソースプログラムをソースエリアに読み込んだ場合、Natural はそのプログラムが格納されたモードに自動的に切り替わります。プログラムを編集することはできますが、STOW コマンドを実行する前に、ユーザーはプログラム構造を適切なプログラミングモードに変える必要があります。
[対処]	正しいプログラミングモードを使用していることを確認してください。

NAT1156 : TOP OF PAGE/END OF PAGE ブロック内で指定されたステートメントは使用できません。

テキスト	TOP OF PAGE/END OF PAGE ブロック内で指定されたステートメントは使用できません。
[説明]	AT TOP OF PAGE または AT END OF PAGE ステートメントブロック内で指定されたステートメントを使用しないでください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1157 : オペランドのフォーマットが正しくありません。

テキスト	オペランドのフォーマットが正しくありません。
[説明]	ランタイム時に、オペランドのフォーマットが、正しいフォーマットのリストに含まれていません。
[対処]	SAG サポートに連絡してください。

NAT1160 : "RECORDING" 処理内エラーがあります。

テキスト	"RECORDING" 処理内エラーがあります。
[説明]	このメッセージは次のいずれかが原因です： - 要求したレコーディングが見つかりません。 - レコーディング名が指定されていません。 - 新しいレコーディングと同名のレコーディングがすでに存在しています。
[対処]	正しいライブラリの正しいレコーディング名を使用していることを確認してください。

NAT1161 : DBCS : SO/SI の対が正しくありません。line :1: COLUMN :2:

テキスト	DBCS : SO/SI の対が正しくありません。line ... COLUMN ...。
[説明]	Natural は、DBCS (ダブルバイト文字セット) 端末に対して SO/SI の対が正しいかどうかをチェックします。
[対処]	プログラムロジックをチェックし、SO/SI の対を正しく指定してください。

NAT1165 : WINDOW ステートメントが正しくありません。

テキスト	WINDOW ステートメントが正しくありません。
[説明]	"INPUT WINDOW=ウィンドウ名" または "SET WINDOW ウィンドウ名" の実行中、Natural は DEFINE WINDOW ステートメントへの内部参照を実行しようとした。参照が正しいステートメントではありません。おそらく、生成されたプログラムは破壊されています。
[対処]	バッファプールをクリアし、Natural を再開してください。プログラムを再カタログしてください。

NAT1166 : SIZE 節に指定されたウィンドウ幅が正しくありません。

テキスト	SIZE 節に指定されたウィンドウ幅が正しくありません。
[説明]	DEFINE WINDOW ステートメントの SIZE 節の列数の値が、正しい範囲内にありません。 FRAME 節を使用する場合、列の最小数は 13 です。 FRAME 節を使用しない場合、列の最小数は 10 です。 列の最大数は物理画面サイズです。
[対処]	プログラムを修正してください。

NAT1167 : **SIZE** 節に指定されたウィンドウ長が正しくありません。

テキスト	SIZE 節に指定されたウィンドウ長が正しくありません。
[説明]	DEFINE WINDOW ステートメントの SIZE 節の列数の値が、正しい範囲内にありません。 FRAME 節を使用する場合、行の最小数は 4 です。 FRAME 節を使用しない場合、行の最小数は 2 です。 行の最大数は物理画面サイズです。
[対処]	プログラムを修正してください。

NAT1168 : ウィンドウ開始行 (:1:) が正しくありません。

テキスト	ウィンドウ開始行 (...) が正しくありません。
[説明]	ウィンドウの現在のサイズでは、画面内の指定行にウィンドウを位置付けることができません。
[対処]	ウィンドウのサイズを小さくしてください。または行の値を小さくして使用してください。

NAT1169 : ウィンドウ開始列 (:1:) が正しくありません。

テキスト	ウィンドウ開始列 (...) が正しくありません。
[説明]	画面上の指定列でウィンドウを開始するには、ウィンドウの現在のサイズは大きすぎます。
[対処]	ウィンドウのサイズを小さくしてください。または列の値を小さくして使用してください。

NAT1170 : **PC** アクセスメソッドが使いません。

テキスト	PC アクセスメソッドが使いません。
[説明]	Natural は、端末コマンド "%+" が、現在の環境内で有効であるかどうかをチェックします。PC アクセスメソッドが Natural ニュークリアスにリンクされていません。
[対処]	"%+" を使用しないでください。または Natural 管理者に連絡してください。

NAT1171 : 要求された端末コンバータモジュールがありません。

テキスト	要求された端末コンバータモジュールがありません。
------	--------------------------

[説明]	端末コマンド「%T=nnnn」が入力されましたが、指定された端末タイプがソースモジュール NATCONFIG のマクロ NTDVCE で定義されていない場合、または要求されたコンバータモジュール NATnnnn が Natural ニュークリアスにリンクされていない場合に、このエラーは発生します。 Natural Connection フルスクリーンサポートを稼働させるために、ASYNCH モード (TTY モード) での PC 実行中に端末コマンド「%+」を入力したが、必須モジュール NATTTY が Natural ニュークリアスにリンクされていない場合にもこのエラーは発生します。
[対処]	正しい端末タイプを指定するか、または要求された端末コンバータモジュールを Natural ニュークリアスにリンクしてください。

NAT1172 : PC コネクションはすでにアクティブです。

テキスト	PC コネクションはすでにアクティブです。
[説明]	端末コマンド「%+」が入力されましたが、PC コネクションはすでにアクティブです。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT1173 : PC コネクションがアクティブではありません。

テキスト	PC コネクションがアクティブではありません。
[説明]	端末コマンド「%-」が入力されましたが、PC コネクションがアクティブではありません、またはすでに終了しています。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT1174 : UPLOAD の場合、小文字モードが必要です。

テキスト	UPLOAD の場合、小文字モードが必要です。
[説明]	UPLOAD の場合、Natural は、正しく計算し、合計をチェックしてバイナリデータを UPLOAD できるように小文字でなければいけません。
[対処]	小文字に設定して、再実行してください。

NAT1175 : 合計エラーのチェックのために UPLOAD できません。

テキスト	合計エラーのチェックのために UPLOAD できません。
[説明]	送られた合計チェックが、Natural で計算したものと異なります。
[対処]	後でもう一度 UPLOAD を実行してください。

NAT1176 : 端末タイプ :1: は当環境で使用できません。

テキスト	端末タイプ ... は当環境で使用できません。
[説明]	TTYTYPE プロファイルパラメータまたは端末コマンド %T= によって指定された端末タイプは、この環境で使用できません。 例えば、オンライン端末タイプをバッチ環境で使用することはできません。
[対処]	この環境に適切な端末タイプを指定してください。

NAT1177 : サポートされないフォーマットタイプが見つかりました。

テキスト	サポートされないフォーマットタイプが見つかりました。
[説明]	旧 PC アクセス方式でサポートされるフォーマットタイプは、英数字および数字です。 新 PC アクセス方式でサポートされるフォーマットタイプは次のとおりです。 - 英数字 - 数字 - パック10進数 - 論理 - 浮動小数点 - 整数 - バイナリ
[対処]	プログラムを修正して、再実行してください。

NAT1178 : **UPLOAD** するデータが **DDM** または **Natural** ソース/オブジェクトではありません。

テキスト	UPLOAD するデータが DDM または Natural ソース/オブジェクトではありません。
[説明]	DDM、ソースバイナリ、またはオブジェクトを UPLOAD するときに使用されたデータが、適切なタイプではありません。 PC 上で使用されたファイルが、バイナリの DOWNLOAD された DDM、ソース、またはオブジェクトを保持していません。
[対処]	適切なファイルを使用して、再実行してください。

NAT1179 : 使用されたワークファイル番号は **PC** または **PCNEW** に割り当てられていません。

テキスト	使用されたワークファイル番号は、PC または PCNEW に割り当てられていません。
[説明]	現在の UPLOAD/DOWNLOAD のサブプログラムに使用されたワークファイル番号は、 - バイナリを UPLOAD/DOWNLOAD している場合、PCNEW に割り当てられません。 - または、ソースとして UPLOAD/DOWNLOAD している場合、PC または PCNEW に割り当てられません。 SYSDIR を使用して、どのワークファイルが PC および PCNEW に割り当てられているかをチェックしてください。
[対処]	正しいワークファイル番号を割り当てて、再実行してください。

NAT1180 : "PCからのアップロード" に入力されたタイプが正しくありません。

テキスト	"PCからのアップロード" に入力されたタイプが正しくありません。
[説明]	"PCからのアップロード" に有効なタイプは、P、N、S、H、C、K、T、M、4 です。
[対処]	適切なタイプを使用してください。

NAT1181 : **DOWNLOAD** するソース、またはオブジェクトが存在しません。

テキスト	DOWNLOAD するソース、またはオブジェクトが存在しません。
[説明]	存在しないソースまたはオブジェクトを DOWNLOAD しようとしてしました。
[対処]	DOWNLOAD するソースまたはオブジェクトの名前とライブラリをチェックし、再実行してください。

NAT1182 : **DOWNLOAD** するソースのタイプが正しくありません。

テキスト	DOWNLOAD するソースのタイプが正しくありません。
[説明]	ソースとしてデータエリアを DOWNLOAD しようとしてしました。データエリアのソースはバイナリのみ DOWNLOAD できます。
[対処]	データエリアバイナリのソースを DOWNLOAD してください。

NAT1183 : 指定されたワークファイルは **COMMAND** の **DOWNLOAD** に使用することはできません。

テキスト	指定されたワークファイルは COMMAND の DOWNLOAD に使用することはできません。
[説明]	次のいずれかが原因で、指定されたワークファイルは WRITE/DOWNLOAD PC/WORK 5 COMMAND ステートメントに使用することはできません。 - ワークファイルは新 PC アクセス方式に定義されていません。 - ワークファイルはすでに使用中です。
[対処]	- ワークファイルを正しく定義してください。 - または、別のワークファイルを使用してください。

NAT1184 : **DOWNLOAD** されたコマンドが **PC** に拒否されました。

テキスト	DOWNLOAD されたコマンドが PC に拒否されました。
[説明]	DOWNLOAD されたコマンドは有効でないので、 PC に拒否されました。 DOWNLOAD 可能なコマンドについては、『Natural Connection』ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムを修正して、 DOWNLOAD を再実行してください。

NAT1185 : オブジェクトを **DOWNLOAD/UPLOAD** する前にカタログしてください。

テキスト	オブジェクトを DOWNLOAD/UPLOAD する前にカタログしてください。
[説明]	オブジェクトに DOWNLOAD/UPLOAD を妨げるエラーまたは矛盾があります。
[対処]	DOWNLOAD/UPLOAD するオブジェクトをカタログしてから、もう一度 DOWNLOAD/UPLOAD を実行してください。

NAT1186 : フィールド名が多すぎるか、長すぎるため、バッファがオーバーフローしました。

テキスト	フィールド名が多すぎるか、または長すぎるため、バッファがオーバーフローしました。
[説明]	フィールド名を持つデータのダウンロード/アップロード中に、バッファがオーバーフローしました。フィールド名が対応するバッファに一致しない理由は - 送られたフィールドが多すぎるため、 - または、フィールド名が長すぎるためです。
[対処]	フィールド名なしでデータをアップロード/ダウンロードしてください (PC プロファイルパラメータを参照)。 または、アップロード/ダウンロードするフィールド数を減らしてください。

NAT1187 : PC Connection ワークエリア用の GETMAIN が失敗しました。

テキスト	PC Connection ワークエリア用の GETMAIN が失敗しました。
[説明]	アップロードまたはダウンロード処理中に、転送されたデータは PC Connection ワークエリアで中間的に格納されます。 このバッファの拡張に失敗しました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT1188 : PC ファイルアクセスの最大レコード長 (32 KB) を超過しました。

テキスト	PC ファイルアクセスの最大レコード長 (32 KB) を超えました。
[説明]	PC ファイルへのアクセスに許された最大レコード長は 32 KB です。
[対処]	適切な READ/WRITE WORK FILE ステートメントのオペランドの数またはサイズを減らしてください。

NAT1189 : ワークファイル :1: のワークエリアの拡張に失敗しました。

テキスト	ワークファイル ... のワークエリアの拡張に失敗しました。
[説明]	Natural では、適切なワークファイルへのアクセスを処理するために、ワークファイルエリアのサイズを増やす必要があります。 バッファを増やすための GETMAIN 要求が失敗しました。
[対処]	Natural スレッドサイズを増やすか、またはワークファイルアクセスのレコード長を減らしてください。

NAT1190 : PC ワークファイルでは "フォーマットなし" タイプはサポートされません。

テキスト	PC ワークファイルでは "フォーマットなし" タイプはサポートされません。
[説明]	PC とメインフレーム間のフォーマットなしのファイル転送は現在サポートされていません。
[対処]	別のタイプのファイル転送を使用してください。

NAT1200 : 外部ソート中に I/O エラーが起きました。

テキスト	外部ソート中に I/O エラーが起きました。
[説明]	外部ソート機能で使用するシステムソートプログラムが、ロードライブラリとして Natural プログラムに定義されたどのライブラリにも見つかりません。
[対処]	- NATPARM またはダイナミックパラメータの SORTNAM (ソート名) に正しいソートプログラム名が含まれていること、および - Natural で使用可能なロードライブラリにそのモジュールがあることを確認してください。

26

Natural システムエラーメッセージ 1201～1250

NAT1201 : 外部ソート制御フィールドの合計長が **256** バイトを超えました。

テキスト	外部ソート制御フィールドの合計長が 256 バイトを超えました。
[説明]	SORT ステートメントで使われる外部ソートは、ソートフィールドとして最大 256 バイトまでしかサポートしません。
[対処]	SORT ステートメントで指定するソートフィールドの個数または長さを減らしてください。

NAT1202 : 外部ソートのエラーがあります。コア/ディスクスペースが不足しています。

テキスト	外部ソートのエラーがあります。コア/ディスクスペースが不足しています。
[説明]	外部ソート機能は、 バッチモードではシステムソートプログラムが呼び出され、 オンラインモードでは、インコアソートが呼び出されます。 - バッチモードでは、 エラーメッセージはディスクスペースの不足または DD カードの欠如のために出力されます。 - オンラインモードでは、 ソート処理で中間ストレージとして使用される ファイルバッファのメモリ不足がエラーの原因です。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1203 : 外部ソートは当環境で使用できません。

テキスト	外部ソートは当環境で使用できません。
[説明]	SORT/NTSORT オプション EXT=ON が指定されましたが、要求された外部ソートは、現在の環境で Natural SORT ステートメントを実行するために使用することはできません。外部ソートを使用できるのは、Natural がバッチ指向環境（バッチモード、TSO、VM/CMS、TIAM）で実行されている場合のみです。Natural が TP 環境（Com-plete、CICS、IMS/TM、UTM）で実行されている場合、または NDV サーバーとして実行されている場合は、Natural 内部ソートを使用する必要があります。
[対処]	SORT/NTSORT オプション EXT=OFF を使用してください。

NAT1204 : 外部ソートモジュールが見つかりません。

テキスト	外部ソートモジュールが見つかりません。
[説明]	外部ソート機能で使用するシステムソートプログラムが、Natural の実行用に定義されたどのライブラリにも見つかりません。
[対処]	NTSORT パラメータ EXTNAME に、有効なソートプログラム名が含まれており、Natural の実行用に定義されたロードライブラリに、そのモジュールが含まれていることを確認してください。

NAT1205 : ソートワークのスペースがありません。

テキスト	ソートワークのスペースがありません。
[説明]	考えられるエラーの原因は以下のとおりです： - コアにスペースがありません。 - ワークファイルにアクセスできません。 - ワークファイルがいっぱいです。 - ワークファイルをサポートできません。 - レコードサイズが最大バッファサイズより大きくなっています。
[対処]	- ソートのレコード数、またはソートレコード当たりのフィールド数を減らしてください。または - インコアソートワークエリア、またはソートワークファイル（存在すれば）を拡大してください。

NAT1206 : バッファプールソートの内部ワークスペースがありません。

テキスト	バッファプールソートの内部ワークスペースがありません。
[説明]	バッファプールソートに必要な内部ワークスペースはいっぱいです。
[対処]	NTSORT パラメータ WRKSIZE を増やします。

NAT1207 : ソートバッファプールがいっぱいです。

テキスト	ソートバッファプールがいっぱいです。
[説明]	ソート機能の実行中に中間結果の一時ストレージとして使用されるソートバッファプールがいっぱいです。 この問題は、実行しているパラレルソートが多すぎる場合にも発生します。
[対処]	ソートバッファプールのサイズを増やすか、またはパラレルソートの数を減らしてください。

NAT1208 : バッファプールソートモジュールが見つかりません。

テキスト	バッファプールソートモジュールが見つかりません。
[説明]	バッファプールソートモジュールが、NAT2SORT にリンクされていません。 これは内部エラーです。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT1209 : バッファプールソートの処理中に内部エラーが発生しました。

テキスト	バッファプールソートの処理中に内部エラーが発生しました。
[説明]	内部コントロールブロックが壊れています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT1210 : ソートバッファプールがオープン処理中に失われました。

テキスト	ソートバッファプールがオープン処理中に失われました。
[説明]	ソート機能の実行中にソートバッファプールが失われました。 考えられる理由は次のとおりです。 - ソートがアクティブである間にソートバッファプールがシャットダウンされました。 - Natural セッションが別のアドレススペースに切り換えられましたが、グローバルソートバッファプールが使用されていませんでした。 - Natural セッションが別のオペレーティングシステムイメージに切り換えられました (SYSPLEX のみ)。これはサポートされていません。
[対処]	ソート機能がアクティブであるとき、同じソートバッファプールが Natural セッションで利用可能であることを確認してください。

NAT1211 : 読み取り／書き込み処理中にソートバッファプールが失われました。

テキスト	読み取り／書き込み処理中にソートバッファプールが失われました。
[説明]	ソート機能の実行中にソートバッファプールが失われました。 考えられる理由は次のとおりです。 - ソートがアクティブである間にソートバッファプールがシャットダウンされました。 - Natural セッションが別のアドレススペースに切り換えられましたが、グローバルソートバッファプールが使用されていませんでした。 - Natural セッションが別のオペレーティングシステムイメージに切り換えられました (SYSPLEX のみ) 。これはサポートされていません。
[対処]	ソート機能がアクティブであるとき、同じソートバッファプールが Natural セッションで利用可能であることを確認してください。

NAT1212 : 内部エラー：クイックソートワークエリアのスペースがありません。

テキスト	内部エラー：クイックソートワークエリアのスペースがありません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1213 : ソートバッファプールが削除処理中に失われました。

テキスト	ソートバッファプールが削除処理中に失われました。
[説明]	ソート機能の実行中にソートバッファプールが失われました。 考えられる理由は次のとおりです。 - ソートがアクティブである間にソートバッファプールがシャットダウンされました。 - Natural セッションが別のアドレススペースに切り替えられましたが、グローバルソートバッファプールが使用されていませんでした。 - Natural セッションが別のオペレーティングシステムイメージに切り換えられました (SYSPLEX のみ) 。これはサポートされていません。
[対処]	ソート機能がアクティブであるとき、同じソートバッファプールが Natural セッションで利用可能であることを確認してください。

NAT1214 : SORT/NTSORT オプション STORAGE = SD は Com-plete 環境でのみ使用できません。

テキスト	SORT/NTSORT オプション STORAGE = SD は Com-plete 環境でのみ使用できます。
[説明]	Natural セッションが Com-plete 下で実行されている場合に限り、Natural 内部ソートのために SORT/NTSORT オプション STORAGE=SD を使用することができます。
[対処]	STORAGE=MAIN または STORAGE=BP を使用してください。

NAT1220 : 複数のアクティブな **SORT** は許されていません。

テキスト	複数のアクティブな SORT は許されていません。
[説明]	複数の SORT ループを一度にアクティブにすることはできません。SORT ステートメントで初期化されたアクティブな処理ループ内で、他のプログラム、サブプログラム、またはサブルーチンが呼び出され、呼び出されたオブジェクト内で他の SORT ステートメントが実行されたときに、このエラーが起こります。
[対処]	アプリケーションのエラーを修正してください。

NAT1221 : **Natural** ワークステーションインターフェイスバッファの **GETMAIN** に失敗しました。

NAT1222 : ステートメント実行のために必要となるメモリを使用できません。

テキスト	ステートメント実行のために必要となるメモリを使用できません。
[説明]	ステートメント実行のために必要となるメモリが利用できません。 考えられる理由： - ダイナミック変数、または X-配列に割り当てられたメモリの量を増加させなければなりません。しかし、これによって、Natural セッションにて利用可能なトータルメモリを超過しました。 - ステートメントの実行に必要なワークメモリ量は、Natural セッションにて利用可能なトータルメモリ量を超過しました。 - Natural 環境の制約（例えば、プロファイルパラメータの設定）により、Natural セッションにて利用可能なメモリの量が制限されます。 - オペレーティングシステム、または TP システムの制限（例えば、利用可能なトータルメモリ）により、Natural セッションにて利用可能なメモリの量が制限されます。
[対処]	メモリ要求に失敗した正確な原因が何であるかを特定するために、システムコマンド LASTMSG * を使用してください。プログラムをチェックしてエラーを修正するか、または Natural 管理者に連絡してください。

27

Natural システムエラーメッセージ 1251～1300

NAT1254 : REDUCE/EXPAND/RESIZE: :1: のためのサイズ値が利用できません。

テキスト	REDUCE/EXPAND/RESIZE: ... のためのサイズ値が利用できません。
[説明]	与えられたダイナミックオペランドのためのメモリを再割り当てるために、サイズ値が REDUCE/EXPAND/RESIZE ステートメントに指定されます。サイズ値は以下の条件に従っている必要があります。 1.サイズ値は負の値であってははいけません。 2.サイズ値は 1 GB を超えてはいけません。 エラーを起こした値はエラーメッセージに示されます。
[対処]	サイズ値が上記条件に適合するか確認してください。

NAT1255 : REDUCE/EXPAND/RESIZE: :1: の ARRAY 節に不正な値があります。

テキスト	REDUCE/EXPAND/RESIZE: ... の ARRAY 節に不正な値があります。
[説明]	REDUCE/EXPAND/RESIZE ステートメントの ARRAY 節は、X-array のオカレンス数の調整を可能にするために提供されます。範囲表記で指定された下限と上限の値、またはオカレンス表記で指定されたオカレンス数は、次の条件を満たしている必要があります。 1.固定境界値を変更してはいけません。 2.オカレンス数が負の数であってははいけません。 3.オカレンス数が 1073741824 を超えてはいけません。 エラーを起こした値はエラーメッセージに示されます。
[対処]	値が上記の条件を満たしていることを確認してください。

NAT1256 : システム変数 **:1:** の値は未定義です。

テキスト	システム変数 ... の値は未定義です。
[説明]	Natural ステートメントは、システム変数を参照して、その値を取得します。 システム変数の値は次の理由のために現在未定義です。 1.対応する X-array が実体化されていない (オカレンスが割り当てられていない) 場合、 システム変数 *UBOUND または *LBOUND の値は未定義です。 エラーを起こしたシステム変数はエラーメッセージに示されます。
[対処]	*UBOUND または *LBOUND を参照する前に、対応する X-array のオカレンスを REDUCE/EXPAND/RESIZE ステートメントで割り当ててください。

NAT1257 : 実体化されていない **X-array** フィールドへのアクセスは許可されていません。

テキスト	実体化されていない X-array フィールドへのアクセスは許可されていません。
[説明]	X-array は、可変オカレンス数を持つ配列フィールドです。 ランタイム時に、X-array はデフォルトで空になっています。 EXPAND ..ARRAY ステートメントによって事前に明示的に割り当てられていない限り、 X-array には アクセス可能なオカレンスがありません。
[対処]	EXPAND ..ARRAY ステートメントで X-array オカレンスを割り当てます。

NAT1300 : 負の指数は使用できません。

テキスト	負の指数は使用できません。
[説明]	Natural では、累乗は掛算を繰り返すことにより行うので 負の指数は使用できません。
[対処]	正の指数値を使用してください。

28

Natural システムエラーメッセージ 1301～1350

NAT1301 : 中間結果が大きすぎます。

テキスト	中間結果が大きすぎます。
[説明]	算術演算式の構文によって桁数が大きすぎる中間結果を生成しました。
[対処]	算術演算を複数のステートメントに分けて、中間結果の長さを自分で定義してください。

NAT1302 : ZD パラメータが ON になっている場合、ゼロでの除算は許されません。

テキスト	ZD パラメータが ON になっている場合、ゼロでの除算は許されません。
[説明]	ZD セッションパラメータが "ON" に設定されています。 この場合、ゼロによる除算はエラーになります。 ZD セッションパラメータを "OFF" に設定すると、ゼロ除算の結果をゼロとして割り出すことができます。
[対処]	必要な場合は、"ZD=OFF" を設定してください。

NAT1303 : フィールドに 1 を加算または減算することにより、数字の桁落ちが起きました。

テキスト	フィールドに 1 を加算または減算することにより、数字の桁落ちが起きました。
[説明]	関係式の評価では、演算子 GREATER および LESS THAN は、値に "1" を加算または減算することによって評価されます。
[対処]	関係式で使用するフィールドの長さを大きくしてください。

NAT1304 : 四捨五入によって桁落ちが起きました。

テキスト	四捨五入によって桁落ちが起きました。
[説明]	四捨五入によって、値がフィールドの定義桁数を超えました。
[対処]	四捨五入されるフィールドの長さを大きくしてください。

NAT1305 : **MOVE/ASSIGN** 処理で数値が桁落ちしました。

テキスト	MOVE/ASSIGN 処理で数値が桁落ちしました。
[説明]	MOVE/ASSIGN オペレーションの受け取りフィールドが値の結果を格納するのに十分な大きさではありません。
[対処]	受け取りフィールドの長さを大きくしてください。

NAT1306 : **FOR** ステートメントの **STEP** 値が正しくありません。

テキスト	FOR ステートメントの STEP 値が正しくありません。
[説明]	STEP 値が 0 なので、開始値を STEP 値で増加させても、終了値になりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1307 : **MOVE INDEXED** の結果項目アドレスが範囲外です。

テキスト	MOVE INDEXED の結果項目アドレスが範囲外です。
[説明]	MOVE INDEXED オペレーションの結果項目アドレスが Natural データエリアの外を示しました。
[対処]	MOVE INDEXED の基本フィールドの添字または長さをチェックしてください。

NAT1308 : 置き換え後の結果文字列が変数の長さを超えました。

テキスト	置き換え後の結果文字列が変数の長さを超えました。
[説明]	EXAMINE ステートメントで、文字列を調べて置き換えた結果、合計長が変数の長さを超えました。 EXAMINE ステートメントで値の桁落ちは許されません。
[対処]	EXAMINE ステートメントのフィールドの長さを調整してください。

NAT1309 : EXAMINE ステートメントの NUMBER 変数が桁あふれしました。

テキスト	EXAMINE ステートメントの NUMBER 変数が桁あふれしました。
[説明]	ソース変数の中で見つかった文字列の数が大きすぎて、EXAMINE ステートメントの NUMBER 変数で表示できません。
[対処]	EXAMINE ステートメントの NUMBER 変数の長さを調整してください。

NAT1310 : RETRY ステートメントはそのエラー番号に対して使用できません。

テキスト	RETRY ステートメントはそのエラー番号に対して使用できません。
[説明]	<p>1. 1. RETRY は、そのレコードが現在他のユーザーによる更新のために "ホールド" 状態で読み込まれていることを示すデータベースレスポンスコード "145" を受け取ったときにだけ使用できます。NAT3145 のエラーは、グローバルオプション WH=OFF (ホールド待ち) が指定されているときにだけ起きます。</p> <p>2. 2. 実際にはレスポンスコード "145" である場合でも、次のいずれかの条件下では NAT1310 が起きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - "145" を受け取ったときにアクティブであったオブジェクトモジュールが ON ERROR ステートメントを含んでいません。 - "145" に対して実行する RETRY ステートメントがレスポンスコードを受け取った時にアクティブなオブジェクトモジュールと同じではありません。 <p>レスポンスコード "145" は、そのレスポンスコードを受け取ったときにアクティブであったオブジェクトモジュールだけが操作できます。そのモジュールから制御が返されると、Natural は自動的に NAT3145 を NAT1310 に変換します。</p>
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1311 : MOVE INDEXED ステートメントの添字がゼロまたは負です。

テキスト	MOVE INDEXED ステートメントの添字がゼロまたは負です。
[説明]	MOVE INDEXED ステートメントの添字は正でなければなりません。
[対処]	プログラムを修正してください。

NAT1312 : NUMBER フィールドに対し、要素の数が大きすぎます。

テキスト	NUMBER フィールドに対し、要素の数が大きすぎます。
[説明]	SEPARATE ステートメントで NUMBER 節を使用しましたが、返される要素の数が指定したフィールドに入りません。
[対処]	処理結果の要素数を入れるフィールドの長さを増やしてください。

NAT1313 : SEPARATE ステートメント内の受け取りフィールドが十分ではありません。

テキスト	SEPARATE ステートメント内の受け取りフィールドが十分ではありません。
[説明]	ソースフィールド内のデリミタ文字が多すぎて、SEPARATE ステートメントの受け取りフィールドが全部の値を受け取りきれません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1314 : 受け取りフィールドが小さすぎます。

テキスト	受け取りフィールドが小さすぎます。
[説明]	SEPARATE ステートメントで転送されるフィールドの一部が指定した受け取りフィールドより大きい。
[対処]	受け取りフィールドの長さを増やしてください。

NAT1315 : SEPARATE でソースフィールドと受け取りフィールドが重複しています。

テキスト	SEPARATE でソースフィールドと受け取りフィールドが重複しています。
[対処]	両者が重複しないようにしてください。

NAT1316 : 指定した添字が配列構造内にありません。

テキスト	指定した添字が配列構造内にありません。
[説明]	配列に指定した添字が配列定義した次元内に存在しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1317 : 配列範囲処理が誤った範囲で行われました。

テキスト	配列範囲処理が誤った範囲で行われました。
[説明]	算術処理は、同じ範囲構造の配列の範囲で、または単一の値（スカラ値）の配列の範囲で行うことができます。算術処理用に 2～3 個の配列範囲が定義されましたが、それらは、同じ範囲構造ではありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1318 : ASSIGN 中に値が重複しました。

テキスト	ASSIGN 中に値が重複しました。
[説明]	英数字またはバイナリのオペランドの割り当て中に、不正な重複が検出されました。 この状態は、ステートメントの実行中にすでに移動済みのバイトを移動しようとしたときに起きます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1319 : 日付処理が正しくありません。

テキスト	日付処理が正しくありません。
[説明]	日付処理の結果値（日付整数）が負になっています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1320 : システム関数 VAL のオペランドが正しくありません。

テキスト	システム関数 VAL のオペランドが正しくありません。
[説明]	VAL システム関数のオペランドに、結果値の正しい英数字表現がありません。 VAL システム関数は INPUT ステートメントに似ており、INPUT ステートメントで受け取るものは、VAL システム関数でも受け取ることができます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1321 : MOVE ALL ステートメントの UNTIL パラメータが正しくありません。

テキスト	MOVE ALL ステートメントの UNTIL パラメータが正しくありません。
[説明]	このエラーは次のいずれかが原因で起きます。 - UNTIL パラメータに負の値がある。 - UNTIL パラメータ内の値が 10 進の 7 桁、または 2 進の 31 桁よりも大きい。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT1322 : パラメータ :1: がありません (:3:/4:/5:/6: により :2: 行で呼び出された)。

テキスト	パラメータ ... がありません (.../.../.../... により ... 行で呼び出された)。
[説明]	Natural がオブジェクト .../.../.../... によって渡されなかったパラメータ ... への参照を含んだステートメントを実行しようとした。これは、行 ... の呼び出しステートメントが、呼び出されたオブジェクトによってオプションとして定義されたパラメータを提供しなかった場合に発生します。
[対処]	呼び出しステートメントに指定されていないパラメータを指定してください。

NAT1323 : エンドデータ条件で **ACCEPT/REJECT/REINPUT** は使用できません。

テキスト	エンドデータ条件で ACCEPT/REJECT/REINPUT は使用できません。
[説明]	エンドデータ条件（ループがすでに閉じられている）で ACCEPT および REJECT は使用できません。 同様に、 REINPUT ステートメントも、 対応する INPUT ステートメントを含むループが閉じた後は 使用できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1324 : 当ステートメントを使用する場合は、ループをアクティブにしてください。

テキスト	当ステートメントを使用する場合は、ループをアクティブにしてください。
[説明]	次の理由により、 ESCAPE TOP 、 ESCAPE BOTTOM 、 ACCEPT 、 REJECT 、 または PERFORM BREAK PROCESSING ステートメントを実行できません。 - ESCAPE TOP 、 ESCAPE BOTTOM 、または PERFORM BREAK PROCESSING ステートメントに対してアクティブなループがありません。 - ACCEPT または REJECT ステートメントに対して、アクティブな FIND 、 READ 、 HISTOGRAM 、 CALL FILE 、 SORT 、または READ WORK FILE ループが ありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1325 : パターン内のアスタリスク "*" が多すぎます。

テキスト	パターン内のアスタリスク "*" が多すぎます。
[説明]	最大 10 個のアスタリスク "*" をパターンに指定できます。 10 個を超える "*" がパターン内に検出されると、 テーブルオーバーフローが起き、実行が中止されます。ただし、"***" は "*" として認識されま す。
[対処]	パターン内のアスタリスク "*" の数を減らしてください。

NAT1326 : **SUBSTRING** オプションで指定された範囲はフィールド外です。

テキスト	SUBSTRING オプションで指定された範囲はフィールド外です。
[説明]	ASSIGN 、 EXAMINE 、 IF 、 MOVE 、または SEPARATE ステートメントの SUBSTRING オプションのエラーです： - 開始位置がフィールド内にありません。または、 - 開始位置の値がゼロまたは負となっています。または、 - 指定された長さがフィールドの長さを超えています。または、 - 長さの値がゼロまたは負となっています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1327 : 数値フィールドのデータが数値ではありません。

テキスト	数値フィールドのデータが数値ではありません。
[説明]	数値変数 (タイプ N、F、または P) の内容が、数値ではありません。 例えば、定義 N4 のフィールドに 16 進値 H"404040F1" が含まれています。 考えられる理由は、数値フィールドが 英数字フィールドの再定義となっていることです。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1328 : 使用可能なデフォルトコードページがありません。

テキスト	使用可能なデフォルトコードページがありません。
[説明]	現在のステートメントを実行するには、デフォルトコードページが 定義されている必要があります。
[対処]	CP パラメータを使用して、コードページを定義してください。

29

Natural システムエラーメッセージ 1351~1400

NAT1396 : 一時的に :1: :2: はユーザー :3: により修正されずに保存されました。

テキスト	一時的に :1: :2: はユーザー :3: により修正されずに保存されました。
[説明]	タイプ :1: のオブジェクト :2: を保存することはできません。 なぜなら、それはユーザー :3: によって一時的に（修正されずに）保存されたからです。
[対処]	ソースを削除して、保存しなおしてください。

NAT1397 : 一時的に :1: :2: はユーザー :3: により修正され、保存されました。

テキスト	一時的に :1: :2: はユーザー :3: により修正され、保存されました。
[説明]	タイプ :1: のオブジェクト :2: を保存することはできません。 なぜなら、それはユーザー :3: によって一時的に修正され、保存されたからです。
[対処]	ソースを削除して、保存しなおしてください。

NAT1398 : :1: :2: は、:3: のためにロックされています。

テキスト	:1: :2: は、:3: のためにロックされています。
[説明]	タイプ :1: のオブジェクト :2: を保存することはできません。 なぜなら、それは :3: として示された別の目的のために現在ロックされているからです。
[対処]	オブジェクトを保存する前にアンロックしてください。

NAT1399 : :1: :2: は、ユーザー :3: によってロックされています (セッション ID :4:) 。

テキスト	:1: :2: は、ユーザー :3: によってロックされています (セッション ID :4:) 。
[説明]	タイプ :1: のオブジェクト :2: を保存することはできません。 なぜなら、それは、セッション :4: のユーザー :3: によって現在ロックされているからです。
[対処]	オブジェクトをロックしたユーザーまたは権限を持つ管理者が、 オブジェクトをアンロックする必要があります。

NAT1400 : **Natural** システム関数の **TOTAL/SUM** がオーバーフローしました。

テキスト	Natural システム関数の TOTAL/SUM がオーバーフローしました。
[説明]	Natural システム関数で、 すべての処理レコードの値を合計した値がオーバーフローしました。 Natural システム関数の桁数は、 評価フィールドの長さによって決まります。
[対処]	対象となるフィールドの長さを増やしてください。

30

Natural システムエラーメッセージ 1451～1500

NAT1500 : :1: ファイル :2: がオープンできません。 :3:。

テキスト	... ファイル ... がオープンできません。 ...。
[説明]	考えられる理由は、次のとおりです。 - Com-plete : ワークファイル : SD ファイルに十分なスペースがない。 プリンタ : メッセージで PSOPEN エラーが示された。 - z/OS : 不十分または正しくない DCB 情報。 ジョブログで、オペレーティングシステムのメッセージをチェックしてください。 - z/VSE : データベースがジョブ制御に割り当てられていない。 - BS2000/OSD : 詳細については、DMS エラーコードを参照してください。 考えられる理由として、コード DD33 - ファイルが存在しません、などがあります。 - UNIX/Windows : ワークファイルが配置されている ディレクトリに対する読み取り / 書き込み権限がないか、 またはワークファイルの指定パスが正しくありません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

31 Natural システムエラーメッセージ 1501~1550

NAT1501 : :1: ファイル :2: のためのコントロール情報が不足しています。

テキスト	... ファイル ... のためのコントロール情報が不足しています。
[説明]	- READ ステートメントに対する DCB 情報が不足しています。または - 可変長の WRITE 処理に対して RECFM=F パラメータが指定されています。 考えられる理由として、ジョブ制御での矛盾した DCB の指定が挙げられます。
[対処]	参照するワークファイルが出力ファイルとして事前に使用されていることを確認してください。ファイルにラベルがない場合は、ファイルの特性が前の WRITE と一致していることを確認してください。

NAT1502 : :1: ファイル :2: に対する永久的な物理 I/O エラーが起きました。

テキスト	... ファイル ... に対する永久的な物理 I/O エラーが起きました。
[説明]	永久的な I/O エラーが起きたのでワークファイルを処理できません。 考えられる理由は、ファイルの物理的損傷です。
[対処]	コンソールログで該当するエラーメッセージをチェックしてください。

NAT1503 : ワークファイル :1: は **READ WORK FILE** ループ内で閉じられました。

テキスト	ワークファイル ... は READ WORK FILE ループ内で閉じられました。
------	--

[説明]	READ WORK FILE 処理ループ内で、 他の Natural プログラム、またはサブプログラムで - CLOSE WORK FILE ステートメントによって明確に、または - READ WORK FILE ステートメント中の END-OF-FILE 条件のため、無条件に そのワークファイルが閉じられました。 そのワークファイルが閉じられていた場合は、 そのワークファイルの READ WORK FILE ループを ESCAPE BOTTOM ステートメントで抜ける必要があります。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT1504 : エンドオブファイルになったが、**AT END** 処理が指定されていません。

テキスト	エンドオブファイルになったが、 AT END 処理が指定されていません。
[説明]	READ WORK FILE ONCE オプションが指定されていて、 エンドオブファイルの状態になりました。 この条件は、 AT END OF FILE 節でチェックする必要があります。
[対処]	プログラムを修正してください。

NAT1505 : 数字入力フィールドのデータが正しくありません。

テキスト	数字入力フィールドのデータが正しくありません。
[説明]	READ WORK FILE SELECT オプションは、 全データフィールドが正しい入力データかどうかをチェックします。 数値フィールドとして定義されたフィールドに 数値以外の値が見つかりました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1506 : パック 10 数値と変数定義が一致しません。

テキスト	パック 10 数値と変数定義が一致しません。
[説明]	RECORD オプションなしの READ WORK FILE ステートメントは、 偶数の桁数で定義したパック変数（例：P6、P5.1）を読み込もうとしています。 ただし、ワークファイル内の数値データが変数に適合しないため、 現在の定義より 1 大きい桁数である奇数桁の数字を要求します。 考えられる理由は、データが、別の変数定義を使用しているか、または、 再定義を使用しているワークファイルに書き込まれたことです。
[対処]	数字の桁数が奇数になるように変数定義内の数字の数を 1 つ増やしてください。 あるいは、ワークファイルにデータを記述したアプリケーションを チェックしてください。

NAT1507 : :1: ファイル :2: がいっぱいです。

テキスト	... ファイル ... がいっぱいです。
[説明]	出力ワークファイルへのスペース割り当てが小さいため、Natural プログラムで記述した全レコードを保持できません。
[対処]	Natural 管理者に、出力ワークファイルのサイズの増加、または出力ワークファイル用のストレージの増加を依頼してください。

NAT1508 : :1: ファイル :2: は、すでに他のユーザーが開いています。

テキスト	... ファイル ... は、すでに他のユーザーが開いています。
[説明]	出力またはワークファイルは、現在他のユーザーが使用しています。そのため異なるユーザー間で共有はできません。
[対処]	同じファイルを使うプログラムを同時に実行しないようにチェックしてください。

NAT1509 : :1: ファイル :2: のダイナミックアロケーションに失敗しました。 :3:。 RC: :4:。

テキスト	... ファイル ... のダイナミックアロケーションに失敗しました。 ...。 RC : ...。
[説明]	指定されたファイルのダイナミックアロケーション中に、エラーが発生しました。メッセージの最後に表示されるこのエラーおよび情報コードに、失敗の理由が示されています。 ダイナミックアロケーションのエラー理由の詳細については、IBM のドキュメント『MVS Authorized Assembler Services』を参照してください。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1510 : :1: ファイル :2: に対してレコードが小さすぎます。

テキスト	... ファイル ... に対してレコードが小さすぎます。
[説明]	z/VSE システムについては、 - DTFDI を使っているリーダー、または DTFMT や DTFSD を使っているワークファイルで WLRERR 出口に入ったことを示しています。 z/OS システムについては、 - RECFM=F のレコードがデータセットレコード長より短く、そして- 空白のパディング（出力ファイル）またはヌル（ワークファイル）の使用は許されていないことを示しています。 レコードパディングは、PRINT または WORK パラメータのサブパラメータ PAD によって制御されます。
[対処]	Natural 管理者に連絡して、JCL が正しく指定されていることを確認してください。z/OS システムについては、アプリケーションを修正するか、またはレコードパディングを許可するためにサブパラメータ PAD=ON でセッションを開始してください。

NAT1511 : **READ WORK FILE** の後、**WRITE WORK FILE** を発行しました。

テキスト	READ WORK FILE の後、WRITE WORK FILE を発行しました。
[説明]	ワークファイルを Natural プログラム内で生成し、その後同プログラム内で参照することができます。この逆を行うことはできません。READ WORK FILE ステートメントの実行結果としてワークファイルをオープンした場合、WRITE WORK FILE ステートメントを実行するとランタイムエラーになります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1512 : **:1:** ファイル **:2:** に対してレコードが大きすぎます。

テキスト	... ファイル ... に対してレコードが大きすぎます。
[説明]	書き込まれるレコードの長さが出力データセットレコード長を超えました。また、空白のトランケーション（出力ファイル）またはヌル（ワークファイル）の使用は許されていません。レコードトランケーションは、PRINT または WORK プロファイルパラメータのサブパラメータ TRUNC によって制御されます。
[対処]	出力データセットレコード長を修正します（例：プロファイルのサブパラメータ LRECL）、またはアプリケーションプログラムを修正します、またはレコードトランケーションを許可するためにサブパラメータ TRUNC=ON でセッションを開始します。

NAT1513 : **:1:** ファイル **:2:** のクローズ中にエラーが発生しました。

テキスト	... ファイル ... のクローズ中にエラーが発生しました。
[説明]	指定された出力ファイルまたはワークファイルの CLOSE 中に、エラーが発生しました。DEFINE または READ WORK ステートメントが失敗すると、オープンされたファイルをクローズできません。これは、プロファイルサブパラメータ CLOSE=FIN がそのファイルに指定されているためです。
[対処]	ジョブログプロトコルで、オペレーティングシステムのエラーメッセージをチェックしてください。CLOSE=FIN については、アプリケーションプログラムを変更するか、またはファイルの CLOSE サブパラメータに別の値を使用してください。

NAT1514 : :1: ファイル :2: はサポートしていないファイル編成です。

テキスト	... ファイル ... はサポートしていないファイル編成です。
[説明]	Natural は現在ワークファイルとしてシーケンシャルファイルしかサポートしていません。
[対処]	処理するファイルのファイル編成をチェックし、エラーを修正してください。

NAT1515 : 一度にたくさんのワークファイルをオープンしようとしてしました。

テキスト	一度にたくさんのワークファイルをオープンしようとしてしました。
[説明]	この Natural バージョンは、Com-plete 下でアクティブになっています。Com-plete では、1 トランザクションで5つを超えるワークファイル (SD ファイル) を同時に処理できないよう制限されているため、Natural によって、同時に5つを超えるファイルをオープンしないようにチェックされています。一連のトランザクション群で5つを超えるワークファイルを処理することはできますが、同時に行うことはできません。
[対処]	処理するワークファイルの数を減らしてください。

NAT1516 : :1: ファイル :2: に対するオープン時の GETMAIN エラーです。

テキスト	... ファイル ... に対するオープン時の GETMAIN エラーです。
[説明]	指定されたファイルのオープン時の GETMAIN 要求を満たすための十分なメインストレージがありません。
[対処]	ストレージスレッドのサイズを増やしてください。非スレッド環境では、利用可能なリージョンまたはパーティションサイズを増やしてください。

NAT1517 : :1: ファイル :2: に対するクローズ時の FREEMAIN エラーです。

テキスト	... ファイル ... に対するクローズ時の FREEMAIN エラーです。
[説明]	指定されたファイルを閉じようとしたとき、FREEMAIN 要求に失敗しました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1518 : GET または PUT は :1: ファイル :2: をオープンできませんでした。

テキスト	GET または PUT は ... ファイル ... をオープンできませんでした。
[説明]	内部エラーが発生したと思われます。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1519 : :1: ファイル :2: のデバイスタイプが正しくありません。

テキスト	... ファイル ... のデバイスタイプが正しくありません。
[説明]	プリンタのデバイスタイプがプリンタでない、またはワークファイルのデバイスタイプがテープでもディスクでもありません。
[対処]	JCL をチェックして、エラーを修正してください。 または、Natural 管理者に連絡してください。

NAT1520 : :1: ファイル :2: を使用できません。

テキスト	... ファイル ... を使用できません。
[説明]	指定された出力ファイルまたはワークファイルを使用できません。このファイルは、Natural で JCL またはプロファイルパラメータによって定義されていないか、またはファイルアクセスメソッドが利用できません。
[対処]	SYSDATA ユーティリティを使用して、このファイルが正しいファイル名とアクセスメソッドで定義されているかどうかをチェックしてください。JCL、および PRINT または WORK パラメータをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1521 : 可変レコードが正しくありません。

テキスト	可変レコードが正しくありません。
[説明]	入力ワークファイルの可変レコードの最初の 4 バイトが、正しいレコードディスクリプタワードではありません。 Natural パラメータ BWORKD の設定が正しくありません。
[対処]	JCL、またはファイルをチェックして、エラーを修正してください。 または Natural 管理者に連絡してください。

NAT1522 : NATAMUSR : アクセスメソッド出口 NATAM9EX がインストールされていません。

テキスト	NATAMUSR : アクセスメソッド出口 NATAM9EX がインストールされていません。
[説明]	ユーザーアクセスメソッド出口のエントリポイント NATAM9EX はユーザーアクセスメソッドモジュール NATAMUSR 内で解析されませんでした。
[対処]	出口がエントリポイント NATAM9EX を持っているかどうかをチェックしてください。 出口がモジュール NATAMUSR にリンクされているかどうかをチェックしてください。

NAT1523 : **NATAMUSR** : アクセスメソッドバッファが割り当てられていません。

テキスト	NATAMUSR : アクセスメソッドバッファが割り当てられていません。
[説明]	ユーザーアクセスメソッドは、ユーザーアクセスメソッド用のバッファが割り当てられていないため、機能していません。 a) バッファの GETMAIN が失敗した可能性があります。 b) バッファが解放されました。その理由は、ユーザーアクセスメソッドによって管理されている Natural 出力ファイルまたはワークファイルがないためです。

NAT1524 : **NATAMUSR** : :1: ファイル :2: 出口 :3: エラー rtc :4: 理由 :5:。

テキスト	NATAMUSR: ... ファイル ... 出口 ... エラー rtc ... 理由 ...。
[説明]	ユーザーアクセスメソッド出口でエラーが発生しました。
[対処]	エラー、理由コード、および適切な対処法については、ユーザーアクセスメソッド出口ハンドラを参照してください。

NAT1525 : 当ワークファイルはダイナミック変数でアクセスできません。

テキスト	当ワークファイルはダイナミック変数でアクセスできません。
[説明]	ダイナミック変数は、TYPE=STREAM ワークファイルに対する READ WORK ... ONCE ステートメントでのみ使用することができます。
[対処]	このタイプのワークファイルでダイナミック変数を使わないでください。

NAT1526 : **OFFSET** キーワードは **UNFORMATTED** ワークファイルには使用できません。

テキスト	OFFSET キーワードは UNFORMATTED ワークファイルには使用できません。
[説明]	OFFSET は、ワークファイルレコードの開始と相対的な読み込み位置を指定します。UNFORMATTED ワークファイルには、レコードの概念がないので、OFFSET キーワードは許されません。 最後に処理されたフィールドの終わりに対してその前に位置付けるために、FILLER キーワードを使用してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1527 : **TYPE=STREAM** ワークファイルは当オブジェクトに対してサポートされません。

テキスト	TYPE=STREAM ワークファイルは当オブジェクトに対してサポートされません。
[説明]	TPYE=STREAM のワークファイルは、Natural バージョン 4 以上でコンパイル (CATALOG、STOW) される Natural プログラムによってのみ、読み込みと書き込みが可能です。

NAT1528 : **DEFINE WORK** ステートメントに不正な **TYPE** が指定されました。

テキスト	DEFINE WORK ステートメントに不正な TYPE が指定されました。
[説明]	有効なワークファイルタイプは次のとおりです。 "FORMATTED" : 正規のレコード指向のワークファイル。 "UNFORMATTED" : バイトストリームとして読み込みや書き込みが行われるワークファイル。
[対処]	有効なワークファイルタイプを指定してください。

NAT1529 : **DEFINE WORK** の名前は当ワークファイルに対して使用できません。

テキスト	DEFINE WORK の名前は当ワークファイルに対して使用できません。
[説明]	このワークファイルのために指定されたワークファイルアクセスメソッドは、名前オペランドを認めません。 名前オペランドはオプションであり、ワークファイル TYPE が指定される場合は、省略できます。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1530 : 出力ファイル **:1:** に対して不正な **ASA** 制御文字があります。

テキスト	出力ファイル ... に対して不正な ASA 制御文字があります。
[説明]	不正な ASA 制御文字が、エラーメッセージに示された出力ファイルに対する出力レコードで見つかりました。 これは、一般に Natural 出力ファイル定義の ASA=OFF で起こります。 その場合は、有効な ASA 制御文字を設定するユーザーの責任となります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1531 : **Smarts** アクセスメソッド **:1:**。

テキスト	Smarts アクセスメソッド : ...。
[説明]	出力ファイルおよびワークファイルの Smarts アクセスメソッドで問題が発生しました。 考えられる理由： - ドライバ NCFWFAPS が見つかりませんでした。 - ドライバ NCFWFAPS が、常駐ページにロードされていません。 - Smarts の初期化に失敗しました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1533 : DEFINE WORK ステートメントでの属性値 :1: が正しくありません。

テキスト	DEFINE WORK ステートメントでの属性値 ... が正しくありません。
[説明]	DEFINE WORK ステートメントの ATTRIBUTES 節に指定されたいずれかの属性値が、正しくありません。
[対処]	正しい属性値を指定します。

NAT1534 : イベントエラー :1:。

テキスト	イベントエラー ...。
[説明]	Natural と出力/ワークファイルサーバーとの間のイベントに失敗しました。 Natural サーバーを起動する前に、 出力/ワークファイルサーバーを起動しておく必要があります。
[対処]	出力/ワークファイルサーバーが起動していることを確認します。

NAT1535 : コントロールプールエラー :1:。

テキスト	コントロールプールエラー ...。
[説明]	出力/ワークファイルの共通メモリプールの有効化に失敗しました。 考えられる理由は、次のとおりです。 1.サーバーが使用できません。 2.サーバーが最初に起動されていません。 3.共通メモリプールの有効化のエラー（プログラム BS2STUB を参照）。
[対処]	サーバーが最初に起動されているかどうかをチェックしてください。

NAT1548 : TPS スプール要求の失敗。

テキスト	TPS スプール要求の失敗。
[説明]	TPS スプール要求で 0 でないリターンコードが発生しました。
[対処]	詳細についてはTPSドキュメンテーションを参照してください。

NAT1549 : TPS スプーリングインターフェイスが有効ではありません。

テキスト	TPS スプーリングインターフェイスが有効ではありません。
[説明]	オンライン環境： モジュール TPSSPINO が TP 環境で有効ではありません。 バッチ環境： TPSSPINB が NSITPS にリンクされていません。
[対処]	環境に応じて、 - TPSSPINO を有効にしてください。 - または、TPSSPINB を NSITPS にリンクしてください。

NAT1550 : **Natural ADVANCED FACILITIES** が初期化されていません。

テキスト	Natural ADVANCED FACILITIES が初期化されていません。
[説明]	WRITE または DISPLAY が要求されましたが、Natural ADVANCED FACILITIES が初期化されていません。セッションが、不正な PRINTER パラメータで開始された可能性があります。
[対処]	正しく Natural ADVANCED FACILITIES をインストールし、セッションをもう一度始めてください。

32

Natural システムエラーメッセージ 1551～1600

NAT1551 : NATSPOOL ファイル上のエラーです。

テキスト	NATSPOOL ファイル上のエラーです。
[説明]	NATSPOOL ファイルにアクセスしたとき、ゼロでないレスポンスコードを受け取りました。
[対処]	NATSPOOLファイルのステータスをチェックし、エラー修正してください。

NAT1552 : NATSPOOL : 出力するレポートのレコードが見つかりません。

テキスト	NATSPOOL : 出力するレポートのレコードが見つかりません。
[説明]	NATSPOOL ファイル上にレポートを格納するために、NATSPOOL は現在の DETAIL レコードを（更新のために）読み込もうとしますが、レコードが見つからなかったため、この要求は失敗しました。
[対処]	レポートを生成する Natural プログラムを再実行してください。

NAT1553 : NATSPOOL : **WRITE (rep)** ステートメントの出力長が正しくありません。

テキスト	NATSPOOL : WRITE (rep) ステートメントの出力長が正しくありません。
[説明]	NATSPOOL ニュークリアスは、Natural ニュークリアスから出力行を受け取ります。このうちのいずれかの行の長さが正ではありません。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT1554 : NATSPOOL : キューに対しメッセージグループレコードが見つかりません。

テキスト	NATSPOOL : キューに対しメッセージグループレコードが見つかりません。
[説明]	NATSPOOL ファイル上にキューを格納するため、NATSPOOL はフリーグループを読み込み、DETAIL レコードを更新してから、前のグループレコードを（更新のために）読み込もうとしますが、レコードが見つからなかったため、この要求は失敗しました。
[対処]	キューを生成するNaturalプログラムを再実行してください。

NAT1555 : ワークファイルまたは出力ファイルへのアクセス中に :1: が起きました。

テキスト	ワークファイルまたは出力ファイルへのアクセス中に DMS エラー DXXX が起きました。
[対処]	ワークファイルまたは出力ファイルのファイルコマンド設定をチェックしてください。

NAT1556 : NATSPOOL ファイルがいっぱいです。

テキスト	NATSPOOL ファイルがいっぱいです。
[説明]	NATSPOOL ファイルは、Natural プログラムによって生成される全レポートの物理スプールファイルとして使用されますが、これがいっぱいです。NATSPOOL ファイルに格納できる最大レポート数は、スプールファイルメンテナンスのフォーマット機能により定義されます。
[対処]	(1) いくつかのレポートを DISPOSITION D で出力してください。 (2) いくつかのレポートを削除してください。 (3) スプールファイルを大きくしてください（スプールファイルメンテナンスを参照）。

NAT1557 : NATSPOOL : ジョブ番号のレコードがチェックポイント上に見つかりません。

テキスト	NATSPOOL : ジョブ番号のレコードがチェックポイント上に見つかりません。
[説明]	NATSPOOL 環境（ユーザープロファイル、論理プリンタプロファイル）は正しく定義されましたが、ファイルのうち、出力キューを含む部分がプレフォーマットされていません。
[対処]	NATSPOOL オペレータコマンドの F 機能を使って、NATSPOOL ファイルをフォーマットしてください。

NAT1558 : NATSPOOL : インターバル制御エラーです。

テキスト	NATSPOOL : インターバル制御エラーです。
[説明]	CICS インターバル制御プログラムによる処理に対し、不正なタイプの要求を受け取ったため、NATSPOOL プリンタのタスクが開始できません。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT1559 : NATSPOOL : ワークエリアの GETMAIN ができません。

テキスト	NATSPOOL : ワークエリアの GETMAIN ができません。
[説明]	このエラーは次のいずれかが原因です。 1) 初期化中、Natural Advanced Facilities ワークエリア (2 KB) を割り当てることができませんでした。 2) 実行中の場合、このワークエリアのサイズが不十分でした。
[対処]	1) スレッドのサイズを大きくしてください。 2) Software AG サポートに連絡してください。

NAT1560 : NATSPOOL : インデックスレコードがキュー内に見つかりませんでした。

テキスト	NATSPOOL : インデックスレコードがキュー内に見つかりませんでした。
[説明]	このエラーは NATSPOOL ニュークリアスの内部エラーによって発生します。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT1561 : NATSPOOL : 送り先または形式に誤りがあります。

テキスト	NATSPOOL : 送り先または形式に誤りがあります。
[説明]	NATSPOOL ニュークリアス内で内部エラーが発生しました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT1562 : NATSPOOL : クローズ処理中にインデックスレコードが見つかりませんでした。

テキスト	NATSPOOL : クローズ処理中にインデックスレコードが見つかりませんでした。
[説明]	NATSPOOL ファイルでレポートを閉じるために、インデックスレコードは "ページ数" および "出力" ステータスで更新されます。 インデックスレコードが見つからなかったため、この要求は失敗しました。
[対処]	レポートを作成する Natural プログラムを再実行してください。

NAT1563 : NATSPOOL : EXEC CICS START、不正な SYSID。

テキスト	NATSPOOL : EXEC CICS START、不正な SYSID。
[説明]	NATSPOOL プリンタタスクに関連したプリンタの SYSID が 見つかりませんでした。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1564 : NATSPOOL : EXEC CICS START、不正なトランザクション ID。

テキスト	NATSPOOL : EXEC CICS START、不正なトランザクション ID。
[説明]	NATSPOOL プリンタタスクのトランザクション ID が CICS プログラムコントロールテーブル内に見つかりませんでした。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1565 : NATSPOOL : EXEC CICS START、不正なプリンタ ID。

テキスト	NATSPOOL : EXEC CICS START、不正なプリンタ ID。
[説明]	NATSPOOL プリンタタスクに関連したプリンタの端末 ID が、 CICS 端末コントロールテーブル内に見つかりませんでした。 考えられる理由は次のとおりです。 - NATSPOOL 割り付けテーブル内のプリンタ名に誤りがあります。 - プリンタの端末 ID が CICS TCT 内に存在しません。
[対処]	NATSPOOL 割り付けテーブルをチェックしてください。または Natural 管理者に連絡してください。

NAT1566 : NATSPOOL : プリンタが CICS に定義されていない、または LOCATE に失敗しました。

テキスト	NATSPOOL : プリンタが CICS に定義されていない、または LOCATE に失敗しました。
[説明]	CICS 端末コントロールテーブル (DFHTC CTYPE=LOCATE) を スキャンしたとき、TCATPTA に指定された端末 ID が 見つかりませんでした。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1567 : NATSPOOL : CICS ロケートが失敗しました。

テキスト	NATSPOOL : CICS ロケートが失敗しました。
[説明]	CICS 端末コントロールテーブル (DFHTC CTYPE=LOCATE) を スキャンしたときに、エラーが発生しました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 Natural ADVANCED FACILITIES ソースライブラリのプログラム NATAF を参照してください。

NAT1568 : NATSPOOL : ハードコピー出力用のプリンタをオープンできません。

テキスト	NATSPOOL : ハードコピー出力用のプリンタをオープンできません。
[説明]	"OPEN PRINTER FOR OUTPUT" 要求で、ハードコピーシステムを呼び出しましたが、OPEN できませんでした。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1569 : NATSPOOL ファイルにインデックスレコードが重複しています。

テキスト	NATSPOOL ファイルにインデックスレコードが重複しています。
[説明]	NATSPOOL ファイルのキューをクローズするとき、NATSPOOL は "ページ数" および "出力" ステータスでインデックスレコードを更新します。同一キーに対して複数のインデックスレコードが見つかったため、この要求は失敗しました。
[対処]	出力キューを生成した Natural プログラムを再実行してください。

NAT1570 : NATSPOOL : CSECT "NOMPUT" がありません。

テキスト	NATSPOOL : CSECT "NOMPUT" がありません。
[説明]	NAF から NOM までレポートをルーティングするときに使用する CSECT "NOMPUT" が、 - リンクエディットにありません。または - 違う名前に変更されました。
[対処]	NOMPUT がリンクエディットにあるかチェックしてください。

NAT1572 : 論理プリンタプロファイル :1: がスプールファイルに存在しません。

テキスト	論理プリンタプロファイルがスプールファイルで見つかりません。
[説明]	印刷のために RSO 直接サポートを使用する場合、NAF はスプールファイルから対応する LPF を読みます。CLOSE の処理中、 - LPF が存在しないため、または - Adabas でエラーが発生したため、この LPF を読むことはできませんでした。
[対処]	LPF を読めない理由をチェックしてください。

NAT1573 : 論理プリンタプロファイル :1: がスプールファイルに存在しません。

テキスト	論理プリンタプロファイルがスプールファイルで見つかりません。
[説明]	(1) ユーザーの Natural プログラムで参照した論理プリンタがユーザープロファイルと関連していません。 (2) Natural セッションは NATSPOOL に対して正しい PRINTER パラメータ (PRINTER=(NATSPOOL,...)) 付きで開始されませんでした。 (3) DEFINE PRINTER ステートメントの OUTPUT オペランドが、スプールファイル上に存在しない論理プリンタプロファイルを参照しました。
[対処]	(1) NATSPOOL オペレータコマンドの U 機能を用いてユーザーの論理プリンタプロファイルを定義してください。 (2) NATSPOOL に対して、正しい PRINTER パラメータを定義してください。

NAT1574 : NATSPOOL : ハードコピーに対して物理プリンタが割り当てられていません。

テキスト	NATSPOOL : ハードコピーに対して物理プリンタが割り当てられていません。
[説明]	ハードコピー要求 (%H) がありましたが、物理プリンタが割り当てられていません。ハードコピーを要求する場合、論理プリンタに対して少なくとも1つの物理プリンタの割り当てが定義されている必要があります: 送り先: ユーザー端末の端末 ID 形式: A 割り当てられたプリンタを NATSPOOL ファイルに追加する必要があります。
[対処]	SYSPOOL のハードコピー割り当て機能を用いて、論理プリンタと物理プリンタ間に割り当てを定義してください。

NAT1575 : NATSPOOL : ハードコピー作成のファンクションコードに誤りがあります。

テキスト	NATSPOOL : ハードコピー作成のファンクションコードに誤りがあります。
[説明]	ハードコピーシステムが OPEN、PUT、または CLOSE 以外の要求によって呼び出されました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1576 : NATSPOOL : ハードコピーシステムが使用できません。

テキスト	NATSPOOL : ハードコピーシステムが使用できません。
[説明]	ハードコピーが要求されました (%H) が、次のいずれかが原因で、NATSPOOL はハードコピーをサポートできませんでした。 (1) Natural のリンクエディットにモジュール NATSPOOL が INCLUDE されていません。 (2) Natural の初期化中、ハードコピーシステムに対する GETMAIN が失敗しました。

[対処]	(1) Natural のリンクエディットに NATSPOOL を INCLUDE してください。 (2) 十分なストレージが利用可能であることを確認してください。
------	---

NAT1577 : NATSPOOL : CSECT "NAFPARM" がありません。

テキスト	NATSPOOL : CSECT "NAFPARM" がありません。
[説明]	このエラーの原因は次のいずれかです。 - Natural Advanced Facilities パラメータモジュール NAFPARMC/NAFPARMI がリンクエディットにありません。 - CSECT 命令がパラメータモジュールのソースにありません。 - CSECT 命令の名前が変更されました。 名前は "NAFPARM" でなければなりません。
[対処]	- リンクエディットにパラメータモジュールがあることをチェックしてください。 - パラメータモジュールのソースが正しい/完全であることをチェックしてください。

NAT1578 : ハードコピーのための論理プリンタプロファイルが見つかりません。

テキスト	ハードコピーのための論理プリンタプロファイルが見つかりません。
[説明]	ユーザーが %H を発行する際、NAF には論理プリンタプロファイル (LPF) が必要です。この LPF 名はそれぞれの NAF に応じて、CMTERMID または USRID から作られます。この LPF がセッションの初期化中に見つかりませんでした。 LPF がスプールファイルから削除された可能性があります。
[対処]	LPF を与えてください、または %Hxyz (xyz: 存在する LPF 名) を発行してください。

NAT1579 : NATSPOOL : 論理プリンタ :1: が使用できません。

テキスト	NATSPOOL : 論理プリンタ :1: が使用できません。
[説明]	ユーザーの Natural プログラムの論理プリンタ番号は、現在アクティブなユーザープロファイルに存在しない論理プリンタプロファイルを参照しています。 このセッションが Natural Security によってセキュリティ保護されている場合、このプリンタの使用は、SPOOL プロファイルによって制限されています。
[対処]	プリンタ番号を修正してください。または、Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT1580 : NATSPOOL : FSPPOOL バージョンに互換性がありません (:1: エラー :2:)。

テキスト	NATSPOOL : FSPPOOL バージョンに互換性がありません (... エラー ...)。
[説明]	FSPPOOL にアクセスしようとしているときに、データベースエラー (Adabas/VSAM) が発生しました。 エラー番号は、エラーメッセージ内に示されます。 一般的な原因として、FSPPOOL に、現在の Natural Advanced Facilities バージョンに必要なレイアウト (FDT) が無いことが考えられます。
[対処]	FSPPOOL に正しいレイアウト (DBID/FNR) があることを確認してください。

NAT1581 : NATSPOOL : CSECT :1: がありません。

テキスト	NATSPOOL : CSECT :1: がありません。
[説明]	エラーメッセージ内に書かれた CSECT がリンクエディット内にありません。
[対処]	- NAFIO がない場合は、モジュール NAFAF があるかをチェックしてください。 - NAFBS2FC がない場合は、モジュール NAFSERVR があるかをチェックしてください。

NAT1582 : NATSPOOL : "CLOSE" 中にジョブ番号レコードが見つかりません。

テキスト	NATSPOOL : "CLOSE" 中にジョブ番号レコードが見つかりません。
[説明]	レポートのクローズ時に、NATSPOOL はジョブ番号レコードを更新する必要があります。このレコードが見つかりませんでした。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT1583 : スプールファイルでレポートをクローズできません。

テキスト	スプールファイルでレポートをクローズできません。
[説明]	レポートのクローズ時に、NATSPOOL はジョブ番号レコードを更新する必要があります。このレコードが別のユーザーによって "ホールド" されている場合、NATSPOOL は 10 回再実行します。 その後、このエラーで "クローズ" 処理が終了します。 このエラーは、スプールファイル上に、ステータス NOT CLOSED が割り当てられているレポートがある場合に発生します。 このレポートステータスは、END OF TRANSACTION ステートメントが各アプリケーションに存在しないことを示します。
[対処]	ステータスが NOT CLOSED のレポートのスプールファイルをチェックして、レポートステータス NOT CLOSED が割り当てられた理由を確認してください。

NAT1584 : NATSPOOL : プリンタを開始できません。

テキスト	NATSPOOL : プリンタを開始できません。
[説明]	プリンタを開始するには、NATSPOOL はプリンタステータスを更新する必要があります。このレコードが別のユーザーによって "ホールド" されている場合、NATSPOOL は 10 回再実行します。その後、このエラーで処理は終了します。
[対処]	プリンタを再起動してください。 Adabas レスポンスコード 145 を回避するために、ADARUN の NH パラメータを大きくしてください。

NAT1585 : NATSPOOL : プリンタのステータスを HUNG に設定できません。

テキスト	NATSPOOL : プリンタのステータスを HUNG に設定できません。
[説明]	ステータス HUNG をプリンタに割り当てる場合、NATSPOOL はプリンタステータスを更新する必要があります。このレコードが別のユーザーによって "ホールド" されている場合、NATSPOOL は 10 回再実行します。その後、このエラーで処理は終了します。
[対処]	プリンタレコードが "ホールド" されている原因をチェックしてください。

NAT1586 : 物理プリンタ :1: がスプールファイルで定義されていません。

テキスト	物理プリンタ ... がスプールファイルで定義されていません。
[説明]	端末コマンド "%Hdddddddd" が入力されましたが、出力先 "dddddddd" がスプールファイルで定義されていません。
[対処]	物理プリンタ "dddddddd" をスプールファイルで定義してください。

NAT1588 : NATSPOOL : NAFEXIT4 がエラーを返して、終了しました。

テキスト	NATSPOOL : NAFEXIT4 がエラーを返して、終了しました。
[説明]	ユーザーによって書かれた出口 NAFEXIT4 がエラーを返しました。
[対処]	プログラムをチェックしてください。

NAT1589 : NATSPOOL : NAFEXIT4 が見つかりません。

テキスト	NATSPOOL : NAFEXIT4 は見つかりません。
[説明]	モジュール NAFEXIT4 が Natural ニュークリアスにリンクされていませんでした。
[対処]	インストール環境をチェックしてください。

NAT1590 : NATSPOOL : RSO バッファの GETMAIN できませんでした。

テキスト	NATSPOOL : RSO バッファの GETMAIN に失敗しました。
[説明]	RSO を直接サポートするには、Natural Advanced Facilities に約 3700 バイトのサイズのバッファが必要です。 このバッファを割り当てることができませんでした。
[対処]	インストール環境をチェックしてください。

NAT1591 : NATSPOOL : WRLST マクロが RSO サポートの使用を失敗しました。

テキスト	NATSPOOL : WRLST マクロが RSO サポートの使用に失敗しました。
[説明]	Natural Advanced Facilities の RSO サポートを使用して作成されるレポートは、BS2000 *SYSLST データセットに書き込まれます。 WRLST マクロの実行に失敗しました。
[対処]	プロトコルを切り替えて、エラーをチェックしてください。

NAT1592 : NATSPOOL : PRNT マクロが RSO サポートの使用に失敗しました。

テキスト	NATSPOOL : PRNT マクロが RSO サポートの使用に失敗しました。
[説明]	出力するために閉じられるレポートは、PRNT マクロを使用して RSO にスプールされます。このマクロの実行に失敗しました。
[対処]	プロトコルを切り替えて、エラーをチェックしてください。

NAT1593 : NATSPOOL : RSO サポート (内部の) に対して不正なプリンタ番号です。

テキスト	NATSPOOL : RSO サポート (内部の) に対して不正なプリンタ番号です。
[説明]	モジュール NAFRSO に与えられる内部のプリンタ番号が正しくありませんでした。
[対処]	NAFRSO のアセンブルをチェックして、ダンプを取得してください。

NAT1594 : NATSPOOL : RSO サポート (内部の) に対して不正なファンクションコードです。

テキスト	NATSPOOL : RSO サポート (内部の) に対して不正なファンクションコードです。
[説明]	不正な内部のファンクションコードを使用して、RSO 直接サポートが呼び出されました。
[対処]	NAFRSO のアセンブルをチェックして、ダンプを取得してください。

NAT1595 : NATSPOOL : RSO サポート (内部の) に対してデバイス名が見つかりません。

テキスト	NATSPOOL : RSO サポート (内部の) に対してデバイス名が見つかりません。
[説明]	デバイス名を設定しないで、RSO 直接サポートを ハンドルするためのモジュールが呼び出されました。
[対処]	NAFRSO のアセンブルをチェックして、ダンプを取得してください。

NAT1596 : NATSPOOL : RSO サポートに対して SYSLST の割り当てが失敗しました。

テキスト	NATSPOOL : RSO サポートに対して SYSLST の割り当てが失敗しました。
[説明]	*SYSLST データセットの割り当てに失敗しました。
[対処]	プロトコルを切り替えて、エラーをチェックしてください。

NAT1597 : NATSPOOL : 行は不正な制御文字で始まっています。

テキスト	NATSPOOL : 行は不正な制御文字で始まっています。
[説明]	RSO ダイレクトサポートによってスプールされるレポートの 1 行以上が 有効な制御文字 (改行、用紙送り、など) を含んでいません。
[対処]	プログラムをチェックしてください。

NAT1598 : NATSPOOL : RSO サポートに対して SYSLST の開放が失敗しました。

テキスト	NATSPOOL : RSO サポートに対して SYSLST の解放が失敗しました。
[説明]	プライマリへの *SYSLST の割り当ての再設定が失敗しました。
[対処]	プロトコルを切り替えて、エラーをチェックしてください。

NAT1599 : 存在していないファイルに READ/WRITE WORK を実行しようとしてしました。

テキスト	存在していないファイルに READ/WRITE WORK を実行しようとしてしました。
[説明]	JCL に指定されたワークファイルが存在しません。
[対処]	ワークファイルの割り当てをチェックしてください。

NAT1600 : 正しくないスタック処理が要求されました。

テキスト	正しくないスタック処理が要求されました。
[説明]	正しいスタック機能の詳細については、 『Natural プログラマズガイド』を参照してください。
[対処]	エラーを修正してください。

33

Natural システムエラーメッセージ 1601～1650

NAT1601 : スタックされるデータの長さが 0 か負です。

テキスト	スタックされるデータの長さが 0 か負です。
[説明]	スタックされるデータの長さは正の数を指定しなければなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1602 : スタックが壊れた、またはコマンドが必要です。

テキスト	スタックが壊れた、またはコマンドが必要です。
[説明]	Natural はスタックの先頭からコマンドを読もうとしましたが、1 つも見つかりませんでした。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1603 : スタックが壊れた、またはデータが必要です。

テキスト	スタックが壊れた、またはデータが必要です。
[説明]	Natural はスタックの先頭からデータを読み込もうとしましたが、情報が有効ではありませんでした (STACK=(EX PGM:) のように指定すると生じます)。 データは INPUT ステートメントに対して指定する必要があります。 デフォルトのデータを INPUT フィールドに転送する場合、 存在しない INPUT フィールドにデータを指定してください。デリミタモードではそのデータは無視されます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1604 : スタックが空です。

テキスト	スタックが空です。
[説明]	Natural はスタックからデータを読み込もうとしましたが、スタックは空でした。 - 内部エラーが発生しました。または - スタックが壊されました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1605 : スタックデータがオーバーフローしました。

テキスト	スタックデータがオーバーフローしました。
[説明]	スタックデータの容量がスタックエリアに入りません。最大 999 項目をスタックできます。
[対処]	プログラムをチェックして、スタックするフィールドの数またはサイズを小さくしてください。

NAT1606 : 無効な UTF-16 データです。

テキスト	無効な UTF-16 データです。
[説明]	スタックするデータが、有効な UTF-16 エンコーディングではありません。
[対処]	バイトで表す UTF-16 文字列の長さが、2 の倍数であることを確認してください。

NAT1610 : SET KEY エラー、ファンクションキーが正しく指定されていません。

テキスト	SET KEY エラー、ファンクションキーが正しく指定されていません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1611 : SET KEY エラー、ファンクションキーが使用できません。

テキスト	SET KEY エラー、ファンクションキーが使用できません。
[説明]	選択された SET KEY ステートメントのファンクションキーは Natural に定義されていません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1612 : SET KEY ステートメントに誤りがあります。

テキスト	SET KEY ステートメントに誤りがあります。
[説明]	変数が "SET KEY" の後に指定されましたが、 変数に不正な値があります。 正しい値は、"PA1"~"PA3"、"PF1"~"PF24"、"CLR"、および "ENTR" です。 変数に "ENTR" が含まれているが、 NAMED 節以外の SET KEY ステートメントのオプションが そのキーに適用されている場合に、このエラーが起こります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

34 Natural システムエラーメッセージ 1651~1700

NAT1680 : Natural SAF Security の内部エラー :1: :2:。

テキスト	Natural SAF Security の内部エラー。
[説明]	このエラーの原因は、エラーメッセージ内に表示された理由コードに示されています。主な原因は次のとおりです。 理由 4 - ETID の生成に失敗しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT1681 : NSF サーバー通信エラーレスポンス :1:

テキスト	NSF サーバー通信エラーレスポンス ...。
[説明]	Natural NSF - NSF サーバー通信は、機能していません。
[対処]	管理者に連絡してください。

NAT1682 : NSF :1: システムエラー、理由 :2:

テキスト	NSF ... システムエラー、理由 ...。
[説明]	一般的な問題が発生しました。
[対処]	管理者に連絡してください。

NAT1683 : NSF : ライブラリ :1: へのログオンは拒否されました。

テキスト	NSF : ライブラリ ... へのログオンは拒否されました。
[説明]	このライブラリにログオンする許可を持っていません。 考えられる理由は次のとおりです。 - システムファイル (FUSER/FDIC/FSEC/FNAT) へのアクセスが拒否されました。 - ライブラリへのアクセスが拒否されました。
[対処]	管理者に連絡してください。

NAT1684 : ライブラリ :1: への NSF ログオンに失敗しました。 **steplib :2:** へアクセスできません。

テキスト	ライブラリ ... への NSF ログオンに失敗しました。 steplib ... へアクセスできません。
[説明]	ログオンは、ライブラリプロファイル内に定義された steplib へのアクセス権がないため、拒否されました。
[対処]	管理者に連絡してください。

NAT1685 : ユーザーは無効です。

テキスト	ユーザーは無効です。
[説明]	これについて詳細な説明はありません。
[対処]	セキュリティ管理者に連絡してください。

NAT1686 : NSFSIZE パラメータが指定されていないか、または使用できません。

テキスト	NSFSIZE パラメータが指定されていないか、または使用できません。
[説明]	NSFSIZE パラメータが指定されていないか、または NSFSIZE によって指定されたストレージを NATGWSAF が取得できませんでした。
[対処]	NSFSIZE パラメータが正しく指定されていること、および Natural リージョン/スレッドが十分な大きさであることを確認してください。

NAT1690 : あなたのパスワードは :1: 日前に無効となりました。

テキスト	あなたのパスワードは ... 日前に無効となりました。
[説明]	セキュリティプロファイルによって、パスワードを定期的に変更することが義務付けられています。パスワードの期限が切れています。
[対処]	パスワードを変更してください。

NAT1691 : あなたのパスワードは :1: 日に期限切れになります。

テキスト	あなたのパスワードは ... 日に期限切れになります。
[説明]	メッセージに示された日付の時点で、ユーザーの現在のパスワードは有効でなくなります。
[対処]	パスワードを変更してください。

NAT1692 : ユーザー :1: は認可されません。

テキスト	ユーザー ... は認可されません。
[説明]	クライアント/サーバー環境で、Natural RPC 経由でライブラリにログオンしようとした。ライブラリのセキュリティプロファイルでは、オプション"ログオンオプション" (Natural RPC 制限) が"E"または"S"に設定されています。これは、(例えば、ユーザー出口 USR1071 経由で) RPC サーバーへアクセスするために Natural ユーザー ID が使用された場合、(例えば、ユーザー出口 USR2071 経由で供給された) EntireX ユーザー ID と同一かどうかを Natural Security がチェックすることを意味します。これらのユーザー ID が同一ではなかった場合に、このエラーメッセージが発行されます。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1694 : パスワードは正常に変更されました。

NAT1696 : ライブラリ :1: へのログオンはユーザー ID :2: のため、拒否されました。理由 :3:、:4:。

テキスト	ライブラリ ... へのログオンはユーザー ... のため、拒否されました。理由 ...、...
[説明]	このエラーの原因は、エラーメッセージ内に表示された理由コードに示されています。主な原因は次のとおりです。 理由 1 - NAT0873 : ユーザー ID、またはパスワードが正しくありません。 理由 2 - NAT0818 : ユーザーが見つかりません。 理由 7 - NAT0806 : ライブラリが見つかりません。 理由 8 - NAT0807 : このライブラリへのログオンは許可されていません。 理由 9 - NAT0963 : プログラム実行中のセキュリティ違反。 理由 12 - ライブラリからのログオフに失敗しました。 理由 16 - 内部エラー。 理由 14 - 偽装に失敗しました。 理由 20 - NAT0857 : 当ユーザーは現在ロックされています。 理由 21 - NAT1685 : ユーザーは無効です。 理由 22 - NAT0812 : ユーザー ID プロファイルに内部的な矛盾があります。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT1697 : システムファイルは **Natural Security** 環境でのみアクセスできます。

テキスト	システムファイルは Natural Security 環境でのみアクセスできます。
[説明]	開発サーバーファイルにアクセスしようとしたが、このファイルのセキュリティは Natural Security でアクティブ化されています。 そのようなファイルへのアクセスは、Natural Security によって保護された Natural 環境内でのみ可能です。 アクセスしようとした開発サーバーファイルの Natural 環境は、非セキュリティ環境となっています。
[対処]	Security の管理者に連絡してください。

NAT1698 : 指定された機能を実行する権限がありません。

テキスト	指定された関数の実行を認可されていません。
[説明]	指定された関数の実行を認可されていません。
[対処]	Security の管理者に連絡してください。

NAT1699 : 自動ログオンは、不正なデフォルトライブラリにより失敗しました。

テキスト	自動ログオンは、不正なデフォルトライブラリにより失敗しました。
[説明]	デフォルトライブラリがユーザープロファイルに正しく割り当てられていません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT1700 : このアプリケーションは現在、使用できません。

テキスト	このアプリケーションは現在、使用できません。
[説明]	Natural Security によって、アプリケーションの使用が特定時間に制限されています。 その時間外では使用できません。
[対処]	利用可能な時間を Natural Security 管理者に問い合わせてください。

35

Natural システムエラーメッセージ 1701~1750

NAT1701 : 非アクティビティタイムリミットを超えました。

テキスト	非アクティビティタイムリミットを超えました。
[説明]	このアプリケーション/ユーザーに対して、非アクティビティタイムリミットが定義されています。 最後の画面 I/O と現在の I/O の間の経過時間が、 定義された制限を超えました。 Natural Security は、新たにログオンすることをユーザーに要求しています。
[対処]	Enter キーを押して、新たにログオンしてください。

NAT1702 : ユーザーは更新ステートメントを使用する権限がありません。

テキスト	ユーザーには、更新ステートメントを使用する権限がありません。
[説明]	UPDATE/STORE/DELETE ステートメントを発行しましたが、 現在ユーザーにこのような更新コマンドは許可されていません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1703 : 非アクティビティタイムリミットを超えました。

テキスト	非アクティビティタイムリミットを超えました。
[説明]	このアプリケーション/ユーザーに対して、非アクティビティタイムリミットが定義されています。 トランザクションの開始と現在のデータベースコールとの間の 経過時間が、定義された制限を超えました。 Natural システム変数 *TIME-OUT で有効時間を 確認することができます。
[対処]	トランザクションを再度開始してください。

NAT1704 : ダイアログソースのヘッダーが不正です。

テキスト	ダイアログソースのヘッダーが不正です。
[説明]	ソースコードの第1行目が正しいダイアログヘッダーで構成されていません。
[対処]	ダイアログフォーマットに関するドキュメントを参照してください。

NAT1705 : ダイアログソースフォーマット :1: が不明です。

テキスト	ダイアログソースフォーマット ... が不明です。
[説明]	Natural ダイアログソースのフォーマット識別子 (メッセージに示される) が、正しい形式を示していません。
[対処]	ダイアログフォーマットに関するドキュメントを参照してください。

NAT1706 : 属性 :1: の値が不正です。

テキスト	属性 ... の値が不正です。
[説明]	属性に割り当てられた値は、許可されていません。
[対処]	正しい属性値を指定してください。

NAT1707 : 要素タイプ :2: において、不正な属性 :1: が指定されました。

テキスト	要素タイプ ... において、不正な属性 ... が指定されました。
[説明]	このタイプのダイアログエレメントでは、使用できない属性値です。
[対処]	正しい属性値を指定してください。

NAT1708 : :1: の検索中にエラーが発生しました。

テキスト	... の検索中にエラーが発生しました。
[説明]	そのダイアログソースは、ダイアログエディタで必要なフォーマットと一致しません。必要なフォーマットについては、エラーメッセージに示されています。
[対処]	ダイアログソースを修正してください。

NAT1709 : 変数名 :1: はすでに使われています。

テキスト	変数名 ... はすでに使われています。
[説明]	変数名は、他のダイアログエレメントか定義済みの定数としてすでに使われています。
[対処]	他の変数名を使用してください。ダイアログエディタでは通常、一意の置換が推奨されます。

36 Natural システムエラーメッセージ 1751～1800

NAT1800 : 指定したアーキテクチャの **MCG** モジュールが存在しません。

テキスト	指定したアーキテクチャの MCG モジュールが存在しません。
[説明]	MCG オプションの CPU 節で、使用できるモジュールがないアーキテクチャが指定されています。
[対処]	必要なモジュールを Natural ニュークリアスにリンクするか、または CPU= 節に異なる値を使用します。

37

Natural システムエラーメッセージ 1801～1850

NAT1801 : STMT バッファのメモリ不足 - より大きなスレッドを使用してください。

テキスト	STMT バッファのメモリ不足 - より大きなスレッドを使用してください。
[説明]	Natural Optimizer Compiler で必要となる中間バッファのスレッドまたはアドレススペースが、十分な大きさではありません。
[対処]	もっと大きなスレッドまたはリージョンを使用してください。 オンラインでコンパイルできないことが判明した場合は、バッチでコンパイルしなければならない必要があります。 バッチでは、より多くのメモリをニュークリアスに使用できます。

NAT1802 : ブロックのネストエラー（コンパイラエラー）。

テキスト	ブロックのネストエラー（コンパイラエラー）。
[説明]	プログラム内に存在するネストされたブロックの数が多すぎます。NOC で処理できるのは、128 までのネストブロックです。新しいブロックは、FOR、REPEAT、READ、FIND、HISTOGRAM、READ WORK、DEFINE SUBROUTINE、または AT ステートメントが発生するたびに開始され、ループが閉じられるか、またはブロックが終了すると終了します。
[対処]	ネストされるブロックの数が減るように、プログラムを修正してください。

NAT1803 : パラメータエラー - 未知またはスペルミスのオプションです。

テキスト	パラメータエラー - 未知またはスペルミスのオプションです。
[説明]	<p>OPTIONS MCG= ステートメントのパラメータが、認識されませんでした。現在サポートされているオプションを次に示します。</p> <p>ON OFF IO MIX INDX OVFLW RANGE ZD NODBG LOOPS NOSGNTR ERRDUMP PGEN TRSTMT TRGPT TRMPT TRVDT NOSRCE TREXT CPU=/370 OPTLEV= TRACELEV= LPP=</p> <p>(上記の他にも存在する場合がありますため、最新の NOC doc を参照)。 複数のパラメータはコンマで区切られ、その間にスペースは入れません。 例: OPTIONS MCG=PGEN,OPTLEV=2,TRACELEV=127</p>
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1804 : 生成されたコードのメモリ不足 - より大きなスレッドを使用してください。

テキスト	生成されたコードのメモリ不足 - より大きなスレッドを使用してください。
[説明]	スレッド、リージョン、またはアドレススペースの大きさが、生成されたコードを含むバッファに対して十分ではありません。
[対処]	もっと大きなスレッドまたはリージョンを使用してください。プログラムが非常に大きい場合、より多くのメモリを使用できるバッチモードでコンパイルしなければならない場合があります。

NAT1805 : 割り当てエラー (NOC エラー)。

テキスト	割り当てエラー (NOC エラー)。
[説明]	MOVE または ASSIGN で、非互換性または未知のデータタイプが発生しました。
[対処]	これは、コンパイラエラーです。Software AG 開発に連絡してください。

NAT1806 : トレースデータに十分なメモリがありません。

テキスト	トレースデータに十分なメモリがありません。
[説明]	トレースデータに十分なメモリがありません。
[対処]	より大きいスレッドやリージョンを使用するか、またはトレース対象エリアの前に OPTIONS MCG=+PGEN を使用し、後に OPTIONS MCG=-PGEN を使用することで、トレースする情報を減らしてください。または、ユーザー出口を指定して TREXT オプションを使用してください。

NAT1807 : NOC ランタイムワークバッファの **GETMAIN** に失敗しました。

テキスト	NOC ランタイムワークバッファの GETMAIN に失敗しました。
[説明]	このワークバッファは、COMPRESS ステートメントに使用されており、512 バイトより長い変数を使用して移動をオーバーラップしています。
[対処]	Natural ワークプールのサイズ（プロファイルパラメータ WPSIZE）を増やすか、またはワークプールが使用されていない場合はリージョンのサイズを増やしてください。

38

Natural システムエラーメッセージ 1951～2000

NAT1999 : :1:

テキスト
[説明]	エラー ... が発生しました。

NAT2000 : オプション選択が正しくありません。

テキスト	オプション選択が正しくありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

39

Natural システムエラーメッセージ 2001～2050

NAT2006 : 誤りです。"Y" または "N" を入力してください。

テキスト	誤りです。"Y" または "N" を入力してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

40 Natural システムエラーメッセージ 2151～2200

NAT2192 : 値が指定されていません。

テキスト	値が指定されていません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

41 Natural システムエラーメッセージ 2651～2700

NAT2687 : サブ/スーパーディスクリプタのソースフィールドが **DDM** にありません。

テキスト	サブ/スーパーディスクリプタのソースフィールドが DDM にありません。
[説明]	サブ/スーパーディスクリプタ定義で指定されたフィールドが、DDM でフィールドとして定義されていません。サブ/スーパーディスクリプタは、DDM で定義されたフィールドのみを参照することができます。
[対処]	サブ/スーパーディスクリプタのソースフィールド名をチェックしてください。

42 Natural システムエラーメッセージ 2951～3000

NAT2999 : プログラムは **Predict** に記録されていません。

テキスト	プログラムは Predict に記録されていません。
[説明]	XREF スイッチが FORCE に設定されている場合、カタログする Natural プログラムは、Predict に記録されている必要があります。
[対処]	プログラムを Predict に記録してください。

NAT3000 : データベースからゼロでないレスポンスコードを受け取りました。

テキスト	データベースからゼロでないレスポンスコードを受け取りました。
[説明]	3000 番台の Natural エラーメッセージ (NAT3001～NAT3999) は、データベースのレスポンスコードです。エラーメッセージ "NAT3nnn" は、データベースがコマンドに対してレスポンスコード "nnn" を返したことを示します。 次の原因が考えられます。 - データベースに不正な要求を出しました。 - データベース内で異常が発生しました。
[対処]	レスポンスコードの番号を控えて、データベース管理者に連絡してください。

43

Natural システムエラーメッセージ 3001～3050

NAT3001 : ISN リストがソートされません。 **DB/FNR :1:/:2:** サブコード :3:。

テキスト	ISN リストがソートされません。 DB/FNR .../... サブコード ...。
[説明]	次の理由が考えられます。 - ISN 数が多すぎます。または - 返された ISN 数と実際の検出レコード件数に矛盾があるために ISN リストがソートされませんでした (後者は "セキュリティバイバリュー" (security by value) が使用されている場合にのみ起こります)。 詳細な理由については、サブコードを参照してください。
[対処]	ソートする ISN 数を減らしてください。

NAT3002 : レコードがホールドされません。 **DB/サブコード :1:/:2:**。

テキスト	レコードがホールドされません。 DB/サブコード .../...。
[説明]	ホールドキューに十分なスペースがないため、ISN がホールドされません。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3003 : エンドオブファイルまたはエンドオブリストを検出しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	エンドオブファイルまたはエンドオブリストを検出しました。 DB/FNR .../...。
[説明]	エンドオブファイルまたはエンドオブリスト条件が検出されました。または、プログラムによって試行されたマルチクライアントファイルのレコード読み込み/変更が、空白の、またはそのレコードに関して不正なまたは許可されていないオーナー ID を使用して行われました。
[対処]	詳細については、Adabas ドキュメントを参照してください。

NAT3007 : タイムリミットを超えたので、**Sx** コマンドは中断されました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	タイムリミットを超えたので、Sx コマンドは中断されました。 DB/FNR .../...。
[説明]	許された時間の最大値を超えたので、Sx コマンドは中断されました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3008 : **WORK** のオーバーフローを防ぐためにコマンドは中断されました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	WORK のオーバーフローを防ぐためにコマンドは中断されました。 DB/FNR .../...。
[説明]	保留中のバックアウト操作が原因で、 WORK のオーバーフローを防ぐために現在のユーザーによるコマンドが 中断されました。
[対処]	LP パラメータに指定された値を増加しなければならない場合があります。

NAT3009 : 最新のトランザクションがデータベース:**1**からバックアウトされました。サブコード **:2:**。

テキスト	最新のトランザクションがデータベース ... からバックアウトされました。 サブコード ...。
[説明]	Adabas のタイムリミットを超えたため、またはセキュリティ違反のために、 最新のトランザクションが Adabas によってバックアウトされました。 このエラーは、Adabas OP コマンドが必須 (Adabas パラメータ OPENRQ=YES) であるにもかかわらず、事前に OP コマンドが発行され ずに Adabas コマンドが発行された場合にも発生します。 詳細な理由については、サブコードを参照してください。
[対処]	タイムアウトまたはセキュリティ違反の原因を確認して修正し、トランザクションをもう一度 実行するか、 または、OP コマンドを正しく発行してください。

NAT3010 : ピリオディックグループのオカレンス数が多すぎます。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	ピリオディックグループのオカレンス数が多すぎます。 DB/FNR .../...。
[説明]	ピリオディックグループのオカレンス数が多すぎます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3016 : MC コール処理でエラーが発生しました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	MC コール処理でエラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
[説明]	サブコマンド処理中に MC コールでエラーが発生しました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3017 : ファイル番号が正しくありません。 **DB/FNR :1/:2: サブコード :3:**

テキスト	ファイル番号が正しくありません。 DB/FNR .../...。 サブコード ...。
[説明]	ファイル番号が正しくありません。 考えられる理由は次のとおりです。 - ファイル番号が 0 であるか、または 255 より大きくなっています。 - データベースにファイルが存在しません。 - ファイルがロックされています。 - 必要な Adabas システムファイルがロードされていません。 詳細な理由については、サブコードを参照してください。
[対処]	正しいファイル番号を使用していることを確認してください。

NAT3018 : ファイル番号の使用法が正しくありません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	ファイル番号の使用法が正しくありません。 DB/FNR .../...。
[説明]	連続した L2/L5 コール間でファイル番号が変更されました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3019 : アクセスオンリーとしてオープンされたファイルを更新しようとしてしました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	アクセスオンリーとしてオープンされたファイルを更新しようとしてしました。 DB/FNR .../...。
[説明]	アクセスオンリーでオープンされたファイルを更新しようとしてしました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3020 : CID 値に不正なエントリが指定されました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	CID 値に不正なエントリが指定されました。 DB/FNR .../...。
[説明]	CID 値として、次のような不正なエントリが指定されました。 - X"00000000" - X"40404040" - X"FFxxxxxx"
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3021 : 正しくない CID 値が検出されました。 **DB/FNR :1/:2:** サブコード **:3:**。

テキスト	正しくない CID 値が検出されました。 DB/FNR .../...。 サブコード ...。
[説明]	<p>コマンド ID が見つからなかったため、タイムアウトになりました。 このプログラムエラーの原因は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - CMD ID が別の Ln コマンド (n=1,...9) に指定されました。 - CMD ID が別のファイルに指定されました。 - CMD ID が S8 コマンドに対して見つかりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3022 : コマンド **:4:** が正しくありません。 **DB/FNR :1/:2:** サブコード **:3:**。

テキスト	コマンド ... が正しくありません。 DB/FNR .../...。 サブコード ...。
[説明]	<p>コマンドが正しくありません。 Adabas コントロールブロックのアディション 2 フィールドにサブコードが表示され、 (右端の) 下位 2 バイトに、このレスポンスコードに特有の原因および対処が示されます。 サブコードのドキュメントを参照してください。 LNCSTUB モジュールを使用している場合、このレスポンスコードは、 Adabas CICS コマンドレベルリンクコンポーネントに対するイニシャルコール (IC) に問題が発生した 可能性があることを示します。 Adabas コントロールブロックに "IC" というコマンドコードが存在する場合は、使用されているリンクルーチンが適切なリリースレベルにないか、 またはコマンドレベルバージョンではない可能性があります。</p>
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3023 : 不正な開始 ISN が指定されました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	不正な開始 ISN が指定されました。 DB/FNR .../...。
[説明]	<p>L2/L5 コマンドシーケンスに指定された開始 ISN が正しくありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ISN がファイル内のレコードに割り当てられていません。 - ISN が、ファイルに対する有効な MAXISN よりも大きい値になっています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3024 : 複合 **FIND SORTED** ステートメントに不正な ISN が指定されました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	複合 FIND SORTED ステートメントに不正な ISN が指定されました。 DB/FNR .../...。
[説明]	<p>このエラーは次のいずれかが原因で起きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ISN バッファ内の ISN リストがすでにソートされています。 - ISN バッファ内の ISN リストに無効な ISN が含まれていました。 - ISN 順にソートしようとしたが、"D" オプションが指定されていました。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3025 : S1/S4 で ISN 下限に指定した ISN が見つかりません。 DB/FNR :1/:2:

テキスト	S1/S4 で ISN 下限に指定した ISN が見つかりません。 DB/FNR .../...。
[説明]	S1/S4 (または S2/S9) コマンドで ISN 下限に指定した ISN が見つかりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3026 : ISN バッファ長が正しくありません。 DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:

テキスト	ISN バッファ長が正しくありません。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	S9 コマンドに無効な ISN バッファ長が検出されました。 ISN 数が指定されているが、ソート対象の ISN の数がゼロになっています。 または、S9 コマンドの ISN バッファに、ファイルの TOP-ISN よりも大きな ISN が含まれています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3027 : サーチ/バリュースバッファがオーバーフローしました。 DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:

テキスト	サーチ/バリュースバッファがオーバーフローしました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	サーチバッファ長およびバリュースバッファ長のフィールドに示されたサーチバッファおよびバリュースバッファの合計サイズを収容するのに十分なワークスペースがありません。 または、フォーマット変換の生成に必要なワークスペースがありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3028 : ディスクリプタ :3: が正しくありません。 DB/FNR :1/:2:

テキスト	ディスクリプタ ... が正しくありません。 DB/FNR .../...。
[説明]	次の理由により、L3/L6 または S2/S9 コマンドのディスクリプタが不正です。 - そのフィールドはディスクリプタではありません。 - 連続コール間にディスクリプタが変更されました。 - ピリオディックグループ内にディスクリプタがあります。 - アクション 1 フィールドのディスクリプタが、サーチバッファ内のディスクリプタと異なります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3029 : 正しくない値の再位置決めを試みました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	正しくない値の再位置決めを試みました。 DB/FNR .../...。
[説明]	L3/L6 コマンドで値の再位置決めを試みましたが (アディション1フィールドの7~8バイトには空白が入っている)、 コマンドオプション2フィールドには値 "V" が入っていません。 コマンド ID は解放されます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3034 : 不正なコマンドオプションによる **Adabas** エラー。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	不正なコマンドオプションによる Adabas エラー。 DB/FNR .../...。
[説明]	エラーメッセージで示されているデータベース ID/ファイル番号に、 無効なコマンドオプションが検出されました。
[対処]	無効なコマンドオプションを削除するか、 または正しいコマンドオプションを指定します。 詳細については、Adabas ドキュメントを参 照してください。

NAT3035 : 非クラスタ **Adabas** ニュークリアスの機能が正しくありません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	非クラスタ Adabas ニュークリアスの機能が正しくありません。 DB/FNR .../...。
[説明]	ユーザー/DBA は、Adabas クラスタデータベースにのみ有効な、 非クラスタ Adabas ニュークリアスの機能を実行しようとしてしました。
[対処]	このタイプのニュークリアスに対してこの機能を実行しないでください。

NAT3040 : フォーマットバッファに構文エラーが検出されました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	フォーマットバッファに構文エラーが検出されました。 DB/FNR .../...。
[説明]	構文エラーは次のいずれかです。 -最後のピリオドがありません。 -第1桁目にピリオドがあります。 -長さおよび(または)フォーマットが範囲定義で指定されました。 -不正な項目が検出されました。 -サーチバッファの L9 ディスクリプタ名が、フォーマットバッファの 名前と一致しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3041 : フォーマットバッファにエラーが検出されました。 **DB/FNR/Subc/field :1/:2/:3/:4:**。

テキスト	フォーマットバッファにエラーが発生しました。 DB/FNR/Subc/field .../.../.../...。
[説明]	このエラーは、次のうちの1つ、または複数が原因で起こります。 - フォネティックディスクリプタが指定されました。 - フィールドが正しく指定されていません。 - ピリオディックグループまたはマルチプルバリュースフィールドの添字指定が正しくありません。 - ピリオディックグループの参照が正しくありません。 - マルチプルバリュースフィールドでないフィールドに カウントが指定されました。 - マルチプルバリュースフィールドの添字が正しくありません。 詳細な理由については、サブコードを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3042 : 内部バッファが小さすぎます。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**。

テキスト	内部バッファが小さすぎます。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	スペースの問題が発生しました。次にサブコードとその意味を示します。 1 ワークプールが小さすぎるため、ユーザーフォーマットを格納できません。 2 内部フォーマットバッファが小さすぎるため、内部的な構造に変換されたユーザーフォーマットを格納できません。
[対処]	サブコード 1 : LWP 指定値を大きくし、再試行してください。 サブコード 2 : LFP 指定値を大きくし、再試行してください。

NAT3043 : フォーマット/サーチバッファでディスクリプタが不一致です。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	フォーマット/サーチバッファでディスクリプタが不一致です。 DB/FNR .../.../...。
[説明]	フォーマットバッファに指定されたディスクリプタがサーチバッファに指定されたディスクリプタと一致しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3044 : フォーマットバッファが正しくありません。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**。

テキスト	フォーマットバッファが正しくありません。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
------	--

[説明]	次のいずれかの理由により、更新コマンド（A1/A4）または追加コマンド（N1/N2）で使用するフォーマットバッファが正しくありません。 - フォーマットバッファ指定に誤りがあります（条件フォーマットバッファは更新処理に使用できません）。 - L9 コマンドのフォーマットバッファ形式は他のコマンドに使用できません。 - L9 コマンドにより、フォーマットバッファの条件フォーマットが指定されました。 - 浮動小数点フィールドが4または8以外の長さで指定されました。または、固定小数点フィールドが4以外の長さで指定されました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3045 : フォーマットバッファは 64 KB 以上を必要としています。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	フォーマットバッファは 64 KB 以上を必要としています。 DB/FNR .../...。
[説明]	フォーマットバッファは 64 KB 以上を必要としています。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3046 : Adabas NQCID の最大値を超えました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	Adabas NQCID の最大値を超えました。 DB/FNR .../...。
[説明]	Adabas パラメータ NQCID の最大値を超えました。
[対処]	Adabas 管理者に連絡してください。

NAT3047 : Adabas パラメータ NISNHQ の最大値を超えました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	Adabas パラメータ NISNHQ の最大値を超えました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3048 : オープン処理中にエラーが発生しました。 **DB/サブコード :1/:2:**

テキスト	オープン処理中にエラーが発生しました。 DB/サブコード .../...。
[説明]	Open コマンドの処理中にエラーが発生しました。 Adabas コントロールブロックのアディション2フィールドに表示されるサブコードによって、詳細な原因が表示されます。 サブコードの説明、およびそれぞれに適した対処については、 ニュークリアスレスポンスコードのドキュメントを参照してください。
[対処]	ニュークリアスレスポンスコードのドキュメントを参照するか、 またはデータベース管理者に連絡してください。

NAT3049 : 圧縮されたレコードの長さが長すぎます。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**。

テキスト	圧縮されたレコードの長さが長すぎます。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	<p>圧縮されたレコードの長さが長すぎます。 ファイルに許可された最大レコード長を超えました。 次のサブコードが示される可能性があります。</p> <p>1 マルチプルバリュー (MU) フィールド。 2 ピリオディック (PE) グループフィールド。 3 MU フィールド。 4 PE グループ。 5 PE グループレベル。 6 その他のフィールド。 7 プロテクションロギングに対してレコードが長すぎます (内部エラー)。 10 ロングアルファまたはワイドフィールド。</p>
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3050 : レコードバッファに構文エラーが検出されました。 **DB :1:**。

テキスト	レコードバッファに構文エラーが検出されました。 DB ...。
[説明]	OP コマンド処理中にレコードバッファで構文エラーが検出されました。
[対処]	OPRB パラメータを変更してレコードバッファを修正します。

44

Natural システムエラーメッセージ 3051～3100

NAT3051 : レコードバッファにエラーが検出されました。 **DB :1:**。

テキスト	レコードバッファにエラーが検出されました。 DB ...。
[説明]	OP コマンド処理中にレコードバッファでエラーが検出されました。
[対処]	OPRB パラメータを変更してレコードバッファを修正します。

NAT3052 : バッファの処理中にエラーが発生しました。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**。

テキスト	バッファの処理中にエラーが発生しました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	レコードバッファ、バリュースタック、またはサーチバッファの処理中に次のようなエラーが発生しました。 - P フォーマットフィールドの値がパック 10 進形式ではありません。 - U フォーマットフィールドの値がアンパック 10 進形式ではありません。 - 可変長フィールドに長さパラメータが指定されていません。 - "no null value" (NC/NN) オプションで定義されたフィールドに、値を保持しないフィールドまたは空値を保持するフィールドが見つかったか、あるいは、そのような値をフィールドに格納しようとしました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3053 : レコードバッファサイズが間違っています。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**。

テキスト	レコードバッファサイズが間違っています。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	レコードバッファが、必要なすべての Adabas 値を圧縮形式で格納するのに小さすぎるか、またはレコードバッファサイズが、Adabas ですでに設定されているグローバルフォーマット ID (GFID) のレコードバッファサイズに対応していません。または ISN バッファが小さすぎます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。または、GFID が割り当てられているビューが含まれるローカルデータエリア (LDA) を最初に再カタログしてから、この LDA を使用するプログラムをすべて再カタログしてください。

NAT3054 : レコードバッファが長すぎます。 **DB** / サブコード **:1:/:2:**。

テキスト	レコードバッファが長すぎます。 DB / サブコード .../...。
[説明]	C3、C5、または ET コマンドのレコードバッファが長すぎます。 最大 2048 バイトをチェックポイントファイルに書き込むことができます。 次のサブコード (16 進) が示される場合があります。 1 C3 コマンドのレコードバッファが長すぎます。 2 C5 コマンドのレコードバッファが長すぎます。 3 ET コマンドのレコードバッファが長すぎます。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3055 : 変換できません。 **DB** / **FNR** / サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	変換できません。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
[説明]	互換性のないデータフォーマットまたはその他の互換性の問題が原因で、 フォーマット変換が実行できませんでした。 読み込み操作を実行中、SQL NULL (NC) オプションで定義された フィールドに空値が見つかりましたが、フォーマットバッファは "S" (有意性 NULL) インジケータフィールドを保持していませんでした。 アディクション 2 の 左端 2 バイトにフィールド名 が含まれ、右端 2 バイトにレコードバッファ内 へのオフセットが含まれる場合があります。
[対処]	プログラムのエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3056 : ディスクリプタ値が長すぎます。 **DB** / **FNR** / サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	ディスクリプタ値が長すぎます。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
[説明]	次のいずれかが発生しました： - ディスクリプタ値が長すぎます。 - 照合値が最大値の 253 バイトを超えました。 サブコード "n" は、照合ディスクリプタ出口番号です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3057 : サーチバッファに不正なディスクリプタが指定されました。 **DB/FNR** **:1:/:2:**

テキスト	サーチバッファに不正なディスクリプタが指定されました。 DB/FNR .../...。
[説明]	L9 コマンドのサーチバッファに指定したディスクリプタが正しくありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3058 : フォーマットが見つかりません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	フォーマットが見つかりません。 DB/FNR .../...。
[説明]	フォーマット選択条件内に定義されたフォーマットが見つかりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3059 : サブフィールドのフォーマット変換ができません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	サブフィールドのフォーマット変換ができません。 DB/FNR .../...。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3060 : フィールド :4: に構文エラーが検出されました。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**

テキスト	フィールド ... に構文エラーが検出されました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	フォーマットバッファまたはサーチバッファに構文エラーが検出されました。通常、アディクション2フィールドの最初の2バイトには、エラーが検出されたときに調査中だった2文字が含まれます。エラーの詳細については、(アディクション2フィールドの右端2バイトにも格納されている)サブコードのドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3061 : サーチバッファにエラーが検出されました。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**

テキスト	サーチバッファにエラーが検出されました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	エラーの原因は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> - 要素の順序が正しくありません。 - 指定フィールドがディスクリプタではありません。 - 添字が指定されていないか、正しくありません。 - 部分条件の結合が正しくありません。 - フォネティックディスクリプタの使用 방법이正しくありません。 - ディスクリプタ値の長さが253バイトを超えています。 - ファイル番号が正しくありません。 - 範囲の指定が正しくありません。 詳細な理由については、サブコードを参照してください。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3062 : サーチ/バリューストック長が短すぎます。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	サーチ/バリューストック長が短すぎます。 DB/FNR .../...。
[説明]	サーチおよびバリューストック長フィールドに指定した値が、指定の検索条件の長さを収容するのに十分ではありません。または、サーチバリューストック "." の最初の文字が "." でした。または、サーチバリューストックに "." が含まれていません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3063 : サーチバリューストックに指定されたCID値が見つかりません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	サーチバリューストックに指定されたCID値が見つかりません。 DB/FNR .../...。
[説明]	サーチバリューストックに指定されたCID値が見つかりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3064 : 要求された処理は実行できません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	要求された処理は実行できません。 DB/FNR .../...。
[説明]	要求した機能は、Adabas システムファイルに対して実行できません。
[対処]	ADAREP 出力レポートでシステムファイルのリストを参照してください。

NAT3065 : 内部エラーが発生しました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	内部エラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
[説明]	内部エラーが発生しました。 Adabas ニュークリアスはスペース見積もりにエラーを検出しました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3066 : 変換できないオーナー ID が検出されました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	変換できないオーナー ID が検出されました。 DB/FNR .../...。
[説明]	マルチクライアントファイルでの更新処理中に変換できないオーナー ID が検出されました。 オーナーID が空白か、長すぎます。
[対処]	詳細については、Adabas ドキュメントを参照してください。

NAT3067 : 内部エラーが発生しました。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**

テキスト	内部エラーが発生しました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	Adabas Sxコマンドの実行中に内部エラーが発生しました。 または、スーパーフィールド生成中にエラーが発生しました。
[対処]	すべての関連情報を取得して、Software AG サポートに連絡してください。

NAT3068 : 変換できないオーナー ID か、非ディスクリプタ検索です。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	変換できないオーナー ID か、非ディスクリプタ検索です。 DB/FNR .../...。
[説明]	次のうち 1 つが原因として考えられます。 - マルチクライアントファイルでの更新処理中に 変換できないオーナー ID が検出されました。 オーナーID が空白か、 長すぎます。 - 検索条件に非ディスクリプタフィールドが使用 されましたが、非ディスクリプタ検索機能はオフに 設定されています (デフォルトは "オン") 。
[対処]	任意のマルチクライアントファイルの更新処理でオーナー ID を確認してください。 確認しない場合は、アプリケーションから非ディスクリプタ検索を削除します。

NAT3070 : シーケンシャルコマンドテーブルがオーバーフローしました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	シーケンシャルコマンドテーブルがオーバーフローしました。 DB/FNR .../...。
[説明]	データベース管理者は、LQ パラメータに指定している値を大きくするか、 または RC コマンドを使用してエレメントを解放してください。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3071 : ISN 結果リストテーブルがオーバーフローしました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	ISN 結果リストテーブルがオーバーフローしました。 DB/FNR .../...。
[説明]	データベース管理者は、LI パラメータに指定している値のサイズを大きくするか、 または RC コマンドを使用してエレメントを解放してください。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3072 : ユーザーキューがオーバーフローしました。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**

テキスト	ユーザーキューがオーバーフローしました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	ユーザーキューまたはユーザーファイルリストプールでオーバーフローが発生しました。
[対処]	NU パラメータの値を大きくするように、 データベース管理者に依頼します。

NAT3073 : ISN 結果リストの **WORK** データセットがオーバーフローしました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	ISN 結果リストの WORK データセットがオーバーフローしました。 DB/FNR .../...。
[説明]	ISN 結果リストを格納する WORK データセットのセクションでオーバーフローが発生しました。 データベース管理者は、WORK データセットのサイズを大きくするか、または Adabas セッション中に保存される ISN リストの数を減らします。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3074 : 複合 **FIND** コマンドを処理するためのスペースが **WORK** データセットにありません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	複合 FIND コマンドを処理するためのスペースが WORK データセットにありません。 DB/FNR .../...。
[説明]	複合 FIND コマンドを処理するためのスペースが WORK データセットにありません。 データベース管理者は、WORK データセットのサイズを大きくします。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3075 : 使用できる **ASSO/DATA** エクステントがありません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	使用できる ASSO/DATA エクステントがありません。 DB/FNR .../...。
[説明]	ファイルでアソシエータまたはデータストレージのスペース (エクステント) の追加が必要ですが、最大数である 5 つのエクステントがすでに割り当てられています。このメッセージは、最後の出力の 25% がまだ使用可能なときに、最初に発行されます。このメッセージは無視しないでください。ファイルの使用可能なスペースがなくなることが示されています。データベース管理者は、アソシエータまたはデータストレージのエクステントの再割り当てが必要な場合があります。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3076 : インバーテッドリストのインデックスでオーバーフローが起きました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	インバーテッドリストのインデックスでオーバーフローが起きました。 DB/FNR .../...。
[説明]	最大値は 6 レベルです。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3077 : エクステント用のスペースが十分ではありません。DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:。

テキスト	エクステント用のスペースが十分ではありません。DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	ファイルに新しいアソシエータまたはデータストレージのエクステントが必要でしたが、そのエクステントで使用できるスペースが十分ではありませんでした。 エラーの詳細については、サブコードのドキュメントを参照してください。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3078 : AC ファイルは拡張できません。DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:。

テキスト	AC ファイルは拡張できません。DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	次のいずれかにより、このエラーが発生します。 - AC ファイルは拡張できません。許可されるのは、1つのファイルエクステントだけです。 - ファイルに 16 MB を超える ISN が存在します。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。ファイルが 16 MB の制限に達した場合、4 バイト ISN オプションのファイルまたは拡張ファイルに変換します。

NAT3079 : ADARUN にディスクリプタ出口が指定されていません。DB/FNR :1/:2:

テキスト	ADARUN にディスクリプタ出口が指定されていません。DB/FNR .../...。
[説明]	ADARUN に、照合ディスクリプタ出口 (サブコード "CDX"n : n は 1 バイトのバイナリ照合ディスクリプタ出口番号) またはハイパーディスクリプタ出口 ("ハイパー出口") が指定されていません。詳細については、Adabas のドキュメントを参照してください。
[対処]	CDXnn または HEXnn パラメータを指定して、ADARUN を再発行するか、またはデータベース管理者に連絡してください。

NAT3082 : ハイパー出口ルーチンが無効な ISN を返しました。DB/FNR :1/:2:

テキスト	ハイパー出口ルーチンが無効な ISN を返しました。DB/FNR .../...。
[説明]	ハイパー出口ルーチンが無効な ISN を返しました。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3083 : ハイパーテーブルでオーバーフローが発生しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ハイパーテーブルでオーバーフローが発生しました。 DB/FNR .../...。
[説明]	ハイパーテーブルでオーバーフローが発生しました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3084 : サブディスクリプタまたはスーパーディスクリプタの値が多すぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	サブディスクリプタまたはスーパーディスクリプタの値が多すぎます。 DB/FNR .../...。
[説明]	サブディスクリプタまたはスーパーディスクリプタの値が多すぎます。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3085 : UPDATE/ADD RECORD で、ディスクリプタ値が多すぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	UPDATE/ADD RECORD で、ディスクリプタ値が多すぎます。 DB/FNR .../...。
[説明]	UPDATE/ADD RECORD コマンドで、ディスクリプタ値が多すぎます。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3086 : ハイパーディスクリプタ出口のリターンエラー。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ハイパーディスクリプタ出口のリターンエラー。 DB/FNR .../...。
[説明]	考えられる理由は次のとおりです。 - バック 10 進のディスクリプタ値に対して、無効な符号が作成されました。 - 無効な長さバイトの値が返されました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3087 : Adabas バッファプールの長さエラー。 **DB/FNR/サブコード :1:/:2:/:3:**

テキスト	Adabas バッファプールの長さエラー。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	ADASMP マルチ処理グローバルバッファプールの Adabas バッファプールにエラーが発生しました。 - Adabas バッファプールがロックされています。 Adabas バッファプールが小さすぎるため、 コマンド実行 (パラレル) に必要なすべてのブロックを格納できません。 - ADASMP グローバルバッファプールが小さすぎます。 ADASMP の初期化パラメータ LGBP で指定される ADASMP グローバルバッファプールのサイズは、読み込み/書き込みニュークリアス用の ADARUN LBP パラメータの 4 倍以上である必要があります。 詳細については、『Adabas DBA リファレンスマニュアル』を参照してください。
[対処]	データベース管理者に連絡して LBP または LBP を大きくしてもらってから、 オペレーションを再実行してください。 それでも同じエラーが発生する場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT3088 : **Adabas** ワークプールでコアが不足しています。 **DB/FNR :1/:2:** サブコード **:3:**。

テキスト	Adabas ワークプールでコアが不足しています。 DB/FNR .../... サブコード ...。
[説明]	データベースコマンドの実行中に、ワークプール不足の状況が発生したことが、Adabas から示されます。 詳細な理由が、次のサブコードによって示されます。 1 : 十分な LWP ワークプールスペースがありません。 2 : コマンドを実行するために必要なスペースまたはホールドキューのリソースを取得できませんでした。 4 : ワークプールの更新中にスペースの問題が発生しました。 詳細については、Adabas のドキュメントを参照してください。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3089 : **UQE** はすでに使用されています。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	UQE はすでに使用されています。 DB/FNR .../...。
[説明]	UQE はすでに使用されていますが、同一ユーザーに対して同時に 2 つのコマンドを実行しようとしてしました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3094 : **DDWORKR4** で I/O エラーが発生しました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	DDWORKR4 で I/O エラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
[説明]	DDWORKR4 で I/O エラーが発生しました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3095 : **WORK LP** エリアに I/O エラーが発生しました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	WORK LP エリアに I/O エラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3096 : 修復実行中のエラー。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**。

テキスト	修復実行中のエラー。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	ADARES 修復実行中にエラーが発生しました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3097 : バッファフラッシュ中に I/O エラーが発生しました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	バッファフラッシュ時に I/O エラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3098 : 追加しようとした値はすでに存在しています。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	追加しようとした値はすでに存在しています。 DB/FNR .../...。
[説明]	ユニークなディスクリプタにすでに存在する値を追加しようとしてしました。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3099 : I/O エラーが発生しました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	I/O エラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

45

Natural システムエラーメッセージ 3101～3150

NAT3101 : Adabas のアドオン製品使用中のエラー。DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:。

テキスト	Adabas のアドオン製品使用中のエラー。DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	Adabas System Coordinator、Adabas Fastpath、Adabas Vista、Adabas Transaction Manager、または Adabas SAF Security などのクライアントベースの Adabas アドオン製品のいずれかを使用しているときにエラーが発生しました。 サブコード 1～20 は Adabas Fastpath で生成されます。 サブコード 21～69、32766、および 32767 は Adabas System Coordinator で生成されます。 エラーの解決に役立つサブコードおよびコンソールメッセージの詳細については、適切なアドオン製品のマニュアルを参照してください。
[対処]	該当するドキュメントの記述に従って操作を進めます。

NAT3102 : スペース計算エラー。DB/FNR :1/:2:

テキスト	スペース計算エラー。DB/FNR .../...。
[対処]	OPEN 操作を再試行してください。

NAT3106 : CB に指定されたレコードバッファが小さすぎます。DB/FNR :1/:2:

テキスト	CB に指定されたレコードバッファが小さすぎます。DB/FNR .../...。
[説明]	ユーザーコントロールブロックに指定されたプリフェッチレコードバッファが小さすぎます。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3107：プリフェッチ実行中に、**GETMAIN**エラーが発生したか、または十分なスペースを確保できませんでした。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	プリフェッチ実行中に、GETMAINエラーが発生したか、または十分なスペースを確保できませんでした。 DB/FNR .../...。
[説明]	プリフェッチ実行中に、GETMAIN エラーが発生したか、または十分なスペースを確保できませんでした。プリフェッチ機能を無効にします。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3109：コマンド **ID** は、別のデータベース上でアクティブになっています。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	コマンド ID は、別のデータベース上でアクティブになっています。 DB/FNR .../...。
[説明]	指定されたコマンド ID は、このユーザーに対して別のデータベース上ですでにアクティブになっています。
[対処]	詳細については、Adabas ドキュメントを参照してください。

NAT3110：コマンド **ID** プールがいっぱいになりました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	コマンド ID プールがいっぱいになりました。 DB/FNR .../...。
[対処]	ADARUN の NQCID パラメータまたは NU パラメータのいずれか、または両方のサイズを増やしてください。

NAT3113：指定された **ISN** が正しくありません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	指定された ISN が正しくありません。 DB/FNR .../...。
[説明]	考えられる理由は、次のとおりです。 - HI コマンドの発行時に MINISN より小さい ISN が指定されました。 - N2 コマンドの発行時に、ISN が 0 か、またはそのファイルに対して有効な MAXISN よりも大きい値に指定されました。 - N2 コマンドは発行されましたが、指定された ISN はファイルの他のレコードに割り当てられました。 - 存在しない ISN に対して、A1/A4、L1/L4、E1/E4、または S1/S2/S4 (FB) のいずれかのコマンドが発行されました。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3114 : E1 コマンドが許されていないか、または ISN=0 を指定しました。 DB/FNR :1/:2:

テキスト	E1 コマンドが許されていないか、または ISN=0 を指定しました。 DB/FNR .../...。
[説明]	E1コマンドを使用してのリフレッシュファイル機能を発行したが、コマンドの実行は許されていません。 または、E1コマンドに対してISN=0を指定しました。

NAT3123 : Adabas クラスタサービスからのエラー。 DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:。

テキスト	Adabas クラスタサービスからエラーが返されました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	送信側の Adabas クラスタメッセージングサービスによってエラーが報告されました。メッセージが送信されませんでした。次のサブコードのいずれかが示されることがあります。 4 有効な宛先（複数可）がありません。 8 宛先が多すぎます。 12 メッセージタイプが無効です。 16 環境が無効です。 20 送信バッファ長を超えました。 24 受信バッファ長を超えました。 28 返信または承認（複数可）がありません。 32 AXMCB を割り当てることができません。 36 送信元のシステムでタイムアウトになりました。 40 宛先のシステムでタイムアウトになりました。 他に考えられるサブコードについては、Adabas のドキュメントを参照してください。
[対処]	他に考えられるサブコードについては、Adabas のドキュメントを参照してください。問題を解決できない場合は、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3124 : Adabas クラスタサービスからのエラー。 DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:。

テキスト	Adabas クラスタサービスからエラーが返されました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	受信側の Adabas クラスタメッセージングサービスによってエラーが報告されました。メッセージが送信されました。レスポンスコード 123 で説明されているサブコードのいずれかが示されることがあります。
[対処]	問題を解決できない場合は、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3125 : 1つのクラスタニュークリアスからの内部エラー。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	1つのクラスタニュークリアスからの内部エラー。 DB/FNR .../...。
[説明]	1つのクラスタニュークリアスがニュークリアス間コマンドを他の1つ以上のクラスタニュークリアスに発行しようとしたとき、内部エラーが発生しました。通常この状態は異常終了を引き起こします。
[対処]	Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3126 : ニュークリアス間通信中のエラー。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	ニュークリアス間通信中のエラー。 DB/FNR .../...。
[説明]	ニュークリアス間通信中にメッセージング・エラーが発生しました。 - ニュークリアスは、割り当てられた時間内に応答しませんでした (ADARUN MXMSG パラメータ参照)。 - ブロードキャスト、つまり、複数のターゲットとの通信で 1つ以上の問題が発生しました。この場合、各 ACB にレスポンスコード 0、123、または 124 が含まれています。
[対処]	問題を解決できない場合は、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3129 : サポートされていない機能を実行しようとしてしました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	サポートされていない機能を実行しようとしてしました。 DB/FNR .../...。
[説明]	Adabas クラスタ環境で、ユーザーは、Adabas クラスタニュークリアスによってサポートされていない Adabas 機能を実行しようとしてしました。
[対処]	サポートされていない機能を実行しないでください。

NAT3130 : 内部エラーが発生しました。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**

テキスト	内部エラーが発生しました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	次のサブコードのいずれかによって識別されるエラーが Adabas シスプレックスクラスタ環境で発生しました。 2 MPM 8 コールでユーザーテーブルエントリ (UTE) が見つかりませんでした。 3 MPM 8 コールでコマンドキューエントリ (CQE) が見つかりませんでした。 4 MPM 8 コールで中間ユーザーバッファ (IUB) が見つかりませんでした。 5 MPM 8 コールで Adabas コントロールブロックが見つかりませんでした。 6 ニュークリアスチェーンで無効な UTE です。 7 ユーザーチェーンの追加で無効な UTE です。 8 "lura" チェーン (リモートに割り当てられたローカルユーザーを表す UTE のリンクリスト) の削除で無効な UTE です。 23 無効な CQE です。
[対処]	Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3131 : レプリケーション関連エラー :4:。 DB/FNR/Subc。 :1:/:2:/:3:。

テキスト	レプリケーション関連エラー ...。 DB/FNR/Subc。 .../.../...。
[説明]	Adabas Event Replicator の処理中に、エラーメッセージに示されるように制限されたレスポンスコードが返されました。 サブコードは、報告されたエラー条件を表します。 Event Replicator のドキュメントの「Replication Response Codes」を参照してください。
[対処]	このドキュメントに記載されているように、適切な対処は、レスポンスサブコードで示される特定のエラー条件に依存します。

NAT3132 : LB フィールドの処理中にエラーが発生しました。 DB/FNR/Subc :1:/:2:/:3:。

テキスト	LB フィールドの処理中にエラーが発生しました。 DB/FNR/Subc :1:/:2:/:3:。
[説明]	LB フィールドの処理中にエラーが発生しました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。 詳細な理由については、サブコードを参照してください。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3143 : 要求したロックが許可されませんでした。 DB/FNR :1:/:2:

テキスト	要求したロックが許可されませんでした。 DB/FNR .../...。
[説明]	デッドロックが検出されたため、要求したロックが許可されませんでした。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3144 : 指定された ISN が "ホールド" 状態ではありません。 DB/FNR :1:/:2:

テキスト	指定された ISN が "ホールド" 状態ではありません。 DB/FNR .../...。
[説明]	UPDATE コマンドで指定された ISN がユーザーに対して "ホールド" 状態ではありません。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3145 : 現時点ではレコードを使用できません。 DB/FNR/サブコード :1:/:2:/:3:。

テキスト	現時点ではレコードを使用できません。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	1. Adabas コールが読み込もうとしたレコードが、後続の更新処理のために、別のユーザーに対してすでにホールド状態になっています。 2.別のユーザーに対してホールド状態になり、R オプションが指定されている ISN をホールドしようとしてしました。この場合、アディクション2フィールドには、バイナリの値0が含まれています。 3.ホールドキューがオーバーフローしました。この場合、アディクション2フィールドには、バイナリの値-1 (H"FFFFFFFF")が含まれています。
[対処]	Natural ドキュメントの RETRY ステートメントを参照してください。

NAT3146 : 無効なバッファ長。DB/FNR/サブコード :1/:2/:3。

テキスト	無効なバッファ長。DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	Adabas インターフェイスルーチンによって、無効なバッファ長が検出されました。 サブコードは、バッファタイプを表します。 サブコードのバッファタイトル 1 フォーマットバッファ 2 レコードバッファ 3 サーチバッファ 4 バリユーバッファ 5 ISN バッファ 6 ユーザー情報バッファ 7 パフォーマンスバッファ 8 マルチフェッチバッファ
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3147 : ISN が正しくありません。マイナスになったか、または最大 ISN を超えました。
DB/FNR :1/:2:

テキスト	ISN が正しくありません。マイナスになったか、または最大 ISN を超えました。DB/FNR.../...。
[説明]	ISN が正しくありません。ISN 変換によって、 ISN がマイナスになったか、 またはファイルで使用可能な最大 ISN を超えました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3148 : データベース :1:,Net-Work ID :3: は、現在アクティブではありません。サブコード :2:。

テキスト	データベース ...,Net-Work ID ... は、現在アクティブではありません。サブコード ...。
[説明]	Natural または Natural プログラムがアクセスしようとしたデータベースが、 その時点でアクティブでないか、またはアクセスできません。 詳細については、サブコードを参照してください。
[対処]	データベースを起動するか、またはデータベース管理者に連絡してください。

NAT3150 : 同時にデータベースのたくさんのニュークリアスを使用しています。DB/FNR :1/:2:

テキスト	同時にデータベースのたくさんのニュークリアスを使用しています。DB/FNR .../...。
[説明]	同時にデータベースのたくさんのニュークリアスを使用しています。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

46

Natural システムエラーメッセージ 3151～3200

NAT3151 : コマンドキューがオーバーフローしました。 **DB/FNR/Net-Work ID :1:/2:/3:**。

テキスト	コマンドキューがオーバーフローしました。 DB/FNR/Net-Work ID .../.../...。
[説明]	データベース管理者が NC パラメータの値を大きくするか、またはコマンド処理レベルの低いときにコマンドを発行します。 Entire Net-Work を使用している場合、アディクション 2 フィールドの左端 2 バイト (Adabas コントロールブロック) には、このレスポンスコードを発行した Entire Net-Work ノードの ID も含まれる場合があります。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3152 : 内部ユーザーバッファが小さすぎます。 **DB/FNR :1:/2:**

テキスト	内部ユーザーバッファが小さすぎます。 DB/FNR .../...。
[説明]	内部ユーザーバッファが、ユーザーバッファエリアを格納するのに十分な大きさではありません。データベース管理者は、LU パラメータ値を大きくする必要があります。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3153 : 前の Adabas コールが処理中です。 **DB/FNR :1:/2:**

テキスト	前の Adabas コールが処理中です。 DB/FNR .../...。
[説明]	ユーザーが直前に出したコールの処理が終了する前に、同じユーザーによって "CALL Adabas" が発行されました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3154 : Adabas トリガキューがオーバーフローしました。 DB/FNR :1:/:2:

テキスト	Adabas トリガキューがオーバーフローしました。 DB/FNR .../...。
[説明]	コマンドによって Adabas トリガが起動されましたが、その時点でキューがいっぱいだったので、そのコマンドは拒否されました。
[対処]	コマンドを再試行するか、またはデータベース管理者に連絡してください。

NAT3155 : プレコマンドトリガが失敗しました。 DB/FNR :1:/:2: Name :3:/:4:

テキスト	プレコマンドトリガが失敗しました。 DB/FNR .../... Name .../...。
[説明]	コマンドによってプレコマンドトリガが起動されました。トリガされたプロシージャが 0 以外のコマンドを返したため、コマンドは実行されませんでした。 Name 値はトリガのプロシージャ名を示し、プロシージャによって返されたエラーコードがその後に続きます。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3156 : ポストコマンドトリガが失敗しました。 DB/FNR :1:/:2: Name :3:/:4:

テキスト	ポストコマンドトリガが失敗しました。 DB/FNR .../... Name .../...。
[説明]	コマンドによってポストコマンドトリガが起動されました。トリガされたプロシージャは、プロシージャが正常に実行されなかったことを示す、ゼロ以外のコマンドを返しました。 Name 値はトリガのプロシージャ名を示し、プロシージャによって返されたエラーコードがその後に続きます。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3157 : Adabas のトリガ機能が無効です。 DB/FNR :1:/:2:

テキスト	Adabas のトリガ機能が無効です。 DB/FNR .../...。
[説明]	コマンドによってプレコマンドトリガまたはポストコマンドトリガが起動されましたが、トリガを起動するすべてのコマンドが拒否される状態で Adabas トリガがシャットダウンされています。
[対処]	詳細については、『Adabas メッセージおよびコード』ドキュメントを参照するか、またはデータベース管理者に連絡してください。

NAT3159 : Adabas リンクモジュール :1: がないか、または無効です。

テキスト	Adabas リンクモジュール ... がないか、または無効です。
[説明]	プロファイルパラメータ ADANAME に指定された Adabas リンクモジュールがロードできないか、または無効です。ロードライブラリがないか、または無効です。 あるいは、指定されたモジュールが存在しないか、または正しくリンクされていません。
[対処]	Adabas リンクモジュールを Natural にリンクする必要がある場合は、Natural リンクジョブをチェックしてください。ダイナミックにロードする必要がある場合は、モジュール名とロードライブラリをチェックしてください。

NAT3160 : バッファプール内でアクティブになっている ASSO/DATA ブロックが多すぎます。
DB/FNR :1/:2:

テキスト	バッファプール内でアクティブになっている ASSO/DATA ブロックが多すぎます。DB/FNR .../...。
[説明]	1つのコマンドに対して、Adabas バッファプール内でアクティブとマークされるアソシエータおよびデータストレージのブロックが多すぎます。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3161 : ヘッダーリスト内に不正な RABN チェーンがあります。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	ヘッダーリスト内に不正な RABN チェーンがあります。DB/FNR .../...。
[説明]	Adabas バッファプールのヘッダーリストにある RABN チェーンが正しくありません。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3162 : Adabas バッファプールのヘッダーブロックにスペースがありません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	Adabas バッファプールのヘッダーブロックにスペースがありません。DB/FNR .../...。
[説明]	Adabas バッファプールのヘッダーブロックに、追加用のスペースがありません。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3163 : RABN がすでにチェーン内にあります。 DB/FNR :1/:2:

テキスト	RABN がすでにチェーン内にあります。 DB/FNR .../...。
[説明]	RABN ヘッダーチェーンにリンクしようとした RABN は、すでにチェーン内に存在します。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3164 : コマンドに対して割り当てられているワークエリアが多すぎます。 DB/FNR :1/:2:

テキスト	コマンドに対して割り当てられているワークエリアが多すぎます。 DB/FNR .../...。
[説明]	コマンドに対して割り当てられているワークエリアが多すぎます。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3165 : ディスクリプタ :3: が無効か、または存在していません。 DB/FNR :1/:2:

テキスト	ディスクリプタ ... が無効か、または存在していません。 DB/FNR .../...。
[説明]	ディスクリプタ名が無効か、またはディスクリプタバリューテーブル内に存在していません。 このエラーは、次の場合に ADAREC の再生成中に発生することがあります。 - 不正な FDT でファイルがロードされた。 - SYNP チェックポイントで停止した後、ADAINV が再実行されなかった。 アディション 2 フィールドのバイト 3 およびバイト 4 に、エラーの原因となったディスクリプタの名前が含まれています。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。問題が処理エラーでない場合は、ADAVFY の INDEX オプションを実行して、Software AG サポートに連絡してください。

NAT3166 : インバーテッドリストインデックスでエラーが検出されました。 DB/FNR :1/:2:

テキスト	インバーテッドリストインデックスでエラーが検出されました。 DB/FNR .../...。
[説明]	このエラーの原因として、アソシエータ内の損傷が考えられます。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3167 : カップリングされたファイル内のフィールドが存在しないか、またはカップリングリストが正しくありません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	カップリングされたファイル内のフィールドが存在しないか、またはカップリングリストが正しくありません。 DB/FNR .../...。
[説明]	カップリングされたファイル内のフィールドが存在しないか、またはカップリングリストが正しくありません。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3168 : カップリング処理用の内部 **CID** が見つかりません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	カップリング処理用の内部 CID が見つかりません。 DB/FNR .../...。
[説明]	カップリング処理中に必要な内部 "CID" が見つかりませんでした。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3170 : そのコマンド用の **Adabas RABN** が見つかりません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	そのコマンド用の Adabas RABN が見つかりません。 DB/FNR .../...。
[説明]	そのコマンドに必要な Adabas RABN が見つかりません。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3171 : **Adabas** で使用される定数セットが見つかりませんでした。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	Adabas で使用される定数セットが見つかりませんでした。 DB/FNR .../...。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3172 : **ISN** が **MINISN** より小さいか、または **MAXISN** より大きくなっています。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	ISN が MINISN より小さいか、または MAXISN より大きくなっています。 DB/FNR .../...。
[説明]	ISN がファイルに対して有効な MINISN 設定より小さいか、または MAXISN より大きくなっています。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3173 : 不正なデータストレージ **RABN** が検出されました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	不正なデータストレージ RABN が検出されました。 DB/FNR .../...。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3174 : L2/L5 での開始 **RABN** がアドレスコンバータにありません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	L2/L5 での開始 RABN がアドレスコンバータにありません。 DB/FNR .../...。
[説明]	L2/L5 コマンドでのデータストレージの開始 RABN が、ファイルのアドレスコンバータに含まれていません。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3175 : インデックスとデータストレージが矛盾しています。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	インデックスとデータストレージが矛盾しています。 DB/FNR .../...。
[説明]	インデックスとデータストレージの間で矛盾が検出されました。
[対処]	該当のファイルに対して "チェック" ユーティリティ (特に ADAICK と ADAVAL) を実行し、Software AG サポートに連絡してください。

NAT3176 : **Adabas** サブルーチンのコール、またはインバーテッドリストのエラーです。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	Adabas サブルーチンのコール、またはインバーテッドリストのエラーです。 DB/FNR .../...。
[説明]	Adabas サブルーチンの不正なコール、またはインバーテッドリスト内の矛盾が検出されました。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3177 : 指定されたデータストレージブロック内にレコードが見つかりません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	指定されたデータストレージブロック内にレコードが見つかりません。 DB/FNR .../...。
[説明]	アドレスコンバータによって示されたレコードが、データストレージブロックに見つかりませんでした。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3178 : フィールドの更新中にエラーが検出されました。DB/FNR/サブコード :1:/:2:/:3:。

テキスト	フィールドの更新中にエラーが検出されました。DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	マルチプルバリュースフィールドの更新時に、内部エラーが発生しました。 1 ディスクリプタバリューステーブル (DVT) に矛盾があります。 2 フィールド定義テーブル (FDT) と内部フォーマットバッファとの間に矛盾があります。 3 フォネティックディスクリプタの更新時に矛盾があります。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3179 : 内部エラーです。ID が見つかりません。DB/FNR :1:/:2:

テキスト	内部エラーです。ID が見つかりません。DB/FNR .../...。
[説明]	内部エラーです。WORK パート 3 で ID が見つかりませんでした。
[対処]	詳細については、Adabas ドキュメントを参照してください。

NAT3181 : 自動バックアウト時にトランザクションの開始位置が見つかりません。DB/FNR :1:/:2:

テキスト	自動バックアウト時にトランザクションの開始位置が見つかりません。DB/FNR .../...。
[説明]	"自動バックアウト" の実行時にトランザクションの開始位置が見つかりません。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3182 : 必要な ET データが WORK ブロック内で見つかりません。DB/FNR :1:/:2:

テキスト	必要な ET データが WORK ブロック内で見つかりません。DB/FNR .../...。
[説明]	必要な ET データが、適切な WORK ブロック内で見つかりません。
[対処]	エラーを修正するか、またはデータベース管理者に連絡してください。

NAT3183 : データベース I/O オペレーション用の内部番号が正しくありません。DB/FNR :1:/:2:

テキスト	データベース I/O オペレーション用の内部番号が正しくありません。DB/FNR .../...。
[説明]	データベース I/O オペレーション用に内部的に割り当てられた番号が正しくありません。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3184 : フォネティックフィールド名が見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	フォネティックフィールド名が見つかりません。 DB/FNR .../...。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3185 : ADAM フィールドが圧縮レコードに見つかりませんでした。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ADAM フィールドが圧縮レコードに見つかりませんでした。 DB/FNR .../...。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3197 : ユニークなディスクリプタ値のプールが小さすぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ユニークなディスクリプタ値のプールが小さすぎます。 DB/FNR .../...。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3198 : ユニークなディスクリプタ :3: の値はすでに存在します。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ユニークなディスクリプタ ... の値はすでに存在します。 DB/FNR .../...。
[説明]	ユニークなディスクリプタの値を複製しようとした。 アディクション2フィールドの左端2バイトに、 ディスクリプタ名が含まれている場合があります。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3199 : フィールド :3: のインバーテッドリストインデックスのエラーです。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	フィールド ... のインバーテッドリストインデックスのエラーです。 DB/FNR .../...。
[説明]	UPDATE 処理中にインバーテッドリストインデックスに 矛盾が検出されました。 アディクション2フィールドの左端2バイトに、 ディスクリプタ名が含まれている場合があります。 このレスポンスコードは、 シーケンシャル (SIBA) ログを使用する ADARES BACKOUT オペレーションに、 UTYPE=EXU が指定された場合にも発生することがあります。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3200 : セキュリティ違反。 **DB/FNR/サブコード :1:/:2:/:3:**

テキスト	セキュリティ違反。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
------	-------------------------------------

[説明]	無効なサイファコード、または Adabas か Adabas SAF Security のセキュリティ違反が検出されました。 Adabas SAF Security 処理から、コマンドに必要なセキュリティチェックを満たすことができなかつたため、次のようなサブコードが付加される場合があります。 0 標準ユーザーチェックが失敗しました。 1 ワークステーションユーザーのためのフリーユーザーファイルキャッシュエントリはありません。 2 クロスレベルのセキュリティチェックが失敗しました。 3 このコマンドにセキュリティ情報は使用できません。 4 ワークステーションログオン中にタイムアウトが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

47

Natural システムエラーメッセージ 3201～3250

NAT3201 : 指定したパスワードが見つかりません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	指定したパスワードが見つかりません。 DB/FNR .../...。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3202 : セキュリティファイルへの不正な **Adabas** パスワードです。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	セキュリティファイルへの不正な Adabas パスワードです。 DB/FNR .../...。
[説明]	指定した Adabas パスワードでは、目的の Adabas セキュリティファイルへのアクセス/更新は認められません。 オープントランザクションは Adabas によってバックアウトされます。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3203 : ユーザーはセキュリティファイルへアクセスを認められていません。 **DB/FNR:1/:2:**

テキスト	ユーザーはセキュリティファイルへアクセスを認められていません。 DB/FNR .../...。
[説明]	そのファイルは Adabas Security で保護されています。 そのファイルのレコードを削除するには、正しい Adabas パスワードを指定する必要があります。 オープントランザクションは Adabas によってバックアウトされます。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3204 : パスワードプールがオーバーフローしました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	パスワードプールがオーバーフローしました。 DB/FNR .../...。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3207 : **Adabas ESI** インターフェイスのログオンフェイズ **1** が完了しました。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	Adabas ESI インターフェイスのログオンフェイズ 1 が完了しました。 DB/FNR .../...。
[説明]	Adabas ESI インターフェイスはログオンのフェイズ 1 を完了し、フェイズ 2 を要求しました。
[対処]	フェイズ 2 ログオン要求を ADAESI に送ります。

NAT3208 : フェイズ **1** ログオンを実行してください。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	フェイズ 1 ログオンを実行してください。 DB/FNR .../...。
[説明]	ESI リモートユーザーは、フェイズ 1 ログオンを実行する必要があります。 ログオン ID とパスワードが ADAESI に送られます。
[対処]	そのプラットフォームには正しい Adabas リンクルーチンがインストールされていません。 レスポンスコードは、ワークステーションの Adabas リンクルーチンによってインターセプトされました。フェイズ 1 ログオンが実行されます。

NAT3209 : **Adabas External-Security-Interface** によって、期限切れのパスワードが検出されました。

テキスト	Adabas External-Security-Interface によって、期限切れのパスワードが検出されました。
[説明]	Adabas ESI (External Security Interface) によって、期限切れのパスワードがサーバー上で検出されました。
[対処]	詳細については、『Adabas メッセージおよびコード』を参照してください。データベース管理者に連絡してください。

NAT3210 : 内部エラーが発生しました。 **DB/FNR/Net-Work ID :1/:2/:3:**

テキスト	内部エラーが発生しました。 DB/FNR/Net-Work ID .../.../...。
[説明]	論理 ID が 255 を超えています。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3211 : 内部エラーが発生しました。 **DB/FNR/Net-Work ID :1:/2:/3:**。

テキスト	内部エラーが発生しました。 DB/FNR/Net-Work ID .../.../...。
[説明]	ユーザーバッファ内の ID テーブルインデックスが無効です。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3212 : **Adabas** の内部コマンドに使用される **I/O** バッファが無効です。 **DB/FNR :1:/2:**

テキスト	Adabas の内部コマンドに使用される I/O バッファが無効です。 DB/FNR .../...。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3213 : ID テーブルが見つかりません。 **DB/FNR/Net-Work ID :1:/2:/3:**。

テキスト	ID テーブルが見つかりません。 DB/FNR/Net-Work ID .../.../...。
[説明]	Adabas、特に Adabas SVC のインストール手順が正しく行われていません。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3214 : 内部コマンドが、**ADA V4 ADALINK** から発行されました。 **DB/FNR :1:/2:**

テキスト	内部コマンドが、ADA V4 ADALINK から発行されました。 DB/FNR .../...。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3215 : **Adabas** のバージョンが一致しません。 **DB/FNR :1:/2:**

テキスト	Adabas のバージョンが一致しません。 DB/FNR .../...。
[説明]	Adabas バージョン5 のユーザーバッファまたは AMODE=31 属性をもつ Adabas バージョン4 の ADALINK から、SVC 04/16 コールを受け取りました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3216 : コマンドが拒否されました。 **DB/FNR :1:/2: Net-Work ID :3:**。

テキスト	コマンドが拒否されました。 DB/FNR .../... Net-Work ID ...。
[説明]	Adabas ユーザー出口によってコマンドが拒否されました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3217 : コマンドが拒否されました。 **DB/FNR :1/:2: Net-Work ID :3:**。

テキスト	コマンドが拒否されました。 DB/FNR .../... Net-Work ID ...。
[説明]	Adabas ユーザー出口によってコマンドが拒否されました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3218 : リンクルーチンからのレスポンスコード。 **DB/FNR/Subc :1/:2/:3:**。

テキスト	リンクルーチンからのレスポンスコード。 DB/FNR/Subc .../.../...。
[説明]	リンクルーチンからのレスポンスコード。 DB/FNR/Subc .../.../...。 詳細な理由については、サブコードを参照してください。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3219 : ATM からのレスポンスコード。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**。

テキスト	ATM からのレスポンスコード。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	このレスポンスコードは、Adabas Transaction Manager を使用中の場合にのみ発生します。 2 グローバルトランザクションはコール可能な状態ではありません。 3 トランザクション ID (XID) のエントリが存在しません。 4 "R" および "J" オプションがサポートされていないか、またはグローバルトランザクションではありません。 トランザクション ID (XID) が存在しないか、または見つかりませんでした (指定された XID が、この UQE に属していない場合など)。 5 レコードまたはバリュースタック定義が無効である場合があります (長さサイズが無効など)。 または、バリュースタックの内容が無効である場合があります (トランザクション ID (XID) が無効など)。 6 ユーザーが、更新ユーザーまたは ET ユーザーではないか、またはグローバルトランザクションに関連しています。 サブコードの詳細については、Adabas のドキュメントを参照してください。
[対処]	サブコードの詳細については、Adabas のドキュメントを参照してください。プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3220 : レシービング/リレーノードがコマンド用のバッファを割り付けられません。
DB/FNR :1/:2:

テキスト	レシービング/リレーノードがコマンド用のバッファを割り付けられません。 DB/FNR .../...。
[説明]	レシービング/リレーノードがコマンドを読み込むためのバッファを割り付けられません。 このレスポンスがくり返し起こる場合は、レシービング/リレーノードの アタッチドバッファプールのサイズを大きくしてください (Net-Work CTCS のドキュメントの実行パラメータ "NAB" を参照)。 Adabas コントロールブロックの ACBADD2 フィールドには、 左端 2 バイトでエラーが発生したノードの ID が含まれています。

[対処]	NODE ステートメントの BUFFER パラメータで割り当てられた短期バッファのサイズを増やすか、またはデータベース管理者に連絡してください。
------	--

NAT3221 : レシービングノードが SVC 4 コール時に ABEND をインターセプトしました。
DB/FNR :1/:2:

テキスト	レシービングノードが SVC 4 コール時に ABEND をインターセプトしました。DB/FNR .../...。
[説明]	レシービングノードが Adabas SVC 4 コール時に異常終了をインターセプトしました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3222 : リレーノードで CQE の割り付けができません。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	リレーノードで CQE の割り付けができません。DB/FNR .../...。
[説明]	リレーノードで CQE の割り付けができません (レシービングノードでの Natural エラー NAT3151 と同じ)。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3223 : CTCS レスポンスコード : ノードのループ。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	CTCS レスポンスコード : ノードのループ。DB/FNR .../...。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3224 : レシービング/リレーノードで Adabas コマンドがタイムアウト。 **DB/FNR :1/:2:**

テキスト	レシービング/リレーノードで Adabas コマンドがタイムアウト。DB/FNR .../...。
[説明]	レシービング/リレーノードで Adabas コマンドがタイムアウトになりました。要求に対する応答を待つ時間が、NODE ステートメントまたは SET オペレータコマンドのいずれかで REPLYTIM= パラメータにより指定された時間を上回りました。応答は、遅れているか、またはターゲットの異常または接続リンクの障害が原因で失われている可能性があります。Entire Net-Work では、Natural プロファイルパラメータ ADAMODE の設定 ADAMODE=0 のみがサポートされています。
[対処]	すべての接続をチェックしてエラーを修正するか、Natural プロファイルパラメータ ADAMODE の設定をチェックするか、またはデータベース管理者に連絡してください。

NAT3225 : Entire Net-Work からのレスポンスコード。

テキスト	Entire Net-Work からのレスポンスコード。
[説明]	Entire Net-Work からのレスポンスコード。
[対処]	これらのレスポンスコードの意味と用途については、Entire Net-Work ドキュメントを参照してください。

NAT3226 : Entire Net-Work からのレスポンスコード。

テキスト	Entire Net-Work からのレスポンスコード。
[説明]	Entire Net-Work からのレスポンスコード。
[対処]	これらのレスポンスコードの意味と用途については、Entire Net-Work ドキュメントを参照してください。

NAT3227 : Entire Net-Work からのレスポンスコード。

テキスト	Entire Net-Work からのレスポンスコード。
[説明]	Entire Net-Work からのレスポンスコード。
[対処]	これらのレスポンスコードの意味と用途については、Entire Net-Work ドキュメントを参照してください。

NAT3228 : SVC やデータベースが UES 使用不可能。DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:。

テキスト	SVC やデータベースが UES 使用不可能。DB/FNR/サブコード .../.../...
[説明]	ADALCO は UES に対応していますが、 - SVC は UES に対応していません (アディション 2 のサブコードが x"01")、または - ターゲットデータベースは UES に対応していません (アディション 2 のサブコードが x"02")。
[対処]	Adabas と SVC が V712 レベルであり、データベースが UES に対応していることを確認してください。

NAT3229 : コマンドキューエレメントが無視されました。ユーザーはすでにアクティブです。
DB/FNR :1/:2:

テキスト	コマンドキューエレメントが無視されました。ユーザーはすでにアクティブです。DB/FNR .../...。
[対処]	後で再試行するか、または現在のユーザーをキャンセルしてください。

NAT3230 : X/Open XA 指定のプロトコル違反。 DB/FNR :1/:2:

テキスト	X/Open XA 指定のプロトコル違反。 DB/FNR .../...。
[説明]	X/Open XA 指定によって定義されたプロトコルに違反しています。 例えば、ユーザーが XA トランザクションに対して ET コールを発行しようとする、この違反が発生します。
[対処]	XA 指定に従ってください。

NAT3231 : Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
[説明]	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味はユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
[対処]	詳細については、Adabas ユーザー出口に関するドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3232 : Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
[説明]	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味はユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
[対処]	詳細については、Adabas ユーザー出口に関するドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3233 : Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
[説明]	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味はユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
[対処]	詳細については、Adabas ユーザー出口に関するドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3234 : Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
[説明]	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味はユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
[対処]	詳細については、Adabas ユーザー出口に関するドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3235 : Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
[説明]	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味はユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
[対処]	詳細については、Adabas ユーザー出口に関するドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3236 : Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
[説明]	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味はユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
[対処]	詳細については、Adabas ユーザー出口に関するドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3237 : Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
[説明]	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味はユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
[対処]	詳細については、Adabas ユーザー出口に関するドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3238 : Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
[説明]	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味はユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
[対処]	詳細については、Adabas ユーザー出口に関するドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3239 : Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
[説明]	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味はユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
[対処]	詳細については、Adabas ユーザー出口に関するドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3240 : ATM にエラー :3: が発生しました。 DB/FNR/サブコード :1:/2:/4:。

テキスト	ATM にエラー ... が発生しました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	ATM にエラーが発生しました。 そのエラーコードは、Adabas コントロールブロックのアディクション 2 フィールド内で見つけることができます。 そのレスポンスコードは、アディクション 2 フィールドの最初の 2 バイトにある場合があります。
[対処]	エラーコードの意味をチェックしてください。 問題の原因が明確でない場合は、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3241 : ATM はレスポンスコード :3: を受け取りました。 DB/FNR/Subc。 :1:/2:/4:。

テキスト	ATM はレスポンスコード ... を受け取りました。 DB/FNR/Subc。 .../.../...。
[説明]	ATM は予期しない Adabas レスポンスコードを受け取りました。 そのサブコードとレスポンスコードは、その順番で、 Adabas コントロールブロックのアディクション 2 フィールド内で見つけることができます。 アディクション 2 フィールド内に負の値が表示された場合は、その補数を手に入れてください。これは、ATMによってプロキシに返されたレスポンスコードです。 非メインフレームシステムの場合は、 Adabas ドキュメントを参照してレスポンスコードを確認してください。

[対処]	Adabas レスポンスコードおよびサブコードの意味をチェックしてください。 問題の原因が明確でない場合は、Software AG 技術サポートに連絡してください。
------	---

NAT3242 : ATM トランザクションのステータスエラー :3:。 DB/FNR/サブコード :1:/2:/4:。

テキスト	ATM トランザクションのステータスエラー ...。 DB/FNR/サブコード .../.../...
[説明]	ATM または TM プロキシが、呼び出し元のトランザクションのステータスを判断できませんでした。 Adabas コントロールブロックのアディクション 2 フィールドの下位 (右端) 2 バイトに、ATM エラーが発生した可能性があります。 非メインフレームシステムの場合は、Adabas ドキュメントを参照してレスポンスコードを確認してください。
[対処]	エラーコードが表示されていたら、その意味をチェックしてください。 あるいは、オンラインサービスを使用して、トランザクションのステータスを判断してください。 必要な対処が明確でない場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT3243 : ATM が、要請されていない同期地点要求を受け取りました。 DB/FNR/Subc。 :1:/2:/3:。

テキスト	ATM が、要請されていない同期地点要求を受け取りました。 DB/FNR/Subc。 .../.../...
[説明]	ATM または TM プロキシが、要請されていない同期地点要求を受け取りました。 実行された対処、またはオープンなグローバルトランザクションのステータスは、 Adabas コントロールブロックのアディクション 2 フィールドの下位 (右端) 2 バイトにあるサブコードによって示されます。 非メインフレームシステムの場合は、Adabas ドキュメントを参照してレスポンスコードを確認してください。
[対処]	ATM パラメータモジュールで、パラメータ TMSYNCMGR および TRNCTL を確認します。

NAT3244 : Adabas Transaction Manager によってレスポンスコードが返されました。

テキスト	Adabas Transaction Manager によってレスポンスコードが返されました。
[説明]	Adabas Transaction Manager によってレスポンスコードが返されました。
[対処]	詳細については、Adabas Transaction Manager のドキュメントを参照してください。

NAT3245 : COR からのレスポンスコード。DB/FNR/サブコード :1:/2:/3:。

テキスト	COR からのレスポンスコード。DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	このレスポンスコードは、Adabas への System Coordinator (COR) インターフェイスを使用するアドオン製品 (Adabas Fastpath、Adabas Vista、Adabas SAF Security、および Adabas Transaction Manager) 間の通信に問題が発生した場合に発行されます。 1 内部エラーが発生しました。 2 必要なモジュールをロードできませんでした。これはインストールエラーの可能性ががあります。
[対処]	サブコード 1 については、Software AG 技術サポートに連絡してください。サブコード 2 については、アドオン製品のインストール指示を確認してください。

NAT3246 : ユーティリティコミュニケーションブロック (UCB) がオーバーフローしました。DB/FNR :1:/2:

テキスト	ユーティリティコミュニケーションブロック (UCB) がオーバーフローしました。DB/FNR .../...。
[説明]	ユーティリティコミュニケーションブロック (UCB) がオーバーフローしました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3247 : コミュニケーションブロック内に正しい ID が見つかりません。DB/FNR :1:/2:

テキスト	コミュニケーションブロック内に正しい ID が見つかりません。DB/FNR .../...。
[説明]	ユーティリティコミュニケーションブロック内に正しい ID が見つかりません。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3249 : Adabas Vista からのレスポンスコード。DB/FNR :1:/2: サブコード :3:。

テキスト	Adabas Vista からのレスポンスコード。DB/FNR .../... サブコード ...。
[説明]	詳細については、該当する製品のドキュメントを参照してください。
[対処]	該当するドキュメントの記述に従って操作を進めます。

NAT3250 : ACBX の検証に失敗しました。DB/FNR/サブコード :1:/2:/3:。

テキスト	ACBX の検証に失敗しました。DB/FNR/サブコード .../.../...。
------	---

[説明]	ACBX の検証に失敗しました。 次のサブコードが考えられます。 サブコードの説明 1 サポートされていない ACBX バージョンです 2 UBE なしで ADACBX が指定されました 3 ACBX ファイル番号 > 65,535 4 予約されたフィールドが 0 ではありません 5 ACBX 長が正しくありません
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

48

Natural システムエラーメッセージ 3251～3300

NAT3251：クラスタの処理中にエラーが発生しました。DB/Net-Work ID／サブコード :1/:3/:2。

テキスト	クラスタの処理中にエラーが発生しました。DB/Net-Work ID／サブコード .../.../...。
[説明]	<p>特定の条件下で、ADASVC の Adabas クラスタ SVC (SVCCLU) コンポーネントは、ACB のレスポンスコードフィールドにレスポンスコード 251 を返します。</p> <p>これに加えて、アディション 2 フィールドの下位 (右端) 2 バイトに 16 進数のサブコードも返します。</p> <p>ローカル SVCCLU が条件を検出すると、サブコードは 2～30 になります。</p> <p>リモート SVCCLU が条件を検出すると、サブコードは 102～130 になります。</p> <p>Entire Net-Work を使用している場合、アディション 2 フィールドの左端 2 バイトには、このレスポンスコードを発行した Entire Net-Work ノードの ID も含まれる場合があります。</p>
[対処]	Adabas のシステム管理者に連絡してください。

NAT3252：Adabas SVC 処理中にエラーが発生しました。サブコード :3: DB/FNR :1/:2。

テキスト	Adabas SVC 処理中にエラーが発生しました。サブコード ... DB/FNR .../...。
[説明]	<p>Adabas SVC 処理中にポストエラーが発生しました。</p> <p>詳細な理由については、サブコードを参照してください。</p>
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3253 : バッファの処理中にエラーが発生しました。 **DB/FNR/サブコード :1/:2/:3:**。

テキスト	バッファの処理中にエラーが発生しました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	バッファの処理中にエラーが発生しました。 DB/FNR/サブコード .../.../...。 詳細な理由については、サブコードを参照してください。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3254 : コマンド完了処理でエラーが発生しました。 **DB/FNR/Subc :1/:2/:3:**。

テキスト	コマンド完了処理でエラーが発生しました。 DB/FNR/Subc .../.../...。
[説明]	呼び出し元に結果を返そうとしたときに、 コマンド完了処理で整合性エラーが発生しました。 詳細な理由については、サブコードを参照してください。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3255 : アタッチドバッファの残量がなくなりました。 **DB/FNR/Net-Work ID :1/:2/:3:**。

テキスト	アタッチドバッファの残量がなくなりました。 DB/FNR/Net-Work ID .../.../...。
[説明]	コマンド処理時に、全アタッチドバッファが割り当て済みでした。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3275 : **CALLDBPROC** ステートメントの **PROCEDURE** 名は、英数字である必要があります。

テキスト	CALLDBPROC ステートメントの PROCEDURE 名は、英数字である必要があります。
[説明]	CALLDBPROC ステートメントの PROCEDURE 名は、 英数字フォーマットである必要があります。 英数字の定数と英数字の変数の いずれかを指定してください。
[対処]	CALLDBPROC ステートメントの PROCEDURE 名の指定を修正してください。

NAT3276 ; 結果セットと **Sqlcode** 変数のフォーマットを **I4** にする必要があります。

テキスト	結果セットと Sqlcode 変数のフォーマットを I4 にする必要があります。
[説明]	結果セットと Sqlcode 変数のフォーマットを I4 にする必要があります。
[対処]	結果セットと sqlcode 変数の フォーマット定義を修正します。

NAT3277 : CALLMODE パラメータは、**Natural** と **NONE** のいずれかにする必要があります。

テキスト	CALLMODE パラメータは、Natural と NONE のいずれかにする必要があります。
[説明]	CALLMODE ステートメントの CALLMODE パラメータは、NONE と Natural のいずれかにする必要があります。省略すると、NONE に設定されます。
[対処]	CALLMODE の指定を修正してください。

NAT3278 : CALLDBPROC ステートメントに指定されたパラメータが正しくありません。

テキスト	CALLDBPROC ステートメントに指定されたパラメータが正しくありません。
[説明]	CALLDBPROC ステートメントに指定されたパラメータのいずれかが正しくありません。
[対処]	CALLDBPROC ステートメントのパラメータ指定を修正してください。

NAT3279 : CALLDBPROC ステートメントが正しくありません。

テキスト	CALLDBPROC ステートメントが正しくありません。
[説明]	CALLDBPROC ステートメントに、予期しないキーワードが含まれています。
[対処]	CALLDBPROC ステートメントを修正してください。

NAT3280 : ストアドプロシージャ :2: で :1: が発生しました。

テキスト	ストアドプロシージャ :2: で :1: が発生しました。
[説明]	SQL ストアドプロシージャ :2: の処理中に、Natural エラーメッセージ :1: が発行されました。
[対処]	エラーを分析して、ストアドプロシージャを修正してください。

NAT3281 : ストアドプロシージャ :1: のパラメータ数が、:2:、:3: と異なっています。

テキスト	ストアドプロシージャ ... のパラメータ数が、..... と異なっています。
[説明]	ストアドプロシージャのコントロールブロックに含まれているパラメータの数が、ストアドプロシージャに渡されたパラメータの数と異なっています。これは内部エラーで、"通常は発生しません"。最初の数字は予期されるパラメータ数で、2 番目の数字は実際に受け取られたパラメータの数です。
[対処]	Software AG 顧客サポートセンターに連絡して、プログラムの LISTSQL を知らせてください。

NAT3282 : ストアドプロシージャ :2: が取得したパラメータ説明が正しくありません。

テキスト	ストアドプロシージャ :2: が取得したパラメータ説明が正しくありません。
[説明]	ストアドプロシージャ :2: が、そのコントロールブロックで、正しくないパラメータ説明を受け取りました。これは NDB の内部エラーです。
[対処]	Software AG 顧客サービスセンターに連絡してください。

NAT3283 : ストアドプロシージャ :1: で、**DB2SIZE1** の **GETMAIN** に失敗しました。 **RC :2:**。

テキスト	ストアドプロシージャ ... で、DB2SIZE1 の GETMAIN に失敗しました。 RC ...。
[説明]	DB2SIZE1 バッファの GETMAIN に失敗し、リターンコード :2: が返されました。DB2SIZE1 バッファは、ストアドプロシージャが呼び出される前に、渡されたデータを Natural のストレージエリアにコピーするために使用されます。また、DB2SIZE1 バッファには、渡されたパラメータについての、Natural の内部フォーマット説明も含まれています。
[対処]	Natural スレッドサイズを増やすか、またはストアドプロシージャに渡されたパラメータの数を減らします。あるいは、ストアドプロシージャに渡されたデータの量を減らします。

NAT3284 : ストアドプロシージャ :1: で、返す前に **DB2SIZE1** がなくなりました。

テキスト	ストアドプロシージャ ... で、返す前に DB2SIZE1 がなくなりました。
[説明]	DB2SIZE1 バッファには、呼び出し元から渡されたパラメータのコピーが含まれています。ストアドプロシージャがデータを変更すると、変更後のデータが元の DB2SIZE1 バッファにコピーされてから、呼び出し元に返されます。残念ながら、これでバッファはなくなりました。これは内部エラーです。
[対処]	Software AG 顧客サービスセンターに連絡してください。

NAT3285 : ストアドプロシージャ :1: で、**DB2SIZE1** の **FREEMAIN** に失敗し、リターンコード :2: が返されました。

テキスト	ストアドプロシージャ :1: で、DB2SIZE1 の FREEMAIN に失敗し、リターンコード :2: が返されました。
[説明]	ストアドプロシージャに渡されたデータを保持する DB2SIZE1 バッファの FREEMAIN に失敗し、リターンコード :2: が返されました。これは内部エラーです。
[対処]	Software AG 顧客サービスセンターに連絡してください。

NAT3286 : ストアドプロシージャ :1: の CB バージョンが、:2: , :3: と一致していません。

テキスト	ストアドプロシージャ :1: の CB バージョンが、:2: , :3: と一致していません。
[説明]	ストアドプロシージャが、予期しないコントロール ID を検出しました。 予期していた ID は :2: でしたが、実際に受け取ったのは :3: です。 これは、クライアント側つまり呼び出し側の NDB ソフトウェアとサーバー側の NDB ソフトウェアで、バージョンが一致していないことを示します。
[対処]	両側のソフトウェアを、一致するレベルにアップグレードしてください。

NAT3287 : セット演算子の EXCEPT および INTERSECT が、NDB ではサポートされていません。

テキスト	セット演算子の EXCEPT および INTERSECT が、NDB ではサポートされていません。
[説明]	セット演算子の EXCEPT および INTERSECT が、DB2 および SQL/DS ではサポートされていません。そのため、NDB ではこれらの演算子の使用が拒否されます。DB2 および SQL/DS、したがって NDB でサポートされているセット演算子は UNION のみです。
[対処]	演算子の EXCEPT または INTERSECT を、SELECT ステートメントから取り除いてください。

NAT3288 : 相関節の列名リストが不正です。

テキスト	相関節の列名リストが不正です。
[説明]	相関節の列名リストは丸カッコで囲み、列名はカンマで区切る必要があります。各列名は長い識別子であり、列名リスト内でユニークにする必要があります。
[対処]	列名リストを修正してください。

NAT3289 : FROM 節でのテーブルロケータ参照が不正です。

テキスト	FROM 節でのテーブルロケータ参照が不正です。
[説明]	テーブルロケータ参照は、次の構文に従っている必要があります。 TABLE (table?locator?variable LIKE table?iname) table?locator?variable は、フォーマットを I4 にする必要があります。 table?iname は、有効な DB2 DDM の名前にする必要があります。
[対処]	FROM 節でのテーブルロケータ参照を修正してください。

NAT3290 : FROM 節でのテーブル関数参照が不正です。

テキスト	FROM 節でのテーブル関数参照が不正です。
[説明]	<p>テーブル関数参照は、次の構文に従っている必要があります。</p> <p>TABLE (function 関数名 (expr , ...) correlation 子句</p> <p>左カッコと右カッコの一致をチェックしてください。</p> <p>テーブル関数参照には相関節が必要です。</p> <p>function 関数名 は長い識別子で、</p> <p>schema 関数名 (短い識別子) によって修飾することができます。</p>
[対処]	FROM 節でのテーブル関数参照を修正してください。

NAT3291 : CAST 表現が不正です。

テキスト	CAST 表現が不正です。
[説明]	<p>CAST 表現は、次の構文に従っている必要があります。</p> <p>CAST (expression AS data タイプ)</p> <p>カッコとキーワードの正しい設定をチェックしてください。</p> <p>data タイプ は、組み込みデータタイプと distinct タイプ のいずれかにできます。</p> <p>distinct タイプ は、スキーマ名 (短い識別子) によって修飾可能な長い識別子です。</p>
[対処]	CAST 表現を修正してください。

NAT3292 : QUERYNO として指定された値が不正です。

テキスト	QUERYNO として指定された値が不正です。
[説明]	QUERYNO は、負でない整数として指定する必要があります。
[対処]	QUERYNO に、負でない整数を指定してください。

NAT3293 : スクロール変数の内容はオフセット :1: で無効です。

テキスト	スクロール変数の内容はオフセット ... で無効です。
[説明]	<p>スクロール変数の内容は、次の規則に従っている必要があります。</p> <p><sensitivity> <direction> <integer></p> <p>- <sensitivity> はオプションで、INSENSITIVE または SENSITIVE に設定できます。</p> <p>- <direction> は、NEXT、PRIOR、FIRST、LAST、CURRENT、BEFORE、AFTER、RELATIVE、ABSOLUTE のいずれかに設定できます。デフォルトは NEXT です。</p> <p>- <integer> は、<direction> が RELATIVE または ABSOLUTE の場合に指定する必要があります。</p> <p>-5、0、6 のように、整数にする必要があります。RELATIVE または ABSOLUTE 以外の任意の <direction> で指定することはできません。</p> <p><sensitivity> <direction> <integer> の指定は、1 つ以上の空白でそれぞれを区切る必要があります。</p>
[対処]	スクロール変数の内容を修正してください。

NAT3294 : SENSITIVE STATIC は READ-ONLY カーソルに対して許されません。

テキスト	NAT3294 : SENSITIVE STATIC は READ-ONLY カーソルに対して許されません。
[説明]	SENSITIVE STATIC SCROLLABLE カーソルは、 関連するクエリが READ-ONLY でない場合にのみ使用できます。 UNION、GROUP BY、HAVING、またはネストされた TABLE 表現が 含まれている場合、および READ RESULT SET ステートメントに 使用される場合、クエリは READ-ONLY です。
[対処]	クエリを変更するか、 または INSENSITIVE STATIC SCROLL カーソルに変更してください。

NAT3295 : DATE/TIME ストリング :1: の変換がエラー :2: で失敗しました。

テキスト	DATE/TIME ストリング ... の変換がエラー ... で失敗しました。
[説明]	DB2 から受け取った DATE/TIME ストリングが Natural 日付/時刻の変数に 変換できなかったため、このメッセージに示された Natural エラーで DB2 DATE/TIME ストリングの変換が失敗しました。 例えば、DB2 に格納された 01.01.1582 より前の日付が、Natural 日付変数に 置かれる場合に、このエラーが発生する可能性があります。 また、"00:00 AM" または "24.00.00" である、DB2 TIME ストリングが 取得される場合も発生します。 詳細については、Natural エラーコードを参照してください。
[対処]	Natural によって処理できない DATE/TIME ストリングは使用しないでください。

NAT3296 : 連続した "not found" 条件の制限を超えました。

テキスト	連続した "not found" 条件の制限を超えました。
[説明]	連続した "not found" (sqlcode +100) 条件の制限を超えました。 これは、スクロール可能なカーソルに関係している処理ループ内で、 "not found" 条件の数がその制限を超えた場合に発生します。 制限は 5 です。処理ループは閉じられます。 "not found" 以外の状況が発生したとき、または端末 I/O が発生したときに、 連続した 'not found' 条件のカウンタはリセットされます。 制限チェックは、不要なデータベースループを避けるために実行されます。
[対処]	この状況が発生しないように、プログラムロジックを変更してください。

NAT3297 : NDB :1: 変換は、FC :2: / RC :3: :4: :5: で失敗しました。

テキスト	NDB :1: 変換は、FC :2: / RC :3: :4: :5: で失敗しました。
[説明]	Natural 英数字フィールドを使用する、UNICODE でエンコードされた NDB ストアドプロシージャ (A) が、UTF8 でエンコードされたデータを受け取りましたが、このデータは EBCDIC に変換する必要があります。この変換が、指定されたファンクションコードおよび理由コードで失敗しました。:4: が現在の変換先の長さ、:5: は UTF8 のデータを EBCDIC に完全に変換するために必要な変換先の長さです。
[対処]	技術サポートに連絡してください。

NAT3298 : マルチフェッチ :1: 中のエラー。

テキスト	マルチフェッチ ... 中のエラー。
[説明]	NDB マルチフェッチバッファ (DB2SIZE6) の作成中にエラーが発生しました。エラーメッセージには、エラーの種類が示されています。通常、これは GETMAIN エラーまたは内部エラーです。
[対処]	GETMAIN エラーの場合は、スレッドサイズを大きくするか、またはプログラムで指定されているマルチフェッチ係数を小さくしてください。内部エラーの場合は、Natural サポートに連絡してください。

NAT3299 : Rowset の位置指定には、整数値または変数が必要です。

テキスト	Rowset の位置指定には、整数値または変数が必要です。
[説明]	Rowset の位置指定節には、マルチフェッチバッファのサイズ (行数) を決定する整数値または変数を指定する必要があります。Rowset の位置指定節の構文は次のとおりです。 WITH ROWSET POSITIONING FOR int ROWS "int" には、整数による数値定数、またはフォーマット / 長さ I4 の変数を指定できます。
[対処]	目的に応じて、Rowset の位置指定節を修正してください。

49

Natural システムエラーメッセージ 3351～3400

NAT3400 : 利用できる :1: データベースハンドラがありません。

テキスト	利用できる ... データベースハンドラがありません。
[説明]	データベースを操作するために、特定のデータベースハンドラが割り当てられています。ただし、要求されたデータベースハンドラが使用可能ではありません。 考えられる理由は、次のとおりです。 - データベースハンドラモジュールが Natural にリンクされていません。 - データベースハンドラのバッファサイズに対するセッションプロファイルパラメータがゼロです。 - データベースハンドラの初期化中にエラーが発生しました。 - パラメータモジュール内のマクロ NTDB、または DB パラメータによって、そのデータベースに指定されたデータベースハンドラが間違っています。
[対処]	エラーの理由によって異なります。初期化エラーが発生した場合は、セッションの初期化エラーメッセージを確認してください。

50

Natural システムエラーメッセージ 3401～3450

NAT3401 : :1: に対して **STOW** された **NAT** オブジェクトが、:2: 配下で実行されました。

テキスト	... に対して STOW された NAT オブジェクトが、... 配下で実行されました。
[説明]	Natural オブジェクトを STOW するときに使用された DBID は、データベースタイプ .1. に割り当てられていましたが、ランタイム時にこの DBID はデータベースタイプ .2. に割り当てられていました。
[対処]	STOW 時とランタイム時に使用される DBID は、同じデータベースタイプに割り当てられている必要があります。

NAT3402 : 未知の **DB** レスポンスコード :4:。 **DB/FNR/サブコード** :1:/:2:/:3:。

テキスト	未知の DB レスポンスコード ...。 DB/FNR/サブコード .../.../...。
[説明]	Adabas インターフェイスから未知のレスポンスコードを受け取りました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3403 : **ADAMODE** が :1: から :2: へ変更されました。

テキスト	ADAMODE が :1: から :2: へ変更されました。
[説明]	ADAMODE=:1: で Natural が開始されました。 データベースでこのモードがサポートされないか、またはこのモードで実行するのに必要なリソースを Natural が割り当てることができませんでした。 そのため、Natural は自動的に ADAMODE=:2: に切り替えました。 このメッセージの前に最初のエラーメッセージで、技術的な理由が発行され、LASTMSG コマンドで表示することができます。
[対処]	Natural/Adabas の管理者に連絡してください。

NAT3410 : 利用できる **Natural ICU** ハンドラがありません。

テキスト	利用できる Natural ICU ハンドラがありません。
[説明]	Natural ICU ハンドラを利用できません。 考えられる理由は、次のとおりです。 - ICU ハンドラモジュールが Natural にリンクされていないか、またはロードできません。 - セッションプロファイルパラメータ CFICU が OFF に設定されています。 - Natural ICU の初期化中にエラーが発生しました。
[対処]	エラーの理由によって異なります。初期化エラーが発生した場合は、セッションの初期化エラーメッセージを確認してください。

NAT3411 : コードページ **:1:** が使用できません。

テキスト	コードページ ... が使用できません。
[説明]	ICU (International Components for Unicode) とは、Natural のコードページおよび Unicode をサポートするエンジンです。 コードページは、ニュークリアスにリンクされているデータファイル、またはダイナミックにロードされるデータファイルの ICU に定義されています。コードページが使用できない場合、そのコードページは、使用されているデータファイルの一部ではありません。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3412 : ICU : **:1:** からの内部エラー。

テキスト	ICU : ... からの内部エラー。
[説明]	ICU (International Components for Unicode) とは、Natural のコードページおよび Unicode をサポートするエンジンです。 ICU の内部エラーが発生する理由としては、次の原因が考えられます。 - メモリ割り当てのエラー - プログラムの内部エラー - コンバータの定義ファイルの破損 - データファイル内のリソース欠落
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3413 : 変換エラー : 少なくとも 1 つのコードポイントが変換されていません。

テキスト	変換エラー : 少なくとも 1 つのコードポイントが変換されていません。
[説明]	Unicode 変換中、またはコードページ間の変換中に、コードポイントまたは文字が、目的の変換先コードページに変換できない場合は、コードページ固有の置換文字が使用されます。このメッセージの生成は、SET GLOBALS ステートメントの CPCVERR=ON/OFF オプションによって異なります。
[対処]	変換の入力/ターゲットフィールドの内容をチェックしてください。

NAT3414 :

テキスト	ICU 用に予約済み。
------	-------------

NAT3415 : 変換結果が切り捨てられました。

テキスト	変換結果が切り捨てられました。
[説明]	Unicode 変換中、またはコードページ間の変換中に、受け取りフィールドの結果が切り捨てられました。
[対処]	受け取りフィールドの長さをチェックしてください。

NAT3416 : オペランドの長さおよびフォーマットが、コードページと一致していません。

テキスト	オペランドの長さおよびフォーマットが、コードページと一致していません。
[説明]	Unicode 変換、またはコードページ間の変換の場合、ソース/ターゲットフィールドのフォーマットおよび長さは、対応するコードページと一致している必要があります。 例 1 : ソース/ターゲットフィールドが (Bn) として定義されていますが、対応するコードページのコードポイント当たりの最小バイト数の値が n より大きくなっています。 つまり、フィールドには、コードポイントを 1 つも格納できませんでした。 例 2 : コードポイントの数が多い場合は、コードポイント当たりの最小バイト数と最大バイト数は同一です。 変換の前に、定義された長さにコードポイントが適合しているかどうかチェックされます。適合していない場合は、このメッセージが発行されます。 この処理は、コードポイントの値が切り捨てられないようにするために実行されます。
[対処]	ソースオペランドおよびターゲットオペランドの長さをチェックしてください、

NAT3417 : このコンテキストでは、使用されているコードページ名が不明瞭です。

テキスト	このコンテキストでは、使用されているコードページ名が不明瞭です。
[説明]	MOVE ENCODED ステートメントで指定するターゲットコードページは、明瞭である必要があります。ただし、"UTF-16" または "UTF-32" と指定しても、ターゲットコードページはユニークに識別されません。
[対処]	"UTF-16" ではなく "UTF-16BE" または "UTF-16LE"、あるいは "UTF-32" ではなく "UTF-32BE" または "UTF-32LE" と指定してください。

51 Natural システムエラーメッセージ 3451～3500

NAT3500 : :1: の FCT 定義が不完全です。:2: がありません。

テキスト	... の FCT 定義が不完全です。... がありません。
[説明]	Natural for VSAM には、CICS コマンドを生成するために、CICS ファイルコントロールテーブルの情報が必要ですが、この情報がありません。
[対処]	CICS の管理者に連絡してください。

52

Natural システムエラーメッセージ 3501～3550

NAT3501 : Natural VSAM の内部エラー。モジュール :1:

テキスト	Natural VSAM の内部エラー。モジュール ...。
[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3502 : DDMCHECK=ON と指定されましたが、プログラム :1: は NAT22 でカタログされています。

テキスト	DDMCHECK=ON と指定されましたが、プログラム :1: は NAT22 でカタログされています。
[説明]	オプション DDMCHECK=ON が機能するのは、Natural バージョン 3.1 でカタログされたプログラムのみです。
[対処]	DDMCHECK=OFF と指定するか、またはプログラムをバージョン 3.1 でカタログしてください。

NAT3503 : Natural :1: の内部エラーです。

テキスト	Natural ... 内部エラーです。
[説明]	レコードバッファが小さすぎます。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3504 : ファイル :1:、ENABLESTATUS/RESP :2:、RESP2 :3:。

テキスト	ファイル ...、ENABLESTATUS/RESP ...、RESP2 ...。
[説明]	ENABLESTATUS に問題が発生したため、要求を満たすことができませんでした。 NVSPARM モジュールのパラメータ ENADIS/ENAUNE が "OFF" に設定された場合、ENABLESTATUS がエラーメッセージに示されます。 パラメータ ENADIS/ENAUNE が "ON" に設定された場合、Natural VSAM が EXEC CICS SET ENABLED コマンドを発行しましたが、このコマンドが失敗し、CICS は、エラーメッセージに示されたレスポンスコードを発行しました。
[対処]	CICS の管理者に連絡してください。

NAT3505 : ROLL-IN 処理中にループの再位置決めエラーが発生しました。

テキスト	ROLL-IN 処理中にループの再位置決めエラーが発生しました。
[説明]	ネイティブ AIX 処理で、 ループの再位置決め現在のベースキーが見つかりません。代替インデックスが破壊されたか、 あるいは、このベースキーのレコードが別のユーザーによって削除されたか、 または変更されました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3506 : Natural VSAM に対するステートメントが正しくありません。

テキスト	Natural VSAM に対するステートメントが正しくありません。
[説明]	このステートメントは、このタイプの VSAM データセットには使用できません (KSDS タイプに対する READ PHYSICAL など)。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3507 : USR0100N エラー : :1:。

テキスト	USR0100N エラー : ...。
[説明]	ユーザー出口 USR0100N を呼び出すプログラムに、エラーが含まれています。
[対処]	プログラム呼び出しのエラーを修正してください。

NAT3508 : 論理キーの長さが大きすぎます。

テキスト	論理キーの長さが大きすぎます。
[説明]	対応する DDM に定義されている論理キーおよび接頭辞の長さの合計が、VSAMのキーの最大長より大きくなっています。
[対処]	DDM/プログラムのエラーを修正してください。

NAT3509 : **Natural VSAM** には複合検索条件が許されません。

テキスト	Natural VSAM には複合検索条件が許されません。
[説明]	VSAM ファイルでは、検索条件とファイルのカップリングを結合できません。 有効な検索条件については、Natural ドキュメントの FIND ステートメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3510 : **Natural VSAM** の **FIND** ステートメントの演算子が正しくありません。

テキスト	Natural VSAM の FIND ステートメントの演算子が正しくありません。
[説明]	FIND ステートメントに、VSAM ファイルに対して正しくない検索条件が含まれています。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3511 : サーチバッファが正しくありません。

テキスト	サーチバッファが正しくありません。
[説明]	プログラムのカタログと実行の間に DDM が変更されたか、または FIND ステートメントに、VSAM に適用されない節が含まれています。
[対処]	Natural 管理者に連絡するか、またはプログラムのエラーを修正してください。

NAT3512 : ファイル **:1:** がパスとして定義されていません。

テキスト	ファイル ... がパスとして定義されていません。
[説明]	このセッションに NVSPARM パラメータ PATH=ON が指定されていますが、ファイルが代替インデックスのパスではありません。
[対処]	システム管理者に連絡してください。

NAT3513 : テーブル **:1:** に、**Natural VSAM** のための十分なストレージがありません。

テキスト	テーブル ... に、Natural VSAM のための十分なストレージがありません。
[説明]	固定されたバッファタイプとして定義された、Natural for VSAM の内部テーブルのいずれかが小さすぎます。小さすぎる内部テーブルのアイキャッチャーは、変数に示されています。
[対処]	SYSTP ユーティリティのバッファ使用統計機能を使用して、NVSPARM でどのパラメータを調整する必要があるかを確認してください。

NAT3514 : 更新しようとしたレコードが "ホールド" 状態になっていません。

テキスト	更新しようとしたレコードが "ホールド" 状態になっていません。
[説明]	"ホールド" 状態になっていないレコードに対して、UPDATE ステートメントが発行されました。原因としては、UPDATE ステートメントが FIND FIRST ステートメントを参照したが、何も見つからなかった場合などが考えられます。
[対処]	プログラムを修正するか、または他の検索条件を指定してください。

NAT3515 : UPD テーブルがいっぱいです。

テキスト	UPD テーブルがいっぱいです。
[説明]	更新のためにレコードが読み込まれました。Natural for VSAM が、該当するフィールドを UPD テーブルに保存しようとしたのですが、その UPD テーブルの大きさが、フィールドの格納には不十分というレスポンスを受け取りました。
[対処]	Natural 管理者に連絡して、NVSPARM で UPDL のサイズを大きくしてもらるか、またはトランザクションごとに保持されるデータの量を減らすようにプログラムを変更してください。

NAT3516 : File : :1: Cmd : :2: Cond : :3: Rc : :4:。

テキスト	File : ... Cmd : ... Cond : ... Rc : ...。
[説明]	Natural for VSAM は、CICS から予期しないレスポンスを受け取りました。 File : DDM から取り出される関連データセットの名前。 Cmd : Natural for VSAM によって発行される CICS コマンドのニーモニック。 Cond : CICS 条件のニーモニック。 Rc : VSAM のリターンコード、および EIB から取り出されるエラーコード (CICSによって提供された場合)。
[対処]	詳細については、CICS および VSAM に関する IBM のドキュメントを参照してください。

NAT3517 : ESDS ファイル :2: へのパス :1: に対する UPDATE ループはサポートされていません。

テキスト	ESDS ファイル ... へのパス ... に対する UPDATE ループはサポートされていません。
[説明]	CICS は、ESDS ファイルへのパスアクセスをサポートしていますが、そのオプションは制限されています。ESDS ベースレコードの関連 RBA は、CICS による READNEXT/READPREV パスコールから返されないため、UPDATE はできません。
[対処]	この場合は、ネイティブ AIX ファイル処理を使用してください。

NAT3518 : **Natural VSAM** のフォーマットバッファのエラー。

テキスト	Natural VSAM のフォーマットバッファのエラー。
[説明]	Natural プログラムのカタログと実行の間に DDM が変更されました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3519 : **INSERT** のフォーマットバッファのエラー。ベースキーが省略されています。

テキスト	INSERT のフォーマットバッファのエラー。ベースキーが省略されています。
[説明]	STORE ステートメントで、KSDS ファイルに対するベースキーが指定されていませんでした。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3520 : 保持されている **VSAM** レコードが、別のトランザクションによって変更されました。

テキスト	保持されている VSAM レコードが、別のトランザクションによって変更されました。
[説明]	UPDATE に対して前回の READ/FIND によって保持されたレコードが、別のトランザクションによって変更されました。
[対処]	同時実行制御の問題に対するアプリケーションの処理を変更するか、または ON ERROR 節で RETRY ステートメントを発行して、このエラー状況を無視してください。

NAT3521 : 変数順序で、アクティブな **READ** の方向が変更されました。

テキスト	変数順序で、アクティブな READ の方向が変更されました。
[説明]	アクティブな READ ループで、昇順/降順が降順/昇順に変更されました。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3522 : ファイル :1: の **DD/DLBL** 名が、**JCL** ストリームに定義されていません。

テキスト	ファイル :1: の DD/DLBL 名が、JCL ストリームに定義されていません。
[説明]	NVSPARM のパラメータ PATH=CHECK は指定されていますが、ファイルがシステムに定義されていません (CICS に FCT エントリがない、Com-plete に UFILE エントリがない、または他のいずれの環境にも JCL カードがない)。
[対処]	システム管理者に連絡してください。

NAT3523 : :1: "LA" レコードを挿入しましたが、"LB" フィールドを指定していません。

テキスト	... "LA" レコードを挿入しましたが、"LB" フィールドを指定していません。
[説明]	システムファイルに LA レコードを挿入しましたが、LB フィールドが省略されています（内部エラー）。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 必要な場合は、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3524 : 挿入時または更新時に、VSAM の最大レコード長を超えました。

テキスト	挿入時または更新時に、VSAM の最大レコード長を超えました。
[説明]	許容されている最大値より長いレコードに対して挿入または更新を要求したか、または "固定長" レコードの長さを増やそうとしました。
[対処]	VSAM クラスタおよび DDM で、レコード長の定義をチェックしてください。

NAT3525 : OPEN ユーティリティがアクティブです。NVSPARM の OPSUPP=ON を指定してください。

テキスト	OPEN ユーティリティがアクティブです。NVSPARM の OPSUPP=ON を指定してください。
[説明]	ユーザー出口 USR2008P がアクティブですが、NVSPARM のパラメータ OPSUPP=OFF が指定されています。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3526 : :1: で "LB" サブファイルを読み込みましたが、他の "DE" が指定されています。

テキスト	... で "LB" サブファイルを読み込みましたが、他の "DE" が指定されています。
[説明]	これは、Natural for VSAM、Natural for ISAM、または Natural for LEASY の内部エラーです。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 必要な場合は、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3527 : Natural :1: の内部エラーです。

テキスト	Natural ... 内部エラーです。
[説明]	Natural for VSAM、Natural for ISAM、または Natural for LEASY の内部エラーです。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3528 : 指定されている **:1: "DE"** がセカンダリではありません。

テキスト	指定されている ... "DE" がセカンダリではありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3529 : **HISTOGRAM** のフィールドは、ディスクリプタである必要があります。

テキスト	HISTOGRAM のフィールドは、ディスクリプタである必要があります。
[説明]	HISTOGRAM の有効な構文については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3530 : Natural **:1: :2:** には **UPD=OFF** が許されません。

テキスト	Natural には UPD=OFF が許されません。
[説明]	DDM と NVSPARM モジュールの間に矛盾があります。 - Natural VSAM : NVSPARM モジュールにパラメータ UPD=OFF が設定されている場合は、論理ファイルはサポートされません。 - Natural ISAM : NVSPARM モジュールにパラメータ UPD=OFF が設定されている場合は、ISAM ファイルで重複しているキーはサポートされません。
[対処]	DDM または NVSPARM モジュールを変更してください。

NAT3531 : Natural **:1:** に与えられたコマンド ID で **1** つもエントリが見つかりませんでした。

テキスト	Natural ... に与えられたコマンド ID で 1 つもエントリが見つかりませんでした。
[説明]	これは、Natural for VSAM、Natural for ISAM、または Natural for LEASY の内部エラーです。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3532 : ファイル **:1:** が、**CICS** に認識されていません。

テキスト	ファイル ... が、CICS に認識されていません。
[説明]	VSAM の INQUIRE コマンドに対して、CICS が Natural の DSIDERR 状況を返しました。
[対処]	CICS の管理者に連絡してください。

NAT3533 : ファイル :1: の VSAM レコードが、別の端末から削除されました。

テキスト	ファイル ... の VSAM レコードが、別の端末から削除されました。
[説明]	UPDATE がレスポンスを待っている間に、別の端末ユーザーまたはバッチユーザーが、問題のレコードを削除したか、または代替インデックスが破壊されています。
[対処]	アプリケーションのロジックまたはファイル構造をチェックしてください。

NAT3534 : ファイル :1: に VSAM レコードが重複しています。

テキスト	ファイル ... に VSAM レコードが重複しています。
[説明]	ユニークキー VSAM、ISAM、または LEASY データセットに、重複したレコードを書き込もうとしました。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3535 : Natural :1: でエンドオブファイル条件が発生しました。

テキスト	Natural ... でエンドオブファイル条件が発生しました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3536 : :1: エラー、フィードバックコード :2:、ファイル :3:。

テキスト	... エラー、フィードバックコード ...、ファイル ...。
[対処]	フィードバックコード (RPLERRCD) の詳細については、IBMのドキュメントを参照してください。

NAT3537 : :1: 失敗、リターン/理由コード :2:/:3:。

テキスト	... 失敗、リターン/理由コード .../...。
[説明]	Natural for VSAM には、(I/O エリアなどとして) VSIZE の外に一時ストレージエリアが必要でした。適切な GETMAIN 要求または FREEMAIN 要求が失敗しました。リターンコードは NATGETM から、理由コードはシステムから与えられます。
[対処]	利用可能なストレージを増やしてください。

NAT3538 : CICS からのレスポンス : INVREQ。

テキスト	CICS からのレスポンス : INVREQ。
[説明]	CICS のファイルコントロールテーブル (FCT) でのデータセットエントリの指定に従い、このステートメントは許可されません。 Natural セッションが DU=ON で実行されている場合は、NAT3538 でなく、トランザクションダンプの設定された NV63 ABEND が強制されます。
[対処]	CEDF を使用してこの問題の原因を調べるか、または DU=ON でセッションを開始し、ダンプでトレーステーブルを分析してください。

NAT3539 : ファイル :1: が :2:、:3: ではありません。

テキスト	ファイル ... が ...、... ではありません。
[説明]	オープン/クローズのエラーです。Natural for VSAM で利用可能な場合は、エラーメッセージに元のリターンコードが示されます。リターンコードの詳細については、IBM の該当ドキュメントを参照してください。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3540 : VSAM ファイル :1: にスペースがありません。

テキスト	VSAM ファイル ... にスペースがありません。
[説明]	VSAM ファイルを再編成する必要があります。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3541 : ファイル:1: のコントロールインターバル/レコードが、別のユーザーによって保持されています。

テキスト	ファイル...のコントロールインターバル/レコードが、別のユーザーによって保持されています。
[対処]	アプリケーションのトランザクションロジックをチェックするか、または ON ERROR 節で RETRY を発行して、このエラー状況を無視してください。

NAT3542 : ファイル :1: のプライマリキーは修正してはいけません。

テキスト	ファイル ... のプライマリキーは修正してはいけません。
[説明]	プライマリキーエリアの修正は認められていません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3543 : ファイル :1: のレコード長が不正か、または長さが固定として定義されています。

テキスト	ファイル ... のレコード長が不正か、または長さが固定として定義されています。
[説明]	レコード長が、レコードの最大サイズを超えているか、 またはレコードの最小サイズより短くなっています。 AIX ファイルでは、レコード長が、 新しい代替インデックスのキーポイントを格納するには不十分です。
[対処]	DDM および VSAM のファイル定義をチェックしてください。 ファイルが UPGRADE セットのメンバである場合は、CI の最大サイズを増やすか、 またはファイルを大きくしてください。

NAT3544 : END of TRANSACTION が成功しませんでした。RC : :1:。

テキスト	END of TRANSACTION が成功しませんでした。RC : ...。
[説明]	CICS では、例えばリモートシステムの同期エラーが原因で このエラーが発生する可能性があります。 DFSMSStvs では、プログラムエラーまたは環境エラーが発生しているか、 Resource Recovery Service (RRS) を利用できません。
[対処]	CICS では、CEDF を使用してこのエラーの原因を判定します。 DFSMSStvs では、Callable RRS に関する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3545 : BACKOUT of TRANSACTION が成功しませんでした。RC : :1:。

テキスト	BACKOUT of TRANSACTION が成功しませんでした。RC : ...。
[説明]	CICS では、例えばリモートシステムの同期エラーが原因で このエラーが発生する可能性があります。 DFSMSStvs では、プログラムエラーまたは環境エラーが発生しているか、 Resource Recovery Service (RRS) を利用できません。
[対処]	CICS では、CEDF を使用してこのエラーの原因を判定します。 DFSMSStvs では、Callable RRS に関する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3546 : 入力のためにファイル :1: を開きましたが、:2: は許可されていません。

テキスト	入力のためにファイル ... を開きましたが、... は許可されていません。
[対処]	このデータベースに対して OPRB パラメータを "O" (出力) に設定するか、 または OPRB パラメータを省略してください。 NATPARM パラメータ NTDB の READ オプションをチェックしてください。

NAT3547 : FCT テーブルがオーバーフローしました。

テキスト	FCT テーブルがオーバーフローしました。
[説明]	Natural for VSAM の内部ファイルコントロールテーブルがいっぱいです。
[対処]	NVSPARM モジュールのパラメータ TAFE を大きくしてください。

NAT3548 : BACKOUT TRANSACTION を実施できなくなりました。

テキスト	BACKOUT TRANSACTION を実施できなくなりました。
[説明]	<p>プログラムに設計ミスがあり、すでにコミットされている更新のバックアウトを試みています。</p> <p>最も可能性の高い原因として、端末 I/O によって、論理トランザクションが強制終了されたことが考えられます。</p> <p>これは、BACKOUT TRANSACTION ステートメントが実行されたときに、TP モニタによって、コマンドがすでに内部で実行されていたということです。</p> <p>それでも、Natural VSAM が BACKOUT TRANSACTION を実行しました。すなわち、BACKOUT TRANSACTION の実際の範囲が予期した範囲と異なります。</p>
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3549 : ユーザー出口 :1: にワーキングストレージを割り当てられません。

テキスト	Nユーザー出口 ... にワーキングストレージを割り当てられません。
[説明]	Natural の内部バッファ CFWSIZE がオーバーフローしています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3550 : システムファイル内に DDM :1: が見つかりません。

テキスト	システムファイル内に DDM ... が見つかりません。
[説明]	Natural for VSAM は実行時に DDM も使用しますが、実行時に、要求された DDM が現在の FDIC システムファイルに存在していませんでした。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

53

Natural システムエラーメッセージ 3551～3600

NAT3551 : DDM :1: が破壊されています。

テキスト	DDM ... が破壊されています。
[説明]	FDIC 上のレコードが破損しています。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3552 : 物理 VSAM DDM のための重複ファイル番号は許可されていません。

テキスト	物理 VSAM DDM のための重複ファイル番号は許可されていません。
[説明]	物理 DDM のファイル番号はユニークでなければなりません。 重複するファイル番号は、ユーザービューの ファイル番号と関連する物理（論理）DDM のファイル番号が同じでなければならない ユーザービューの場合にのみ許可されます。
[対処]	ファイル番号を修正するか、またはユーザービューの場合は、 DDM に "USERVIEW=Y" を指定してください。

NAT3553 : 与えられたファイル番号の物理 VSAM ファイルがありません。

テキスト	与えられたファイル番号の物理 VSAM ファイルがありません。
[説明]	論理ファイルを構築するときには、CATALOG アクション中に、 関連する物理ファイルのファイル番号を指定する必要があります。
[対処]	関連する物理ファイル（DDM）が存在しているかどうかを確認してください。

NAT3554 : ユーザービューに指定した **VSAM** ファイルは存在しません。

テキスト	ユーザービューに指定した VSAM ファイルは存在しません。
[説明]	ユーザービューの作成時に使用するファイル番号は、既存の物理ファイルを示している必要があります。
[対処]	正しいファイル番号を使用してください。

NAT3555 : ファイル **:1:** には文字列を使用できません。

テキスト	ファイル ... には文字列を使用できません。
[説明]	ファイルにアクセスしたときに、VSAM が "文字列なし" 状態を返しました。
[対処]	プログラムを変更して、ファイル内に維持する現在位置を減らすか、あるいは、ファイル定義またはリージョンサイズを変更して、定義または許可する文字列を増やしてください。

NAT3556 : ファイル **:1:** に対する **I/O** が発行されました。出口 **:2: :3:**。

テキスト	ファイル ... に対する I/O が発行されました。出口。
[説明]	VSAM ファイルに対する I/O が発行されました。この I/O の前か後に、ユーザー出口プログラムがコントロールを受け取り、エラー条件を検出しました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3557 : 存在していない **VSAM** レコードに対して、**GET** ステートメントが発行されました。

テキスト	存在していない VSAM レコードに対して、GET ステートメントが発行されました。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3558 : **Com-plete SYSPARM** の値 **VSAMRPL** を超えました。

テキスト	Com-plete SYSPARM の値 VSAMRPL を超えました。
[対処]	システム管理者に連絡してください。

NAT3559 : **Natural :1:** のリンクエディットにバージョンが適合していません。

テキスト	Natural ... のリンクエディットにバージョンが適合していません。
[説明]	Natural リンクエディットに含まれるモジュールは、すべて同じバージョンである必要があります。
[対処]	Natural ニュークリアスおよび／または NVSPARM モジュールをチェックします。

NAT3560 : 対応するシステムファイル **TAF** がリンクされていません。

テキスト	対応するシステムファイル TAF がリンクされていません。
[説明]	アクセスされているシステムファイル (TAF) の記述を含むロードモジュールが、Natural for VSAM のインターフェイスにリンクされていません。
[対処]	Natural for VSAM に対するリンクエディットを修正してください。

NAT3561 : システムファイル処理中の内部エラー。:1: が見つかりません。

テキスト	システムファイル処理中の内部エラー。... が見つかりません。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3562 : システムファイルの **DD/DLBL** 名が指定されていません。

テキスト	システムファイルの DD/DLBL 名が指定されていません。
[説明]	Natural の内部エラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3563 : システムファイルの **DD/DLBL** 名は、7 文字を超えてはいけません。

テキスト	システムファイルの DD/DLBL 名は、7 文字を超えてはいけません。
[対処]	NATPARM パラメータ設定を修正してください。

NAT3564 : このタイプのシステムファイルはサポートされていません。

テキスト	このタイプのシステムファイルはサポートされていません。
[説明]	アクセスしようとしたタイプのシステムファイルは、Natural for VSAM でサポートされていません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3565 : アクティブな **VSAM** システムファイルを呼び出しましたが、**SFILE=OFF** が指定されています。

テキスト	アクティブな VSAM システムファイルを呼び出しましたが、SFILE=OFF が指定されています。
[対処]	SFILE 設定を変更してください。

NAT3566 : このタイプのシステムファイルはサポートされていません。

テキスト	このタイプのシステムファイルはサポートされていません。
[説明]	アクセスしようとしたタイプのシステムファイルは、Natural for VSAM のインターフェイスでサポートされていません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3567 : :1: データセットに対してコマンドを実行したときに、**ILLOGIC** 状態となりました。

テキスト	... データセットに対してコマンドを実行したときに、ILLOGIC 状態となりました。
[説明]	VSAM、ISAM、または LEASY データセットに対するコマンドの実行中に、ILLOGIC 状態が検出されました。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3568 : **Natural :1:** 要求が正しくありません。

テキスト	Natural ... 要求が正しくありません。
[説明]	FCT での DATA SET エントリの指定に従い、試行したファイル操作はサポートされていないか、または許可されません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3569 : :1: がアクティブで、モジュール :2: のアセンブルが間違っています。

テキスト	... がアクティブで、モジュール ... のアセンブルが間違っています。
[対処]	モジュール ... を正しくアセンブルしてください。

NAT3570 : **MULTI-PASS** がアクティブで、更新トランザクションが許されていません。

テキスト	MULTI-PASS がアクティブで、更新トランザクションが許されていません。
------	---

NAT3571 : **VSAM LSR** プールに対する作成モード。:1:、:2: :3: によるエラー。

テキスト	VSAM LSR プールに対する作成モード。...、... ... によるエラー。
[説明]	レスポンスコードは、マクロまたは論理ファイル名によって返されました。
[対処]	詳細については、IBM の適切な資料を参照するか、または、管理者かサポートに連絡してください。

NAT3572 : DDM アナライザ : フィールド :1: のレベルエラー。

テキスト	DDM アナライザ : フィールド ... のレベルエラー。
[対処]	DDM をチェックして、エラーを修正します。

NAT3573 : DDM アナライザ : フィールド :1: のデータタイプがサポートされていません。

テキスト	DDM アナライザ : フィールド ... のデータタイプがサポートされていません。
[説明]	対応する DDM に、Natural for VSAM でサポートされていないデータタイプが含まれています (ロング英字、グラフィカル、フォネティック、ハイパーいずれかのディスクリプタ)。
[対処]	DDM を修正してください。

NAT3574 : VRRDS データセットがサポートしているのは、CICS バージョン 5.1 までです。

テキスト	VRRDS データセットがサポートしているのは、CICS バージョン 5.1 までです。
[対処]	システム管理者に連絡してください。

NAT3575 : ソースのロックはアクティブですが、LFILE が見当たらないか、または無効です。

テキスト	ソースのロックはアクティブですが、LFILE が見当たらないか、または無効です。
[説明]	VSAM システムファイルに対して、ソースのロックはアクティブ化されていますが、必要な LFILE 定義が見当たらないか、または無効です。
[対処]	VSAM システムファイルに対するソースのロック用に、有効な LFILE を定義してください。

NAT3576 : Natural :1: キーが見つかりません。

テキスト	Natural ... キーが見つかりません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3577 : 論理 :1: ファイルは KSDS タイプである必要があります。

テキスト	論理 ... ファイルは KSDS タイプである必要があります。
[説明]	SYSDDM ユーティリティでカタログされている論理ファイルの属性は "ESDS" または "RRDS" ですが、許可されている属性は "KSDS" のみです。
[対処]	VSAM DDM のファイル編成を変更してください。

NAT3578 : 関連する物理 :1: ファイルのファイル番号が見当たりません。

テキスト	関連する物理 ... ファイルのファイル番号が見当たりません。
[説明]	各論理ファイルは、物理 VSAM ファイルを参照する必要があります。
[対処]	ファイル番号をチェックします。

NAT3579 : 無効な OPRB 文字列 : :1:

テキスト	無効な OPRB 文字列 : ...。
[説明]	OPRB パラメータの有効な文字列については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	有効な OPRB 文字列を使用して、Natural をもう一度呼び出してください。

NAT3580 : VSAM DDM の SUB/SUP 定義にエラーがあります。

テキスト	VSAM DDM の SUB/SUP 定義にエラーがあります。
[対処]	DDM をチェックして、エラーを修正します。

NAT3581 : VSAM の :1: データセットに対するステートメントが無効です。

テキスト	VSAM の ... データセットに対するステートメントが無効です。
[説明]	VSAM の KSDS、ESDS、RRDS、VRDS いずれかのデータセットに対して、無効な要求が発行されました。有効なステートメントについては、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3582 : VSAM システムファイルでは、SLOCK=PRE オプションがサポートされていません。

テキスト	VSAM システムファイルでは、SLOCK=PRE オプションがサポートされていません。
[説明]	VSAM システムファイルでは、オプション SLOCK=POST の場合にのみ、ロックが NDV ロックとして機能します。SLOCK=PRE オプションはリフレッシュされます。
[対処]	オプション SLOCK=PRE をオフにしてください。

NAT3583 : :1: の RRDS データセットに対するステートメントが無効です。

テキスト	... の RRDS データセットに対するステートメントが無効です。
[説明]	VSAM の RRDS データセットに対して、無効なステートメントが発行されました。有効なステートメントについては、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3584 : ファイル :1:、状態 "NOTAUTH"、RESP2 :2:。

テキスト	ファイル ...、状態 "NOTAUTH"、RESP2 ...。
[説明]	ファイルにアクセスしたときに、CICS が "NOTAUTH" 状態を返しました。RESP2 は、EIB から取得された値が RESP2 であることを示します。
[対処]	Natural または CICS の管理者に連絡してください。

NAT3585 : ファイル :1:、RBA が不正です。

テキスト	ファイル ...、RBA が不正です。
[説明]	READ BY ISN ステートメントが、不正な ISN (RBA) を使用して発行されました。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3586 : ファイル :1:、RRDS/VRDS データセットに対する RRN が無効です。

テキスト	ファイル ...、RRDS/VRDS データセットに対する RRN が無効です。
[説明]	無効な相対レコード番号 (RRN) を使用して、RRDS/VRDS VSAM データセットにアクセスしようとしてしました。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3587 : 暗黙的な VSAM GETMAIN に失敗しました。

テキスト	暗黙的な VSAM GETMAIN に失敗しました。
[説明]	VSAM が、"GETMAIN に失敗しました" というフィードバックコードを返しました。
[対処]	パーティション/リージョン/タスクのサイズを増やしてください。

NAT3588 : K、E、R (file-org)、Y、N (compress)、F、C (zone) のみを使用します。

テキスト	K、E、R (file-org)、Y、N (compress)、F、C (zone) のみを使用します。
[説明]	許可されている値は、次のとおりです。 K - KSDS E - ESDS R - RRDS Y、N - compress (yes、no) F、C - zone (0F または 0C)

[対処]	正しい値を入力してください。
------	----------------

NAT3589 : :1: のシステムファイルと互換性のないバージョンです。

テキスト	... のシステムファイルと互換性のないバージョンです。
[説明]	古いバージョンのシステムファイルです。
[対処]	正しいバージョンのシステムファイルを使用してください。

NAT3590 : モジュール :1: がリンクエディット内にありません。

テキスト	モジュール ... がリンクエディット内にありません。
[説明]	Natural ニュークリアスのリンクエディットにモジュールがありません。
[対処]	リンクエディットにモジュールを追加してください。

NAT3591 : :1: の GETMAIN に失敗しました。リターンコードは :2: です。

テキスト	... の GETMAIN に失敗しました。リターンコードは です。
[説明]	Natural for VSAM は、その内部テーブルをアロケートできません。 リターンコードが 4 の場合はストレージ不足、 リターンコードが 4 より大きい場合は内部エラーです。
[対処]	リターンコードが 4 の場合は、スレッド/リージョン/パーティション/タスクのサイズを増やしてください。 4 以外の場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT3592 : :2: に対して :1: が小さすぎます。

テキスト	... に対して ... が小さすぎます。
[説明]	Natural for VSAM のテーブルが大きすぎて、 VSIZE バッファに収まりません。
[対処]	テーブルのサイズを減らすか、または VSIZE を増やしてください。

NAT3593 : Natural VSAM のリンクエディットにバージョンが適合していません。

テキスト	Natural VSAM のリンクエディットにバージョンが適合していません。
[説明]	Natural リンクエディットに含まれるモジュールは、すべて同じバージョンである必要があります。
[対処]	Natural ニュークリアスおよび/または NVSPARM モジュールをチェックします。

NAT3594 : VSAM LSR プールに対する作成モード。:1、:2、:3 によるエラー。

テキスト	VSAM LSR プールに対する作成モード。...、... .. によるエラー。
[説明]	レスポンスコードは、マクロによって返されました。
[対処]	詳細については、IBM の適切な資料を参照するか、またはシステム管理者に連絡してください。

NAT3595 : サポートされていないオペレーティングシステムまたは TP システムのバージョンです。

テキスト	サポートされていないオペレーティングシステムまたは TP システムのバージョンです。
[説明]	Natural for VSAM がサポートしているのは、ESA オペレーティングシステム、およびバージョン 5.1 以降の Com-plete のみです。
[対処]	Natural for VSAM でサポートされているオペレーティングシステム、または TP システム、あるいはその両方をインストールしてください。

NAT3596 : NTDB マクロで、VSAM としてマークされている DBID がありません。

テキスト	NTDB マクロで、VSAM としてマークされている DBID がありません。
[説明]	Natural for VSAM が呼び出されましたが、NTDB マクロには、VSAM 用に予約されているデータベースがありません。
[対処]	Natural for VSAM を呼び出さない場合は、VSIZE=0 として Natural を呼び出してください。Natural for VSAM を呼び出す場合は、NTDB マクロのエラーを修正してください。

NAT3597 : NVSMISC で、WTO メッセージとして使用されています。

テキスト	NVSMISC で、WTO メッセージとして使用されています。
[説明]	この失敗の理由は、マクロ BLDVRP に対するものとして説明されています。
[対処]	IBM のドキュメント『DFSMS Macro Instructions for Data Sets』を参照してください。

NAT3598 : Natural と Natural for VSAM のバージョンに互換性がありません。

テキスト	Natural と Natural for VSAM のバージョンに互換性がありません。
[説明]	Natural for VSAM のバージョン 3.1 は、バージョン 3.1.4 以降の Natural のみとともに使用できます。
[対処]	互換性のある Natural バージョンを使用してください。

NAT3599 : Natural VSAM 初期化は失敗しました。

テキスト	Natural VSAM 初期化は失敗しました。
[説明]	このエラーの原因については、このエラーメッセージとともに発行される詳細なエラーメッセージに記載されています。
[対処]	詳細なメッセージに記載された説明を参照してください。

NAT3600 :非同期タスクを開始するプログラムのアドレスが見当たりません。

テキスト	非同期タスクを開始するプログラムのアドレスが見当たりません。
[説明]	マスタファイル定義により、非同期タスクは、Adabas の ET コマンドによってマスタファイルの更新がコミットされた後で開始すると指定されていました。そのようなタスクの開始に使用するプログラムのアドレスが、ETP 3GL インターフェイスの初期化コールに正しく指定されていません。
[対処]	非同期タスクの開始に使用するプログラムの正しいアドレスを、ETP 3GL インターフェイスの初期化コールに指定してください。

54

Natural システムエラーメッセージ 3601～3650

NAT3601 : マスタファイルの配布キーの更新が許可されていません。

テキスト	マスタファイルの配布キーの更新が許可されていません。
〔説明〕	マスタファイルの配布キーが定義されている場合、マスタファイルの更新に使用される任意のビューに配布キーが含まれていることはありますが、配布キーフィールド自体は更新できません。
〔対処〕	配布キーフィールドを更新するには、アプリケーションプログラムで、UPDATE ステートメントでなく、DELETE および STORE の一連のステートメントを使用してください。

NAT3602 : トランザクションで複数のログファイルを使用することは許可されていません。

テキスト	トランザクションで複数のログファイルを使用することは許可されていません。
〔説明〕	〔Verify transaction consistency during logging〕フィールドが "Y" (yes) に設定されていて、同じトランザクションで更新された複数のマスタファイルに、それぞれ異なるログファイルが割り当てられています。 〔対処〕 : MODIFY SYSPROF ファンクションを使用して、〔Verify transaction consistency during logging〕フィールドを "N" に設定するか、またはマスタファイル定義を変更して、1つのトランザクションで更新されたマスタファイルすべてに、同じログファイルが割り当てられるようにしてください。

NAT3603 : 複数のデータベースに対する同時更新は許可されていません。

テキスト	複数のデータベースに対する同時更新は許可されていません。
[説明]	別々のデータベースに含まれているマスタファイルは、同じトランザクションで更新できません。そのような操作では、トランザクションの整合性を保障できません。
[対処]	アプリケーションプログラムを変更して、1つのデータベースの更新のみがトランザクションに含まれるようにしてください。

NAT3604 : フォーマットバッファまたはレコードバッファの長さが、許容された最大値を超えました。

テキスト	フォーマットバッファまたはレコードバッファの長さが、許容された最大値を超えました。
[説明]	ETP によってログが記録されている更新コールのフォーマットバッファおよびレコードバッファは、最大値を超えることができません。
[対処]	Natural ビュー、または 3GL プログラムによって提供されているフォーマットバッファおよびレコードバッファを、複数の小さな部分に分割して、複数の Adabas コールを発行してください。

NAT3605 : 管理ファイルが定義されていません。

テキスト	管理ファイルが定義されていません。
[説明]	ETP を使用するには、Natural アプリケーション用の論理ファイル番号 200 に管理ファイルを割り当てておく必要があります。3GL アプリケーションの場合、この管理ファイルは、ETP 3GL インターフェイスに対する初期化コールのパラメータとして指定する必要があります。
[対処]	Natural アプリケーションの場合は、Natural LFILE パラメータまたは NTFILE マクロを使用して、ETP の管理ファイルを指定してください。3GL アプリケーションの場合は、ETP 3GL インターフェイスの初期化コールで、管理ファイルを正しく指定してください。

NAT3606 : ETPSIZE の GETMAIN に失敗しました。

テキスト	ETPSIZE の GETMAIN に失敗しました。
[説明]	NTDB マクロまたは Natural DB パラメータで、少なくとも 1つのデータベースに ETP オプションが指定されています。必要なストレージを取得できなかったため、Entire Transaction Propagator (ETP) を実行できません。
[対処]	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。スレッド環境内で実行している場合はリージョンサイズを増やすか、Natural スレッドのサイズを増やします。

NAT3607 : ET 後の非同期タスクの開始中にエラー。

テキスト	ET 後の非同期タスクの開始中にエラー。
[説明]	完了したトランザクションで更新されたマスタファイルの定義で要求されているとおり、Adabas の ET コマンド後に、ETP が非同期タスクを開始しようとした。実行されたプログラムが、エラーが発生して終了しました。
[対処]	ETP システムプロファイルに指定されているタスク名をチェックしてください。その名前のトランザクションが、TP モニタの現在のセッションからアクセスできるライブラリにあることを確認してください。

NAT3608 : ETP の ID レコードが正しくないか、または見当たりません。

テキスト	ETP の ID レコードが正しくないか、または見当たりません。
[説明]	ETP メンテナンスユーティリティは、最初に呼び出されたときに、管理ファイルに ID レコードを書き込みますが、この ID レコードは ETP で削除されません。トランザクションのロギング中にエラーが発生した場合は、ETP の ID レコードが削除されましたが、管理ファイル内の他の情報はまだ残っています。ETP メンテナンスユーティリティを呼び出したときにエラーが発生した場合は、古いバージョンの ETP メンテナンスユーティリティで ETP の管理ファイルにアクセスしようとしたが、それ以前に、その管理ファイルはもっと新しいバージョンの ETP メンテナンスユーティリティでアクセスされていました。
[対処]	トランザクションのロギング中にエラーが発生した場合は、ETP メンテナンスユーティリティを呼び出して、管理ファイルに含まれている情報がすべて、まだ正しいことを確認してください。ETP メンテナンスユーティリティを呼び出したときにエラーが発生した場合は、管理ファイルへのアクセスには、新しいバージョンのメンテナンスユーティリティのみを使用してください。

NAT3609 : 複製 ISN の取得に対する S1 cmd の ISNQ 値が正しくありません。

テキスト	複製 ISN の取得に対する S1 cmd の ISNQ 値が正しくありません。
------	--

[説明]	<p>ファイル定義により、レコードの複製に使用する条件が、複製のマスタファイルに定義された配布キーであることが要求されました。配布キーは、ユニークなディスクリプタである必要があります。レコードを複製するために、複製ファイルのレコードの ISN が取得されます。</p> <p>N1 コール (STORE) では、そのキーが割り当てられたレコードが存在している場合があります。A1/E1 (UPDATE/DELETE) では、そのキーが割り当てられたレコードが 1 つのみ存在している場合があります。</p> <p>レコードの ISN が取得されたときに、ETP では ISNQ の値が正しくありませんでした。これは、N1 の場合は、そのキーが割り当てられたレコードがすでに存在していたという意味であり、</p> <p>A1/E1 コマンドの場合は、そのキーが割り当てられたレコードが、複製ファイルに存在していないか、または複数存在していたという意味です。</p> <p>このエラーは通常、アプリケーションプログラムが複製ファイルを変更したか (ただしこれは許可されていない)、または Adabas ユーティリティが複製ファイルの変更に使われたことが原因です。</p>
[対処]	<p>マニュアルに記載されているとおり、マスタファイルから複製ファイルを再度初期化し、必要に応じて、アプリケーションプログラムを修正してください。</p>

NAT3610 : マスタファイルのテーブルがオーバーフローしました。

テキスト	マスタファイルのテーブルがオーバーフローしました。
[説明]	特定のデータベースで、マスタファイルの数が上限の 512 を超えました。
[対処]	Entire Transaction Propagator の管理者に連絡してください。

NAT3611 : ログファイルのテーブルがオーバーフローしました。

テキスト	ログファイルのテーブルがオーバーフローしました。
[説明]	特定のデータベースで、ログファイルの数が上限の 512 を超えました。
[対処]	Entire Transaction Propagator の管理者に連絡してください。

55

Natural システムエラーメッセージ 3651～3700

NAT3700 : :3: のコールで、**SQLSTATE :2:** というエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	... のコールで、SQLSTATE ... というエラー ... が発生しました。
[説明]	このエラーメッセージではそれぞれ、ゼロ以外の SQLCODE が報告されます。
[対処]	プログラム SQLERR を実行して、SQLCODE および関連トークンを表示してください。エラー条件の詳細については、IBM の適切な資料を参照してください。

56

Natural システムエラーメッセージ 3701～3750

NAT3701 : Natural SQL インターフェイスエラー。理由コード :1:

テキスト	Natural SQL インターフェイスエラー。理由コード ...。
[説明]	理由コードは次のとおりです。 3nnn - 対応する Natural エラーメッセージ番号を参照してください。 100 - I/O 要求が正しくありません。 101 - UPDATE/DELETE ステートメントがダイナミックな実行には長すぎます。 102 - GETMAIN に失敗しました。リージョンサイズまたは MEMRES (Com-plete のみ) を増やしてください。 201 - ステートメントがサポートされません。 202 - SELECT が見つからないか、またはカーソルが開いていません。* 203 - 重大な内部エラーです。* 204 - ネストされているデータベースループが多すぎます。STATEMENT TABLE を増やしてください。 205 - SQLID を設定できませんでした。 206 - データベース ID "250" は、DB2 と SQL/DS いずれのデータベースでもありません。 * はデータベースループ内の END/BACKOUT TRANSACTION が原因と考えられます。
[対処]	Software AG に連絡してください。

NAT3702 : パックフィールドが正しくありません。

テキスト	パックフィールドが正しくありません。
[説明]	パックフォーマットで定義されたフィールドは、"nn.m" の形式である必要があります。 小数点前の桁数を "nn" で、 小数点後の桁数を "m" で表します。 "nn" と "m" の集計値は 27 以下、 "m" の値は 7 以下にする必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3703：フィールドが別のユーザーによって変更されているか、または行が見つかりません。

テキスト	フィールドが別のユーザーによって変更されているか、または行が見つかりません。
[説明]	<p>1) DB2 に対して配置された UPDATE コマンドまたは DELETE コマンドにより、レコードの現在の内容が、このユーザーが前に読み込んだ内容と同一かどうかチェックされます。</p> <p>端末 I/O 時に IMS/TM または CICS の擬似対話型モードで自動 "COMMIT" が発行されるため、レコードの "ホールド" 状態が失われ、レコードは別のユーザーが自由に変更できるようになります。</p> <p>次に Natural では現在のトランザクションがキャンセルされ、このエラーメッセージが表示されます。</p> <p>2) 端末 I/O 全体にわたり、IMS/TM または CICS の擬似会話型環境で、センシティブでダイナミックなスクロール可能なカーソルが使用されている場合は、端末 I/O 時に、センシティブでダイナミックなスクロール可能なカーソルは暗黙的に閉じられます。</p> <p>NDB では、端末 I/O 後にカーソルを再度開き、端末 I/O 前に置かれていた行にカーソルを置こうとします。位置変更を行うフェッチの数は、端末 I/O 前に記されていた位置から各方向へのパラメータ RETRYPO によって制限されています。RETRYPO のデフォルト値は 10 です。</p>
[対処]	<p>RETRYPO のデフォルト値は 10 です。1) この操作を再試行してください。</p> <p>2) センシティブでダイナミックなスクロール可能なカーソルの場合は、プログラムを再実行して、必要に応じて RETRYPO の値を増やしてください。</p>

NAT3704：自動 COMMIT 後には更新または位置変更ができません。

テキスト	自動 COMMIT 後には更新または位置変更ができません。
[説明]	<p>端末 I/O により、IMS/TM または CICS の擬似会話型モードで自動 COMMIT が発行された後で、Natural が対象の DB2 レコードを再度読み込もうとしました。この COMMIT により、現在のレコードが失われます。</p> <p>再読み込みが可能なのは、ユニークなインデックスを介してレコードが同一であり、かつ対応するフィールドがすべてデータビューに読み込まれている場合のみです。ユニークキー列がないために、目的の行の位置を変更できない場合に、端末 I/O 後にセンシティブでダイナミックなスクロール可能なカーソルの位置を変更するときにも、このエラーは発生します。</p>
[対処]	自動 COMMIT の前にレコードを更新するか、またはデータビューにユニークインデックスフィールドを追加してください。

NAT3705 : ファイルサーバーエラー :1:。理由 x":2:"。

テキスト	ファイルサーバーエラー ...。理由 x"...".
[説明]	<p>ファイルサーバールーチンが次のエラーを返しました。</p> <p>01 グローバルディレクトリがいっぱいです。14 データセットに十分なスペースがありません。</p> <p>02 ローカルディレクトリがいっぱいです。15 論理ファイルが割り当てられていません。</p> <p>03 グローバルディレクトリに矛盾があります。16 論理ファイルがすでに開いています。</p> <p>04 データセットオープンエラー。17 論理ファイルが開いていません。</p> <p>05 データセット読み込みエラー。18 論理ファイルが閉じていません。</p> <p>06 データセット書き込みエラー。19 読み込み時に論理ファイルが開いて出力されます。</p> <p>07 ENQUEUE に失敗しました。20 書き込み時に論理ファイルが開いて出力されます。</p> <p>08 DEQUEUE に失敗しました。21 ファンクションコードが正しくありません。</p> <p>09 グローバルディレクトリ待機中にタイムアウトしました。22 オープンモードが正しくありません。</p> <p>10 DB2SIZE パラメータが小さすぎます。23 ファイルの先頭での再読み込みが正しくありません。</p> <p>11 システム GETMAIN に失敗しました。24 (ファイルの先頭での) 後方読み込みが正しくありません。</p> <p>12 システム FREEMAIN に失敗しました。25 レコードサイズが 32K を超えています。</p> <p>13 WAIT 要求に失敗しました。26 ユーザースペースを超えました。</p>
[対処]	<p>13 WAIT 要求に失敗しました。26 ユーザースペースを超えました。Natural を再起動して、操作を再試行してください。</p> <p>問題が解決しない場合は、Natural の管理者に連絡してください。</p>

NAT3706 : スタティックプログラム :1: がロードできません。

テキスト	スタティックプログラム ... がロードできません。
[説明]	<p>Natural SQL プログラムで参照されるスタティックプログラムが、次のいずれかの理由により、ロードできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> - スタティックプログラムが、Natural に現在定義されているロードライブラリに含まれていません。 - スタティックプログラムのダイナミックなロードに利用可能な十分なストレージがありません。 - ダイナミックなロードが可能なユーザープログラムの数が制限を超えました (この制限はパラメータ CDYNAM に指定)。 - Com-plete では、プログラムは RESIDENTPAGE として定義されず、また ULIB を介してカタログされてもいません。 - Com-plete では、プログラムをロードするスレッドが小さすぎます。 - CICS では、プログラムの PPT エントリが見当たりません。
[対処]	<p>- CICS では、プログラムの PPT エントリが見当たりません。上記のエラー状況が発生していないかチェックしてください。または、(一時的な解決方法として) プログラムを再カタログして、スタティックプログラムへの参照をクリアしてください。</p>

NAT3707：ロードされたスタティックプログラムが、**Natural** プログラムと一致していません。

テキスト	ロードされたスタティックプログラムが、 Natural プログラムと一致していません。
[説明]	Natural プログラムで参照されているスタティックプログラムがロードされましたが、スタティックプログラムがこの Natural プログラム用に生成されなかったか、またはそのタイムスタンプが Natural プログラムのタイムスタンプと異なります。
[対処]	ロードライブラリ内で、このスタティックプログラムを正しいバージョンに置換するか、またはスタティックプログラムを再生成してください。

NAT3708：スタティックプログラムが、現在の **Natural** ステートメントを処理できません。

テキスト	Nスタティックプログラムが、現在の Natural ステートメントを処理できません。
[説明]	ロードされたスタティックプログラムが、現在の Natural ステートメントを参照していません。
[対処]	ロードライブラリ内で、このスタティックプログラムを正しいバージョンに置換するか、またはスタティックプログラムを再生成してください。

NAT3709：スタティックプログラム用のストレージが十分ではありません。

テキスト	スタティックプログラム用のストレージが十分ではありません。
[説明]	スタティックプログラムには、SQLDSECT を作成するメインメモリのエリアが必要です。ただし、このエリアの大きさが不十分でした。この状態は、スタティックプログラムのアセンブリ中に発生したエラーが無視された場合にのみ発生します。
[対処]	スタティックプログラムのアセンブリをチェックして、SQLDSECT の変数に関するアセンブリエラーが発生していないかどうかを確認してください。

NAT3710：CICS/DB2 の接続機能がアクティブではありません。

テキスト	CICS/DB2 の接続機能がアクティブではありません。
[説明]	Natural が、CICS/DB2 の接続機能を使用して DB2 にアクセスしようとしたますが、この機能がアクティブではありませんでした。
[対処]	CICS 管理者に依頼して、CICS/DB2 の接続機能を開始してもらってください。

NAT3711 : BACKOUT TRANSACTION を実施できなくなりました。

テキスト	BACKOUT TRANSACTION を実施できなくなりました。
[説明]	プログラムに設計ミスがあり、すでにコミットされている更新のバックアウトを試みています。 端末 I/O により、作業論理ユニットが強制終了されたにもかかわらず、BACKOUT TRANSACTION が発行されました。 すなわち、BACKOUT TRANSACTION の実際の範囲が予期した範囲と異なります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3712 : Natural SQL インターフェイスがアクティブではありません。

テキスト	Natural SQL インターフェイスがアクティブではありません。
[説明]	次のいずれかの理由により、SQL へのアクセスが無効化されました。 - パラメータ DB2SIZE が 0 に設定されています。 - Natural の初期化中に、(報告された) エラーにより、Natural SQL インターフェイスを初期化できませんでした。
[対処]	Natural の初期化中に発生したエラーを修正するか、または DB2SIZE を 0 より大きな値に指定してください。

NAT3713 : DB2SERV のファンクションコードは、"D"、"E"、"P" のいずれかである必要があります。

テキスト	DB2SERV のファンクションコードは、"D"、"E"、"P" のいずれかである必要があります。
[対処]	正しいファンクションコードを指定してください。

NAT3714 : CAF 接続処理中のエラー。理由 x":1:"。

テキスト	CAF 接続処理中のエラー。理由 x"...".
[説明]	CAF (コール接続機能) 接続処理中にエラーが発生しました。計画がスケジュールされていないことが原因と考えられます。理由には、CAF インターフェイスから返された 16 進の理由コードが含まれています。
[対処]	理由コードの詳細については、IBM の適切な資料を参照してください。詳細が必要な場合は、DSNTRACE をアクティブ化してください。

NAT3715 : Com-plete による DB2 接続中のエラー。理由 x":1:"。

テキスト	Com-plete による DB2 接続中のエラー。理由 x"...".
[説明]	Com-plete がユーザーを DB2 に接続しようとしたときにエラーが発生しました。 理由コード (Com-plete によって設定) は、次のとおりです。 04 - Com-plete に DB2 インターフェイスが定義されていません。 08 - Com-plete が DB2 インターフェイスを初期化できませんでした。 12 - Com-plete 内に使用可能な DB2 スレッドがありません。
[対処]	Com-plete の管理者に連絡してください。

NAT3716 : ISQL プロセッサがインストールされていません。

テキスト	ISQL プロセッサがインストールされていません。
[説明]	Natural SQL インターフェイスのインストール中に、NDB ニュークリアスのリンクエディットにモジュール NDBISQ が含まれていませんでした。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 環境非依存の NDB ニュークリアスのインストールを確認してください。

NAT3717 : 特殊な SQL ステートメントにエラーが発生しました。

テキスト	特殊な SQL ステートメントにエラーが発生しました。
[説明]	PROCESS SQL コマンドに使用されている特殊な SQL ステートメントは、構文が間違っており、リテラルを使用しているためにサポートされません。
[対処]	SQL ステートメントを修正し、リテラルでなく Natural 変数を使用してください。

NAT3718 : 特殊な SQL ステートメントが見つかりましたが、準備ができていません。

テキスト	特殊な SQL ステートメントが見つかりましたが、準備ができていません。
[対処]	Software AG に連絡してください。

NAT3719 : ステートメントテーブルがオーバーフローしました。

テキスト	ステートメントテーブルがオーバーフローしました。
[説明]	ダイナミックモードで SQL ステートメントを実行するための DECLARE STATEMENT の空きが、NDBIOMO にありません。この状態は、オープンデータベースループにより、すべての STATEMENT が実際に使用されている場合にのみ発生します。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 NDBIOMO の生成において、2 番目のパラメータの値を増やしてください。

NAT3720 : マクロ NDBID に指定されている SQL データベースシステムが正しくありません。

テキスト	マクロ NDBID に指定されている SQL データベースシステムが正しくありません。
[説明]	マクロ NDBID に指定された DBID が存在しません。 ファンクションコード "U" で DBSERV を使用するときに、 SQL/DS を実行していない場合にも、このエラーは発生します。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3721 : ISQL プロセッサのバッファ (DB2SIZE5) を割り当てられません。

テキスト	ISQL プロセッサのバッファ (DB2SIZE5) を割り当てられません。
[説明]	ISQL プロセッサでは、Natural スレッドに 8K の バッファを割り当てる必要がありますが、この Natural スレッドは、 このバッファを格納できるほど大きくありません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 Natural の総合エリアサイズの割り当てを減らすか、 または Natural スレッドを大きくしてください。

NAT3722 : ネストされているデータベースループが多すぎます。

テキスト	ネストされているデータベースループが多すぎます。
[説明]	開いている (ネストされている) データベースループを維持している内部テーブルに、 オーバーフローが発生しました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 NDBPARAM の生成において、MAXLOOP パラメータの値を増やしてください。

NAT3723 : 利用可能なスペースがありません。

テキスト	利用可能なスペースがありません。
[説明]	SQL ステートメントの実行中、ワーキングストレージは Natural スレッドの 外部にある GETMAINed ですが、利用可能なスペースが十分ではありません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 リージョンサイズまたは MEMRES (Com-plete のみ) を増やしてください。

NAT3724 : TP ドライバを介した ET 処理中のエラー。理由 x":1:"。

テキスト	TP ドライバを介した ET 処理中のエラー。理由 x"...".
[説明]	CICS および IMS/TM では、ET は対応する TP ドライバを介して処理されますが、 この ET に失敗しました。 IMS/TM では、理由は DL/I のステータスコードを 16 進数で表したものです。 CICS では、理由は EIBRCODE を 16 進数で表したものです。

[対処]	DL/I または CICS ドキュメントで理由を確認してください。
------	-----------------------------------

NAT3725 : メッセージドリブンの **IMS** リージョンで、**ET** を実行できませんでした。

テキスト	メッセージドリブンの IMS リージョンで、ET を実行できませんでした。
[説明]	メッセージドリブンの IMS/TM リージョン (MPP またはメッセージ指向の BMP) では、Natural でプログラムした ET は実行されません。NDBPARM におけるパラメータ ETIGN の設定に応じて、ET はこのエラーメッセージを表示して中止されるか、または通知なしで無視されます。
[対処]	プログラムをチェックして、現在使用されていない ET がないか確認してください。

NAT3726 : **TP** ドライバを介した **BT** 処理中のエラー。理由 **x":1:"**。

テキスト	TP ドライバを介した BT 処理中のエラー。理由 x"...".
[説明]	CICS および IMS/TM では、BT は対応する TP ドライバを介して処理されますが、この BT に失敗しました。 IMS/TM では、理由は DL/I ステータスコードを 16 進数で表したものです。 CICS では、理由は EIBRCODE を 16 進数で表したものです。
[対処]	DL/I または CICS ドキュメントで理由を確認してください。

NAT3727 : **NDL** を介した **ET/BT** 処理中のエラー。理由 **x":1:"**。

テキスト	NDL を介した BT 処理中のエラー。理由 x"...".
[説明]	DSNMTV01 環境では、ET/BT コールは、Natural が DL/I インターフェイスに対して処理しますが、この ET/BT に失敗しました。 理由には、報告された NDL エラーを 16 進数で表したものが含まれています。
[対処]	理由をチェックしてください。

NAT3728 : **GET/SET GA** のパラメータが正しくありません。

テキスト	GET/SET GA のパラメータが正しくありません。
[対処]	Software AG にお問い合わせください。

NAT3729 : SQL ステートメント "COMMIT" が許可されていません。

テキスト	SQL ステートメント "COMMIT" が許可されていません。
[説明]	PROCESS SQL では、SQL ステートメント "COMMIT" が許可されていません。
[対処]	Natural ステートメントの COMMIT または END TRANSACTION を使用してください。

NAT3730 : SQL ステートメント "ROLLBACK" が許可されていません。

テキスト	SQL ステートメント "ROLLBACK" が許可されていません。
[説明]	PROCESS SQL では、SQL ステートメント "ROLLBACK" が許可されていません。
[対処]	Natural ステートメントの ROLLBACK または BACKOUT TRANSACTION を使用してください。

NAT3731 : NDBIOMO に定義されたカーソルが十分ではありません。

テキスト	NDBIOMO に定義されたカーソルが十分ではありません。
[対処]	Software AG にお問い合わせください。

NAT3732 : NDBIOMO で利用できる :1: がありません。

テキスト	NDBIOMO で利用できる ... がありません。
[説明]	ランタイム時に、Natural for DB2 のユーザープログラムが、次のいずれかの機能を要求しました。 1) "ALLOCATE CURSOR" (READ RESULT SET ステートメント) 2) "CURSOR with RETURN" (SELECT WITH RETURN ステートメント) 3) "CURSOR WITH HOLD" (SELECT WITH HOLD ステートメント) ただし、NDBIOMO の生成中に、適切な DB2 環境パラメータが正しく設定されていませんでした。 1) DB2V5 2) DB2V5 3) DB2V23
[対処]	最初のパラメータを DB2V5/DB2V23 に設定して NDBIOMO を生成するか、または、適切な DB2 環境がない場合は、失敗しているステートメントを Natural プログラムから削除してください。

NAT3733 : "CID" はすでに使用中です。

テキスト	"CID" はすでに使用中です。
[対処]	Software AG にお問い合わせください。

NAT3734 :PROCESS SQL で使用される **Natural** 変数のデータタイプが正しくありません。

テキスト	PROCESS SQL で使用される Natural 変数のデータタイプが正しくありません。
[説明]	ダイナミックモードでは実行できない一部の特殊な SQL ステートメントは、NDBIOMO によってスタティックモードで実行されます。ホスト変数はすべて NDBIOMO に定義されているため、対応する Natural 変数は同じデータタイプである必要があります。
[対処]	Natural 変数のデータタイプを修正してください。変数の正しい定義については、DB2 のドキュメントを参照してください。

NAT3735 :PROCESS SQL で使用される **Natural** 変数のデータ長が正しくありません。

テキスト	PROCESS SQL で使用される Natural 変数のデータ長が正しくありません。
[説明]	ダイナミックモードでは実行できない一部の特殊な SQL ステートメントは、NDBIOMO によってスタティックモードで実行されます。ホスト変数はすべて NDBIOMO に定義されているため、対応する Natural 変数は、次のようである必要があります。 - 入力変数 (:U:) より長くない - 出力変数 (:G:) より短くない
[対処]	Natural 変数のデータ長を修正してください。変数の正しい長さについては、DB2 のドキュメントを参照してください。

NAT3736 : PROCESS SQL の SQL ステートメントが NDBIOMO にありません。

テキスト	PROCESS SQL の SQL ステートメントが NDBIOMO にありません。
[説明]	NDBIOMO の生成中、最初のパラメータが DB23 に設定されていませんが、特殊な DB2 2.3 SQL ステートメントのいずれかを実行する必要があります。
[対処]	NDBIOMO を生成するときに、最初のパラメータを DB23 に設定するか、または PROCESS SQL で DB2 2.3 ステートメントを使用しないでください。

NAT3737 : NDB :1: で STOW された NAT オブジェクトが、:2: で実行されました。

テキスト	NDB ... で STOW された NAT オブジェクトが、... で実行されました。
[説明]	Natural オブジェクトが、NDB のバージョン .1. を使用して STOW されましたが、それより古いバージョン .2. で実行されました。
[対処]	バージョン .2. を使用して、Natural プログラムを再度 STOW してください。

NAT3738 : SQL システム :2: の Natural インターフェイス :1: がインストールされていません。

テキスト	SQL システム ... の Natural インターフェイス ... がインストールされていません。
[説明]	要求された SQL システム .2. の Natural インターフェイス .1. がインストールされていません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3739 : トランザクションが開いている間は、SQLDISCONNECT できません。

テキスト	トランザクションが開いている間は、SQLDISCONNECT できません。
[説明]	トランザクションが開いている間は、SQLDISCONNECT を実行できません。
[対処]	SQLDISCONNECT の実行前に、END TRANSACTION または BACKOUT TRANSACTION を発行してください。

NAT3740 : :1: の更新は SQLCODE :2: で失敗しました。

テキスト	:1: の更新は SQLCODE :2: で失敗しました。
[説明]	DB2 データベーストランザクションの開始中に、CURRENT SERVER、CURRENT PACKAGESET、CURRENT SQLID いずれかの更新が、SQLCODE :2: で失敗しました。
[対処]	顧客サービスに連絡してください。

NAT3741 : ダイナミック SQL 文字列の GETMAIN はコード X":1:" で失敗しました。

テキスト	ダイナミック SQL 文字列の GETMAIN はコード X"... " で失敗しました。
[説明]	SQL 文字列のダイナミック作成中に GETMAIN に問題が発生したため、テキスト変数が含まれている Natural ステートメントが失敗しました。
[対処]	DB2SIZE か Natural スレッドサイズを増やすか、またはプログラムでテキスト変数が含まれている SQL 文字列のサイズを減らしてください。

NAT3742 : ダイナミック SQL 文字列の作成中に論理エラー。

テキスト	ダイナミック SQL 文字列の作成中に論理エラー。
[説明]	テキスト変数で構築されるダイナミック SQL 文字列の作成中に、内部に論理的な問題が発生しました。
[対処]	顧客サービスに連絡してください。

NAT3743 : NDBPARAM モジュールがありませんでした。

テキスト	NDBPARAM モジュールがありませんでした。
[説明]	Natural for DB2 のランタイムが NDBPARAM モジュール (ENTRY XCMSQLE) を見つけられませんでした。ただし、そのモジュールは以前に、Natural セッションで見つかっていました。
[対処]	顧客サービスに連絡してください。

NAT3749 : NDB ツールの内部エラー。

テキスト	NDB ツールの内部エラー。
[対処]	Software AG に連絡してください。

NAT3750 : 無効なステートメント。

テキスト	無効なステートメント。
[説明]	1. Natural プログラムに、STORE ISN や GET ISN のように、DL/I に対して実行できないステートメントが含まれています。 2. Natural ニュークリアスが、無効な Adabas コマンドを実行するように、Natural DL/I ニュークリアスに要求を発行しました。 モジュール名：NDPRRR00 問題判定：項目 1 (Adabas コントロールブロックのスナップが提供されず。トレースパラメータ = (CMD))。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

57

Natural システムエラーメッセージ 3751～3800

NAT3751 : Natural DL/I ストレージが不足しています。

テキスト	Natural DL/I ストレージが不足しています。
[説明]	要求されたストレージが大きすぎる（またはゼロの）ため、Natural DL/I は、要求されたエントリを TSA 内部テーブルで取得できませんでした。 モジュール名：NDPRBTSA 問題判定： 項目 1（トレースパラメータ = (REQ、ROU)）。
[対処]	NDLPARM モジュールで、関連する TSA パラメータ SEQNUM の値を増やしてください。 要求されたストレージが 0 のときにこのエラーが発生している場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT3752 : Natural DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。

テキスト	Natural DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。
[説明]	Natural DL/I 共通エリアから取得したワークエリアでオーバーフローが発生しました。 モジュール名：NDPSFBBS 問題判定： 項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）、2、10。
[対処]	NDMCPARM で、関連するワークエリアサイズのパラメータ WORKLGH を変更します。

NAT3753 : Natural DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。

テキスト	Natural DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。
[説明]	Natural DL/I 共通エリアから取得したワークエリアでオーバーフローが発生しました。 モジュール名：NDPSSBAN 問題判定：項目 1（NDDSSLMN コントロールのスナップが提供されます。トレースパラメータ = (SER) ）、2、10。
[対処]	NDMCPARM で、関連するワークエリアサイズのパラメータ WORKLGH を変更します。

NAT3754 : 2 次インデックス指定が正しくありません。

テキスト	2 次インデックス指定が正しくありません。
[説明]	STORE 操作を実行するとき、フィールドの値が、現在のセグメントの 2 次インデックスフィールドに指定されます。 DL/I によって、1 つ以上の DL/I フィールドに 2 次インデックスが構築され、2 次インデックスの値を変更したり、それらのフィールドの値を修正したりすることができます。 モジュール名：NDPSFBBS 問題判定： 項目 2、4。
[対処]	ユーザーエラーの可能性がります。プログラムを修正してください。

NAT3755 : 指定した 2 次インデックスが多すぎます。

テキスト	指定した 2 次インデックスが多すぎます。
[説明]	2 次インデックスを 5 つ以上指定しようとしてしました。 SSA のリストを構築する AIX ポインタにスペースがありません。 モジュール名：NDPSSBAN 問題判定：項目 1（NDDSSLMN コントロールブロックのスナップが提供されます。トレースパラメータ = (SER) ）、2。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3756 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPSFBSA 問題判定：項目 1（フォーマットバッファのスナップが提供されます。トレースパラメータ = (SER) ）。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3757 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPSFBCS 問題判定： 項目 2、3、4、6。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3758 : 読み込むフィールドにアクセスできません。

テキスト	読み込むフィールドにアクセスできません。
[説明]	1. プログラムエラー：プログラムが、I/O フィールドでないフィールドの値を参照しています。つまり、このフィールドは、アクセスされたセグメントに属しておらず、使用されている階層パスにおいて、アクセスされたセグメントの上位にあるシーケンスフィールドではありません。 2.DDM とそれに対応する NDB が一致しません。 モジュール名：NDPSFBKF 問題判定： 項目 2、3、6、8。
[対処]	1. フィールドを正しく参照してください。プログラムは、OBTAIN、ASSIGN、MOVE のいずれかのステートメントを使用してフィールドを参照している場合があります。 2.NDB に対して DDM、特にフィールドのショートネームをチェックしてください。

NAT3759 : ディスクリプタ名が正しくありません。

テキスト	ディスクリプタ名が正しくありません。
[説明]	1. a) Natural DL/I DBD と Natural DDM が一致しません。 b) データベースへのアクセスステートメントで、正しくないディスクリプタ名が参照されています。 c) 2つのディスクリプタ名が指定されていました。1つは現在のセグメントの上位に属し、もう1つは下位のセグメントに属しています。 2.Natural DL/I にあらかじめ定義されていないディスクリプタ名が、データベースへのアクセスステートメントで参照されています。 モジュール名：NDPSDESE 問題判定： 項目 2、3、6。
[対処]	1. プログラムをチェックして、エラーを修正してください。 2.Natural DL/I DBD の適切なセグメントに対して、GENERATE ファンクションを実行してください。

NAT3760 : Natural DL/I ストレージが不足しています。

テキスト	Natural DL/I ストレージが不足しています。
[説明]	要求されたストレージが大きすぎる (またはゼロの) ため、Natural DL/I は、要求されたエントリを DFB 内部テーブルで取得できませんでした。 モジュール名：NDPSFBSA 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2、10。
[対処]	NDLPARM モジュールで、関連する DFB パラメータ DFBNUM または DFFNUM、あるいはその両方の値を増やしてください。要求されたストレージが 0 のときにこのエラーが発生している場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT3761 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPRS100 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3762 : FIND ステートメントで使用している節が許可されていません。

テキスト	FIND ステートメントで使用している節が許可されていません。
[説明]	プログラムにエラーがある可能性があります。 許可されていない節が FIND ステートメントで使用されていました。 モジュール名：NDPRS100 問題判定： 項目 2。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3764 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	別のファイルに関連する SSA に対して、ブール演算が要求されました。 モジュール名：NDPRS800 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3765 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPRS800 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3766 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPSFBSA 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、3、6。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3767 : READ の BY DESCRIPTOR 節のディスクリプタフィールドが正しくありません。

テキスト	READ の BY DESCRIPTOR 節のディスクリプタフィールドが正しくありません。
[説明]	READ の BY DESCRIPTOR 節で使用されているディスクリプタフィールドが、次のいずれでもありません。 ルートセグメントのシーケンスフィールド 2 次インデックスフィールド (つまり DBD の XDFLD) モジュール名：NDLSCGET 問題判定： 項目 2、6。
[対処]	NDB の説明に対してプログラムをチェックしてください。

NAT3768 : 要求された DBO のある PCB が NSB にありません。

テキスト	要求された DBO のある PCB が NSB にありません。
------	---------------------------------

[説明]	<p>1) Natural for DL/I が、要求されたセグメントタイプを含む DBO へのアクセスを提供する PCB を (NSB 内に) 見つけれませんでした。特に、FIND ステートメントまたは READ ステートメントで使用されているディスクリプタが 2 次インデックスファイルの場合は、 "PROCSEQ = index-name" という PCB が必要です。</p> <p>2) DDM で DBID/FNR を使用したときに、UDF ブロック、およびそれに対応する NDB が見つかりました。ただし、この NDB の DBD 名は、アクティブな PSB に指定されていません。これは、DDM が FDIC システムファイルにはコピーされたが、対応する NDB にはコピーされていない場合に発生することがあります。</p> <p>モジュール名：NDLSCGET 問題判定：項目 2、5、7、12 。</p>
[対処]	<p>1) Natural for DL/I で使用されている PSB をチェックしてください。必要なパラメータのある新しい PCB を構築してください。NATPSB プロシージャを実行します。</p> <p>2) DDM とそれに対応する NDB をチェックしてください。</p>

NAT3769：更新または削除するセグメントが選択されていません。

テキスト	更新または削除するセグメントが選択されていません。
[説明]	<p>UPDATE ステートメントまたは DELETE ステートメントが、READ ステートメントまたは FIND ステートメントを参照していません。UPDATE ステートメントまたは DELETE ステートメントは、FIND ステートメントまたは READ ステートメントで あらかじめ選択されているステートメントを参照する必要があります。</p> <p>モジュール名：NDLRA100、NDLRE100。 問題 判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。</p>
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3770：UPDATE または DELETE が、END TRANSACTION または BACKOUT TRANSACTION の後で発行されました。

テキスト	UPDATE または DELETE が、END TRANSACTION または BACKOUT TRANSACTION の後で発行されました。
------	---

[説明]	<p>プログラムエラー：UPDATE ステートメントまたは DELETE ステートメントが、前回の END TRANSACTION ステートメントまたは BACKOUT TRANSACTION ステートメントの前に読み込まれたか、または選択されたレコードを参照しています。</p> <p>UPDATE ステートメントまたは DELETE ステートメントは、FIND ステートメントまたは READ ステートメントであらかじめ選択されたレコードを参照する必要があります。FIND または READ の後で END TRANSACTION ステートメントまたは BACKOUT TRANSACTION ステートメントを発行すると、レコードが解放されます。この例では、</p> <p>Natural はレコードに対して、UPDATE または DELETE を実行できません。</p> <p>モジュール名：NDPRA100、NDPRE100。</p> <p>問題 判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）、2。</p>
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3771：内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	<p>内部エラーが発生しました。</p> <p>モジュール名：NDPSSBAN</p> <p>問題 判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)、サーチバッファのスナップが提供されます）。</p>
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3772：内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	<p>内部エラーが発生しました。</p> <p>モジュール名：NDPSSBAN</p> <p>問題 判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)、サーチバッファのスナップが提供されます）。</p>
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3773：セグメント検索式が不正です。

テキスト	セグメント検索式が不正です。
[説明]	<p>無効なセグメント検索式が指定されたため、Natural DL/I により SSA での論理演算が実行されました。SSA 関連のセグメントは、ルートから現在のセグメントに至るまでのパスとは関係ありません。</p> <p>モジュール名：NDPSSBAN</p> <p>問題判定： 項目 2、6。</p>

[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
------	----------------------------

NAT3774 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPSSBAN 問題 判定：項目1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER) 、 サーチバッファのスナップが提供されず）。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3775 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPSSBAN 問題 判定：項目1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER) 、 サーチバッファのスナップが提供されず）。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3776 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPSSBAN 問題 判定：項目1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER) 、 サーチバッファのスナップが提供されず）。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3777 : COUPLED 節は、DL/I ファイルにアクセスするときには使用できません。

テキスト	COUPLED 節は、DL/I ファイルにアクセスするときには使用できません。
[説明]	プログラムに、COUPLED 節を使用した FIND ステートメントが含まれていますが、この節は、DL/I ファイルにアクセスするときには使用できません。 モジュール名：NDPSSBAN 問題 判定：項目1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER) 、 サーチバッファのスナップが提供されず）。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3778 : DBD と DDM でフィールド長が矛盾しています。

テキスト	DBD と DDM でフィールド長が矛盾しています。
[説明]	プログラムで参照される I/O フィールドに対して、DDM に指定された長さが、Natural DL/I DBD 記述で定義された長さとは異なっています。 モジュール名：NDPSFBMI、NDPSFBMU。 問題判定： 項目 2、3、6、8。
[対処]	DDM を DBD 記述と比較して、フィールド長が一致するようにしてください。

NAT3779 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	計算によるフィールドのセグメントへの置換が、セグメント長より大きくなっています。 モジュール名：NDPSFBMI、NDPSFBMU。 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3780 : NDB が FDIC システムファイル上に見つかりません。

テキスト	NDB が FDIC システムファイル上に見つかりません。
[説明]	Natural のシステムファイル FDIC に、アクセスされている DBD の記述が含まれていません。 複数 FDIC 環境では、DL/I (または IMS/TM) の NTDB マクロは、別々の FDIC 環境で別々の DBID を参照する必要があります。これは、UDF コントロールブロックがどの FDIC からロードされているかを、バッファプールが追跡しないためです。UDF コントロールブロックキーは、UDF が定義されているセグメントに割り当てられている FNR および DBID で構成されています。このエラーメッセージは、NDB (その名前は UDF コントロールブロックに格納) が、バッファプールまたは現在の FDIC ファイルに見つからない場合に発行されます。 モジュール名：NDLSDGET 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ユーティリティ NDLBLOCK を使用して、アクセスされている DBD と同じ名前の FDIC または NDB があるかどうかをチェックしてください。

NAT3781 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	SSAL に、AIX ポインタ用のスペースはこれ以上ありません。 モジュール名：NDPSFBBS 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2、6。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3782 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	Natural for DL/I のブール演算マネージャに、 無効なブール演算子が指定されました。 モジュール名：NDPSBOOL 問題 判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3783 : セグメント検索式 ("AND" 演算子) が無効です。

テキスト	セグメント検索式 ("AND" 演算子) が無効です。
[説明]	無効なセグメント検索式が指定されたため、Natural for DL/I により、 同じ DL/I セグメントにある 2 つの SSA での "AND" 演算が実行されました。 この 2 つの SSA のうち、1 つのタイプは "OR" です。 モジュール名：NDLSBOOL 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3784 : セグメント検索式 ("OR" 演算子) が無効です。

テキスト	セグメント検索式 ("OR" 演算子) が無効です。
[説明]	無効なセグメント検索式が指定されたため、 Natural DL/I により、同じ DL/I セグメントに 指定された SSA の複数ペアで、相互に異なる 2 つの SSA リストでの "OR" 演算が実行されました。 モジュール名：NDPSBOOL 問題 判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3785 : セグメント検索式 ("BUT NOT" 演算子) が無効です。

テキスト	セグメント検索式 ("BUT NOT" 演算子) が無効です。
[説明]	無効なセグメント検索式が指定されたため、 Natural DL/I により、2つの SSA リストでの "BUT NOT" 演算が実行されました。 この論理演算の最初のオペランドのタイプは "OR" です。 モジュール名: NDPSBOOL 問題 判定: 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3786 : セグメント検索式が無効です。

テキスト	セグメント検索式が無効です。
[説明]	無効なセグメント検索式が指定されたため、 Natural DL/I により、2つの SSA リストでの "BUT NOT" 演算が実行されました。 この論理演算の 2 番目のオペランドのタイプは "SIMPLE" ではありません。 モジュール名: NDPSBOOL 問題 判定: 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3787 : セグメント検索式が無効です。

テキスト	セグメント検索式が無効です。
[説明]	1. 無効なセグメント検索式が指定されたため 、Natural DL/I により SSA での論理演算が実行されました。 SSA 関連のセグメントは、ルートから現在のセグメントに 至るまでのパスとは関係ありません。 2. 無効なセグメント検索式が指定されたため、 Natural DL/I により、2つの SSA リストでの "OR" 演算が実行されました。 この 2つのリストでは、SSA の数が異なっています。 モジュール名: NDPSBOOL 問題 判定: 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3788 : Natural DL/I ストレージが不足しています。

テキスト	Natural DL/I ストレージが不足しています。
[説明]	要求されたストレージが大きすぎる（またはゼロの）ため、Natural DL/I は、要求されたエントリを PCBM 内部テーブルで取得できませんでした。 モジュール名：NDPSPALL 問題判定： 項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）、2、10。
[対処]	NDLPARM モジュールで、関連する PCBM パラメータ PCBLEV または PCBNUM、あるいはその両方の値を増やしてください。要求されたストレージが 0 のときにこのエラーが発生している場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT3789 : アクティブな PSB に含まれている PCB が、プログラムの実行には少なすぎます。

テキスト	アクティブな PSB に含まれている PCB が、プログラムの実行には少なすぎます。
[説明]	アクティブな PSB には、プログラムの実行に十分な数の PCB が含まれていません。同じデータベースに複数の PCB を使用するには、PCB が連続している必要があります。 モジュール名：NDLSPALL 問題判定： 項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）、2、5。
[対処]	PSB 内の PCB の数を増やすか、またはプログラムを修正してください。 1つのデータベースに使用する複数の PCB を、PSB 内で連続するものにしてください。

NAT3790 : Natural DL/I PCB の記述にセグメントが定義されていません。

テキスト	Natural DL/I PCB の記述にセグメントが定義されていません。
[説明]	アクセスされているセグメントが、Natural DL/I PCB の記述に定義されていません。 モジュール名：NDPSCGET 問題判定： 項目 7。
[対処]	PCB を再定義してください。NATPSB プロシージャを実行します。

NAT3791 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPRRC00 問題判定： 項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)、Adabas コントロールブロックのスナップが提供されます）。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3792 : コマンド ID が指定された TSA エントリがありません。

テキスト	コマンド ID が指定された TSA エントリがありません。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPRL100 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3793 : I/O ステートメントは、DL/I ファイルにアクセスするときには無効です。

テキスト	I/O ステートメントは、DL/I ファイルにアクセスするときには無効です。
[説明]	1. プログラムには、DL/I ファイルにアクセスするときに使用できない I/O ステートメントが含まれています (GET SAME、GET *ISN、READ BY ISN など)。 2. Natural パラメータモジュールの NISN パラメータが変更されています。 NISN は、内部使用に予約されていて、変更はできません。 モジュール名：NDPRL100 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	1. プログラムをチェックして、エラーを修正してください。 2. Natural 管理者に連絡して、NISN を、 Software AG によって提供された元の値に設定してもらってください。

NAT3794 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	1. エラーは、SSA リストを構築したときに Natural DL/I のワークエリアがオーバーフローしたと考えられます。 2. 内部エラー。 モジュール名：NDPSBSKF 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	1. NDMCPARM で、Natural DL/I パラメータ WORKLGH を変更してください。 2. Software AG サポートに連絡してください。

NAT3795 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	SSAL に、AIX ポインタ用のスペースはこれ以上ありません。 モジュール名：NDPSBOOL 問題 判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3796 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPRS800 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3797 : 内部の THC テーブルでのエラーの取得に失敗しました。

テキスト	内部の THC テーブルでのエラーの取得に失敗しました。
[説明]	Natural DL/I が、内部のホールドコマンドテーブル (THC テーブル) で、要求されたエントリを取得できませんでした。 モジュール名：NDPSSAVE 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	NDMCPARM で、関連する THC テーブルのパラメータ THCSIZE の値を変更してください。

NAT3798 : Natural for DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。

テキスト	Natural for DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。
[説明]	Natural for DL/I 共通エリアから取得したワークエリアでオーバーフローが発生しました。 モジュール名：NDLSSAVE 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	NDMCPARM で、関連するワークエリアサイズのパラメータ WORKLGH を変更します。

NAT3799 : フィールドの値が、別のユーザーによって変更されています。

テキスト	フィールドの値が、別のユーザーによって変更されています。
[説明]	ホールドコマンドテーブルのフィールドの値 (同じコマンド ID に格納) が、対応する I/O エリアのフィールドの値と一致していません。 READ (更新目的) と後続の UPDATE の間に、アクセスされているフィールドの値が、別のユーザーによって変更されています。 モジュール名：NDLSCHEC 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	トランザクションを再実行してください。

NAT3800 : FIND ステートメントのセグメント検索式が無効です。

テキスト	FIND ステートメントのセグメント検索式が無効です。
[説明]	プログラムエラー：セグメント検索式で、2つの修飾ステートメントが別々のセグメントタイプを参照しています。 モジュール名：NDPSSBAN 問題 判定：項目1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER) ）、2。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

58

Natural システムエラーメッセージ 3801～3850

NAT3801 : ユーザー定義フィールドが、**Natural DL/I** の **UDF** テーブルにありません。

テキスト	ユーザー定義フィールドが、Natural DL/I の UDF テーブルにありません。
[説明]	DDM が UDF (ユーザー定義フィールド) の Natural DL/I 記述と一致しません。プログラムは、UDF テーブルに含まれていないフィールドを参照しています。 モジュール名: NDPSFBCS 問題判定: 項目 2、3、8。
[対処]	DDM を UDF 記述と比較して、2 つが相互に一致するようにしてください。

NAT3802 : ユーザー定義フィールドが、**Natural DL/I** の **UDF** テーブルにありません。

テキスト	ユーザー定義フィールドが、Natural DL/I の UDF テーブルにありません。
[説明]	DDM が UDF (ユーザー定義フィールド) の Natural DL/I 記述と一致しません。プログラムは、UDF テーブルに含まれていないフィールドを参照しています。 モジュール名: NDPSFBCS 問題判定: 項目 2、3、8。
[対処]	DDM を UDF 記述と比較してください。

NAT3803 : FIND ステートメントの検索条件が正しくありません。

テキスト	FIND ステートメントの検索条件が正しくありません。
[説明]	プログラムエラー：2つのセグメント検索式が、FIND ステートメントで "OR" 演算子で結ばれていますが、有効なのは "AND" のみです。 モジュール名：NDPSSBAN 問題 判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3804 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	Adabas の "N1" コマンドで、フォーマットバッファが省略されていました。 モジュール名：NDPSFBBS 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3805 : DDM フィールドが多すぎます。

テキスト	DDM フィールドが多すぎます。
[説明]	セグメント内で、DL/I フィールドおよび UDF フィールドが多すぎます。 GENERATE DDM ファンクションは、独自の内部エリア内に、 DDM フィールドをすべて含めることができません。 モジュール名：NDPRLF00 問題判定：項目 6、8。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3806 : Natural DL/I 内部エリアのための十分なストレージがありません。

テキスト	Natural DL/I 内部エリアのための十分なストレージがありません。
[説明]	Natural DL/I ワークエリアのための十分なストレージがありません。 モジュール名：NDPSRLIN 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	パーティションまたはリージョンのサイズを増やしてください。

NAT3807 : 指定したセグメント名が **NDB** 内にありません。

テキスト	指定したセグメント名が NDB 内にありません。
[説明]	指定したセグメント名が含まれている NDB は、プログラムがカタログされた後で変更されました。 モジュール名：NDLSDGET 問題判定：項目 3、6。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3808 : **DBID** またはファイル番号が、アクセスされているセグメントに割り当てられていません。

テキスト	DBID またはファイル番号が、アクセスされているセグメントに割り当てられていません。
[説明]	1. DBID またはファイル番号が、アクセスされているセグメントにまだ割り当てられていません。 2. このセグメントは LOGICAL DBD に属しており、PHYSICAL DBD のソースセグメントには、DBID もファイル番号もありません。 3. システムファイルには、UDF 記述が含まれていません。 4. DBID は DL/I DBID として定義されています (NTDB マクロを参照) が、物理的には、このデータベースは DL/I データベースではありません。 5. DDM に割り当てられている DBID またはファイル番号が、セグメントに割り当てられている DBID またはファイル番号と異なります。 モジュール名：NDLSDGET 問題判定：項目 3、8。
[対処]	1. DBID またはファイル番号をセグメントに割り当ててください。 2. DBID またはファイル番号をソースセグメントに割り当ててください。 3. (NDLBLOCK で) システムファイルにセグメント記述が存在しているかどうかをチェックしてください。

NAT3809 : 利用可能な十分な共有ストレージがありません。

テキスト	利用可能な十分な共有ストレージがありません。
[説明]	1. Natural DL/I の初期化パラメータに定義されている、共有ストレージプールの最大サイズが小さすぎます。 2. Natural DL/I 内部ブロックで利用可能な十分な共有ストレージがありません。 モジュール名：NDPSDGET 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)) 。
[対処]	1. 最大プールサイズを増やしてください。 2. パーティション/リージョン/ロールバッファのサイズを増やしてください。

NAT3810 : DL/I のステータスコード "GE" (セグメントが見つかりません)。

テキスト	DL/I のステータスコード "GE" (セグメントが見つかりません)。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "GE" (セグメントが見つかりません) を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3811 : DL/I のステータスコード :1:。

テキスト	DL/I のステータスコード ...。
[説明]	DL/I が、ステータスコード ... を返しました。 モジュール名：NDLSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3812 : DL/I はアクティブではありません。

テキスト	DL/I はアクティブではありません。
[説明]	CICS が、"DL/I はアクティブではありません" という状態 (DLINA) を返しました。 モジュール名：NDPSIOCX
[対処]	CICS のシステムプログラマに連絡してください。

NAT3813 : DL/I 要求が発行されましたが、スケジュールされている PSB がありません。

テキスト	DL/I 要求が発行されましたが、スケジュールされている PSB がありません。
[説明]	CICS が、FUNCNS 状態を返しました。 モジュール名：NDLSIOCX 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	PSB のスケジュールを再試行してください。

NAT3814 : CICS-DL/I インターフェイスへの要求が正しくありません。

テキスト	CICS-DL/I インターフェイスへの要求が正しくありません。
[説明]	CICS が、INVREQ 状態を返しました。 PSB を CICS に正しく定義できません。 モジュール名：NDPSIOCX
[対処]	CICS のシステムプログラマに連絡してください。

NAT3815 : PSB の言語がアセンブラではありません。

テキスト	PSB の言語がアセンブラではありません。
[説明]	CICS が、言語競合状態 (LANGCON) を返しました。 モジュール名：NDPSIOCX 問題判定：項目 5。
[対処]	PSB の言語をアセンブラにし、 CICS に正しく定義してください。

NAT3816 : データベースが開いていません。

テキスト	データベースが開いていません。
[説明]	CICS が、"データベースが開いていません" という状態 (NOTOPEN) を返しました。 モジュール名：NDPSIOCX
[対処]	データベースが開いているかどうかをチェックしてください。CICS のシステムプログラマに連絡してください。

NAT3817 : PSB は初期化に失敗しました。

テキスト	PSB は初期化に失敗しました。
[説明]	CICS が、PSBFAIL 状態 (PSB が初期化に失敗) を返しました。 いくつかある理由のうち特に、このエラーは、CICS システム初期化テーブル (SIT) で、 ENQL、DMBPL、PSBPL の各パラメータの 設定値が小さすぎる場合に発生します。 モジュール名：NDPSIOCX
[対処]	CICS のシステムプログラマに連絡してください。

NAT3818 : この PSB の使用は許可されていません。

テキスト	この PSB の使用は許可されていません。
[説明]	未認可の PSB に要求が発行されました。 CICS が、"PSB は認可されません" という状態 (PSBNA) を返しました。 モジュール名：NDPSIOCX
[対処]	CICS ACT テーブルをチェックしてください。

NAT3819 : NSB は FDIC にありますが、PSB は CICS にありません。

テキスト	NSB は FDIC にありますが、PSB は CICS にありません。
[説明]	NSB は FDIC にありますが、対応する PSB をスケジュールしようとしたときに、CICS が "PSB がありません" という状態 (PSBNF) を返しました。 モジュール名: NDLSIOCX
[対処]	CICS PSB テーブルをチェックしてください。

NAT3820 : すでにスケジュールされている PSB に PSB スケジュール要求が発行されました。

テキスト	すでにスケジュールされている PSB に PSB スケジュール要求が発行されました。
[説明]	PSB スケジュール要求が発行されましたが、この PSB または別の PSB がすでにスケジュールされています。一度にアクティブ化できる PSB は 1 つだけです。 モジュール名: NDPSIOCX 問題判定: 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	DL/I TERM コール (NATPSB OFF) を発行してください。

NAT3821 : DL/I データベースにアクセスするタスクが認可されていません。

テキスト	DL/I データベースにアクセスするタスクが認可されていません。
[説明]	CICS が、TASKNA 状態を返しました。 モジュール名: NDPSIOCX
[対処]	CICS のシステムプログラマに連絡してください。

NAT3822 : PSB がスケジュールされていません。

テキスト	PSB がスケジュールされていません。
[説明]	終了要求が発行されましたが、スケジュールされている PSB がありません。 モジュール名: NDPSIOCX 問題判定: 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3823 : I/O エリアのための GETMAIN は失敗しました。

テキスト	I/O エリアのための GETMAIN は失敗しました。
[説明]	I/O エリアのための十分なストレージがありません。 モジュール名: NDPSIOCX 問題判定: 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	パーティション/リージョンのサイズを増やしてください。

NAT3824 : チェックポイント処理で **NSB** が見つかりませんでした。

テキスト	チェックポイント処理で NSB が見つかりませんでした。
[説明]	"DB2 DL/I バッチサポート" 環境で、Natural for DB2 が Natural for DL/I を介してそのチェックポイントを発行しました。ただし、NATPSB ON コマンドを そのユーザーが発行しなかったため、NSB が見つかりませんでした。 モジュール名：NDLSIOBA
[対処]	正しい PSB 名を指定して、NATPSB ON を発行してください。

NAT3825 : NCB および PCB の **DBD** 名が一致しません。

テキスト	NCB および PCB の DBD 名が一致しません。
[説明]	(NSB から) 空き NCB が選択されています。ただし、この NCB の名前が、対応する PCB の名前と一致していません。 モジュール名：NDLSPALL
[対処]	NATPSB プロシージャを実行して、NSB と PSB の不一致を解消してください。

NAT3850 : DL/I のステータスコード "**AB**"。

テキスト	DL/I のステータスコード "AB"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "AB" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、該当する IBM ドキュメントを参照してください。

59

Natural システムエラーメッセージ 3851~3900

NAT3851 : DL/I のステータスコード "AC"。

テキスト	DL/I のステータスコード "AC"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "AC" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3852 : DL/I のステータスコード "AD"。

テキスト	DL/I のステータスコード "AD"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "AD" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3853 : DL/I のステータスコード "AH"。

テキスト	DL/I のステータスコード "AH"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "AH" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3854 : DL/I のステータスコード "AI"。

テキスト	DL/I のステータスコード "AI"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "AI" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3855 : DL/I のステータスコード "AJ"。

テキスト	DL/I のステータスコード "AJ"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "AJ" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3856 : DL/I のステータスコード "AK"。

テキスト	DL/I のステータスコード "AK"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "AK" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3857 : DL/I のステータスコード "AM"。

テキスト	DL/I のステータスコード "AM"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "AM" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3858 : DL/I のステータスコード "AO"。

テキスト	DL/I のステータスコード "AO"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "AO" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3859 : DL/I のステータスコード "AT"。

テキスト	DL/I のステータスコード "AT"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "AT" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3860 : DL/I のステータスコード "AU"。

テキスト	DL/I のステータスコード "AU"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "AU" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3861 : DL/I のステータスコード "DA"。

テキスト	DL/I のステータスコード "DA"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "DA" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3862 : DL/I のステータスコード "DJ".

テキスト	DL/I のステータスコード "DJ".
[説明]	DL/I が、ステータスコード "DJ" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3863 : DL/I のステータスコード "DX".

テキスト	DL/I のステータスコード "DX".
[説明]	DL/I が、ステータスコード "DX" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3864 : DL/I のステータスコード "FD".

テキスト	DL/I のステータスコード "FD".
[説明]	DL/I が、ステータスコード "FD" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3865 : DL/I のステータスコード "FE".

テキスト	DL/I のステータスコード "FE".
[説明]	DL/I が、ステータスコード "FE" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3866 : DL/I のステータスコード "FF"。

テキスト	DL/I のステータスコード "FF"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "FF" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3867 : DL/I のステータスコード "FG"。

テキスト	DL/I のステータスコード "FG"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "FG" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3868 : DL/I のステータスコード "FH"。

テキスト	DL/I のステータスコード "FH"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "FH" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3869 : DL/I のステータスコード "FI"。

テキスト	DL/I のステータスコード "FI"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "FI" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3870 : DL/I のステータスコード "FP"。

テキスト	DL/I のステータスコード "FP"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "FP" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3871 : DL/I のステータスコード "FR"。

テキスト	DL/I のステータスコード "FR"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "FR" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3872 : DL/I のステータスコード "FT"。

テキスト	DL/I のステータスコード "FT"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "FT" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3873 : DL/I のステータスコード "FW"。

テキスト	DL/I のステータスコード "FW"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "FW" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3874 : DL/I のステータスコード "GA"。

テキスト	DL/I のステータスコード "GA"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "GA" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3876 : DL/I のステータスコード "GC"。

テキスト	DL/I のステータスコード "GC"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "GC" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3877 : DL/I のステータスコード "GD"。

テキスト	DL/I のステータスコード "GD"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "GD" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3879 : DL/I のステータスコード "GG"。

テキスト	DL/I のステータスコード "GG"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "GG" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3880 : DL/I のステータスコード "GK"。

テキスト	DL/I のステータスコード "GK"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "GK" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3881 : DL/I のステータスコード "GL"。

テキスト	DL/I のステータスコード "GL"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "GL" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3882 : DL/I のステータスコード "GP"。

テキスト	DL/I のステータスコード "GP"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "GP" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3883 : DL/I のステータスコード "II" (シーケンスフィールドが重複しています)。

テキスト	DL/I のステータスコード "II" (シーケンスフィールドが重複しています)。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "II" (シーケンスフィールドが重複しています) を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3884 : DL/I のステータスコード "IX"。

テキスト	DL/I のステータスコード "IX"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "IX" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3885 : DL/I のステータスコード "LB"。

テキスト	DL/I のステータスコード "LB"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "LB" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3886 : DL/I のステータスコード "LC"。

テキスト	DL/I のステータスコード "LC"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "LC" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3887 : DL/I のステータスコード "LD"。

テキスト	DL/I のステータスコード "LD"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "LD" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3888 : DL/I のステータスコード "LE"。

テキスト	DL/I のステータスコード "LE"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "LE" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3889 : DL/I のステータスコード "N"。

テキスト	DL/I のステータスコード "N"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "N" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3890 : DL/I のステータスコード "NE"。

テキスト	DL/I のステータスコード "NE"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "NE" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3891 : DL/I のステータスコード "NI"。

テキスト	DL/I のステータスコード "NI"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "NI" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3892 : DL/I のステータスコード "NO"。

テキスト	DL/I のステータスコード "NO"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "NO" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3893 : DL/I のステータスコード "RX"。

テキスト	DL/I のステータスコード "RX"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "RX" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3894 : DL/I のステータスコード "VI"。

テキスト	DL/I のステータスコード "VI"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "VI" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3895 : DL/I のステータスコード "XX"。

テキスト	DL/I のステータスコード "XX"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "XX" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3896 : DL/I のステータスコード "AL"。

テキスト	DL/I のステータスコード "AL"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "AL" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3897 : DL/I のステータスコード "BA"。

テキスト	DL/I のステータスコード "BA"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "BA" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3898 : DL/I のステータスコード "BB"。

テキスト	DL/I のステータスコード "BB"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "BB" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3899 : DL/I のステータスコード "XH"。

テキスト	DL/I のステータスコード "XH"。
[説明]	DL/I が、ステータスコード "XH" を返しました。 モジュール名：NDPSIORC 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3900 : **PSB :1:** がスケジュールされましたが、**PSB :2:** がすでにアクティブです。

テキスト	PSB ... がスケジュールされましたが、PSB ... がすでにアクティブです。
[説明]	PSB スケジュール要求が発行されましたが、この PSB または別の PSB がすでにスケジュールされています。一度にアクティブ化できる PSB は 1 つだけです。 モジュール名：NDPRPS00 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	"NATPSB ON" コマンドの前に、"NATPSB OFF" コマンドを発行する必要があります。

60

Natural システムエラーメッセージ 3901～3950

NAT3901 : PSB がスケジュールされていません。

テキスト	PSB がスケジュールされていません。
[説明]	"NATPSB OFF" コマンドが発行されましたが、アクティブになっている PSB はありません。 モジュール名：NDPRPS00 問題判定：項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）。
[対処]	なし

NAT3902 : NSB :1: が FDIC システムファイル上に見つかりません。

テキスト	NSB ... が FDIC システムファイル上に見つかりません。
[説明]	この NSB が FDIC システムファイル上に見つかりませんでした。 モジュール名：NDPRPS00 問題判定：項目 12。
[対処]	指定した PSB に対して NATPSB バッチプロシージャを実行して、 FDIC システムファイル上に、対応する NSB を作成および格納してください。

NAT3903 : PSB 名が一致しません。

テキスト	PSB 名が一致しません。
[説明]	(DL/I で使用される) JCL の EXEC ステートメント内の PSB 名と、 (Natural for DL/I で使用される) NATPSB ON コマンド内の PSB 名は、 同じである必要があります。 モジュール名：NDLRPS00
[対処]	JCL をチェックして、EXEC ステートメントと NATPSB ON コマンドのいずれかで、PSB 名を変更してください。

NAT3904 : セグメント記述が **Natural** システムファイル上にありません。

テキスト	セグメント記述が Natural システムファイル上にありません。
[説明]	このセグメントは、仮想の論理子です。ただし、関連する現実の論理子が含まれている DBD が、 Natural システムファイル上に存在していません。 モジュール名：NDLSDGET 問題判定：項目 11。
[対処]	1. 現実の論理子が含まれている DBD に対して、NATDBD プロシージャを実行してください。2. 仮想の論理子が含まれている DBD に対して、NATDBD プロシージャを実行してください。

NAT3905 : PSB がスケジュールされていません。

テキスト	PSB がスケジュールされていません。
[説明]	NSB ポインタがない、つまりアクティブな PSB がないため、NCB が見つかりませんでした。 モジュール名：NDLSCGET 問題判定：項目 4。
[対処]	コマンド "NATPSB ON psbname" を実行して、PSB をスケジュールしてください。

NAT3906 : STORE 要求でのセグメントの場所指定が不十分です。

テキスト	STORE 要求でのセグメントの場所指定が不十分です。
[説明]	データベース内のセグメント格納場所が STORE ステートメントに指定されていますが、その指定が不十分です。 1つ以上の上位シーケンスフィールドが参照されていません。 モジュール名：NDPRN100 問題判定：項目 2、3。
[対処]	欠落している次のシーケンスフィールドに正しい値を割り当ててください。 (1) 格納するセグメントおよび (2) そのセグメントの上位。

NAT3907 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	DL/I コールの I/O エリアに渡す十分なストレージが、"ユーザー" エリアにありません。 モジュール名：NDPSRPGU 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3908 : ピリオディックグループフィールドまたはマルチプルバリューフィールドの添字が範囲外です。

テキスト	ピリオディックグループフィールドまたはマルチプルバリューフィールドの添字が範囲外です。
[説明]	ピリオディックグループフィールドまたはマルチプルバリューフィールドにアクセスして、添字を指定しようとしたますが、その添字が、UDF のパラメータ MAXOCC で指定されている値を超えています。 モジュール名：NDPSFBMI、NDPSFBMU。 問題判定：項目 2、8。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3909 : Natural DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。

テキスト	Natural DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。
[説明]	Natural DL/I による SSA リストの初期化中にオーバーフローが発生しました。 モジュール名：NDPSFSSA 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	NDPCPARAM で、ワークエリアサイズのパラメータ WORKLGH を変更します。

NAT3910 : Natural DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。

テキスト	Natural DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。
[説明]	修飾されていない SSA を SSA リストに追加するときに、オーバーフローが発生しました。 モジュール名：NDPSFSSA 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	NDPCPARAM で、ワークエリアサイズのパラメータ WORKLGH を変更します。

NAT3911 : Natural DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。

テキスト	Natural DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。
[説明]	修飾された SSA を SSA リストに移動するときに、Natural DL/I ワークエリアにオーバーフローが発生しました。 モジュール名：NDPSFSSA 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	NDPCPARAM で、ワークエリアサイズのパラメータ WORKLGH を変更します。

NAT3912 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	修飾されていない SSA がすでに SSA リストにあり、現在のセグメントと関連していなかったため、Natural DL/I は、修飾されていない SSA を SSA リストに追加できませんでした。 モジュール名：NDPSFSSA 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3913 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	Natural DL/I が、修飾されていない SSA を SSA リストに追加しようとしたときに、関係するセグメントレベルのパスを判定しましたが、このパスが正しくありませんでした。判定されたパスが、既存の SSA リストに関連付けられているパスと矛盾しています。 モジュール名：NDPSFSSA 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3914 : Natural DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。

テキスト	Natural DL/I ワークエリアがオーバーフローしました。
[説明]	SSA リストの圧縮中にオーバーフローが発生しました。 モジュール名：NDPSFSSA 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2。
[対処]	NDPCPARAM で、ワークエリアサイズのパラメータ WORKLGH を変更します。

NAT3915 : Natural DL/I ストレージが不足しています。

テキスト	Natural DL/I ストレージが不足しています。
[説明]	Natural DL/I が、TSA 内部テーブルで、要求されたエントリを取得できませんでした。 モジュール名：NDPSFSSA 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))。
[対処]	モジュール NDLPARM で、関連する TSA パラメータ SEQNUM の値を変更してください。

NAT3916 : インデックスデータベース名が矛盾しています。

テキスト	インデックスデータベース名が矛盾しています。
[説明]	NCB のインデックスデータベース名が、データベースコールに関する NCB AIX フィールド内のインデックスデータベースフィールドと一致していません。 モジュール名：NDPSBNCB 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2、4、5。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3918 : NSB の SENSEG には、関連する NDB に、対応するセグメントがありません。

テキスト	NSB の SENSEG には、関連する NDB に、対応するセグメントがありません。
[説明]	NSB の SENSEG には、関連する NDB に、対応するセグメントがありません。 モジュール名：NDPSBNCB 問題判定： 項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2、4、5。
[対処]	NATDBD プロシージャおよび NATPSB プロシージャが、正しく実行されたかどうかをチェックしてください。

NAT3919 : PSB の切り替えを受け入れられません。

テキスト	PSB の切り替えを受け入れられません。
[説明]	別の PSB がまだ割り当てられているときに、アクティブな I/O ループ (FIND、READ) 内で、PSB の切り替えが要求されました。 モジュール名：NDPSRLIN
[対処]	アクティブな任意の I/O ループの外側に、PSB を切り替えてください。

NAT3920 : NCB に対する GETMAIN に失敗しました。

テキスト	NCB に対する GETMAIN に失敗しました。
[説明]	バッファプールからワークエリアに NCB をコピーするには、ワークエリアに対して GETMAIN を実行します。この GETMAIN に失敗しました。 モジュール名：NDPSNCBI
[対処]	NDPCPARAM パラメータモジュール内の SIZE パラメータの値を増やしてください。

NAT3921 : **Natural** バッファプールがアクティブでないか、またはリターンコードが不明です。

テキスト	Natural バッファプールがアクティブでないか、またはリターンコードが不明です。
[説明]	Natural DL/I コントロールブロック (NDB、NSB、UDF) 要求のために Natural バッファプールを呼び出したときに、バッファプールが次のいずれかを返しました。 - 不明なリターンコード - バッファプールがアクティブでないことを示すリターンコード モジュール名: NDPSNBPI
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3922 : 割り当て解除中に **NDB/NSB/UDF** が見つかりません。

テキスト	割り当て解除中に NDB/NSB/UDF が見つかりません。
[説明]	Natural バッファプールから、Natural DL/I コントロールブロック (NDB、NSB、UDF) の割り当てを解除しようとしていました。ただし、バッファプールにこのコントロールブロックがありませんでした。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3923 : 割り当て解除中に、使用カウントが負になりました。

テキスト	割り当て解除中に、使用カウントが負になりました。
[説明]	バッファプールから Natural DL/I コントロールブロック (NDB/NSB/UDF) の割り当てを解除するときに、使用カウントが負であることが検出されました。 モジュール名: NDPSNBPI
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3924 : バッファプールへのロード中にスペースがありません。

テキスト	バッファプールへのロード中にスペースがありません。
[説明]	システムファイルからバッファプールに Natural DL/I コントロールブロック (NDB/NSB/UDF) をロードするときに、バッファプールに十分なストレージがありませんでした。 モジュール名: NDPSNBPI
[対処]	十分なストレージを提供してください。

NAT3925 : シンボリックチェックポイントまたは再起動に失敗しました。

テキスト	シンボリックチェックポイントまたは再起動に失敗しました。
[説明]	<p>ユーザーデータに END TRANSACTION ステートメントを提供することにより、Natural のバッチプログラムで、IMS チェックポイント指定が要求されました。ただし、Natural for DL/I によってエラーが検出されたため、この要求は満足できませんでした。</p> <p>このエラーの原因として考えられる理由は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - GETMAIN に失敗しました。Natural for DL/I では、このファンクションに 2000 バイトのバッファが必要です。 - XRST コールに対する応答として、DL/I ステータスコードが返されました。 - この環境では、またはこの CMPAT 設定では、XRST コールはサポートされていないために発行されませんでした。 <p>モジュール名：NDLRRE00</p>
[対処]	<p>JCL で REGION サイズを増やしてください。</p> <p>サイトにインストールされている IMS/TM ロギングをチェックしてください。</p> <p>自分の環境（CMPAT 設定）で XRST コールがサポートされているかどうかをチェックしてください。</p>

NAT3926 : HDAM データベースの検索条件が正しくありません。

テキスト	HDAM データベースの検索条件が正しくありません。
[説明]	<p>HDAM データベースにアクセスするときに、2 次インデックスを使用する必要があるか、または関係演算子 EQUAL TO で、ルートのシーケンスフィールドに条件を指定する必要があります。DL/I への順次アクセスが増えすぎないようにするため、シーケンスフィールドと異なるフィールドは許可されていません。</p> <p>順次（物理順）にルートセグメントを取得する場合は、READ PHYSICAL を使用します。</p> <p>モジュール名：NDPRPTSA</p>
[対処]	<p>論理演算子として EQUAL TO を使用するか、または代替インデックス経由でアクセスしてください。</p>

NAT3927 : NCB に対する FREEMAIN に失敗しました。

テキスト	NCB に対する FREEMAIN に失敗しました。
[説明]	<p>バッファプールからワークエリアに NCB をコピーするには、ワークエリアに対して GETMAIN を実行します。このワークエリアに対する後続の FREEMAIN に失敗しました。</p> <p>モジュール名：NDPSNCBI</p>
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3929 : Natural for DL/I が初期化されていません。

テキスト	Natural for DL/I が初期化されていません。
[説明]	Natural for DL/I サービスが要求されましたが、Natural for DL/I は初期化されていません。 モジュール名：NDLGWDLI
[対処]	DLISIZE を 27 KB 以上に設定して、Natural for DL/I をインストールしてから、Natural セッションを再度開始してください。

NAT3930 : IMS 環境では NATPSB ON/OFF コマンドを使用できません。

テキスト	IMS 環境では NATPSB ON/OFF コマンドを使用できません。
[説明]	IMS/TM では、PSB の切り替えは、モジュール "CMDEFSWX" または "CMDIRSWX" を使用して行います。
[対処]	NATPSB ではなく、上記のいずれかのモジュールを使用してください。

NAT3931 : GETMAIN のサイズが最大値の 32 KB を超えています。

テキスト	GETMAIN のサイズが最大値の 32 KB を超えています。
[説明]	Natural DL/I は、DL/I CALL パラメータリストを 16 MB 未満のバッファにコピーしようと試みます。要求されたサイズが、許容されている最大サイズの 32 KB を超えたため、このバッファに GETMAIN を実行できませんでした。 モジュール名：NDLSIOCX
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3932 : 16 MB 未満のバッファに対する GETMAIN に失敗しました。

テキスト	16 MB 未満のバッファに対する GETMAIN に失敗しました。
[説明]	Natural DL/I は、DL/I CALL パラメータリストを 16 MB 未満のバッファにコピーしようと試みます。このバッファに対する GETMAIN に失敗しました。 モジュール名：NDLSIOCX
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3933 : BACKOUT TRANSACTION を実施できなくなりました。

テキスト	BACKOUT TRANSACTION を実施できなくなりました。
------	-----------------------------------

[説明]	<p>プログラムに設計ミスがあり、すでにコミットされている更新のバックアウトを試みています。このエラーは、擬似会話型モードでの CICS、および IMS/TM でのみ発生します。</p> <p>最も可能性の高い原因として、端末 I/O によって、論理トランザクションが強制終了されたことが考えられます。</p> <p>これは、BACKOUT TRANSACTION ステートメントが実行されたときに、TP モニタによって、コマンドがすでに内部で実行されていたということです。それでも、Natural for DL/I が SYNCPOINT ROLLBACK コマンドを実行しました。すなわち、BACKOUT TRANSACTION の実際の範囲が予期した範囲と異なります。</p>
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT3934 : I/O エリアのための FREEMAIN は失敗しました。

テキスト	I/O エリアのための FREEMAIN は失敗しました。
[説明]	<p>内部エラーが発生しました。</p> <p>モジュール名：NDLSIOBA/NDLSIOCX。</p>
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3935 : :1: はバッファプールのブラックリストでロックされています。

テキスト	... はバッファプールのブラックリストでロックされています。
[説明]	<p>Natural for DL/I のオブジェクト (NDB、NSB、または UDF) は、SYSBPM ユーティリティのブラックリストの管理機能により、実行できないようにロックされているため、バッファプールにロードできませんでした。</p> <p>モジュール名：NDLSSHGE</p>
[対処]	Natural 管理者に連絡して、ブラックリストのエントリを削除してもらってください。

NAT3936 : GSAM レコードは、削除するか、または更新することができません。

テキスト	GSAM レコードは、削除するか、または更新することができません。
[説明]	<p>アクセスされているデータベースは GSAM データベースです。</p> <p>GSAM データベース内のレコードは、削除するか、または更新することができません。</p> <p>これは GSAM の制限です。</p> <p>モジュール名：NDLRPTSA、NDLRN100</p>
[対処]	プログラムから、DELETE ステートメントまたは UPDATE ステートメントを削除してください。

NAT3937 : セグメント長を超えました。

テキスト	セグメント長を超えました。
[説明]	取得されたセグメントの長さが、このセグメントタイプとして Natural に定義された最大長を超えています。つまり、DL/I および NDL の定義は同期していません。 最も可能性の高い理由として、DBDGEN を使用してセグメント長を増やしたが、対応する NATDBD の実行が省略されたことが考えられます。 モジュール名：NDLRGNEX
[対処]	DBD に対して NATDBD プロシージャを再実行してください。

NAT3938 : WORK バッファに十分なストレージがありません。

テキスト	WORK バッファに十分なストレージがありません。
[説明]	WORK バッファがいっぱいのため、フォーマットバッファの分析中に、Natural for DL/I は、別のフォーマットバッファエントリのストレージを WORK バッファから取得できませんでした。 モジュール名：NDLSFBSA 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、2、10。
[対処]	NDLPARM モジュールで、関連する WORK パラメータ WORKLGH の値を増やしてください。

61 Natural システムエラーメッセージ 3951~4000

NAT3951 : CSECT :1: がありません。

テキスト	CSECT ... がありません。
[説明]	次のいずれかにより、このエラーが発生します。 - メッセージに示されたモジュールが、 リンクエディット内にありません。 - CSECT 命令がモジュールのソースにありません。 - CSECT 命令のモジュール名が変更されました。
[対処]	モジュールがリンクエディットに含まれていないことを確認してください。 モジュールのソースが完全か、または正しいことを確認してください。

NAT3952 : INIT コールはステータスコード :1: で失敗しました。

テキスト	INIT コールはステータスコード ... で失敗しました。
[説明]	Natural DL/I の初期化ルーチンが INIT コールを発行し、 IMS/TM に対して、データが利用できない場合に、ステータスコード "BA" または "BB" を受け入れる準備ができたことを通知します。 このコールに失敗し、DL/I が、 このメッセージに示されているステータスコードを返しました。
[対処]	ステータスコードの詳細については、 該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3953 : NDLNUC および **:1:** のバージョンが一致しません。

テキスト	NDLNUC および ... のバージョンが一致しません。
[説明]	Natural DL/I リンクエディットに含まれるモジュールは、同じバージョンである必要があります。 モジュール名：NDLSINIT
[対処]	NDLNUC、NDLSIO00、および NDLPARM をチェックしてください。

NAT3954 : DLISIZE は **:1:** より大きくしなければなりません。

テキスト	DLISIZE は ... より大きくしなければなりません。
[説明]	DLISIZE が "0" でない場合は、Natural for DL/I で必要となるバッファをすべて格納できるだけの大きさにする必要があります。
[対処]	DLISIZE を、エラーメッセージに示されている値に設定してください。

NAT3955 : Natural for DL/I のバッファの **GETMAIN** にエラー **:1:** があります。

テキスト	Natural for DL/I のバッファの GETMAIN にエラー ... があります。
[説明]	Natural for DL/I がスレッドからバッファを取得しようとしたときに、エラーが発生しました。
[対処]	スレッドのサイズを増やしてください。

NAT3956 : Natural for DL/I のサブプール **:2:** の **GETMAIN** にエラー **:1:** があります。

テキスト	Natural for DL/I のサブプール ... の GETMAIN にエラー ... があります。
[説明]	Natural for DL/I が、バッファから (エラーメッセージに示されている) サブプールを取得しようとしたときに、エラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3957 : NTDB マクロに、DL/I とマークされている **DBID** がありません。

テキスト	NTDB マクロに、DL/I とマークされている DBID がありません。
[説明]	Natural for DL/I が呼び出されましたが、NTDB マクロには、DL/I 用に予約されているデータベースがありません。
[対処]	Natural for DL/I を呼び出さない場合は、DLISIZE=0 と設定して Natural を呼び出してください。 Natural for DL/I を呼び出す場合は、NTDB マクロのエラーを修正してください。

NAT3959 : XRST コールは DL/I のステータスコード :1: で失敗しました。

テキスト	XRST コールは DL/I のステータスコード :1: で失敗しました。
[説明]	BMP を開始するときに、Natural DL/I の初期化ルーチンは、拡張再起動 (XRST) コールを発行します。 このコールが失敗し、DL/I はメッセージに示されているステータスコードを返しました。
[対処]	ステータスコードの詳細については、該当する IBM ドキュメントを参照してください。

NAT3960 : 有効な PSB 名が指定されていません。

テキスト	有効な PSB 名が指定されていません。
[説明]	PCB アドレスリストをポイントするアドレスが、空白またはゼロです。 これは、ゼロ以外の DLISIZE が指定され、かつ以下のいずれかに当てはまる場合に発生します。 1) Natural が、DL/I リージョンコントローラ (z/OS では DFSRRC00、z/VSE では DLZRRC00) の制御下で実行されていない。 2) Natural は DL/I リージョンコントローラの制御下で実行されているが、内部エラーのため、PCB アドレスリストが Natural for DL/I に渡されていない。 3) JCL の PSB 名と CMSYNIN の PSB 名が一致していない。 モジュール名：NDLSINIT 問題判定：Natural の起動に使用される JCL をチェックします。
[対処]	1 の場合は、DL/I リージョンコントローラの制御下で Natural を実行するか、または DLISIZE=0 と設定して Natural を実行してください。2 の場合は、Software AG サポートに連絡してください。 3 の場合は、JCL または CMSYNIN の PSB 名を修正してください。

NAT3961 : NSB :1: が FDIC システムファイル上に見つかりません。

テキスト	NSB ... が FDIC システムファイル上に見つかりません。
[説明]	Natural の起動に使用された PSB が FDIC システムファイル上に定義されていないか、または (データベースから予期しないリターンコードが返されたために) 読み込めませんでした。 モジュール名：NDLSINIT 問題判定：正しいシステムファイルが割り当てられているかどうかををチェックします。
[対処]	正しい FDIC を指定するか、または NATPSB プロシージャを実行して、FDIC システムファイル上に NSB を格納してください。トランザクションに関連付けられた NSB が不要な場合は DLISIZE=0 と設定してください (この場合は DL/I にアクセスする必要がないため)。

NAT3962 : グローバルエリアのロード中にエラーが発生しました。

テキスト	グローバルエリアのロード中にエラーが発生しました。
[説明]	NDPSGLBA モジュールは、リンクステップに含まれていないため、ダイナミックにロードできません。 モジュール名：NDPSGLBA 問題判定：リンクエディットのリストを取得します。
[対処]	NDPSGLBA をリンクエディットステップに含めるか（バッチおよび CICS）、または STEPLIB DD カードに指定してください（IMS/TM）。

NAT3963 : Natural for DL/I 初期化は失敗しました。

テキスト	Natural for DL/I 初期化は失敗しました。
[説明]	このエラーの原因については、このエラーメッセージとともに発行される詳細なエラーメッセージに記載されています。
[対処]	詳細なメッセージに記載された説明を参照してください。

NAT3970 : NDB/NSB のロード中にエラーが発生しました。

テキスト	NDB/NSB のロード中にエラーが発生しました。
[説明]	ロードライブラリ（z/VSE ではコアイメージライブラリ）から、NDB または NSB をロードできませんでした。 モジュール名：NDLBINDB、NDLBINSB。 問題判定：項目 11 または項目 12。
[対処]	1. ロード（コア）ライブラリに NDB/NSB が含まれているかどうかをチェックしてください。 2. 上記のモジュールを作成する NATDBD/NATPSB プロシージャのアセンブリおよびリンクステップの結果をチェックしてください。

NAT3971 : END TRANSACTION コマンドにエラーが発生しました。

テキスト	END TRANSACTION コマンドにエラーが発生しました。
[説明]	"ET" コマンドの発行時にエラーが発生したため、NDB（または NSB）を Natural システムファイルに格納できませんでした。 メッセージ "SYSDLI: 1004" には、Natural I/O プロセッサから受信した I/O レスポンスコードが含まれています。 I/O コードについては、Adabas または Natural ドキュメントでそれぞれ説明しています。 モジュール名：NDPBNDB1、NDPBNDB1。 問題判定：項目 11 または項目 12。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT3972 : DBD には DL/I フィールドが多すぎます (468 を超えています)。

テキスト	DBD には DL/I フィールドが多すぎます (468 を超えています)。
[説明]	DL/I フィールドの数が 468 (13 * (26 + 10)) を超えている DBD は処理できません。これは設計上の制限です。 モジュール名：NDPBSESH 問題判定：項目 4、11。
[対処]	DL/I フィールドの数を減らしてください。

NAT3973 : ワークエリアの取得 (NDB/NSB の格納) 中にエラーが発生しました。

テキスト	ワークエリアの取得 (NDB/NSB の格納) 中にエラーが発生しました。
[説明]	Natural DL/I が、論理 DBD の処理中にワークエリアを取得しようとした後で、GETMAIN/GETVIS マクロによってエラーメッセージが返されました。 モジュール名：NDPBNDB1 問題判定：項目 11。
[対処]	パラメータ/リージョンサイズを増やします。

NAT3974 : NDB/NSB の格納中にエラーが発生しました。

テキスト	NDB/NSB の格納中にエラーが発生しました。
[説明]	NDB/NSB の STORE 処理中に、Adabas "N1" コマンドによって、または VSAM "PUT" によって、エラーメッセージが返されました。エラーメッセージ "SYSDLI: 1103" には、Natural I/O プロセッサから受信した I/O レスポンスコードが含まれています。 I/O コードについては、Adabas または Natural ドキュメントでそれぞれ説明しています。 モジュール名：NDLBSNDB、NDLBSNSB。 問題判定：項目 11。
[対処]	I/O エラーを引き起こした条件を修正します。

NAT3975 : DBD/PSB 名がロードモジュール名と一致しません。

テキスト	DBD/PSB 名がロードモジュール名と一致しません。
[説明]	DBD/PSB マクロの NAME パラメータが、NATDBD/NATPSB プロシージャのアセンブリおよびリンクステップが含まれているロード (z/VSE ではコア) ライブラリのロードモジュール名と一致しません。 モジュール名：NDLBINDB、NDLBINSB。 問題判定：項目 4/5、11/12。

[対処]	NATDBD/NATPSB プロシージャのアセンブリステップの出力が含まれているロードモジュールの名前をチェックしてください。また、NAME パラメータと一致するように、そのロードモジュールの名前を変更してください。アセンブリ中に SAG マクロが使用されていることを確認してください。
------	---

NAT3978 : NDB は見つかりません。

テキスト	NDB は見つかりません。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPBRNDB 問題判定：項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、11。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3979 : ワークエリアの取得時にエラーが発生しました。

テキスト	ワークエリアの取得時にエラーが発生しました。
[説明]	処理中の NDB の古いコピーの最初のスロットの読み込み先にしていた I/O エリアを取得しようとしたときに、GETMAIN/GETVIS マクロからエラーメッセージを受け取りました。 モジュール名：NDPBRNDB 問題判定：項目 11。
[対処]	パラメータ/リージョンサイズを増やします。

NAT3980 : ワークエリアの取得時にエラーが発生しました。

テキスト	ワークエリアの取得時にエラーが発生しました。
[説明]	処理中の NDB の古いコピーの読み込み先にしていた I/O エリアを取得しようとしたときに、GETMAIN/GETVIS マクロからエラーメッセージを受け取りました。 モジュール名：NDPBRNDB 問題判定：項目 11 または項目 12。
[対処]	パラメータ/リージョンサイズを増やします。

NAT3981 : NDB の読み込み中にエラーが発生しました。

テキスト	NDB の読み込み中にエラーが発生しました。
[説明]	古いコピーの読み込み中にエラーが発生したため、新しい NDB コピーを Natural システムファイルに格納できませんでした。 エラーメッセージ「SYSDLI:1004」には、Natural I/O プロセッサから受信した I/O レスポンスコードが含まれています。 I/O コードについては、Adabas または Natural ドキュメントでそれぞれ説明しています。 モジュール名：NDPBRNDB 問題判定：項目 11。

[対処]	I/O エラーを引き起こした条件を修正します。
------	-------------------------

NAT3982 : NDB の読み込み中にエラーが発生しました。

テキスト	NDB の読み込み中にエラーが発生しました。
[説明]	古いコピーの読み込み中にエラーが発生したため、新しい NDB コピーを Natural システムファイルに格納できませんでした。 エラーメッセージ「SYSDLI: 1004」には、Natural I/O プロセッサから受信した I/O レスポンスコードが含まれています。 I/O コードについては、Adabas または Natural ドキュメントでそれぞれ説明しています。 モジュール名：NDPBRNDB 問題判定：項目 11。
[対処]	I/O エラーを引き起こした条件を修正します。

NAT3983 : NDB の読み込み中にエラーが発生しました。

テキスト	NDB の読み込み中にエラーが発生しました。
[説明]	既存の NDB（または NSB）の古いコピーを更新するため読み込んでいる最中に、エラーが発生しました。エラーメッセージ「SYSDLI: 1004」には、Natural I/O プロセッサから受信した I/O レスポンスコードが含まれています。 I/O コードについては、Adabas または Natural ドキュメントでそれぞれ説明しています。 モジュール名：NDPBDNDB、NDPBDNSB。 問題判定：項目 11 または項目 12。
[対処]	I/O エラーを引き起こした条件を修正します。

NAT3984 : NDB の読み込み中にエラーが発生しました。

テキスト	NDB の読み込み中にエラーが発生しました。
[説明]	既存の NDB（または NSB）の古いコピーを更新するため読み込んでいる最中に、エラーが発生しました。エラーメッセージ「SYSDLI: 1004」には、Natural I/O プロセッサから受信した I/O レスポンスコードが含まれています。 I/O コードについては、Adabas または Natural ドキュメントでそれぞれ説明しています。 モジュール名：NDPBDNDB、NDPBDNSB。 問題判定：項目 11 または項目 12。
[対処]	I/O エラーを引き起こした条件を修正します。

NAT3985 : NDB の削除中にエラーが発生しました。

テキスト	NDB の削除中にエラーが発生しました。
[説明]	NDB の古いコピーの削除中にエラーが発生しました。エラーメッセージ「SYSDLI: 1004」には、Natural I/O プロセッサから受信した I/O レスポンスコードが含まれています。I/O コードについては、Adabas または Natural ドキュメントでそれぞれ説明しています。 モジュール名：NDPBDNDB 問題判定：項目 11。
[対処]	I/O エラーを引き起こした条件を修正します。

NAT3986 : NDB/NSB は見つかりません。

テキスト	NDB/NSB は見つかりません。
[説明]	このエラーは、NDB（または NSB）が削除前に更新のために読み込まれるときに発生します。このエラーが発生するきっかけは、「L3」コマンド（Adabas システムファイル）または VSAM GET（VSAM システムファイル）です。エラーメッセージ「SYSDLI: 1004」には、Natural I/O プロセッサから受信した I/O レスポンスコードが含まれています。I/O コードについては、Adabas または Natural ドキュメントでそれぞれ説明しています。 モジュール名：NDPBDNDB、NDPBDNSB。 問題判定：項目 11 または項目 12。
[対処]	I/O エラーを引き起こした条件を修正します。

NAT3987 : 論理 NDB の構築中にエラーが発生しました。

テキスト	論理 NDB の構築中にエラーが発生しました。
[説明]	論理 NDB の構築に使用されたワークエリアが小さすぎます。 モジュール名：NDPBNDBL 問題判定：項目 11。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。 Software AG は、NDPBNDB1 の YLOG を変更して、NDLB0001 を再リンクします。

NAT3988 : 論理 NDB の構築中にシーケンスフィールドエラーが発生しました。

テキスト	論理 NDB の構築中にシーケンスフィールドエラーが発生しました。
[説明]	仮想の論理子でないセグメントに、複数のシーケンスフィールドが見つかりました。 仮想の論理子セグメントに対してのみ、5つまでのシーケンスフィールドを定義できます。 モジュール名：NDPBNDL 問題判定：項目 4、11。
[対処]	DBDGEN プロシージャが、この DBD に対して正常に実行されたことを確認します。このエラーは DBDGEN によって検知されます。

NAT3989 : 論理 NDB での AIX リンクの構築中にエラーが発生しました。

テキスト	論理 NDB での AIX リンクの構築中にエラーが発生しました。
[説明]	内部エラーが発生しました。 モジュール名：NDPBNDL 問題判定：項目 4、11。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3990 : 論理 NDB のワークエリアの取得中にエラーが発生しました。

テキスト	論理 NDB のワークエリアの取得中にエラーが発生しました。
[説明]	GETMAIN/GETVIS マクロが、論理 NDB を構築するワークエリアを取得するために起動されました。ゼロ以外のレスポンスコードが返されました。 モジュール名：NDPBNDL1 問題判定：項目 11。
[対処]	パラメータ/リージョンサイズを増やします。

NAT3991 : ソースとして参照されるセグメントが見つかりません。

テキスト	ソースとして参照されるセグメントが見つかりません。
[説明]	SOURCE パラメータを使用したセグメント処理中に、指定されたセグメントが、SOURCE キーワードで指定した DBD に対応する NDB が見つかりませんでした。 モジュール名：NDPBNDL 問題判定：項目 11。
[対処]	ACBGEN プロシージャが、この DBD に対して正常に実行されたことを確認します。このエラーは ACBGEN によって検知されます。

NAT3992 : 論理 NDB のワークエリアの取得中にエラーが発生しました。

テキスト	論理 NDB のワークエリアの取得中にエラーが発生しました。
[説明]	GETMAIN/GETVIS マクロが、 論理 NDB を構築するワークエリアを取得するために起動されました。ゼロ以外のレスポンスコードが返されました。 モジュール名：NDPBNDB1 問題判定：項目 11。
[対処]	パラメータ/リージョンサイズを増やします。

NAT3993 : NDB が Natural システムファイル上に見つかりません。

テキスト	NDB が Natural システムファイル上に見つかりません。
[説明]	SOURCE パラメータを使用したセグメント処理中に、SOURCE キーワードで指定した DBD に対応する NDB が Natural システムファイルに見つかりませんでした。 モジュール名：NDPBNDBL 問題判定：項目 11。
[対処]	DBDGEN プロシージャが、この DBD に対して正常に実行されたことを確認します。このエラーは DBDGEN によって検知されます。

NAT3994 : "SOURCE" キーワードでセグメントの禁止フラグが "ON" に設定されています。

テキスト	"SOURCE" キーワードでセグメントの禁止フラグが "ON" に設定されています。
[説明]	プロシージャ NATDBD は、論理 DBD に対して実行されます。この DBD には、物理データベース "dbname" でセグメントタイプ "segname" を識別するために、SOURCE=((segname,,dbname)) ステートメントが含まれています。ただし、"dbname" に対応する NDB には、禁止とマークされているセグメントタイプが 1 つ以上含まれています。これらのセグメントタイプは、現実の論理子セグメントタイプへの参照がすべて解決できるわけではないため、"dbname" に対する NATDBD の実行中に、Natural によって禁止されました。 モジュール名：NDPBNDBL 問題判定：項目 11。
[対処]	論理 DBD に NATDBD を実行する前に、参照されている物理 DBD すべてに NATDBD を実行してください。論理関係が再帰構造の結果である場合は、物理 DBD に NATDBD を少なくとも 2 回実行してください。

NAT3995 : ソースエラーテーブルがオーバーフローしました。

テキスト	ソースエラーテーブルがオーバーフローしました。
[説明]	エラーフラグの付いたセグメントのリストが含まれているテーブルが小さすぎます。 モジュール名：NDPBNDL 問題判定：項目 4。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3996 : ソースとして参照される物理 NDB が見つかりません。

テキスト	ソースとして参照される物理 NDB が見つかりません。
[説明]	SOURCE パラメータを使用したセグメント処理中に、SOURCE キーワードで指定した DBD に対応する NDB が Natural システムファイルに見つかりませんでした。(NDB は、一部のセグメントの禁止フラグが "ON" に設定された状態で、Natural システムファイルに格納されています)。 モジュール名：NDPBNDL 問題判定：項目 4。
[対処]	NATDBD プロシージャを再実行してください。 詳細については、Natural DL/I のドキュメントの論理データベースに関するセクションを参照してください。

NAT3997 : NSB (CMPAT=YES) のスキャン中にエラーが発生しました。

テキスト	NSB (CMPAT=YES) のスキャン中にエラーが発生しました。
[説明]	モジュール名：NDPBNSB1
[対処]	PSB 定義をチェックしてください。

NAT3998 : Natural ニュークリアスが見つかりません。

テキスト	Natural ニュークリアスが見つかりません。
[説明]	z/VSE で NDL バッチを実行すると、NDLSINID は、名前が JCL で指定された Natural フェーズのロードを試みます。 このフェーズが見つかりませんでした。 モジュール名：NDLSINID
[対処]	JCL で Natural フェーズの名前をチェックしてください。

NAT3999 : **Natural** ニュークリアスをロードするのに十分なメモリがありません。

テキスト	Natural ニュークリアスをロードするのに十分なメモリがありません。
[説明]	z/VSE で NDL バッチを実行すると、NDLSINID は、名前が JCL で指定された Natural フェーズのロードを試みます。 利用可能なメモリが不十分なため、このフェーズをロードできませんでした。 モジュール名： NDLSINID
[対処]	Natural バッチフェーズのサイズをチェックし、そのサイズに応じて、JCL で SIZE パラメータを指定してください。

NAT4000 : **Natural** エラーテキスト **4nnn** は表示できません。

テキスト	Natural エラーテキスト 4nnn は表示できません。
[説明]	4000 番台のエラーに対して、有効な特定のエラーメッセージはありません。

62

Natural システムエラーメッセージ 4001～4050

NAT4001 : DC、ID および IA の制御文字は互いに異なるものでなければなりません。

テキスト	DC、ID および IA の制御文字は互いに異なるものでなければなりません。
[説明]	入力データストリーム処理の際、それぞれの区別ができなくなるので、小数点 (DC)、INPUT 区切り (ID)、INPUT 割り当て文字 (IA) はそれぞれ異なるものでなければなりません。
[対処]	DC、ID、および IA に異なる値を入力してください。

NAT4002 : 「OFF」、 「ON」、 「OPT」、または「*」を入力してください。

テキスト	「OFF」、 「ON」、 「OPT」、または「*」を入力してください。
[説明]	GLOBALS 画面上で MCG パラメータを設定するために、次のオプションがあります。 - "OFF" : Natural Optimizer Compiler (NOC) が非アクティブになります。 - "ON" : 追加オプションなしで NOC がアクティブになります。 - "OPT" または "*" : ウィンドウが表示され、NOC をアクティブにできます。 また、追加オプション (オーバーフローチェック、インデックスチェック、ミックスモード、I/O ステートメントの最適化) をアクティブ化するか、または非アクティブ化することができます。
[対処]	GLOBALS 画面上の MCG フィールドに、「ON」、 「OFF」、 「OPT」または「*」を入力してください。

NAT4003 : "ON" ="Y" のときのみ追加オプション = "Y" とできます。

テキスト	"ON" ="Y" のときのみ追加オプション = "Y" とできます。
[説明]	Natural Optimizer Compiler (NOC) の追加オプションをアクティブ ("Y") にするには、まず NOC 自体をアクティブに ("ON" を "Y" に設定) しなければなりません。 NOC を非アクティブに ("ON" を "N" に設定) するには、有効になっていた追加オプションをすべて非アクティブにしなければなりません。
[対処]	追加オプションを "Y" に設定するには、"ON" を "Y" に設定してください。 "ON" を "N" に設定するには、すべての追加オプションを "N" に設定してください。

NAT4004 : 行サイズは、2 から 250 までの値でなければなりません。

テキスト	行サイズは、2 から 250 までの値でなければなりません。
[説明]	1 つの論理行には、最大で 250 文字出力できます。 LS パラメータが物理行サイズより大きい場合には、複数行にまたがって出力されます。
[対処]	行サイズの値を 250 以下にしてください。

NAT4005 : ページサイズは、0 から 250 までの値でなければなりません。

テキスト	ページサイズは、0 から 250 までの値でなければなりません。
[説明]	1 つのステートメントで作成し、1 つの論理ページに配置できるのは 250 行までです。 FORMAT ステートメントで指定できるのは PS=0 のみで、その意味は次のとおりです。 - 最初のレポート (レポート 0) の場合： 物理デバイスのページサイズから 1 を引いた値が使用されます。 - レポート 1～31 の場合： 改ページ処理は抑制されます。つまり、 改ページ処理は自動的に実行されません。
[対処]	PS パラメータに正しい値を入力してください。

NAT4006 : IM パラメータに指定できる値は、"D" または "F" のみです。

テキスト	IM パラメータに指定できる値は、"D" または "F" のみです。
[説明]	IM (入力モード) パラメータの値として使用できるのは、 "D" (デリミタモード) または "F" (フォームモード) のみです。
[対処]	IM パラメータに「D」または「F」を入力してください。

NAT4007 : このタイプのパラメータには "ON" または "OFF" のみを指定できます。

テキスト	このタイプのパラメータには "ON" または "OFF" のみを指定できます。
[説明]	このタイプのパラメータに可能な値は "ON" と "OFF" のみです。
[対処]	このパラメータに「ON」と「OFF」のどちらかを入力してください。

NAT4008 : SL パラメータ値は 20~250 にしなければなりません。

テキスト	SL パラメータ値は 20~250 にしなければなりません。
[説明]	バッチモードで入力する場合、ソース行の長さは 20~250 文字です。 Natural フルスクリーンエディタで編集できるのは 72 文字までの行です。
[対処]	SL パラメータに正しい値を入力してください。

NAT4009 : フィールド間の空白は、1 から 30 までの値でなければなりません。

テキスト	フィールド間の空白は、1 から 30 までの値でなければなりません。
[説明]	出力列の間に置くことのできる空白は 30 までです。
[対処]	SF パラメータに正しい値 (1~30) を入力してください。

NAT4010 : ライブラリ ID の指定が正しくありません。

テキスト	ライブラリ ID の指定が正しくありません。
[説明]	ライブラリ ID は、英字で始まる 8 文字までの英数字でなければなりません。
[対処]	ライブラリ ID に正しい値を入力してください。

NAT4011 : デフォルトの制限を超える制限を指定できません。

テキスト	デフォルトの制限を超える制限を指定できません。
[説明]	表示されている現在のデフォルト制限値より大きい値に制限を指定することはできません。 制限の値を減らすことは可能です。 デフォルトの制限値は Natural インストール時に定義されます。
[対処]	現在の制限値より小さい値を入力してください。

NAT4012 : 前のソースエリアの中身は削除されてしまいました。

テキスト	前のソースエリアの中身は削除されてしまいました。
[説明]	別のオブジェクトがソースエリアにあるのに、DDM をカタログしようとした。このオブジェクトはソースエリアから削除され、現在ソースエリアは空です。
[対処]	DDM をカタログする前に、オブジェクトをソースエリアに読み込んでください。

NAT4013 : 生成機能は **Adabas** ファイルに対してのみ有効です。

テキスト	生成機能は Adabas ファイルに対してのみ有効です。
[説明]	- DB2 または SQL/DS テーブルから DDM を生成するには、 "DB2, SQL/DS Services" 機能を使用します。 - DL/I セグメント記述から DDM を生成するには、 "DL/I Services" 機能を使用します。 - VSAM ファイルの DDM は生成できないので、編集機能を使用して指定内容を 手入力します。
[対処]	データベースタイプに対応して、適切な機能を使用してください。

NAT4014 : "0" を除く **Adabas DBID** を入力してください。

テキスト	"0" を除く Adabas DBID を入力してください。
[対処]	正しい DBID を入力してください。

NAT4015 : **DDM** をカタログする前に、ソースエリアに読み込んでください。

テキスト	DDM をカタログする前に、ソースエリアに読み込んでください。
[説明]	DDM をカタログする前に、ソースエリアに読み込まなくてはなりません。
[対処]	DDM をソースエリアに読み込んでください。

NAT4016 : この機能は有効ではありません。

テキスト	この機能は有効ではありません。
[説明]	"DB2, SQL/DS Services" 機能は、Natural for DB2 または Natural for SQL/DS がインストールされているときにのみ有効です。 また "DL/I Services" 機能は、Natural for DL/I がインストールされているときにのみ有効です。
[対処]	別の機能を選択するか、 またはデータベース管理者に連絡してください。

NAT4017 : オブジェクトの名前を変更しました。

テキスト	オブジェクトの名前を変更しました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4018 : ユーザー :1: が CATALL でこのライブラリをカタログしています。

テキスト	ユーザー ... が CATALL でこのライブラリをカタログしています。
[説明]	ライブラリの CATALL は一度に 1 ユーザーにのみ許されます。
[対処]	1) 後でもう一度実行してください。 2) CATALL を発行した人に CATALL を実行するように頼んでください。 または、この人がわからないときは 3) オブジェクト 0CATALL を自分で削除してください。

NAT4019 : ファイル :1: はデータベース :2: に存在しません。

テキスト	ファイル ... はデータベース ... に存在しません。
[説明]	LF コールを使用して Adabas に対する DDM のチェック中に、レスポンスコード 17、サブコード 11が返されました。DDM が参照する FDT が Adabas に存在しません。
[対処]	DDM の DBID または FNR あるいはその両方を変更するか、または Ababas FDT をロードしてください。

NAT4020 : キー設定が変更されましたが、更新されていません。PF2 を押して印刷します。

テキスト	キー設定が変更されましたが、更新されていません。PF2 を押して印刷します。
[説明]	Natural の PF キー設定がオンラインで変更されたが、PF5 キーで更新されていないために、設定を出力表示したものが、Natural の定義と同じでない可能性があります。
[対処]	PF2 キーを押して PF キー設定を出力するか、または PF5 キーを押して最初に更新してください。

NAT4021 : キーテーブルが正常に更新されました。

テキスト	キーテーブルが正常に更新されました。
[説明]	Natural セッションの新しいキー設定が正常に更新されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4022 : AIV 変数が定義されていません。

テキスト	AIV 変数が定義されていません。
[説明]	現時点では、AIV 変数がありません。

NAT4023 : XREF パラメータの有効な値は、"ON"、"OFF"、または "FORCE" です。

テキスト	XREF パラメータの有効な値は、"ON"、"OFF"、または "FORCE" です。
[説明]	XREF パラメータは、アクティブなクロスリファレンス機能を使用するかどうかを示します。可能な設定は次のとおりです。 ON - Natural プログラムをカタログするたびに、データベースフィールド、サブルーチン、およびマップに対する Natural のクロスリファレンスデータが、適切な Predict エントリに格納されます。 OFF - クロスリファレンスアクティビティは実行されません。 FORCE - プログラムに Predict エントリが存在するかどうかチェックされます。存在する場合は、CATALOG が許可され、クロスリファレンスデータが格納されます。存在しない場合は、CATALOG が許可されません。
[対処]	正しい値を入力します。

NAT4024 : 出力モードのパラメータでは、"C"、"I"、"P"、および "R" が有効です。

テキスト	出力モードのパラメータでは、"C"、"I"、"P"、および "R" が有効です。
[説明]	出力モードのパラメータとして、次の値の 1 つまたは 2 つを指定できます。 C - 代替文字セット I - 逆方向 P - 標準文字セット R - 標準方向
[対処]	正しい値を入力します。

NAT4025 : ページデータセットパラメータに指定できる最大値は 255 です。

テキスト	ページデータセットパラメータに指定できる最大値は 255 です。
[説明]	NATPAGE 画面ページングユーティリティを使用すると、Natural システムファイル (FUSER) に、最大で 255 のページ (画面) を同時に格納できます。ページデータセット (PD) パラメータに設定した値より多くのページがシステムファイルに書き込まれた場合、そのページは複数行にまたがって出力されます。
[対処]	ページデータセット (PD) パラメータの値を、1～255 に変更してください。

NAT4026 : 最大 CPU 時間パラメータ (MT) が大きすぎます。

テキスト	最大 CPU 時間パラメータ (MT) が大きすぎます。
[説明]	最大 CPU 時間パラメータ (MT) は、Natural プログラムが CPU を使用できる最長時間を指定します。値は秒単位で指定します。 指定した値が、オペレーティングシステムの最大値を超えています。 最大値を超えた値は、オペレーティングシステムでサポートされている最大値まで減らされます。 MT を "0" に設定した場合は、Natural の CPU 時間の限度は有効になりません。
[対処]	オペレーティングシステムでサポートされている最大値より小さな値を MT に指定してください。

NAT4027 : DFSTACK パラメータに指定できる値は、"S"、"I" または "C" のみです。

テキスト	DFSTACK パラメータに指定できる値は、"S"、"I" または "C" のみです。
[説明]	DFSTACK パラメータに使用できる値は、"S" (2 バイトの年)、 "I" (4 バイトの年)、または "C" (チェック付きの 2 バイトの年) のみです。
[対処]	DFSTACK パラメータに「S」、「I」、または「C」を入力してください。

NAT4028 : DFOUT パラメータに指定できる値は、"S" または "I" のみです。

テキスト	DFOUT パラメータに指定できる値は、"S" または "I" のみです。
[説明]	DFOUT パラメータに使用できる値は、"S" (2 バイトの年)、 または "I" (4 バイトの年) のみです。
[対処]	DFOUT パラメータに「S」または「I」を入力してください。

NAT4029 : オブジェクトが印刷されました。

テキスト	オブジェクトが印刷されました。
[説明]	選択したオブジェクトは、プリンタに送られました。
[対処]	対処不要。

NAT4030 : 「ON」、「OFF」、または「VID」を入力してください。

テキスト	「ON」、「OFF」、または「VID」を入力してください。
[説明]	ON : グローバルフォーマット ID が常に生成されます。 OFF : グローバルフォーマット ID が生成されません。 VID : グローバルフォーマット ID が LDA または GDA の DDM に対して生成されます。
[対処]	「ON」、「OFF」、または「VID」を入力してください。

NAT4031 : 「ON」または「OFF」を入力してください。

テキスト	「ON」または「OFF」を入力してください。
[説明]	このフィールドに有効な値は、「ON」または「OFF」のみです。 値の意味については、ドキュメントを参照してください。
[対処]	有効値を挿入してください。

NAT4032 : "OFF"、"ON" または "VID" のいずれかを選択してください。

テキスト	"OFF"、"ON" または "VID" のいずれかを選択してください。
[説明]	このフィールドに有効な値は次のとおりです。 ON : すべてのビューに対してグローバルフォーマット ID が生成されます (デフォルト値)。 OFF : グローバルフォーマット ID は生成されません。 VID : グローバルフォーマット ID が、ローカル/グローバルデータエリアのビューに対してのみ生成されます。 プログラム内で定義されたビューに対しては生成されません。
[対処]	正しい値を入力します。

NAT4033 : コンパイルオプションが更新されました。

テキスト	コンパイルオプションが更新されました。
[説明]	画面上に表示された値に従って、コンパイルオプションが更新されました。
[対処]	対処不要。

NAT4034 : DFTITLE パラメータに指定できる値は、「S」、「I」または「L」のみです。

テキスト	DFTITLE パラメータに指定できる値は、「S」、「I」または「L」のみです。
[説明]	DFTITLE パラメータに使用できる値は、「S」(ショート)、 "I" (内部)、または "L" (ロング) のみです。
[対処]	DFTITLE パラメータに「S」、「I」、または「L」を入力してください。

NAT4035 : 不正な値 :1: が入力されました。

テキスト	不正な値 ... が入力されました。
[対処]	正しい値を入力してください。

NAT4036 : 不正な値 :1: がパラメータ :2: に渡されました。

テキスト	不正な値 ... がパラメータ ... に渡されました。
[説明]	不正な値が Natural モジュールのパラメータに渡されました。 ユーザーによる入力間違いか、 または内部エラーが発生しました。
[対処]	入力パラメータを変更するか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT4037 : :1: は :2: より小さくしなければなりません。

テキスト	... は ... より小さくしなければなりません。
[説明]	入力された値は別の値より小さくしなければなりません。
[対処]	より小さな値を入力してください。

NAT4038 : :1: は :2: より大きくしなければなりません。

テキスト	... は ... より大きくしなければなりません。
[説明]	入力された値は別の値より大きくしなければなりません。
[対処]	より大きな値を入力してください。

NAT4039 : :1: は :2: から :3: の範囲でなければなりません。

テキスト	... は ... から ... の範囲でなければなりません。
[説明]	入力値は不正な範囲の値かもしれません。
[対処]	入力値を変更してください。

NAT4040 : :1: が存在しません。

テキスト	... が存在しません。
[説明]	これについて詳細な説明はありません。

NAT4041 : :1: はすでに存在しています。

テキスト	... はすでに存在しています。
[対処]	入力を変更するか、または置換オプションを "はい" に設定してください。

NAT4043 : :1: は空です。

テキスト	... は空です。
[説明]	これについて詳細な説明はありません。

NAT4044 : この機能は **Predict** 定義により許可されていません。

テキスト	この機能は Predict 定義により許可されていません。
[説明]	Predict 内の定義により、この機能の使用は許可されていません。
[対処]	Predict 管理者に連絡してください。

NAT4045 : **Predict** マスタレコード内でエラーとなりました。

テキスト	Predict マスタレコード内でエラーとなりました。
[説明]	これについて詳細な説明はありません。

NAT4046 : フィールドが、**Adabas** の **LOB** フィールドとして定義されています。

テキスト	フィールドが、Adabas の LOB フィールドとして定義されています。
[説明]	DDM フィールドは Adabas の LOB フィールドとして定義されていますが、"LB" フィールドオプションでマークされていません。
[対処]	.e コマンドでアクティブにした拡張フィールド編集マップで、"LB" フィールドオプションでフィールドをマークしてください。

NAT4047 : フィールドが、**Adabas** の ロング英数字フィールドとして定義されています。

テキスト	フィールドが、Adabas の ロング英数字フィールドとして定義されています。
[説明]	DDM フィールドは Adabas の ロング英数字フィールドとして定義されていますが、"LA" フィールドオプションでマークされていません。
[対処]	.e コマンドでアクティブにした拡張フィールド編集マップで、"LA" フィールドオプションでフィールドをマークしてください。

NAT4048 : 拡張パラメータサイズは小さすぎます。

テキスト	拡張パラメータサイズは小さすぎます。
[説明]	Natural サブプログラムは、ダイナミックパラメータエリア (1:V) を指定して呼び出されています。呼び出し側プログラム内のパラメータエリアのサイズが、サブプログラム内で予期されているサイズより小さくなっています。
[対処]	呼び出し側プログラムを変更するか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT4049 : :1: は :2: のためにだけ許可されています。

テキスト	... は ... のためにだけ許可されています。
[説明]	これについて詳細な説明はありません。

NAT4050 : 物理 DDM のための重複ファイル番号は許可されていません。

テキスト	物理 DDM のための重複ファイル番号は許可されていません。
[説明]	物理 VSAM DDM のためのファイル番号は一度のみ使用できます。
[対処]	別のファイル番号を使用するか、または置換オプションを "はい" に指定してください。

63

Natural システムエラーメッセージ 4051～4100

NAT4051 : ユーザー DDM と関係したファイルは存在しません。

テキスト	ユーザー DDM と関係したファイルは存在しません。
[説明]	VSAM ユーザー DDM は、存在しない物理 VSAM DDM に関連しています。 論理ユーザー DDM は、物理ファイルと同じファイル番号を持っていない必要があります。
[対処]	ファイル番号を訂正するか、または適切な物理 VSAM DDM を作成してください。

NAT4052 : 与えられた番号の物理ファイルがありません。

テキスト	与えられた番号の物理ファイルがありません。
[説明]	VSAM DDM は論理上、存在しない物理 VSAM DDM を参照しています。
[対処]	適切な物理 VSAM DDM を作成してください。 または、論理的に別の物理 VSAM DDM に DDM を関連付けてください。

NAT4053 : 論理ファイルは KSDS または VRDS タイプにしなければなりません。

テキスト	論理ファイルは KSDS または VRDS タイプにしなければなりません。
[対処]	論理ファイルタイプを変更してください。

NAT4054 : 関連する物理ファイルには見当たらないファイル番号です。

テキスト	関連する物理ファイルには見当たらないファイル番号です。
[対処]	ファイル番号を入力します。

NAT4055 : DDM がとても大きいので、十分なバッファサイズがありません。

テキスト	DDM がとても大きいので、十分なバッファサイズがありません。
[説明]	CHECK または CAT 操作中に、DDM は内部バッファ内に一時的に格納されます。このバッファを割り当てるのに利用可能な十分なスペースがありません。
[対処]	他の Natural バッファサイズ (例: ESIZE) を減らすか、DDM のサイズを減らすか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT4056 : プライマリキーは ESDS ファイルには無効です。

テキスト	プライマリキーは ESDS ファイルには無効です。
[対処]	プライマリキーフィールドを削除してください。

NAT4057 : RRDS ファイルはキーを含んではいけません。

テキスト	RRDS ファイルはキーを含んではいけません。
[対処]	キーを削除してください。

NAT4058 : 重複したロングフィールド名 :1: は許可されていません。

テキスト	重複したロングフィールド名 ... は許可されていません。
[説明]	同じロングネームを持った 2 つの DDM フィールドがあります。これは許可されません。
[対処]	DDM フィールドのロングネームを変更してください。

NAT4059 : :1:

テキスト	...
[説明]	これについて詳細な説明はありません。

NAT4060 : KSDS ファイルは少なくとも 1 つプライマリキーを含んでいなければなりません。

テキスト	KSDS ファイルは少なくとも 1 つプライマリキーを含んでいなければなりません。
[対処]	KSDS DDM 内にプライマリキーを挿入してください。

NAT4061 : 代替インデックス名は "A" と "X" タイプのみ有効です。

テキスト	代替インデックス名は "A" と "X" タイプのみ有効です。
[説明]	代替インデックスがフィールドに指定されていますが、フィールドのディスクリプタ列に、"A" または "X" がマークされていません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4062 : :1: の値は "Y" または "N" にしなければなりません。

テキスト	... の値は "Y" または "N" にしなければなりません。
[説明]	入力フィールドの値は "Y" または "N" にしなければなりません。
[対処]	「Y」または「N」を入力するか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT4063 : :1: は空白であってははいけません。

テキスト	... は空白であってははいけません。
[対処]	空白以外の値を入力するか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT4064 : :1: は :2: にしなければなりません。

テキスト	... は ... にしなければなりません。
[説明]	これについて詳細な説明はありません。

NAT4065 : :1: のカタログはセキュリティ定義により許可されていません。

テキスト	... のカタログはセキュリティ定義により許可されていません。
[説明]	ユーザーは、Natural Security 内に、この DDM をカタログするための特権を持っていません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡するか、または DDM の名前を変更してください。

NAT4066 : DDM のカタログは、SYSDDM ユーティリティには許可されていません。

テキスト	DDM のカタログは、SYSDDM ユーティリティには許可されていません。
[説明]	ユーザーは、SYSDDM ユーティリティで DDM をカタログする特権を持っていません。
[対処]	Natural Security の管理者に連絡してください。

NAT4067 : コード "C" はサポートされていません。 :1:

テキスト	コード "C" はサポートされていません。 ...
[説明]	Natural Security への呼び出し中に内部エラーが発生しました。 Natural Security は、DDM のカタログのためのコード "C" を識別しません。 Natural Security はレスポンスコードを発行しました。
[対処]	Natural Security の管理者に連絡してください。

NAT4068 : 重複したショートネーム :1: は許可されていません。

テキスト	重複したショートネーム ... は許可されていません。
[説明]	2 回以上ショートネームを使用することは、この DDM では許可されていません。
[対処]	フィールドのショートネームを変更してください。

NAT4069 : スーパー/サブディスクリプタ :1: は PE/MU フィールド :2: を参照してはいけません。

テキスト	スーパー/サブディスクリプタ ... は PE/MU フィールド ... を参照してはいけません。
[説明]	スーパーディスクリプタまたはサブディスクリプタのマスタフィールドは、 ピリオディックグループでもマルチプルバリューでもいけません。
[対処]	スーパーディスクリプタまたはサブディスクリプタを変更してください。

NAT4070 : 作成者が DDM 名に見つかりません。テーブルに対する確認ができません。

テキスト	作成者が DDM 名に見つかりません。テーブルに対する確認ができません。
[説明]	SQL DDM の DDM 名は、"." によって区切られた作成者名とテーブル名で 構成されることになっています。もし作成者およびテーブル名が識別できない場合、 SQL DDM は SQL テーブルに対して確認できません。 DDM のカタログを作成する場合、SQL テーブルに対する確認がないことに 注意してください。
[対処]	"." によって区切られた作成者名とテーブル名から成る DDM 名を 使用してください。

NAT4071 : Adabas LF- コマンドの後にリターンコード :1: が返りました。

テキスト	Adabas LF- コマンドの後にリターンコード ... が返りました。
[説明]	Adabas LF- コマンドは、FDT のフィールド文字を検索するために 発行されました。0 (ゼロ) 以外のリターンコードはコール後に 受け取られました。
[対処]	FDT のファイル番号を確認するか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT4072 : このコマンドは許可されていません。

テキスト	このコマンドは許可されていません。
[説明]	Natural Security により許可されていない機能を実行しようとしてしました。
[対処]	Natural Security の管理者に連絡してください。

NAT4073 : テーブル名および作成者名を指定してください。

テキスト	テーブル名および作成者名を指定してください。
[説明]	SQL テーブルから DDM を生成しようとしてしましたが、作成者または SQL テーブルのテーブル名が見つかりませんでした。
[対処]	作成者名およびテーブル名を発行してください。

NAT4074 : テーブル **:1:** (**:2:** により作成されたテーブル) が見つかりません。

テキスト	テーブル ... (... により作成されたテーブル) が見つかりません。
[説明]	DDM の作成元 SQL テーブルは見つかりませんでした。
[対処]	SQL テーブルを作成するか、または正しい作成者およびテーブル名を発行してください。

NAT4075 : ビューの列が多すぎます (<750) 。

テキスト	ビューの列が多すぎます (<750) 。
[説明]	DDM の生成元 SQL テーブルの列が多すぎます。列の最大数は 750 です。
[対処]	テーブル内の列の数を減らしてください。

NAT4076 : SQL ビュー構文解析エラー **:1:** (NATG0301) 。

テキスト	SQL ビュー構文解析エラー ... (NATG0301) 。
[説明]	更新可能フィールド用のビューのチェック中にエラーが発生しました。ビュー定義内にエラーのある可能性があります。
[対処]	Natural の管理者に連絡してください。

NAT4077 : テーブル **:1:** に列がありません。

テキスト	テーブル ... に列がありません。
[説明]	列のない SQL テーブルから DDM を生成しようとしてしました。
[対処]	Natural の管理者に連絡してください。

NAT4078 : 列が多すぎるためショートネームを生成できません。

テキスト	列が多すぎるためショートネームを生成できません。
[説明]	DDM 内のキーフィールドおよびキー以外のフィールドのショートネームは、数が制限されています。1 種類のフィールドの最大数を超えました。
[対処]	SQL テーブル内の列の数を減らしてください。

NAT4079 : 不正なデータベース番号です。

テキスト	不正なデータベース番号です。
[説明]	コンテキスト内で有効ではないデータベース番号が発行されました。
[対処]	別のデータベース番号を入力してください。

NAT4080 : DDM は DB2 以外のデータベース上ですでに定義されています。

テキスト	DDM は DB2 以外のデータベース上ですでに定義されています。
[説明]	カタログしようとした DDM の名前はすでに存在しています。ただし、その DDM は DB2 に対するものではありません。
[対処]	DDM には別の名前を使用してください。

NAT4081 : DB2 はアクティブでないため、DDM をテストすることができません。

テキスト	DB2 はアクティブでないため、DDM をテストすることができません。
[説明]	DB2 データベースに対して、DB2 DDM を確認しようとしてしましたが、Natural は DB2 がアクティブでないことを検知しました。
[対処]	Natural の管理者に連絡してください。

NAT4082：空値インジケータはタイプ I2 にしなければなりません。

テキスト	空値インジケータはタイプ I2 にしなければなりません。
[説明]	空値インジケータは、要求されたタイプおよび長さではありません。
[対処]	空値インジケータのフォーマットまたは長さ、あるいはその両方を変更してください。

NAT4083：LOB フィールドまたはロング英数字フィールドのフォーマットまたは長さが正しくありません。

テキスト	LOB フィールドまたはロング英数字フィールドのフォーマットまたは長さが正しくありません。
[説明]	LOB フィールドに許容されているフォーマットは、"A"、"B"、または "U" です。 フォーマット "A" または "B" の最大長は 1073741824 です。 フォーマット "U" の最大長は 536870912 です。 ロング英数字フィールドに許容されているフォーマットは、"A" または "U" です。 フォーマット "A" の最大長は 16381 です。 フォーマット "U" の最大長は 8190 です。
[対処]	正しいフォーマットまたは長さ、あるいはその両方を指定してください。

NAT4084：空値インジケータはディスクリプタです。

テキスト	空値インジケータはディスクリプタです。
[説明]	空値インジケータはディスクリプタとして定義されていますが、DDM 内の空値インジケータフィールドは、ディスクリプタとして定義されていません。
[対処]	ディスクリプタとして DDM の空値インジケータフィールドを定義してください。

NAT4085：空値インジケータおよびそのフィールドは同じショートネームでなければなりません。

テキスト	空値インジケータおよびそのフィールドは同じショートネームでなければなりません。
[説明]	フィールドのショートネームおよび対応する空値インジケータのショートネームは同じでなければなりません。
[対処]	空値インジケータのショートネームを変更してください。

NAT4086 : 不正な空値インジケータフィールド名です。

テキスト	不正な空値インジケータフィールド名です。
[説明]	空値インジケータのロングネームは、N@ が接頭辞として付けられた対応するフィールドのロングネームにしなければなりません。
[対処]	空値インジケータのロングネームを変更してください。

NAT4087 : フォーマットはバイナリ (B) にしなければなりません。

テキスト	フォーマットはバイナリ (B) にしなければなりません。
[説明]	フィールドのフォーマットは、データベースに対して DDM をチェックしている間に、バイナリとして見つかりました。
[対処]	そのフィールドのフォーマットをバイナリに設定してください。

NAT4088 : フィールドが、Adabas の LOB フィールドとして定義されていません。

テキスト	フィールドが、Adabas の LOB フィールドとして定義されていません。
[説明]	DDM フィールドは、フィールドオプション "LB" でマークされています。これは、このフィールドが Adabas の LOB フィールドであることを示しています。ただし、このフィールドは、Adabas の LOB フィールドとして定義されていません。
[対処]	DDM を再生成するか、.e 行コマンドでアクティブにした拡張フィールド編集マップでフィールドオプションを変更します。

NAT4089 : フィールドが、Adabas の ロング英数字フィールドとして定義されていません。

テキスト	フィールドが、Adabas の ロング英数字フィールドとして定義されていません。
[説明]	DDM フィールドは、フィールドオプション "LA" でマークされています。これは、このフィールドが Adabas の ロング英数字フィールドであることを示しています。ただし、このフィールドは、Adabas の ロング英数字フィールドとして定義されていません。
[対処]	DDM を再生成するか、.e 行コマンドでアクティブにした拡張フィールド編集マップでフィールドオプションを変更します。

NAT4090 : レスポンスコード :1: の CMZUL :2:。

テキスト	レスポンスコード ... の CMZUL ...。
[説明]	CMZUL エディタを呼び出し中にエラーとなりました。
[対処]	Natural の管理者に連絡してください。

NAT4091 : ファイル番号が正しくありません。

テキスト	ファイル番号が正しくありません。
[説明]	1 から 5000 の範囲内のファイル番号が入力されなければなりません。
[対処]	正しいファイル番号を入力します。

NAT4092 : CICS ファイル名が見当たりません。

テキスト	CICS ファイル名が見当たりません。
[説明]	これについて詳細な説明はありません。

NAT4093 : K、E、R、V (file-org); Y、N (compress); F、C (zone) だけ許可されています。

テキスト	K、E、R、V (file-org) ;Y、N (compress) ;F、C (zone) だけ許可されています。
[説明]	これについて詳細な説明はありません。

NAT4094 : Y (compress) は KSDS、ESDS、VRDS ファイルだけ許可されています。

テキスト	Y (compress) は KSDS、ESDS、VRDS ファイルだけ許可されています。
[説明]	これについて詳細な説明はありません。

NAT4095 : 不正なコマンドです。正しいコマンドを入力してください。

テキスト	不正なコマンドです。正しいコマンドを入力してください。
[説明]	不正なコマンドが入力されました。
[対処]	正しいコマンドを入力します。

NAT4096 : 要素の長さは :1: より大きくすることはできません。

テキスト	要素の長さは ... より大きくすることはできません。
[説明]	フィールドの長さとして、このフィールドタイプの最大値よりも長い値が入力されています。
[対処]	チェックして、正しい長さを入力してください。

NAT4097 : 機能はキャンセルされました。

テキスト	機能はキャンセルされました。
[説明]	ユーザーにより、機能はキャンセルされました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4098 : データベース ID :1: は DB2 テーブルには無効です。

テキスト	データベース ID ... は DB2 テーブルには無効です。
[対処]	正しいデータベース ID を入力するか、または選択してください。

NAT4099 : **Super Natural** ユーザーファイルへの書き込みは許可されていません。

テキスト	Super Natural ユーザーファイルへの書き込みは許可されていません。
[説明]	Super Natural ユーザーファイルは、Super Natural アプリケーションにより生成されます。別のファイルタイプで、そのファイルの読み込みやリスト、および格納やバックアップができます。しかし、そのファイルを使用する Super Natural アプリケーションは実行されていないので、その変更は許可されていません。

NAT4100 : ファイル名を指定してください。

テキスト	ファイル名を指定してください。
[説明]	LIST FILE 機能を選択する場合は、ファイル名を指定しなければなりません。
[対処]	機能とファイル名を入力してください。

64

Natural システムエラーメッセージ 4101～4150

NAT4101 : ソースワークエリアには現在オブジェクトが存在しません。

テキスト	ソースワークエリアには現在オブジェクトが存在しません。
[説明]	パラメータを指定しないで LIST コマンドを発行すると、現在ソースワークエリア内に存在するオブジェクトのソースをリストしますが、現在ソースワークエリアは空です。
[対処]	LIST コマンドで、リストするオブジェクト名を指定してください。

NAT4102 : 行を選択するための入力値は数値でなければなりません。

テキスト	行を選択するための入力値は数値でなければなりません。
[説明]	リストするプログラム行は数値で指定しなければなりません。
[対処]	行を選択するために数値を入力してください。

NAT4103 : クロスリファレンスのためのスキャン機能にはスキャン値が必要です。

テキスト	クロスリファレンスのためのスキャン機能にはスキャン値が必要です。
[説明]	値のクロスリファレンスは、値として英数字定数が指定されている場合にのみ評価できます。
[対処]	スキャン値を入力してください。

NAT4104 : LIST サブコマンドが正しくありません。

テキスト	LIST サブコマンドが正しくありません。
[説明]	LIST 機能で不正なサブコマンドが指定されました。 HELP コマンドを使用して正しいコマンドの一覧を調べてください。
[対処]	正しい LIST サブコマンドを入力してください。

NAT4105 : クロスリファレンステーブルがオーバーフローしました。

テキスト	クロスリファレンステーブルがオーバーフローしました。
[説明]	クロスリファレンスリストを格納するための内部テーブルが格納できる参照は 240 件までのみです。 しかし、指定された値に対する参照がそれ以上存在します。
[対処]	参照する値をもっと特定のものに絞り込んでください。

NAT4106 : 行番号が範囲外なので、1 行目からリストします。

テキスト	行番号が範囲外なので、1 行目からリストします。
[説明]	プログラム内に存在しない行番号が指定されました。 LIST 機能は、プログラムを先頭からリストします。
[対処]	正しい行番号を入力してください。

NAT4107 : プログラムが異常終了しました。

テキスト	プログラムが異常終了しました。
[説明]	バッチモードで、プログラムの実行が異常終了しました。 エラーの原因がこのメッセージの上のバッチ出力リストに表示されます。
[対処]	出力リストでエラーの原因を参照してください。

NAT4110 : 選択した番号は範囲内にありません。

テキスト	選択した番号は範囲内にありません。
[説明]	選択するために表示されたファイル名の中のファイルのみが参照可能です。 指定された番号は表示された番号の中ではありません。
[対処]	正しい選択番号を入力します。

NAT4115 : 行番号が数値でないので、初めからリストします。

テキスト	行番号が数値でないので、初めからリストします。
[説明]	行番号として指定された値が数値ではありません。 プログラムは最初からリストされます。
[対処]	行を選択するために正しい番号を入力してください。

NAT4116 : 実際の行番号より大きい行番号が開始行番号に指定されました。

テキスト	実際の行番号より大きい行番号が開始行番号に指定されました。
[説明]	プログラム内に存在する最大行番号より大きな行番号が、 位置決めのために指定されました。 プログラムは最初からリストされます。
[対処]	正しい行番号を入力してください。

NAT4119 : 選択されたプログラムが、指定されたライブラリに存在しません。

テキスト	選択されたプログラムが、指定されたライブラリに存在しません。
[説明]	指定された名前のプログラムが、指定されたライブラリに存在しません。
[対処]	正しいプログラム名を入力してください。

NAT4121 : 編集するために選択できるプログラムは 1 つだけです。

テキスト	編集するために選択できるプログラムは 1 つだけです。
[説明]	選択メニューでは、編集するために選択できるプログラムは 1 つのみです。 カタログ、ページ、スクラッチ、リスト等では、複数プログラムの選択が可能です。
[対処]	編集には 1 つのプログラムのみを選択してください。

NAT4122 : 選択された番号は LIST PROGRAM の範囲外です。

テキスト	選択された番号は LIST PROGRAM の範囲外です。
[説明]	選択メニューに表示されたプログラム番号からのみ選択できます。
[対処]	正しい選択番号を入力してください。

NAT4123 : 現ライブラリにはソースプログラムが存在しません。

テキスト	現ライブラリにはソースプログラムが存在しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4125 : 要求されたファイル記述は使用可能ではありません。

テキスト	要求されたファイル記述は使用可能ではありません。
[説明]	リストするために指定されたファイル記述が存在しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。 正しいファイル名を指定してください。

NAT4126 : 要求されたフィールド名が DDM 中にはありません。

テキスト	要求されたフィールド名が DDM 中にはありません。
[説明]	要求されたフィールド名が DDM 中にはありません。 認識されるのは、Natural フィールドのロングネームのみです。
[対処]	「-」を入力し、DDMの先頭に移動してください。

NAT4127 : 不正な LIST FILE コマンドです。

テキスト	不正な LIST FILE コマンドです。
[説明]	画面分割エディタで使用された LIST FILE コマンドが正しくありません。
[対処]	「?」を入力し、ヘルプ機能で正しいコマンドを調べてください。

NAT4128 : ファイル定義が途中までしかリストされません。

テキスト	ファイル定義が途中までしかリストされません。
[説明]	リストされる DDM のサイズが大きすぎます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4129 : スキャン値の指定がありません。

テキスト	スキャン値の指定がありません。
[説明]	画面分割モードでは、「S SC=」コマンドを入力して スキャンを繰り返す前に「S SC value」コマンドで スキャン値を指定しなければなりません。
[対処]	正しいコマンドを入力してください。

NAT4130 : ローカルなコマンドのみ許されます。

テキスト	ローカルなコマンドのみ許されます。
[説明]	アプリケーションのこの部分では、ローカルなコマンドのみ許されます。
[対処]	コマンド行のヘルプ機能を使用してください。

NAT4131 : ライブラリは空です。プログラムが1つも削除されませんでした。

テキスト	ライブラリは空です。プログラムが1つも削除されませんでした。
[説明]	ソースプログラムがないライブラリに対して、PURGE コマンドが発行されました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4132 : LAST コマンドに対して有効なコマンドがありません。

テキスト	LAST コマンドに対して有効なコマンドがありません。
[説明]	LAST コマンドは、最後に発行されたコマンドを表示するために使用されます。しかし、LAST コマンドの前に発行されたコマンドがありませんでした。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4133 : LAST で要求されたコマンドが有効ではありません。

テキスト	LAST で要求されたコマンドが有効ではありません。
[説明]	LAST コマンドで、特定のコマンドを要求しましたが、そのコマンドは有効ではありません。
[対処]	最後から9つ目までに発行したコマンドリストに対して、"LAST *" コマンドを発行してください。

NAT4134 : コマンド選択が正しくありません。

テキスト	コマンド選択が正しくありません。
[説明]	"LAST *" で呼び出されたウィンドウで、次のコマンドを選択できます。 - 1つのコマンドを再実行するには、ある文字でコマンドをマークして Enter キーを押すか、またはカーソルでコマンドをマークして PF5 キーを押します。 - 複数のコマンドを実行するには、再実行する順に番号でコマンドをマークし、Enter キーを押します。 これで、コマンドは番号の昇順に実行されます。 このエラーが発生した原因は次のとおりです。 - 同じ番号を2回使用しました。 - または番号のかわりに文字でコマンドのいずれかをマークしました。
[対処]	コマンドを正しく選択してください。

65

Natural システムエラーメッセージ 4201～4250

NAT4201 : ファイル番号は、1 から 5000 の範囲でなければなりません。

テキスト	ファイル番号は、1 から 5000 の範囲でなければなりません。
[説明]	指定できるデータベースファイル番号の範囲は、1 から 5000 までです。
[対処]	正しいファイル番号を入力してください。

NAT4202 : ファイル名の最初の文字が英字ではありません。

テキスト	ファイル名の最初の文字が英字ではありません。
[説明]	正しいファイル名は英字で始まらなければなりません。 また、変数名の規則に従って指定してください。 Natural ドキュメントのユーザー定義変数に関するセクションを参照してください。
[対処]	正しいファイル名を入力します。

NAT4203 : ファイル名を指定しなければなりません。

テキスト	ファイル名を指定しなければなりません。
[説明]	ファイル名の必要な CATALOG 機能で、ファイル名が指定されていませんでした。
[対処]	正しいファイル名を入力します。

NAT4204 : その前のレベルより高いレベルを指定しなければなりません。

テキスト	その前のレベルより高いレベルを指定しなければなりません。
[対処]	レベルをチェックして、修正してください。

NAT4205 : ファイル名に正しくない文字がありました。

テキスト	ファイル名に正しくない文字がありました。
[説明]	ファイル名は、変数名の規則に従って指定してください。 Natural ドキュメントのユーザー定義変数に関するセクションを参照してください。
[対処]	正しいファイル名を入力してください。

NAT4206 : "デフォルト順" フィールドの名前が正しくありません。

テキスト	"デフォルト順" フィールドの名前が正しくありません。
[説明]	デフォルト順として指定されたディスクリプタ名が正しくありません。 デフォルトのディスクリプタはフィールドの2文字のショートネームで指定し、 グローバルデータベースファイル定義にディスクリプタとして存在していなければなりません。
[対処]	デフォルト順のディスクリプタとして正しい名前を入力してください。

NAT4207 : カップリングフィールドとしてのデータベースフィールド名が正しくありません。

テキスト	カップリングフィールドとしてのデータベースフィールド名が正しくありません。
[説明]	カップリング関係に指定するフィールド名は、 英字で始まる2文字のショートネームでなければなりません。 カップリング関係に使用されるフィールドは、 グローバルデータベースファイル定義に存在していなければなりません。
[対処]	カップリングフィールドとして正しい名前を入力してください。

NAT4208 : カップリングフィールドのフィールド名が正しくありません (S および D 欄)。

テキスト	カップリングフィールドのフィールド名が正しくありません (S および D 欄)。
[説明]	カップリングフィールドの名前は、グローバルファイル定義に存在する、 英字で始まる2文字のデータベースフィールド名を指定しなければなりません。 カップリングフィールド名の値は、 S および D の列に1文字ずつ入力しなければなりません。
[対処]	正しいカップリングフィールド名を入力してください。

NAT4209 : カップリングのファイル番号が数値ではありません。

テキスト	カップリングのファイル番号が数値ではありません。
[説明]	カップリングファイルの ID には、データベースのファイル番号を入力しなければなりません。 ファイル番号は 1 から 255 までの数値で指定する必要があります。 ヘッダーが "LENG" のフィールドに入力する必要があります。
[対処]	正しいカップリングファイル番号を入力してください。

NAT4210 : オカレンスに指定された値が正しくありません。

テキスト	オカレンスに指定された値が正しくありません。
[説明]	オカレンスに指定された値が正しくありません。 ピリオディックグループには 1~99 の値を、 マルチプルバリューフィールドには 1~191 の値を指定してください。
[対処]	オカレンスに正しい値を入力してください。

NAT4211 : ショートネームの指定がありません。

テキスト	ショートネームの指定がありません。
[説明]	フィールドの指定には、データベースフィールドのショートネームが必要です。 フィールドのショートネームには、英字で始まる 2 文字を指定しなければなりません。
[対処]	フィールドの正しいショートネームを入力してください。

NAT4212 : ロングネームの指定がありません。

テキスト	ロングネームの指定がありません。
[説明]	フィールドの指定にはロングネームが必要です。 ロングネームは英字で始まり、変数の命名規則に従っていなければなりません。 Natural ドキュメントのユーザー定義変数に関するセクションを参照してください。
[対処]	フィールドの正しいロングネームを入力してください。

NAT4213 : フィールド名の最初の文字が英字ではありません。

テキスト	フィールド名の最初の文字が英字ではありません。
[説明]	フィールドのロングネームの最初の文字は英字でなければなりません。
[対処]	フィールドに正しいロングネームを入力してください。

NAT4214：フィールドフォーマット（列 F）には、A、B、U、I、N、P、F、D、T、L のいずれかを指定する必要があります。

テキスト	フィールドフォーマット（列 F）には、A、B、U、I、N、P、F、D、T、L のいずれかを指定する必要があります。
[説明]	データベースフィールドには次のフォーマットのいずれかを指定してください。 A - 英数字 B - バイナリ U - unicode I - 整数 N - アンパック型数値 P - パック型数値 F - 浮動小数点 D - 日付 T - 時刻 L - 論理
[対処]	正しいフォーマットを入力します。

NAT4215：英数字フィールド長を 1～253 にするか、または LA/LB オプションを設定する必要があります。

テキスト	英数字フィールド長を 1～253 にするか、または LA/LB オプションを設定する必要があります。
[説明]	英数字フィールドの固定長には、253 文字までのみ指定できます。 可変長フィールドには、フォーマットオプション LA または LB を設定することにより、DYNAMIC と定義できます。フォーマットオプションを入力するには、.E 行コマンドを使用します。
[対処]	正しいフィールド長を入力するか、または LA/LB フォーマットオプションを設定してください。

NAT4216：数値フィールドの長さは 1～29 です。

テキスト	数値フィールドの長さは 1～29 です。
[説明]	数値フィールドの最大長は 29 桁です。 数値フィールドの長さは常に桁数で指定します。
[対処]	正しい数値の長さを入力してください。

NAT4217 : VSAM ディスクリプタに指定できるのは、"P"、"S"、"A"、"X"、または空白のみです。

テキスト	VSAM ディスクリプタに指定できるのは、"P"、"S"、"A"、"X"、または空白のみです。
[説明]	フィールドをディスクリプタフィールドとしてマークするために、 "P"、"S"、"A"、"X"、または空白以外の文字が指定されました。
[対処]	正しい文字 (P、S、A、X、または空白) を入力してください。

NAT4218 : フィールド長の指定が数値ではありません。

テキスト	フィールド長の指定が数値ではありません。
[説明]	フィールド長には "nn.m" の形式で数値を指定しなければなりません。 "nn" は整数の桁数、"m" は小数点以下の桁数を示します。
[対処]	正しい長さを入力してください。

NAT4219 : フィールドのロングネームには最低 3 文字必要です。

テキスト	フィールドのロングネームには最低 3 文字必要です。
[説明]	フィールドのロングネームは 3 文字以上でなければなりません。
[対処]	正しいフィールドロングネームを入力します。

NAT4220 : ロングネームに正しくない文字があります。

テキスト	ロングネームに正しくない文字があります。
[説明]	ロングネームは、変数名の命名規則に従っていなければいけません。 さらに英字で始まっていなければなりません。 Natural ドキュメントのユーザー定義変数に関するセクションを参照してください。
[対処]	正しいフィールドロングネームを入力します。

NAT4221 : ショートネームが正しくありません。

テキスト	ショートネームが正しくありません。
[説明]	フィールドのショートネームは、英字で始まる 2 文字でなければなりません。 フィールドのショートネームには "E0" から "E9" までは指定できません。
[対処]	データベースの正しいショートネームを入力してください。

NAT4222 : バイナリフィールドの長さは **1～126** でなければなりません。

テキスト	NAT4222 : バイナリフィールドの長さは 1～126 でなければなりません。
[説明]	バイナリフィールドの長さは 1～126 でなければなりません。
[対処]	フィールド長の値を修正してください。

NAT4223 : フィールドタイプ (T 列) は "*"、"P"、"G"、"M"、空白でなければなりません。

テキスト	フィールドタイプ (T 列) は "*"、"P"、"G"、"M"、空白でなければなりません。
[説明]	T 列に指定できる正しいフィールドタイプは次のとおりです。 * - コメント行 P - ピリオディックグループ G - フィールドグループ M - マルチプルバリューフィールド 空白 - エレメンタリフィールド
[対処]	正しいフィールドタイプを入力してください。

NAT4224 : 特殊オプションやディスクリプタをグループに対して入力しました。

テキスト	特殊オプションやディスクリプタをグループに対して入力しました。
[説明]	特殊オプション、または "D" (ディスクリプタ) はグループフィールドに対して指定できません。特殊オプションは、個々のフィールドに指定しなければなりません。
[対処]	フィールドグループに特殊オプションを入力しないでください。

NAT4225 : レベルが正しくありません。レベルは **1～7** である必要があります。

テキスト	レベルが正しくありません。レベルは 1～7 である必要があります。
[説明]	フィールドのレベルは 1 から 7 までの範囲で指定します。
[対処]	正しいレベル番号を入力してください。

NAT4226 : ピリオディックグループ内のピリオディックグループは許可されません。

テキスト	ピリオディックグループ内のピリオディックグループは許可されません。
[説明]	ピリオディックグループはネストできません。つまり、ピリオディックグループに、別のピリオディックグループが含まれてはいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4227 : グループに対して、編集マスクを指定してはいけません。

テキスト	グループに対して、編集マスクを指定してはいけません。
[説明]	フィールド（ピリオディック）グループに対して、編集マスクは指定できません。編集マスクは個々のフィールドに対してのみ指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4228 : グループに対して、フォーマットを指定してはいけません。

テキスト	グループに対して、フォーマットを指定してはいけません。
[説明]	グループにはフォーマットを指定できません。フォーマットは個々のフィールドに対してのみ指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4229 : グループに対して、長さを指定してはいけません。

テキスト	グループに対して、長さを指定してはいけません。
[説明]	グループには長さを指定できません。フィールド長は、個々のフィールドに対してのみ指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4230 : 特殊オプション（S列）は、"N"、"F"、または空白である必要があります。

テキスト	特殊オプション（S列）は、"N"、"F"、または空白である必要があります。
[説明]	特殊オプションに指定できるのは次のいずれかです。 N - 空値省略 F - 固定フィールド長 空白 - 通常
[対処]	正しい特殊オプションを入力してください。

NAT4231 : カップリングファイルのエントリは DDM の先頭に指定しなければなりません。

テキスト	カップリングファイルのエントリは DDM の先頭に指定しなければなりません。
[説明]	カップリングされたファイルのエントリは、DDM の先頭に指定しなければなりません。
[対処]	カップリングされたファイルのエントリを DDM の先頭に入力してください。

NAT4232 : VSAM、ISAM、LEASY に代替インデックスがありません。

テキスト	VSAM、ISAM、LEASY に代替インデックスがありません。
[説明]	ディスクリプタが "A" のとき、代替インデックスを指定しなければなりません。
[対処]	代替インデックスを入力してください。

NAT4233 : オカレンスは "1" より大きくしなければなりません。

テキスト	オカレンスは "1" より大きくしなければなりません。
[説明]	ピリオディックグループやマルチプルバリュースフィールドの場合、"1" より大きなオカレンスのみが許可されます。
[対処]	正しいオカレンスの値を入力してください。

NAT4234 : ピリオディックグループ内のマルチプルバリュースフィールドは許されません。

テキスト	ピリオディックグループ内のマルチプルバリュースフィールドは許されません。
[説明]	VSAM 処理では、ピリオディックグループにマルチプルバリュースフィールドが含まれてはいけません。
[対処]	DDM のフィールドを変更してください。

NAT4235 : マルチプルバリュースフィールドをディスクリプタにはできません。

テキスト	マルチプルバリュースフィールドをディスクリプタにはできません。
[説明]	VSAM 処理では、マルチプルバリュースフィールドをディスクリプタにはできません。
[対処]	フィールドタイプを変更するか、またはディスクリプタの指定を削除してください。

NAT4236 : ピリオディックグループのオカレンスがありません。

テキスト	ピリオディックグループのオカレンスがありません。
[説明]	VSAM 処理では、ピリオディックグループのオカレンスに "1" より大きな値を指定しなければなりません。
[対処]	正しいオカレンスを入力してください。

NAT4237 : グループ/ピリオディックグループに代替インデックスを指定できません。

テキスト	グループ/ピリオディックグループに代替インデックスを指定できません。
[説明]	VSAM 処理では、グループやピリオディックグループに代替インデックスは指定できません。
[対処]	フィールドタイプを変更してください。 または、代替インデックスを指定しないでください。

NAT4238 : カップリングファイルエントリが許されていません。

テキスト	カップリングファイルエントリが許されていません。
[説明]	VSAM 処理では、DDM にカップリングファイルエントリは指定できません。
[対処]	カップリングファイルエントリを削除してください。

NAT4239 代替インデックスファイル名に正しくない文字があります。

テキスト	代替インデックスファイル名に正しくない文字があります。
[説明]	代替インデックスファイル名は 先頭は英文字、その他は英数字でなければなりません。
[対処]	正しいファイル名を入力します。

NAT4240 : DBID は互いに異なる必要があります。

テキスト	DBID は互いに異なる必要があります。
[説明]	ファイルのコピーでは、ファイルのデータベース ID (DBID) は互いに異なるものでなければなりません。
[対処]	正しい DBID を入力してください。

NAT4241 : プライマリキーが二度定義されました。

テキスト	プライマリキーが二度定義されました。
[説明]	VSAM 処理では、1つのフィールドのみをプライマリキーに指定できます。
[対処]	プライマリキーを1つのみ定義してください。

NAT4242 : タイプが空白ではありません。

テキスト	タイプが空白ではありません。
[説明]	VSAM では、プライマリキーに指定されたフィールドのタイプは空白でなければなりません。
[対処]	タイプを空白に変更してください。

NAT4243 : プライマリキーが指定されていません。

テキスト	プライマリキーが指定されていません。
[説明]	VSAM 処理では、DDM に 1 つのプライマリキーが指定されなければなりません。
[対処]	プライマリキーを 1 つのみ入力してください。

NAT4244 : DDM の名前は重複してはいけません。

テキスト	DDM の名前は重複してはいけません。
[説明]	重複している DDM 名があります。
[対処]	重複した名前を変更してください。

NAT4245 : CICS ファイル名がありません。

テキスト	CICS ファイル名がありません。
[説明]	ファイルエントリの定義に CICS ファイル名がありません。
[対処]	CICS ファイル名を入力してください。

NAT4246 : このフィールドには「Y」または「N」のみを入力できます。

テキスト	このフィールドには「Y」または「N」のみを入力できます。
[説明]	このフィールドには、YES なら「Y」、NO なら「N」のどちらかのみを入力できます。
[対処]	「Y」または「N」と入力します。

NAT4247 : ピリオディックグループが FDT にはありません。

テキスト	ピリオディックグループが FDT にはありません。
[説明]	DDM に指定されたピリオディックグループが、対応するフィールド記述テーブル (FDT) にはありません。
[対処]	指定されたピリオディックグループを DDM でチェックしてください。

NAT4248 : ユニークキーフラグ/空値フラグは **VSAM** アップグレードのときのみ使用できません。

テキスト	ユニークキーフラグ/空値フラグは VSAM アップグレードのときのみ使用できます。
[説明]	ユニークキーフラグおよび空値フラグは、アップグレードフラグがある場合にのみ指定できます。 また、これはフィールドに代替インデックスがある場合にのみ有効です。
[対処]	正しいフラグの組合せを指定してください。

NAT4249 : フォーマットまたは長さが正しくありません。

テキスト	フォーマットまたは長さが正しくありません。
[説明]	フォーマット/長さの正しい組み合わせは次のとおりです。 - 整数 (I4) - 浮動小数点 (F4/F8) - 日付 - 時刻 - 論理 (L1)
[対処]	DDM をチェックして、エラーを修正します。

NAT4250 : ディスクリプタオプションの文字が正しくありません。

テキスト	ディスクリプタオプションの文字が正しくありません。
[説明]	D 列には次の値のみが有効です。 D - ディスクリプタ S - サブディスクリプタまたはスーパーディスクリプタ P - フォネティックディスクリプタ 空白 - ディスクリプタではありません VSAM ファイルの場合： P - プライマリインデックス A - 代替インデックス
[対処]	正しいディスクリプタオプションを入力してください。

66

Natural システムエラーメッセージ 4251～4300

NAT4251 : 不正なアクションコードが指定されました。

テキスト	不正なアクションコードが指定されました。
[説明]	選択メニューに表示されたアクションコードのみが指定できます。
[対処]	正しいアクションコードを入力してください。

NAT4252 : LIST 機能が実行されました。

テキスト	LIST 機能が実行されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4253 : 不正なファイル番号が指定されました。

テキスト	不正なファイル番号が指定されました。
[説明]	データベースファイル番号は 1 から 5000 までの数字で指定しなければなりません。
[対処]	正しいファイル番号を入力します。

NAT4254 : DBID は互いに異なる番号でなければならず、また "0" であってはなりません。

テキスト	DBID は互いに異なる番号でなければならず、また "0" であってはなりません。
[説明]	データベース番号は 1 から 65535 までの数字で指定しなければなりません (DBID=254 は VSAM ファイルを、DBID=255 は論理ファイルを示します)。
[対処]	正しいデータベース番号を入力します。

NAT4255 : ファイル定義がデータディクショナリに存在しません。

テキスト	ファイル定義がデータディクショナリに存在しません。
[説明]	参照されたファイル定義がデータディクショナリに見つかりません。 名前の指定が正しくないか、 またはデータディクショナリエントリがまだ定義されていません。
[対処]	データディクショナリから正しいファイル名を入力してください。

NAT4256 : システムファイルのタイプが正しくありません。

テキスト	システムファイルのタイプが正しくありません。
[説明]	システムファイルを指定するときに有効な値は次のとおりです。 A - Adabas システムファイル V - VSAM システムファイル
[対処]	システムファイルのタイプに正しい値を指定してください。

NAT4257 : VSAM システムファイルの名前が正しくありません。

テキスト	VSAM システムファイルの名前が正しくありません。
[説明]	VSAM システムファイルに正しい名前が必要です。 この名前は Natural パラメータモジュールに指定された、 VSAM パラメータ (VSAM=<VSAM システムファイル名>) と同じです。
[対処]	VSAM システムファイルの正しい名前を指定してください。

NAT4258 : ソースとターゲットは違っていなければいけません。

テキスト	ソースとターゲットは違っていなければいけません。
[説明]	Natural ユーティリティの SYSMAIN や SYSDDM で、プログラム、モジュール、 または DDM をコピーする場合、正しいソースとターゲットを指定しなければなりません。 ターゲットには、DBID、FNR、システムファイルタイプまたはシステムファイル名 (VSAM システムファイルの場合) を指定してください。 ソースとターゲットは同じではいけません。
[対処]	正しいソースおよびターゲットを指定してください。

NAT4259 : DDM の長さが 64K を超えています。

テキスト	DDM の長さが 64K を超えています。
[説明]	DDM の長さは 64K を超えてはいけません。
[対処]	DDM のサイズを減らします。

NAT4261 : FSIZE が小さすぎて、ビューの読み込み／リストができません。

テキスト	FSIZE が小さすぎて、ビューの読み込み／リストができません。
[説明]	ビューを読み込み／リストしようとしたが、ビューが大きすぎて現在のファイルバッファに入りません。このエラーは、オンラインユーティリティでのビューの読み込み、コマンドによるビューのリスト、またはエディタを使用してビューを Natural オブジェクトに組み込むときに発生します。
[対処]	ファイル定義の指定を減らすか、または FSIZE パラメータの値を大きくしてください。

NAT4262 : ファイル定義がすでにデータディクショナリに存在します。

テキスト	ファイル定義がすでにデータディクショナリに存在します。
[説明]	指定されたファイル定義は、データディクショナリにすでに存在します。
[対処]	違うファイル名を指定するか、またはすでに存在するエントリを削除してください。必要に応じて、REPLACE オプションを使用して既存のファイル定義を上書きしてください。

NAT4263 : 物理 DDM のための重複ファイル番号は許可されていません。

テキスト	物理 DDM のための重複ファイル番号は許可されていません。
[説明]	物理 DDM のファイル番号はユニークでなければなりません。重複するファイル番号は、ユーザービューのファイル番号と関連する物理（論理）DDM のファイル番号が同じでなければならないユーザービューの場合にのみ許可されます。
[対処]	ファイル番号を修正してください。またはユーザービューの場合は、DDM で "USERVIEW=Y" と指定してください。

NAT4264 : 与えられた番号の物理ファイルがありません。

テキスト	与えられた番号の物理ファイルがありません。
[説明]	論理ファイルを構築するときには、CATALOG アクション中に、関連する物理ファイルのファイル番号を指定する必要があります。
[対処]	別のファイル番号を指定するか、またはこの番号のファイルを作成してください。

NAT4265 : ユーザービューに関連するファイルは存在しません。

テキスト	ユーザービューに関連するファイルは存在しません。
[説明]	ユーザービューの作成時に使用するファイル番号は、既存の物理ファイルを示している必要があります。
[対処]	正しいファイル番号を使用してください。

NAT4266 : 論理ファイルは **KSDS** または **VRDS** タイプにしなければなりません。

テキスト	論理ファイルは KSDS または VRDS タイプにしなければなりません。
------	---------------------------------------

NAT4267 : 関連する物理ファイル **:1:** には見当たらないファイル番号です。

テキスト	関連する物理ファイル ... には見当たらないファイル番号です。
[説明]	各論理ファイルは、物理ファイルを参照する必要があります。
[対処]	ファイル番号をチェックします。

NAT4268 : ファイル編成では **K**、**E**、**R**、**V**、圧縮では **Y**、**N** のみ許可されています。

テキスト	ファイル編成では K、E、R、V、圧縮では Y、N のみ許可されています。
[説明]	ファイル編成では、「K」、「E」、「R」、「V」のいずれかのみを入力できます。圧縮では、「Y」（はい）と「N」（いいえ）のいずれかのみを入力できます。
[対処]	正しい値を入力します。

NAT4269 : 圧縮の場合、**KSDS**、**ESDS**、**VRDS** の各ファイルには、**Y** のみ許可されています。

テキスト	圧縮の場合、KSDS、ESDS、VRDS の各ファイルには、Y のみ許可されています。
------	---

NAT4270 : フィールドには重複したロングネームは許可されていません。

テキスト	フィールドには重複したロングネームは許可されていません。
[説明]	フィールドのロングネームはユニークである必要があります。

NAT4271 : エラーを直接修正することはできないので **Enter** キーを押して **DDM** を編集してください。

テキスト	エラーを直接修正することはできないので Enter キーを押して DDM を編集してください。
[説明]	ファイル定義の処理中に、エラーを対話形式で修正することはできません。
[対処]	エディタを使用してエラーを修正してから、目的のアクションを繰り返してください。

NAT4272 : **PE** にディスクリプタ/特殊オプションを指定できません。

テキスト	PE にディスクリプタ/特殊オプションを指定できません。
[説明]	ピリオディックグループに、ディスクリプタや特殊オプションを指定することはできません。
[対処]	フィールドがグループかどうかをチェックしてください。グループの場合、またはグループであるべき場合は、ディスクリプタや特殊オプションの値を指定しないでください。

NAT4274 : フィールドはこの **PE** グループのメンバではありません。

テキスト	フィールドはこの PE グループのメンバではありません。
[対処]	フィールド (レベル) を修正してください。

NAT4275 : フィールドは **PE** グループのメンバです。

テキスト	フィールドは PE グループのメンバです。
[対処]	フィールドを修正してください。

NAT4277 : フィールドは **MU** フィールドではありません。

テキスト	フィールドは MU フィールドではありません。
[説明]	FDT (フィールド記述テーブル) では、そのフィールドはマルチプルバリューフィールドになっていません。
[対処]	フィールドの正しいタイプを指定してください。

NAT4278 : レベル番号は連続して増加しなければなりません。

テキスト	レベル番号は連続して増加しなければなりません。
[説明]	2つのレベル番号の差は "1" でなければなりません。
[対処]	レベル番号を修正してください。

NAT4279 : DDM に指定されたフィールドが FDT にありません。

テキスト	DDM に指定されたフィールドが FDT にありません。
[説明]	DDM に指定されたフィールドが、対応するフィールド記述テーブル (FDT) に存在しません。
[対処]	フィールドの指定が正しいかチェックしてください。

NAT4280 : フォーマットは英数字 (A) でなければなりません。

テキスト	フォーマットは英数字 (A) でなければなりません。
[説明]	FDT では、フォーマットは英数字で指定されています。 DDM のフォーマットは FDT と同じフォーマットにしなければなりません。
[対処]	フォーマットを英数字 (A) に変更してください。

NAT4281 : プライマリキー定義は ESDS ファイルには無効です。

テキスト	プライマリキー定義は ESDS ファイルには無効です。
[説明]	詳細については、IBM の資料を参照してください。

NAT4282 : RRDS ファイルがキーを含むことはできません。

テキスト	RRDS ファイルがキーを含むことはできません。
[説明]	詳細については、IBM の資料を参照してください。

NAT4283 : KSDS ファイルは少なくとも 1 つプライマリキーを含んでいなければなりません。

テキスト	KSDS ファイルは少なくとも 1 つプライマリキーを含んでいなければなりません。
[説明]	詳細については、IBM の資料を参照してください。

NAT4285 : ピリオディックグループのタイプには "P" を指定しなければなりません。

テキスト	ピリオディックグループのタイプには "P" を指定しなければなりません。
[説明]	ピリオディックグループを示すタイプは "P" です。
[対処]	正しいタイプ "P" を指定してください。

NAT4287 : フィールドはディスクリプタではありません。

テキスト	フィールドはディスクリプタではありません。
[説明]	ディスクリプタフィールドに正しくない文字が指定されました。
[対処]	ディスクリプタフィールドに正しい文字（空白か "D"）を指定してください。

NAT4288 : グループには少なくとも 1 つのフィールドが含まれなければなりません。

テキスト	グループには 1 つ以上のフィールドが含まれている必要があります。
[説明]	グループは少なくとも 1 つのフィールド、または別のグループを含んでいなければなりません。
[対処]	レベルをチェックするか、またはグループにフィールドを追加してください。

NAT4289 : この DDM を LIST、または CATALOG することは許されていません。

テキスト	この DDM を LIST、または CATALOG することは許されていません。
[説明]	Natural Security システムのファイルにリンクされていないため、その DDM を LIST したり、CATALOG したりすることはできません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4290 : この DDM をカタログする権限がありません。

テキスト	この DDM をカタログする権限がありません。
[説明]	Natural Security では、この DDM をカタログできません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4291 : 編集コマンドと行コマンドの両方を指定することはできません。

テキスト	編集コマンドと行コマンドの両方を指定することはできません。
[説明]	編集中は、ソース行またはコマンド行のどちらか一方のコマンドのみ指定できます。
[対処]	Enter キーを押して、行コマンドを削除してください。

NAT4292 : 行サブコマンドがソース行の外にあります。

テキスト	行サブコマンドがソース行の外にあります。
[説明]	行サブコマンドは、編集のために表示されたソース行内でのみ指定できます。
[対処]	ソース行に行コマンドを入力してください。

NAT4293 : 位置を指定する番号が正しくありません。

テキスト	位置を指定する番号が正しくありません。
[説明]	位置決めアクションが要求されましたが、指定された位置番号が正しくありません。
[対処]	正しい位置番号を入力してください。

NAT4294 : "X" でマークされている行がありません。

テキスト	"X" でマークされている行がありません。
[説明]	MOVE、COPY、SHIFT、または X サブコマンドが使用されましたが、"X" でマークされた行がありませんでした。
[対処]	参照する前に "X" で行をマークしてください。

NAT4295 : "Y" でマークされている行がありません。

テキスト	"Y" でマークされている行がありません。
[説明]	MOVE、COPY、または SHIFT コマンドが指定されましたが、"Y" でマークされた行がありませんでした。
[対処]	参照する前に "Y" で行をマークしてください。

NAT4296 : "Y" の位置は "X" の位置より後ろである必要があります。

テキスト	"Y" の位置は "X" の位置より後ろである必要があります。
[説明]	プログラム内で "Y" の位置は常に "X" の位置より後ろになければなりません。
[対処]	"X" と "Y" を正しく位置づけしてください。

NAT4297 : コピーまたは移動した行が対象行と重複しています。

テキスト	コピーまたは移動した行が対象行と重複しています。
[説明]	移動/コピー先の行が、"X" および "Y" のラベルでマークされた範囲外にある場合のみ、MOVE/COPY 行コマンドを実行できます。
[対処]	"X" または "Y" の位置を変更するか、あるいは違う位置へ移動/コピーしてください。

NAT4298 : MOVE コマンドのラベルが正しくありません。

テキスト	MOVE コマンドのラベルが正しくありません。
[説明]	MOVE コマンドのラベルに使用できるのは "X" または "Y" のみです。
[対処]	MOVE コマンドに正しいラベルを入力してください。

NAT4299 : 編集コマンドが正しくありません。詳細を確認するには「?」と入力してください。

テキスト	編集コマンドが正しくありません。詳細を確認するには「?」と入力してください。
[説明]	編集コマンド行に不正なコマンドが指定されました。
[対処]	正しい編集コマンドを入力してください。正しい編集コマンドの詳細については、「?」と入力してヘルプを参照してください。

67 Natural システムエラーメッセージ 4301～4350

NAT4301 : 行番号にスペースがないので行を挿入できません。

テキスト	行番号にスペースがないので行を挿入できません。
[説明]	選択された複数の行の間には、行を挿入するための行番号がありません。
[対処]	行を挿入する前に、Enter キーを押すか、または RENUMBER コマンドを使用して、行番号を再設定してください。

NAT4303 : フィールド定義を編集してください。

テキスト	フィールド定義を編集してください。
[説明]	フィールド定義の詳細設定を編集できます。
[対処]	必要な編集を実行してください。

NAT4312 : 要求されたファイル記述が正しくありません。

テキスト	要求されたファイル記述が正しくありません。
[説明]	読み込もうとしたファイル定義はデータディクショナリに存在しません。
[対処]	正しい内容を入力してください。

NAT4322 : 定義されていないコマンドです。

テキスト	定義されていないコマンドです。
[対処]	正しいコマンドを入力するか、または「?」を入力して、正しいコマンドに関するヘルプ情報を呼び出してください。

NAT4323 : 指定されたファイル番号を持つ **DDM** が見つかりません。

テキスト	指定されたファイル番号を持つ DDM が見つかりません。
[説明]	指定されたファイル番号の DDM はシステムファイルにありません。
[対処]	正しいファイル番号を入力してください。

NAT4324 : リストの最後に達しました。

テキスト	リストの最後に達しました。
[説明]	ファイル定義リストの最後に達しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4331 : 「**DELETE**」と入力するか、または空白のままにしてください。

テキスト	「 DELETE 」と入力するか、または空白のままにしてください。
[説明]	DELETE 機能が要求された場合は、削除の確認をするために「 DELETE 」と入力しなければなりません。 削除しない場合は、フィールドを空白のままにしてください。
[対処]	正しい内容を入力してください。

NAT4332 : ファイル定義の **UNCATALOG** 処理は確認されませんでした。

テキスト	ファイル定義の UNCATALOG 処理は確認されませんでした。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4333 : ファイル定義がデータディクショナリに存在しません。

テキスト	ファイル定義がデータディクショナリに存在しません。
[説明]	指定されたファイル定義がデータディクショナリに存在しません。
[対処]	ファイル定義に対する正しい名前を入力してください。

NAT4341 : DDM はリンクされており、システムファイルから読み込まれます。

テキスト	DDM はリンクされており、システムファイルから読み込まれます。
[説明]	読み込もうとした DDM がリンクされています。 Enter キーを押すと、DDM がシステムファイルからソースエリアに読み込まれます。
[対処]	Enter キーを押して DDM を読み込んでください。 DDM を変更するなら、Natural ニュークリアスにもう一度リンクしてください。

NAT4342 : ヘルプ情報が表示されています。

テキスト	ヘルプ情報が表示されています。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4343 : DDM がリンクされたが、SYSDDM でアクセスできません。

テキスト	DDM がリンクされたが、SYSDDM でアクセスできません。
[説明]	読み込もうとした DDM が Natural ニュークリアスにリンクされていますが、読み込み元のシステムファイル (FDIC) 上に存在しません。誤ったシステムファイルにアクセスしているか、またはシステムファイルから DDM が削除されています。
[対処]	正しいシステムファイルを使用しているか確認してください。

68

Natural システムエラーメッセージ 4351～4400

NAT4371 : データベースのレスポンスコードを受け取りました。

テキスト	データベースのレスポンスコードを受け取りました。
[対処]	レスポンスコードを記録して、データベース管理者に連絡してください。

NAT4373 : ゼロ以外の内部レスポンスコードを受け取りました。

テキスト	ゼロ以外の内部レスポンスコードを受け取りました。
[説明]	内部サブルーチンから、ゼロ以外のレスポンスコードを受け取りました。
[対処]	エラーを記録して、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT4380 : フィールドエントリ行を直接修正するか **ENTER** キーを押して編集してください。

テキスト	フィールドエントリ行を直接修正するか Enter キーを押して編集してください。
[説明]	ファイル定義の処理中、直接エラーを修正できます。
[対処]	フィールドエントリのエラーを修正してください。

NAT4390 : ファイル定義がカタログされました。

テキスト	ファイル定義がカタログされました。
[説明]	ファイル定義がカタログされ、データディクショナリに格納されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4391 : データベースに対しファイル定義が正しくチェックされました。

テキスト	データベースに対しファイル定義が正しくチェックされました。
[説明]	物理データベースの定義と比較した結果、ファイル定義に矛盾はありませんでした。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4392 : ファイル定義が正しく生成されました。

テキスト	ファイル定義が正しく生成されました。
[説明]	データベースの物理ファイルからデータディクショナリ用のファイル定義が正常に生成されました。そのファイル定義は現在ワークエリアで利用可能です。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4393 : ファイル定義がワークエリアに読み込まれました。

テキスト	ファイル定義がワークエリアに読み込まれました。
[説明]	データディクショナリからワークエリアにファイル定義が正常に読み込まれました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4394 : ファイルリスト選択メニューが表示されました。

テキスト	ファイルリスト選択メニューが表示されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4395 : ファイル定義が UNCATALOG されました。

テキスト	ファイル定義が UNCATALOG されました。
[説明]	ファイル定義がデータディクショナリからアンカタログされました。
[対処]	対処は必要ありません。

69

Natural システムエラーメッセージ 4401～4450

NAT4404：内部サブルーチンのエラーが発生しました。

テキスト	内部サブルーチンのエラーが発生しました。
[対処]	エラーの内容を書き留めてから、Software AG に連絡してください。

NAT4405：選択した番号は範囲外です。

テキスト	選択した番号は範囲外です。
[説明]	画面上に表示されているグローバル変数の番号のみを、選択することができます。
[対処]	正しい選択番号を入力してください。

NAT4406：グローバル変数の選択番号がありません。

テキスト	グローバル変数の選択番号がありません。
[説明]	処理するグローバル変数を選択するために、表示画面から番号を入力しなければなりません。
[対処]	正しい選択番号を入力します。

NAT4408：指定された機能が正しくありません。詳細を確認するには「?」と入力してください。

テキスト	指定された機能が正しくありません。詳細を確認するには「?」と入力してください。
[対処]	正しい機能を入力するか、または「?」を入力して、グローバル変数に対する正しい機能に関するヘルプ情報を参照してください。

NAT4409 : ワークエリアの内容が削除されます。

テキスト	ワークエリアの内容が削除されます。
[説明]	要求した機能により、現在ソースワークエリアにあるソースオブジェクトが削除されます。
[対処]	- ソースを削除しない場合は、機能はそのままにして、PF12 キーでソースを保存してから機能を実行してください。 - ソースを削除する場合は、Enter キーを押して処理を続けてください。

NAT4410 : このファイル番号はすでに存在します。

テキスト	このファイル番号はすでに存在します。
[説明]	DDM のファイル番号はユニークでなければなりません。
[対処]	ファイル番号を修正してください。

NAT4411 : **REPLACE** オプションでファイル番号とファイル名が対応しません。

テキスト	REPLACE オプションでファイル番号とファイル名が対応しません。
[説明]	REPLACE オプションを使用して VSAM DDM を VSAM システムファイルにカタログする場合は、レコードの重複を避けるためにファイル名 (番号) は、VSAM システムファイルに存在している必要があります。 新しい DDM を以前のレイアウトでカタログする場合は、未使用のファイル名とファイル番号を使用し、REPLACE オプションを使用しないでカタログします。
[対処]	VSAM システムファイルに存在しないファイル名 (番号) で DDM をカタログしてください。この場合 REPLACE オプションを使用しないでください。

NAT4412 : フォーマットは "A"、"P"、"N"、または "B" です。

テキスト	フォーマットは "A"、"P"、"N"、または "B" です。
[説明]	可能なフォーマットは次のとおりです。 A - 英数字 N - 数値アンパック P - 数値パック B - バイナリ
[対処]	正しいフィールドフォーマットを入力してください。

NAT4413 : 英数字タイプ変数の長さは **253** を超えてはいけません。

テキスト	英数字タイプ変数の長さは 253 を超えてはいけません。
[対処]	変数の正しい長さを入力してください。

NAT4414 : バイナリ変数の長さは **126** を超えてはいけません。

テキスト	バイナリ変数の長さは 126 を超えてはいけません。
[対処]	バイナリ変数の正しい長さを入力してください。

NAT4415 : 数値フィールドの総桁数 (**nn.m**) は **29** を超えてはいけません。

テキスト	数値フィールドの総桁数 (nn.m) は 29 を超えてはいけません。
[説明]	数値フィールドの総桁数 (整数部と小数部の合計) は 29 を超えてはいけません。
[対処]	数値フィールドの正しい長さを入力してください。

NAT4416 : 小数部桁数は **7** を超えてはいけません。

テキスト	小数部桁数は 7 を超えてはいけません。
[説明]	数値変数の小数部桁数は 7 を超えてはいけません。
[対処]	小数部の正しい桁数を入力してください。

NAT4417 : **VSAM** システムファイルに存在している **DDM** でなければ **REPLACE** を使用できません。

テキスト	VSAM システムファイルに存在している DDM でなければ REPLACE を使用できません。
[説明]	すでに VSAM システムファイルに存在している DDM でなければ、REPLACE オプションでその DDM をカタログすることはできません。
[対処]	システムファイルに存在しない DDM には、REPLACE オプションを使用しないでください。

NAT4418 : グローバル変数名は "+" で始めなければなりません。

テキスト	グローバル変数名は "+" で始めなければなりません。
[説明]	グローバル変数名は "+" で始めなければなりません。
[対処]	グローバル変数名の先頭文字として「+」を入力してください。

NAT4419 : 変数名が正しくありません。

テキスト	変数名が正しくありません。
[説明]	グローバル変数の名前は "+" で始まり、変数名の規則に従っていなければなりません。名前に空白を含んではいけません。
[対処]	正しい変数名を入力してください。

NAT4420 : この行では拡張フィールド編集ができません。

テキスト	この行では拡張フィールド編集ができません。
[説明]	次のものには拡張フィールド編集を適用できません。 - コメント行 - データビュー内のグループフィールド - 正しい (数値) レベルが指定されていないフィールド - REDEFINE セクションの先頭 - GDA のブロックの先頭
[対処]	この行にはコマンド ".E" を適用しないでください。

NAT4421 : 現在、ソースエリアに **DDM** がありません。

テキスト	現在、ソースエリアに DDM がありません。
[説明]	カタログ (C) またはテスト (T) 機能が指定されましたが、Natural ソースエリアに DDM が見つかりませんでした。
[対処]	DDM をソースエリアに読み込んでください。 あるいは DDM を編集するか、または生成してください。

NAT4422 : REDEFINE はこのフィールドには許されません。

テキスト	REDEFINE はこのフィールドには許されません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4423 : 添字は PE/MU フィールドのみに許されます。

テキスト	添字は PE/MU フィールドのみに許されます。
[説明]	添字は、ピリオディックグループまたはマルチプルバリューフィールドにのみ指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4424 : 1 構造体内の最大次元数は 3 です。

テキスト	1 構造体内の最大次元数は 3 です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4425 : ビューフィールドに対し初期値は指定できません。

テキスト	ビューフィールドに対し初期値は指定できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4426 : グループ/ピリオディックグループフィールドに対し編集マスクは指定できません。

テキスト	グループ/ピリオディックグループフィールドに対し編集マスクは指定できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4427 : 構造体に対して編集マスクは指定できません。

テキスト	構造体に対して編集マスクは指定できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4428 : 構造体/ビューのレベル番号は 1~99 です。データエリアに変数がありません。

テキスト	構造体/ビューのレベル番号は 1~99 です。データエリアに変数がありません。
[説明]	構造体/ビューのレベル番号は 1~99 です。 または、データエリアに変数が定義されていません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4429 : レベル番号は 1 ずつ増加しなければなりません。

テキスト	レベル番号は 1 ずつ増加しなければなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4430 : レベル指定が正しくありません。

テキスト	レベル指定が正しくありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4431：名前フィールドの文字に誤りがあります。

テキスト	名前フィールドの文字に誤りがあります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4432：名前の中に空白を含んではいけません。

テキスト	名前の中に空白を含んではいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4433：フォーマット／長さはこのフィールドタイプに対し指定できません。

テキスト	フォーマット／長さはこのフィールドタイプに対し指定できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4434：フォーマットが正しくありません。

テキスト	フォーマットが正しくありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4435：フォーマット、または長さの指定が不正です。

テキスト	フォーマット、または長さの指定が不正です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4436：フォーマットが "C"、"D"、"L"、"T" のときは長さを指定しないでください。

テキスト	フォーマットが "C"、"D"、"L"、"T" のときは長さを指定しないでください。
[説明]	次のフォーマットのフィールドには長さを指定できません。 D - 日付 T - 時刻 L - 論理 C - 属性制御
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4437 : フォーマットが "F" の長さには 4 または 8 を指定する必要があります。

テキスト	フォーマットが "F" の長さには 4 または 8 を指定する必要があります。
[説明]	浮動小数点フィールドのフォーマット/長さには、F4 または F8 のみを指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4438 : フォーマット "A"、"B"、または "I" の長さが正しくありません。

テキスト	フォーマット "A"、"B"、または "I" の長さが正しくありません。
[説明]	フォーマット A の正しい長さは 1~253 です。 フォーマット B の正しい長さは 1~126 です。 フォーマット I の正しい長さは 1、2、4 です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4439 : コマンド内に不正なオブジェクトタイプが指定されました。

テキスト	コマンド内に不正なオブジェクトタイプが指定されました。
[説明]	LIST や EDIT などのコマンド内で指定されたオブジェクトタイプが正しくありません。 正しいオブジェクトタイプは次のとおりです。 P - プログラム T - テキスト S - サブルーチン Z - レコーディング N - サブプログラム K - サーバー H - ヘルプルーチン R - ルーチン (LIST) C - コピーコード D - データエリア (LIST) G - グローバルデータエリア D - Predict 記述 (EDIT) L - ローカルデータエリア CL - クラス A - パラメータデータエリア DI - ダイアログ M - マップ CP - コマンドプロセッサ
[対処]	正しいコマンドを入力します。

NAT4440 : 長さは "nn" または "nn.n" の形式で指定しなければなりません。

テキスト	長さは "nn" または "nn.n" の形式で指定しなければなりません。
[説明]	長さは "nn" (整数のみ)、または "nn.n" (nn は整数桁、n は小数桁) の形式で指定します。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4441 : 小数の最大桁数は 7 です。

テキスト	小数の最大桁数は 7 です。
[説明]	小数の最大桁数は 7 です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4442 : 数値の最大長は 29 桁です。

テキスト	数値の最大長は 29 桁です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4443 : データエリアは正しくテストされました。

テキスト	データエリアは正しくテストされました。
[説明]	CHECK コマンドにより、データエリアが正しくテストされました。 生成された DEFINE DATA ステートメントの最終的な構文チェックは、CHECK 機能ではなく、CATALOG/STOW コマンドによって行われることに注意してください。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4444 : **Miscellaneous** フィールドのエラー。

テキスト	Miscellaneous フィールドのエラー。
[説明]	Miscellaneous フィールドの指定が不正です。 有効な指定については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	Miscellaneous フィールドに正しい内容を指定してください。

NAT4445 : タイプには "B"、"V"、"R"、または空白のみが指定できます。

テキスト	タイプには "B"、"V"、"R"、または空白のみが指定できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4446 : 下位構造のレベルは前のレベル以上でなければなりません。

テキスト	下位構造のレベルは前のレベル以上でなければなりません。
[説明]	下位構造のレベルは前のレベル以上でなければなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4448：範囲／フォーマットを変更すると初期値／編集マスクが失われる可能性があります。

テキスト	範囲／フォーマットを変更すると初期値／編集マスクが失われる可能性があります。
[説明]	フィールドは初期値または編集マスク付きで定義されています。 このフィールドの範囲／フォーマットを変更すると、 初期値は、変更後の添字範囲定義に適合する場合は残され、 適合しない場合は削除されます。
[対処]	初期値や編集マスクが失われないか確認してください。

NAT4449：初期値は指定できません。フィールドにフォーマット／長さ指定がありません。

テキスト	初期値は指定できません。フィールドにフォーマット／長さ指定がありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4450：ピリオディックグループ内のピリオディックグループは許可されません。

テキスト	ピリオディックグループ内のピリオディックグループは許可されません。
[説明]	ピリオディックグループの中に別のピリオディックグループを定義することはできません。
[対処]	ビューの定義を修正してください。

70 Natural システムエラーメッセージ 4451～4500

NAT4451 : 配列の添字指定に構文エラーがあります。

テキスト	配列の添字指定に構文エラーがあります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4452 : 上限／下限が 0 より小さい、または配列定義の添字が 0 です。

テキスト	上限／下限が 0 より小さい、または配列定義の添字が 0 です。
[説明]	配列の上限／下限が 0 より小さいか、または配列定義の添字が 0 です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4453 : INDEX 節のデリミタが正しくありません。

テキスト	INDEX 節のデリミタが正しくありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4454 : データエリアが正常に CATALOG/STOW されました。

テキスト	データエリアが正常に CATALOG/STOW されました。
[説明]	データ定義にエラーが検出されずに、CATALOG/STOW の処理が終了しました。データ定義は DEFINE DATA ステートメントのある Natural プログラムで使用できます。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4455 : ビューフィールドでは添字、編集マスクだけを修正できます。

テキスト	ビューフィールドでは添字、編集マスクだけを修正できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4456 : データ構造の最高ランクは 3 です。

テキスト	データ構造の最高ランクは 3 です。
[説明]	データエリアエディタで、".E" (拡張フィールド定義) コマンドがデータ構造内のフィールドに対して指定されましたが、ランク (フィールドの最大次元数) が 3 を超えています。レベル 1 までの前の下位構造の合計次元数と現在のフィールドの次元数が、現在のフィールドの次元数に加えられます。
[対処]	データ構造または編集集中のフィールドをチェックして、次元が正しいかどうかを確認してください。

NAT4458 : REDEFINE に指定された変数が利用できません。

テキスト	REDEFINE に指定された変数が利用できません。
[説明]	REDEFINE 定義に使用された変数が、現在のブロック (またはデータエリア) に定義されていないか、または異なるレベルで定義されています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4459 : データブロックが見つかりません。

テキスト	データブロックが見つかりません。
[説明]	子ブロック定義で親ブロックと示されているデータブロックが見つかりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4460 : Predict ファイルのタイプが "CONCEPTUAL" ではありません。

テキスト	Predict ファイルのタイプが "CONCEPTUAL" ではありません。
[説明]	Predict ファイルからデータエリアにデータ定義として組み込む Predict ファイルが "CONCEPTUAL" として Predict に定義されていません。データ構造として組み込むのは "CONCEPTUAL" ファイルのみです。
[対処]	Predict のファイル定義を変更するか、または正しいファイルを選択してください。

NAT4461 : グローバルデータエリアに組み込むフィールドをマークしてください。

テキスト	グローバルデータエリアに組み込むフィールドをマークしてください。
[対処]	グローバルデータエリアに組み込むフィールドをマークしてください。

NAT4462 : グローバルデータエリアに "n" 個のフィールドが組み込まれました。

テキスト	グローバルデータエリアに "n" 個のフィールドが組み込まれました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4463 : グローバルデータエリアに 1 つもフィールドが組み込まれていません。

テキスト	グローバルデータエリアに 1 つもフィールドが組み込まれていません。
------	------------------------------------

NAT4464 : 再定義中に、またはビューに ".V" は使用できません。

テキスト	再定義中に、またはビューに ".V" は使用できません。
[対処]	再定義中に、またはビューに ".V" を使用しないでください。

NAT4465 : ビュー定義にはレベル 1 を指定しなければなりません。

テキスト	ビュー定義にはレベル 1 を指定しなければなりません。
[対処]	正しいレベルを割り当てます。

NAT4466 : 構造体の定義は前レベル +1 でなければなりません。

テキスト	構造体の定義は前レベル +1 でなければなりません。
[対処]	正しいレベルを割り当てます。

NAT4467 : グループ定義には少なくとも 1 つフィールドが入っていなければなりません。

テキスト	グループ定義には少なくとも 1 つフィールドが入っていなければなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4468 : データ定義をフラグ付きの定義で終了してはなりません。

テキスト	データ定義をフラグ付きの定義で終了してはなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4469 : 定数が初期値なしで定義されました。

テキスト	定数が初期値なしで定義されました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4470 : 再定義内に定数を含んではいけません。

テキスト	再定義内に定数を含んではいけません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4471 : 長さフィールドに数字ではない値があります。

テキスト	長さフィールドに数字ではない値があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4472 : ビュー定義内にユーザー変数定義が見つかりました。

テキスト	ビュー定義内にユーザー変数定義が見つかりました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4473 : ビューに、新しい DDM に存在しないフィールドが含まれています。

テキスト	ビューに、新しい DDM に存在しないフィールドが含まれています。
[説明]	データエリアエディタ画面の最後の列で、DDM の名前を変更しようとして、しかし、ビューで指定した 1 つ以上のフィールドが、この DDM に定義されていません。
[対処]	DDM 名を変更しないでください。 またはビューのフィールドすべてを含む DDM 名を指定してください。

NAT4474 : GENERATE コマンドにプログラム名がありません。

テキスト	GENERATE コマンドにプログラム名がありません。
[対処]	プログラム名を付けて GENERATE コマンドを発行してください。

NAT4475 : 添字として使用されている定数が定義されていません。

テキスト	添字として使用されている定数が定義されていません。
[説明]	配列定義の添字に使用される定数は、配列定義の前に定義しておかなければなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4476 : PE/MU の添字として数字ではない定数が使用されました。

テキスト	PE/MU の添字として数字ではない定数が使用されました。
[説明]	ピリオディックグループまたはマルチプルバリューフィールドの添字として使用された定数が、数字ではありませんでした。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4477 : PE/MU の添字として定義されていない定数が使用されました。

テキスト	PE/MU の添字として定義されていない定数が使用されました。
[説明]	ピリオディックグループまたはマルチプルバリューフィールドの添字として使用される定数は、その目的に使用する前に定義しておかなければなりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4478 : RECAT=ON の場合、CATALOG および PURGE コマンドは利用できません。

テキスト	RECAT=ON の場合、CATALOG および PURGE コマンドは利用できません。
[説明]	ダイナミックに、または Natural パラメータモジュールで、パラメータ RECAT (ダイナミックな再カタログ) を RECAT=ON に設定した場合、CATALOG および PURGE コマンドは利用できません。CATALOG と PURGE の代わりに、STOW と SCRATCH コマンドを使用してください。
[対処]	有効なコマンドを使用するか、またはパラメータを変更してください。

NAT4479 : **Natural** ワークエリアがいっぱいです。 **ESIZE** パラメータを大きくしてください。

テキスト	Natural ワークエリアがいっぱいです。 ESIZE パラメータを大きくしてください。
[対処]	ESIZE パラメータの値を大きくしてください。

NAT4480 : **FLAG1** の値が正しくありません。

テキスト	FLAG1 の値が正しくありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4481 : ".*" コマンドは **MU/PE** にのみ有効です。

テキスト	”.*" コマンドは MU/PE にのみ有効です。
[説明]	データエリアエディタでは、マルチプルバリューフィールドやピリオディックグループに、行コマンド ".*" を使用して C* 変数を生成することができます。 他の種類のすべての行には、このコマンドは使用できません。
[対処]	マルチプルバリューフィールドまたはピリオディックグループの行に ".*" コマンドを入力してください。

NAT4482 : マルチプルバリューフィールドに対しては **1** 回のみ **"C*"** 変数を定義できます。

テキスト	マルチプルバリューフィールドに対しては 1 回のみ "C*" 変数を定義できます。
[説明]	すでに C* 変数が定義されているマルチプルバリューフィールドに対し、".*" コマンドを使用して C* 変数を生成しようとしてしました。 C* 変数は、マルチプルバリューフィールドごとに 1 回のみ 定義できます。
[対処]	このフィールドでこの行コマンドを使用しないでください。

NAT4483 : バージョン **3.1** のソース形式にエラーが発生しました。 **:1:**

テキスト	バージョン 3.1 のソース形式にエラーが発生しました。 ...。
[説明]	次のいずれかの場合、バージョン 3.1 と互換性のあるソース形式を使用したデータエリアを保存することはできません。 - LEVEL が 9 より大きい - LENGTH フィールドが 4 桁より大きい - ARRAY INDEX が ".e" コマンドを使用して定義されている - OPTIONAL パラメータが定義されている
[対処]	対応する機能を削除するか、またはデータエリアをバージョン 4.1 形式で保存してください。

NAT4488 : **Predict** がインストールされていないので、機能が使えません。

テキスト	Predict がインストールされていないので、機能が使えません。
[説明]	指定された機能の実行、および指定されたオブジェクトの処理のためには、Predict ディクショナリがインストールされていなければなりません。
[対処]	Predict をインストールしてください。 または、この機能を使用しないでください。

NAT4489 : **Predict** の定義と **DDM** が矛盾しています。

テキスト	Predict の定義と DDM が矛盾しています。
[説明]	DDM からデータエリアにフィールドを組み込みましたが、DDM の生成後に、DDM と関係がある Predict の定義が変更されています。そのため、データエリアに Predict の定義を組み込みません。
[対処]	無視するか、または DDM を生成しなおして矛盾を避けてください。

NAT4490 : **Predict** 記述の作成は、**SYSDIC** でのみ可能です。

テキスト	Predict 記述の作成は、SYSDIC でのみ可能です。
[説明]	Predict 記述の作成機能は、SYSDIC がアクティブのときにのみ可能です。
[対処]	「SYSDIC」と入力して、Predict を開始してください。

NAT4491 : 他に使用可能な製品がありません。

テキスト	他に使用可能な製品がありません。
[説明]	MAINMENU の [Other Products] メニューに表示される製品がありません。 インストールされている製品がないか、またはインストールされている製品へのアクセス権が付与されていない可能性が考えられます。

NAT4492 : 機能を選択するか、または入力してください。

テキスト	機能を選択するか、または入力してください。
------	-----------------------

71 Natural システムエラーメッセージ 4501～4550

NAT4501 : 編集コマンドと行コマンドを同時に指定できません。

テキスト	編集コマンドと行コマンドを同時に指定できません。
[説明]	フルスクリーンエディタでは、一度に1つの行コマンドまたは1つの編集コマンドのみを処理できます。
[対処]	編集コマンドまたは行コマンドは、両方ではなくいずれかのみを使用してください。

NAT4502 : 行サブコマンドがソース行の外にあります。

テキスト	行サブコマンドがソース行の外にあります。
[説明]	空行に対して、行コマンドの処理はできません。
[対処]	空白行に行コマンドを入力しないでください。

NAT4503 : 位置付けの数字が正しくありません。

テキスト	位置付けの数字が正しくありません。
[説明]	前方 (+) または後方 (-) に位置付けるための編集コマンドには0より大きい数字が必要です。
[対処]	正しい位置付けの数字を指定してください。

NAT4504 : "X" でマークされている行がありません。

テキスト	"X" でマークされている行がありません。
[説明]	特定の行を参照するコマンドが入力されました。 しかし、参照先の行が "X" でマークされていないために エディタがこのコマンドを処理できません。
[対処]	適切な行を "X" でマークしてください。

NAT4505 : "Y" でマークされている行がありません。

テキスト	"Y" でマークされている行がありません。
[説明]	特定の行を参照するコマンドが入力されました。 しかし、行が "Y" でマークされていないために エディタがこのコマンドを処理できません。
[対処]	適切な行を "Y" でマークしてください。

NAT4506 : Y の位置は X の位置より後ろでなければなりません。

テキスト	Y の位置は X の位置より後ろでなければなりません。
[説明]	いま入力したコマンドを処理するためには、 "Y" のマークがある行は、"Y" のマークがある行より後ろになければなりません。
[対処]	"X" と "Y" で正しく行をマークしてからコマンドを再発行してください。

NAT4507 : コピーまたは移動した行が対象行と重複しています。

テキスト	コピーまたは移動した行が対象行と重複しています。
[説明]	行コマンド「.CX-Y」または「.MX-Y」が "X" でマークされた行と "Y" でマークされた行の間に 入力されましたが、 移動またはコピーする行のブロック内の位置に、 行をコピーまたは移動することはできません。
[対処]	行を正しくコピーまたは移動してください。

NAT4508 : MOVE コマンドの指定に誤りがあります。

テキスト	MOVE コマンドの指定に誤りがあります。
[説明]	行コマンド MOVE には、".MX"、".MY"、".MX-Y" のようなパラメータの指定が必要です。 指定が必要です。移動する行は "X" や "Y" でマークしなければなりません。
[対処]	MOVE コマンドを発行する前に、移動する行をマークしてください。

NAT4509：編集コマンドが正しくありません。詳細を確認するには「?」と入力してください。

テキスト	編集コマンドが正しくありません。詳細を確認するには「?」と入力してください。
[説明]	入力された編集コマンドが認識できません。
[対処]	正しい編集コマンドを入力するか、または「?」を入力して、使用可能な編集コマンドに関するヘルプ情報を呼び出してください。

NAT4510：同一データによる置き換えはできません。

テキスト	同一データによる置き換えはできません。
[説明]	スキャンしているデータと同じデータでソースの文字列を置き換えることはできません。
[対処]	正しいスキャン／置換コマンドを発行してください。

NAT4511：“SET TYPE object-type”はセキュリティの定義により禁止されています。

テキスト	"SET TYPE object-type"はセキュリティの定義により禁止されています。
[説明]	このコマンドの発行は、Natural Security により禁止されています。
[対処]	このコマンドを使用しないでください。 または Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4512：有効なパラメータは"+","-","Q"のみです。

テキスト	有効なパラメータは"+","-","Q"のみです。
[説明]	SHIFT サブコマンドでは次のパラメータのみを指定できます。 + 右にシフトする - 左にシフトする Q SHIFT サブコマンドの終了
[対処]	正しいサブコマンドを入力してください。

NAT4513：シフト値は1~71でなければなりません。

テキスト	シフト値は1~71でなければなりません。
[説明]	SHIFT サブコマンドでシフトする文字数は、1~71でなければなりません。
[対処]	SHIFT 機能に対して正しい数を入力してください。

NAT4514 : 行番号にスペースがありません。"RENUMBER" が必要です。

テキスト	行番号にスペースがありません。"RENUMBER" が必要です。
[説明]	Natural プログラムの行番号は、内部的にプログラムの流れを制御するために、昇順でユニークでなければなりません。行を挿入する場合、行の増分が 10 の 2 つの行間（例えば、行 1220 と 1230 の間）には、一度に 9 行のみを挿入できます。 RENUMBER コマンドを使用するか、または Enter キーを押してプログラムの行番号を再設定してください。
[対処]	ソースプログラムの行番号を再設定してから、行を挿入してください。

NAT4515 : 画面の最終行に「.J」が入力されました。

テキスト	画面の最終行に「.J」が入力されました。
[説明]	行コマンド「.J」は、連結する2つの行の最初の行に入力しなくてはなりません。連結する行は 2 行とも画面上に表示されていなければなりません。
[対処]	正しい位置で「.J」を入力してください。

NAT4516 : コマンドは実行されませんでした。

テキスト	コマンドは実行されませんでした。
[説明]	いま入力したコマンドは存在しません。
[対処]	正しいコマンドを入力します。

NAT4517 : カーソルの位置を分割ポイントに合わせてください。

テキスト	カーソルの位置を分割ポイントに合わせてください。
[説明]	行コマンド SPLIT を使用するときには、行を分割する位置をカーソルでマークします。
[対処]	カーソルを正しい位置に置いてください。

NAT4518 : シフトパラメータ (+nn, -nn) が指定されていません。

テキスト	シフトパラメータ (+nn, -nn) が指定されていません。
[説明]	SHIFT コマンドでは、シフト桁数およびシフト方向を、"+nn" または "-nn" 形式で指定しなければなりません。
[対処]	シフトする文字数と方向を指定してください。

NAT4519 : シフト値（文字数）が指定されていません。

テキスト	シフト値（文字数）が指定されていません。
[説明]	SHIFT コマンドでは、シフトする文字数を指定しなければなりません。
[対処]	シフトする文字数を入力してください。

NAT4520 : SHIFT では、X 行が画面上になければなりません。

テキスト	SHIFT では、X 行が画面上になければなりません。
[説明]	SHIFT コマンドが機能するには、画面上に X ラベルが出力されていなければなりません。
[対処]	X ラベルを出力するように現在の行を位置付けてください。

NAT4521 : スキャン値の長さが 32 を超えた、またはデリミタがありません。

テキスト	スキャン値の長さが 32 を超えた、またはデリミタがありません。
[説明]	スキャン値の長さが 32 を超えて指定されたか、 またはスキャン値を囲むデリミタの一方がありません。
[対処]	正しいコマンドを指定してください。

NAT4522 : REPLACE WITH NULL では置き換え値を指定できません。

テキスト	REPLACE WITH NULL では置き換え値を指定できません。
[説明]	プログラムエディタの [Scan] メニューで、SCAN WITH NULL 値が指定（マーク）された後、 特定の置換値を指定した SCAN/CHANGE コマンドが入力されました。 - 空値で置き換える場合は、置換値を指定しないでください。 - 特定の値で置き換える場合は、REPLACE WITH NULL を使用しないでください。
[対処]	コマンドと値を正しく組み合わせて入力してください。

NAT4523 : 指定されたプロファイルが存在しません。

テキスト	指定されたプロファイルが存在しません。
[説明]	エディタプロファイルの詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	正しいプロファイル名を指定してください。

NAT4524 : プロファイル ID を入力してください。

テキスト	プロファイル ID を入力してください。
[説明]	プロファイルをメンテナンスするには、プロファイル ID を入力しなければなりません。
[対処]	プロファイル ID を入力してください。

NAT4525 : 他のプロファイルを変更してはいけません。

テキスト	他のプロファイルを変更してはいけません。
[説明]	Natural Security がインストールされているときには、ユーザーは自分以外のユーザー ID が割り当てられているプロファイルを変更できません。
[対処]	変更が禁止されているプロファイルを変更しないでください。

NAT4526 : プロファイルは正常に保存されました。

テキスト	プロファイルは正常に保存されました。
[説明]	プロファイルはデータベース内に正常に保存されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4527 : 999 トランザクションを超えた後の "RECOVER" はできません。

テキスト	999 トランザクションを超えた後の "RECOVER" はできません。
[説明]	"RECOVER nnn" の最高値は 999 です。 ソースを "nnn" 回変更すると、現在のプロファイルに定義されたメンバ名で現在のライブラリに自動的に保存されます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4528 : SPLIT コマンドに不正なパラメータが指定されました。

テキスト	SPLIT コマンドに不正なパラメータが指定されました。
[説明]	エディタの画面分割コマンドで指定されたパラメータが正しくありません。有効なパラメータは次のとおりです。 P - プログラミングオブジェクト D - データエリア V - ビュー (DDM) DESC - Predict 記述
[対処]	SPLIT コマンドに正しいパラメータを入力してください。

NAT4529 : エディタの SET コマンドに指定されたパラメータが正しくありません。

テキスト	エディタの SET コマンドに指定されたパラメータが正しくありません。
[説明]	エディタの SET コマンドに指定されたパラメータが正しくありません。 SET コマンドの構文の詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	正しい SET コマンドを入力してください。

NAT4530 : EDIT コマンドはセキュリティ定義により禁止されています。

テキスト	EDIT コマンドはセキュリティ定義により禁止されています。
[説明]	呼び出されたエディタの EDIT コマンドは、Natural Security の対応するセキュリティプロファイルにより禁止されています。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4531 : プロファイルが削除されました。

テキスト	プロファイルが削除されました。
[説明]	データベースからプロファイルが正常に削除されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4532 : エディタプロファイルがデータベースに保存されませんでした。

テキスト	エディタプロファイルがデータベースに保存されませんでした。
[説明]	自分のものではないエディタプロファイルを変更しました。 変更後のプロファイルは使用できますが、この変更内容は別のライブラリにログオンするまでのみ有効です。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4533 : 方向インジケータは "+" または "-" である必要があります。

テキスト	方向インジケータは "+" または "-" である必要があります。
[説明]	プログラムエディタのコマンド行の方向インジケータは、 "+" と "-" のみ有効です。
[対処]	方向インジケータを "+" または "-" に設定してください。

NAT4534 : 特別な PF キーの機能を使用するためにはカーソルがソース内になければなりません。

テキスト	特別な PF キーの機能を使用するためにはカーソルがソース内になければなりません。
[説明]	コマンド *CURSOR、*X、*Y のいずれかが割り当てられている PF キーを押す前に、ソース内でコマンドを適用する場所にカーソルを置く必要があります。
[対処]	正しい位置にカーソルを置いてから、もう一度 PF キーを押してください。

NAT4535 : メッセージ行の位置は "TOP"、"BOT"、"nn"、または "-nn" です。

テキスト	メッセージ行の位置は "TOP"、"BOT"、"nn"、または "-nn" です。
[説明]	メッセージ行の位置を次のように指定できます。 TOP (または T) : 画面の一番上の行 BOT (または B) : 画面の一番下の行 nn : 画面の "nn" 行目 (画面の一番上から数えて) -nn : 画面の "nn" 行目 (画面の一番下から数えて)
[対処]	正しいメッセージ行の位置を指定してください。

NAT4536 : オブジェクト :1: を組み込むことはできません。

テキスト	オブジェクト ... を組み込むことはできません。
[説明]	組み込まれるオブジェクトはカタログしなければなりません。
[対処]	オブジェクトを組み込む前にカタログしておいてください。

NAT4537 : エディタの終了のみを行う (N) か、または Unlock (Y) か Unlock/Clear (C) を指定してエディタを終了してください。

テキスト	エディタの終了のみを行う (N) か、または Unlock (Y) か Unlock/Clear (C) を指定してエディタを終了してください。
[説明]	エディタを終了するときには、次のいずれかのプロファイル設定を指定できます。 N - No : エディタを終了し、ソースコードのロックを解除しません。 Y - Yes : エディタを終了し、ソースコードのロックを解除します。 C - Clear : エディタを終了し、ソースコードのロックを解除してソースエリアをクリアします。
[対処]	[Leave Editor] の正しい設定を指定してください。

72

Natural システムエラーメッセージ 4551～4600

NAT4599 : セッションパラメータ **PD** の値は "0" ではありません。

テキスト	セッションパラメータ PD の値は "0" ではありません。
[説明]	NATPAGE コーティリティの端末コマンドの1つを発行し、 (NATPAGE で Natural システムファイルに 格納される画面の数を指定する) PD パラメータが "0" に 設定されている場合に、このエラーが発生します。
[対処]	GLOBALS コマンドを使用して、PD パラメータの 値を 1～255 の値に設定してください。

NAT4600 : 複数のコマンド入力できません。

テキスト	複数のコマンド入力できません。
[説明]	1画面につき1コマンドのみ入力できます。 複数のコマンドが発見された場合、更新もコマンドの解釈も実行されません。
[対処]	コマンドを1つのみ入力してください。

73

Natural システムエラーメッセージ 4601～4650

NAT4601 : 画面操作に誤りがあります。行 :1:、列 :2:。

テキスト	画面操作に誤りがあります。行 ...、列 ...。
[説明]	フィールド変数をテキスト定数に変更することはできません。
[対処]	適切なフィールドコマンドを使用してフィールドを削除するか、または別の位置に移動してから、テキストを挿入してください。

NAT4602 : ".E" コマンドを使用してフィールドを編集してください。

テキスト	".E" コマンドを使用してフィールドを編集してください。
[説明]	フィールド編集マスクの修正や定義は、".E" コマンドで "拡張フィールド編集" を呼び出さなければなりません。
[対処]	フィールドコマンド ".E" を使用してください。

NAT4603 : DDM にエラーがあります。

テキスト	DDM にエラーがあります。
[説明]	現在使用中のデータ定義モジュール (DDM) にエラーが検出されました。
[対処]	DDM を修正してください。

NAT4604 : 編集マスクを用いてフォーマットを変更してください。

テキスト	編集マスクを用いてフォーマットを変更してください。
[対処]	編集マスクを用いてフォーマットを変更してください。

NAT4605 : ".A" コマンドを使用して、配列を定義してください。

テキスト	".A" コマンドを使用して、配列を定義してください。
[対処]	フィールドにフィールドコマンド ".A" を入力してください。

NAT4606 : オブジェクト名が正しくありません。

テキスト	オブジェクト名が正しくありません。
[対処]	正しいオブジェクト名を指定してください。

NAT4607 : DDM がロードされません。

テキスト	DDM がロードされません。
[説明]	DDM をロードしようとしたときに内部エラーが発生しました。
[対処]	Software AG の Natural サポートに連絡してください。

NAT4608 : 要求した DDM が大きすぎます。

テキスト	要求した DDM が大きすぎます。
[説明]	要求した DDM が大きすぎて、マップエディタで処理できません。
[対処]	DDM のサイズを減らします。

NAT4609 : 編集マスクが正しくありません。

テキスト	編集マスクが正しくありません。
[説明]	指定された編集マスクが正しくありません。 編集マスクの詳細については、 Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4610 : フィールドフォーマットが正しくありません。

テキスト	フィールドフォーマットが正しくありません。
[説明]	指定されたフィールドフォーマットが正しくありません。 正しいフォーマットの定義については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4611 : フィールド名に誤りがあります。

テキスト	フィールド名に誤りがあります。
[説明]	フィールド名に使用してはならない文字が含まれています。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4612 : 桁数が矛盾しています。

テキスト	桁数が矛盾しています。
[説明]	小数部または整数部の桁数が多すぎます。 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4613 : ソースエリアが空です。

テキスト	ソースエリアが空です。
[説明]	空のソースエリアを編集しようとした。
[対処]	関数 "I" (マップの初期化) または "R" (マップの読み込み) を使用して、マップをソースエリアに配置します。

NAT4614 : マップがソースエリア内で見つかりません。

テキスト	マップがソースエリア内で見つかりません。
[説明]	ソースエリアに、指定された名前のマップが含まれていません。 "L" 機能を使用して、現在ソースエリアにマップがあるかどうか確かめてください。 または、マップエントリフィールドを空白にして、ソースエリアのすべてのマップを表示させてください。
[対処]	関数 "I" (マップの初期化) または "R" (マップの読み込み) を使用して、マップをソースエリアに配置します。

NAT4615：指定したオブジェクトが現在のライブラリ／**steplib** ライブラリで見つかりません。

テキスト	指定したオブジェクトが現在のライブラリ／steplib ライブラリで見つかりません。
[説明]	指定した名前の Natural オブジェクト（プログラム、サブプログラム、データエリア等）は、現在のライブラリまたは連結ライブラリ（steplib）内で見つけることができませんでした。
[対処]	正しいオブジェクト名を指定してください。

NAT4616：コマンドの使い方が正しくありません。

テキスト	コマンドの使い方が正しくありません。
[説明]	コマンドを誤って使用しようとしました。例えば ".A" コマンドをテキスト定数に対して使用しました。
[対処]	正しいコマンドを正しいフィールドに入力してください。

NAT4617：デリミタ文字が属性と一致しません。

テキスト	デリミタ文字が属性と一致しません。
[説明]	指定した属性が、マッププロファイル内のデリミタ設定と矛盾しています。
[対処]	他の属性を使用するか、またはマッププロファイル内のデリミタ設定を変更してください。

NAT4618：フィールドのオカレンス数が多すぎます。行 :1、列 :2。

テキスト	フィールドのオカレンス数が多すぎます。行 ...、列 ...。
[説明]	出力フィールドが 98 オカレンスを超過して使用されました。
[対処]	新たなフィールドを指定してください。

NAT4619：ここではマルチプルフィールドを使用できません。行 :1、列 :2。

テキスト	ここではマルチプルフィールドを使用できません。行 ...、列 ...。
[説明]	入力専用フィールドまたは修正可能フィールドは、複数オカレンスに使用できません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4620 : 文字列が長すぎます。行 :1:、列 :2:。

テキスト	文字列が長すぎます。行 ...、列 ...。
[説明]	58 文字より長いテキスト定数が指定されました。 同じ文字の繰り返しによる文字列のみが 58 文字を超えられます。
[対処]	テキストを 2 つの定数に分割するか、またはテキストを含んだ変数を使用してください。

NAT4621 : システム変数は出力フィールドでなければなりません。

テキスト	システム変数は出力フィールドでなければなりません。
[説明]	システム変数は出力モードでのみ使用できます。
[対処]	出力モードを示すデリミタを使用してください。

NAT4622 : オーバーラップが検出されました。行 :1:、列 :2:。

テキスト	オーバーラップが検出されました。行 ...、列 ...。
[説明]	このエラーの原因は次のいずれかです。 - ある変数と別の変数とのオーバーラップ - overlapping of 変数がマップの右端とオーバーラップ - 変数とテキスト定数とのオーバーラップ - 誤ったコマンドがテキストとして解釈された
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4623 : タイプが DDM の定義と一致しません。行 :1:、列 :2:。

テキスト	タイプが DDM の定義と一致しません。行 ...、列 ...。
[説明]	フォーマットの矛盾により DDM 変数属性が画面変数属性に割り当てられません。 矛盾 : A、B と N、P A と B 適合 : N と P
[対処]	画面指定を変更してから、もう一度割り当ててください。

NAT4624 : 再割り当てができません。行 :1:、列 :2:。

テキスト	再割り当てができません。行 ...、列 ...。
[説明]	このエラーの原因は次のいずれかです。 - 変数がすでに割り当てられています。 - 変数がシステム変数です。
[対処]	変数を削除して DDM から生成してください。

NAT4625 : フィールド名/変数名を指定しなければなりません。

テキスト	フィールド名/変数名を入力しなければなりません。
[対処]	フィールド名/変数名を入力してください。

NAT4626 : マップ定義の内部フォーマットエラーを検出しました。

テキスト	マップ定義の内部フォーマットエラーを検出しました。
[説明]	マップエディタがマップ定義に内部フォーマットエラーを検出しました。別のユーティリティやプログラムを使用して、マップソースを編集しようとしたことが原因と考えられます。
[対処]	"I" (マップの初期化) または "R" (マップの読み込み) 機能を使用して、ソースエリアに元のマップを入れてください。

NAT4627 : AL/NL 構文エラーがあります。

テキスト	AL/NL 構文エラーがあります。
[説明]	AL または NL の指定に誤りがあります。詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	AL/NL を正しく指定してください。

NAT4628 : メニューからは 1 項目しか選択できません。

テキスト	メニューからは 1 項目しか選択できません。
[対処]	複数の項目を選択しないでください。

NAT4629 : 挿入/分割に有効な空白行が不十分です。

テキスト	挿入/分割に有効な空白行が不十分です。
[説明]	"..I" (挿入) または "..S" (分割) 行コマンドを使用する場合、挿入/分割行の下すべての行は下方に拡張され、マップの最後の空白行は挿入/分割のために削除されます。ただし、マップの最下行に十分な空白がない場合は、挿入/分割コマンドは実行できません。
[対処]	行を新しく挿入したり、行を分割する前に、有効な空白行が十分であることを確認してください。

NAT4630 : ランクの設定が正しくありません。

テキスト	ランクの設定が正しくありません。
[説明]	このエラーの原因は次のいずれかです。 - 指定値がゼロより大きくありません。 - 指定値が配列のランク以下ではありません。 - 指定値がすでに割り当てられています。 注：配列のランクは添字の数に等しくなります。 例えば、A(3, 4) は、ランク 2 の配列 A のエレメントです。
[対処]	ランクの設定を修正してください。

NAT4631 : 添字が範囲外です。

テキスト	添字が範囲外です。
[説明]	指定した添字は配列次元の範囲内にありません。
[対処]	添字指定を修正してください。

NAT4632 : 固定の添字指定が必要です。

テキスト	固定の添字指定が必要です。
[説明]	マップで 3 次元の配列を使用する場合、 少なくとも 1 次元の添え字は固定（整数または変数） でなければなりません。
[対処]	添字指定を修正してください。

NAT4633 : カラー指定に誤りがあります。

テキスト	カラー指定に誤りがあります。
[説明]	カラー指定に誤りがあります。 有効なカラーコードは、フィールド COLOUR に カーソルを置いて、HELP キーを押すことで決定できます。
[対処]	正しいカラーを指定してください。

NAT4634 : ソース/オブジェクト名の指定がありません。

テキスト	ソース/オブジェクト名の指定がありません。
[説明]	READ または PURGE 機能に対してソース名がないか、 または UNCATALOG 機能に対してオブジェクト名がありません。
[対処]	ソース/オブジェクト名を指定してください。

NAT4635 : プロファイル名が指定されていません。

テキスト	プロファイル名が指定されていません。
[説明]	"I" または "M" 機能使用時にはプロファイル名を指定しなければなりません。
[対処]	プロファイル名を指定してください。

NAT4636 : 列シフトは 0 か 1 だけです。

テキスト	列シフトは 0 か 1 だけです。
[説明]	標準的な列シフトは "0" です。 第 1 列をマップフィールドに使用するには、"1" の列シフトを指定します。
[対処]	"0" または "1" を指定してください。 .

NAT4637 : ヘルプテキストのサイズ／位置と画面サイズが一致しません。

テキスト	ヘルプテキストのサイズ／位置と画面サイズが一致しません。
[説明]	現在定義されているヘルプテキストウィンドウのサイズは、指定されたデバイス ("デバイスチェック") の画面に合わないので、配置しようとしている位置に置くことができません。 ウィンドウを小さくするか、位置を変更する (またはデバイスチェックオプションを使用しない) 必要があります。
[対処]	ヘルプテキストを小さくしてください (ページサイズまたは行サイズ、あるいはその両方を減らしてください)。 または、ヘルプテキストの位置を変更してください。

NAT4638 : MAP は正常に転送されました。

テキスト	MAP は正常に転送されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4639 : MAP 内のフィールド名とパラメータ名はユニークでなければなりません。

テキスト	MAP 内のフィールド名とパラメータ名はユニークでなければなりません。
[説明]	マップ内で使用されるフィールド名およびパラメータ名はユニークでなければなりません。
[対処]	フィールド名およびパラメータ名は、マップ内で重複して使用しないでください。

NAT4640 : SAVE コマンドが実行されました。

テキスト	SAVE コマンドが実行されました。
[説明]	ソースが現在のライブラリに保存されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4641 : マップのテストが正常終了しました。

テキスト	マップのテストが正常終了しました。
[説明]	現在のソースに対する RUN コマンドが正常に実行されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4642 : 変数名は他のフォーマットまたは配列で、すでに使用されています。

テキスト	変数名は他のフォーマットまたは配列で、すでに使用されています。
[説明]	ヘルプパラメータ、属性制御変数、 または開始値として名前を指定した変数は、 別のフォーマットまたは他の配列次元で、 すでに定義されています。
[対処]	違う名前を使用するか、または同名の別変数をチェックしてください。

NAT4643 : ファンクションコードが正しくありません。

テキスト	ファンクションコードが正しくありません。
[説明]	ファンクションコードの指定が正しくありません。
[対処]	正しいファンクションコードを入力するか、または「?」を入力してヘルプを参照してください。

NAT4644 : デリミタクラスは "A"、"O"、"M"、または "T" です。

テキスト	デリミタクラスは "A"、"O"、"M"、または "T" です。
[説明]	デリミタクラスに不正なコードが入力されました。 入力できるコードは次のとおりです。 A - 入力専用フィールド O - 出力専用フィールド M - 変更可能フィールド (入出力) T - テキスト定数
[対処]	正しいデリミタクラスを入力してください。

NAT4645 : デリミタの属性が正しくありません。

テキスト	デリミタの属性が正しくありません。
[説明]	有効な属性コードは次のとおりです。 B 点滅 NE デフォルト色 C 斜体/イタリック文字 BL 青 D デフォルト (非高輝度表示、非点滅、等) GR Green I 高輝度表示 RE 赤 N 非表示 PI ピンク U 下線付き YE 黄 V 反転表示 TU シアン Y ダイナミック (ユーザプログラムで ダイナミックに指定される属性)
[対処]	正しいコードを入力します。

NAT4646 : デリミタは特殊文字でなければなりません。

テキスト	デリミタは特殊文字でなければなりません。
[説明]	デリミタには特殊文字のみ使用できます。
[対処]	デリミタとして特殊文字を入力してください。

NAT4647 : ページサイズは **1～250** の範囲でなければなりません。

テキスト	ページサイズは 1～250 の範囲でなければなりません。
[説明]	ページサイズの値は 1～250 行でなければなりません。 3270 タイプの画面の標準ページサイズは 23 行です。
[対処]	正しいページサイズを入力します。

NAT4648 : 行サイズは **5～249** までです。

テキスト	行サイズは 5～249 までです。
[説明]	行サイズの値は 5～249 文字でなければなりません。 3270 タイプの画面の標準行サイズは 79 文字です。
[対処]	正しい行サイズを入力してください。

NAT4649 : 「**T**」 (最上行) または 「**B**」 (最下行) を入力してください。

テキスト	「 T 」 (最上行) または 「 B 」 (最下行) を入力してください。
[説明]	メッセージ行は画面の一番上 (T) か一番下 (B) に表示することができます。
[対処]	正しいコード (「 T 」 または 「 B 」) を入力してください。

NAT4650 : カラーコードが正しくありません。

テキスト	カラーコードが正しくありません。
[説明]	正しいカラーコードは次のとおりです。 NE - デフォルト色 BL - 青 GR - 緑 RE - 赤 PI - ピンク YE - 黄 TU - シアン
[対処]	正しいカラーコードを入力してください。

74

Natural システムエラーメッセージ 4651～4700

NAT4651 : 「UC」 (大文字) または 「LC」 (小文字) を入力してください。

テキスト	「UC」 (大文字) または 「LC」 (小文字) を入力してください。
[説明]	"UC" は入力が大文字に変換されることを示します。 "LC" は小文字入力が大文字に変換されないことを示します。
[対処]	正しいコード (「UC」 または 「LC」) を入力してください。

NAT4652 : 「Y」 (はい) または 「N」 (いいえ) を入力してください。

テキスト	「Y」 (はい) または 「N」 (いいえ) を入力してください。
[説明]	フィールドに有効な値は "Y" (はい) および "N" (いいえ) のみです。
[対処]	「Y」 または 「N」 と入力します。

NAT4653 : 配列の次元は 0～3 でなければなりません。

テキスト	配列の次元は 0～3 でなければなりません。
[対処]	正しい配列の次元を指定してください。

NAT4654 : 制御文字に使用できるのは特殊文字のみです。

テキスト	制御文字に使用できるのは特殊文字のみです。
[説明]	制御文字として使用できるのは特殊文字のみです。 デフォルトの制御文字は "." (ピリオド) です。
[対処]	正しい制御文字を入力してください。

NAT4655 : 「R」 (右詰め) または 「L」 (左詰め) を入力してください。

テキスト	「R」 (右詰め) または 「L」 (左詰め) を入力してください。
[説明]	指定できるのは次のコードのみです。 R : 変数フィールドはデフォルトで右詰めになります。 L : 変数フィールドはデフォルトで左詰めになります。
[対処]	正しいコード (「R」 または 「L」) を入力してください。

NAT4656 : デリミタ文字の設定が不明瞭です。

テキスト	デリミタ文字の設定が不明瞭です。
[説明]	同じデリミタが2回以上定義されたか、または、同じクラスまたは同じ属性に対して2つ以上のデリミタが定義されました。
[対処]	デリミタの設定をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4657 : 変数フィールドには名前をつけなければなりません。

テキスト	変数フィールドには名前をつけなければなりません。
[説明]	画面に直接定義されたフィールド (ビューから選択されていないフィールド) は、後からビューフィールドの属性を割り当てる (ポスト割り当て) か、または拡張フィールド編集機能を使用して名前を直接割り当てなければいけません。
[対処]	ポスト割り当て、または拡張フィールド編集を使用して、フィールドに名前を割り当ててください。

NAT4658 : "WRITE" または "INPUT" のいずれかを選択してください。

テキスト	"WRITE" または "INPUT" のいずれかを選択してください。
[説明]	このエラーの原因は次のとおりです。 - WRITE と INPUT のどちらもマークされていません。 - WRITE と INPUT の両方がマークされています。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4659 : ダイナミックレイアウトにユーザー定義変数が含まれています。

テキスト	ダイナミックレイアウトにユーザー定義変数が含まれています。
[説明]	ダイナミックレイアウトマップとして使用されるマップに、ユーザー定義変数が含まれてはいけません。
[対処]	ダイナミックレイアウトマップからユーザー定義変数を削除するか、または別のマップをダイナミックレイアウトマップとして使用してください。

NAT4660 : レイアウトとマップの設定に矛盾があります。

テキスト	レイアウトとマップの設定に矛盾があります。
[説明]	このエラーメッセージの原因は次のいずれかです。 - レイアウト内に、現在のマップに定義されていない ATTRIBUTE/CLASS の組み合わせのデリミタ設定があります。 - レイアウトとマップの PAGESIZE または LINESIZE が異なります。 - レイアウトとマップで COMP 設定が異なります。 - レイアウトとマップで KEYSTD 設定が異なります。 - レイアウトとマップの HELP 名が空白でなく、同一でもありません。
[対処]	マップとレイアウトの設定をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4661 : プロファイルはすでに存在します。

テキスト	プロファイルはすでに存在します。
[説明]	すでに存在するプロファイルに対して ADD 機能を適用しました。
[対処]	MODIFY 機能を使用するか、または別のプロファイル名を使用してください。

NAT4662 : プロファイルが存在しません。

テキスト	プロファイルが存在しません。
[説明]	存在しないプロファイルに対して、MODIFY または DELETE 機能を適用しました。
[対処]	正しいプロファイル名を使用してください。

NAT4663 : プロファイル "SYSPROF" を変更してはいけません。

テキスト	プロファイル "SYSPROF" を変更してはいけません。
[説明]	メンテナンス機能を使用して、デフォルトのプロファイル "SYSPROF" を変更することはできません。
[対処]	ADD 機能を使用して、ユーザープロファイルを定義してください。

NAT4664 : デリミタが制御文字や小数点文字と同じであってはなりません。

テキスト	デリミタが制御文字や小数点文字と同じであってはなりません。
[説明]	デリミタは、プロファイル設定に定義された 制御文字や小数点文字と同じにしてはいけません。
[対処]	デリミタとして別の特殊文字を使用してください。

NAT4665 : "DY" オプションが正しくありません。

テキスト	"DY" オプションが正しくありません。
[説明]	"DY" オプションは、エスケープ文字と属性/カラーコードを交互に入れて構成します。 正しいエスケープ文字は、すべての特殊文字および 16 進要素です。 例 : <i> ("<" で高輝度表示) <re> ("<" で高輝度表示) <bl:re> ("<" で青、":" で赤) "27p"28 ("27 で保護)
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4666 : 警告 : 現在のプロファイルがマップのプロファイルと一致しません。

テキスト	警告 : 現在のプロファイルがマップのプロファイルと一致しません。
[説明]	編集されるマップが、現在のプロファイルと異なるプロファイルで初期化されました。
[対処]	PF10 キーを押して正しいプロファイル名を取得するか、または無視してください。

NAT4667 : 編集が正常終了しました。

テキスト	編集が正常終了しました。
[説明]	このメッセージは次のことを示します。 - パラメータモードの場合、INPUT USING MAP ステートメントが、マップの最初に生成されました。 - 非パラメータモードの場合、全変数が割り当てられたかどうかチェックされました。 - 整合性チェックルールが、整合性チェックランクと変数の位置によってソートされました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4668 : レイアウトプロファイルが **ENFORCE** のマッププロファイルと一致しません。

テキスト	レイアウトプロファイルが ENFORCE のマッププロファイルと一致しません。
[説明]	レイアウトマップは現在のプロファイルとは異なるプロファイルで初期化されました。現在のプロファイルは "ENFORCE" オプションでマークされています。現在のプロファイルの属性のいくつかは途中で変更されました。
[対処]	別のプロファイル、または別のレイアウトを使用してください。

NAT4669 : ヘルプテキストレイアウトをマップで使用する、およびその逆はできません。

テキスト	ヘルプテキストレイアウトをマップで使用する、およびその逆はできません。
[説明]	このメッセージの原因は次のいずれかです。 - レイアウトは "H"、現在のマップは "I" で初期化されました。 - レイアウトは "I"、現在のマップは "H" で初期化されました。
[対処]	別のレイアウト、または他の初期化機能を使用してください。

NAT4670 : 出力モードの設定に誤りがあります。

テキスト	出力モードの設定に誤りがあります。
[説明]	出力モードでは次のコードが選択できます I : 出力方向を逆にします。 C : 代替文字セットを使用します。 N : ハードコピーにフィールドが表示されません。 D : ダブルバイト文字モード。 属性を組み合わせて使用してもかまいません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4671 : マップ設定の変更に誤りがあります。

テキスト	マップ設定の変更に誤りがあります。
[説明]	このエラーメッセージの原因としては、古いマップ設定で指定されていたデリミタのクラス/属性の組み合わせが、新しいマップ設定では指定されていない場合が考えられます。
[対処]	設定値をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4672 : "Move" コマンドの移動先がコマンド指定範囲内にあります。

テキスト	"Move" コマンドの移動先がコマンド指定範囲内にあります。
[説明]	行コマンド "Move" を数行の範囲を指定して発行したが、カーソルがその範囲内の行に置かれたままでした。
[対処]	カーソル位置を変えるか、または行範囲を変更してください。

NAT4673 : 同じ名前のオブジェクトがすでに存在します。

テキスト	同じ名前のオブジェクトがすでに存在します。
[説明]	マップやヘルプテキストの初期化時に、ライブラリ内の別オブジェクトがすでに使用されている名前が指定されました。 このエラーは、STOW や SAVE 機能でも、名前を明示的に指定した場合に発生する可能性があります。
[対処]	マップ名を変更するか、または既存のオブジェクトを消去してください。

NAT4674 : 指定したオブジェクトが存在しないか、マップやヘルプテキストではありません。

テキスト	指定したオブジェクトが存在しないか、マップやヘルプテキストではありません。
[説明]	指定したマップ名が正しくありません。指定した名前のマップもヘルプテキストも存在しないか、または参照されたオブジェクトがマップでもヘルプテキストでもありません。
[対処]	マップ名を変更するか、または初期化機能を使用してください。

NAT4675 : デバイスの指定がありません。

テキスト	デバイスの指定がありません。
[説明]	デバイスチェックフィールドで指定されたデバイスが、メンテナンス機能を使用して定義されていません。または、存在しないデバイス指定に対して MODIFY や DELETE 機能を実行しようとした。
[対処]	メンテナンス機能を使用してデバイス属性を指定してください。

NAT4676 : デバイス指定がすでに存在しています。

テキスト	デバイス指定がすでに存在しています。
[説明]	デバイス指定がすでに存在しています。
[対処]	MODIFY 機能を使用してください。

NAT4677 : デバイス名がありません。

テキスト	デバイス名がありません。
[説明]	追加、修正、または削除するデバイス名が指定されていません。
[対処]	デバイス名を入力してください。

NAT4678 : 属性がデバイスの特性と一致しません。

テキスト	属性がデバイスの特性と一致しません。
[説明]	定義された属性をサポートしないデバイス名を入力することにより、デバイスチェックが有効になりました。カーソルは指定デバイスと矛盾した属性に位置付けられました。
[対処]	属性を変更するか、またはデバイスチェックを無効にしてください。

NAT4679 : レイアウトが存在しません。

テキスト	レイアウトが存在しません。
[説明]	レイアウトマップまたはレイアウトヘルプテキストが、マップ設定やプロファイルで指定されましたが、そのレイアウトがソースマップとして存在しません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4680 : 指定できるのは "H" または "V" のみです。

テキスト	指定できるのは "H" または "V" のみです。
[説明]	2 次インデックスの方向は、横 (H) または縦 (V) のみです。
[対処]	正しい方向を入力してください。

NAT4681 : WRITE ステートメントでは出力クラスのみ可能です。

テキスト	WRITE ステートメントでは出力クラスのみ可能です。
[説明]	フィールドクラスを入力 (A) または修正 (M) として、デリミタまたは AD 属性が指定されました。これは、マップ定義処理により、WRITE ステートメントを生成する場合は不可能です。
[対処]	プログラムまたはマップ設定をチェックして、エラーを修正してください。

NAT4682 : 配列次元が矛盾しています。

テキスト	配列次元が矛盾しています。
[説明]	配列に DDM 配列がポスト割り当てされましたが、DDM 配列の 1 つ以上の次元が以前に定義された配列より小さくなっています。
[対処]	配列の次元をチェックして、エラーを修正してください。

NAT4683 : 属性制御変数がありません。

テキスト	属性制御変数がありません。
[説明]	属性が "Y" であるデリミタが使用されましたが、マップ設定に属性制御変数 (CV=名前) が定義されていません。または、AD 属性 "Y" が定義されましたが、フィールドレベルでもマップ設定でも属性制御変数 (CV=名前) が定義されていません。
[対処]	属性制御変数を定義してください。

NAT4684 : 整合性チェックルールのランクがすでに存在します。

テキスト	整合性チェックルールのランクがすでに存在します。
[説明]	整合性チェックルールのランクを変更しようとしたが、このフィールドには、ランクの指定された整合性チェックルールがすでに存在しています。
[対処]	別のランクを使用してください。

NAT4685 : フィールドが配列ではありません。

テキスト	フィールドが配列ではありません。
[説明]	フィールド名に添字のカッコを適用する前に、フィールドは ".A" または "..A" コマンドを使用して配列として定義されていなければなりません。
[対処]	添字のカッコを外してください。

NAT4686 : スカラ値には ".A" コマンドを適用しないでください。

テキスト	スカラ値には ".A" コマンドを適用しないでください。
[説明]	配列フィールドコマンドまたは配列行コマンドは、エレメンタリデータベースフィールドまたはシステム変数に使用できません。整合性チェックルールはシステム変数には使用できません。
[対処]	配列を使用しないでください。またはユーザー定義変数を定義してください。

NAT4687 : ヘルプテキストや WRITE マップにヘルプルーチンを指定できません。

テキスト	ヘルプテキストや WRITE マップにヘルプルーチンを指定できません。
[説明]	ヘルプルーチン名はマップでのみ指定でき、ヘルプテキストでは指定できません。マップを WRITE USING MAP ステートメントで使用する場合もヘルプルーチン名を指定できません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4688 : STOW コマンドが正常に実行されました。

テキスト	STOW コマンドが正常に実行されました。
[説明]	マップが正常にセーブおよびカタログされました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4689 : ダイレクトコマンドが正常に実行されました。

テキスト	ダイレクトコマンドが正常に実行されました。
[説明]	指定したダイレクトコマンドが正常に実行されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4690 : 編集マスクが正しくありません。

テキスト	編集マスクが正しくありません。
[説明]	指定された編集マスクは正しい Natural 編集マスクではありません。 正しい編集マスクの詳細については、ヘルプ機能を呼び出してください。
[対処]	正しい編集マスクを使用してください。

NAT4691 : 小数点文字が矛盾しています。

テキスト	小数点文字が矛盾しています。
[説明]	マップで使用した小数点文字は、現セッションに 定義された小数点文字と一致しません。
[対処]	GLOBALS コマンドを使用してセッションプロファイルを変更してください。

NAT4692 : この処理は使用できません。

テキスト	この処理は使用できません。
[説明]	要求した機能は、Predict デイクショナリシステムが インストールされている場合にのみ使用可能です。
[対処]	この機能は使用しないでください。

NAT4693 : 処理ルール間に矛盾があります。

テキスト	処理ルール間に矛盾があります。
[説明]	このエラーは、ユーザー定義フィールドとして最初に定義されたフィールド または未定義フィールドに、ユーザーが処理ルールを割り当てた場合に 発生します。また、その後このフィールドがデータベースフィールドに ポスト割り当てされ、ランクに対するそのデータベースフィールドの 処理ルールがデイクショナリに含まれている一方、このランクがユーザー 定義ルールによってすでに占有されている場合に、この矛盾が発生します。
[対処]	ユーザールールをチェックしてください。

NAT4694：ディクショナリの一貫性エラーがあります。

テキスト	ディクショナリの一貫性エラーがあります。
[説明]	処理ルールの定義時または処理時に、ディクショナリの処理ルール内で一貫性エラーが検出されました。
[対処]	ディクショナリ管理者に連絡してください。

NAT4695：処理ルールがすでに存在します。

テキスト	処理ルールがすでに存在します。
[説明]	ディクショナリに追加する処理ルールに指定した名前がすでに存在しています。
[対処]	処理ルールに別の名前を使用してください。

NAT4696：ここで接頭辞の指定はできません。

テキスト	ここで接頭辞の指定はできません。
[説明]	拡張フィールド編集で新しい接頭辞を導入することはできません。プログラムラベルと対応させるために既存の接頭辞を変更することのみができます。
[対処]	ポスト割り当て機能を使用して、新しい接頭辞を指定してください。

NAT4697：ページサイズは 3～250 の範囲でなければなりません。

テキスト	ページサイズは 3～250 の範囲でなければなりません。
[説明]	Standard Keys が Y に設定されている場合は、最小のページサイズは 3 です。
[対処]	正しいページサイズを指定してください。

NAT4698：ユーザー出口により変更は拒否されました。

テキスト	ユーザー出口により変更は拒否されました。
[説明]	Predict DDA サービスでユーザー出口がアクティブにされました。
[対処]	データベース管理者に連絡して、フリールールの変更を可能にするように依頼してください。

NAT4699：オカレンス数は 0 より大きくなくてはなりません。

テキスト	オカレンス数は 0 より大きくなくてはなりません。
[対処]	オカレンス数を "0" より大きな値に設定してください。

NAT4700 : DDM が存在しないか、DDM にアクセスする権限がありません。

テキスト	DDM が存在しないか、DDM にアクセスする権限がありません。
[説明]	指定した DDM が存在しないか、または Natural Securityにより保護されています。DDM はプログラムのデータエリアで使用することもでき、プログラムはマップエディタに組み込まれています。
[対処]	正しい DDM 名を入力するか、またはプログラムをチェックしてください。あるいは、Natural Security 管理者に連絡してください。

75

Natural システムエラーメッセージ 4701～4750

NAT4701 : プログラムにデータが定義されていません。

テキスト	プログラムにデータが定義されていません。
[説明]	編集画面の上半分に表示するプログラム（またはサブプログラム、サブルーチン、ヘルプルーチン）に、明示的なフィールド定義が含まれていません。
[対処]	表示するプログラムをチェックしてください。また、プログラムで使用されるデータエリアを表示して、目的の変数を確認してください。

NAT4702 : フィールド/パラメータタイプがありません。

テキスト	フィールド/パラメータタイプがありません。
[説明]	フィールド/パラメータタイプを指定しなければいけません。
[対処]	フィールド/パラメータタイプを入力してください。

NAT4703 : インデックスが "0" の次元に対して、開始値を入力しないでください。

テキスト	インデックスが "0" の次元に対して、開始値を入力しないでください。
[説明]	インデックスが "0" の次元に対して、 "開始" 値を指定することはできません。
[対処]	インデックスを指定するか、または開始値を削除してください。

NAT4704 : **WRITE** ステートメントではダイナミックレイアウトを使用できません。

テキスト	WRITE ステートメントではダイナミックレイアウトを使用できません。
[説明]	WRITE ステートメントを使用して出力するマップには、ダイナミックレイアウトマップを使用できません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4705 : 整合性チェック名はすでに存在していますが、フリールールではありません。

テキスト	整合性チェック名はすでに存在していますが、フリールールではありません。
[説明]	指定した整合性チェック名はすでに存在し、自動ルールとして Predict 内に定義されています。
[対処]	他の整合性チェック名を指定してください。

NAT4706 : **Predict** のデフォルトによって拒否されました。

テキスト	Predict のデフォルトによって拒否されました。
[説明]	Predict のデフォルトで、"マップエディタのルール"設定が "D" (disallowed) になっています。
[対処]	Predict 管理者に、デフォルトの変更を依頼してください。

NAT4707 : 同時にルール名とソーステキストを入力しないでください。

テキスト	同時にルール名とソーステキストを入力しないでください。
[説明]	Predict からルールエディタへルールソースをインクルードするためにフリールール名またはソーステキストを入力してください。Enter キーを押してから、Predict にソースを保存するためにルール名を入力してください。
[対処]	ルール名またはソーステキストを削除し、Enter キーをもう一度押してください。

NAT4708 : 出力フィールドの処理ルールは適用されません。

テキスト	出力フィールドの処理ルールは適用されません。
[説明]	出力フィールドに割り当てられた処理ルールが実行されていません。
[対処]	処理ルールを削除するか、またはフィールドクラスを変更してください。

NAT4709 : ライブラリパスでオブジェクトを検索中に、内部エラー :1: が発生しました。

テキスト	ライブラリパスでオブジェクトを検索中に、内部エラー ... が発生しました。
[説明]	現在のライブラリおよび連結されたライブラリでオブジェクトを検索中に、予期しない内部エラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT4710 : 定義された変数が多すぎるため、テーブルがオーバーフローしました。

テキスト	定義された変数が多すぎるため、テーブルがオーバーフローしました。
[説明]	マップ内で変数の数が最大数を超えました。最大数は 500 です。
[対処]	変数の数を 501 未満に減らしてください。

NAT4711 : マップに GUI エlementが含まれていて、CATALL で STOW できません。

テキスト	マップに GUI エlementが含まれていて、CATALL で STOW できません。
[説明]	マップに GUI エlementが含まれています。"STOW" を実行すると、元のマップソースが破壊されてしまうため、実行されませんでした。 マップは GUI をサポートするプラットフォームからロードされ、ビットマップ、選択ボックス、ドロップダウンメニューなどのElementが含まれています。これらのElementは、メインフレームプラットフォームでは利用できません。そのようなマップが STOW された場合、これらのElementはすべて削除され、メインフレームと互換性のあるマップが生成されます。通常の編集モードでは、マップを STOW しようとする、警告が表示され、Elementが失われる可能性があることが通知されますが、(失っても許容できる場合は) マップの STOW を続行できます。
[対処]	(CATALL コマンドを使用しないで) マップを個別に STOW するか、または CATALOG 機能のみを使用してください。

NAT4712 : 配列の範囲が正しくありません。

テキスト	配列の範囲が正しくありません。
[説明]	配列の次元が正しくありません。下限は上限より小さくなっている必要があります。
[対処]	下限または上限に異なる値を指定してください。

NAT4748 : XREF 要求は **Natural Security** によって許可されていません。

テキスト	XREF 要求は Natural Security によって許可されていません。
[説明]	Natural Security 環境では、XREF スイッチは、適切なセキュリティプロファイルに詳細に定義された値にのみ設定できます。次の表に正しい組み合わせを示します。 セキュリティ! XREF コマンドによる要求プロファイル! での定義! OFF ON FORCE -----+----- OFF!++++++ ON!-+-+ FORCE!--+--+
[対処]	データをチェックして、エラーを修正してください。 または、データベース管理者に連絡して、セキュリティプロファイルの修正を依頼してください。

NAT4749 : DBID=0 では処理できません。

テキスト	DBID = 0 では関数を利用できません。
[説明]	Natural クロスリファレンスを生成するには、Natural システムファイル（モジュールの格納先）の DBID がゼロ以外の値である必要があります。
[対処]	DBA に連絡して、正しい Natural パラメータモジュールを生成するか、Natural を呼び出してデータベース ID の値をダイナミックに上書きするように要請してください。

NAT4750 : 入力データが不正です。

テキスト	入力データが不正です。
[説明]	不正なデータがフィールドに指定されました。
[対処]	正しい入力データを指定してください。

76 Natural システムエラーメッセージ 4751～4800

NAT4751 : :1: を入力しなければなりません。

テキスト	... を入力しなければなりません。
[対処]	... を入力してください。

- NAT4752 : :1:~:2: の整数を入力する必要があります。
- NAT4753 : キーワードを少なくとも 1 つ使用してください。
- NAT4754 : 要求されたファンクションキーは、割り当てられていません。
- NAT4755 : 表示されるポップアップを "S" でマークしてください。
- NAT4756 : PF5 キーを押して、生成された SQL を実行するか、または PF4 キーを押してフリーモードにしてください。
- NAT4757 : 不正な :1: が指定されています。
- NAT4758 : その名前の :1: がありません。
- NAT4759 : キーワードを 1 つのみ使用してください。
- NAT4760 : Long Varchar でも Long Vargraphic でも、fieldproc が許可されていません。
- NAT4761 : 入力できるのはキーワード UNIQUE のみです。
- NAT4762 : :1: を入力しなければなりません。Enter キーを押して次に進みます。
- NAT4763 : カタログ名または stogroup 名を入力してください。
- NAT4764 : 整数を入力する必要があります。
- NAT4765 : 構文に誤りがあります。正しいデータを入力してください。
- NAT4766 : 同じブロックの間ではブロックをコピーできません。
- NAT4767 : POINT コマンドが発行されましたが、".N" でマークされた行がありません。
- NAT4768 : ".MX-Y" が発行された場合、X-Yの間では ".I"、".W" が許可されていません。
- NAT4769 : 挿入するメンバが見つかりません。
- NAT4770 : SCAN コマンドが入力されましたが、スキャン対象値が指定されていません。
- NAT4771 : FREEPAGES または PCTFREE、あるいはその両方の数を（整数で）入力してください。
- NAT4772 : プライマリキーフィールドに番号 :1: が 2 回以上入力されました。
- NAT4773 : その名前の :1: はすでに存在しています。
- NAT4774 : 正しい :1: を入力してください。
- NAT4775 : :1: または :2: をマークしてください。

- NAT4776 : 選択したものをマークしてください。
- NAT4777 : :1: と :2: を両方ともマークすることはできません。
- NAT4778 : コマンドが正常に実行されました。
- NAT4779 : 入力できるのは :1: または :2: のみです。
- NAT4781 : Predict では、TABLE、VIEW、および INDEX の作成は無効です。
- NAT4782 : "S" の :1: キー列、または "1-16" で整列された :1: キー列を選択してください。
- NAT4783 : 許可されているキー列は最大 16:1: です。
- NAT4784 : :1: キー列は非空値である必要があります。
- NAT4785 : 許可されているプライマリーキー列は最大 16 です。
- NAT4786 : :1: の名前を入力してください。
- NAT4787 : 参照されたテーブルの名前を入力してください。
- NAT4788 : 列を選択してください (複数可)。
- NAT4790 : デフォルトの ASC が取得されました。
- NAT4791 : :1: の列を指定してください。
- NAT4792 : :1: キーフィールドに番号 :2: が 2 回以上入力されました。
- NAT4793 : CHAR、VARCHAR、LONGVARCHARFOR には、FOR ... DATA が許可されています。
- NAT4794 : FOR ... DATA 節に、「S」 (SBCS)、 「M」 (Mixed)、または「B」 (BIT) を入力してください。
- NAT4795 : :1: は "S" でマークする必要があります。
- NAT4796 : データタイプ :2: には :1: が許可されていません。
- NAT4797 : FOR ... DATA を指定した場合には CCSID は許可されていません。
- NAT4800 : 正しいファンクションコードを入力してください。

テキスト	正しいファンクションコードを入力してください。
[対処]	正しいファンクションコードを入力します。

77

Natural システムエラーメッセージ 4801～4850

NAT4801 : 処理はソースプログラムのみ適用されます。

テキスト	処理はソースプログラムのみ適用されます。
[説明]	選択された機能はオブジェクトプログラムではなく、ソースプログラムのみ使用することができます。
[対処]	正しい機能を入力してください。

NAT4802 : ライブラリタイプは "S" または "O" のみです。

テキスト	ライブラリタイプは "S" または "O" のみです。
[説明]	正しいライブラリタイプは、ソースが "S"、オブジェクトが "O" です。
[対処]	正しいライブラリタイプを入力してください。

NAT4803 : 不正なオブジェクトが指定されました。

テキスト	不正なオブジェクトが指定されました。
[説明]	次のオブジェクト・コードのみが有効です。 A - プログラム、マップ、およびデータエリア V - Natural ビュー (DDM) P - エディタ、マップ、およびデバイスのプロファイル E - ユーザーおよびシステムのエラーメッセージテキスト 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	正しいコードを入力してください。

NAT4804 : 正しいライブラリ ID を入力してください。

テキスト	正しいライブラリ ID を入力してください。
[説明]	LIST、COPY、MOVE、DELETE の各機能に対する正しいライブラリ ID を入力してください。
[対処]	正しいライブラリ ID を入力します。

NAT4805 : 正しいコマンドコードを入力してください。

テキスト	正しいコマンドコードを入力してください。
[説明]	正しいコマンドコードは次のとおりです。 P 個々のプログラムの選択 * 選択メニュー ? ヘルプ情報 . 終了 空白 メニューに戻る
[対処]	正しいコマンドコードを入力します。

NAT4806 : プログラム名を入力してください。

テキスト	プログラム名を入力してください。
[説明]	"P" コマンドで個々のプログラムを指定する場合は、正しいプログラム名を入力してください。
[対処]	正しいプログラム名を入力してください。

NAT4807 : 正しいデータベース ID を入力してください。

テキスト	正しいデータベース ID を入力してください。
[説明]	SYSMAIN 機能では正しいデータベース ID を指定しなければなりません。 指定できるデータベース番号は次のとおりです。 0 : デフォルトのデータベース 1～253 : 特定のデータベース
[対処]	正しいデータベース番号を入力してください。

NAT4808 : 不正な "新しい名前" が指定されました。

テキスト	不正な "新しい名前" が指定されました。
[説明]	ライブラリ (アプリケーション) またはプログラム、あるいはその両方、データエリア、およびマップに名前を指定するときには、その名前は Natural の命名規則に従っている必要があります。
[対処]	指定したライブラリまたはオブジェクトの名前をチェックし、修正してください。

NAT4809 : システムファイル番号を入力してください。

テキスト	システムファイル番号を入力してください。
[説明]	MOVE および COPY コマンドでは、1 から 255 までのシステムファイル番号を指定してください。
[対処]	正しいシステムファイル番号を入力してください。

NAT4810 : 選択条件により全データが拒否されました。

テキスト	選択条件により全データが拒否されました。
[説明]	<p>処理のために最初に選択されたデータがすべて拒否されました。拒否が発生する理由はいくつか考えられます。例えば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) オブジェクトタイプが、指定されたオブジェクトタイプと一致しませんでした。 2) 指定されたデータ範囲内にデータがありませんでした。 3) 内部サブルーチン名が別のオブジェクト名としてすでに存在していたので、サブルーチンが処理できませんでした。 4) REPLACE オプションが "NO" に設定され、ターゲットライブラリにオブジェクト名がすでに存在していたため、オブジェクトのコピー／移動／名前変更ができませんでした。 5) RECAT オプションが "ON" では、保存されたオブジェクトが存在している場合には、カタログ化オブジェクトのみを処理できます。 6) RECAT オプションが "ON" では、すでに存在しているカタログ化オブジェクトと別に、保存されたオブジェクトを処理することはできません。
[対処]	正常に終了しましたが、指定した選択条件を確認してください。

NAT4811 : 同じ環境に "コピー／移動" はできません。

テキスト	同じ環境に "コピー／移動" はできません。
[説明]	<p>MOVE および COPY 機能では常に、異なるソース／ターゲット環境を指定しなければなりません (異なる DBID/FNR や異なるライブラリを指定します)。</p> <p>ただし言語コードが異なれば、エラーテキスト、アプリケーション、DBID、ファイル番号、およびファイル名 (FCT) が、ソース環境とターゲット環境で同じでもかまいません。</p>
[対処]	異なるターゲットライブラリ、または異なるシステムファイルを入力してください。

NAT4812 : 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
[説明]	名前のリスト処理中に内部エラーが発生しました。
[対処]	エラーの内容を書き留めてから、Software AG に連絡してください。

NAT4813 : "移動／コピー" 操作が実行されました。

テキスト	"移動／コピー" 操作が実行されました。
[説明]	要求された MOVE/COPY 機能が正常に実行されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4814 : 不正なオブジェクトタイプが指定されました。

テキスト	不正なオブジェクトタイプが指定されました。
[説明]	正しくないオブジェクトタイプが1つ以上要求されました。 要求する機能に応じて、指定できるオブジェクトタイプが異なります。 プログラム、データエリア、またはマップを処理するときに指定できる オブジェクトタイプコードは、S、N、P、G、L、A、H、C、M、T、Z です。 プロファイルの処理では E、M、D、P を、 エラーメッセージの処理では S、L を指定できます。 オブジェクトタイプコード "*" はすべてのタイプを示します。
[対処]	コードをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4815: ユーザーの要求によって処理が終了しました。

テキスト	ユーザーの要求によって処理が終了しました。
[説明]	機能の処理中に、ユーザーが処理を中断しました (PF キー、 または "プログラム中断／テスト要求" キーを押すこと、 または前画面で "." を入力することによって)。
[対処]	正常に終了しました。対処は必要ありません。

NAT4816 : 不正な日付または時刻が指定されました。

テキスト	不正な日付または時刻が指定されました。
[説明]	指定された日付または時刻が正しくありません。 (Natural ドキュメントに記載されているように) 日付フォーマットは、 Natural プロファイルパラメータ DTFORM で指定したフォーマットと一致していなければなりません。 月の範囲は 1～12 でなければいけません。 そして、日付は月に対応していなければなりません (閏年を含む)。 時刻フォーマットは HH:II でなければなりません。

[対処]	指定した日付と時刻をチェックして、フォーマットと範囲の指定が正しいことを確認してください。
------	---

NAT4817 : 日付の範囲に誤りがあります。 **TO DATE** は **FROM DATE** より大きくなければなりません。

テキスト	日付の範囲に誤りがあります。 TO DATE は FROM DATE より大きくなければなりません。
[説明]	FROM DATE は論理的に TO DATE より大きくなってはなりません。
[対処]	日付をチェックし、FROM - TO の範囲を正しく指定してください。

NAT4818 : ライブラリが正常にリストされました。

テキスト	ライブラリが正常にリストされました。
[説明]	特定のライブラリをリストするように要求されました。正常に終了した場合は、その要求の最後にこのメッセージが表示されます。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4819 : 選択コードの指定が不正です。

テキスト	選択コードの指定が不正です。
[説明]	<p>選択画面で指定された1つ以上のコードが正しくありません。 正しいコードは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> I- ディレクトリ情報 (カタログ化オブジェクトと保存オブジェクトのいずれか、または両方) L- ソースのリスト (保存オブジェクトのみ) H- ソースの印刷 (保存オブジェクトのみ) C- カタログ化オブジェクトのみに対する、指定された機能の実行 S- オブジェクトソースのみに対する、指定された機能の実行 A- カタログ化オブジェクトまたは保存オブジェクト、あるいはその両方に対する、指定された機能の実行。このコードは、保存オブジェクトのみ、またはカタログ化オブジェクトのみが存在する場合にも使用できます。 <p>プロファイルパラメータ RECAT が "ON" に設定されている場合は、コード "C" も無効です。</p>
[対処]	選択をチェックし、強調表示されたエラーを修正してください。

NAT4820 : 選択したプログラムは存在しません。

テキスト	選択したプログラムは存在しません。
[説明]	指定されたライブラリに、選択したプログラムが存在しません。
[対処]	プログラム名とライブラリ名をチェックしてください。

NAT4821 : ダイナミックな再カタログの要求が不正です。

テキスト	ダイナミックな再カタログの要求が不正です。
[説明]	パラメータ RECAT が "ON" に設定されている環境では正しくない要求が行われました。 ダイナミックな再カタログがアクティブになっている環境では、カタログ化オブジェクトと保存オブジェクトをまとめて処理する必要があります。 例外は、コピーコードのように、保存オブジェクトが存在し、それに対応するカタログ化オブジェクトがない場合のみです。
[対処]	選択した要求をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4822 : "RENAME" 要求が正しくありません。

テキスト	"RENAME" 要求が正しくありません。
[説明]	指定した選択条件では、要求した RENAME 機能が実行できません。 選択リスト、オブジェクト名、新規名称のいずれか、あるいは複数が互いに適合しません。 バッチモードでは、オブジェクト名に範囲指定が使用された場合にこのエラーが発生します。
[対処]	選択条件をチェックして、エラーを修正します。 必要な場合は、Natural の管理者に連絡してください。

NAT4823 : オプションに正しくない選択コードが指定されました。

テキスト	オプションに正しくない選択コードが指定されました。
[説明]	SYSMAIN のライブラリ選択画面では、 処理中に次の追加オプションを指定できます。 L- ライブラリ内の全オブジェクトをリストします。 S- ライブラリ内の全外部サブルーチン名をリストします。 ?- ヘルプ情報 . - 現在の処理を終了します。
[対処]	選択条件をチェックして、エラーを修正してください。

NAT4824 : 要求したオプションの処理が正常終了しました。

テキスト	要求したオプションの処理が正常終了しました。
[説明]	SYSMAIN 機能を正常実行中、他にいくつかのオプションを実行できます。 例えば、 - ディレクトリ情報をリストします。 - ライブラリ内の全サブルーチンを名前順にリストします。 - 特定の保存オブジェクトをリストします。 要求したオプションの処理が正常終了しました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4825 : 入力コマンド文字列が長すぎます。

テキスト	入力コマンド文字列が長すぎます。
[説明]	バッチでもオンラインでも、ダイレクトコマンドで SYSMAIN を呼び出すときに、1つのコマンド文字列で受け渡せる最大項目数は 36 です。 これより多い数が SYSMAIN で 検出された場合、処理は終了します。
[対処]	SYSMAIN に指定したコマンド文字列を チェックし、文字列内の項目数を減らしてください。

NAT4826 : データは数値ではありません。

テキスト	データは数値ではありません。
[説明]	SYSMAIN コマンド行のパラメータ DBID、FNR、または SETNO の日付を処理中に、数値でないデータが見つかりました。 DBID、FNR、および SETNO の値は次のようなフォーマットでなければなりません。 FNR n DBID n SETNO n ("n" は 1~3 桁の数値 (SETNO は 1~2 桁の数値))
[対処]	コマンド行をチェックして、指定したデータの文字列を修正してください。

NAT4827 : XREF インジケータは、"N"、"Y"、"F"、または "S" である必要があります。

テキスト	XREF インジケータは、"N"、"Y"、"F"、または "S" である必要があります。
[説明]	Predict では、クロスリファレンスインジケータを 次の値のいずれかに設定できます。 N - No (オブジェクトが削除されたら XREF 情報を削除) Y - Yes (全 XREF 情報を維持) F - Force (Predict のプログラムエントリを検査し、全 XREF 情報を維持) S - Special (XREF 情報が存在する場合は処理するが、 XREF データの存在は検索条件ではありません) Natural Security では、XREF インジケータは 上位の設定にのみ変更できます。例えば、"Y" の場合は "F" に変更できますが "N" にはできません。
[対処]	関連するフィールドをチェックし、エラーを修正してください。

NAT4828 : サブルーチンの "コピー/移動/名前変更" が正しくありません。

テキスト	サブルーチンの "コピー/移動/名前変更" が正しくありません。
[説明]	コピー/移動/名前変更されるサブルーチン名がすでに、 関連付けられたターゲットライブラリに存在しています。カタログ化オブジェクトでは、1つ のライブラリに、 重複するサブルーチン名が存在することはできないため、 この機能は正しくありません。
[対処]	関連するオブジェクトをチェックし、エラーを修正してください。

NAT4829 : 不正な機能が要求されました。

テキスト	不正な機能が要求されました。
[説明]	要求された機能が正しくないか、 またはまだ実装されていません。
[対処]	要求された機能をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4830 : "SCAN" と "REPLACE" の値は異ならなければなりません。

テキスト	"SCAN" と "REPLACE" の値は異ならなければなりません。
[説明]	SCAN VALUE フィールドと REPLACE VALUE フィールドに、 同じ値または文字列が含まれています。
[対処]	SCAN VALUE または REPLACE VALUE を変更して、 同じ値が含まれないようにしてください。

NAT4831 : 指定されたオブジェクトタイプで "REPLACE" オプションを使用してはなりません。

テキスト	指定されたオブジェクトタイプで "REPLACE" オプションを使用してはなりません。
[説明]	Natural は様々な機能に対して多数の異なるオブジェクトタイプを使用します。 REPLACE の影響が Natural 環境の活動に重大なかかわりを持つことがあるので、 SCAN の REPLACE オプション使用時には指定できないオブジェクトタイプがあります。 REPLACE オプションで指定できないオブジェクトタイプは G (グローバルデータ)、L (ローカルデータ)、A (パラメータデータ)、および M (マップ) です。 ライブラリ全体をスキャンした場合、上記のオブジェクトタイプはリストされるのみで、編集はされません。 ただし、SCAN で E または EDT コマンドを 発行してオブジェクトを編集することはできます。
[対処]	REPLACE VALUE フィールドの値を除去するか、NULL REPLACE を "N" に設定するか、 または別のオブジェクトタイプを指定してください。

NAT4832 : オブジェクトタイプに対して "?" は要求できません (バッチの場合のみ)。

テキスト	オブジェクトタイプに対して "?" は要求できません (バッチの場合のみ)。
[説明]	"?" は、TP 環境でのみ SCAN ユーティリティの Object Type フィールドに指定でき、バッチ環境では指定できません。
[対処]	バッチモードで SCAN ユーティリティを使用する前に、 Object Type パラメータの正しい設定を決定してください。

NAT4833 : 正しいオブジェクトタイプを入力してください。

テキスト	正しいオブジェクトタイプを入力してください。
[説明]	オブジェクトタイプに指定したコードが正しくありません。 正しい値は次のとおりです。 A、C、G、H、L、M、N、P、S、*、?、空白 "?" では、リストから正しいコードを選択できます。 "*" または "" (空白) では、ライブラリ内の 全オブジェクトタイプがスキャンされます。 詳細については、Natural ドキュメントを参照するか、SCAN の ヘルプ機能を使用するか、または Natural 管理者に確認してください。
[対処]	正しいオブジェクトタイプを入力します。

NAT4834 : 正しいファンクションコードを入力してください。

テキスト	正しいファンクションコードを入力してください。
[説明]	誤ったファンクションコードが入力されました。 正しいファンクションコードは、"S"、"."、および "?" です。
[対処]	ファンクションコードを修正して続行してください。

NAT4835 : ライブラリは空白にできません。

テキスト	ライブラリは空白にできません。
[説明]	SCAN は一度に1つのライブラリのみをスキャンします。そのため、正しいライブラリ名、または適切なアプリケーション名 (Natural Security) を指定する必要があります。
[対処]	正しいライブラリ名/アプリケーション名を指定してください。

NAT4836 : 内部エラー "edit" : 0000 - データベース管理者に連絡してください。

テキスト	内部エラー "edit" : 0000 - データベース管理者に連絡してください。
[説明]	SCAN/REPLACE を実行する前に SCAN はオブジェクトを編集しなければなりません。オブジェクトの編集集中にエラーを受け取った場合、SCAN はエラーで終了します。 - ERROR : 0000。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT4837 : 内部エラー "scan" : 0000 - データベース管理者に連絡してください。

テキスト	内部エラー "scan" : 0000 - データベース管理者に連絡してください。
[説明]	SCAN によるオブジェクトの編集中にエラーが検出されました。SCAN はエラーで終了します。 ERROR : 0000。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT4838 : "RENAME" 機能に対し新しい名前を入力してください。

テキスト	"RENAME" 機能に対し新しい名前を入力してください。
[説明]	RENAME 機能では、新しいプログラム名を指定する必要があります。
[対処]	新しいプログラム名を入力してください。

NAT4839 : 指定されたライブラリはセキュリティ定義により保護されています。

テキスト	指定されたライブラリはセキュリティ定義により保護されています。
[説明]	Natural Security プロファイルが SCAN/REPLACE を許可していないライブラリ/アプリケーションに対し、SCAN/REPLACE を実行しようとした。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4840 : 正しいコマンド (? 空白 E EDT I L LET LIST Q.) を入力してください。

テキスト	正しいコマンド (? 空白 E EDT I L LET LIST Q.) を入力してください。
[説明]	正しいコマンドは次のとおりです。 Q または . SCAN/REPLACE 処理を中断してメニューに戻ります。 E フルスクリーンエディタを呼び出してオブジェクトを編集します。 EDT ラインエディタを呼び出してオブジェクトを編集します。 I 現在のオブジェクトへの処理を無視して次のオブジェクトに進みます。修正内容は一切保存されません。 L または LIST 現在 SCAN/REPLACE 中のオブジェクトをリストします。 LET 最後に Enter キーを押して以降に行われた編集の修正はすべて無視します。 空白 通常の処理を続けます。 ? または PF1 SCAN のヘルプ機能呼び出します。 PF2 SCAN/REPLACE 処理を中断してメニューに戻ります。 PF3 SCAN/REPLACE 処理を中断して直前の機能に戻ります。
[対処]	正しいコマンドを入力するか、または正しい PF キーを押してください。

NAT4841 : "SCAN/REPLACE" がユーザーによって終了されました。

テキスト	"SCAN/REPLACE" がユーザーによって終了されました。
[説明]	ユーザーが SCAN の終了を要求して、メニューに戻りました。 SCAN/REPLACE は完了しませんが、終了を要求する前に行われた修正はすべて保存されます。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4842 : "SCAN/REPLACE" がユーザーによって中断されました。

テキスト	"SCAN/REPLACE" がユーザーによって中断されました。
[説明]	SCAN/REPLACE 操作をユーザーが終了しました。 現在処理中のオブジェクトに対して行われた修正はすべて失われてしまいます。 メニューに戻ります。
[対処]	ユーザーの要求によって終了したので対処の必要はありません。

NAT4843 : "SCAN/REPLACE" が正常に終了しました。

テキスト	"SCAN/REPLACE" が正常に終了しました。
[説明]	SCAN/REPLACE 処理に指定された選択条件の処理が正常に終了しました。 処理が正常に終了して、メニューに戻ります。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4844 : スキャン対象値は空白にはできません。

テキスト	スキャン対象値は空白にはできません。
[説明]	SCAN VALUE フィールドに値または文字列を 指定しないと、SCAN 操作を実行できません。
[対処]	SCAN VALUE フィールドに値または文字列を入力してください。

NAT4845 : オブジェクト <object> の処理中に Natural エラー NATnnnn を受け取りました。

テキスト	オブジェクト <object> の処理中に Natural エラー NATnnnn を受け取りました。
[説明]	あるオブジェクトに SCAN または REPLACE を 実行しているときに、SCAN が Natural エラーコードを 受け取った場合、エラーが発生したときに処理していた オブジェクト名と Natural エラーコードが返されます。 例えば次のようなコードが同時に返されます。 NAT0082 - 選択したオブジェクトが SCAN の前に削除されました。 NAT3148 - SCAN 処理中にデータベースが終了しました。
[対処]	「? nnnn」を入力して、エラーメッセージ NATnnnn の説明を参照してください。 必要に応じて、データベース管理者に 連絡して詳細を尋ねてください。

NAT4846 : "REPLACE" 操作はセキュリティ定義により制限されています。

テキスト	"REPLACE" 操作はセキュリティ定義により制限されています。
[説明]	REPLACE 操作を Natural Security 環境で実行するには、適切なユーザー／アプリケーションプロファイルで、READ、SAVE、（および EDIT または EDT）が許可されていないといけません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡して、SCAN の実行中に有効なセキュリティプロファイルを見直してください。

NAT4847 : オブジェクトタイプはセキュリティ定義で保護されています。

テキスト	オブジェクトタイプはセキュリティ定義で保護されています。
[説明]	Natural は様々な機能に対して多数の異なるオブジェクトタイプを使用します。例えば、"P"（プログラム）、"N"（サブプログラム）、"G"（グローバルデータエリア）等です。SCAN 機能に対して特定のオブジェクトタイプを入力すると、セキュリティ定義をチェックして、ユーザーがそのオブジェクトタイプにアクセスできるかどうかを確認します。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡して、SCAN の処理時に有効な Natural Security プロファイルを見直してください。

NAT4848 : プログラム／モジュールのステータスが正しく出力されました。

テキスト	プログラム／モジュールのステータスが正しく出力されました。
[説明]	指定された検索条件に合ったユーザーのライブラリにあるプログラム／モジュールのステータス情報が正しく出力されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4849 : 日付指定が正しくありません。

テキスト	日付指定が正しくありません。
[説明]	入力された日付が正しくありません。データは、国際式の日付形式（YY-MM-DD）で入力する必要があります。
[対処]	正しい形式で正しい日付を入力してください。

NAT4850 : 範囲の指定が正しくありません。

テキスト	範囲の指定が正しくありません。
[説明]	検索条件の範囲が正しく指定されていません。 開始値は終了値以下でなければなりません。
[対処]	エラーを修正してください。

78

Natural システムエラーメッセージ 4851～4900

NAT4851 : 指定された検索条件に合うプログラム／モジュールが見つかりません。

テキスト	指定された検索条件に合うプログラム／モジュールが見つかりません。
[説明]	ユーザーのライブラリに、指定された検索条件に合うプログラム／モジュールがありません。
[対処]	データをチェックして、より正確に検索条件を指定してください。

NAT4852 : セキュリティ定義により処理が許されていません。

テキスト	セキュリティ定義により処理が許されていません。
[説明]	要求した機能は、Natural Security のアプリケーションプロファイルにより禁止されています。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4853 : ライブラリにモジュールが見つかりません。

テキスト	ライブラリにモジュールが見つかりません。
[説明]	SIZE コマンド実行中、検索条件に一致するモジュールは見つかりませんでした。
[対処]	モジュール名をチェックしてください。

NAT4854 : "SIZE" 操作はセキュリティ定義により制限されています。

テキスト	"SIZE" 操作はセキュリティ定義により制限されています。
[説明]	Natural Security 環境で SIZE コマンドを実行するには、EXECUTE コマンドの使用が許可されている必要があります。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4855 : 指定した "SCAN" 条件に一致するオブジェクトが見つかりませんでした。

テキスト	指定した "SCAN" 条件に一致するオブジェクトが見つかりませんでした。
[説明]	SCAN では指定された条件に従ってのみ処理し、指定された条件を満たすオブジェクトのみが表示されます。そのようなオブジェクトが見つからない場合はメニューに戻ります。
[対処]	SCAN が正常終了したため、対処は必要ありません。

NAT4856 : "RENAME" 機能のフィールドの組み合わせが正しくありません。

テキスト	"RENAME" 機能のフィールドの組み合わせが正しくありません。
[説明]	SYSMAIN の "RENAME" 機能で、Object Name フィールドに特定の名前を入力したときには、新しい名前も入力しなければなりません。一方、"?", "<", ">", または "*" を使用した範囲指定記号を使用できますが、その場合は新しい名前を指定できません。
[対処]	指定値をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4857 : ファイルタイプが指定したファイルに有効ではありません。

テキスト	ファイルタイプが指定したファイルに有効ではありません。
[説明]	SYSMAIN では、特定のファイルタイプのみをサポートしています。ファイルタイプは、ソースおよびターゲットファイルに指定した DBID と FILE 番号で決定します。正しいファイルタイプについては、関連する Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	指定された DBID および FILE 番号をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4858 : ライブラリへのアクセスは許されていません。

テキスト	ライブラリへのアクセスは許されていません。
------	-----------------------

[説明]	Natural Security で SYSMAIN ユーティリティを使用するとき、別のユーザーの "プライベートライブラリ" にアクセスすることは許されません。ユーザー自身の (プライベート) ライブラリへのアクセスのみが許されます。このエラーの原因は次のとおりです。 - ユーザーが LIST/FIND 機能を実行して、プライベートライブラリを選択しようとしてしました。 - ユーザーが COPY/MOVE/DELETE/RENAME 機能を実行して、プライベートライブラリをソース/ターゲットライブラリとして指定しました。
[対処]	使用を許可されているライブラリのみを使用してください。

NAT4859 : 新しい "RENAME" データは異なるものでなければいけません。

テキスト	新しい "RENAME" データは異なるものでなければいけません。
[説明]	SYSMAIN の RENAME 機能を使用する場合、(保存またはカタログされた) オブジェクト、プロファイル、またはビューの新旧のデータが同じであってはなりません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4860 : 正しいファンクションコード、または正しいコマンドを入力してください。

テキスト	正しいファンクションコード、または正しいコマンドを入力してください。
[説明]	適切なフィールドに正しいファンクションコード、または正しいコマンドを入力しなければなりません。
[対処]	正しいファンクションコード、または正しいコマンドを入力してください。

NAT4861 : 正しいライブラリ名を入力してください。

テキスト	正しいライブラリ名を入力します。
[説明]	ライブラリ名を指定しなければなりません。
[対処]	指定したライブラリ名をチェックして、エラーを修正してください。

NAT4862 : ライブラリ名に不正な文字があります。

テキスト	ライブラリ名に不正な文字があります。
[説明]	正しいライブラリ名を指定しなければなりません。値の範囲を示すアスタリスク (*) や疑問符 (?) は使用できません。
[対処]	正しいライブラリ名を入力します。

NAT4863 : データベース ID は 0～253 です。

テキスト	データベース ID は 0～253 です。
[説明]	正しいデータベース ID (DBID) を指定しなければなりません。 正しい DBID は次のとおりです。 0 - デフォルトのデータベース 1～253 - 特定のデータベース
[対処]	正しいデータベース ID を入力します。

NAT4864 : ファイル番号は 1～255 でなければなりません。

テキスト	ファイル番号は 1～255 でなければなりません。
[説明]	1 から 255 までの範囲の正しいシステムファイル番号を指定しなければなりません。
[対処]	正しいファイル番号を入力します。

NAT4865 : **Natural** システムファイルのタイプが正しくありません。

テキスト	Natural システムファイルのタイプが正しくありません。
[説明]	システムファイル ID に対して誤った値が入力されました。 正しい値は次のとおりです。 A - Adabas システムファイル V - VSAM システムファイル
[対処]	システムファイルのタイプとして、「A」または「V」を入力してください。

NAT4866 : ファイルに指定した名前が正しくありません。

テキスト	ファイルに指定した名前が正しくありません。
[説明]	Natural システムファイルが Adabas ファイルでない場合、 アクセスするシステムファイル名を指定しなければなりません。 これは次のようなシステムファイルタイプに適用します。 V - VSAM 2 - DB2 U - USER D - DL/I S - SESAM
[対処]	"Name" フィールドに値を入力してください。

NAT4867 : この選択条件では何も見つかりません。

テキスト	この選択条件では何も見つかりません。
[説明]	指定した選択条件に合ったデータが見つからなかったか、または選択画面で、実行する処理が1つも要求されませんでした。これは通常の終了メッセージです。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4868 : 機能が正しく実行されました。

テキスト	機能が正しく実行されました。
[説明]	機能が正常終了し、選択した全データが正しく処理されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4869 : 処理されなかったモジュール／プログラムがあります。

テキスト	処理されなかったモジュール／プログラムがあります。
[説明]	指定されたモジュール／プログラムの一部で、機能が実行されませんでした。選択メニューで指定されたモジュールが、途中で別のユーザーによって削除されたか、または REPLACE オプションが "NO" に設定されていたためにモジュール／プログラムを上書きできませんでした。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4870 : コマンド行に構文エラーがあります。

テキスト	コマンド行に構文エラーがあります。
[説明]	コマンドの処理中、コマンド行の評価時に構文エラーが検出されました。処理するコマンドが正しいコマンドではありませんでした。存在しないコマンドを入力したか、またはコマンドを誤って指定しました (パラメータの順番が正しくない、等)。処理する実際のコマンドは、エラーメッセージの最後に、カッコに囲んで表示できます。
[対処]	コマンド行をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4871 : 誤ったオブジェクト名が指定されました。

テキスト	誤ったオブジェクト名が指定されました。
[説明]	処理を続ける前に、正しいオブジェクト名を "Object Name" フィールドに入力しなければいけません。
[対処]	データをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4872 : オブジェクトに対して XREF 情報が見つかりません。

テキスト	オブジェクトに対して XREF 情報が見つかりません。
[説明]	XREF インジケータは "Y" または "F" に設定されていますが、指定された Predict (FDIC) ファイルには、現在処理中のオブジェクトの XREF (クロスリファレンス) 情報が含まれていません。
[対処]	指定された FDIC ファイル、XREF インジケータ、およびエラーになったオブジェクトの XREF 情報のステータスをチェックしてください。

NAT4873 : ライブラリが正しくリストされました。

テキスト	ライブラリが正しくリストされました。
[説明]	指定した検索条件に合ったライブラリが正しくリストされました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4874 : 選択した番号は範囲内にありません。

テキスト	選択した番号は範囲内にありません。
[説明]	選択メニューに表示された番号のみを選択できます。
[対処]	正しい番号を入力します。

NAT4875 : プログラムが存在しません。

テキスト	プログラムが存在しません。
[説明]	選択した番号のプログラムが存在しません。
[対処]	別の番号を選択してください。

NAT4876 : ライブラリが見つかりません。

テキスト	ライブラリが見つかりません。
[説明]	検索条件に合うライブラリが見つかりません。
[対処]	検索条件を確認してください。

NAT4877 : プログラムが正しくリストされました。

テキスト	プログラムが正しくリストされました。
[説明]	Natural プログラムが正しくリストされました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4878 : セキュリティ定義により許可されていません。

テキスト	セキュリティ定義により許可されていません。
[説明]	Natural Security 環境でこの機能を実行するには、次のいずれかの条件を満たさなければなりません。 - 処理するライブラリがユーザーの "プライベートライブラリ" である。 - 処理するライブラリがパブリックライブラリである。 - 処理するライブラリが人に対して保護されたライブラリで、ユーザーはそのライブラリの "所有者" である (共同所有者がいれば、カウンタ承認を得なければならない)。 さらに、対応する Natural コマンド SAVE、CATALOG、STOW、SCRATCH、PURGE、UNCATALOG の使用が、そのライブラリで許可されていなければなりません。
[対処]	この機能を使用しないでください。 または Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4879 : バッチ処理で範囲指定はできません。

テキスト	バッチ処理で範囲指定はできません。
[説明]	バッチモードでダイレクトコマンドを介して SYSMAIN ユーティリティの RENAME 機能を使用するときは、"*" や "?" 記号を使用してモジュール/プログラムの範囲を指定してはなりません。
[対処]	バッチモードでは "*" や "?" 記号を使用しないでください。

NAT4880 : 正しいコマンドを入力するか、または「?」を入力してヘルプを参照してください。

テキスト	正しいコマンドを入力するか、または「?」を入力してヘルプを参照してください。
[説明]	無効なコマンドが入力されました。 「?」を入力して正しいコマンドのリストを参照してください。
[対処]	正しいファンクションコードを入力するか、または「?」を入力してヘルプを参照してください。

NAT4881 : **Natural** バッファプールメンテナンスが異常をきたしました。

テキスト	Natural バッファプールメンテナンスが異常をきたしました。
[説明]	次のいずれかの理由で Natural バッファプールメンテナンスに異常が発生しました。 - Natural バッファプールがインストールされていません。 - 異常終了後に Natural バッファプールが使用不能になりました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT4882 : **Natural** バッファプールメンテナンスが実行されました。

テキスト	Natural バッファプールメンテナンスが実行されました。
[説明]	Natural バッファプールのメンテナンスが実行されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4883 : **TP** ユーザー ID が必要です。

テキスト	TP ユーザー ID が必要です。
[対処]	正しい TP ユーザー ID を入力してください。

NAT4884 : データベース ID が正しくありません。

テキスト	データベース ID が正しくありません。
[説明]	0～255 の範囲のデータベース ID を入力しなければなりません。
[対処]	正しいデータベース ID を入力します。

NAT4885 : ファイル番号が正しくありません。

テキスト	ファイル番号が正しくありません。
[説明]	0 から 255 の範囲のファイル番号を入力しなければなりません。
[対処]	正しいファイル番号を入力します。

NAT4886 : 正しいライブラリ名を入力してください。

テキスト	正しいライブラリ名を入力してください。
[説明]	Natural ライブラリに対して正しい名前を入力しなければなりません。
[対処]	正しいライブラリ名を入力します。

NAT4887 : 正しいモジュール名を入力してください。

テキスト	正しいモジュール名を入力してください。
[説明]	Natural モジュールに対して正しい名前を入力しなければなりません。
[対処]	正しいモジュール名を入力してください。

NAT4888 : 現在、有効な論理ファイルが存在しません。

テキスト	現在、有効な論理ファイルが存在しません。
[説明]	ユーティリティは、要求された処理を実行するために "論理ファイル" を利用します。論理ファイルがすべて使用中の場合、処理は異常終了します。SYSPROF を使用して、現在のファイルの設定値を表示できます。
[対処]	データベース管理者に連絡してサポートを要請してください。

NAT4889 : ライブラリが **Natural Security** に定義されていません。

テキスト	ライブラリが Natural Security に定義されていません。
[説明]	ユーザーがアクセスしようとしたライブラリは、Natural Security に定義されていません。 SYSMAIN の場合、このエラーは別のセキュリティ環境に定義してあるライブラリをメンテナンスしようとしたときに発生します。 複数のセキュリティ環境にわたってメンテナンスする場合は、SYSMAIN コマンド "CMD FSEC" を使用してください。 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	選択条件をチェックして、エラーを修正します。

NAT4890 : アプリケーションに対する所有者または共同所有者の確認がとれません。

テキスト	アプリケーションに対する所有者または共同所有者の確認がとれません。
[説明]	所有者保護されたアプリケーションを共同所有者が使用する場合、そのアプリケーションに対して正しいカウンタ承認を指定しなければいけません。指定しない場合、ユーザーはそのアプリケーションの所有者にはなれません。
[対処]	アクセスするセキュリティ環境に対し、正しいカウンタ承認を指定してください。

NAT4891 : ライブラリに対して正しくない **DBID**、または **FNR** が指定されました。

テキスト	ライブラリに対して正しくない DBID、または FNR が指定されました。
[説明]	Natural Security で保護されたライブラリに対して指定された DBID と FNR は、そのライブラリのセキュリティプロファイルで指定した DBID と FNR に対応していなければいけません。
[対処]	DBID または FNR、あるいはその両方を修正するか、または "CMD FSEC" コマンドを使用して FSEC 定義を変更してください。

NAT4892 : 不正な Predict ファイルが定義されました。

テキスト	不正な Predict ファイルが定義されました。
[説明]	FDIC パラメータの示すデータベース/ファイルが、正しい Predict ファイルではありません。このため XREF データの削除中にエラーが起きます。 - FDIC パラメータが正しい場合は、SYSMAIN の FDIC データベース/ファイルを確認してください。 これらはセッションの FDIC パラメータを上書きするものです。 XREF をサポートできるのは Predict バージョン 2.3 以上です。 - XREF パラメータが "N" に設定されている場合は、オンラインでのチェックは行われません。バッチでは、ニュークリアスに XREF モジュールをリンクしないでください。
[対処]	現在の Natural パラメータ FDIC の設定、および SYSMAIN の FDIC パラメータの設定をチェックして、エラーを修正してください。

NAT4893 : 処理が正常終了しましたが、一部のデータは処理されませんでした。

テキスト	処理が正常終了しましたが、一部のデータは処理されませんでした。
[説明]	結果が選択画面に表示されないような機能の処理中、一部のオブジェクトが拒否されても処理は継続します。 オブジェクトが拒否される原因は様々で、エラーメッセージ NAT4810 の下にリストされます。 各オブジェクトのステータスをモニタリングするには、("?" オプションを使用して) 選択画面を使用します。 これは処理の正常終了メッセージです。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT4894 : 指定されたエラー番号が正しくありません。

テキスト	指定されたエラー番号が正しくありません。
[説明]	次のように、FROM エラー番号に誤った値が指定されました。 - 範囲記号を指定していません。 - FROM 番号が TO 番号より大きい値です。 - 範囲記号が正しくありません。 バッチでは、エラー番号 (ERROR FM、ERROR TO、NEW ERROR FM、NEW ERROR TO) の いずれかに数値が指定されなかった場合にも、このエラーが起きます。 正しい数字の指定は、1 または 01、あるいは 001 または 0001 です。
[対処]	エラー番号の指定をチェックして、エラーを修正してください。

NAT4895 : 不正な言語コードが指定されました。

テキスト	不正な言語コードが指定されました。
[説明]	指定された言語コードが正しくありません。 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	正しい言語コードを入力してください。

NAT4896 : 拡張エラーメッセージを処理する要求に誤りがあります。

テキスト	拡張エラーメッセージを処理する要求に誤りがあります。
[説明]	拡張エラーメッセージを移動、コピー、および名前変更するときには、対応するショートエラーメッセージが常に存在している必要があります。 ソース環境にショートエラーメッセージがない場合は、拡張エラーメッセージは処理されません。 またターゲット環境にショートエラーメッセージがない場合は、このエラーメッセージが出力されます。 ショートエラーメッセージと拡張エラーメッセージの両方をまとめて処理するのが正しい使用方法です。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4897 : エラーアプリケーションの指定に誤りがあります。

テキスト	エラーアプリケーションの指定に誤りがあります。
[説明]	要求した機能に対してエラーアプリケーションの指定が正しくありません。 存在しないアプリケーションであるか、またはユーザーエラーメッセージをシステムエラーメッセージに移動、コピー、または名前変更しようとしていました。 システムエラーメッセージの削除はできませんが、移動、コピー、または名前変更は可能です。
[対処]	指定したアプリケーションをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4898 : "RENAME" オプションに指定したエラー番号に誤りがあります。

テキスト	"RENAME" オプションに指定したエラー番号に誤りがあります。
[説明]	エラーメッセージを名前変更（番号変更）する場合、エラー番号（ERROR FM、ERROR TO、NEW ERROR FM、NEW ERROR TO）の値はすべて数字でなければならない、次の規則に従わなければなりません。 1) 番号を次のような正しい組み合わせにします。 A) ERROR FM のみ B) ERROR および ERROR TO C) ERROR FM および NEW ERROR FM D) ERROR FM、ERROR TO、NEW ERROR FM、および NEW ERROR TO 2) 範囲表記を使用する場合は、NEW ERROR FM は ERROR FM より少なくとも 2 つ大きくしなければなりません。 3) 範囲表記を使用する場合は、ERROR FM と ERROR TO の差は NEW ERROR FM と NEW ERROR TO の差と等しくなければなりません。

[対処]	エラーを修正してください。
------	---------------

NAT4899 : この機能は **VSAM** システムファイルでは実施されません。

テキスト	この機能は VSAM システムファイルでは実施されません。
[説明]	この機能を使用するには、Adabas データベース内に含まれている Natural システムファイルが必要です。
[対処]	別の機能を選択してください。

NAT4900 : 名前の指定が多すぎます。

テキスト	名前の指定が多すぎます。
[説明]	UNCATALOG、PURGE、SCRATCH の各コマンドに対して、40 個までの Natural モジュール/プログラムの名前を入力して削除することができます。
[対処]	名前の数を減らしてください。

79

Natural システムエラーメッセージ 4901～4950

NAT4901 : バッチ環境のデータが正しくありません。

テキスト	バッチ環境のデータが正しくありません。
[説明]	バッチ環境では、UNCATALOG/PURGE/SCRATCH コマンドに対する入力は、Natural モジュール／プログラム名のリストでのみ構成できます。少なくとも1つの名前が必要で、最大40個の名前が入力できます。アスタリスク表記はできません。
[対処]	正しい名前を1つ以上入力してください。

NAT4902 : 1つの総称キーだけが許されます。

テキスト	1つの総称キーだけが許されます。
[説明]	1回のUNCAT/PURGE/SCRATCHの呼び出しにつき1つの総称キーのみが許されます。総称キーは文字列で、空白でもよく、アスタリスクで切り捨てられます。総称キーを使用すると、その文字列で始まる全モジュール／プログラムが含まれたメニューが表示されます。これらのモジュール／プログラムをマークしてさらに処理を行うことができます。
[対処]	正しいデータを入力してください。

NAT4903 : アスタリスク表記と名前のリストの両方を使用しないでください。

テキスト	アスタリスク表記と名前のリストの両方を使用しないでください。
[説明]	UNCATALOG/PURGE/SCRATCH コマンドを使用する場合、Natural モジュール／プログラム名のリストを入力するか、アスタリスク表記を使用するかのいずれかです。両方とも使用することはできません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4904 : モジュール／プログラムが現在のライブラリに見つかりません。

テキスト	モジュール／プログラムが現在のライブラリに見つかりません。
[説明]	検索条件に合うモジュール／プログラムが見つかりません。
[対処]	検索条件が正しいか、確認してください。

NAT4905 : 新エラー番号の範囲は現在のエラー番号の範囲と重複してはいけません。

テキスト	新エラー番号の範囲は現在のエラー番号の範囲と重複してはいけません。
[説明]	ある範囲のエラー番号を番号変更（名前変更）する場合、データの一貫性が失われてしまうため、同一アプリケーション内での重複は許されません。 NEW ERROR FROM は元の ERROR FROM の番号より小さいか、または元の ERROR TO よりも大きくなければなりません。例： エラー 10～20 を 13～23 に番号変更する場合、 10 番は 13 番に、13 番は 16 番に、16 番は 19 番に、 というように移動します。ここでエラー番号 13 が重複してしまいます。 NEW ERROR FROM が 10 より小さいか、または 20 より大きい場合は、このエラーは起こりません。 利用可能な番号範囲では重複を防げない場合は、エラーの番号変更をまずダミーアプリケーションに対して行い、その次に元のアプリケーションに対して行います。
[対処]	エラー番号とアプリケーションをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4906 : ユーザー出口が呼び出されましたが、もう存在していません。

テキスト	ユーザー出口が呼び出されましたが、もう存在していません。
[説明]	SYSMAIN の初期化時には、ユーザー出口 1 または 2、あるいはその両方がアクティブでしたが、処理中はユーザー出口を呼び出せません。これはカタログ済みのオブジェクトが SYSMAIN ライブラリにカタログされていない場合に起きます。
[対処]	対処は必要ありません。SYSMAIN は、エラーの原因になったユーザー出口を呼び出さなくなります。

NAT4907 : XREF データの処理に対して Predict ファイルが正しくありません。

テキスト	XREF データの処理に対して Predict ファイルが正しくありません。
[説明]	(XREF パラメータを "Y"、"F"、または "S" に設定した状態で) XREF データが処理される時、Predict (FDIC) ファイルは Predict バージョン 2.3 以上で有効なファイルでなければなりません (SYSMAIN では、コマンド "SET FDIC" を使用して、Predict の現在のファイル設定を上書きできます)。集合を処理するときに、FDIC ファイルが正しい Predict ファイルでない場合にも、このエラーは発生します。

[対処]	正しい Predict ファイルを使用するか、 XREF インジケータを "N" に設定するか、 または集合番号を "0" に設定してください。
------	--

NAT4908 : タイプが矛盾しているか、または多すぎます。

テキスト	タイプが矛盾しているか、または多すぎます。
[説明]	コマンド DELETE では TYPE オプションを使用できます。この削除要求に入力したタイプが多すぎます。これは、タイプ "X" または "U" が拡張され、結果のリストが大きくなりすぎたか、あるいは、繰り返されたエントリまたは冗長なエントリが見つかったためです。
[対処]	タイプを減らして要求を繰り返してください。デフォルトの "*" が適している場合は、TYPE を指定しないで要求を繰り返してください。

NAT4909 : アスタリスク表記と名前のリストの両方を入力しないでください。

テキスト	アスタリスク表記と名前のリストの両方を入力しないでください。
[説明]	UNCATALOG/PURGE/SCRATCH コマンドを使用する場合、 Natural モジュール/プログラム名のリストを入力するか、アスタリスク表記を使用するかの いずれかです。両方とも使用することはできません。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT4910 : オブジェクトは **Predict Application Control** で保護されています。

テキスト	オブジェクトは Predict Application Control で保護されています。
[説明]	選択したオブジェクトが Predict Application Control の制御下にあるので、 修正できません。
[対処]	Predict Application Control 管理者に連絡してください。

NAT4911 : 集合 :1: を見つけられませんでした。

テキスト	集合 ... を見つけられませんでした。
[説明]	指定された集合が見つかりませんでした。
[対処]	ユーザー、ライブラリ、ライブラリ DBID/FNR、FDIC DBID/FNR、 および集合番号を正しく指定したか確認してください。

NAT4912 : PCダウンロードは "Y" または "N" です。

テキスト	PCダウンロードは "Y" または "N" です。
[説明]	PCに Natural オブジェクトをエクスポート／ダウンロードするときには、このオプションは "Y" (エクスポート) または "N" (通常処理) に設定する必要があります。
[対処]	正しい値を指定します。

NAT4913 : ワークファイル 6 と 7 はダウンロードのために PCNEW に指定しなければなりません。

テキスト	ワークファイル 6 と 7 はダウンロードのために PCNEW に指定しなければなりません。
[説明]	PC ダウンロードオプションを使用するときには、ワークファイル 6 と 7 を PCNEW に割り当てなければなりません。
[対処]	ワークファイル 6 と 7 を割り当ててください。

NAT4914 : セットにライブラリの範囲内を指定できません。

テキスト	セットにライブラリの範囲内を指定できません。
[説明]	セットがオブジェクトのソースの場所として使用されるとき、特定のライブラリ名は指定できますが、ライブラリの範囲は指定できません。
[対処]	正しくライブラリを指定してください。

NAT4915 : アンロードのタイプは "A"、"C"、"S2" または "W" です。

テキスト	アンロードのタイプは "A"、"C"、"S2" または "W" です。
[説明]	アンロードのタイプは以下のいずれかです。 A - (カタログまたは保存された) 全オブジェクト C - カタログ化オブジェクト S - 保存されたオブジェクト W - STOW されたオブジェクト
[対処]	正しい値を指定してください。

NAT4916 : 要求に矛盾があります。

テキスト	要求に矛盾があります。
[説明]	コマンド DELETE では TYPE オプションを使用できます。削除対象がビュー (DDM) の場合、その (サブ) コマンドに他のタイプのオブジェクトは指定できません。
[対処]	DDM (ビュー) を別々に削除してください。

NAT4917 : オブジェクト名を指定するとき、ライブラリ名が必要です。

テキスト	オブジェクト名を指定するとき、ライブラリ名が必要です。
[説明]	アンロード/ロードするためにオブジェクト名を指定するときには、指定したオブジェクトが格納されているライブラリを特定できるように、ライブラリ名も指定しなければなりません。
[対処]	ライブラリ名を指定します。

NAT4918 : DELETE コマンド内でエラー（構文が正しくありません）。

テキスト	DELETE コマンド内でエラー（構文が正しくありません）。
[説明]	指定した DELETE コマンドが、コマンド構文の規則に従っていないため、実行できませんでした。 正しい構文については、ドキュメントの「システムコマンド」を参照してください。
[対処]	(オプションを減らして) 正しいコマンドを入力してください。

NAT4919 : 比較オプションは "S" (short) または "D" (differ) です。

テキスト	比較オプションは "S" (short) または "D" (differ) です。
[説明]	詳細については、Natural の『SYSMAIN ユーティリティ』ドキュメントを参照してください。
[対処]	正しい値を指定します。

NAT4920 : コマンドが正しくありません。

テキスト	コマンドが正しくありません。
[説明]	Natural ライブラリまたはアプリケーションが "VERSIONED" として定義されているので、コマンド STOW、CATALOG、UNCATALOG、PURGE、および SCRATCH は、いかなるプログラミングオブジェクトにも使用してはなりません。
[対処]	STOWALL または VERSION ユーティリティを使用して問題を回避してください。

NAT4921 : Predict Application Control でのみ比較を利用できます。

テキスト	Predict Application Control でのみ比較を利用できます。
[説明]	SYSMAIN の比較オプションは、Predict Application Control (PAC) がインストールされている場合にのみ使用できます。 PAC がインストールされているのに比較が実行されない場合は、SYSMAIN の "SET FSEC" コマンドを使用して、PAC がインストールされている FSEC ソースの場所を指定してください。
[対処]	PAC が使用可能でない場合は、比較を使用しないでください。 または、比較を使用する前に FSEC ソースの正しい場所を指定してください。

80

Natural システムエラーメッセージ 4951～5000

NAT4960 : Natural システムファイルへのアクセスが正しくありません : リターンコード :1:。

テキスト	Natural システムファイルへのアクセスが正しくありません : リターンコード :1:。
[説明]	論理ファイルの初期化中、 "リターンコード" のエラーが発生しました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT4961 : 論理ファイルの初期化に失敗しました : リターンコード :1:。

テキスト	論理ファイルの初期化に失敗しました : リターンコード ...。
[説明]	ユーティリティは必要な処理を実行するために論理ファイルを利用します。 有効な論理ファイルがすべて使用中の場合、処理は異常終了します。 現在の設定を解析するために SYSPROF を使用できます。
[対処]	データベース管理者に連絡してサポートを要請してください。

NAT4963 : 不正な "拡張タイプ" が指定されました。

テキスト	不正な "拡張タイプ" が指定されました。
[説明]	正しい "拡張タイプ" は次のとおりです。 P - プログラム G - グローバルデータエリア N - サブプログラム L - ローカルデータエリア S - 外部サブルーチン A - パラメータデータエリア H - ヘルプルーチン M - マップ C - コピーコード E - エラーメッセージ * - 全オブジェクトタイプ 1つの "拡張タイプ" を指定するか、または間に空白を 入れないで順番に複数の "拡張タイプ" を指定することができます。
[対処]	正しい "拡張タイプ" を指定してください。

NAT4965 : オブジェクトタイプが正しく指定されていません。

テキスト	オブジェクトタイプが正しく指定されていません。
[対処]	オブジェクトタイプを正しく指定してください。

NAT4967 : 指定した "拡張オブジェクト" は、リストされたソース内で参照されません。

テキスト	指定した "拡張オブジェクト" は、リストされたソース内で参照されません。
[説明]	リストされたソースに表示する "拡張オブジェクト" を指定しましたが、指定した拡張オブジェクトが、リストされたソース内で参照されません。
[対処]	正しいコマンドを入力します。

NAT4968 : オブジェクトが、それまでに別のユーザーによって変更されました。

NAT4969 : オブジェクトを選択するためにはオブジェクト名の上にカーソルを置いてください。

テキスト	オブジェクトを選択するためにはオブジェクト名の上にカーソルを置いてください。
[説明]	リストされたソース内で参照されたオブジェクトのソースを表示するには、カーソルでそのオブジェクトの NAME (名前) をマークしなければなりません。
[対処]	カーソルを正しく置いて、オブジェクトを選択してください。

NAT4970 : 指定したオブジェクトが、リストされたソース内に見つかりません。

NAT4971 : オブジェクトが見つかりません。

NAT4972 : 検索値はもうありません。

NAT4973 : 指定した値が、現在の位置から見つかりません。

NAT4975 : 数値の指定がありません。

NAT4978 : マークされているオブジェクトがありません。

NAT4979 : 指定したタイプのオブジェクトではありません。

NAT4980 : **Natural** システムファイルにありません。

NAT4981 : サブルーチンは内部サブルーチンです。または現在のライブラリにはありません。

テキスト	サブルーチンは内部サブルーチンです。または現在のライブラリにはありません。
[説明]	ZOOM/EXPAND モードで表示するために選択したサブルーチンは、 - 内部サブルーチンです（つまり、リストされるソースに含まれています）。 または - ソースが現在のライブラリに含まれていない外部サブルーチンです。
[対処]	要求したサブルーチンが、リストされたソースまたは現在のライブラリに含まれているかチェックしてください。

NAT4982 : 指定した値が見つかりません。

NAT4983 : **ZOOM** 表示のために 1 つのオブジェクトだけが選択されました。

テキスト	ZOOM 表示のために 1 つのオブジェクトだけが選択されました。
[説明]	現在 ZOOM ウィンドウに表示されているオブジェクトから前または次のオブジェクトに移動するために、"PREV" または "NEXT" を入力しました（または、PF4 キーまたは PF5 キーを押しました）。しかし、ZOOM コマンドでオブジェクトを指定するときに、アスタリスク、つまりワイルドカードを使用しませんでした。そのため、1 つのオブジェクトのみが ZOOM ウィンドウに表示されます。
[対処]	正しいコマンドを入力します。

NAT4984 : 他のオブジェクトが見つかりません。

NAT4985 : 少なくとも **1** つをマークしてください。

NAT4986 : 指定されているか、またはマークされているフィールドがありません。

NAT4988 : 値が見つかりません。

NAT4989 : 選択したオブジェクトは現在のライブラリにありません。

テキスト	選択したオブジェクトは現在のライブラリにありません。
[説明]	LIST コマンドで、現在のライブラリにソースが格納されていないオブジェクトを指定しました。
[対処]	現在のライブラリが正しいことを確認してください。 または、現在のライブラリのオブジェクトリストを表示するために、アスタリスク/ワイルドカードを使用して LIST コマンドを発行してください。

NAT4990 : **FORMAT** コマンドはマップ/データエリアに対してのみ適用されます。

テキスト	FORMAT コマンドはマップ/データエリアに対してのみ適用されます。
[説明]	LIST コマンドで、FORMAT オプションを指定しました。 このオプションはマップとデータエリアに対してのみ有効です。 リストされているオブジェクトは、マップまたはデータエリアではありません。
[対処]	このオブジェクトに対して FORMAT を使用しないでください。

NAT4991 : **STOW** されたデータエリアのみ表示可能な形式になります。

テキスト	STOW されたデータエリアのみ表示可能な形式になります。
[説明]	STOW されたデータエリアのみが表示可能な形式になります。 このデータエリアの構文が正しいことが保証され、フォーマットが許可されるのは、表示可能な形式になった後に限定されます。
[対処]	データエリアを STOW してから、もう一度実行してください。

NAT5000 : 最後の 3 桁に、**Con-form** のエラーコードが含まれています。

81

Natural システムエラーメッセージ 5001～5050

- NAT5001 : **Con-form** の制御ステートメントが認識されません。
- NAT5002 : **Con-form** の制御ステートメント内のオペランドが正しくないか、またはありません。
- NAT5003 : **Con-form** の制御ステートメント内の数値オペランドが正しくありません。
- NAT5004 : テキスト変数の使用が正しくありません。
- NAT5005 : テキスト変数名が正しくないか、またはありません。
- NAT5006 : **Con-form** の ".SV" ステートメントに構文エラーが検出されました。
- NAT5007 : テキスト変数名が正しくありません。
- NAT5008 : **ERROR** 副節に構文エラーがあります。
- NAT5009 : **INPUT** 副節に構文エラーがあります (メンバの指定)。
- NAT5010 : **INPUT** 副節に構文エラーがあります (ライブラリの指定)。
- NAT5011 : **on-form** の入力行が最大長を超えました。
- NAT5012 : **STARTING** 副節に構文エラーがあります。
- NAT5013 : **ENDING** 副節に構文エラーがあります。
- NAT5014 : **PROFILE** 副節に構文エラーがあります。
- NAT5015 : **on-form** の入力行が長すぎるため、切り捨てられました。
- NAT5016 : **Con-form** のレポート出力中にエラーが発生しました。
- NAT5017 : **on-form** : 負の数値は許可されていません。
- NAT5018 : **on-form** : 値が行の最大長を超えました。
- NAT5019 : **on-form** : 行が長すぎて、中央揃えができませんでした。
- NAT5020 : **on-form** : ボックス定義のエラー (**.BX** ステートメント)。
- NAT5021 : テキスト変数割り当てのエラー。
- NAT5022 : テキスト変数のフィールド最大長を超えました。
- NAT5023 : テキスト変数の割り当て/抽出中に整合性チェックエラーが発生しました。
- NAT5024 : 抽出するテキスト変数が未定義です。
- NAT5025 : **EXTRACTING** 機能にフォーマットの矛盾が発生しました。

- NAT5026 : **on-form** : ネストされている入力ソースが多すぎます。
- NAT5027 : **on-form** : 入力ソースは再帰的にネストできません。
- NAT5028 : **on-form** : アクティブなタブ設定がありません。
- NAT5029 : ネストしようとした入力レベルが多すぎます。
- NAT5030 : **on-form** : ".TB" 制御ステートメントが正しくありません。
- NAT5031 : **on-form** : ".PM" 制御ステートメント内のオペランドが正しくありません。
- NAT5032 : **on-form** : 変数の代入中に入力バッファがオーバーフローしました。
- NAT5033 : テキスト変数が未定義です。
- NAT5034 : **on-form** : ".XF" ステートメントの前に ".TF" がありません。
- NAT5035 : テキスト要素が見つかりませんでした。
- NAT5036 : ".XF" ステートメントにテキスト変数名が指定されていません。
- NAT5037 : **on-form** : タイトルが行の最大長を超えました。
- NAT5038 : **on-form** : テキストの列幅がゼロ未満です。
- NAT5039 : 定義されているテキスト変数が多すぎます。
- NAT5040 : **on-form** : 制御ステートメントが（まだ）実装されていません。
- NAT5042 : **on-form** : T.O.C. で、階層の最大レベルを超えました。
- NAT5043 : **on-form** : ".CH" ステートメント内のパラメータ値が正しくありません。
- NAT5044 : **on-form** : 添字エントリの最大長を超えました。
- NAT5047 : **Con-form** : ネストエラー
- NAT5049 : **on-form** : 制御ステートメントの順序が正しくありません。

82

Natural システムエラーメッセージ 5051～5100

NAT5068 : **on-form** : 左マージン位置が右マージン位置より大きくなっています。

NAT5069 : **on-form** : 右マージン位置が左マージン位置より小さくなっています。

NAT5070 : **on-form** : 先頭の行が未定義です。

NAT5071 : **on-form** : 先頭の行の指定が多すぎます。

NAT5072 : **on-form** : ".ME" ステートメントの使用が正しくありません。

NAT5073 : **on-form** : ".MA" ステートメントの使用が正しくありません。

NAT5074 : **on-form** : マクロ定義が正しく閉じていません。

NAT5075 : **on-form** : 複数のテキストマクロが定義されています。

NAT5076 : **on-form** : テキストマクロの定義が正しくありません。

NAT5084 : **on-form** : ".XF" ステートメントのネストが不正です。

NAT5090 : **on-form** : 指定した脚注が多すぎます。

NAT5092 : テキスト変数名の最大長を超えたため、切り捨てられました。

NAT5093 : テキスト変数値が最大長を超えたため、切り捨てられました。

NAT5095 : ".XF" テキスト要素は ".TF" 要素と異なっている必要があります。

NAT5096 : **on-form** : 複数の行で大文字に変換しようとしてしました。

NAT5097 : **on-form** : マージンテキストの行が多すぎます。

NAT5098 : **on-form** : ".TH" の前に ".IF" がありません。

NAT5100 : **on-form** : ".EL" の前に ".IF" がありません。

83

Natural システムエラーメッセージ 5101～5150

- NAT5101 : **on-form** : ".EI" の前に ".IF" がありません。
- NAT5102 : **on-form** : ".EL" の前に ".TH" がありません。
- NAT5103 : **on-form** : ".EI" が予期されていましたが、返されませんでした。
- NAT5104 : **on-form** : ".HL" ステートメントのネストが不正です。
- NAT5105 : **on-form** : ".BL" ステートメントのネストが不正です。
- NAT5106 : **on-form** : ".VD" ステートメント内のオペランドが正しくないか、またはありません。
- NAT5107 : ".VD" ステートメントで、複数のテキスト変数を指定しました。
- NAT5108 : **on-form** : ".VD" 制御ステートメントのフォーマットエラー。
- NAT5109 : **on-form** : ".VD" ステートメント内の **POS** が正しくないか、またはありません。
- NAT5110 : **on-form** : ".VD" ステートメント内の **LEN** が正しくないか、またはありません。
- NAT5111 : **on-form** : 条件演算子が正しくないか、またはありません。
- NAT5112 : **on-form** : ".AN" の前に ".IF" がありません。
- NAT5113 : **on-form** : ".OR" の前に ".IF" がありません。
- NAT5114 : **on-form** : ".EW" の前に ".WH" がありません。
- NAT5115 : **on-form** : 入力行が長すぎるため、切り捨てられました。
- NAT5116 : **on-form** : ".IF" ブロック内では ".WH" を指定できません。
- NAT5117 : **on-form** : ".WH" ステートメントのネストが不正です。
- NAT5118 : **on-form** : 値が行の最大長を超えました。
- NAT5119 : **on-form** : フォーマットの終了時に ".EW" がありません。
- NAT5120 : **on-form** : ".OP" ステートメント内のキーワードが正しくありません。
- NAT5124 : **on-form** のワークプールが小さすぎます。
- NAT5126 : **on-form** : ".VD" で指定できるテキスト変数は最大 30 個です。
- NAT5127 : **on-form** : 入力ソースは再帰的にネストできません。
- NAT5128 : **on-form** : アクティブなタブ設定がありません。
- NAT5129 : **on-form** : RESTORE (.RS) の前に SAVE (.SA) がありません。

- NAT5130 : **on-form** : ".TB" 制御ステートメントが正しくありません。
- NAT5131 : **on-form** : ".PN" 制御ステートメント内のオペランドが正しくありません。
- NAT5132 : **on-form** : 変数の代入中に入力バッファがオーバーフローしました。
- NAT5133 : テキスト変数が未定義です。
- NAT5134 : **on-form** : ".XF" ステートメントの前に ".TF" がありません。
- NAT5135 : テキスト要素が見つかりませんでした。
- NAT5136 : ".XF" ステートメントにテキスト変数名が指定されていません。
- NAT5137 : **on-form** : .GO ステートメントのターゲットラベルが見つかりません。
- NAT5138 : **on-form** : .GO はマクロ定義の外ではできません。
- NAT5139 : 定義されているテキスト変数が多すぎます。
- NAT5140 : **on-form** : 制御ステートメントが (まだ) 実装されていません。
- NAT5142: **on-form** : T.O.C. で、階層の最大レベルを超えました。
- NAT5143 : **on-form** : ".CH" ステートメント内のパラメータ値が正しくありません。
- NAT5144 : **on-form** : 添字エントリの最大長を超えました。
- NAT5149 : **on-form** : 制御ステートメントの順序が正しくありません。

84 Natural システムエラーメッセージ 5151～5200

- NAT5154 : **CONFORM** : 内部エラー (テキスト送信機能)
- NAT5155 : **on-form** : **.NL** の **KEEP/FLOAT** が、複数のページでアクティブです。
- NAT5158 : **on-form** : 列が未定義です (**.CD** がありません)。
- NAT5159 : **on-form** : 行の長さ (**.LL**) が、組み合わされた列幅より少なくなっています。
- NAT5160 : **on-form** : 列定義が正しくありません。
- NAT5165: **on-form** : 無効なタイプ定義でタブが停止しました
- NAT5168 : **on-form** : 左マージン位置が右マージン位置より大きくなっています。
- NAT5169 : **on-form** : 右マージン位置が左マージン位置より小さくなっています。
- NAT5170 : **on-form** : 先頭の行が未定義です。
- NAT5171 : **on-form** : 先頭の行の指定が多すぎます。
- NAT5172 : **on-form** : **.ME** ステートメントの使用が正しくありません。
- NAT5173 : **on-form** : **.MA** ステートメントの使用が正しくありません。
- NAT5174 : **on-form** : マクロ定義が正しく閉じていません。
- NAT5175 : **on-form** : 複数のテキストマクロが定義されています。
- NAT5176 : **on-form** : テキストマクロの定義が正しくありません。
- NAT5184 : **on-form** : **.XF** ステートメントのネストが不正です。
- NAT5190 : **on-form** : 指定した脚注が多すぎます。
- NAT5192 : テキスト変数名の最大長を超えたため、切り捨てられました。
- NAT5193 : テキスト変数値が最大長を超えたため、切り捨てられました。
- NAT5195 : **.XF** テキスト要素は **.TF** 要素と異なっている必要があります。
- NAT5196 : **on-form** : 複数の行で大文字に変換しようとしてしました。
- NAT5198 : **on-form** : **.TH** の前に **.IF** がありません。

85

Natural システムエラーメッセージ 5201～5250

NAT5234 : ADJUST 要求が正しくありません。

テキスト	ADJUST 要求が正しくありません。
[説明]	データセットのバージョンが Natural のバージョンと矛盾します。

NAT5235 : ロード中に不正なサブルーチン名が検出されました。

テキスト	ロード中に不正なサブルーチン名が検出されました。
[説明]	ロード中に、すでに別のサブルーチンで使用されている外部名と同じ外部名をもつサブルーチンを検出しました。

NAT5236 : ロードファイルが空です。何もロードされませんでした。

テキスト	ロードファイルが空です。何もロードされませんでした。
------	----------------------------

NAT5237 : 終了時にユーザー出口から 0 でないコンディションコードを受け取りました。

テキスト	終了時にユーザー出口から 0 でないコンディションコードを受け取りました。
------	---------------------------------------

NAT5238 : XREF データを処理するための FDIC ファイルが正しくありません。

テキスト	XREF データを処理するための FDIC ファイルが正しくありません。
------	--------------------------------------

NAT5239 : NATLOAD の処理中に 0 でないエラーコードを受け取りました。

テキスト	NATLOAD の処理中に 0 でないエラーコードを受け取りました。
[説明]	NATLOAD エラートランザクションが呼び出されたとき、このエラーが起こります。

NAT5240 : NATUNLD/NATLOAD コマンドの確認中にエラーが発生しました。

テキスト	NATUNLD/NATLOAD コマンドの確認中にエラーが発生しました。
[説明]	NATUNLD/NATLOAD コマンドの確認中にエラーが発生しました。
[対処]	チェックして、コマンドを修正してください。

NAT5241 : PC のワークファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

テキスト	PC のワークファイルの読み込み中にエラーが発生しました。
[説明]	NATLOAD が PC のワークファイルであるロードファイルを読み込んでいる間にエラーが発生しました。

NAT5242 : 誤ったヘッダー情報または誤ったロードファイルのフォーマットです。

テキスト	誤ったヘッダー情報または誤ったロードファイルのフォーマットです。
[説明]	ロードファイル上のヘッダー情報が正しくないか、またはロードファイルのフォーマットと、使用している NATLOAD のバージョンとが矛盾しています。

NAT5243 : 不完全または矛盾のあるロードファイルです。

テキスト	不完全または矛盾のあるロードファイルです。
[説明]	プログラミングオブジェクトを処理しているとき、ロードファイルの処理中に矛盾が発生したか、またはロードファイルが不完全です。

NAT5244 : ビューの処理中にロードファイルに矛盾が発生しました。

テキスト	ビューの処理中にロードファイルに矛盾が発生しました。
[説明]	ビューの処理中に、ロードファイルの処理内に矛盾を検出しました。

NAT5245 : 0 でないコンディションコード ; **NATLOAD** を続けられません。

テキスト	0 でないコンディションコード ; NATLOAD を続けられません。
[説明]	0 でないコンディションコードを受け取りました。 NATLOAD の処理を継続できません。

86

Natural システムエラーメッセージ 5251～5300

NAT5251 : RECOVER が拒否されました；ロードファイルは **Natural Security** ファイルではありません。

テキスト	RECOVER が拒否されました。ロードファイルは Natural Security ファイルではありません。
------	---

NAT5252 : RECOVER が拒否されました； **Natural Security** がインストールされていません。

テキスト	RECOVER が拒否されました。Natural Security がインストールされていません。
------	---

NAT5270 : このロード機能を使用する権限がありません。

テキスト	このロード機能を使用する権限がありません。
[説明]	Natural Security 内の "PAA-AUTH" グループのメンバとして定義されていません。 このエラーは、Predict APPLICATION AUDIT でのみ発生します。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT5271 : ファイル変換テーブルの処理中に矛盾が発生しました。

テキスト	ファイル変換テーブルの処理中に矛盾が発生しました。
[説明]	ファイル変換テーブルを処理している間、ロードファイルの処理中に矛盾が発生しました。 このエラーは Predict Application Control でのみ起きます。

NAT5272 : オブジェクトのバージョンが最大数に達したので、処理を継続できません。

テキスト	オブジェクトのバージョンが最大数に達したので、処理を継続できません。
[説明]	オブジェクトのバージョンが最大数に達したので、処理を継続できません。 このエラーは、Predict APPLICATION AUDIT でのみ発生します。

NAT5300 : **Con-form** のバッファが小さすぎます。

87

Natural システムエラーメッセージ 5301～5350

- NAT5301 : 試行した **RESETTING** 操作が正しくありません。
- NAT5302 : "**MOVING**" 操作でフォーマットに互換性がありません。
- NAT5303 : **ASSIGNING/EXTRACTING** 操作でフォーマットに互換性がありません。
- NAT5304 : テキスト変数名は英数字である必要があります。
- NAT5305 : **ASSIGNING/EXTRACTING** 操作でパラメータが対になっていません。
- NAT5306 : タイマ エラー。
- NAT5307 : **OUTPUT** 副節に構文エラーがあります。
- NAT5308 : **ERROR** 副節に構文エラーがあります。
- NAT5309 : **INPUT** 副節の構文エラー (メンバの指定)。
- NAT5310 : **INPUT** 副節に構文エラーがあります (ライブラリの指定)。
- NAT5311 : 定義されている入力レベルが多すぎます。
- NAT5312 : **STARTING** 副節に構文エラーがあります。
- NAT5313 : **ENDING** 副節に構文エラーがあります。
- NAT5314 : **PROFILE** 副節に構文エラーがあります。
- NAT5315 : "**CONFORMF**" コールに構文エラーがあります。
- NAT5316 : **FORMATTING** 副節のエントリが正しくありません。
- NAT5317 : **MULTIPLE** 副節の指定にエラーがあります。
- NAT5318 : "**CONFORMF**" コールに一般的な構文エラーがあります。
- NAT5319 : **Con-form** にワークエリアがありません。
- NAT5320 : **ASSIGNING/EXTRACTING** 操作のテキスト変数名が正しくありません。
- NAT5321 : テキスト変数割り当てのエラー。
- NAT5322 : テキスト変数のフィールド最大長を超えました。
- NAT5323 : テキスト変数の割り当て／抽出中に整合性チェックエラーが発生しました。
- NAT5324 : 抽出するテキスト変数が未定義です。
- NAT5325 : **EXTRACTING** 機能にフォーマットの矛盾が発生しました。
- NAT5326 : テキスト変数の長さが **NPL** 変数の長さを超えました。

- NAT5327 : "MOVING" 操作の実行中にエラーが発生しました。
- NAT5328 : **FORMATTING** 要求で指定したテキスト要素が正しくありません。
- NAT5329 : ネストしようとした入力レベルが多すぎます。
- NAT5330 : **STATUS** 副節に構文エラーがあります。
- NAT5331 : **STATUS** 副節に構文エラーがあります。
- NAT5332 : **STATUS** 副節の前に **PARAMETERS** がありません。
- NAT5333 : **STATUS** 副節に構文エラーがあります。
- NAT5334 : メッセージ出力の致命的なエラー。
- NAT5335 : レポート出力の致命的なエラー。
- NAT5336 : レポート出力の致命的なエラー。
- NAT5337 : 出力文字列の指定が正しくありません。
- NAT5338 : 出力文字列の指定がありません。
- NAT5339 : 出力文字列の指定が必要です。
- NAT5340 : 出力文字列の指定が許可されていません。
- NAT5341 : 予期しないテキスト入力。
- NAT5342 : 許可されている入力文字列は 1 つのみです。
- NAT5343 : **on-form** : 異常終了
- NAT5344 : パスワードの指定に構文エラーがあります。
- NAT5345 : パスワードに整合性チェックエラーがあります。

88

Natural システムエラーメッセージ 5351～5400

NAT5360 : 0 でない Adabas レスポンス - :1:/:2: (RC=:3:/:4:)

テキスト	0 でない Adabas レスポンス - .../... (RC=.../...)。
[説明]	Natural/SAP コミュニケーションがデータベースから 0 でないレスポンスを受け取りました。このエラーの原因は以下のいずれかです。 - タイムアウトが発生しました。 - データベースに不正な要求をしました。 どのコマンドがレスポンスコードを受け取ったかの詳細については、DDM フィールドの "ERROR-TEXT" の内容を分析して取得してください。
[対処]	ERROR-TEXT フィールドを使用して永続的なエラーを分析してください。

NAT5361 : インストレーションエラー : "ADALNK" はリエントラントではありません。

テキスト	インストレーションエラー : "ADALNK" はリエントラントではありません。
[説明]	Natural/SAP コミュニケーションでは、リエントラントな Adabas リンクモジュール "ADALNK" を使用する必要があります。
[対処]	ソースに記述されているように、ADANLK に必要な修正を加えます。再実行する前にアセンブルし、モジュールをリンクエディットしてください。

NAT5362 : 予期しない SDAM レスポンスを受け取りました (RC=:1:)

テキスト	予期しない SDAM レスポンスを受け取りました (RC=...)。
------	------------------------------------

[説明]	Natural/SAP コミュニケーションで使用された SDAM インターフェイスが 0 でないレスポンスを受け取りました。 レスポンスコードは DDM の ERROR-TEXT フィールドにあります。 RC 説明 ----- 01 EXTENT チェーン内のエラー。 02 RSA が与えられていない。 03 与えられた RSA で 1 つもレコードが見つからない。 07 ユーザーエリアが小さすぎる。 08 圧縮されたフィールドグループが長すぎる。 09 不正な Qmacro。 FE 検索基準で何も見つからない。
[対処]	XCOMSAP がコンパイルされているか、SAP/Qmacros をチェックしてください。 問題が解決しないようなら、Software AG サポートに連絡してください。

NAT5363 : 与えられたキーまたは RSA で 1 つもレコードが見つかりませんでした。

テキスト	与えられたキーまたは RSA で 1 つもレコードが見つかりませんでした。
[説明]	レコードが見つからなかった理由は次のとおりです。 1) ヘッダーセグメントにアクセスするときに使用した Master-Index フィールド "BMI" の値が不正です。 2) 不正な RSA で SAP / ドキュメントファイルに アクセスしているときに、内部エラーが発生しました。
[対処]	"BMI" を使用したとき、その値をチェックしてください。 Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5364 : 記述テーブルに論理ファイル ID / セグメント ID が見つかりません。

テキスト	記述テーブルに論理ファイル ID / セグメント ID が見つかりません。
[説明]	SAP / 記述テーブル (XCOMSAP) に見つからない論理ファイル番号を 使用してアクセスしました。 または内部的に使用されたセグメント ID が、 SAP / 記述テーブル内にありませんでした。
[対処]	XCOMSAP と XCOMFUNC モジュールのファイル番号 (LFID) をチェックしてください。 XCOMSAP をアセンブルするために使用された SAP Qmacros のバージョンを チェックしてください。

NAT5365 : ドキュメントタイプは使用される SAP/ テーブルに対して正しくありません。

テキスト	ドキュメントタイプは使用される SAP/ テーブルに対して正しくありません。
[説明]	ドキュメントタイプ (DDM フィールド "BLTYP") に対して FIND/READ ステートメントで使用された値は、この SAP/ ビューに対しては 正しくありません。 ドキュメントタイプと関係する論理ファイルの リストは、ドキュメントに記載されています。 ドキュメントタイプは任意であり、省略することができます。 Natural/SAP コミュニケーションは、別途明記 されていないときには、ドキュメントタイプを提供します。
[対処]	ドキュメントタイプの値をチェックし、可能であれば その使用を回避してください。

NAT5366 : SAP/ ドキュメントファイルは同じデータベース ID を持てません。

テキスト	SAP/ ドキュメントファイルは同じデータベース ID を持てません。
[説明]	SAP/ ドキュメントファイルは SAP/ 記述テーブル (XCOMSAP) に 異なるデータベース ID を持ちます。 Natural/SAP は次のような SAP/ ファイルを必要とします。 ABMI - マスタインデックスファイル ABIB - 2 次インデックスファイル ABEZ - ドキュメントコンテナファイル すべて同じデータベース ID を持ちます。
[対処]	SAP/ 記述テーブルをチェックしてください。

NAT5367 : キューイングエラーです: **WADS** またはワークエリアのアドレスが見つかりませ
ん。

テキスト	キューイングエラーです: WADS またはワークエリアのアドレスが見つかりません。
[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5368 : **FB/SB** ワークバッファがオーバーフローしました (:1:/RECAREA) 。

テキスト	FB/SB ワークバッファがオーバーフローしました (:1:/RECAREA) 。
[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5369 : GETMAIN 保存エラー - :1/:2: (RC=:3:)

テキスト	GETMAIN 保存エラー - .../... (RC=...)
[説明]	GETMAIN を実行しようとしたときに、Natural/SAP コミュニケーションが 0 でないレスポンスコードを受け取りました。 このエラーは、リソースを使い果たしたときにのみ発生します。 この問題の最も一般的な理由は、同時にアクティブなユーザー数に対してリージョンサイズが小さすぎることです。
[対処]	リージョンサイズをチェックしてください。 Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5370 : FREEMAIN 保存エラー - :1/:2: (RC=:3:)

テキスト	FREEMAIN 保存エラー - .../... (RC=...)
[説明]	FREEMAIN を実行しようとしたときに、Natural/SAP コミュニケーションが 0 でないレスポンスコードを受け取りました。 この状況では本来発生しないものです。 このエラーがたびたび発生すると、リソースの減少と GETMAIN エラーを引き起こします。
[対処]	Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5371 : Master-Index - :1: の値が正しくありません。

テキスト	Master-Index - ... の値が正しくありません。
[説明]	SAP/ドキュメントファイルにアクセスするために使用される Master-Index のサブフィールドに、不正な値が含まれています。 サブフィールドのそれぞれの値の範囲は次のとおりです。 サブフィールド フィールド名 値の範囲 ----- Client Number MANDANT 00～99 Company Code BUKRS "00" より大きな数 Document Number BLNR "00000000" より大きな数
[対処]	FIND/READ ステートメントで使用される Master-Index の値をチェックしてください。

NAT5372 : 内部エラー：サーチ/バリュースタックの分析 (RC=:1:)

テキスト	内部エラー：サーチ/バリュースタックの分析 (RC=:1:)
[説明]	サーチ/バリュースタックの分析を実行中に内部エラーが発生しました。 このエラーは、使用可能なワークエリアスペースが不十分なとき、またはバリュースタックに不正な数値があったときに発生します。
[対処]	Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5373 : ワイルドカードと複数の **SVB** エントリはサポートされていません。

テキスト	サーチ/バリュバッファに、ワイルドカード、または複数のフィールドエントリがありました。
[説明]	ワイルドカード "*" または複数のフィールドエントリの使用は Natural/SAP コミュニケーションでサポートされていません。
[対処]	FIND ステートメントで使用された検索基準をチェックして、修正してください。

NAT5374 : 検索基準またはオーバーラップに不正な **OFFSET** フィールドを使用しました。

テキスト	ディスクリプタでない OFFSET フィールドが検索基準の一部に使用されたか、または、ある OFFSET フィールドが別の OFFSET フィールドにオーバーラップしています。
[説明]	2次インデックスのメインデータキーは、頻繁に再定義されるため、データへのアクセスに使用できる複数のキーがユーザーに与えられます。不正な検索基準を使用し、異なるキーのある部分が1つの論理検索基準に結合されたときに、このエラーは起こります。サーチバッファの分析により、これらの OFFSET フィールドがオーバーラップすることからそのようなエラーが検出されます。
[対処]	検索条件をチェックして修正します。詳細については、SAP/システムの記述を参照してください。

NAT5375 : ディスクリプタとして不正な **DB** フィールドが使用されました。

テキスト	使用されたフィールドが、フィールドプロセッサに認識されないか、または反転されません。
[説明]	ディスクリプタでないフィールドを検索基準に使用することはできません。さらに、DDM には、ファイルアクセス依存であるフィールドがあります。例えば、SAP/ドキュメントファイルにアクセスしているときのみ、"MASTER-INDEX" というフィールドグループと、このグループ内のすべてのフィールドを使用できます。2次インデックス (ABIB) にアクセスしているときに、これらのフィールドを検索条件に使用すると、このエラーが発生します。
[対処]	検索条件をチェックして修正します。詳細については、NATSAP の「プログラミングの考慮事項」を参照してください。

NAT5376 : 必須入力フィールドがありません。

テキスト	必須入力フィールドがありません。
[説明]	検索基準には必須入力フィールドがいくつかあります。これはフィールド CLIENT NUMBER(MANDT) の場合です。詳細については、Natural/SAP コミュニケーションドキュメントの「プログラミングの考慮事項」を参照してください。
[対処]	検索条件をチェックして修正します。詳細については、「プログラミングの考慮事項」を参照してください。

NAT5377 : 複数値に "単一値" フィールドが使用されています。

テキスト	複数値に "単一値" フィールドが使用されています。
[説明]	<p>検索基準には、複数値または値の範囲を使用できないフィールドがあります。それらのフィールドには "単一値" のみを割り当てることができ、例えば、Natural THRU 節に使用してはなりません。そのようなフィールドの例は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - CLIENT NUMBER - DOCUMENT TYPE <p>単一値フィールドの詳細については、「プログラミングの考慮事項」を参照してください。</p>
[対処]	<p>検索条件をチェックして修正します。詳細については、「プログラミングの考慮事項」を参照してください。</p>

NAT5378 : 複合キーフィールドが誤って使用されました。

テキスト	複合キーフィールドが誤って使用されました。
[説明]	<p>どの DDM にも、"BMI" と "BSI" という 2 つの複合キーがあります。これらのフィールドは検索基準の一部として使用されたり、次の FIND/READ ループで使用するために返されます。フィールドは使用される時は単独で、他のキーフィールドと結合できません。これらの複合フィールドはファイル指向です。</p> <ul style="list-style-type: none"> - "BMI" はドキュメントファイル (ABEZ) にアクセスするときのみに使用されます。 - "BSI" は 2 次インデックス (ABIB) にアクセスするときのみに使用されます。 <p>また、アクセスされているレコードの現在のマスタインデックスの値は、常に "BMI" に返されます。</p>
[対処]	<p>検索基準をチェックして、修正してください。詳細については、「プログラミングの考慮事項」を参照してください。</p>

NAT5379 : 内部位置付けエラーが発生しました (RC=:1)。

テキスト	内部位置付けエラーが発生しました (RC=:...)。
[説明]	<p>構造ドキュメント内で位置付けをしているときに内部エラーが発生しました。次のエラーのいずれかが発生しました。</p> <p>RC 説明</p> <p>-----</p> <p>x"FB" ドキュメント内のセグメント ID の位置付けの不一致 x"FD" XCOMSAP 内の位置付け中のインデックスエラー</p>
[対処]	Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5380 : 親セグメントを読み込まないで、依存セグメントにアクセスしました。

テキスト	親セグメントを読み込まないで、依存セグメントにアクセスしました。
[説明]	ドキュメントファイル AUFK と AUAK の位置セグメントは階層構造（例：親子関係）です。 構造化されたドキュメントには、この親 - 子の順序でアクセスする必要があります。 最初に高いレベルのドキュメントセグメントを読み込まないで、それより低いレベルのセグメントにアクセスすることはできません。
[対処]	SAP のドキュメントを参照してファイル構造の詳細を確認し、FIND/READ ステートメントのネストを修正します。

NAT5381 : セグメントにアクセスする順番が正しくありません。

テキスト	セグメントにアクセスする順番が正しくありません。
[説明]	ドキュメントファイル AUFK と AUAK の位置セグメントは階層構造（例：親子関係）です。 構造化されたドキュメントには、この親 - 子の順序でアクセスする必要があります。 低いレベルのアクセスループ内では、高いレベルのセグメントにアクセスできません。 アクセスの順番はいつも一番上から一番下でなければなりません。
[対処]	SAP のドキュメントを参照してファイル構造の詳細を確認し、FIND/READ ステートメントのネストを修正します。

NAT5382 : 不正なフィールドグループ長がありました。

テキスト	不正なフィールドグループ長がありました。
[説明]	ドキュメントの解凍中に、不正な長さ属性のフィールドグループが見つかりました。 長さ属性が 0 か、または 8000 より大きくなっています。 SAP データのバージョンが、NATSAP 記述テーブル (XCOMSAP) を生成するために使用される QMACROS のバージョンと一致しないときに、このタイプのエラーが発生します。
[対処]	XCOMSAP を再生成して、再実行してください。 それでもエラーが解決しない場合は、SAP ユーティリティのドキュメントを分析してください。

NAT5399 : エラーハンドラへの反復的な入力です。

テキスト	エラーハンドラが再帰的に入力されました。
[説明]	内部エラーの可能性が高いので、 Software AG に報告してください。
[対処]	Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5400 : **COMPOSE** ステートメントに **1** つも副節が与えられていません。

テキスト	COMPOSE ステートメントに 1 つも副節が与えられていません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

89

Natural システムエラーメッセージ 5401～5450

NAT5401 : **MOVING** 節のフォーマットは **A**、または **P/N** で、長さは **16** 以下です。

テキスト	MOVING 節のフォーマットは A、または P/N で、長さは 16 以下です。
[説明]	COMPOSE MOVING 節内のオペランド 1 のフォーマットは、英数字、パック、または数値でなければなりません。オペランドが長さ 1 の英数字タイプである場合、値が "." (ピリオド) または "," (コンマ) であってははいけません。パックまたは数値タイプのオペランドは、数字の合計桁数が 16 を超えてはいけません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5402 : **MOVING** 節に **TO VARIABLES** または **TO DATAAREA** がありません。

テキスト	MOVING 節に TO VARIABLES または TO DATAAREA がありません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5403 : **MOVING** 節に **37** 以上の変数／定数があります。

テキスト	MOVING 節に 37 以上の変数／定数があります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5404 : **STATUS** 変数のエラーです。

テキスト	STATUS 変数のエラーです。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5405 : **COMPOSE** の **ASSIGNING** 節の左辺のエラーです。

テキスト	COMPOSE の ASSIGNING 節の左辺のエラーです。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5406 : **COMPOSE** の **ASSIGNING** 節の右辺のエラーです。

テキスト	COMPOSE の ASSIGNING 節の右辺のエラーです。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5407 : **ASSIGNING/EXTRACTING** 節に変数の組の数が **19** を超えています。

テキスト	ASSIGNING/EXTRACTING 節に変数の組の数が 19 を超えています。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5408 : **EXTRACTING** 節の左辺のエラーです。

テキスト	EXTRACTING 節の左辺のエラーです。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5409 : **EXTRACTING** 節の右辺のエラーです。

テキスト	EXTRACTING 節の右辺のエラーです。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5410 : **CABINET** オペランドは、タイプ **A**、または **8** 文字以内である必要があります。

NAT5411 : フォーマットされた出力用の出力デバイスがありません。

テキスト	フォーマットされた出力用の出力デバイスがありません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5412 : **OUTPUT CALLING** 変数は英数字フォーマットでなければいけません。

テキスト	OUTPUT CALLING 変数は英数字フォーマットでなければいけません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5413 : **FORMATTING** 節内の副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	FORMATTING 節内の副節は一度しか指定してはいけません。
[説明]	FORMATTING 節のすべての副節は任意の順番で使用されます。ただし、それぞれの副節は一度だけ使用できます。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5414 : **OUTPUT** 副節の **GIVING** オペランドは **B4** または **B10** です。

テキスト	OUTPUT 副節の GIVING オペランドは B4 または B10 です。
[説明]	COMPOSE ステートメントの OUTPUT 副節のキーワード GIVING の後に指定されたオペランドのフォーマット/長さは B4 または B10 でなければなりません。COMPOSE ステートメントの詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5415 : 入力目的定義のエラーです。

テキスト	入力目的定義のエラーです。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5416 : 入力ソースの定義のエラーです。

テキスト	入力ソースの定義のエラーです。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5417 : **"FROM"** キーワードがありません。

テキスト	"FROM" キーワードがありません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5418 : **INPUT** 節のソース定義の最大数は **9/10** です。

テキスト	INPUT 節のソース定義の最大数は 9/10 です。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5419 : **ERRORS/MESSAGES** 副節のプリンタ割り当てのエラーです。

テキスト	ERRORS/MESSAGES 副節のプリンタ割り当てのエラーです。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5420 : **STARTING/ENDING** 副節のページ番号が正しくありません。

テキスト	STARTING/ENDING 副節のページ番号が正しくありません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5422 : **PROFILE** 定義のエラーです。

テキスト	PROFILE 定義のエラーです。
[説明]	PROFILE オペランドは A タイプで、長さが 2～32 文字である必要があります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5423 : **STATUS** 定義のエラーです。

テキスト	STATUS 定義のエラーです。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5424 : **INPUT** 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	INPUT 副節は一度しか指定してはいけません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5425 : **EXIT/CABINET** パラメータの入力エラーです。

テキスト	EXIT/CABINET パラメータの入力エラーです。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5426 : **ERRORS** 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	ERRORS 副節は一度しか指定してはいけません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5427 : **MESSAGES** 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	MESSAGES 副節は一度しか指定してはいけません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5428 : **STARTING** 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	STARTING 副節は一度しか指定してはいけません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5429 : **ENDING** 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	ENDING 副節は一度しか指定してはいけません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5430 : **PROFILE** 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	PROFILE 副節は一度しか指定してはいけません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5431 : **STATUS** 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	STATUS 副節は一度しか指定してはいけません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5432 : **PASSW** オペランドは 8 文字以下の **A** タイプでなければなりません。

テキスト	PASSW オペランドは 8 文字以下の A タイプでなければなりません。
[説明]	COMPOSE ステートメントのキーワード PASSW の後に指定されたオペランドのフォーマット/長さは A8 でなければなりません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5433 : CONTROL 変数のフォーマット／長さは A1 です。

テキスト	CONTROL 変数のフォーマット／長さは A1 です。
[説明]	COMPOSE ステートメントの OUTPUT 副節のキーワード CONTROL の後に指定された 2 つの変数のフォーマットは A1 でなければなりません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5434 : OUTPUT TO VARIABLES の変数の最大数は 20 です。

テキスト	OUTPUT TO VARIABLES の変数の最大数は 20 です。
[説明]	COMPOSE ステートメントの OUTPUT TO VARIABLES 副節に、20 より大きな変数を指定してはいけません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5435 : FORMATTING OUTPUT 節の受け取り変数のエラーです。

テキスト	FORMATTING OUTPUT 節の受け取り変数のエラーです。
[説明]	OUTPUT 副節の中の受け取り変数は、A タイプでなければなりません。 注意：A1 変数の使用はお勧めできません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5436 : MOVING OUTPUT オペランドは A フォーマットです。

テキスト	MOVING OUTPUT オペランドは A フォーマットです。
[説明]	COMPOSE ステートメントの MOVING OUTPUT の後に指定されたオペランドは A フォーマットでなければなりません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

90

Natural システムエラーメッセージ 5451～5500

NAT5460 : Natural for Ajax 環境が正しく設定されていません。

テキスト	Natural for Ajax 環境が正しく設定されていません。
[説明]	Natural アプリケーションを開始するときには、Web I/O インターフェイスデーモン (UNIX) または Web I/O インターフェイスサーバー (メインフレーム) を経由する必要があります。Web I/O インターフェイスデーモンまたは Web I/O インターフェイスサーバーがインストールされ、正常に実行および設定されていることを確認してください。
[対処]	システム管理者に連絡してください。

NAT5461 : セッションが切断されました。エラー番号 :1:、エラーテキスト :2:。

テキスト	セッションが切断されました。エラー番号 ...、エラーテキスト ...。
[説明]	Natural for Ajax からデータを受信するまで待機していたセッションが、異常切断されました。
[対処]	システム管理者に連絡してください。

NAT5462 : データ長の受信に失敗しました。エラー番号 :1:、エラーテキスト :2:。

テキスト	データ長の受信に失敗しました。エラー番号 ...、エラーテキスト ...。
[説明]	Natural for Ajax から次のパケットの長さを受信しているときにエラーが発生しました。
[対処]	システム管理者に連絡してください。

NAT5463 : データの受信に失敗しました。エラー番号 :1:、エラーテキスト :2:。

テキスト	データの受信に失敗しました。エラー番号 ...、エラーテキスト ...。
[説明]	Natural for Ajax から次のパケットを受信しているときにエラーが発生しました。
[対処]	システム管理者に連絡してください。

NAT5464 : データ長の送信に失敗しました。エラー番号 :1:、エラーテキスト :2:。

テキスト	データ長の送信に失敗しました。エラー番号 ...、エラーテキスト ...。
[説明]	Natural for Ajax に次のパケットの長さを送信しているときにエラーが発生しました。
[対処]	システム管理者に連絡してください。

NAT5465 : データの送信に失敗しました。エラー番号 :1:、エラーテキスト :2:。

テキスト	データの送信に失敗しました。エラー番号 ...、エラーテキスト ...。
[説明]	Natural for Ajax に次のパケットを送信しているときにエラーが発生しました。
[対処]	システム管理者に連絡してください。

NAT5466 : タイムリミットを過ぎました。

テキスト	タイムリミットを過ぎました。
[説明]	Natural for Ajax からデータを受信するまで待機していたセッションで、NWO7TIMEOUT に指定されたタイムリミットを過ぎました。
[対処]	システム管理者に連絡してください。

NAT5470 : ページレイアウト :1: が未定義です。

テキスト	ページレイアウト ... が未定義です。
[説明]	アプリケーションで要求されたページレイアウトが、Natural for Ajax に定義されていません。
[対処]	ページレイアウトを作成してからアプリケーションで使用してください。

NAT5471 : ID :1: がレイアウト :2: に定義されていません。

テキスト	ID ... がレイアウト ... に定義されていません。
[説明]	アプリケーションによるデータ送信先のフィールドが、要求されたページレイアウトに定義されていませんでした。
[対処]	ページレイアウトをチェックして、ページアダプタを再生成してください。

NAT5472 : イベント :1: は **Natural for Ajax** でサポートされていません。

テキスト	イベント ... は Natural for Ajax でサポートされていません。
[説明]	アプリケーションが PROCESS PAGE ステートメントの SEND EVENT 節で Natural for Ajax にイベントを送信しましたが、このイベントは Natural for Ajax でサポートされていませんでした。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正します。

NAT5477 : :1: の **NAME** 構文が正しくありません。

テキスト	... の NAME 構文が正しくありません。
[説明]	PROCESS PAGE ステートメントの NAME 節に示した値 ... の構文が正しくありません。
[対処]	PROCESS PAGE ステートメントの NAME 節に示した値 ... を修正してください。

NAT5478 : :1: の **NAME** に互換性がありません。

テキスト	... の NAME に互換性がありません。
[説明]	PROCESS PAGE ステートメントの NAME 節に示した値 ... に、対応する VALUE 変数との互換性がありません。 NAME と VALUE は両方とも、スカラーまたは配列タイプの変数で、次元数が同じである必要があります。
[対処]	NAME 節に示した値を修正するか、または VALUE パラメータを互換性のある変数に変更してください。

NAT5479 : ID :1: が **PROCESS PAGE** ステートメントに定義されていません。

テキスト	ID ... が PROCESS PAGE ステートメントに定義されていません。
[説明]	クライアントによるデータ送信先のフィールドが、現在の PROCESS PAGE ステートメントの NAME/VALUE に定義されていませんでした。
[対処]	ページアダプタが、 PROCESS PAGE ステートメントによって要求されたページのページレイアウトに対応していることを確認してください。必要に応じて、アダプタの再生成、転送、および再カタログを行ってください。

NAT5500 : ジョブのサブミット中に **VSAM** エラー。

テキスト	ESY5500 ジョブのサブミット中に VSAM エラー。
[説明]	ジョブのサブミット中にエラーが発生しました。
[対処]	ジョブを再サブミットしてください。エラーが解決しない場合は、システムプログラマに連絡してください。

91 Natural システムエラーメッセージ 5501～5550

NAT5502 : SYSQSQL エラー。

テキスト	ESY5502 SYSQSQL エラー。
[説明]	内部 ESY エラー。
[対処]	SAG サポートに連絡してください。

NAT5503 : RECALL エラー。

テキスト	ESY5503 RECALL エラー。
[説明]	データセットは ARCHRCAL マクロを使用して再呼び出しすることができませんでした。 そのデータセットが実際に移行されているかチェックしてください。 移行されている場合は、インストールされている移行 ツールに関するシステムプログラマに連絡してください。
[対処]	システムプログラマに、データセットのステータスまたは移行ツール、あるいはその両方を チェックしてもらってください。

NAT5506 : データセットは移行されています。

テキスト	ESY5506 データセットは移行されています。
[説明]	データセットは、外部ストレージ媒体に保管されています。
[対処]	ESY 内のスタートアップ (起動) パラメータ RECALL を使用してください。

NAT5507 : あまりにも多くのパラレル **ESY** が要求されます。

テキスト	ESY5507 あまりにも多くのパラレル ESY が要求されます。
[説明]	ESY 内ではネストされた5つのループのみを使用できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5508 : **Adabas** レスポンスコード **:1:** が **ESY** から返されました。

テキスト	Adabas レスポンスコード ... が ESY から返されました。
[説明]	ADABAS レスポンスコードが Entire System Server から返されました。
[対処]	データベース管理者に連絡してください。

NAT5509 : ログオンに失敗しました - **LOGON-ID / PASSWORD** をチェックしてください。

テキスト	ESY5509 ログオンに失敗しました - LOGON-ID / PASSWORD をチェックしてください。
[説明]	試みられたログオンは失敗しました。 注意：より詳細なメッセージは、ERROR-TEXT フィールドが指定されたとき、インストールされたセキュリティシステムにより返されます。
[対処]	正しい LOGON-ID および PASSWORD を使用して、再度ログオンしてください。

NAT5510 : ログオンが必須です。

テキスト	ESY5510 ログオンが必須です。
[説明]	必要な NATPROC-LOGON 要求がありません。
[対処]	Entire System Server (ビュー NATPROC-LOGON) にログオンしてください。

NAT5511 : 機能は **LOGON/LOGOFF** しなければなりません。

テキスト	ESY5511 機能は LOGON/LOGOFF しなければなりません。
[説明]	不正な機能がビュー NATPROC-LOGON 内で与えられました。
[対処]	ソースプログラムをチェックします。有効な機能に LOGON および LOGOFF します。

NAT5520 : コアが利用できません。

テキスト	ESY5520 コアが利用できません。
[説明]	各ユーザーのために必要なコアの量： MAXFBL + MAXSBL + MAXCBL + (NUMREQ * BUFLLEN)
[対処]	補助バッファサイズ (ASIZE パラメータ) を増やしてください。

NAT5521 : NATPNI/NATPNIP が解決されません。

テキスト	ESY5521 NATPNI/NATPNIP が解決されません。
[説明]	この Natural ニュークリアスは Entire System Server 機能を実行できません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

NAT5530 : セキュリティ機能によりアクセスは拒絶されました。

テキスト	ESY5530 セキュリティ機能によりアクセスは拒絶されました。
[説明]	セキュリティ違反が発生しました。このリターンコードは、Entire System Server インターフェイスのセキュリティシステムによって返されました。
[対処]	対処は必要はありません。

NAT5531 : パスワードが見当たらない、または不正です。

テキスト	ESY5531 パスワードが見当たらない、または不正です。
[説明]	データセットはパスワードにより保護されており、パスワードを指定する必要があります。
[対処]	正しいパスワードを入力してください。

NAT5532 : :1: 境界が指定されています。

テキスト	ESY5532 ... 制限が指定されています。
[説明]	制限に達しました。要求の処理を停止しました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5533 : レコード数のスキャンが要求されました。

テキスト	ESY5533 レコード数のスキャンが要求されました。
[説明]	スキャンされた READ-FILE または READ-SPOOL 内のレコード数が要求されましたが、検索条件に一致するものは見つかりませんでした。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5534 : ファイルはロードライブラリではありません。

テキスト	ESY5534 ファイルはロードライブラリではありません。
[説明]	ファイルはロードライブラリではありません。
[対処]	ファイル名およびデータセットのタイプをチェックしてください。

NAT5535 : ファイルは不正なフォーマットです。

テキスト	ESY5535 ファイルは不正なフォーマットです。
[説明]	ファイルは DSORG をサポートしていません。
[対処]	システムプログラマに確認してください。

NAT5536 : VTOC へのアクセス中に CVA エラー :1:。

テキスト	ESY5536 VTOC へのアクセス中に CVA エラー
[説明]	マクロ CVAFDIR はエラーを引き起こしました。
[対処]	インラインエラーコードをシステムプログラマに確認してください。

NAT5537 : タイムリミットに達しました。

テキスト	ESY5537 タイムリミットに達しました。
[説明]	タイムリミットに達しましたが、この検索条件ではレコードは見つかりませんでした。
[対処]	要求されたビューパラメータをチェックして、プログラムを再実行してください。

NAT5538 : 不正なレコード長が指定されました。

テキスト	ESY5538 不正なレコード長が指定されました。
[説明]	不正なレコード長が指定されました。
[対処]	エラーを修正して、プログラムを再実行してください。

NAT5539 : DFHSMREQ は RC = :1: で失敗しました。

テキスト	ESY5539 DFHSMREQ は RC = ... で失敗しました。
[説明]	移行されたデータセットを削除する要求が失敗しました。
[対処]	ストレージ管理者に連絡してください。

NAT5544 : 不正なファイル ID です。

テキスト	ESY5544 不正なファイル ID です。
[説明]	要求されたファイル ID は存在しません。
[対処]	正しいファイル ID を指定してください。

NAT5549 : PDSE データセットではありません。

テキスト	PDSE データセットではありません。
[説明]	データセットは PDSE フォーマットではありません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5550 : PDS または LIBRARIAN ファイル、あるいは VSAM データセットがありません。

テキスト	ESY5550 PDS または LIBRARIAN ファイル、あるいは VSAM データセットがありません。
[説明]	非 PDS ファイルのディレクトリにアクセスしようとして失敗しました。
[対処]	データセットを変更して、プログラムを再実行してください。

92

Natural システムエラーメッセージ 5551～5600

NAT5551 : メンバは指定されていません。

テキスト	ESY5551 メンバは指定されていません。
[説明]	名前を指定しないで PDS メンバにアクセスしようとしました。
[対処]	メンバ名を指定してください。

NAT5552 : **NEWNAME/ALIAS** オペランドが見当たりません。

テキスト	ESY5552 NEWNAME/ALIAS オペランドが見当たりません。
[説明]	NEWNAME または ALIAS に値が指定されませんでした。フォーマットは次のとおりです。 NEWNAME (A8) - ビュー PDS-UPDATE ALIAS (A8) - ビュー CATALOG-UPDATE NEWNAME (A44) - ビュー VTOC-UPDATE
[対処]	NEWNAME または ALIAS に値を指定してください。

NAT5553 : ディレクトリ上で **I/O** エラー。

テキスト	ESY5553 ディレクトリ上で I/O エラー。
[説明]	PDS ディレクトリの読み込み中にエラーが発生しました。
[対処]	指定されたデータセットのディレクトリは不正と思われます。 システムプログラマに相談してください。

NAT5554 : ディレクトリ内に **MEMBER** が見つかりません。

テキスト	ESY5554 ディレクトリ内に MEMBER が見つかりません。
[説明]	存在しないメンバにアクセスしようとしてしました。
[対処]	正しいメンバ名を指定してください。

NAT5555 : ディレクトリ内に **NEWNAME/ALIAS** はすでに存在します。

テキスト	ESY5555 ディレクトリ内に NEWNAME/ALIAS はすでに存在します。
[説明]	NEWNAME および ALIAS の値は、ディレクトリ内でユニークにしなければなりません。指定された値はすでに存在しています。
[対処]	NEWNAME または ALIAS にユニークな値を入力してください。

NAT5556 : ファイルは使用されています。

テキスト	ESY5556 ファイルは使用されています。
[説明]	そのファイルは、別のユーザーの排他制御下にあります。
[対処]	しばらくしてから再試行します。

NAT5557 : ファイルはリンクエディタによりホールドされています。

テキスト	ESY5557 ファイルはリンクエディタによりホールドされています。
[説明]	そのファイルは、リンクエディタの排他制御下にあります。
[対処]	しばらくしてから再試行します。

NAT5558 : ディレクトリ内にスペースがありません。

テキスト	ESY5558 ディレクトリ内にスペースがありません。
[説明]	ディレクトリ内に利用可能なスペースがありません。
[対処]	ディレクトリを拡張してください。

NAT5559 : **STOW** エラー。

テキスト	ESY5559 STOW エラー。
[説明]	STOW 中にエラーが発生しました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5560 : 253 を超えるセグメント長です。

テキスト	ESY5560 253 を超えるセグメント長です。
[説明]	最大セグメント長は 253 です。
[対処]	正しい SEGMENT-LENGTH を指定してください。

NAT5561 : 必要なカタログは存在しません。

テキスト	ESY5561 必要なカタログは存在しません。
[説明]	指定されたカタログは存在しません。
[対処]	正しい CVOL を指定してください。

NAT5562 : カタログエントリが見つかりません。

テキスト	ESY5562 カタログエントリが見つかりません。
[説明]	エントリは、カタログ内に見つかりませんでした。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5563 : データセットはインデックスです。

テキスト	ESY5563 データセットはインデックスです。
[説明]	カタログするデータセットはインデックスです。
[対処]	正しいデータセット名を指定します。

NAT5564 : データセットは最低のインデックスレベルではありません。

テキスト	ESY5564 データセットは最低のインデックスレベルではありません。
[説明]	入力されたデータセット名は、最低のインデックスレベルでなければなりません。
[対処]	正しいデータセット名を入力してください。

NAT5565 : データセット名の構文エラー。

テキスト	ESY5565 データセット名の構文エラー。
[説明]	データセット名の中に構文エラーが見つかりました。
[対処]	正しいデータセット名を指定します。

NAT5566 : カタログ名の構文エラー。

テキスト	カタログ名の構文エラー。
[説明]	カタログ名の中に構文エラーが見つかりました。
[対処]	正しいカタログ名を指定してください。

NAT5567 : 指定された **LONG** または **USERCAT** は無効なオプションです。

テキスト	OPTION が無効です。LONG または USERCAT を指定してください。
[説明]	無効な OPTION が指定されました。有効なオプションは LONG および USERCAT です。
[対処]	有効な OPTION (LONG または USERCAT) を指定してください。

NAT5571 : **DSNAME** オペランドが見当たりません。

テキスト	ESY5571 DSNAME オペランドが見当たりません。
[説明]	完全修飾されたデータセット名を指定する必要があります。フォーマットは (A44) です。
[対処]	正しい DSNAME を入力してください。

NAT5572 : **NEWNAME** が見当たりません。

テキスト	ESY5572 NEWNAME が見当たりません。
[説明]	RENAME 機能の NEWNAME に、完全修飾されたデータセットを指定する必要があります。
[対処]	RENAME 機能 NEWNAME フィールドに正しい DSNAME を指定してください。

NAT5573 : **SCRATCH** が無効です。

テキスト	ESY5573 SCRATCH が無効です。
------	------------------------

NAT5574 : **RENAME** が無効です。

テキスト	ESY5574 RENAME が無効です。
[説明]	NEW データセット名に、不正な文字が含まれています。
[対処]	NEW データセット名の不正な文字をチェックしてください。

NAT5575 : データセットの名前は変更されません。 **CATALOG-UPDATE** 機能は失敗しました。

テキスト	ESY5575 データセット名が変更されていません。 CATALOG-UPDATE 機能が失敗しました。
[説明]	新規データセット名はカタログすることができません。 そのため、まだ古いデータセット名が有効です。 データセットには、正確なボリュームを指定するだけでアクセスすることができます。
[対処]	新規データセット名をカタログできない理由について、システムプログラマに確認してください。

NAT5576 : **SCRATCH** で **RC :1:** およびステータス **:2:** が返りました。

テキスト	ESY5576 SCRATCH で RC ... および ステータス ... が返されました。
[説明]	SCRATCH を実行できませんでした。 リターンコードおよびステータスコードの詳細については、『OS/390 DFSMSdfp Advanced Services』マニュアルを参照してください。
[対処]	データセットのステータスをチェックします。

NAT5577 : **RENAME** で **RC :1:** およびステータス **:2:** が返りました。

テキスト	ESY5577 RENAME で RC ... および ステータス ... が返されました。
[説明]	RENAME を実行できませんでした。 リターンコードおよびステータスコードの詳細については、『OS/390 DFSMSdfp Advanced Services』マニュアルを参照してください。
[対処]	データセットのステータスをチェックします。

NAT5578 : **RENAME** の致命的なエラー ; **VOL :1: DSN :2:**。

テキスト	ESY5578 RENAME の致命的なエラー。 VOL ... DSN ...。
[説明]	RENAME を実行できませんでした。 ボリューム (VOL 値を見る) 上のデータセット (DSN 値を見る) をチェックしてください。
[対処]	システムプログラマに確認してください。

NAT5580 : バインダ **API :1:** コール、 **rc :2:**、 **rsn :3:**。

テキスト	ESY5580 バインダ API :1: コール、 rc :2:、 rsn :3:。
[説明]	バインダ API のコールに失敗しました。
[対処]	Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5590 : **inplace-update** 中にデータの終わりに達しました。

テキスト	ESY5590 inplace-update 中にデータの終わりに達しました。
[説明]	UPDATE-INPLACE 機能ではレコードを追加できません。
[対処]	レコードの追加には UPDATE-INPLACE を使用しないでください。

NAT5591 : **inplace-update** のためのメンバが見つかりません。

テキスト	ESY5591 inplace-update のためのメンバが見つかりません。
[対処]	正しい MEMBER を指定してください。

NAT5592 : 変数 **inplace-update** のレコード長エラー。

テキスト	ESY5592 変数 inplace-update のレコード長エラー。
[対処]	ソースプログラムをチェックしてください。RECORD-LENGTH は変更できません。

NAT5600 : 未知の機能です。

テキスト	ESY5600 未知の機能です。
[説明]	不正な値が FUNCTION フィールド内で指定されました。
[対処]	正しい FUNCTION 値を指定してください。

93 Natural システムエラーメッセージ 5601～5650

NAT5601 : **DSNAME** が見当たりません。

テキスト	DSNAME が見当たりません。
[説明]	データセット名は、データセットをカタログするために必要です。

NAT5602 : デバイスが無効です。

テキスト	ESY5602 デバイスが無効です。
[説明]	無効な DEVICE 値が指定されました。
[対処]	有効な DEVICE 値を指定してください。

NAT5603 : **INDEX / ALIAS** が見当たりません。

テキスト	ESY5603 INDEX / ALIAS が見当たりません。
[対処]	INDEX/ALIAS を指定してください。

NAT5604 : 指定されたボリュームがありません。

テキスト	ESY5604 指定されたボリュームがありません。
[説明]	CATLG/RECATLG に VOLUMES が指定されていません。
[対処]	VOLUMES を指定してください。

NAT5605 : IGWASMS は、RC :1: および理由 :2: が返りました。

テキスト	ESY5605 IGWASMS で RC ... および理由 ... が返されました。
[説明]	データセットの属性を取得する要求が失敗しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5606 : 管理されたデータセットは、アンカタログすることができません。

テキスト	管理されたデータセットは、アンカタログすることができません。
[説明]	SMS で管理されるデータセットをアンカタログする要求が発行されました。
[対処]	SMS で管理されるデータセットをアンカタログする要求は発行しないでください。

NAT5610 : QNAME が見当たりません。

テキスト	ESY5610 QNAME が見当たりません。
[説明]	QNAME フィールド内に指定された値がありません。
[対処]	正しい QNAME 値を指定します。

NAT5611 : QNAME は SYS でスタートできません。

テキスト	ESY5611 QNAME は SYS でスタートできません。
[説明]	SYS で始まる主要な名前は許可されていません。
[対処]	正しい QNAME 値を指定します。

NAT5612 : RNAME が見当たりません。

テキスト	ESY5612 RNAME が見当たりません。
[説明]	RNAME フィールド内に指定された値がありません。
[対処]	RNAME 値を指定してください。

NAT5613 : RNAME 長が見当たりません。または無効です。

テキスト	ESY5613 RNAME 長が見当たりません。または無効です。
[説明]	RNAME-LENGTH フィールド内に指定された値がありません。
[対処]	RNAME-LENGTH 値を指定してください。

NAT5614 : リソースが使用されています。

テキスト	ESY5614 リソースが使用されています。
[説明]	リソースは、すでに別のタスクにより共有として割り当てられています。また、排他的アクセスが要求されました。
[対処]	しばらくしてから再試行します。

NAT5615 : リソースは別のタスクによりホールドされました。

テキスト	ESY5615 リソースは別のタスクによりホールドされました。
[説明]	リソースは、すでに別のタスクにより排他的に割り当てられています。
[対処]	しばらくしてから再試行します。

NAT5616 : CQSCAN ルーチン内エラー。

テキスト	ESY5616 "CQSCAN" ルーチン内エラー。
[説明]	"CQSCAN" マクロ要求の結果として内部エラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。(同様に、Software AG 技術サポートにも連絡してください。)

NAT5621 : 識別子が見当たりません/重複しています/見つかりません。

テキスト	ESY5621 識別子が見当たりません/重複しています/見つかりません。
[説明]	そのエリアに関連した識別子が見当たらないか、重複しているか、または見つかりません。
[対処]	正しい識別子を指定してください。

NAT5622 : NUMBER-OF-ENTRIES が見当たりません。または無効です。

テキスト	ESY5622 "NUMBER-OF-ENTRIES" が見当たりません。または無効です。
[説明]	エントリの最大数の指定が見当たらないか、または無効です。
[対処]	正しい "NUMBER-OF-ENTRIES" 値を指定してください。

NAT5623 : ENTRY-LENGTH が見当たりません。または無効です。

テキスト	ESY5623 "LENGTH-OF-ENTRY" が見当たりません。または無効です。
[説明]	エントリの長さの指定が見当たらないか、または無効です。
[対処]	正しい "ENTRY-LENGTH" 値を指定してください。

NAT5624 : ENTRY-NUMBER が見当たりません。または無効です。

テキスト	ESY5624 "ENTRY-NUMBER" が見当たりません。または無効です。
[説明]	エントリ番号の指定が見当たらないか、または無効です。
[対処]	正しいエントリ番号を指定してください。

NAT5625 : エリアをアロケートすることができません。

テキスト	ESY5625 エリアをアロケートすることができません。
[説明]	そのエリアの割り当てに利用可能なストレージが不十分です。
[対処]	要求されたストレージの量を減らすか、またはシステムプログラマに連絡してください。

NAT5626 : DATA が見当たりません。

テキスト	ESY5626 "DATA" が見当たりません。
[説明]	指定されたデータがありません。
[対処]	"DATA" フィールドを指定してください。

NAT5627 : フィールド位置 + 長さ > 250。

テキスト	ESY5627 フィールド位置 + 長さ > 250。
[説明]	そのフィールドは、最大エリア長 (250) を超えています。
[対処]	正しいフィールド位置 / 長さを指定してください。

NAT5628 : エディタ内でエラーが発生しました。

テキスト	ESY5628 エディタ内でエラーが発生しました。
[説明]	内部エディタエラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5629 : エリアは保護されています。

テキスト	ESY5629 エリアは保護されています。
[説明]	エリアは保護されています。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5630 : コンソールは定義されていません。または、アクティブではありません。

テキスト	ESY5630 コンソールは定義されていません。または、アクティブではありません。
[説明]	指定されたコンソール ID が見つかりません。
[対処]	正しいコンソール ID を指定してください。

NAT5631 : コンソールテーブルが見つかりません。

テキスト	ESY5631 コンソールテーブルが見つかりません。
[説明]	コンソールテーブルが見つかりません。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5632 : 一般またはコントロールオブジェクトが見つかりません。

テキスト	ESY5632 一般またはコントロールオブジェクトが見つかりません。
[説明]	マルチコンソールサポート (MCS) により返された一般またはコントロールオブジェクトを見つけることができません。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5633 : コンソールテーブルをロックできません。

テキスト	ESY5633 コンソールテーブルをロックできません。
[説明]	コンソールテーブルは、排他的使用のためにロックすることができません。
[対処]	問題が続く場合は、システムプログラマに連絡してください。

NAT5634 : 不正なレコード番号。

テキスト	ESY5634 不正なレコード番号
[説明]	要求されたレコード番号は不正です。
[対処]	操作を再試行してください。問題が続く場合は、システムプログラマに連絡してください。

NAT5635 : KSDS ファイル内でキーの変更が試みられました。

テキスト	ESY5635 KSDS ファイル内でキーの変更が試みられました。
[説明]	KSDS ファイル内でキーを変更することはできません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5636 : この **ACB** 上にあるアクティブ要求が多すぎます。

テキスト	ESY5636 この ACB 上にあるアクティブ要求が多すぎます。
[説明]	VSAM ファイルへのアクセス中に、ネストされたループがあります。 または、未処理の平行要求が多すぎます。
[対処]	プログラムをチェックしてください。また、ESY のデータベース管理者に確認してください。

NAT5637 : **VSAM** サブタスクはアクティブではありません。

テキスト	ESY5637 VSAM サブタスクはアクティブではありません。
[説明]	VSAM にアクセスするための ESY サブタスクは異常終了しました。 ESY を再起動するために ESY のデータベース管理者に確認してください。
[対処]	ESY のデータベース管理者に連絡するか、または Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5638 : キーが見つかりません。

テキスト	ESY5638 キーが見つかりません。
[説明]	ファイル内には要求されたレコードにアクセスするためのキーが見つかりません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5639 : **ESDS** ファイル内でレコードの削除はできません。

テキスト	ESY5639 ESDS ファイル内でレコードの削除はできません。
[説明]	ESDS ファイルからレコードを削除することはできません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5640 : **VSAM** コントロールブロック生成中にエラー。

テキスト	ESY5640 VSAM コントロールブロック生成中にエラー。
[説明]	VSAM コントロールブロックの生成中にエラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5641 : **SMF** または **VSAM** ファイルのオープン中にエラー :1:。

テキスト	ESY5641 SMF ファイルのオープン中にエラー ...。
[説明]	SMF ファイルのオープン中に VSAM エラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5642 : SMF または VSAM ファイルの読み込み中にエラー :1:

テキスト	ESY5642 SMF ファイルの読み込み中にエラー ...。
[説明]	SMF ファイルの読み込み中に VSAM エラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5643 : SMF はアクティブ／記録中ではありません。

テキスト	ESY5643 SMF はアクティブ／記録中ではありません。
[説明]	要求されたとき、SMF がアクティブでないか、または記録中ではありません。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5644 : :1:

テキスト	ESY5644 POWER インターフェイスでの xxxxxxxx エラー aabb。
[説明]	POWER インターフェイス機能 xxxxxxxx により、エラー aabb が返されました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5645 : 不正な RBA が指定されました。

テキスト	ESY5645 不正な RBA が指定されました。
[説明]	要求された RBA が見つかりませんでした。
[対処]	正しい RBA 値を指定してください。

NAT5646 : VSAM への書き込みはベースクラスタ上でのみ許可されました。

テキスト	ESY5646 VSAM への書き込みはベースクラスタ上でのみ許可されました。
[説明]	非ベースクラスタに書き込もうとしました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5647 : VSAM クラスタは、再利用可能なものとして定義されていません。

テキスト	ESY5647 VSAM クラスタは、再利用可能なものとして定義されていません。
[説明]	VSAM クラスタへのアクセスは、再利用可能な場合にのみ許可されています。
[対処]	VSAM クラスタを再利用可能と定義してください。

NAT5648 : 昇順キー内にレコードがありません。

テキスト	ESY5648 昇順キー内にレコードがありません。
[説明]	間違ったキーでレコードを書き込もうとしました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5649 : ESY ユーザーが見つかりません。または、キャンセルすることができません。

テキスト	ESY5649 ESY ユーザーが見つかりません。または、キャンセルすることができません。
[説明]	様々な機能のために、ESY ユーザーが見つかりませんでした。
[対処]	入力データを修正します。

NAT5650 : シーケンシャルファイルが無効です。

テキスト	ESY5650 シーケンシャルファイルが無効です。
[説明]	要求されたシーケンシャルファイルは存在しません。 ファイル名をチェックして、プログラムを再実行してください。

94 Natural システムエラーメッセージ 5651～5700

NAT5651 : 要求されたカタログは存在しません。

テキスト	ESY5651 要求されたカタログは存在しません。
[説明]	要求された CVOL は存在しません。
[対処]	正しい CVOL を指定してください。

NAT5652 : カタログ構造は矛盾しています。

テキスト	ESY5652 カタログ構造は矛盾しています。
[説明]	カタログ構造は矛盾しています。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5653 : インデックスを削除できません。

テキスト	ESY5653 インデックスを削除できません。
[説明]	インデックスを削除できません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5654 : インデックス構造は存在しません。

テキスト	ESY5654 インデックス構造は存在しません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5655 : カタログデータセット上のスペースが不十分です。

テキスト	ESY5655 カタログデータセット上のスペースが不十分です。
[説明]	カタログデータセットがいっぱいです。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5656 : 生成データセットのカタログ中にエラーが発生しました。

テキスト	ESY5656 生成データセットのカタログ中にエラーが発生しました。
[説明]	生成データセットのカタログ中にエラーが発生しました。
[対処]	指定した値をチェックしてください。値が正しい場合は、システムプログラマに連絡してください。

NAT5657 : カタログ上で I/O エラー。

テキスト	ESY5657 カタログ上で I/O エラー。
[説明]	カタログへのアクセス中に I/O エラーが発生しました。
[対処]	これはハードウェア障害の可能性があります。システムプログラマに連絡してください。

NAT5658 : データセットはカタログされていません。

テキスト	ESY5658 データセットはカタログされていません。
[説明]	指定したデータセットはカタログされていません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5659 : データセットはすでにカタログされています。

テキスト	ESY5659 データセットはすでにカタログされています。
[説明]	指定したデータセットは、すでにカタログされています。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5660 : :1: -:2: モジュールは利用可能ではありません。

テキスト	ESY5660 ... - ... モジュールは利用可能ではありません。
[説明]	指定した Natural モジュールが見つかりませんでした。
[対処]	存在している Natural モジュールの名前を指定してください。

NAT5661 : :1: - **Natural** サブタスクはすでにアクティブです。

テキスト	ESY5661 ... - Natural サブタスクはすでにアクティブです。
[説明]	Natural サブタスクは、このユーザーのためにすでにアクティブです。
[対処]	サブタスクが終了していることを確認してから再起動してください。

NAT5662 : :1: - **Natural** サブタスクは許可されていません。

テキスト	ESY5662 ... - Natural サブタスクは許可されていません。
[説明]	Natural サブタスクシステムは初期化されていません。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5663 : :1: - **Natural** サブタスクはアクティブではありません。

テキスト	ESY5663 ... - Natural サブタスクはアクティブではありません。
[説明]	Natural サブタスクは存在しません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5664 : :1: - **Natural** サブタスクテーブルはいっぱいです。

テキスト	ESY5664 ... - Natural サブタスクテーブルはいっぱいです。
[説明]	Natural サブタスクの最大数に達しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5665 : :1: - 無効なアクションが要求されました。

テキスト	ESY5665 ... - 無効なアクションが要求されました。
[説明]	無効なアクションが要求されました。
[対処]	正しいアクションを指定してください。

NAT5666 : :1: - **Natural** サブタスクはパラメータを持たなければなりません。

テキスト	ESY5666 :1: - Natural サブタスクはパラメータを持たなければなりません。
[説明]	パラメータなしで Natural サブタスクを起動しようとしてしました。
[対処]	Natural サブタスクのパラメータを指定してください。

NAT5669 : :1:

テキスト	ESY5669 :1:
[説明]	SPOOL-UPDATEの要求中にエラーが発生しました。このエラーメッセージテキストは一般的に、内部で生成された PALTER コマンドによって返される POWER エラーメッセージです。
[対処]	オペランドの有効性と整合性をチェックして、再度サブミットしてください。

NAT5670 : ビューはサポートされていません。

テキスト	ESY5670 ビューはサポートされていません。
[説明]	このビューは、ローカルオペレーティングシステム上ではサポートされていません。

NAT5671 : クラスが見当たりません。または無効です。

テキスト	ESY5671 クラスが見当たりません。または無効です。
[説明]	CHANGE 機能では、正しい NEW-CLASS、NEW-DESTINATION、または NEW-USERID 値を必要とします。

NAT5672 : セグメントオプションは **JOBNAME/JOBNUMBER** を必要とします。

テキスト	ESY5672 セグメントオプションは JOBNAME/JOBNUMBER を必要とします。
[説明]	"SEGMENT" オプション (SEGMENT-NUMBER>0) の指定は、そのジョブが Jobname および Job-number で識別されることを必要とします。

NAT5673 : **FILETABLE=STATIC** によるアクセスエラー。

テキスト	ESY5673 FILETABLE=STATIC によるアクセスエラー。
[説明]	要求されたファイルは、Entire System Server の起動パラメータ "FILETABLE" が "STATIC" として指定されているためアクセスできません。 ESY 初期化時に利用可能なファイル (STD および PARSTD&TEMP ラベル) のみにアクセスできます。
[対処]	ESY 初期化時に指定されていないファイルに、ダイナミックにアクセスできるようにするには、"FILETABLE" パラメータを "DYNAMIC" に変更して、Entire System Server を再起動してください。

NAT5674 : フォーマット-3 ラベルの読み込み中に VTOC エラー。

テキスト	ESY5674 : フォーマット-3 ラベルの読み込み中に VTOC エラー。
[説明]	要求されたファイルのフォーマット-3 ラベルの読み込み中に VTOC エラーが発生しました。
[対処]	情報メッセージのみ。必要とされる、または可能な対処方法はありません。

NAT5675 : :1: はサポートされていません。

テキスト	ESY5675 ... はサポートされていません。
[説明]	Entire System Server は、要求されたファイルがこのバージョンの ESY ではサポートされていない属性を持っていることを検知しました。 マルチボリュームファイルやマルチエクステント出力ファイルなどが、そのようなファイルに該当します。

NAT5676 : マルチボリュームファイルの最初のボリュームがありません。

テキスト	ESY5676 マルチボリュームファイルの最初のボリュームがありません。
[説明]	Entire System Server は、指定したボリューム上のファイルが、マルチボリュームファイルの最初のボリューム/エクステントでないことを検知しました。

NAT5677 : FAMS エラー、R15=XXXXXXXX、R0=XXXXXXXX

[説明]	COPY-FILE による 1 つ以上のプログラムオブジェクトのコピー中に、FAMS エラーが発生しました。
[対処]	詳細については、FAMS によって発行された、先頭が IGW のメッセージのコンソールログをチェックしてください。

NAT5678 : メンバはすでに存在しています。

テキスト	ESY5678 メンバはすでに存在しています。
[説明]	WRITE-FILE または COPY-FILE 内で REPLACE = "NO" として指定されましたが、メンバは存在しています。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5679 : 入力および出力ファイルは互換可能ではありません。

テキスト	ESY5679 入力および出力ファイルは互換可能ではありません。
[説明]	COPY-FILE は、入力ファイルと出力ファイルのレコードフォーマットに互換性がないと判定しました (RECFM が一致していない、ブロックサイズに互換性がない、など)。
[対処]	データセット属性を確認して、正しいパラメータで要求を再発行してください。

NAT5680 : ジョブ／出力は保護されています。

テキスト	ESY5680 ジョブ／出力は保護されています。
[説明]	そのユーザーには、指定したジョブ／出力にアクセスする権限がありません。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5681 : ジョブ／出力はアクティブです。

テキスト	ESY5681 ジョブ／出力はアクティブです。
[説明]	指定したジョブ／出力は現在アクティブです。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5682 : ジョブ／出力は実行可能ではありません。

テキスト	ESY5682 ジョブ／出力は実行可能ではありません。
[説明]	ジョブ／出力は実行可能ではありません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5683 : FAMS エラー、R15=:1:、R0=:2:。

テキスト	ESY5683 FAMS エラー、R15=:1:、R0=:2:。
[説明]	COPY-FILE による 1 つ以上のプログラムオブジェクトのコピー中に、FAMS エラーが発生しました。
[対処]	詳細については、FAMS によって発行された、先頭が IGW のメッセージのコンソールログをチェックしてください。

NAT5684 : リモートプログラムオブジェクトのコピーは現在サポートされていません。

テキスト	ESY5684 リモートプログラムオブジェクトのコピーは現在サポートされていません。
[説明]	このリリースの Entire System Server では、OS/390 上で COPY-FILE を使用し、異なるノード間でプログラムオブジェクトをコピーすることは、サポートされていません。 このメッセージは、プログラムオブジェクトのコピー要求が VSE/ESA ノードに発行される場合にも発行されます。
[対処]	回避するには、プログラムオブジェクトを最初にローカルのノード上の PDS にコピーし、次にリモートノード上の PDS にコピーし、最後にターゲット PDSE にコピーしてください。

NAT5685 : FAMS サブタスクが異常終了しました。

テキスト	FAMS サブタスクが異常終了しました。
[説明]	リモートプログラムオブジェクトのコピーによって使用されたサブタスクのいずれかが異常終了しました。ERROR-NODE と ERROR-VIEW フィールドは、どのノードが ABEND を持っていたかを示します。ABEND についての情報は JES ログにあります。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT5687 : 不正な変数レコード。

テキスト	ESY5687 不正な変数レコード。
[説明]	不正な変数レコード。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5688 : リターンコード :1: HCF 機能 :2:。

テキスト	ESY5688 リターンコード ... HCF 機能 ...。
[説明]	HCF 機能は失敗しました。そのリターンコードは、HCF リターンコードです。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5690 : :3: 中の :1: エラー :2:。

テキスト	ESY5690 :3: 中の :1: エラー :2:。
[説明]	PANVALET または LIBRARIAN データへのアクセス中にエラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5691 : librarian メンバにアクセス中にエラー。

テキスト	ESY5691 librarian メンバにアクセス中にエラー。
[説明]	LIBRARIAN メンバへのアクセス中にエラーが発生しました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5692 : メンバにアクセスすることは許可されていません。

テキスト	ESY5692 メンバにアクセスすることは許可されていません。
[説明]	このユーザーには、指定したメンバにアクセスする権限がありません。
[対処]	システムプログラマに確認してください。

NAT5693 : :1:

テキスト	ESY5693 ...。
[説明]	PANVALET エラーが発生しました。
[対処]	メッセージテキストを見てください。

NAT5694 : VTOC 開始時に未知のエラー。

テキスト	ESY5694 VTOC 開始時に未知のエラー。
[説明]	VTOC の読み込み中に未知の内部エラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5695 : VTOC は使用されています。

テキスト	ESY5695 VTOC は使用されています。
[説明]	VTOC は現在使用中です。
[対処]	再実行してください。

NAT5696 : 論理ユニットを割り当てることができません。

テキスト	ESY5696 論理ユニットを割り当てることができません。
[説明]	論理ユニットを割り当てることができませんでした。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5697 : ライブラリ／サブライブラリが見つかりません。

テキスト	ESY5697 ライブラリ／サブライブラリが見つかりません。
[説明]	指定したライブラリ／サブライブラリが見つかりませんでした。
[対処]	正しいライブラリ／サブライブラリ名を指定してください。

NAT5698 : 内部 LIBRARIAN エラーが発生しました。

テキスト	ESY5698 内部 LIBRARIAN エラーが発生しました。
[説明]	内部 LIBRARIAN エラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5699 : 利用可能な十分なメインストレージがありません。

テキスト	ESY5699 利用可能な十分なメインストレージがありません。
[説明]	要求を処理するために利用可能な十分なメインストレージがありませんでした。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5700 : 無効な値が指定されました (DSORG / RECFM / TYPE) 。

テキスト	ESY5700 無効な値が指定されました (DSORG / RECFM / TYPE) 。
[説明]	FILE-ALLOCATE ビューに、無効な値が指定されました。 注：フィールド ERROR-TEXT が指定されている場合、さらに詳細なメッセージが返されます。
[対処]	DSORG/RECFM/ TYPE に正しい値を指定してください。

95

Natural システムエラーメッセージ 5701～5750

NAT5701 : **DSNAME** が見当たりません。

テキスト	ESY5701 DSNAME が見当たりません。
[説明]	DSNAME が見当たりません。
[対処]	正しい DSNAME を指定してください。

NAT5702 : **OUTADD** エラーコード :**1:** 理由コード :**2:** キー :**3:**。

テキスト	ESY5702 OUTADD エラーコード ... 理由コード ... キー ...。
------	---

NAT5703 : 空のファイルのコピーは許可されていません。

テキスト	ESY5703 空のファイルのコピーは許可されていません。
------	-------------------------------

NAT5710 : アロケーションはコード :**1:** で失敗しました。

テキスト	ESY5710 アロケーションはコード ... で失敗しました。
[説明]	アロケーションは失敗しました。そのコードはDYNALLOCリターンコードです。 注：フィールド ERROR-TEXT が指定されている場合、さらに詳細なメッセージが返されます。
[対処]	DYNALLOC リターンコードをチェックしてください。

NAT5711 : 論理エラーが共通 JES インターフェイス内で発生しました。

テキスト	ESY5711 論理エラーが共通 JES インターフェイス内で発生しました。
[説明]	論理エラーが共通 JES インターフェイス内で発生しました。 エラーのタイプについて記述する追加メッセージが、 コンソールに出力された可能性があります。
[対処]	追加メッセージのシステムログをチェックしてください。 Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5712 : 共通 JES インターフェイスへの要求は失敗しました。

テキスト	ESY5712 共通 JES インターフェイスへの要求は失敗しました。
[説明]	スプールデータにアクセスする要求が失敗しました。
[対処]	Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5713 : ジョブ名およびジョブ ID が見当たりません。そのいずれかが必須です。

テキスト	ESY5713 ジョブ名およびジョブ ID が見当たりません。そのいずれかが必須です。
[説明]	JOB-NAME も JOB-ID/JOB-NUMBER も指定されていません。 少なくともそれらのいずれかが、要求の処理に必要とされます。
[対処]	JOB-NAME、JOB-ID、または JOB-NUMBER を要求に指定してください。

NAT5714 : SYSOUT データセットの :1: タイプを読むことができません。

テキスト	ESY5714 SYSOUT データセットの ... タイプを読むことができません。
[説明]	指定したスプールファイル TYPE が無効か、または処理できません。
[対処]	正しいスプールファイルタイプ (CC、JL、SI、SM、または SO) を指定してください。

NAT5715 : 重複したジョブ名が見つかりました。ジョブ ID を指定してください。

テキスト	ESY5715 重複したジョブ名が見つかりました。ジョブ ID を指定してください。
[説明]	指定したジョブ名の複数のジョブが見つかりました。
[対処]	さらにジョブ ID/ジョブ番号を指定してください。

NAT5717 : ACB または RPL のための GENCB は、RC:1: および RSN:2: により失敗しました。

テキスト	ESY5717 ACB または RPL のための GENCB は、RC ... および RSN ... により失敗しました。
[説明]	ACB または RPL は、SYSOUT データセットにアクセスするために生成することができませんでした。
[対処]	システムプログラマに相談してください。Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5719 : SYSOUT データセットを :1: できません。

テキスト	ESY5719 SYSOUT データセットを ... できません。
[説明]	SYSOUT データセットのオープンまたはクローズ中にエラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマに相談してください。Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5720 : 不正な TYPE。

テキスト	ESY5720 不正な TYPE。
[説明]	不正な TYPE が、READ-SPOOL ビュー内で与えられました。
[対処]	ソースプログラムをチェックします。TYPE の正しい値は次のとおりです。 MVS 内 : JL、SI、SO、SM、および CC。 VSE 内 : LS、PU、RD、XM、および CC。

NAT5721 : ジョブが見つかりましたが、指定されたスプール ID はありません。

テキスト	ESY5721 ジョブが見つかりましたが、指定されたスプール ID はありません。
[説明]	ジョブは、指定したものと異なるスプール上で見つかりました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5722 : 要求されたデータセットが見つかりません。

テキスト	ESY5722 要求されたデータセットが見つかりません。
[説明]	要求されたデータセットが見つかりませんでした。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5723 : ジョブは出力サービス内にありません。

テキスト	ESY5723 ジョブは出力サービス内にありません。
[説明]	要求されたジョブは、出力サービス内にありません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5724 : 要求されたジョブが見つかりません。

テキスト	ESY5724 要求されたジョブが見つかりません。
[説明]	要求されたジョブは JES スプール上で見つけることができませんでした。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5725 : JES3 スプール上で I/O エラー。

テキスト	ESY5725 JES3 スプール上で I/O エラー。
[説明]	JES スプールへの READ 要求に失敗しました。
[対処]	再実行してください。そのエラーがまだ続く場合は、ハードウェアの障害と考えられます。

NAT5726 : JES3 スプール上で論理エラー。

テキスト	ESY5726 JES3 スプール上で論理エラー。
[説明]	JES3 スプールデータセットの読み込み中に論理エラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。（同様に、Software AG 技術サポートにも連絡してください。）

NAT5727 : スパンレコードが大きすぎます。

テキスト	ESY5727 スパンレコードが大きすぎます。
[説明]	スパンレコードが大きすぎます。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5728 : このジョブを見ることは許可されていません。

テキスト	ESY5728 このジョブを見ることは許可されていません。
[説明]	ユーザーは、認可されていないジョブにアクセスしようとしてしました。このエラーは、NATURAL PROCESS インターフェイスのセキュリティシステムによって発行されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5729 : 不正なジョブ TYPE です。JOB、STC または TSU を指定してください。

テキスト	ESY5729 不正なジョブ TYPE です。JOB、STC または TSU を指定してください。
[説明]	指定したジョブ TYPE は不正です。
[対処]	正しいジョブタイプ (JOB、STC、または TSU) を指定してください。

NAT5730 : スプールのオープン中に未知のエラーが発生しました。

テキスト	ESY5730 スプールのオープン中に未知のエラーが発生しました。
[説明]	スプールのオープン中に未知のエラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマおよび Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5731 : スプール GET 中にエラーが発生しました。

テキスト	ESY5731 スプール GET 中にエラーが発生しました。
[説明]	スプール GET 中にエラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマおよび Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5732 : アカウント番号が見当たりません。

テキスト	ESY5732 アカウント番号が見当たりません。
[説明]	ビューコールにアカウント番号が指定されていません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5733 : ユーザー ID が存在しません。

テキスト	ESY5733 ユーザーに JOIN エントリがありません。
[説明]	ユーザーはシステム内に定義されていません。 対処は必要ありません。

NAT5734 : ARCHIVE 実行中にエラーが発生しました。

テキスト	ESY5734 ARCHIVE 実行中にエラーが発生しました。
[説明]	ARCHIVE 実行中にエラーが発生しました。 システムプログラマに相談してください。

NAT5735 : I-T-C の使用中の論理エラー。

テキスト	ESY5735 I-T-C の使用中の論理エラー。
[説明]	内部タスクコミュニケーション (inter-task-communication) が、正しく使用されていませんでした。 対処は必要ありません。

NAT5736 : MESSAGE-ID が見当たりません。

テキスト	ESY5736 I-T-C および P1-Eventing の使用中のエラー。
[説明]	内部タスクコミュニケーションおよび P1-Eventing が、正しく使用されていませんでした。対処は必要ありません。

NAT5737 : レコード挿入のためのインデックススペースがありません。

テキスト	ESY5737 レコード挿入のためのインデックススペースがありません。
[説明]	レコードの数は、利用可能インデックス範囲を超えています。対処は必要ありません。

NAT5738 : メモリプール使用時にエラー。

テキスト	ESY5738 メモリプール使用時にエラー。
[説明]	MAIN-STORAGE ビューの使用が正しくありません。対処は必要ありません。

NAT5739 : ジョブ変数の使用時にエラー。

テキスト	ESY5739 ジョブ変数の使用時にエラー。
[説明]	JOB-VARIABLES ビューの使用が正しくありません。詳細情報は、SYSTEM-MESSAGE-CODE 経由で利用可能です。
[対処]	SYSTEM-MESSAGE-CODE を分析してください。

NAT5740 : BTAM ファイルの使用時にエラー。

テキスト	ESY5740 BTAM ファイルの使用時にエラー。
[説明]	ファイルの割り当て中にエラーが発生しました。対処は必要ありません。

NAT5741 : SAM ファイルの使用時にエラー。

テキスト	ESY5741 SAM ファイルの使用時にエラー。
[説明]	ファイルの割り当て中にエラーが発生しました。対処は必要ありません。

NAT5742 : PAM ファイルの使用時にエラー。

テキスト	ESY5742 PAM ファイルの使用時にエラー。
[説明]	ファイルの割り当て中にエラーが発生しました。 対処は必要ありません。

NAT5743 : ISAM ファイルの使用時にエラー。

テキスト	ESY5743 ISAM ファイルの使用時にエラー。
[説明]	ファイルの割り当て中にエラーが発生しました。 対処は必要ありません。

NAT5744 : 無効のイベント名が指定されました。

テキスト	ESY5744 無効のイベント名が指定されました。
[説明]	P1-Eventing に無効なイベント名が指定されました。 対処は必要ありません。

NAT5745 : イベントの実行時にエラーが発生しました。

テキスト	ESY5745 イベントの実行時にエラーが発生しました。
[説明]	P1-Eventing の使用中の論理エラー。 対処は必要ありません。

NAT5746 : 連続実行でエラー。

テキスト	ESY5746 連続実行でエラー。
[説明]	連続要求が失敗しました。 詳細情報は、SYSTEM-MESSAGE-CODE 経由で利用可能です。
[対処]	後で要求を繰り返してください。

NAT5747 : LENGTH または SUBSTRING-LENGTH は不正です。

テキスト	ESY5747 LENGTH または SUBSTRING-LENGTH は不正です。
[説明]	ビュー JOB-VARIABLES に不正な値が指定されました。 考えられる理由は次のとおりです。 - 位置が JV の長さより大きい - サブstringの長さが、位置を引いた JV 長よりも大きい - 位置が JV の長さより大きい
[対処]	値を修正し、再度実行してください。

NAT5748 : 内部 LMS エラーが発生しました。

テキスト	ESY5748 内部 LMS エラーが発生しました。
[説明]	LMS サブプログラムインターフェイスへのコールから、内部 LMS エラーのリターンコードが返されました。詳細情報は、SYSTEM-MESSAGE-CODE 経由で利用可能です。
[対処]	SYSTEM-MESSAGE-CODE をチェックしてください。

NAT5749 : PVS (CATID) は利用できません。

テキスト	ESY5749 PVS (CATID) は利用できません。
[説明]	要求された CATID は、呼び出し側のユーザー ID で利用可能ではありません。
[対処]	可能な対処法はありません。

NAT5750 : オペランドリスト内の無効なオペランド。

テキスト	ESY5750 無効なオペランドリスト。
[説明]	NATURAL PROCESS ビューの使用が正しくありません。対処は必要ありません。

96

Natural システムエラーメッセージ 5751～5800

NAT5751 : 機能を実行するのに十分なメモリがありません。

テキスト	ESY5751 機能を実行するのに十分なメモリがありません。
[説明]	機能を実行するために十分なメモリがありません。 システムプログラマに相談してください。

NAT5752 : メッセージ/メッセージ長が見当たりません。

テキスト	ESY5752 メッセージ/メッセージ長が見当たりません。
[説明]	考えられる理由は次のとおりです。 - メッセージ長が指定されていない - メッセージ長が 4 未満 - フィールド MESSAGE-ARRAY の使用中に、 メッセージ長が 1250 を超えた - フィールド MESSAGE-TEXT の使用中に、 メッセージ長が 250 を超えた - メッセージが指定されていない
[対処]	入力値を修正し、再度実行してください。

NAT5753 : I-T-C 名が見当たりません。

テキスト	ESY5753 I-T-C 名が見当たりません。
[説明]	OPEN、RECEIVE、SEND の各機能には、ITC 名を指定しなければなりません。
[対処]	名前の指定を追加してください。

NAT5754 : 行われませんでした。

テキスト	ESY5754 行われませんでした。
------	--------------------

NAT5755 : **SWITCH** タイプの指定がないか、または不正です。

テキスト	ESY5755 SWITCH タイプの指定がないか、または不正です。
[説明]	スイッチタイプとして、USER も PROCESS も指定されませんでした。
[対処]	スイッチタイプを修正してください。

NAT5756 : ジョブ変数名が見当たりません。または無効です。

テキスト	ESY5756 ジョブ変数名が見当たりません。または無効です。
[説明]	無効な構文が使用されているか、または値が指定されていません。
[対処]	名前の指定を修正してください。

NAT5757 : ユーザー管理中のエラー。

テキスト	ESY5757 ユーザー管理中のエラー。
------	----------------------

NAT5758 : ユーザー **ID** が見当たりません。

テキスト	ESY5758 ユーザー ID が見当たりません。
[説明]	ユーザー名が指定されていません。
[対処]	名前を指定してください。

NAT5759 : 名前が見当たりません。

テキスト	ESY5759 名前が見当たりません。
------	---------------------

NAT5760 : プロセッサ名が見当たりません。

テキスト	ESY5760 プロセッサ名が見当たりません。
------	-------------------------

NAT5761 : 起動オペランドが見当たりません。

テキスト	ESY5761 起動オペランドが見当たりません。
------	--------------------------

NAT5762 : 行／位置が見当たりません。

テキスト	ESY5762 行／位置が見当たりません。
------	-----------------------

NAT5763 : 情報タイプオペランドが見当たりません。

テキスト	ESY5763 情報タイプオペランドが見当たりません。
------	-----------------------------

NAT5764 : バーチャルコールが見当たりません。

テキスト	ESY5764 バーチャルコールが見当たりません。
------	---------------------------

NAT5765 : 必要とされるカタログ ID がアクセス可能ではありません。

テキスト	ESY5765 必要とされるカタログ ID がアクセス可能ではありません。
------	---------------------------------------

NAT5766 : ユーザー ID または端末 ID が見当たりません。

テキスト	ESY5766 ユーザー ID または端末 ID が見当たりません。
[説明]	ユーザーID もプロセッサ／端末名も指定されていません。
[対処]	要求された値を指定してください。

NAT5767 : TSN が見つかりません。

テキスト	ESY5767 TSN が見つかりません。
------	-----------------------

NAT5768 : マクロのリスト内に無効なコマンドがあります。

テキスト	ESY5768 マクロのリスト内に無効なコマンドがあります。
------	--------------------------------

NAT5769 : ショートネームが見当たりません。

テキスト	ESY5769 ショートネームが見当たりません。
------	--------------------------

NAT5770 : 連続名が見当たりません。

テキスト	ESY5770 連続名が見当たりません。
------	----------------------

NAT5771 : 情報が見つかりません。

テキスト	ESY5771 情報が見つかりません。
[説明]	指定した要求の情報がありません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5772 : **BS2000** コマンドはエラーが返りました。

テキスト	ESY5772 BS2000 コマンドはエラーが返りました。
------	--------------------------------

NAT5773 : 新バージョンのオペランドが見当たりません。

テキスト	ESY5773 新バージョンのオペランドが見当たりません。
------	-------------------------------

NAT5774 : コアが利用できません。

テキスト	ESY5774 コアが利用できません。
[説明]	ESY ユーザーブロックを割り当てるために利用可能な十分なスペースがありません。
[対処]	Software AG に連絡してください。

NAT5775 : 不正なプライオリティ値が指定されています。

テキスト	ESY5775 不正なプライオリティ値が指定されています。
------	-------------------------------

NAT5776 : 要求はキャンセルされました。

テキスト	ESY5776 要求はキャンセルされました。
[説明]	ユーザーがタイムアウトになったので、要求は内部的にキャンセルされました。

NAT5777 : 要求は異常終了しました。

テキスト	ESY5777 要求は異常終了しました。
[説明]	内部エラーが発生しました。 簡潔な異常終了情報は、ジョブログに含まれています。
[対処]	システムプログラマに相談してください。Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5778 : コマンドを実行できません - APF 認可されていません。

テキスト	ESY5778 コマンドを実行できません - APF 認可されていません。
[説明]	NATURAL PROCESS ニュークリアスは、認可された APF を実行できません。
[対処]	システムプログラマに相談してください。

NAT5779 : IDCAMS ユーティリティは異常終了しました。

テキスト	ESY5779 IDCAMS ユーティリティは異常終了しました。
[説明]	IDCAMS ユーティリティは異常終了しました。
[対処]	詳細については、ジョブログをチェックしてください。

NAT5780 : 終了コードは OK ではありません。

テキスト	ESY5780 終了コードは OK ではありません。
[説明]	要求の実行は成功しませんでした。
[対処]	要求の入力データをチェックしてください。

NAT5781 : ワークエリア拡張のためのストレージを得ることができません。

テキスト	ワークエリア拡張のためのストレージを得ることができません。
[説明]	ワークエリア拡張のためのストレージを得る要求が失敗しました。
[対処]	Entire System Server のリージョンサイズを 16 MB を超えるサイズに増やします。

NAT5782 : :2: の :1: からエラーが返されました。RC :3:、理由 :4:。

テキスト	ESY5782 ... の ... からエラーが返されました。RC ..., 理由 ...。
[説明]	VTOC を読み込もうとしているときに、要求が失敗しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5783 : :1: をアロケートすることができません。RC :2:、理由 :3:。

テキスト	ESY5783 ... をアロケートすることができません。RC ...、理由 ...。
[説明]	指定されたボリュームは、アロケートすることができませんでした。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5784 : :1: 上の VTOC を開くことができません。RC :2:。

テキスト	ESY5784 ... 上の VTOC を開くことができません。RC ...
[説明]	OPEN 要求が、指定したボリューム上の VTOC で失敗しました。
[対処]	再試行してください。問題が解決しない場合は、システムプログラマに連絡してください。

NAT5785 : CVAF :1: は、RC :2: および CVSTAT :3: により失敗しました。

テキスト	ESY5785 CVAF ... は、RC ... および CVSTAT ... により失敗しました。
[説明]	共通 VTOC アクセス機能に対する要求が失敗しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5786 : CSI ワークエリアのためのストレージを得ることができません。

テキスト	CSI ワークエリアのためのストレージを得ることができません。
[説明]	CSI ワークエリアのためのストレージを得る要求が失敗しました。
[対処]	Entire System Server のリージョンサイズを 16 MB を超えるサイズに増やします。

NAT5787 : CSI 要求は失敗しました。モジュール :1:、理由 :2:、RC :3:。

テキスト	ESY5787 CSI 要求は失敗しました。モジュール ...、理由 ...、RC ...。
[説明]	カタログ検索インターフェイスへの要求は失敗しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5788 : シンボル :1: を代用することができません。RC :2:。

テキスト	ESY5788 シンボル ... を代用することができません。RC ...。
[説明]	システムシンボルにテキストを代用する要求が失敗しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5789 : :1: のための UCB コピーを得ることができません。RC :2:

テキスト	ESY5789 ... のための UCB コピーを得ることができません。RC ...
[説明]	指定したボリュームのための UCB コピーを得る要求が失敗しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5799 : ENTIRE SYSTEM SERVER 内部エラー。

テキスト	ESY5799 ENTIRE SYSTEM SERVER 内部エラー。
[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	SAG サポートに連絡してください。

NAT5800 : 指定されたレベルは、データセット名です。

テキスト	ESY5800 指定されたレベルは、データセット名です。
[説明]	指定されたレベル名は、データセット名です。
[対処]	対処は必要ありません。

97

Natural システムエラーメッセージ 5801～5850

NAT5801 : ジョブが見つかりません。

テキスト	ESY5801 ジョブが見つかりません。
[説明]	要求されたジョブは見つかりませんでした。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5802 : CSA エリアのための GETMAIN は失敗しました。

テキスト	ESY5802 CSA エリアのための GETMAIN は失敗しました。
[説明]	メインストレージにアクセスしようとしたが、CSA エリアのための GETMAIN は失敗しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5803 : データにアクセスすることができません。

テキスト	ESY5803 データにアクセスすることができません。
[説明]	メインストレージにアクセスしようとしたが、指定したデータにアクセスすることができません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5804 : データにアクセスする要求は、タイムアウトです。

テキスト	ESY5804 データにアクセスする要求は、タイムアウトです。
[説明]	メインストレージにアクセスされました。また、SRBは、アドレススペース内で実行するようにスケジュールされました。SRBは10秒以内で終了しなければなりません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5805 : TCB アドレスは無効です。

テキスト	ESY5805 TCB アドレスは無効です。
[説明]	無効な TCB-ADDRESS が指定されました。
[対処]	正しい TCB-ADDRESS を指定してください。

NAT5806 : カタログ上で永久 I/O エラー。

テキスト	ESY5806 カタログ上で永久 I/O エラー。
[説明]	カタログへのアクセス中に、永久 I/O エラーが発生しました。
[対処]	これはハードウェア障害の可能性があります。データセンターに連絡してください。

NAT5807 : 無効なトラックアドレス。

テキスト	ESY5807 無効なトラックアドレス。
[説明]	無効なトラックアドレスが指定されました。
[対処]	有効なトラックアドレスを指定してください。

NAT5809 : サブシステムはアクティブではありません。

テキスト	ESY5809 サブシステムはアクティブではありません。
[説明]	<p>関連するサブシステムは、適切に起動されていません。そのため、要求された機能は、ESY のこの実行で利用可能ではありません。</p> <p>次のビューは、BS2000/OSD 上でこのエラーコードを返します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ビュー SPOOL-QUEUE、SPOOL-FILES、WRITE-SPOOL (SPOOL=NONE が定義されている場合) - ビュー SEND-MESSAGE、CONSOLE (CONSOLE タスクが実行中でない場合) - ビュー CONSOLE、EVENTING (EVENTING タスクが実行中でない場合)
[対処]	管理者に連絡して、次の ESY 実行のためにサブシステムの起動を依頼してください。

NAT5810 : 終了処理中に、カタログ内でエラーが検知されました。

テキスト	ESY5810 終了処理中に、カタログ内でエラーが検知されました。
[説明]	カタログ構造内でエラーが検知されました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5811 : 指定されたレベルは、空のインデックスです。

テキスト	ESY5811 指定されたレベルは、空のインデックスです。
[説明]	指定されたレベルは、空のインデックスです。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5820 : 未知のコマンドです。

テキスト	ESY5820 未知のコマンドです。
[説明]	NATURAL PROCESS にとって未知のコマンドが入力されました。
[対処]	コマンドのスペルや構文をチェックしてください。 コマンドが NATURAL コマンドかどうか確認してください。

NAT5821 : ジョブはもはやアクティブではありません。

テキスト	ESY5821 ジョブはもはやアクティブではありません。
[説明]	アクティブでなくなったジョブにアクセスしようとしてしました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5822 : JES3 スプール上で論理エラー。

テキスト	ESY5822 JES3 スプール上で論理エラー。
[説明]	JES3 スプールデータセットの読み込み中に論理エラーが発生しました。
[対処]	再試行してください。エラーがまだ続く場合は、JES3 スプール上のコントロールブロックが不正であることを示していると考えられます（ハードウェア障害が原因となっている可能性があります）。

NAT5823 : 入力キュー内のジョブが要求されました。

テキスト	ESY5823 入力キュー内のジョブが要求されました。
[説明]	入力キューに格納されているジョブの出力データにアクセスしようとしてしました。
[対処]	ジョブが処理されるまで待ってください。

NAT5824 : JES3 スプール上で I/O エラー。

テキスト	ESY5824 JES3 スプール上で I/O エラー。
[説明]	JES3 スプールへの READ 操作が、正常に終了しませんでした。
[対処]	ハードウェアの障害が原因と考えられます。JES3 ウォームスタート (分析付き) を検討してください。

NAT5825 : JES3 コマンドデータセットはいっぱいです。

テキスト	ESY5825 JES3 コマンドデータセットはいっぱいです。
[説明]	JES3 コマンドデータセットへの WRITE 操作は、データセットがいっぱいのために失敗しました。
[対処]	スペースが利用可能になるまで待ってください。

NAT5826 : JES3 コマンドデータセット上にて I/O エラーで失敗しました。

テキスト	ESY5826 JES3 コマンドデータセットに I/O エラーが発生しました。
[説明]	JES3 コマンドデータセットに WRITE しようとしたが失敗しました。
[対処]	これはハードウェア障害の可能性があります。エラーが続く場合は、JES3 コマンドデータセットを再配置することをお勧めします。

NAT5830 : JES インターフェイスはアクティブではありません。

テキスト	ESY5830 JES インターフェイスはアクティブではありません。
[説明]	JESインターフェイスは、アクティブではありません。
[対処]	NATURAL PROCESS システムパラメータモジュール内の JES パラメータをチェックしてください。

NAT5831 : キューの初期化中にエラー。

テキスト	ESY5831 キューの初期化中にエラー。
[説明]	JES コントロールブロックの読み込み中に、エラーが発生しました。
[対処]	これはハードウェア障害の可能性があります。データセンターに連絡してください。

NAT5832 : キューのオープン中にエラー。

テキスト	ESY5832 キューのオープン中にエラー。
[説明]	JES スプールデータセットのオープン中に、エラーが発生しました。
[対処]	システムプログラマに相談してください。

NAT5833 : このジョブの変更は認められていません。

テキスト	ESY5833 このジョブの変更は認められていません。
[説明]	ジョブを変更しようとした。このユーザーには、指定されたジョブを変更する権限がありません。このエラーメッセージは、NATURAL PROCESS インターフェイスのセキュリティシステムによって発行されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5834 : コマンドは失敗しました。MGCRE RC = :1:。

テキスト	ESY5834 コマンドは失敗しました。MGCRE RC = ...。
[説明]	内部 JES またはシステムコマンドを発行する要求が失敗しました。
[対処]	システムプログラマに相談してください。Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5840 : VTAM オペレータ ACB はオープンしていません。

テキスト	ESY5840 VTAM オペレータ ACB はオープンしていません。
[説明]	VTAM オペレータ ACBは、初期化中にオープンされませんでした。
[対処]	アクティブな VTAM サポートがシステムパラメータによって要求されていないか、または初期化中にオープンエラーが発生しました。ジョブログには、詳細な情報が含まれています。

NAT5841 : SENDCMD 内でエラー - RTNCD=:1: FDBK2=:2:。

テキスト	ESY5841 SENDCMD 内でエラー - RTNCD=... FDBK2=...。
[説明]	コマンドの送信中に VTAM エラーが発生しました。 注：フィールド ERROR-TEXT が指定されている場合、さらに詳細なメッセージが返されます。
[対処]	要求されたコマンドをチェックしてください。RTNCD および FDBK2 値は、適切な VTAM ドキュメント内に定義されています。

NAT5842 : VTAM コマンドが無効です。

テキスト	ESY5842 VTAM コマンドが無効です。
[説明]	無効な VTAM コマンドが要求されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5843 : プリンタは利用可能ではありません。

NAT5844 : バッファは印刷されるのを待っています。

NAT5845 : プリンタは、ユーザー :1: のためにアクティブです。

テキスト	ESY5845 プリンタは、ユーザー ... のためにアクティブです。
[説明]	別のユーザーがプリンタを使用しています。
[対処]	プリンタが使用中でなくなるまで、待ってください。

NAT5846 : 結果を得るために関数 **STATUS** を使用してください。

NAT5847 : 出力モード **ASIS** エラー。

NAT5849 : 出力に失敗しました。 **Fct=:1: FD=:2: S=:3:**。

テキスト	ESY5849 出力に失敗しました。 Fct=... FD=... S=...。
[説明]	出力要求に失敗しました。詳細については、FUNCTION、FEEDBACK、および STATUS の変数データをチェックしてください。 VTAM ドキュメント内に、これらのフィールドの説明があります。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5850 : VTOC を処理するときのエラー :1:。

98

Natural システムエラーメッセージ 5851～5900

NAT5851 : ファイルはボリューム上にありません。

テキスト	ESY5851 ファイルはボリューム上にありません。
[説明]	要求したファイルは、指定したボリューム上に存在しません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5852 : パスワードが供給されていません／**VSAM** データスペース。

テキスト	ESY5852 パスワードが供給されていません／VSAM データスペース。
[説明]	パスワードで保護された VSAM ファイルにアクセスしようとする前に、パスワードが指定されていませんでした。
[対処]	パスワードを指定してください。

NAT5853 : 保存期限が終わっていません／**NEWNAME** は存在します。

テキスト	ESY5853 保存期限が終わっていません／NEWNAME は存在します。
[説明]	VTOC-UPDATE RENAME 機能が試みられましたが、保存期限が過ぎていないため、NEWNAME はまだ存在します。
[対処]	異なる NEWNAME を指定するか、または保存期限が過ぎるまで待ってください。

NAT5854 : 永久 I/O エラー。

テキスト	ESY5854 永久 I/O エラー。
[説明]	永久 I/O エラーが検知されました。
[対処]	これはハードウェア障害の可能性があります。データセンターに連絡してください。

NAT5855 : ボリュームがマウントされません。

テキスト	ESY5855 ボリュームがマウントされません。
[説明]	要求されたボリュームは、マウントされませんでした。
[対処]	要求を再発行する前に、そのボリュームがマウントされているかどうか確かめてください。

NAT5856 : オペレータは、ボリュームをマウントすることができません。

テキスト	ESY5856 オペレータは、ボリュームをマウントすることができません。
[説明]	オペレータは、ボリュームをマウントすることができません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5857 : ファイルは使用中です。

テキスト	ESY5857 ファイルは使用中です。
[説明]	ファイルは使用中です。
[対処]	しばらくしてから再試行してください。

NAT5858 : 認可されませんでした。

テキスト	ESY5858 認可されませんでした。
[説明]	セキュリティ違反が検知されました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5859 : ファイル定義は、RACF により削除されません。

テキスト	ESY5859 ファイル定義は、RACF により削除されません。
[説明]	ファイル定義は、RACF により削除されませんでした。
[対処]	RACF ファイル削除を実行してください。

NAT5860 : **MSHP** コントロール環境下のメンバ、または **MSHP** バイパスと交換されました。

テキスト	ESY5860 MSHP コントロール環境下のメンバ、または MSHP バイパスと交換されました。
[説明]	上書きされるメンバは MSHP コントロール環境にあるか、または MSHP バイパスと交換されました。
[対処]	MSHP バイパスが要求されたことを示すために、MSHP=YES を使用してください。

NAT5861 : **SYSIPT** データを含んだメンバ。

テキスト	ESY5861 SYSIPT データを含んだメンバ。
[説明]	上書きするメンバには、SYSIPT データが含まれています。
[対処]	INLINE-DATA=YES を使用して、要求された SYSIPT データを確認するか、または INLINE-DATA=OFF を使用して、SYSIPT インジケータのスイッチをオフにしてください。

NAT5870 : **RECORD** フィールドは、サーチバッファ内にありません。

テキスト	ESY5870 RECORD フィールドは、サーチバッファ内にありません。
[説明]	WRITE-FILE には RECORD を指定しなければなりません。
[対処]	RECORD 値を指定してください。

NAT5871 : **MEMBER/MEMBER-TYPE** は指定されていません。

テキスト	ESY5871 MEMBER/MEMBER-TYPE は指定されていません。
[説明]	メンバ名またはメンバタイプ、あるいはその両方を指定していませんでした。
[対処]	メンバ名またはメンバタイプ、あるいはその両方を指定してください。

NAT5872 : レコードフォーマットはサポートされていません。

テキスト	ESY5872 レコードフォーマットはサポートされていません。
[説明]	要求されたデータセットのレコードフォーマットは、サポートされていません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5873 : **RECORD-LENGTH** が見当たりません。

テキスト	ESY5873 RECORD-LENGTH が見当たりません。
[説明]	RECORD-LENGTH 値が見当たりません。
[対処]	RECORD-LENGTH 値を指定してください。

NAT5874 : RECORD-LENGTH > LRECL。

テキスト	ESY5874 RECORD-LENGTH > LRECL。
[説明]	データセットの LRECL より大きな RECORD-LENGTH 値が指定されました。
[対処]	正しい RECORD-LENGTH 値を指定してください。

NAT5875 : データフィールドの位置 > RECORD-LENGTH。

テキスト	ESY5875 データフィールドの位置 > RECORD-LENGTH。
[説明]	このビューコールに、無効なパラメータが指定されました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5876 : CHANGE 要求のための新規フィールドがありません。

テキスト	ESY5876 CHANGE 要求のための新規フィールドがありません。
[説明]	CHANGE 要求に、NEW-CLASS、NEW-DESTINATION、または NEW-USERID フィールドが指定されていません。
[対処]	"NEW-" 値を指定してください。

NAT5877 : VSAM (SHOWCAT) 処理エラー。

テキスト	ESY5877 VSAM (SHOWCAT) 処理エラー。
[説明]	要求された VSAM ファイルの処理中に SHOWCAT エラーが検知されました。このことは一般的に、要求されたファイルが VSAM クラスタまたは VSAM 以外のファイルでなく、VSAM カタログなど、ファイル以外の VSAM オブジェクトであることを示しています。このファイルに関する情報は表示できません。

NAT5878 : ボリュームは、DYNAM/D プール名として定義されました。

テキスト	ESY5878 ボリュームは、DYNAM/D プール名として定義されました。
[説明]	要求されたボリュームは、DYNAM/D "バーチャル" プール名として、Entire System Server に定義されます。要求された機能は実行できません。

NAT5881 : ファイルのオープン中にエラーが発生しました。

テキスト	ESY5881 ファイルのオープン中にエラーが発生しました。
[説明]	OPEN 中にエラーが発生しました。
[対処]	データセットのステータスをチェックします。

NAT5882 : ファイルのクローズ中にエラーが発生しました。

テキスト	ESY5882 ファイルのクローズ中にエラーが発生しました。
[説明]	CLOSE 中にエラーが発生しました。
[対処]	データセットのステータスをチェックします。

NAT5883 : データセットはいっぱいです。

テキスト	ESY5883 データセットはいっぱいです。
[説明]	データセットがいっぱいです。
[対処]	PDS を圧縮するか、またはデータセットサイズを増やしてください。

NAT5886 : イベントは使用中です。

テキスト	ESY5886 イベントは使用中です。
[説明]	他のユーザーが待っていたイベントを削除しようとしてしました。
[対処]	イベントを削除する前に、"POST" 要求を発行してください。

NAT5887 : イベントはすでに定義されています。

テキスト	ESY5887 イベントはすでに定義されています。
[説明]	すでに存在するイベントを定義しようとしてしました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5888 : イベント名を指定しなければなりません。

テキスト	ESY5888 イベント名を指定しなければなりません。
[説明]	"EVENTING" 要求が、イベント名を指定しないで発行されました。
[対処]	イベント名を指定してください。

NAT5889 : データセットの書き込み中に永久 I/O エラー。

テキスト	ESY5889 データセットの書き込み中に永久 I/O エラー。
[説明]	WRITE アクセス中に I/O エラーが検知されました。
[対処]	これはハードウェア障害の可能性があります。データセンターに連絡してください。

NAT5890 : イベントは存在しません。

テキスト	ESY5890 イベントは存在しません。
[説明]	指定されたイベントは存在しません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5891 : イベント待ち中にタイムアウト。

テキスト	ESY5891 イベント待機中にタイムアウト。
[説明]	イベントが送られる前にタイムアウトが発生しました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5893 : **Getmain** に失敗しました。

テキスト	ESY5893 Getmain に失敗しました。
[説明]	要求を続けることができる十分なストレージがありませんでした。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5894 : 有効なイベントが失敗しました。

テキスト	ESY5894 有効なイベントが失敗しました。
[説明]	内部イベントエラーが発生しました。
[対処]	Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5895 : **:1:** を指定しなければなりません。

テキスト	ESY5895 :1: を指定しなければなりません。
[説明]	必要な値 :1: が指定されませんでした。
[対処]	必要な値を指定してください。

NAT5896 : 電子メールを送信しているときにエラーが発生しました。

テキスト	ESY5896 電子メールを送信しているときにエラーが発生しました。
[説明]	電子メール処理中に深刻なエラーが発生しました。 詳細は、副機能とレスポンスコードを識別するフィールド SYSTEM-MESSAGE に返されます。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT5897 : メール配布機能のレスポンス : :1:

テキスト	ESY5897 メール配布機能のレスポンス : :1:
[説明]	メール配信機能で電子メール処理中に、エラー :1: が発生しました。 重大なエラーが起こった場合、電子メールは受信者（複数可）に配信されませんでした。
[対処]	Entire System Server 管理者に連絡してください。メール配信機能の レポートに、詳細なエラー診断が含まれている場合があります。

NAT5899 : データセットの読み取り中に永久 I/O エラー。

テキスト	ESY5899 : データセットの読み取り中に永久 I/O エラー。
[説明]	READ アクセス中に I/O エラーが検知されました。
[対処]	これはハードウェア障害の可能性があります。データセンターに連絡してください。

NAT5900 : **SYSOUT** データセットをアロケートすることができません。

テキスト	ESY5900 SYSOUT データセットをアロケートすることができません。
[説明]	SYSOUT データセットのダイナミックアロケーションに失敗しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

99

Natural システムエラーメッセージ 5901～5950

NAT5901 : 内部リーダーをアロケートできません。

テキスト	ESY5901 内部リーダーをアロケートできません。
[説明]	内部リーダーのダイナミックアロケーションに失敗しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5902 : ダイナミックアロケーションに失敗しました。

テキスト	ESY5902 ダイナミックアロケーションに失敗しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5903 : 一時的データセットのためのダイナミックアロケーションに失敗しました。

テキスト	ESY5903 一時的データセットのためのダイナミックアロケーションに失敗しました。
[説明]	一時的データセットのためのダイナミックアロケーションに失敗しました。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5904 : 編集は許可されていません (SCLM プロテクション)。

テキスト	ESY5904 編集は許可されていません (SCLM プロテクション)。
[説明]	選択された PDS メンバは、SCLM により保護されています。 このメンバに許可されるのは参照のみです。 すべての更新アクションは拒絶されます。
[対処]	メンバを解放するために、SCLM ダイアログを使用してください。

NAT5906 : DESERV :1: エラー、R15=:2:、R0=:3:。

テキスト	ESY5906 DESERV :1: エラー、R15=:2:、R0=:3:。
[説明]	DESERV マクロが発行され、予期しないエラーが発生しました。関数および R15 と R0 の値が表示されています。
[対処]	R15 と R0 の値をチェックし、必要な場合は Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5907 : DSPSERV :1: エラー、R15=:2:、R0=:3:。

テキスト	ESY5907 DSPSERV :1: エラー、R15=:2:、R0=:3:。
[説明]	DPSERV マクロが発行され、予期しないエラーが発生しました。関数および R15 と R0 の値が表示されています。
[対処]	R15 と R0 の値をチェックし、必要な場合は Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5908 : ALESERV :1: 障害、R15=:2:、R0=:3:。

テキスト	ALESERV :1: エラー、R15=:2:、R0=:3:。
[説明]	ALESERV マクロが発行され、予期しないエラーが発生しました。関数および R15 と R0 の値が表示されています。
[対処]	R15 と R0 の値をチェックし、必要な場合は Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5909 : JCL コマンド内で構文エラー。

テキスト	ESY5909 JCL コマンド内で構文エラー。 .
[説明]	構文エラーが検知されました。
[対処]	JCL をチェックして、エラーを修正してください。

NAT5921 : ENTIRE SYSTEM SERVER ノードテーブルはリンクされていません。

テキスト	ESY5921 ENTIRE SYSTEM SERVER ノードテーブルはリンクされていません。
[説明]	ENTIRE SYSTEM SERVER ノードテーブルはリンクされていません。
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT5922 : ENTIRE SYSTEM SERVER ノード :1: はアクティブではありません。

テキスト	ESY5922 Entire System Server ノード :XXXXXXXXXXXXXXXXX: はアクティブではありません。
[対処]	オペレータまたはシステムプログラマに連絡してください。

NAT5923 : ENTIRE SYSTEM SERVER の呼び出し中に :1: エラー。

NAT5924 : バイナリディスクリプタは、データベースにてサポートされていません。

NAT5925 : PE グループ内の MU フィールドは、データベースにてサポートされていません。

NAT5926 : 1つのファイルに対する同時インデックス検索が多すぎます (最大 2)。

100

Natural システムエラーメッセージ 5951～6000

NAT5960 : 内部エラー - 無効なファンクションコード (**NOMPUT-N**) 。

NAT5961 : 内部エラー - レポートは開かれていません。

NAT5962 : 内部エラー - 印刷行の圧縮中にエラー。

NAT5963 : 内部エラー - 無効な **CC** タイプを指定。

NAT5964 : 内部エラー - 無効なソースタイプを指定。

NAT5965 : 内部エラー - 無効な **NAF DBID**。

NAT5966 : 内部エラー - 無効な **NAF FNR**。

NAT5967 : 内部エラー - 無効な論理プリンタ番号 (**1-31**) 。

NAT5968 : 内部エラー - 無効なユーザー **ID** の指定。

NAT5969 : 内部エラー - 無効な **PROGRAM** を指定。

NAT5970 : 内部エラー - 無効な **LIBRARY** を指定。

NAT5971 : 内部エラー - 無効な **LPF** を指定。

NAT5972 : 内部エラー - 無効なファンクションコード (**NOMPUTQN**) 。

NAT5973 : **NOM** コントロールレコードが見当たりません。

NAT5974 : **FSPool** は **NOM** モニタデフォルト内に定義されていません。

NAT5975 : 内部エラー - **CMMPP** の呼び出し中にエラー。

NAT5981 : 無効な値が指定されました (**BLKCTRL/BLKSIZE/LRECL**) 。

テキスト	ESY5981 無効な値が指定されました (BLKCTRL/BLKSIZE/LRECL) 。
[説明]	BLOCK CONTROL 、 BLOCK SIZE 、または RECORD LENGTH に無効な値が指定されました。
[対処]	エラーを修正してください。

NAT5982 : **ISAM-key** の使用中にエラー。

テキスト	ESY5982 ISAM-key の使用中にエラー。
------	-----------------------------------

[説明]	考えられる理由は次のとおりです。 - 重複したキーが DUPEKY=NO に検知されました。 - キーが生成されなければなりません、KEYLEN が 8 バイトより大きい、またはデフォルトの KEYPOS がありません。 - ファイルのキー長が 253 バイトより大きくなっています。 - キーが ISAM ファイル内に見つかりません。 - UPDATE-INPLACE=YES にキーが指定されていません。 - 無効なキー順が検知されました。
[対処]	パラメータまたはファイル属性をチェックしてください。

NAT5983 : :1: は :2: によりサポートされていません。

テキスト	ESY5983 ... は ... によりサポートされていません。
[説明]	状況によっては、一部のビューまたは機能がサポートされません。 例： BS2000/OSD では、ビュー EVENTING はシングルユーザーモードでサポートされません。
[対処]	可能な対処法はありません。

NAT5984 : サーバーはアクセスするためには認可されません。

テキスト	ESY5984 サーバーはアクセスするためには認可されません。
[説明]	ESY サーバータスクには、保護属性を備えた様々なオブジェクトにアクセスする権限がないため、\$TSOS はアクセスできません。
[対処]	可能な対処法はありません。

NAT5985 : テープファイルへのアクセスは許可されていません。

テキスト	ESY5985 テープファイルへのアクセスは許可されていません。
[説明]	テープファイルへのアクセスが要求されましたが、ESY 起動ファイルにパラメータ TAPES=NO が指定されています。
[対処]	ESY の管理者に連絡してください。

NAT5986 : :1: のためのスペースが全然ないか、十分にありません。

テキスト	ESY5986 ... のためのスペースが全然ないか、十分にありません。
[説明]	様々な起動パラメータサイズを超えています。 詳細については、変数テキストを参照してください。
[対処]	ESY の管理者に連絡してください。

NAT5987 : ジョブ変数はすでに存在します。

テキスト	ESY5987 ジョブ変数はすでに存在します。
[説明]	存在しているジョブ変数は、再割り当てできません。
[対処]	入力値をチェックしてください。

NAT5988 : 無効なタスクタイプが検知されました。

テキスト	ESY5988 無効なタスクタイプが検知されました。
[説明]	タスクタイプは 1 から 7 の間の値でなければなりません。
[対処]	プログラムを修正してください。

NAT5989 : 無効な ELEMENT を指定。

テキスト	ESY5989 無効な ELEMENT を指定。
[説明]	要素名はユニークである必要があります。
[対処]	要素名を修正してください。

NAT5990 : フィールド RECORD は、フォーマットバッファ内で見つかりません。

テキスト	ESY5990 フィールド RECORD は、フォーマットバッファ内で見つかりません。
[説明]	"RECORD" フィールドを指定しないでレコードを読み込もうとしました。
[対処]	プログラム内にフィールド RECORD を指定してください。

NAT5991 : 未知の製品です。

テキスト	ESY5991 未知の製品です。
[説明]	無効な "PRODUCT" 値が指定されました。
[対処]	正しい製品コードを指定してください。

NAT5992 : 要求されたジョブ変数が見つかりません。

テキスト	ESY5992 要求されたジョブ変数が見つかりません。
[説明]	要求されたジョブ変数はカタログされていません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5993 : ファイルを開くことができません。

テキスト	ESY5993 ファイルを開くことができません。
[説明]	オープン要求は失敗しました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5994 : ファイルはボリューム上にありません。

テキスト	ESY5994 ファイルはボリューム上にありません。
[説明]	要求されたデータセットは、指定したボリューム上にありません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5995 : ファイルはカタログ内にありません。

テキスト	ESY5995 ファイルはカタログ内にありません。
[説明]	データセットはカタログされていません。
[対処]	VOLSER を指定するか、またはデータセットをカタログしてください。

NAT5996 : ボリュームはオンラインではありません。

テキスト	ESY5996 ボリュームはオンラインではありません。
[説明]	指定されたボリュームは、現在利用可能ではありません。
[対処]	オペレータまたはシステムプログラマに連絡してください。

NAT5997 : データセットは **PDS** またはシーケンシャルではありません。

テキスト	ESY5997 データセットは PDS またはシーケンシャルではありません。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5998 : **MEMBER** が見つかりません。

テキスト	ESY5998 MEMBER が見つかりません。
[説明]	要求されたメンバが見つかりませんでした。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT5999 : ENTIRE SYSTEM SERVER ノード :1: はアクティブではありません。

テキスト	ESY5999 ENTIRE SYSTEM SERVER ノード ... はアクティブではありません。
[対処]	オペレータまたはシステムプログラマに連絡してください。

NAT6000 : エラーテキストは利用可能ではありません。

テキスト	エラーテキストは利用可能ではありません。
------	----------------------

101

Natural システムエラーメッセージ 6001～6050

NAT6001 : NSD モデルにドメイン参照がありません。

テキスト	NSD モデルにドメイン参照がありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6002 : 入力が、複数のドメインに存在しない未修飾の ERE です。

テキスト	入力が、複数のドメインに存在しない未修飾の ERE です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6003 : ドメイン/値には "OR" を指定してください。

テキスト	ドメイン/値には "OR" を指定してください。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6004：入力が正しくありません。モデルが単一です。

テキスト	入力が正しくありません。モデルが単一です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6005：組み込み ID がありません。

テキスト	組み込み ID がありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6006：ドメイン／値の指定で、","の後の入力が正しくありません。

テキスト	ドメイン／値の指定で、","の後の入力が正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6007：ここでは、ドメインに "DDE" を指定できません。

テキスト	ここでは、ドメインに "DDE" を指定できません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6008：AX ノードが必要です。

テキスト	AX ノードが必要です。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6009 : サーチバッファ内のテキストが予期せず終了しています。

テキスト	サーチバッファ内のテキストが予期せず終了しています。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6010 : エラーハンドラ内の反復が正しくありません。

テキスト	エラーハンドラ内の反復が正しくありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。 DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6011 : モデルの属性サブリストが見つかりません。

テキスト	モデルの属性サブリストが見つかりません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6012 : ユーザーまたは DLOGON ライブラリが見つかりません。

テキスト	ユーザーまたは DLOGON ライブラリが見つかりません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6013 : 記述属性に不正なフォーマットが指定されました。

テキスト	記述属性に不正なフォーマットが指定されました。
[説明]	記述的な属性の場合、それぞれに特定のフォーマットのみが許可されています。 このエラーは、記述属性の定義が間違っている場合か、 またはダイレクトコールのフォーマットバッファに不正なフォーマットが定義されている 場合に発生します。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT6014 : 組み込み (ext) ルーチンからの不正なレスポンスコード。

テキスト	組み込み (ext) ルーチンからの不正なレスポンスコード。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試 みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6015 : 格納されている新規オカレンスがバッファにありません。

テキスト	格納されている新規オカレンスがバッファにありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試 みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6016 : 1 ページも取得されませんでした (矛盾)。

テキスト	1 ページも取得されませんでした (矛盾)。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試 みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6017 : コアにあるべきページ **ISN** がありません。

テキスト	コアにあるべきページ ISN がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6018 : 関係グループの **AX** ノードが見つかりませんでした。

テキスト	関係グループの AX ノードが見つかりませんでした。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6019 : **DLOGON** ライブラリまたはユーザーを削除しようとしてしました。

テキスト	DLOGON ライブラリまたはユーザーを削除しようとしてしました。
[説明]	現在の DLOGON ライブラリ またはユーザーは削除できません。
[対処]	GLOBAL-LIBRARY または別のユーザーに DLOGON を指定してください。 ライブラリまたはユーザーの削除を再実行してください。

NAT6021 : コンポーネントサブリストがありません。

テキスト	コンポーネントサブリストがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6022 : PENDING CHANGE RECORDS への参照がオカレンスにありません。

テキスト	PENDING CHANGE RECORDS への参照がオカレンスにありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6023 : 存在しない ERE への参照が DV ノード (EXPORT) に見つかりました。

テキスト	存在しない ERE への参照が DV ノード (EXPORT) に見つかりました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6024 : 最上位レベルのサブリストにあるノード数は 0 です。

テキスト	最上位レベルのサブリストにあるノード数は 0 です。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6025 : 複数のサブリストが割り当てられています。

テキスト	複数のサブリストが割り当てられています。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6026 : "RECURSIVELY" は属性リストには許可されません。

テキスト	"RECURSIVELY" は属性リストには許可されません。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6027 : 属性／コンポーネントサブリストに不正な接続子を使用されています ("OR" または ";" は不可)。

テキスト	属性／コンポーネントサブリストに不正な接続子を使用されています ("OR" または ";" は不可)。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6028 : オカレンスに指定できる属性は 1 つのみです。

テキスト	オカレンスに指定できる属性は 1 つのみです。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6029 : UPDATE コマンドの DELETE 節に不正な入力があります。

テキスト	UPDATE コマンドの DELETE 節に不正な入力があります。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6030 : ドメイン／値の指定には属性オプションを使用できません。

テキスト	ドメイン／値の指定には属性オプションを使用できません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6031 : ドメイン要素は有効な ERE 名ではありません。

テキスト	ドメイン要素は有効な ERE 名ではありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6033 : カテゴリに対するカテゴリ修飾が不正です。

テキスト	カテゴリに対するカテゴリ修飾が不正です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6034 : カテゴリの修飾として、存在しない ERE が入力されました。

テキスト	カテゴリの修飾として、存在しない ERE が入力されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6035 : カテゴリの修飾が不正です。

テキスト	カテゴリの修飾が不正です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6036 : 内部エラー。変更のための参照が見つかりません。

テキスト	内部エラー。変更のための参照が見つかりません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6037 : カテゴリを削除しようとしたますが、オカレンスが関係しています。

テキスト	オカレンスが関係しているため、カテゴリの削除が拒否されました。
[説明]	次のいずれかの理由により、カテゴリの削除が拒否されました。 1) 削除しようとしたカテゴリが、オカレンスの存在している ER カテゴリです。 2) 削除するカテゴリが属性になっているなどの理由により、ダミーでないオカレンスが存在している ER カテゴリが無効になります。 詳細については、Entire DB のドキュメントを参照してください。
[対処]	カテゴリを削除する前に、関係しているオカレンスを削除してください。

NAT6038 : オカレンスが関係しているため、カテゴリの更新が拒否されました。

テキスト	オカレンスが関係しているため、カテゴリの更新が拒否されました。
[説明]	次のような場合、カテゴリの更新は拒否されます。 1) 存在しない属性をエンティティカテゴリまたはグループカテゴリに追加するなどの理由により、ダミーでないオカレンスでエンティティカテゴリが無効になります。 2) カテゴリの更新では、属性が削除される場合などに、オカレンスの変更が必要になります（例外として、逆方向でない記述属性は常に削除可能です）。 詳細については、Entire DB のドキュメントを参照してください。
[対処]	1) 属性として使用する前に属性カテゴリを定義してください。 2) カテゴリを更新する前に、関係しているオカレンスを削除してください。

NAT6040 : サブリストがありません。

テキスト	サブリストがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6041 : モデル内に属性サブリストがありません。

テキスト	モデル内に属性サブリストがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6042 : 関係要素は更新できません（格納のみ可能）。

テキスト	関係の関係要素は更新できません。
[説明]	関係要素は関係の格納時に定義され、 更新することはできません。
[対処]	関係を削除して新しい関係を格納してください。

NAT6043 : "STORE NAMES" カテゴリのオカレンスのプライマリ名を変更しようとしてしました。
プライマリ名を変更しようとしてしました。

テキスト	"STORE NAMES" オプションを使用して定義したエンティティカテゴリのオカレンスのプライマリ名を変更しようとしてしました。
[説明]	"STORE NAMES" オプションを使用して 定義したエンティティカテゴリのオカレンスのプライマリ名は 変更できません。その理由は、このオプションを使用すると、 参照されたオカレンスのプライマリ名が参照元の ERE に格納されてリンケージ属性の最適化が 図られ、参照先の ERE を参照する ERE を すべて更新する必要があるためです。
[対処]	エンティティを削除して、新しい名前新しいエンティティを 格納するか、または Entire DB 管理者に連絡し、 Entire DB データベースを再編成してください。

NAT6044 : "DELETE" 本文が正しくありません。

テキスト	"DELETE" 本文が正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される 内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6045 : より高いレベルのカテゴリ更新が無効になりました。サブカテゴリ。

テキスト	より高いレベルのカテゴリ更新が無効になりました。サブカテゴリ。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6046 : 追加しようとした属性/コンポーネント/ドメイン要素が、カテゴリ内にすでに存在しています。

テキスト	追加しようとした属性/コンポーネント/ドメイン要素が、カテゴリ内にすでに存在しています。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6047 : 変更タイプが正しくありません。

テキスト	変更タイプが正しくありません。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6049 : 実装されていません。複数バージョンカテゴリのサブカテゴリです。

テキスト	実装されていません。複数バージョンカテゴリのサブカテゴリです。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

102

Natural システムエラーメッセージ 6051～6100

NAT6051 : **MULTIPLE VERSIONS + LIBRARY INDEPENDENT** : 相互に排他的です。

テキスト	MULTIPLE VERSIONS + LIBRARY INDEPENDENT : 相互に排他的です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6052 : "**MULTIPLE VERSIONS**" は、エンティティの **cat.** および **rel.** にのみ 使用できません。

テキスト	"MULTIPLE VERSIONS" は、エンティティの cat. および rel. にのみ 使用できます。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6053 : ドメインカテゴリの唯一のドメイン要素を削除しようとしてしました。

テキスト	ドメインカテゴリの唯一のドメイン要素を削除しようとしてしました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6054 : 空値省略オプションが矛盾しています。

テキスト	空値省略オプションが矛盾しています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6056 : カテゴリテーブルが正しくありません。

テキスト	カテゴリテーブルが正しくありません。
[説明]	EXPORT/IMPORT には、正しいカテゴリテーブルが必要です。
[対処]	正しいカテゴリテーブルが含まれている Natural システムでエクスポート/インポートを再実行してください。

NAT6057 : "UNLOAD" オプションが矛盾しています。

テキスト	"UNLOAD" オプションが矛盾しています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6058 : インポート中にワークファイルの不正に早い終了が見つかりました。

テキスト	インポート中にワークファイルの不正に早い終了が見つかりました。
[説明]	適切に終了しなかったエクスポートプログラムによって生成されたワークファイルを使用しているか、インポートプログラムが IMPORT ステートメントで読み込む必要のあるレコードを READ WORKFILE で読み込んでいるか、END OF WORKFILE にすでに到達しているにもかかわらず IMPORT が実行されています。
[対処]	ワークファイルとエクスポート/インポートプログラムをチェックします。エクスポートジョブを再実行するか、エクスポートプログラムまたはインポートプログラムのエラーを修正します。

NAT6059 : カテゴリ "LIBRARY" は新しいディクショナリに定義されていません。

テキスト	カテゴリ "LIBRARY" は新しいディクショナリに定義されていません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6060 : ワークファイルに予期しないレコードタイプが見つかりました。

テキスト	ワークファイルに予期しないレコードタイプが見つかりました。
[説明]	READ WORKFILE で読み込まれるはずのレコードが読み込まれませんでした。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6061 : WF-HEADER の読み込み中に END OF FILE になりました。

テキスト	WF-HEADER の読み込み中に END OF FILE になりました。
[説明]	適切に終了しなかったエクスポートプログラムによって生成されたワークファイルを使用しているか、インポートプログラムが IMPORT ステートメントで読み込む必要のあるレコードを READ WORKFILE で読み込んでいるか、END OF WORKFILE にすでに到達しているにもかかわらず IMPORT が実行されています。
[対処]	ワークファイルとエクスポート/インポートプログラムをチェックします。エクスポートジョブを再実行するか、エクスポートプログラムまたはインポートプログラムのエラーを修正します。

NAT6062 : "ATTRIBUTES" は属性リストには許可されません。

テキスト	"ATTRIBUTES" は属性リストには許可されません。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6063 : グループ属性にカテゴリサブリストがありました。

テキスト	グループ属性にカテゴリサブリストがありました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6064 : 入力した ERE は、属性に対するサブカテゴリではありません。

テキスト	入力した ERE は、属性に対するサブカテゴリではありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6065 : カテゴリへの参照のインポートは実装されていません。

テキスト	カテゴリへの参照のインポートは実装されていません。
[説明]	インポートする ERE はカテゴリを参照しています。 この時点では、そのような参照はロードできません。
[対処]	カテゴリを参照する属性を "NO LOAD/UNLOAD" オプションを使用して定義するか、または EXPORT および IMPORT ステートメントを使用しないでエクスポート/インポートプログラムを記述してください。

NAT6066 : 矛盾：ドメインには ISN がありますが、ERE には ISN がありません。

テキスト	矛盾：ドメインには ISN がありますが、ERE には ISN がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6067 : 名前レコードに不正な名前エントリが見つかりました。

テキスト	名前レコードに不正な名前エントリが見つかりました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6068 : 矛盾："古い" ERE はありますが、カテゴリはありません。

テキスト	矛盾："古い" ERE はありますが、カテゴリはありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6069 : "引き継がれる" オカレンスが存在していません。

テキスト	"引き継がれる" オカレンスが存在していません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6070 : 存在しない ERE にカテゴリ修飾子が見当たりません。

テキスト	存在しない ERE にカテゴリ修飾子が見当たりません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで 사용되는内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6071 : 関係要素が正しくありません。

テキスト	関係要素が正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで 사용되는内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6072 : 存在しない ERE にサブリストが指定されました。

テキスト	存在しない ERE にサブリストが指定されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで 사용되는内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6073 : ドメインに入力されたサブリストがモデルに一致しません。

テキスト	ドメインに入力されたサブリストがモデルに一致しません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6074 : モデルドメインサブリスト内に不正なノードがありました。

テキスト	モデルドメインサブリスト内に不正なノードがありました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6075 : 最上位レベルのサブリストスタックエントリに親アンカーが見当たりません。

テキスト	最上位レベルのサブリストスタックエントリに親アンカーが見当たりません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6076 : オカレンスへの参照のみが許可されます。

テキスト	オカレンスへの参照のみが許可されます。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6077 : サブリストスタックがオーバーフローしました。

テキスト	サブリストスタックがオーバーフローしました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6078 : 予期しないノードです。

テキスト	予期しないノードです。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6079 : カテゴリに拡張レコードが含まれています。

テキスト	カテゴリに拡張レコードが含まれています。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6080 : 削除する拡張レコードがロックされています。

テキスト	削除する拡張レコードがロックされています。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6081 : AD ノードが必要です。

テキスト	AD ノードが必要です。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6082 : プライマリ名を空白に設定しようとしてしました。

テキスト	プライマリ名を空白に設定しようとしてしました。
[説明]	各エンティティには、空白でないプライマリ名が必要です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6083 : 関係に **AMONG** 節が見当たりません。

テキスト	関係に AMONG 節が見当たりません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6084 : リンケージ属性に指定した **ISN** が、**ERE** の **ISN** ではありません。

テキスト	STORE/UPDATE ステートメントでリンケージ属性に ISN を指定しましたが、この ISN のある ERE が存在しません。
[説明]	無効な番号を使用したか、または参照先の ERE が削除されています。
[対処]	参照先の ERE がまだ存在しているかどうかチェックしてください。該当する場合は、プログラムをチェックしてエラーを修正します。

NAT6085 : 格納する **ERE** に名前／関係要素が指定されていません。

テキスト	格納する ERE に名前／関係要素が指定されていません。
[説明]	各エンティティにはプライマリ名が必要で、各関係には少なくとも1つの関係要素が必要です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6086 : リンケージ属性に指定した **ISN** は、バージョンレコードの **ISN** です。

テキスト	リンケージ属性に指定した ISN は、バージョンレコードの ISN です。
[説明]	STORE/UPDATE ステートメントでリンケージ属性に指定した ISN は、バージョンレコードの ISN です。"FIND VERSIONS" ステートメントの * ISN を指定した可能性があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6087：必要なディレクトリ名が見つかりませんでした。

テキスト	必要なディレクトリ名が見つかりませんでした。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6088：処理対象の ERE の ISN は、バージョンの ISN です。

テキスト	処理対象の ERE の ISN は、バージョンの ISN です。
[説明]	エラーの発生したステートメントが、FIND VERSIONS ループに含まれている可能性があります。このステートメントは、現在のバージョンの ERE のみに許可されています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6089：ユーザーの記述した組み込みルーチンがリンクされていません。

テキスト	ユーザーの記述した組み込みルーチンがリンクされていません。
[説明]	ユーザーの記述した組み込みルーチンが使用されています。この組み込みルーチンが Natural にリンクされていません。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT6090：名前重複のエラー。

テキスト	名前重複のエラー。
[説明]	名前は、エンティティカテゴリのライブラリクラスタ内でユニークである必要があります。関係カテゴリでは、関係要素の組み合わせがライブラリクラスタ内でユニークである必要があります。
[対処]	新しい ERE を格納しようとした場合は、既存の ERE を更新してください。 ERE の名前を変更しようとした場合は、ユニークな名前を選択してください。

NAT6092：スタッフィングに不正な属性 ISN が指定されました。

テキスト	スタッフィングに不正な属性 ISN が指定されました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6094 : ワークエリアがオーバーフローしました。

テキスト	ワークエリアがオーバーフローしました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスで、内部ワークエリアのオーバーフローが発生しました。
[対処]	Software AG の Entire DB メンテナンス担当者に連絡してください。

NAT6095 : コマンド ID 管理用のワークエリアがオーバーフローしました。

テキスト	コマンド ID 管理用のワークエリアがオーバーフローしました。
[説明]	アクティブなセットが多すぎます。
[対処]	不要になったセットを解放してください。再実行してください。

NAT6096 : "ERE" の後に続くものが正しくありません。

テキスト	"ERE" の後に続くものが正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6097 : NSD DV ノードが必要です。

テキスト	NSD DV ノードが必要です。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6098 : 0～32 のレポート番号が必要です。

テキスト	0～32 のレポート番号が必要です。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6099 : MAX#RELS < 10 であるため、ルーチン内のコードを変更する必要があります。

テキスト	MAX#RELS < 10 であるため、ルーチン内のコードを変更する必要があります。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6100 : バージョンの削除時に重複名のチェックが行われます。

テキスト	バージョンの削除時に重複名のチェックが行われます。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

103

Natural システムエラーメッセージ 6101～6150

NAT6102 : ライブラリ依存オカレンスを **GLOBAL-LIBRARY** に格納しようとした。

テキスト	ライブラリ依存オカレンスを GLOBAL-LIBRARY に格納しようとした。
[説明]	ライブラリ依存オカレンスは GLOBAL-LIBRARY に格納できません。 DLOGON ステートメントが欠落している可能性があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6103 : 有効になっていないバージョンの **ERE** に対して **TRANSFER** を実行しようとした。

テキスト	有効になっていないバージョンの ERE に対して TRANSFER を実行しようとした。
[説明]	値の入っていない必須属性がある場合、この ERE は有効になりません。 この場合、TRANSFER は許可されません。
[対処]	転送対象のエンティティを更新して有効にしてから再実行してください。

NAT6104 : メモリの要求／解放時にエラー。

テキスト	メモリの要求時にエラー。
[説明]	"IMPORT"、"EXPORT"、および CATTAB の生成ではそれぞれ、追加メモリが必要です。 このメモリが利用できませんでした。
[対処]	リージョンサイズを大きくしてください。

NAT6105 : モデルに拡張レコード参照があります。

テキスト	モデルに拡張レコード参照があります。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6106 : ワークファイルが割り当てられていません。

テキスト	ワークファイルが割り当てられていません。
[説明]	IMPORT および EXPORT にはワークファイル 1 が必要です。
[対処]	JCL をチェックして修正し、ジョブを再実行してください。

NAT6107 : 内部フォーマットによるセキュリティコードが長すぎます。

テキスト	内部フォーマットによるセキュリティコードが長すぎます。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6108 : UPDATE/STORE のカテゴリが有効になっていません。

テキスト	UPDATE/STORE のカテゴリが有効になっていません。
[説明]	カテゴリの属性に必要な定義がすべて行われている 場合以外は、そのカテゴリは有効になりません。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT6109 : ワークファイルへのアクセス中に I/O エラーが発生しました。

テキスト	EXPORT/IMPORT でのワークファイルへのアクセス中に I/O エラーが発生しました。
[説明]	理由として、ファイルが物理的に破損していることが考えられます。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT6111 : ドメインサブリスト内にドメインサブリストがあります。

テキスト	ドメインサブリスト内にドメインサブリストがあります。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6113 : ")" または **display-list** の継続がありません。

テキスト)" または display-list の継続がありません。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6117 : ドメインサブリスト内に汎用リンケージ属性があります。

テキスト	ドメインサブリスト内に汎用リンケージ属性があります。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6118 : カテゴリが有効になっていません。

テキスト	カテゴリが有効になっていません。
[説明]	有効になっていないカテゴリに対する LF コマンドのレスポンスコード。 カテゴリの属性に必要な定義がすべて行われている 場合以外は、そのカテゴリは有効になりません。
[対処]	抜けている定義を作成してください。

NAT6119 : カテゴリの参照と ERE の参照が一致しません。

テキスト	カテゴリの参照と ERE の参照が一致しません。
[説明]	STORE/UPDATE ステートメントで、リンケージ属性のカテゴリ参照は存在していて ERE 参照は存在しないか、またはカテゴリ参照と ERE 参照でインデックスが一致しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6120 : CAT-REF に、参照、値、またはサブツリーがありません。

テキスト	CAT-REF に、参照、値、またはサブツリーがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6122 : 削除するレコードがロックされています。

テキスト	削除するレコードがロックされています。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6123 : リンケージ属性用に指定されたカテゴリが存在しません。

テキスト	リンケージ属性用に指定されたカテゴリが存在しません。
[説明]	STORE/UPDATE ステートメントに、リンケージ属性用に指定されたカテゴリが存在しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6124 : リンケージ属性用に指定されたカテゴリが許可されません。

テキスト	リンケージ属性用に指定されたカテゴリが存在しません。
[説明]	リンケージ属性に指定されたカテゴリが、リンケージ属性のドメインとして定義されたカテゴリと一致しません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6125 : 属性の AD ノード内にドメイン参照がありません。

テキスト	属性の AD ノード内にドメイン参照がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6126 : DV- ノードまたは AD- ノードが必要です。

テキスト	DV- ノードまたは AD- ノードが必要です。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6127 : ドメインが定義されていません。

テキスト	ドメインが定義されていません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6128 : 新しいモデルカテゴリが参照されていません。

テキスト	新しいモデルカテゴリが参照されていません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6129 : 制限が許可されていません (モデルが有効になっていません) 。

テキスト	制限が許可されていません (モデルが有効になっていません) 。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで 사용되는内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6130 : バージョンにライブラリノードがありません。

テキスト	バージョンにライブラリノードがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6131 : 必要なノードが見つかりません。

テキスト	必要なノードが見つかりません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6132 : **Top-Level-Library** には **RESTORE** を使用できません。

テキスト	Top-Level-Library には RESTORE を使用できません。
[説明]	正しいライブラリに対する DLOGON が抜けている可能性があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6133 : **ERE** を有効にできませんでした。

テキスト	ERE を有効にできませんでした。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6134 : 汎用属性にカテゴリが指定されていません。

テキスト	汎用属性にカテゴリが指定されていません。
[説明]	汎用リンクージ属性では、すべてのエンティティカテゴリの ERE に対する参照が許可されています。ERE の名前のみが指定されている場合、Entire DB は、参照先の ERE がどのカテゴリに属しているかを判定できません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6135 : **CHANGED-BY** ノードがありません。

テキスト	CHANGED-BY ノードがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6136 : "RECURSIVELY" **expe** なしの "REFERENCED" または "REFERENCING"。

テキスト	"RECURSIVELY" expe なしの "REFERENCED" または "REFERENCING"。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6137 : "VERSIONS" はここでは許可されないため、処理されません。

テキスト	"VERSIONS" はここでは許可されないため、処理されません。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6138 : 構文ユニットが数字または ")" ではありません。

テキスト	構文ユニットが数字または ")" ではありません。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6139 : 構文ユニットがグループ属性の名前または ISN です。

テキスト	サーチバッファの構文ユニットが、グループ属性の名前または ISN です。
[説明]	このエラーは、プログラムで予期されていないカテゴリを含む環境内のライブラリに対して DLOGON を実施した後に発生する可能性があります。また、正しくない検索値バッファでダイレクトコールが実行された場合に発生する可能性もあります。
[対処]	DLOGON ステートメントの PRODUCT 節を使用して、無効なカテゴリを含む環境へのアクセスを防止します。無効なダイレクトコールが原因の場合は、プログラムをチェックしてエラーを修正してください。

NAT6140 : 関係に入力した関係要素が多すぎます。

テキスト	関係に入力した関係要素が多すぎます。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6141 : カテゴリ **RELATION-ELEMENTS** にコンポーネントサブリストがありません。

テキスト	カテゴリ RELATION-ELEMENTS にコンポーネントサブリストがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6142 : カテゴリ **RELATION-ELEMENTS** のコンポーネントサブリストに不正なノードがありました。

テキスト	カテゴリ RELATION-ELEMENTS のコンポーネントサブリストに不正なノードがありました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6143 : 関係に対する属性入力が一致しませんでした。

テキスト	関係に対する属性入力が一致しませんでした。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで 사용되는内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6144 : 永続的な **ERE** を作成するために十分な空きがありません。

テキスト	永続的な ERE を作成するために十分な空きがありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで 사용되는内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6145 : 一時的な AD- ノードにあるサブリストの数が正しくありません。

テキスト	一時的な AD- ノードにあるサブリストの数が正しくありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6146 : モデルに必要なカテゴリサブリストが見つかりません。

テキスト	モデルに必要なカテゴリサブリストが見つかりません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6147 : モデルに必要なドメインサブリストが見つかりません。

テキスト	モデルに必要なドメインサブリストが見つかりません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6148 : オフセットに互換性がありません (モデルと一時ノード)。

テキスト	オフセットに互換性がありません (モデルと一時ノード)。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6149 : モデル内でサブリストが不正に早く終了しました。

テキスト	モデル内でサブリストが不正に早く終了しました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6150 : DDN- 参照に名前も ISN もありません。

テキスト	DDN- 参照に名前も ISN もありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

104

Natural システムエラーメッセージ 6151～6200

NAT6151 : モデルサブリストが正しくないか、または見当たりません。

テキスト	モデルサブリストが正しくないか、または見当たりません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6152 : モデルサブリストの最初のノードが正しくありません (GLAT になっていません)。

テキスト	モデルサブリストの最初のノードが正しくありません (GLAT になっていません)。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6153 : **AS-command** : コマンドオプション 2 は "1" でなければいけません。

テキスト	AS-command : コマンドオプション 2 は "1" でなければいけません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6154 : ユニークでないオカレンスにカテゴリ修飾が見当たりません。

テキスト	ユニークでないオカレンスにカテゴリ修飾が見当たりません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6155 : オカレンスにドメイン参照としてカテゴリが入力されました。

テキスト	オカレンスにドメイン参照としてカテゴリが入力されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6156 : UPDATE コマンドの "BY" の後の入力が正しくありません。

テキスト	UPDATE コマンドの "BY" の後の入力が正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6157 : コマンドの終了時に内部 CID が解放されませんでした。

テキスト	コマンドの終了時に内部 CID が解放されませんでした。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6158 : 書き込むデータレコードが、プライマリ、拡張子、ディレクトリのいずれでもありません。

テキスト	書き込むデータレコードが、プライマリ、拡張子、ディレクトリのいずれでもありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6159 : 属性／コンポーネント／ドメインが、更新対象のカテゴリの一部ではありません。

テキスト	属性／コンポーネント／ドメインが、更新対象のカテゴリの一部ではありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6160 : 名前／カテゴリの同じ ERE が複数見つかりました。

テキスト	名前／カテゴリの同じ ERE が複数見つかりました。
[説明]	この状況では本来発生しないものです。状況によっては、名前とカテゴリを同一にして、複数の ERE の並行更新が定義されるケースがまれに発生します。
[対処]	Entire DB 管理者に連絡し、それらの ERE のいずれかの名前を変更します。

NAT6161 : フリーフォーマット更新は、カテゴリに対してのみ実装されています。

テキスト	フリーフォーマット更新は、カテゴリに対してのみ実装されています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6162 : UPDATE コマンドの構文が正しくありません。

テキスト	UPDATE コマンドの構文が正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6163 : ワークエリアに十分な空きが残っていません。

テキスト	ワークエリアに十分な空きが残っていません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用する内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6164 : 構文ユニットが、")"、"DDE"、エンティティカテゴリのいずれでもありません。

テキスト	構文ユニットが、")"、"DDE"、エンティティカテゴリのいずれでもありません。
[説明]	このエラーは、プログラムで予期されていないカテゴリを含む環境内のライブラリに対して DLOGON を実施した後に発生する可能性があります。また、正しくない検索値バッファでダイレクトコールが実行された場合に発生する可能性もあります。
[対処]	DLOGON ステートメントの PRODUCT 節を使用して、無効なカテゴリを含む環境へのアクセスを防止します。無効なダイレクトコールが原因の場合は、プログラムをチェックしてエラーを修正してください。

NAT6165 : "RECURSIVELY" および "REFERENCED" は、"FIND VERSIONS" の後には使用できません。

テキスト	"RECURSIVELY" および "REFERENCED" は、"FIND VERSIONS" の後には使用できません。
[説明]	"FIND RECURSIVELY" ステートメントおよび "FIND REFERENCED" ステートメントは ERE を検索しますが、特殊なバージョンの ERE は対象外です。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6166 : オカレンス内のカテゴリ参照は値である必要があります。

テキスト	オカレンスのカテゴリ参照は値である必要があります。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6167 : カテゴリ参照を生成中にモデルノードが欠落しています。

テキスト	カテゴリ参照を生成中にモデルノードが欠落しています。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6168：Cat 更新は、最上位のカテゴリに対してのみ実行できます。

テキスト	Cat 更新は、最上位のカテゴリに対してのみ実行できます。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6169："FIND VERSIONS" に保存されているセットは "FIND VRS" の後にのみ使用できません。

テキスト	"FIND VERSIONS" に保存されているセットは "FIND VERSIONS" の後にのみ使用できます。
[説明]	FIND ステートメントで使用されるセットは "FIND VERSIONS" ステートメント内に保存されました。このセットは "FIND VERSIONS" の後にのみ使用できます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6170：基本カテゴリ内で属性サブリストが欠落しています。

テキスト	基本カテゴリ内で属性サブリストが欠落しています。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6171：保有セットに他のカテゴリのオカレンスが含まれています。

テキスト	保有セットに他のカテゴリのオカレンスが含まれています。
[説明]	FIND ステートメントで示されている以外のカテゴリがセットに含まれています。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6173：バッファオーバーフロー。RHD を使用できません。

テキスト	バッファオーバーフロー。RHD を使用できません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6174：バッファオーバーフロー：ディレクトリオーバーフローバケットを使用できません。

テキスト	バッファオーバーフロー：ディレクトリオーバーフローバケットを使用できません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6175：バッファのオーバーフロー。使用可能なバッファスロットがありません。

テキスト	バッファのオーバーフロー。使用可能なバッファスロットがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6176：グローバルサブリストがありません。

テキスト	グローバルサブリストがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6177：不正な名前ノード。

テキスト	不正な名前ノード。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6178：更新対象のカテゴリはドメインカテゴリではありません。

テキスト	更新対象のカテゴリはドメインカテゴリではありません。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6179：更新対象のカテゴリはエンティティカテゴリではありません。

テキスト	更新対象のカテゴリはエンティティカテゴリではありません。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6180：更新対象のカテゴリはグループカテゴリではありません。

テキスト	更新対象のカテゴリはグループカテゴリではありません。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6181："ADD" の後の入力が正しくありません。

テキスト	"ADD" の後の入力が正しくありません。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6182：DEFINE/UPDATE カテゴリは、GLOBAL-LIBRARY の DLOGON の後にのみ指定できます。

テキスト	DEFINE/UPDATE カテゴリは、GLOBAL-LIBRARY の DLOGON の後にのみ指定できます。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6183：不正な履歴ノード。

テキスト	不正な履歴ノード。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6184：不正なライブラリノード。

テキスト	不正なライブラリノード。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6185：割り当てられたスロットの数が要求されたスロットの最小の数未満です。

テキスト	割り当てられたスロットの数が要求されたスロットの最小の数未満です。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6186：割り当てられたワークエリアの長さが要求された最小の長さ未満です。

テキスト	割り当てられたワークエリアの長さが要求された最小の長さ未満です。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6187：セキュリティ違反。

テキスト	セキュリティ違反。
[説明]	Entire DB ユーザーには、該当するアクションを行う認可がありません。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT6188：グループ属性に対するコンポーネントがありません。

テキスト	グループ属性に対するコンポーネントがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6189：構文ユニットが数字ではありません。

テキスト	構文ユニットが数字ではありません。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6190：属性／コンポーネントサブリスト内のノードに属性参照がありません。

テキスト	属性／コンポーネントサブリスト内のノードに属性参照がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6191：DLOGON ステートメントにユーザーが指定されていません。

テキスト	DLOGON ステートメントにユーザーが指定されていません。
[説明]	ユーザー名として空白が指定されているか、または指定された名前の Entire DB ユーザーが存在します。
[対処]	正しいユーザー名を指定して DLOGON ステートメントに再実行してください。

NAT6192：ユーザーはこのライブラリに対して **DLOGON** を実行する権限がありません。

テキスト	ユーザーはこのライブラリに対して DLOGON を実行する権限がありません。
[説明]	指定されたユーザーはこのライブラリに対して DLOGON を実行する権限がありません。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT6193：**DLOGON** ステートメントのパスワードが正しくありません。

テキスト	DLOGON ステートメントのパスワードが正しくありません。
[説明]	DLOGON ユーザーにパスワードがあり、かつパスワードが指定されていないか、または指定されたパスワードが正しくありません。
[対処]	正しいパスワードを指定して DLOGON ステートメントに再実行してください。

NAT6194：コンポーネントカテゴリが見つかりません。

テキスト	コンポーネントカテゴリが見つかりません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6195：モデル内にコンポーネントサブリストがありません。

テキスト	モデル内にコンポーネントサブリストがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6196：DV- または SKIP- ノードが必要です。

テキスト	DV- または SKIP- ノードが必要です。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6197：ライブラリパスワードが正しくありません。

テキスト	ライブラリパスワードが正しくありません。
[説明]	DLOGON ステートメント（構文 2）で、ライブラリのパスワードがないか、または正しくありません。
[対処]	正しいパスワードを指定し、DLOGON を再実行してください。

NAT6198：指定されたライブラリ名はライブラリ名ではありません。

テキスト	指定されたライブラリ名はライブラリ名ではありません。
[説明]	DLOGON ステートメントに指定されたライブラリ名はライブラリ名ではありません。
[対処]	正しいライブラリ名を指定して DLOGON を再実行してください。

NAT6199：デフォルトライブラリがありません。DLOGON ステートメントにライブラリを指定する必要があります。

テキスト	デフォルトライブラリがありません。DLOGON ステートメントにライブラリを指定する必要があります。
[説明]	DLOGON ユーザーにはデフォルトライブラリがありません。DLOGON ステートメントにライブラリを指定する必要があります。
[対処]	正しいライブラリ名を指定して DLOGON ステートメントに再実行してください。

NAT6200：カテゴリ **LIBRARY** に属性サブリストがありません。

テキスト	カテゴリ LIBRARY に属性サブリストがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

105

Natural システムエラーメッセージ 6201～6250

NAT6202：DV- ノードに値および ISN がありません。

テキスト	DV- ノードに値および ISN がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6203：ピリオディックグループ（モデル）内にピリオディックグループがあります。

テキスト	ピリオディックグループ（モデル）内にピリオディックグループがあります。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6204：プライマリ名がありません。

テキスト	プライマリ名がありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6205：カテゴリ名が指定されていないか、正しくないか、または存在しません。

テキスト	カテゴリ名が指定されていないか、正しくないか、または存在しません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6206：ERE はすでに存在しています。

テキスト	ERE はすでに存在しています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6207：定義本文が正しくありません。

テキスト	定義本文が正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6208：より高いレベルのカテゴリが存在しません。

テキスト	より高いレベルのカテゴリが存在しません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6209：より高いレベルのカテゴリとして入力された ERE はオカレンスです。

テキスト	より高いレベルのカテゴリとして入力された ERE はオカレンスです。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6210：より高いレベルのカテゴリとして入力された **ERE** は評価されていません。

テキスト	より高いレベルのカテゴリとして入力された ERE は評価されていません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6211：より高いレベルのカテゴリとして入力された **ERE** はロックされています。

テキスト	より高いレベルのカテゴリとして入力された ERE はロックされています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6212：不要な入力です。

テキスト	不要な入力です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6213：非マルチモデル属性に対する入力が無効です。

テキスト	非マルチモデル属性に対する入力が無効です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6217：カッコが一致しません。

テキスト	カッコが一致しません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6218：モデルノードにカテゴリ DDN 参照がありません。

テキスト	モデルノードにカテゴリ DDN 参照がありません。
〔説明〕	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
〔対処〕	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6220：予期しない構文ユニットが見つかりました ("OR"、";"、または "." が必要です)。

テキスト	予期しない構文ユニットが見つかりました ("OR"、";"、または "." が必要です)。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6221：ドメインカテゴリのドメイン指定がありません。

テキスト	ドメインカテゴリのドメイン指定がありません。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6222：ドメインカテゴリに対する入力モデルに一致しません。

テキスト	ドメインカテゴリに対する入力モデルに一致しません。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6223：ドメインカテゴリに対する不要な入力があります。

テキスト	ドメインカテゴリに対する不要な入力があります。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6224：エンティティカテゴリに対する 属性が 指定されていません。

テキスト	エンティティカテゴリに対する 属性が 指定されていません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6225：グループ属性カテゴリに対するコンポーネント指定がありません。

テキスト	グループ属性カテゴリに対するコンポーネント指定がありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6226：入力がモデルの属性／コンポーネントサブリストに一致しません。

テキスト	入力がモデルの属性／コンポーネントサブリストに一致しません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6227：削減ルーチンからのリターンコード。

テキスト	削減ルーチンからのリターンコード。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6228：ルートカテゴリサブリストに不正なノードがありました。

テキスト	ルートカテゴリサブリストに不正なノードがありました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6229 : "ATTR=" の後のドメインが一致しません。

テキスト	"ATTR=" の後のドメインが一致しません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6230 : "ATTR=" の後のカテゴリが一致しません。

テキスト	"ATTR=" の後のカテゴリが一致しません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6231 : "WITH" の後の入力が正しくありません。

テキスト	"WITH" の後の入力が正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6232 : 入力された属性サブリストがモデルに一致しませんでした。

テキスト	入力された属性サブリストがモデルに一致しませんでした。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6233 : 入力されたコンポーネントサブリストがモデルに一致しませんでした。

テキスト	入力されたコンポーネントサブリストがモデルに一致しませんでした。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6234：存在しない ERE がサブカテゴリまたは オカレンスの属性として入力されました。

テキスト	存在しない ERE がサブカテゴリまたは オカレンスの属性として入力されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6235：属性の後の入力が正しくありません。

テキスト	属性の後の入力が正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6237：存在しない ERE に対するサブリスト指定が入力されました。

テキスト	存在しない ERE に対するサブリスト指定が入力されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6238：存在しない ERE に対するドメイン指定が入力されました。

テキスト	存在しない ERE に対するドメイン指定が入力されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6239："WITH" 節の使用方法が正しくありません。

テキスト	"WITH" 節の使用方法が正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6240：属性オプションはオカレンスに対して許可されていません。

テキスト	属性オプションはオカレンスに対して許可されていません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6241：オカレンスの定義で属性に値が入力されていません。

テキスト	オカレンスの定義で属性に値が入力されていません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6242：モデル属性を読み取ることができません。

テキスト	モデル属性を読み取ることができません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6243："ATTR=" の後の入力が正しくありません。

テキスト	"ATTR=" の後の入力が正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6244：入力がモデルのカテゴリ指定と一致しませんでした。

テキスト	入力がモデルのカテゴリ指定と一致しませんでした。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6245：手動／自動属性オプションが矛盾しています。

テキスト	手動／自動属性オプションが矛盾しています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6246：属性オプション "OMIT" が最上位のサブリストで使用されています。

テキスト	属性オプション "OMIT" が最上位のサブリストで使用されています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6247：必須／オプション属性が矛盾しています。

テキスト	必須／オプション属性が矛盾しています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6248：複数オプションが正しくありません。モデルが単一です。

テキスト	複数オプションが正しくありません。モデルが単一です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6249：入力下限がモデル下限未満です。

テキスト	入力下限がモデル下限未満です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6250：入力上限がモデル上限を超過しています。

テキスト	入力上限がモデル上限を超過しています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

106

Natural システムエラーメッセージ 6251～6300

NAT6251：重複属性オプションが矛盾しています。

テキスト	重複属性オプションが矛盾しています。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6252：エクステンション属性オプションが単一の属性に対して指定されています。

テキスト	エクステンション属性オプションが単一の属性に対して指定されています。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6253：インデックス属性オプションが単一の属性に対して指定されています。

テキスト	インデックス属性オプションが単一の属性に対して指定されています。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6254：インデックス属性オプションが矛盾しています。

テキスト	インデックス属性オプションが矛盾しています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6255：インバート属性オプションが矛盾しています。

テキスト	インバート属性オプションが矛盾しています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6256：単一属性に対して重複オプションが入力されました。

テキスト	単一属性に対して重複オプションが入力されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6257：ドメイン指定で、セパレータとして "OR" および "," が混在しています。

テキスト	ドメイン指定で、セパレータとして "OR" および "," が混在しています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6258：左カッコがありません。

テキスト	左カッコがありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6259：ドメイン指定が "OR" で開始されています。"," は指定できません。

テキスト	ドメイン指定が "OR" で開始されています。"," は指定できません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6260：カテゴリの入力が正しくありません。値のみを指定できます。

テキスト	カテゴリの入力が正しくありません。値のみを指定できます。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6261：カテゴリの入力が正しくありません。オカレンスのみを指定できます。

テキスト	カテゴリの入力が正しくありません。オカレンスのみを指定できます。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6262：重複する属性／コンポーネント／カテゴリ／ドメインが入力されました。

テキスト	重複する属性／コンポーネント／カテゴリ／ドメインが入力されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6263：モデル属性は自動です。

テキスト	モデル属性は自動です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6264：必須属性に対して "OMIT" が入力されました。

テキスト	必須属性に対して "OMIT" が入力されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6265：影響を与えるオプションが矛盾しています。

テキスト	影響を与えるオプションが矛盾しています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6266：エクステンションオプションが矛盾しています。

テキスト	エクステンションオプションが矛盾しています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6267：モデルはグループ属性カテゴリではありません。コンポーネント指定は許可されません。

テキスト	モデルはグループ属性 カテゴリではありません。コンポーネント指定は許可されません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6268：モデルはエンティティカテゴリではありません。属性指定は許可されません。

テキスト	モデルはエンティティカテゴリではありません。属性指定は許可されません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6269：モデルはドメインカテゴリではありません。ドメイン指定は許可されません。

テキスト	モデルはドメインカテゴリではありません。ドメイン指定は許可されません。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6270：組み込み ID がオカレンスに対して入力されました。

テキスト	組み込み ID がオカレンスに対して入力されました。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6271：ドメイン指定がオカレンスに対して入力されました。

テキスト	ドメイン指定がオカレンスに対して入力されました。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6272：グローバル属性に対する入力が一致しませんでした。

テキスト	グローバル属性に対する入力が一致しませんでした。
〔説明〕	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
〔対処〕	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6273：構文ユニットが名前ではないか、または カテゴリの ISN です。

テキスト	構文ユニットが名前ではないか、または カテゴリの ISN です。
〔説明〕	このエラーは、プログラムで予期されていないカテゴリを含む環境内のライブラリに対して DLOGON を実施した後に発生する可能性があります。また、正しくない検索値バッファでダイレクトコールが実行された場合に発生する可能性もあります。
〔対処〕	DLOGON ステートメントの PRODUCT 節を使用して、無効なカテゴリを含む環境へのアクセスを防止します。無効なダイレクトコールが原因の場合は、プログラムをチェックしてエラーを修正してください。

NAT6274：必要なレコードが見つかりません。

テキスト	必要なレコードが見つかりません。
[説明]	特殊なケースとして、同時更新の場合は、データベースが矛盾する状態になります。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡して、無効な参照を含む ERE を削除します。

NAT6275：レコードタイプは想定されていません。

テキスト	レコードタイプは想定されていません。
[説明]	特殊なケースとして、同時更新の場合は、データベースが矛盾する状態になります。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡して、無効な参照を含む ERE を削除します。

NAT6276：タイムスタンプを使用する読み取りは実装されていません。

テキスト	タイムスタンプを使用する読み取りは実装されていません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6277：グローバルサブリストのモデル内で、サブリストの不正に早い終了が見つかりました。

テキスト	グローバルサブリストのモデル内で、サブリストの不正に早い終了が見つかりました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6278：ここでは、拡張レコードへの参照は無効です。

テキスト	ここでは、拡張レコードへの参照は無効です。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6279：ERE オプションが複数回入力されました。

テキスト	ERE オプションが複数回入力されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで 사용되는内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6280：DDN 参照がありません。

テキスト	DDN 参照がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6281：入力されたエイリアス名は有効な ERE 名ではありません。

テキスト	入力されたエイリアス名は有効な ERE 名ではありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで 사용되는内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6282：15 を超えるエイリアス名が入力されました。

テキスト	15 を超えるエイリアス名が入力されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで 사용되는内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6283：入力された ERE オプションは最上位のカテゴリに対してのみ有効です。

テキスト	入力された ERE オプションは最上位のカテゴリに対してのみ有効です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6284：ドメインサブリストがありません。

テキスト	ドメインサブリストがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6285：モデルはエンティティカテゴリではありません。オカレンスは許可されません。

テキスト	モデルはエンティティカテゴリではありません。オカレンスは許可されません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6286：レコードがバッファ内にありません。

テキスト	レコードがバッファ内にありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6287：ルートノードが必要です。

テキスト	ルートノードが必要です。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6288：モデル属性／コンポーネントサブリストがありません。

テキスト	モデル属性／コンポーネントサブリストがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6289：処理対象のオカレンスが存在しません。

テキスト	処理対象のオカレンスが存在しません。
[説明]	このオカレンスが一時的に削除されているか、または コントロールブロック内の無効な ISN を使用するダイレクトコールが 発行されました。
[対処]	処理対象の ERE が存在するかどうかチェックしてください。該当する場合は、プログラムを チェックしてエラーを修正します。

NAT6290：オカレンスがロックされています。UPDATE は許可されません。

テキスト	オカレンスがロックされています。UPDATE は許可されません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6291：空のフォーマットバッファが STORE に指定されました。

テキスト	空のフォーマットバッファが STORE に指定されました。
[説明]	STORE ステートメントには、エンティティの名前または関係の関係要素の名前を 少なくとも 1 つ指定する必要があります。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6292：オカレンスの属性サブリストが見つかりません。

テキスト	オカレンスの属性サブリストが見つかりません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6293：STORE/UPDATE ステートメントでは、属性を処理できません。

テキスト	STORE/UPDATE ステートメントでは、属性を処理できません。
[説明]	このエラーは、次の2つ状況で発生することがあります。 1) 1つの属性が STORE/UPDATE ステートメント内で2回指定されている場合。 特に、このことはリンケージ属性と関連して、 つまり、リンケージ属性が名前経由と ISN 経由の両方で指定されている場合に発生します。 2) 複数でない属性に対してインデックス>1が 指定されている場合。このことは、ダイレクトコールで、または無効な DDM が 使用された場合に発生することがあります
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6295：通常の AD ノード内に属性参照がありません。

テキスト	通常の AD ノード内に属性参照がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6296：モデル AD に SLMO がないが、コンポーネントサブリストがありません。

テキスト	モデル AD に SLMO がないが、コンポーネントサブリストがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6297：コマンドの末尾でスロットがロックされます。

テキスト	コマンドの末尾でスロットがロックされます。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6298：コマンドの末尾でレコードがロックされます。

テキスト	コマンドの末尾でレコードがロックされます。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6299：ドメイン参照がありません。

テキスト	ドメイン参照がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6300：最大数のカテゴリが定義されました。

テキスト	最大数のカテゴリが定義されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

107

Natural システムエラーメッセージ 6301～6350

NAT6301：カテゴリ ISN は <16384 である必要があります。

テキスト	カテゴリ ISN は <16384 である必要があります。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6302：カテゴリ参照がありません。

テキスト	カテゴリ参照がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6303：モデルノードに参照がありません。

テキスト	モデルノードに参照がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6304：属性 **GLOBAL-ATTRIBUTES** にコンポーネントサブリストがありません。

テキスト	属性 GLOBAL-ATTRIBUTES にコンポーネントサブリストがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6305：モデルの最初の属性が **GLOBAL-ATTRIBUTES** ではありません。

テキスト	モデルの最初の属性が GLOBAL-ATTRIBUTES ではありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6306：オカレンス内に無効なサブリスト指定があります。

テキスト	オカレンス内に無効なサブリスト指定があります。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6308：SLMO ビットが設定されていますが、ISN がグループ属性参照内にありません。

テキスト	SLMO ビットが設定されていますが、ISN がグループ属性参照内にありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6309：グループ属性内にコンポーネントサブリストが見つかりませんが、**SLMO**がありません。

テキスト	グループ属性内にコンポーネントサブリストが見つかりませんが、SLMOがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6310：コンポーネントサブリストを探しているとき、ループの制限を超過しました。

テキスト	コンポーネントサブリストを探しているとき、ループの制限を超過しました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6311：オカレンスにはコンポーネント **AX** ノードが必要ですが、このノードがありません。

テキスト	オカレンスにはコンポーネント AX ノードが必要ですが、このノードがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6312：モデル **AD** ノードに属性 **ISN** がありません。

テキスト	モデル AD ノードに属性 ISN がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6313：UPDATE/STORE 用のモデル内に不正なノードが見つかりました。

テキスト	UPDATE/STORE 用のモデル内に不正なノードが見つかりました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6314：不正なサブルーチン CALL パラメータ。

テキスト	不正なサブルーチン CALL パラメータ。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6315：複数の属性が同じインデックスを使用して 2 回指定されています。

テキスト	複数の属性が同じインデックスを使用して 2 回指定されています。
[説明]	まず、このエラーは、リンケージ属性の ISN と名前が同時に指定された場合に発生する可能性があります。 次に、変数と定数インデックスが同時に使用され、なおかつ変数と定数インデックスが等しい場合に発生します。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6316：古いオカレンス内に不正なノードが見つかりました。

テキスト	古いオカレンス内に不正なノードが見つかりました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6317：1つのピリオディックグループ内の属性が同じインデックスを使用して2回指定されています。

テキスト	1つのピリオディックグループ内の属性が同じインデックスを使用して2回指定されています。
[説明]	まず、このエラーは、リンケージ属性の ISN と名前が同時に指定された場合に発生する可能性があります。次に、変数と定数インデックスが同時に使用され、なおかつ変数と定数インデックスが等しい場合に発生します。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6318：自動属性の更新は許可されません。

テキスト	自動属性の更新は許可されません。
[説明]	更新ビューで自動属性が発生した場合は、FIND/GET ステートメントの後、その自動属性には新しい値を割り当てることができません。STORE ビューで自動属性が発生した場合、この属性の値は "blank" または "0" となります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6319：カテゴリ参照内にサブツリーが割り当てられています。

テキスト	カテゴリ参照内にサブツリーが割り当てられています。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6320：カテゴリ参照内に ISN がありません。

テキスト	カテゴリ参照内に ISN がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6321：組み込みチェックが失敗しました。

テキスト	組み込みチェックが失敗しました。
[説明]	記述属性に対して不正な値が割り当てられました。 例えば、NUMERIC に対して数値以外の値が割り当てられた、LINE 属性に空白より小さい文字が含まれている、など。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6322：リンケージ属性に不正な ISN が指定されました。

テキスト	リンケージ属性に不正な ISN が指定されました。
[説明]	リンケージ属性の ISN として指定された値が数値ではありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6323：リンケージ属性に不正な参照が指定されました。

テキスト	リンケージ属性に不正な参照が指定されました。
[説明]	次の可能性があります。 1) 複数のカテゴリがドメインとなる可能性があるにもかかわらず、リンケージ属性の名前のみが参照され、カテゴリが参照されていない場合 2) リンケージ属性のドメインとして許可されないカテゴリが指定された場合 3) ライブラリに依存する ERE がライブラリに依存しない ERE のリンケージ属性として指定された場合 4) 指定された ISN がそのリンケージ属性のドメインとして許可されているカテゴリのオカレンスの ISN ではない場合
[対処]	カテゴリをリンケージ属性のドメインとして許可します。プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6324：ドメイン参照内に ISN がありません。

テキスト	ドメイン参照内に ISN がありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6326：ドメイン参照にサブツリーがありますが、アンカーが不正です。

テキスト	ドメイン参照にサブツリーがありますが、アンカーが不正です。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6327：ドメインサブリスト内に不正なノードが見つかりました。

テキスト	ドメインサブリスト内に不正なノードが見つかりました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6328：モデル属性／コンポーネントサブリスト内に不正なノードがありました。

テキスト	モデル属性／コンポーネントサブリスト内に不正なノードがありました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6329：不正なノードがありました。

テキスト	不正なノードがありました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6330：指定されたカテゴリ **ISN** が存在しません。

テキスト	指定されたカテゴリ ISN が存在しません。
[説明]	このエラーは、プログラムで予期されていないカテゴリを含む環境内のライブラリに対して DLOGON を実施した後に発生する可能性があります。また、正しくない検索値バッファでダイレクトコールが実行された場合に発生する可能性もあります。
[対処]	DLOGON ステートメントの Application 節を使用して、無効なカテゴリを含む環境へのアクセスを防止します。無効なダイレクトコールが原因の場合は、プログラムをチェックしてエラーを修正してください。

NAT6332：このカテゴリにはオカレンスは許可されません。

テキスト	このカテゴリにはオカレンスは許可されません。
[説明]	このエラーは、プログラムで予期されていないカテゴリを含む環境内のライブラリに対して DLOGON を実施した後に発生する可能性があります。また、正しくない検索値バッファでダイレクトコールが実行された場合に発生する可能性もあります。
[対処]	DLOGON ステートメントの Application 節を使用して、無効なカテゴリを含む環境へのアクセスを防止します。無効なダイレクトコールが原因の場合は、プログラムをチェックしてエラーを修正してください。

NAT6333：カテゴリを **DELETE/EXPORT/TRANSFER** しようとした。

テキスト	カテゴリを DELETE/EXPORT/TRANSFER しようとした。
[説明]	DELETE または EXPORT ステートメントを使用してカテゴリを削除/エクスポートすることはできません。 TRANSFER ステートメントは複数バージョンカテゴリのオカレンスに對してのみ使用できます。
[対処]	カテゴリを削除/エクスポートする場合は、Entire DB ユーティリティを使用してください。

NAT6335：オカレンスにコンポーネントサブリストが入力されました。

テキスト	オカレンスにコンポーネントサブリストが入力されました。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6336 : FREEBUFF からの不正なレスポンスコード。

テキスト	FREEBUFF からの不正なレスポンスコード。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6337 : 複数レベルの拡張レコードが指定されています。

テキスト	複数レベルの拡張レコードが指定されています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで 사용되는内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6338 : STORE/UPDATE ステートメントで、**C*attribute** に数値の値がありません。

テキスト	STORE/UPDATE ステートメントで、C*attribute に数値の値がありません。
[説明]	C*attribute の別のフォーマットを使用した再定義が行われた可能性があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6340 : 拡張レコードに一致するグループがありません。

テキスト	拡張レコードに一致するグループがありません。
[説明]	ピリオディックグループに値の多すぎる複数属性が含まれている可能性があります。このことを解決するには、次の手順に従います。ピリオディックグループ自体には "extensions allowed" オプションを定義せず、このオプションをピリオディックグループ内の複数属性を定義します。
[対処]	Entire DB 管理者に連絡し、 Entire DB データベースを再編成してください。

NAT6341：ERE オーバーフロー。

テキスト	ERE オーバーフロー。
[説明]	複数属性に対して指定した値が多すぎるか、または "extensions allowed" なしで定義されたピリオディックグループがあります。
[対処]	Entire DB 管理者に連絡し、複数属性またはピリオディックグループを "extensions allowed" として定義します。

NAT6343：拡張レコードを読み取るとき、同期化が失敗しました。

テキスト	拡張レコードを読み取るとき、同期化が失敗しました。
[説明]	ERE 上での同時 UPDATE によって、古いプライマリレコードと新しい拡張レコードのタイムスタンプの間に同期化の問題が発生する場合があります。これにより、処理対象の Entire DB ステートメントは正しく終了することができません。ERE は UPDATE トランザクションが完了するまで、矛盾した状態になります。
[対処]	しばらくしてから再試行してください。最大トランザクション時間経過後、依然としてエラーが発生する場合は、Natural セッションを終了し、製品のサポートに連絡してください。

NAT6345：C*attribute が複数回指定されました。

テキスト	C*attribute が複数回指定されました。
[説明]	このエラーは、C*attribute が変数および定数ピリオディックグループインデックスと同時に使用されており、かつ変数と定数インデックスが等しい場合に発生します。このこととは別に、このエラーはダイレクトコールによって発生します。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6346：拡張レコードに一致するノードがありません。

テキスト	拡張レコードに一致するノードがありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6347：要求されたフォーマット変換が実装されていません。

テキスト	要求されたフォーマット変換が実装されていません。
[説明]	記述的な属性の場合、それぞれに特定のフォーマットのみが許可されています。 このエラーは、記述属性の定義が間違っている場合か、 またはダイレクトコールのフォーマットバッファに不正なフォーマットが定義されている 場合に発生します。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT6348：DV- ノードが必要です。

テキスト	DV- ノードが必要です。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試 みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6349：ディレクトリが他の最上位レベルライブラリに属しています。

テキスト	ディレクトリが他の最上位レベルライブラリに属しています。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試 みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

108

Natural システムエラーメッセージ 6351～6400

NAT6351：フォーマットバッファ要素がグループ属性です。（実装されていません）。

テキスト	フォーマットバッファ要素がグループ属性です。（実装されていません）。
[説明]	このエラーは、プログラムで予期されていないカテゴリを含む環境内のライブラリに対して DLOGON を実施した後に発生する可能性があります。また、正しくない検索値バッファでダイレクトコールが実行された場合に発生する可能性もあります。
[対処]	DLOGON ステートメントの PRODUCT 節を使用して、無効なカテゴリを含む環境へのアクセスを防止します。無効なダイレクトコールが原因の場合は、プログラムをチェックしてエラーを修正してください。

NAT6352：属性が定義されていません。

テキスト	属性が定義されていません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6353：カテゴリが定義されていません。

テキスト	カテゴリが定義されていません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6354：フォーマットバッファにエラーが発生しました。

テキスト	フォーマットバッファにエラーが発生しました。
[説明]	ダイレクトコールに対して、フォーマットバッファ内のエラーが検出されました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6355：レコードバッファのオーバーフロー。

テキスト	レコードバッファのオーバーフロー。
[説明]	ダイレクトコールのコントロールブロック内に指定された レコードバッファ長がフォーマットバッファの結果の長さ以上では ありません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6357：サーチバッファのカテゴリが属性カテゴリです。

テキスト	サーチバッファのカテゴリが属性カテゴリです。
[説明]	このエラーは、プログラムで予期されていないカテゴリを含む 環境内のライブラリに対して DLOGON を実施した後に 発生する可能性があります。また、正しくない検索値バッファで ダイレクトコールが実行された場合に発生する可能性もあります。
[対処]	DLOGON ステートメントの PRODUCT 節を使用して、無効なカテゴリを含む環境へのアクセス を防止します。無効な ダイレクトコールが原因の場合は、プログラムをチェックしてエラーを修正してください。

NAT6359：サーチバッファの構文ユニットが **cat-ISN**、**cat-name** または "DDE" ではありません。

テキスト	サーチバッファの構文ユニットが cat-ISN、cat-name または "DDE" ではありません。
[説明]	このエラーは、プログラムで予期されていないカテゴリを含む環境内のライブラリに対して DLOGON を実施した後に発生する可能性があります。また、正しくない検索値バッファでダイレクトコールが実行された場合に発生する可能性もあります。
[対処]	DLOGON ステートメントの PRODUCT 節を使用して、無効なカテゴリを含む環境へのアクセスを防止します。無効なダイレクトコールが原因の場合は、プログラムをチェックしてエラーを修正してください。

NAT6360：サーチバッファの構文ユニットが検索条件の先頭にありません。

テキスト	サーチバッファの構文ユニットが検索条件の先頭にありません。
[説明]	このエラーは、プログラムで予期されていないカテゴリを含む環境内のライブラリに対して DLOGON を実施した後に発生する可能性があります。また、正しくない検索値バッファでダイレクトコールが実行された場合に発生する可能性もあります。
[対処]	DLOGON ステートメントの PRODUCT 節を使用して、無効なカテゴリを含む環境へのアクセスを防止します。無効なダイレクトコールが原因の場合は、プログラムをチェックしてエラーを修正してください。

NAT6361：不正な組み込み ID。

テキスト	不正な組み込み ID。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6362：構文ユニットが名前ではありません。

テキスト	構文ユニットが名前ではありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6363：スタックオーバーフロー。

テキスト	スタックオーバーフロー。
〔説明〕	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
〔対処〕	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6364：")" または 継続 FIND-group がありません。

テキスト)" または 継続 FIND-group がありません。
〔説明〕	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
〔対処〕	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6365：コマンド ID を使用できません。

テキスト	コマンド ID を使用できません。
〔説明〕	指定された FIND ステートメントが複雑すぎます。
〔対処〕	FIND ステートメントを 2 分割して、より単純な FIND ステートメントにしてください。

NAT6367：ダイレクトコールに対して、無効なコマンド ID がコントロールブロックに指定されました。

テキスト	ダイレクトコールに対して、無効なコマンド ID がコントロールブロックに指定されました。
〔説明〕	先頭が H"FF" および 文字 "D" であるコマンド ID は無効です。 このエラーは、コマンドによって コマンド ID がすでに定義されていることが 要求され、かつコマンド ID が存在しない場合、コマンド ID が存在しない必要があるにもかかわらずすでに存在する場合、 または別のカテゴリ向けなど、現在のコマンドに対して適切な方法でコマンド ID が定義されていない 場合にも発生します。
〔対処〕	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6369：検索値バッファ内に属性の値ではないものがあります。

テキスト	属性の無効な値が検索値バッファ内にありました。
[説明]	不正なフォーマットを持つ属性が定義されているか、 または不正な組み込みカテゴリが指定された可能性があります。 また、このエラーはディスクリプタが最大の長さである 119 バイトを 超えた場合にも発生します。
[対処]	Entire DB 管理者に連絡し、 カテゴリ定義を修正してください。

NAT6370：リンケージ属性 **ISN** および名前が検索値バッファにありません。

テキスト	リンケージ属性 ISN および名前が検索値バッファにありません。
[説明]	このエラーは、プログラムで予期されていないカテゴリを含む 環境内のライブラリに対して DLOGON を実施した後に 発生する可能性があります。また、正しくない検索値バッファで ダイレクトコールが実行された場合に発生する可能性もあります。
[対処]	DLOGON ステートメントの Application 節を使用して、無効なカテゴリを含む環境へのア クセス を防止します。無効な ダイレクトコールが原因の場合は、プログラムをチェックしてエラーを修正してください。

NAT6374：レコードバッファ内にエラーがあります。変数の長さが **0** です。

テキスト	レコードバッファ内にエラーがあります。変数の長さが 0 です。
[説明]	更新のダイレクトコールで、長さバイト = 0 が 変数の長さのあるフィールドに指定されていました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6376：サーチバッファ内にテキストの終了がありません。

テキスト	サーチバッファ内にテキストの終了がありません。
[説明]	無効な DLOGON ステートメント（構文 2）または無効な FIND NATIVE ステートメントが発行されたか、または 不正な検索バッファを使用するダイレクトコールが指定されました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6377：カテゴリ名／ISN の後に比較演算子がありません。

テキスト	カテゴリ名／ISN の後に比較演算子がありません。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6378：カテゴリ名またはディレトリ名がカテゴリテーブルにありません。

テキスト	カテゴリ名またはディレトリ名がカテゴリテーブルにありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6379：ISN リンケージ属性は >0 または ^=0 のみが実装されています。

テキスト	ISN リンケージ属性は >0 または ^=0 のみが実装されています。
[説明]	ISN リンケージ属性 >x または ^=x (x は 0 でない数字) を使用する FIND を実行しようとしてしました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

109

Natural システムエラーメッセージ 6401～6450

NAT6401：DNATIVE コマンドが正しくありません。

テキスト	DNATIVE コマンドが正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6402：検索バッファ内で、コマンドの末尾に無関係の入力が追加されています。

テキスト	検索バッファ内で、コマンドの末尾に無関係の入力が追加されています。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6403：検索バッファ内に無効な構文ユニットがあります。

テキスト	検索バッファ内に無効な構文ユニットがあります。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6405：検索バッファ内の ISN が無効か、またはありません。

テキスト	検索バッファ内の ISN が無効か、またはありません。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6408：組み込み ID がないか、または無効です。

テキスト	組み込み ID がないか、または無効です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6411："RECURSIVELY" はここでは許可されません。

テキスト	"RECURSIVELY" はここでは許可されません。
[説明]	サーチバッファ内で、ダイレクトコールまたは FIND NATIVE に構文エラーが発生しました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6413："MULTIPLE VERSIONS" のスペルに誤りがあります。

テキスト	"MULTIPLE VERSIONS" のスペルに誤りがあります。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6414："SINGLE VERSION" のスペルに誤りがあります。

テキスト	"SINGLE VERSION" のスペルに誤りがあります。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6422 : **TRACE-option** が正しくありません。

テキスト	TRACE-option が正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6428 : 同じオプションが以前に入力されています。

テキスト	同じオプションが以前に入力されています。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6436 : **TO- オプション = 0** は許可されません。

テキスト	TO- オプション = 0 は許可されません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6437 : **FROM- オプション <= 1** は許可されません。

テキスト	FROM- オプション <= 1 は許可されません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6438 : **FROM-option > TO-option** は許可されていません。

テキスト	FROM-option > TO-option は許可されていません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが "通常の" ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6444：属性オプションがまだ保留状態です。

テキスト	属性オプションがまだ保留状態です。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

NAT6445： **STATS-option** が正しくありません。

テキスト	STATS-option が正しくありません。
[説明]	このエラーは、Entire DB オンラインサービスおよび Entire DB ユーティリティで使用される内部 Entire DB ステートメントでのみ発生します。
[対処]	このエラーが"通常の"ステートメントで発生する場合は、Software AG に連絡してください。

110

Natural システムエラーメッセージ 6451～6500

NAT6452：値スタックがオーバーフローしました。

テキスト	値スタックがオーバーフローしました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6453：シンボルスタックがオーバーフローしました。

テキスト	シンボルスタックがオーバーフローしました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6454：モジュール LANPROC で予期しないリターンコードが発行されました。

テキスト	モジュール LANPROC で予期しないリターンコードが発行されました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6455：値スタックがアンダーフローしました。

テキスト	値スタックがアンダーフローしました。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6456：検索バッファ内の情報が重複しています。

テキスト	検索バッファ内の情報が重複しています。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6457：検索バッファ内の値が重複しています。

テキスト	検索バッファ内の値が重複しています。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6458：構文ユニットが正しくありません。

テキスト	構文ユニットが正しくありません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6459：サーチバッファ内のテキストが予期せず終了しています。

テキスト	サーチバッファ内のテキストが予期せず終了しています。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6460：検索バッファ内に無関係または認識されない情報があります。

テキスト	検索バッファ内に無関係または認識されない情報があります。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6461：検索バッファ内に無効な特殊文字があります。

テキスト	検索バッファ内に無効な特殊文字があります。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6462：モジュール LANTAB の言語定義にエラーがあります。

テキスト	モジュール LANTAB の言語定義にエラーがあります。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、 Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、 Software AG に連絡してください。

NAT6473：外部ライブラリが存在しません。

テキスト	外部ライブラリが存在しません。
[説明]	スレーブ環境で定義されていない外部ライブラリに対して DLOGON が試行されました。この外部ライブラリは定義されている必要があります。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT6474：ライブラリが無効なアプリケーションに属しています。

テキスト	ライブラリが無効なアプリケーションに属しています。
[説明]	指定されたアプリケーションに割り当てられていないライブラリに対して DLOGON が試行されました。
[対処]	正しいアプリケーションに割り当てられた別のライブラリに対して DLOGON を再試行してください。

NAT6475：現在のマスタ環境からの DLOGON は許可されません。

テキスト	現在のマスタ環境からの DLOGON は許可されません。
[説明]	現在のマスタ環境から該当の環境への DLOGON は許可されません。
[対処]	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT6476：外部パスワードが見当たらない、または不正です。

テキスト	外部パスワードが見当たらない、または不正です。
[説明]	外部ライブラリに対する DLOGON ステートメントに構文 2 が使用され、かつマスタ環境内のユーザーのパスワードが新しい環境でのユーザーのパスワードと異なる場合は、スレーブ環境でのユーザーのパスワードも指定する必要があります。
[対処]	正しい外部パスワードを使用して DLOGON を再試行してください。

NAT6477：別の環境への DLOGON が失敗しました。Natural セッションを再スタートしてください。

テキスト	別の環境への DLOGON が失敗しました。Natural セッションを再スタートしてください。
[説明]	論理ファイルテーブルでオーバーフローが発生したため、現在の Natural セッションで別の Entire DB 環境に DLOGON することはできません。
[対処]	Natural セッションを再スタートし、DLOGON を再スタートしてください。

NAT6478 : Entire DB システムファイルがカップリングされていません。

テキスト	Entire DB システムファイルがカップリングされていません。
[説明]	Entire DB システムファイルがカップリングされていない場合、Entire DB ではシステムファイル 2 がシステムファイル 1 とともに属しているかどうかを認識できません。カップリングされていないファイルを使用することもできますが、パフォーマンス上の理由から、物理的にカップリングされたファイルを使用することをお勧めします。エラーを回避するために、Entire DB システムファイルがカップリングされていない場合、Entire DB では、連続するファイル番号を使用する必要があります。
[対処]	LFile 割り当てが正しいことを確認し、Entire DB システム管理者に連絡してください。

NAT6479 : インデックスが UP TO オプションを超過します。インデックスが正しくないため、更新は実行されません。

テキスト	複数の属性に対するインデックスまたは関連する UP-TO オプションより大きいピリオディックグループ内の属性が指定されました
[説明]	UPDATE コマンドは続行しますが、正しくないインデックスを持つ属性値が保存されます。
[対処]	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、または Entire DB 管理者に連絡して UP-TO オプションを大きくしてください。

NAT6480 : エイリアス名は、すでに別の ERE の名前であるため、拒否されました。

テキスト	IMPORT の実行中、エイリアス名が拒否されました。これは、この名前がすでに別の ERE の名前であるためです。
[説明]	名前の重複エラーを回避するため、名前は拒否されました。インポートされた ERE の他の属性はすべて更新されます。
[対処]	どの ERE をその名前にする必要があるかをチェックし、必要に応じて ERE を更新してください。

NAT6481 : ERE の更新は拒否されました。

テキスト	インポート中、オカレンスの更新が拒否されました。
[説明]	Entire DB インポートでは、次のオカレンスの更新が拒否されます。 - DLOGON ライブラリが GLOBAL-LIBRARY でない場合、ライブラリ半依存カテゴリの、ライブラリに依存しないオカレンス - DLOGON ユーザー - ダミーでないライブラリ
[対処]	GLOBAL-LIBRARY 内の ERE が拒否された ERE と同じであるかどうかをチェックします。そうでない場合は、エクスポートライブラリ内の ERE の名前を変更し、EXPORT および IMPORT プログラムを再実行します。そうである場合は、標準の更新プログラムを使用して、要求された更新を実行します。

NAT6482 : Entire システムファイル 2 が ISN の再利用を使用して定義されました。

テキスト	Entire DB 用の Adabas システムファイル 2 が ISN 再利用を使用して定義されました。
[説明]	システムファイル 1 に保存されているレコードの ISN がシステムファイル 2 の MAX-ISN を超えています。 Entire DB ニュークリアス では、Adabas が Adabas アドレスコンバータの拡張を作成するよう強制するためにシステムファイル 2 に対して Adabas N1 コールを実行しようとした。ただし、ISN 再利用によって、Adabas は小さい ISN を持つ ISN を作成し、アドレスコンバータの拡張は作成しませんでした。ISN 再利用オプションがリセットされるか、または MAX ISN を増加させるまで、新しいレコードの保存および一部の更新は実行できません。
[対処]	DBA に連絡して Adabas Entire システムファイル 2 の ISN 再利用オプションをリセットしてください。

NAT6483 : ISN が Entire システムファイル 2 にのみ存在し、ファイル 1 には存在しません。

テキスト	ISN が Entire システムファイル 2 にのみ存在し、ファイル 1 には存在しません。
[説明]	Entire DB ニュークリアスが予期しない状況を検知しました。 Entire DB ニュークリアス内のエラーが原因と考えられます。
[対処]	Entire DB での作業を継続するには、Natural セッションを終了してセッションを新たに開始します。DU=ON でエラーの再現を試みてダンプを取得し、Software AG に連絡してください。

NAT6484 : ライブラリに無効な属性が含まれているため、DLOGON が拒否されました。

テキスト	ライブラリに無効な属性が含まれているため、DLOGON が拒否されました。
[説明]	このことは、SAG によって提供されているユーティリティまたはサブプログラムを使用してライブラリが定義されていない場合に発生することがあります。このことは、ライブラリを参照する ERE のインポートが実行され、そのライブラリがダミーとして作成された場合や、ドメイン属性のあるリンケージ属性に対して存在しないライブラリ名が指定された場合に、よく発生します。
[対処]	Entire DB 管理者に連絡し、ライブラリ定義を修正します。

NAT6485：コントロールブロック内の ISN が ER- カテゴリの ISN ではありません。

テキスト	コントロールブロック内の ISN が ER- カテゴリの ISN ではありません。
[説明]	要求されたカテゴリが存在しない環境に対して DLOGON が実行されたか、またはコントロールブロック内の正しくない ISN を使用するネイティブコールが実行されました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6486：READ LOGICAL が記述属性に対してのみ実装されています。

テキスト	READ LOGICAL が記述属性に対してのみ実装されています。
[説明]	このエラーは次の理由によって発生する場合があります。 1) リンケージ属性が READ ステートメント内に指定されています。このことは実装されていません。代わりに、FIND ステートメントおよび SORT ステートメントを使用してください。 2) DDM がカテゴリに関連していません。これは、おそらく他のカテゴリを使用する環境への DLOGON が実行されたためです。 3) 無効な Entire L3/L6 ダイレクトコールが実行されました。
[対処]	プログラムおよび前の DLOGON ステートメントをチェックし、エラーを修正します。

NAT6487：Entire コールの検索バッファ内または値バッファ内にエラーがあります。

テキスト	Entire コールの検索バッファ内または値バッファ内にエラーがあります。
[説明]	Entire 無効な検索バッファまたは値バッファを使用するダイレクトコールが実行されました。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6488：データブロックの数が無効です。

テキスト	データブロックの数が無効です。
[説明]	データブロック数には、0 か、または 10 と 16 の間の値を定義する必要があります。デフォルト値は 0 または 10 です。
[対処]	Entire DB ユーティリティのレコードサイズメンテナンスに関して、Entire DB 管理者に問い合わせてください。

NAT6489：ZSIZE はこの環境では不十分です。

テキスト	ZSIZE はこの環境では不十分です。
[説明]	ZSIZE 要求は、環境（システムファイル）でデータブロック（レコードサイズ）の数に対して割り当てられた値に依存します。
[対処]	ZSIZE を増加させ、Natural セッションを再スタートします。

NAT6490：ERE が矛盾しています。

テキスト	ERE が矛盾しています。
[説明]	SHOW ステートメントで発生する ERE の矛盾のタイプは表示される警告の種類から推測できます。
[対処]	この矛盾は、『Entire DB Reference』ドキュメントの "Inconsistency" の説明に従って除去する必要があります。

NAT6491："ERRORS" はここでは許可されません。

テキスト	"ERRORS" はここでは許可されません。
[説明]	予約語 "ERRORS" が検出されましたが、検索バッファでは許可されません。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6492：カテゴリテーブルに書き込むことができません。モジュールがリンクされていません。

テキスト	カテゴリテーブルに書き込むことができません。モジュールがリンクされていません。
[説明]	カテゴリの用途テーブルに必要なモジュールが Natural にリンクされていません。詳細については、『Entire DB Installation』ドキュメントを参照してください。
[対処]	リンクジョブをチェックして、必要なモジュールを Natural にリンクし直してください。

NAT6493：関係オカレンスの関係要素が無効です。

テキスト	関係オカレンスの関係要素が無効です。
[説明]	無効な関係要素が関係オカレンスの保存に対して指定されました。すべての関係要素が空値を持っているか、または関係要素 n が空値を持ち、かつ関係要素 n+1 が空値を持っていません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6494 : DLOGON セッションが正しくありません。

テキスト	DLOGON セッションが正しくありません。
[説明]	DLOGON セッションは "0" と "9" の間か、または "+" または "-" の値にすることができます。 "+" は、前の DLOGON セッションが "9" より小さい場合にのみ許可されます。 "-" は前の DLOGON セッションが "0" より大きい場合にのみ許可されます。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6495 : マスタ環境が正しくありません。

テキスト	マスタ環境が正しくありません。
[説明]	無効な LFILE パラメータが Entire DB システムファイルに指定されたか、または Entire DB マスタ環境が正しくインストールされていません。
[対処]	SYSPROF コマンドに対するシステムファイルの割り当てをチェックしてください。正しい場合は、Entire DB マスタ環境が正しくインストールされていることをチェックしてください。

NAT6496 : スレーブ環境が正しくありません。

テキスト	スレーブ環境が正しくありません。
[説明]	外部ライブラリのスレーブ環境エントリの指定が正しくないか、または Entire DB スレーブ環境が正しくインストールされていません。
[対処]	Entire DB オンラインサービスを使用して、スレーブ環境の定義をチェックします。正しい場合は、Entire DB スレーブ環境は正しくインストールされています。

NAT6497 : REPLACE オプションが指定されていないため、コピーは拒否されました。

テキスト	REPLACE オプションが指定されていないため、コピーは拒否されました。
[説明]	ダミーでないターゲット ERE がすでに存在する場合、コピーは REPLACE オプションが指定されている場合にのみ許可されます。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6498：更新処理は、同時更新のために拒否されました。

テキスト	更新処理は、同時更新のために拒否されました。
[説明]	次のいずれかの理由により、更新処理は実行されませんでした。 1) 更新対象のレコードが別のユーザーによってホールドされています。 2) 参照したレコードは別のユーザーにホールドされています。 3) "ホールド" キューがいっぱいです。
[対処]	後で再実行してください。"ホールド" キューが小さすぎる場合は、データベース管理者に連絡してください。

NAT6500：EDITOR バッファ SSIZE が割り当てられていないか、または小さすぎます。

テキスト	EDITOR バッファ SSIZE が割り当てられていないか、または小さすぎます。
[説明]	SSIZE バッファ用のメインストレージが不十分であるため、EDITOR の初期化が失敗しました。
[対処]	SSIZE の値を大きくするか、またはより大きな環境で Natural を再スタートしてください。

111

Natural システムエラーメッセージ 6501～6550

NAT6501：SAG EDITOR バッファプールが見つからないか、無効か、またはアクティブではありません。

テキスト	SAG EDITOR バッファプールが見つからないか、無効か、またはアクティブではありません。
[説明]	SAG EDITOR バッファプールが正しく定義されていないか、割り当てられていないか、または起動されていません。異なる Natural バージョンの Natural ニュークリアスを使用して初期化されている可能性があります。EDITOR バッファプールを異なる Natural バージョン間で共有することはできません。 プロファイルパラメータ EDPSIZE を使用して補助 SAG EDITOR バッファプールを定義すると、割り当てるのに十分なメモリがない場合があります。
[対処]	Natural パラメータモジュール内の NTBP マクロによって EDITOR バッファプールが正しく指定されていることをチェックしてください。グローバルバッファプールについて、正常に起動されたことをチェックしてください。問題を修正し、Natural セッションを再スタートしてください。

NAT6502：SAG EDITOR バッファプールが小さすぎます。

テキスト	SAG EDITOR バッファプールが小さすぎます。
[説明]	SAG EDITOR バッファプールの定義が小さすぎるため、必要なすべてのテーブルと十分な数のブロックを含めることができません。SAG EDITOR バッファプールスペース要件の詳細については、Natural ドキュメントを参照してください
[対処]	SAG EDITOR バッファプールを大きくするか、またはより小さいワークファイルを使用して、Natural 環境を再スタートしてください。

NAT6503 : SAG EDITOR バッファプールの初期化のタイムアウトを超過しました。

テキスト	SAG EDITOR バッファプールの初期化のタイムアウトを超過しました。
[説明]	マルチユーザー環境またはグローバル SAG EDITOR バッファプールを使用しているとき、1) 別のユーザーが実行した初期化が予想しないアベンドによって失敗したか、または 2) 初期化のタイムアウト値を超過しました。
[対処]	1 番目のケースの場合は、Software AG サポートに連絡してください。問題が解決したら、EDITOR バッファプールを再スタートしてください。2 番目のケースの場合は、EDITOR バッファプールのタイムアウトパラメータを大きくし、EDITOR を再スタートしてください。

NAT6504 : SAG EDITOR バッファプールのワークファイルのオープンエラー :1:。

テキスト	SAG EDITOR バッファプールのワークファイルのオープンエラー ...。
[説明]	SAG EDITOR バッファプールの初期化中、ワークファイルへの最初のアクセスが次のリターンコードのいずれかで失敗しました。 04：ワークファイルをオープンまたはアクセスできません。 08：ワークファイルのレコード長が無効です。 12：ワークファイル I/O エラー。 16：ワークファイルが正しく定義されていないか、または別のバッファプールによって使用中です。
[対処]	メッセージのさらに詳細な内容については、コンソールオペレータのログをチェックしてください。 ワークファイルの問題を修正し、SAG EDITOR バッファプールを再スタートしてください。

NAT6505 : SAG EDITOR ワークファイルのレコード長が無効です。

テキスト	SAG EDITOR ワークファイルのレコード長が無効です。
[説明]	EDITOR SAG バッファプールのワークファイルの定義で、レコード長が無効です。レコード長は 504 から 16384 バイトまでの範囲内で、かつ 8 バイトの倍数である必要があります。
[対処]	正しいレコード長を指定して SAG EDITOR バッファプールのワークファイルを再定義し、SAG EDITOR バッファプールを再スタートしてください。

NAT6506 : SAG EDITOR バッファプールが再スタートされました。

テキスト	SAG EDITOR バッファプールが再スタートされました。
[説明]	SAG EDITOR バッファプールが管理ユーティリティによって再スタートされました。このセッションでは、新しいバッファプールにはアクセスできません。
[対処]	新しいバッファプールにアクセスするには、Natural セッションを再スタートします。

NAT6507 : EDITOR バッファプールは正常に初期化されました。ユーザー :1:

テキスト	EDITOR バッファプールは正常に初期化されました。ユーザー ...。
[説明]	SAG EDITOR バッファプールはユーザー ... によって正常に初期化されました。これは情報メッセージであり、SAG EDITOR バッファプールパラメータ IMSG=OFF が設定されていた場合は、オペレータコンソールに送信されません。
[対処]	なし

NAT6508 : SAG EDITOR バッファプールの初期化が失敗しました。ユーザー :1:

テキスト	SAG EDITOR バッファプールの初期化が失敗しました。ユーザー ...。
[説明]	ユーザー ... によって開始された SAG EDITOR バッファプールの初期化が失敗しました。このメッセージは、SAG EDITOR バッファプールパラメータ IMSG=ON が設定されていた場合にのみ、オペレータコンソールに送信されます。
[対処]	エラーの原因の詳細については、オペレータコンソールの他のメッセージをチェックしてください。

NAT6509 : SAG EDITOR バッファプールが終了しました。ユーザー :1:

テキスト	SAG EDITOR バッファプールが終了しました。ユーザー ...。
[説明]	SAG EDITOR バッファプールはユーザー ... によって正常に終了しました。これは情報メッセージであり、SAG EDITOR バッファプールパラメータ IMSG=OFF が設定されている場合は、オペレータコンソールに送信されません。
[対処]	なし

NAT6510 : SAG EDITOR ワークファイル読み込みエラー :1:

テキスト	SAG EDITOR ワークファイル読み込みエラー ...。
[説明]	SAG EDITOR バッファプールワークファイルからレコードを読み込むとき、エラーが発生しました。エラーの原因は、エラー理由コードごとに次のとおりとなります。 08：ワークファイルのレコード長が無効です。 12：ワークファイル I/O エラー。 16：無効なワークファイルが定義されています。 20：レコードが見つかりません。
[対処]	メッセージのさらに詳細な内容については、コンソールオペレータのログをチェックしてください。 ワークファイルで問題を修正し、必要に応じて SAG EDITOR バッファプールを再スタートしてください。

NAT6511 : SAG EDITOR ワークファイル書き込みエラー :1:

テキスト	SAG EDITOR ワークファイル書き込みエラー ...。
[説明]	SAG EDITOR バッファプールワークファイルへ書き込むとき、エラーが発生しました。エラー理由コードは次のとおりです。 08：ワークファイルのレコード長が無効です。 12：ワークファイル I/O エラー。 16：ワークファイルが正しく定義されていません。 20：ワークファイルのレコード番号が無効です。
[対処]	メッセージのさらに詳細な内容については、コンソールオペレータのログをチェックしてください。 ワークファイルで問題を修正し、必要に応じて SAG EDITOR バッファプールを再スタートしてください。

NAT6512 : SAG エディタはこの Natural バージョンでは実行できません。

テキスト	SAG エディタはこの Natural バージョンでは実行できません。
[説明]	Natural にリンクされた SAG エディタモジュール NATEDT は Natural ニュークリアスと互換性がありません。NATEDT モジュールは異なるバージョンに属しています。
[対処]	正しい NATEDT モジュールをリンクしてください。

112

Natural システムエラーメッセージ 6651～6700

NAT6700：エントリは **ND**（デフォルト非空値）または **NN**（非空値）です。

113

Natural システムエラーメッセージ 6701～6750

NAT6701：ND（デフォルトで非空値）／（FI）**fieldproc** ブロックは相互排他的です。

NAT6702：**fieldproc** ブロックに有効なプログラム名を入力してください。**ENTER** キーを押します。

NAT6706：副選択が必要です。**Enter** キーを押して次に進みます。

NAT6707：:1: を入力してください。

NAT6708：**UPDATE** および **UPDATE**（列名）は相互排他的です。

NAT6709：テーブル名またはビュー名、あるいはその両方を入力してください。**PF2** キーを押して次に進みます。

NAT6710：権限 ID または「**PUBLIC**」を入力します。**PF2** キーを押します。

NAT6711：次のマップを参照するには、**PF2** キーを押してください。

NAT6712：**SQL** メンバに無効な名前が指定されました。

NAT6713：コマンド行に指定されたキーワードが多すぎます。

NAT6714：リスト対象となる **SQL** メンバが見つかりません。

NAT6715：**SQL** メンバがないか、または無効です。

NAT6716：ソースの変更は考慮されません。**PF4** キーを押して確認します。

NAT6717：この名前のメンバはすでに存在しています。

NAT6718：現在、ソースエリアには :1: 行を超える行が含まれています。

NAT6719：**SQL** メンバの名前の先頭は大文字にする必要があります。

114

Natural システムエラーメッセージ 6751～6800

NAT6799：このエラーに関する情報が見つかりません。

115

Natural システムエラーメッセージ 6851～6900

NAT6900 : **Natural** コマンドプロセッサの内部エラー :1:

テキスト	Natural コマンドプロセッサ内部エラー ...。
[説明]	これはランタイムエラーです。
[対処]	エラー番号 ... をメモしてください。 Software AG サポートに連絡して、エラー番号を伝えてください。

116

Natural システムエラーメッセージ 6901～6950

NAT6901 : **PROCESS COMMAND** ステートメントの **ACTION** 節にエラーがあります。

テキスト	PROCESS COMMAND ステートメントの ACTION 節にエラーがあります。
[説明]	PROCESS COMMAND ステートメントで発生したエラーは、次のうちの1つによるものです。 - キーワード "ACTION" がありません。 - キーワード "ACTION" の後の指定が間違っているか、指定がありません。 正しい PROCESS COMMAND 構文については、 Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6902 : **PROCESS COMMAND** ステートメントの **USING** 節にエラーがあります。

テキスト	PROCESS COMMAND ステートメントの USING 節にエラーがあります。
[説明]	PROCESS COMMAND 出発生したエラーは、 次のうちの1つによるものです。 - キーワード "USING" がありません。 - 指定した action と USING オペランドが矛盾しています。 - USING 節に指定された値の1つが、その値を割り当てるための フィールドと一致しません。 - フィールドとその値の間に等号 "=" がありません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6903 : PROCESS COMMAND ステートメントの GIVING 節にエラーがあります。

テキスト	PROCESS COMMAND ステートメントの GIVING 節にエラーがあります。
[説明]	PROCESS COMMAND ステートメントで、次のいずれかのエラーが発生しました。 - キーワード "GIVING" がありません。 - GIVING 節に指定されたフィールドのいずれかが、ACTION 節で指定されたアクションと競合します。 - 指定されたアクションに必要なフィールドが定義 (DEFINE DATA ステートメントまたは GIVING 節) されていません。 - DEFINE DATA ステートメントでフィールド定義されている場合、GIVING 節は指定できません。
[対処]	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6910 : プロセッサ名が正しくありません。または見当たりません。

テキスト	プロセッサ名が正しくありません。または見当たりません。
[説明]	PROCESS COMMAND ステートメントの USING 節に指定されたコマンドプロセッサ名が正しくないか、または存在しません。
[対処]	正しい名前を指定してください。 または、存在するコマンドプロセッサ名を指定してください。

NAT6911 : 指定されたオブジェクトはコマンドプロセッサではありません。

テキスト	指定されたオブジェクトはコマンドプロセッサではありません。
[説明]	PROCESS COMMAND ステートメントの USING 節に指定されたオブジェクトの名前は、コマンドプロセッサ名ではありません。
[対処]	コマンドプロセッサ名を指定してください。 また、アンパサンド "&" 表記についてもチェックしてください。

NAT6912 : プロセッサ :1: が見つかりません。

テキスト	プロセッサ ... が見つかりません。
[説明]	PROCESS COMMAND ステートメントの USING 節に指定されたコマンドプロセッサ名が存在しません。
[対処]	存在するコマンドプロセッサ名を指定してください。

NAT6913 : コマンド行を受け入れられません。

テキスト	コマンドを受け入れられませんでした。
[説明]	このエラーは、次のいずれかの原因によって発生する可能性があります。 - コマンド行が空です。 - コマンド行にアンダースコアなどの特殊文字が含まれています。
[対処]	コマンド行の入力を修正してください。

NAT6914 : フィールド :1: の使い方が正しくありません。

テキスト	フィールド ... の使用方法が無効です。
[説明]	正しい使用方法については、Natural ドキュメントの PROCESS COMMAND ステートメント、ACTION GET/SET と特に GETSET-FIELD-NAME の可能な値のリストを参照してください。
[対処]	値を修正します。

NAT6915 : フィールド :1: の内容を受け入れられません。

テキスト	フィールド ... の内容を受け入れられませんでした。
[説明]	フィールドのフォーマット/長さが Natural ドキュメントの PROCESS COMMAND ステートメント、アクション SET にリストされたものと適合していません。
[対処]	フィールドのフォーマットと長さをチェックしてください。

NAT6917 : フィールド名 :1: (アクション :2:) が正しくありません。

テキスト	フィールド名 ... (アクション ...) が無効です。
[説明]	GET アクションに使用された GETSET-FIELD-NAME と SET アクションの間に矛盾がある、または、SET アクションに使用された値が正しくありません。 GET アクションが LAST-BUFFER を参照する場合、このエラーは、このバッファが有効ではないことを示します。
[対処]	プログラムの構文をチェックしてください。

NAT6918 : コマンドデータの **:1:** エラーです。

テキスト	コマンドデータの ... エラーです。
[説明]	コマンドプロセッサの定義と矛盾のあるデータがコマンド行にあると、ランタイムにエラーが発生します。 例えば、デリミタが見つからないときにこのエラーが起こります。 変数 ... 中のデータが解釈できません。
[対処]	コマンド行の入力をコマンドプロセッサの定義を考慮してチェックし、エラーを修正してください。

NAT6919 : **Natural** コマンドプロセッサ - セキュリティエラー **:1:**。

テキスト	Natural コマンドプロセッサ - セキュリティエラー ...。
[説明]	このエラーは Natural Security によるものです。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT6920 : プロセッサ **:1:** は許可されていません。

テキスト	コマンドプロセッサ ... は許可されていません。
[説明]	このコマンドプロセッサを使用する権限がありません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT6921 : キーワード **:1:** は許可されていません。

テキスト	キーワード ... は許可されていません。
[説明]	このキーワードを使用する権限がありません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT6922 : このコマンドは許可されていません。

テキスト	このコマンドは許可されていません。
[説明]	このコマンドを使用する権限がありません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT6923 : コマンドプロセッサに対して矛盾したセキュリティ定義があります。

テキスト	コマンドプロセッサに対して矛盾したセキュリティ定義があります。
[説明]	機能セキュリティが定義された後で、コマンドプロセッサがカタログされました。そのため、プロセッサと機能セキュリティ情報が一致しません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT6925 : **PRIVATE** シノニムが **:1:** できません。

テキスト	PRIVATE シノニムが ... できません。
[説明]	この機能に対する権限がないか、またはコマンドプロセッサヘッダ定義でこの機能が許可されていません。
[対処]	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT6926 : **PRIVATE** シノニム **:1:** が見つかりません。

テキスト	PRIVATE シノニム ... が見つかりません。
[説明]	指定された PRIVATE シノニムが見つかりません。
[対処]	PRIVATE シノニムの詳細については、Natural ドキュメントの PROCESS COMMAND ステートメント、PRIVATE 節を参照してください。

NAT6927 : キーワード **:1:** が見つかりません。

テキスト	キーワード ... が見つかりません。
[説明]	キーワードを正しく指定していません。
[対処]	キーワード名を正しく入力したかチェックしてください。 (特に大文字、小文字、省略したキーワードの長さに関して)

NAT6928 : キーワードが正しい状況で使われていません。

テキスト	キーワード ... が正しい状況で使われていません。
[説明]	これは語義のエラーです。 例えば、「UPDATE DELETE」というような意味のない言葉です。
[対処]	チェックして語義を修正してください。

NAT6929 : タイプ :1: のキーワードが見つかりません。

テキスト	タイプ :1: のキーワードが見つかりません。
[説明]	発行したコマンドに必要なキーワードがありません。 このキーワードなしではコマンドは解釈されません。
[対処]	表示されたタイプのキーワードが、入力されたキーワードとともに使用することができるかどうかをチェックしてください。該当するキーワードを選んでください。

NAT6930 : キーワードのシーケンスエラーです。

テキスト	キーワードのシーケンスエラーです。
[説明]	コマンドプロセッサのヘッダーに指定した順序と異なる順序でキーワードを入力しました。 例えば、 OBJECT ACTION の順にキーワードが必要なところに ACTION OBJECT というような順にキーワードを指定した 可能性があります。
[対処]	正しい順序でキーワードを入力してください。

NAT6931 : このコマンドは定義されていません。

テキスト	このコマンドは定義されていません。
[説明]	定義されていないコマンドを指定しました。 例えば、 DELETE と CUSTOMER というキーワードは存在しても、 存在しないコマンドである DELETE CUSTOMER を入力したなどです。
[対処]	有効なコマンドを指定してください。

NAT6932 : コマンドデータが許されていません。

テキスト	コマンドデータが許されていません。
[説明]	このコマンドではデータを入力することはできません。
[対処]	データなしでコマンドを入力してください。

NAT6933 : :1: 文字より多い文字のデータ要素が見つかりました。

テキスト	:1: 文字より多い文字のデータ要素が見つかりました。
[説明]	正しい文字数より多い文字数のデータ要素が入力されました。
[対処]	データ要素に対する正しい入力長をチェックし、 入力を修正してください。

NAT6934 : データ要素に数字以外の文字 :1: が見つかりました。

テキスト	データ要素に数字以外の文字 :1: が見つかりました。
[説明]	数字以外の文字がデータ要素の一部に入力されました。データ要素には数字しか入力できません。
[対処]	データ要素の入力を修正してください。

NAT6940 : **Natural** コマンドプロセッサのバッファにエラー :1: が起こりました。

テキスト	Natural コマンドプロセッサのバッファにエラー ... が起こりました。
[説明]	これは予期しないエラーです。NCPWORK にアクセスできません。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6942 : **Natural** コマンドプロセッサへの不正な **GETMAIN** 要求です。

テキスト	Natural コマンドプロセッサへの不正な GETMAIN 要求です。
[説明]	NCPWORK をオープンできません。 スレッドが使い果たされました。
[対処]	ESIZE/FSIZE を減らしてください。 BUS コマンドを使用して、どれだけスペースがあるのか調べてください。

NAT6943 : コマンドプロセッサのバッファ :1: KB を **GETMAIN** できませんでした。

テキスト	コマンドプロセッサのバッファ ... KB を GETMAIN できませんでした。
[説明]	Natural スレッド内に十分なスペースがありません。 メッセージ中の値は要求できない KB 数を示します。
[対処]	Natural 管理者に連絡し、ESIZE または FSIZE を増やしてください。

NAT6945 : **Natural** コマンドプロセッサのバッファを割り当てられません。

テキスト	Natural コマンドプロセッサのバッファを割り当てられません。
[説明]	NCPWORK バッファが上書きされたため、GET/SET アクションが実行できないか、または、コマンドプロセッサが閉じられています。
[対処]	PROCESS COMMAND ステートメントの ACTION EXEC を使用してコマンドプロセッサを開いてください。

117

Natural システムエラーメッセージ 6951～7000

NAT6970 : **Natural RPC** 初期化は失敗しました。 **RPC** は利用できません。

テキスト	Natural RPC 初期化は失敗しました。 RPC は利用できません。
[説明]	このエラーメッセージは、初期化エラーメッセージが表示された後に表示されます。 クライアント側では、以下の機能は使用できません。 - リモート CALLNAT の実行。 - SYSRPC 機能の SM、XC および PM。 - 会話とコンテキスト変数のローカルな使用。 サーバー側では、暗黙的な ITERM=ON によって Natural RPC サーバーセッションの終了が強制されます。
[対処]	先行する初期化エラーをチェックしてください。

NAT6971 : 接続エラー :1:、理由 :2: :3:。

テキスト	... での接続エラー、理由。
[説明]	理由：1：トランスポート層がない。 2：接続タイムアウト 3：会話のタイムアウト 4：Broker スタブの作業領域のためのスペースがない。 Natural スレッドカーリジョンサイズを 35 KB ずつ増やしてください。 5：データが切り捨てられた。サーバー側の MAXBUFF を増やしてください。 6：ノードが一致しない。 7：ノードがアクティブではない。 8：サーバーがアクティブではない。 9：トランスポート層からのエラー（詳細については RPCERR を発行）。 理由の後に、メッセージは問題のサーバー／ノードを表示します。 AUTORPC=ON の場合、このエラーは、クライアントサイドのローカルの NAT0082 エラーの代わりに発生する場合があります。
[対処]	上記の理由に応じて続行してください。

NAT6972 : ディレクトリエラー :1:、理由 :2: :3:。

テキスト	... でのディレクトリエラー、理由。
[説明]	ディレクトリエラーが発生しました。考えられる理由は次のとおりです。 1- ディレクトリがない。 2- ディレクトリ名が不正。 3- ディレクトリのロードスペースがない。RPC サイズを増やしてください。 4- サーバーは、エラーメッセージに示された名前に一致するサブプログラム/ライブラリのためのサービスディレクトリ内に見つからなかった。 5- エラーメッセージに示された2つのサブプログラムでの再帰的なRPC。 6- Natural エラーが NATCLTGS のロード中に発生した。 エラー番号はエラーメッセージ内に示されます。 AUTORPC=ON の場合、このエラーは、クライアントサイドのローカルの NAT0082 エラーの代わりに発生する場合があります。
[対処]	上記の理由に応じて続行してください。

NAT6973 : 対話エラー :1:、理由 :2: :3:。

テキスト	... での会話エラー、理由。
[説明]	理由 : 1 : OPEN CONVERSATION に対してサブプログラムが多すぎます。 2 : サブプログラム名が不正です。 3 : RPC サイズがオーバーフローしました。RPC サイズを増やしてください。 4 : 会話 (プログラム) 内でローカル/リモート CALLNAT が混在しています。 部分的にローカル/リモートである会話のメンバであるサブプログラムを実行することはできません。 5 : 会話の繰り返し。 会話内のサブプログラム実行中にその会話のメンバであるサブプログラムを実行できません。 6 : 閉じようとする会話が見つかりません。 7 : 閉じようとする会話 ID が見つかりません。 8 : ローカルの会話内で CLOSE CONVERSATION が実行されました。 会話内のサブプログラム実行中に会話を閉じることはできません。
[対処]	上記の理由に応じて続行してください。

NAT6974 : 変換エラー :1:、理由 :2: :3:。

テキスト	変換エラー :1:、理由 :2: :3:。
------	-----------------------

[説明]	<p>理由：</p> <p>1：CONTROL と HANDLE タイプの変数、および X-array の拡張下限はサポートされていません。</p> <p>2：:3: 番目のパラメータの内部フォーマットからの変換エラー。</p> <p>3：:3: 番目のパラメータの内部フォーマットへの変換エラー。</p> <p>4：:3: 番目のパラメータの内部フォーマットへの変換のためのスペースがありません。</p> <p>:1: サイドで MAXBUFF を増やしてください。</p> <p>5：:3: 番目のパラメータの内部フォーマットからの変換のためのスペースがありません。</p> <p>:1: サイドで MAXBUFF を増やしてください。</p> <p>6：:3: 番目のパラメータに対するフォーマットバッファエラー。</p> <p>7：RPC サイズ内に作業領域のためのスペースがありません。</p> <p>:1: 側の RPC サイズを増やしてください。</p> <p>8: クライアントサイドで MAXBUFF が定義されていないにもかかわらず、スタブなしの RPC が使用されています。</p>
[対処]	<p>8: クライアントサイドで MAXBUFF が定義されていないにもかかわらず、スタブなしの RPC が使用されています。上記の理由に応じて続行してください。</p>

NAT6975：セキュリティエラー :1:、理由 :2: :3:。

テキスト	<p>... でのセキュリティエラー、理由。</p>
[説明]	<p>理由：1：Natural RPC サーバーによりログオンデータが要求されました。</p> <p>2：不正なログオンデータが Natural RPC サーバーによって受け取られました。診断情報は、メッセージ内の理由の後に表示されています。</p> <p>3：RPC メタデータ内にあるログオンデータへのオフセットが正しくありません。</p> <p>4：メッセージに示されたユーザーの偽装は失敗しました。外部セキュリティシステムはユーザーのログオン試行を拒否しました。Natural RPC サーバートレースおよびサーバーのシステムログに理由が示されます。</p>
[対処]	<p>理由：1：クライアントから Natural RPC サーバーへのログオンデータを渡してください。</p> <p>2/3：Software AG サポートに連絡してください。</p> <p>4：セキュリティシステムに有効なログオンデータを渡してください。</p>

NAT6976：プログラム :1: でのコンテキストエラー、理由 :2: :3:。

テキスト	<p>... でのコンテキストエラー、理由。</p>
------	-----------------------------------

[説明]	<p>理由は次のとおりです。1：コンテキストサイズがオーバーフローしています。DEFINE DATA CONTEXT ステートメントの変数のためのストレージを割り当てることができませんでした。</p> <p>メインフレームコンピュータでは、CONTEXT バッファの割り当てまたは増加ができませんでした。</p> <p>これは、オペレーティングまたは TP システムのストレージ制限による、あるいは、Natural 環境制約（CONTEXT バッファのための Natural プロファイルパラメータ OVSIZE、NATCONFIG テーブルエントリ NTBUFID）によって生じます。</p> <p>Windows および UNIX システムでは、USIZE バッファの大きさが、ストレージ要求を満たすのに十分ではありませんでした。</p> <p>2：変数のフォーマット／長さの定義に矛盾があります。エラーメッセージに示される名前のコンテキスト変数が、前のプログラムで異なるフォーマット／長さで定義されました。</p>
[対処]	<p>フォーマット／長さ 理由：</p> <p>1：コンテキスト変数の数および（または）並行する会話の数を減らすか、または、ストレージ制約を削除してください。</p> <p>2：コンテキスト変数のフォーマット／長さを修正してください。</p>

NAT6977：EntireX RPC エラー :1:、理由 :2: :3:。

テキスト	... での EntireX RPC エラー、理由... ..。
[説明]	<p>EntireX RPC エラーが発生しました。</p> <p>この理由では、EntireX RPC エラー番号、必要に応じてその後に追加の診断情報が示されます。</p> <p>このエラーは、Natural クライアントが EntireX RPC サーバーと通信する場合にのみ発生します。</p>
[対処]	EntireX Communicator メッセージおよびコードを参照してください。

NAT6978：RPC プロトコルエラー :1:、理由 :2: :3:。

テキスト	... での RPC プロトコルエラー、理由... ..。
[説明]	<p>理由：2：サーバーはこの RPC プロトコルバージョンをサポートしません。理由の後で、サポートされないバージョンがメッセージに示されます。</p> <p>3：RPC プロトコルヘッダーが無効です。理由の後で、対応する EntireX エラー番号がメッセージに示されます。</p>
[対処]	<p>正しい RPC プロトコルバージョンを使用してください。</p> <p>EntireX メッセージを参照してください。</p>

NAT6979 : リモート **CALLNAT** の終了時期が早すぎました。

テキスト	リモート CALLNAT の終了時期が早すぎました。
[説明]	CALLNAT のリモート実行は、サーバー側で不正に早い時期に終了されたため、パラメータエリアのすべてのデータを消失しました。これは次の Natural ステートメントのいずれかの使用によるものです。 - STOP - FETCH - RUN - TERMINATE 注：上記のステートメントは次期 Natural バージョンのいずれかにおいて、リモートで実行される CALLNAT で使用できなくなります。
[対処]	リモートに実行される CALLNAT 内では STOP、FETCH、RUN、TERMINATE を使用しないでください。

NAT7000 : ダイナミックパラメータ **:1:** に不正な値が指定されました。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... に不正な値が指定されました。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 Natural プロファイルパラメータの詳細は、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを正しく指定して Natural を再度呼び出します。

118

Natural システムエラーメッセージ 7001～7050

NAT7001 : ダイナミックパラメータ **:1:** の値は、**:2:** - **:3:** です。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は、... - ... です。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータの有効値は、エラーメッセージに示された値です。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7002 : ダイナミックパラメータ **:1:** の値は、**:2:** - **:3:** または **0** です。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は、... - ... または 0 です。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータの有効値は、0 または、エラーメッセージに示された値です。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7003 : ダイナミックパラメータ **:1:** の値は、**1** 特殊文字でなければなりません。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は 1 特殊文字でなければなりません。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータに有効な値は、単一の特殊文字です。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、Natural のドキュメントを参照してください。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7004 : ダイナミックパラメータ :1: の値は、数値でなければなりません。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は、数値でなければなりません。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータには数値を指定する必要があります。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural のドキュメントを参照してください。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7005 : ダイナミックパラメータ :1: の値は 2 文字です。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は、... - ... 文字です。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータの有効値は、1～n 文字の名前です。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural のドキュメントを参照してください。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7006 : ダイナミックパラメータ :1: の値は 1 文字です。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は 1 文字です。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータの有効値は、単一の文字です。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural のドキュメントを参照してください。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7007 : ダイナミックパラメータ :1: の値は、:2: または :3: です。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は、... または ... です。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータには、エラーメッセージに示された 2 つのうち 1 つの値 を指定しなければなりません。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7008 : ダイナミックパラメータ :1: は存在しません/ダイナミック指定できません。

テキスト	パラメータ ... は存在しません/ダイナミック指定ができません。
[説明]	不正な Natural プロファイルパラメータをダイナミックに指定しました。 次の1つが原因として考えられます： - パラメータ名の間違い。 - 存在しないパラメータを指定した。 (旧バージョンのパラメータ) - ダイナミック指定が許可されていないパラメータを指定した。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural のドキュメントを参照してください。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7009 : パラメータ :1: の値リストに要素がありません。

テキスト	パラメータ ... の値リストに要素がありません。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータは、いくつかの値のリストを指定する必要がありますが、 1つまたはそれ以上の値が足りません。 この Natural プロファイルパラメータの有効な値の詳細については、 Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7010 : パラメータ :1: の値リストに要素が多すぎます。

テキスト	パラメータ ... に対する値リストの要素が多すぎます。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータは、いくつかの値のリストを指定する必要がありますが、 指定した値の数が多すぎます。 この Natural プロファイルパラメータの有効な値の詳細については、 Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7011 : パラメータ :1: に対する値リストの後に ")" がありません。

テキスト	パラメータ ... に対する値リストの後に ")" がありません。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータは、カッコで囲んだ値のリストを指定する必要がありますが、値のリストの末尾に閉じカッコがありません。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7012 : パラメータ :1: の値は、要素のリストである必要があります。

テキスト	パラメータ ... の値は、要素のリストである必要があります。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータは、いくつかの値のリストを指定する必要があります。 この Natural プロファイルパラメータの有効な値の詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7013 : パラメータモジュール :1: がありません。

テキスト	パラメータモジュール ... がありません。
[説明]	パラメータモジュール名が指定されましたが、その名前のパラメータモジュールは存在しません。
[対処]	有効なパラメータモジュールを使用してください。 必要であれば、Natural 管理者に連絡してください。

NAT7014 : パラメータモジュール :1: は不正です。

テキスト	パラメータモジュール ... は不正です。
[説明]	次の理由で不正なパラメータモジュールが指定されました。 - パラメータモジュールではない。 - 現在の Natural バージョンでは互換性がない。 - NTUSER マクロにより特定のユーザーに制限している。
[対処]	有効なパラメータモジュールを使用してください。 必要な場合は、Natural の管理者に連絡してください。

NAT7015 : ダイナミックパラメータ **:1:** の値は **16** 進です。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は、16 進です。
[説明]	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータには、16 進を指定する必要があります。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural のドキュメントを参照してください。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7016 : パラメータ **:1:** は **:2:** 回までしか指定できません。

テキスト	パラメータ ... は ... 回までのみ指定できます。
[説明]	複数回指定したダイナミックパラメータで Natural を起動しましたが、 このパラメータの指定回数が多すぎます。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural のドキュメントを参照してください。
[対処]	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7017 : ユーザー ID **:1:** は、このパラメータ文字列を使用できません。

テキスト	ユーザー ID ... は、このパラメータ文字列を使用できません。
[説明]	パラメータ文字列の使用が特定のユーザー ID に制限されています。 初期ユーザー ID と文字列内の USER プロファイルパラメータで 指定されたユーザー ID が一致しません。
[対処]	該当するパラメータ文字列内の USER パラメータリストにユーザー ID を 追加してください。または、認証済みのユーザー ID を使用してください。

NAT7018 : プロファイルパラメータコメントの終わりにデリミタ ***/** がありません。

テキスト	終了プロファイルパラメータコメントデリミタ */ がありません。
[説明]	ダイナミックプロファイルパラメータストリングに、 開始コメントデリミタ /* は含まれていますが、 終了コメントデリミタ */ が見つかりませんでした。 開始コメントデリミタの後のすべてのデータは無視されてしまいます。
[対処]	終了コメントデリミタをパラメータ文字列に挿入してください。

NAT7019：コードページ **:1** が無効であるか、または定義されていません。

テキスト	コードページ ... が無効であるか、または定義されていません。
[説明]	プロファイルパラメータ CP によって指定されたコードページ名がモジュール NATCONFIG 内の Natural コードページテーブルになかったか、またはマクロ NTCPAGE で MULTI=ON が指定されており、このことによってマルチバイトコードページ、つまり 1 つの文字が 2 バイト以上で表現されている場合があることが示されているために、このコードページを使用できませんでした。 有効なコードページ名はすべて、ソースモジュール NATCONFIG 内のマクロ NTCPAGE によって定義済みである必要があります。文字変換には、シングルバイト文字のコードページのみを使用できます。
[対処]	プロファイルパラメータ CP の値を修正するか、または任意のコードページ名を NATCONFIG 内の Natural コードページテーブルに追加します。

NAT7020：ダイナミックパラメータ **:1** の値はすでに **:2** によって使用されています。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値はすでに ... によって使用されています。
[説明]	次のプロファイルパラメータは 4 つの異なる値を持つ必要があります。DC、IA。ID および STACKD。
[対処]	このことに従ってプロファイルパラメータ値を変更します。

NAT7021：CFICU=ON が設定されているため、文字変換パラメータ **:1** は無視されました。

テキスト	CFICU=ON が設定されているため、文字変換パラメータ ... は無視されました。
[説明]	次のマクロのいずれかを含む Natural パラメータモジュール内、または示されたダイナミックプロファイルパラメータによって文字変換パラメータが指定されています。 NTTAB、NTUTAB1、NTUTAB2、NTSCTAB。 Unicode サポートが有効化されているため、文字変換は、代わりに Unicode サポートによって実行されます。これにより、メッセージに示された文字変換パラメータは無視されました。
[対処]	このメッセージが発生しないようにするには、文字変換パラメータを削除するか、またはパラメータ CFICU=OFF を指定して、Unicode サポートを無効にします。CFICU=ON を指定する必要がある場合は、該当アプリケーションで文字変換が正しく行われるかどうかをテストしてください。

NAT7043 : ダイナミックパラメータ **KEY** に指定された値が正しくありません。

テキスト	ダイナミックパラメータ KEY に指定された値が正しくありません。
[説明]	指定されたファンクションキーの名前が間違っているか、または定義されていない、あるいは指定されたファンクションキーの値が正しくありません。 有効な KEY パラメータ指定は次のとおりです。 KEY =(OFF) - パラメータモジュールで定義されたキーをすべて解除。 KEY =(ON) - パラメータモジュールで定義されたキーをすべて採用。 KEY =(PF1=OFF) - パラメータモジュールで定義された PF1 の値を無視。 KEY =(PF1=LOGON) - パラメータモジュールで定義された PF1 の値を置き換える。 KEY =(PF1="LOGON SYSTEM",PF2="L PROGRAM") - パラメータモジュールで定義された PF1 と PF2 の値を置き換える。
[対処]	KEY パラメータに正しい値を指定して Natural を再起動してください。

NAT7050 : 製品ライセンスモジュールがないか、または無効です。

テキスト	製品ライセンスモジュールがないか、または無効です。
[説明]	Natural のライセンスモジュールがニュークリアスにリンクされていないか、またはライセンスファイル変換ユーティリティによって正しく生成されていません。 正しい製品ライセンスがないと、セッションを開始できません。
[対処]	正しいライセンスモジュールを生成してリンクします。 正しいライセンスファイルがない場合は、 Software AG に連絡してください。

119

Natural システムエラーメッセージ 7051～7100

NAT7051：製品ライセンスキーが無効です。

テキスト	製品ライセンスキーが無効です。
[説明]	製品ライセンスモジュール内に定義されているライセンスキーがモジュール内の他のデータと一致しません。データまたはキーが正しく生成されていません。
[対処]	正しいライセンスモジュールを生成してリンクします。 正しいライセンスファイルがない場合は、Software AG に連絡してください。

NAT7052：製品ライセンスは :1: 用ではありません。

テキスト	製品ライセンスは ... 用ではありません。
[説明]	製品ライセンスは無効です。 ... は以下のいずれかです。 - 製品およびリリース "NAT v.r" (Natural バージョン v リリース r) - オペレーティングシステム "zOS"、"zVSE"、"zVM" または "BS2000"
[対処]	ライセンスファイル内の製品リリースおよびオペレーティングシステムをチェックしてください。使用する環境に一致するライセンスファイルがない場合は、Software AG に連絡してください。

NAT7053：製品ライセンスが :1: に期限切れとなりました。

テキスト	製品ライセンスが ... に期限切れとなりました。
[説明]	製品ライセンスは ... (YYYY/MM/DD) に期限切れとなり、現在は無効です。有効な製品ライセンスがないと、セッションを開始できません。
[対処]	正しいライセンスモジュールを生成してリンクします。 正しいライセンスファイルがない場合は、Software AG に連絡してください。

NAT7054：製品ライセンスの価格単位の値が無効です。

テキスト	製品ライセンスの価格単位の値が無効です。
[説明]	製品ライセンスファイル内の価格単位の値が次のいずれかです。MSU、LPAR、SC または MZ9。
[対処]	製品ライセンスファイル内の価格単位の値をチェックしてください。有効なライセンスファイルがない場合は、Software AG に連絡してください。

NAT7055：CPU-ID :1: が製品ライセンス内で定義されていません。

テキスト	CPU-ID ... が製品ライセンス内で定義されていません。
[説明]	該当 CPU のシリアル番号 ... が製品ライセンス内で定義されていません。
[対処]	Software AG に連絡し、使用する CPU に適合する有効なライセンスファイルを要求してください。

NAT7056：LPAR 名 :1: が製品ライセンス内で定義されていません。

テキスト	LPAR 名 ... が製品ライセンス内で定義されていません。
[説明]	ライセンス内の価格モデルは "LPAR" ですが、使用しているシステムの現在の名前 ... が、ライセンス内で定義されている LPAR と一致しません。
[対処]	Software AG に連絡し、使用する LPAR に適合する有効なライセンスファイルを要求してください。

NAT7057：マシンの容量が製品ライセンス内の MSU よりも高くなっています。

テキスト	マシンの容量が製品ライセンス内の MSU よりも高くなっています。
[説明]	マシンまたはパーティションの現在の容量が製品ライセンス内で定義されている MSU よりも高くなっています。
[対処]	Software AG に連絡し、必要を満たす MSU 値を持つライセンスファイルを要求してください。

NAT7058：製品ライセンスが :1: に期限切れとなります。

テキスト	製品ライセンスが ... に期限切れとなります。
[説明]	製品ライセンスの有効期限は ... (YYYY/MM/DD) です。 警告： この日付を過ぎると、このライセンスを使用して Natural を開始できなくなります。
[対処]	Software AG に連絡し、別の有効期限を持つ、または有効期限のない新しいライセンスファイルを要求してください。

120

Natural システムエラーメッセージ 7151～7200

NAT7200 : NATSPOOL : :1: エラー :2: スプールファイルへのアクセス。

テキスト	NATSPOOL : ... エラー ... スプールファイルへのアクセス。
[説明]	Natural 初期化時の NATSPOOL ファイルのコールによって生じた Adabas/VSAM レスポンスコードが、0 ではありませんでした。 以下の理由が考えられます。 - FSPOOL パラメータが NATPARM に存在しない。 - FSPOOL に定義されている NATSPOOL ファイルがロードされていない。 - FSPOOL に定義されている NATSPOOL ファイルが開いていない。 - NATSPOOL (VSAM) ファイルの DD/DLBL ステートメントが CICS スタートアップジョブ内に存在しない。
[対処]	NATSPOOL のステータス および／または、CICS スタートアップジョブをチェックしてください。

121

Natural システムエラーメッセージ 7201～7250

NAT7201 : **NATSPool** : ユーザープロファイル **:1:** が見つかりません。

テキスト	NATSPool : ユーザープロファイル ... が見つかりません。
[説明]	プリンタパラメータに定義されたユーザープロファイルが SYSPOOL ファイルに追加されていません。
[対処]	NATSPool オペレータコマンドの "U" 機能を使用して、ユーザープロファイルを定義してください。

NAT7202 : **NATSPool** : 論理プリンタプロファイル **:1:** が見つかりません。

テキスト	NATSPool : 論理プリンタプロファイル ... が見つかりません。
[説明]	現在アクティブなユーザープロファイルに含まれる、論理プリンタプロファイルの1つが、NATSPool ファイルに定義されていません。
[対処]	NATSPool オペレータコマンドの "L" 機能を使用して、論理プリンタプロファイルを定義してください。

122

Natural システムエラーメッセージ 7351～7400

NAT7386 : 不正な :1: レベル :2:、 :3: 以上である必要があります。

テキスト	不正な .1.。 レベル .2.。 .3. 以上である必要があります。
[説明]	.1. コンポーネント内の SM レベルは .3. 以上である必要があります。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 正しい SM レベルをインストールしてください。

NAT7387 : **Natural for DB2** パラメータモジュールがリンクされていません。

テキスト	Natural for DB2 パラメータモジュールがリンクされていません。
[説明]	旧バージョン用の Natural パラメータモジュールを使用している可能性があります。 バージョン 2.2.4 以降が必要です。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 Natural for DB2 パラメータモジュールを Natural 環境にリンクしてください。

NAT7388 : **Natural SQL** インターフェイスがアクティブではありません。 **SQL** コールができません。

テキスト	Natural SQL インターフェイスがアクティブではありません。 SQL コールを処理できません。
[説明]	このエラーメッセージは、初期化エラーメッセージが表示された後に表示されます。
[対処]	先行する初期化エラーをチェックしてください。

NAT7389 : Natural SQL インターフェイスがアクティブですが、ファイルサーバーがありません。

テキスト	Natural SQL インターフェイスがアクティブですが、ファイルサーバーがありません。
[説明]	ファイルサーバーの初期化エラーに続くエラーメッセージです。 Natural セッションに対してファイルサーバーが有効ではありません。 SQL ステートメントは通常どおり処理されます。

NAT7390 : :1: がリンクされていません/見つかりません。

テキスト	... がリンクされていません/見つかりません。
[説明]	要求されたモジュールは、Natural 環境にリンクされていません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。 インストレーションを確認してください。

NAT7391 : DB2SIZE パラメータは :1: に設定する必要があります。

テキスト	DB2SIZE パラメータは ... に設定する必要があります。
[説明]	Natural DB2/Natural SQL/DS で要求されたすべてのバッファを満たすには DB2SIZE パラメータに指定したエリアが小さすぎます。
[対処]	DB2SIZE をエラーメッセージが示すサイズに設定し、 Natural を再起動してください。

NAT7392 : DB2SIZE に対する GETMAIN に失敗しました。

テキスト	DB2SIZE に対する GETMAIN に失敗しました。
[説明]	Natural の初期化中に DB2SIZE パラメータにより指定された バッファエリアの GETMAIN に失敗しました。 空き容量が十分ではないか、スレッドが小さすぎます。
[対処]	Natural の総合エリアサイズの割り当てを減らすか、 リージョンサイズを増やしてください。

NAT7393 : ファイルサーバー初期化エラー :1:。

テキスト	ファイルサーバー初期化エラー ...
------	--------------------

[説明]	<p>ファイルサーバーの初期化に失敗しました。 理由コードはエラーメッセージに表示されています。表示される可能性のある理由コードとその意味は次のとおりです。</p> <p>01 - グローバルディレクトリが一杯です。 04 - データセットオープンエラー。 05 - データセット読み込みエラー。 06 - データセット書き込みエラー。 07 - ENQUEUE に失敗しました。 08 - DEQUEUE に失敗しました。 10 - DB2SIZE が小さすぎます。 11 - システム GETMAIN に失敗しました。 12 - システム FREEMAIN に失敗しました。 13 - WAIT 要求に失敗しました。 14 - データセットに十分なスペースがありません。</p>
[対処]	14 - データセットに十分なスペースがありません。Natural 管理者に連絡してください。

NAT7394 : DB2COMRE のロードに失敗しました。

テキスト	DB2COMRE のロードに失敗しました。
[説明]	<p>Com-plete 環境での Natural SQL インターフェイスの初期化中に Com-plete から DB2 へのインターフェイスで DB2COMRE のロードができませんでした。 DB2COMRE が、レジデントページとして定義されていません。</p>
[対処]	Com-plete の管理者に連絡してください。

NAT7395 : Natural は、DSNMTV01 内の NDLSINIB 経由で開始しなければなりません。

テキスト	Natural は、DSNMTV01 内の NDLSINIB 経由で開始しなければなりません。
[説明]	<p>DSNMTV01 環境では、すべての ET/BT コールは、NDBPARM 内のパラメータ DLISYNC=ON によって要求されたものとして NDLSINIB で処理されますが、Natural が NDLSINIB ブートストラップモジュール経由で開始されていません。</p>
[対処]	NDLSINIB ブートストラップモジュール経由で Natural を開始します。または、NDBPARM 内のパラメータ DLISYNC を OFF に設定します。

NAT7396 : ユーザーエリアが変更されています。

テキスト	ユーザーエリアが変更されています。
[説明]	<p>Natural は、一定の間隔でユーザーエリアのチェックを行います。 この領域が上書きされた時、Natural は Natural セッションの正しい継続を保証しません。</p>
[対処]	Natural を再スタートしてください。

NAT7397 : システムファイルが変更されています。

テキスト	システムファイルが変更されています。
[説明]	Natural は、Natural システムファイルの完全性をチェックします。 Natural が矛盾を発見すると、このエラーメッセージが表示されます。 DBA は、適切な認可なしに誰が、何のために システムファイル内のデータを変更したのか調べてください。
[対処]	再度 Natural システムファイルを INPL してください。

NAT7398 : **Natural** ニュークリアスの **SM** レベルが、システムファイルと一致しません。

テキスト	Natural ニュークリアスの SM レベルが、システムファイルと一致しません。
[説明]	起動時に、Natural は、Natural ニュークリアスの SM レベルと、 システムファイルのレベルが一致するか調べます。 一致しなければ、システムプログラムが動かないことがあります。
[対処]	正しいシステムファイルで、Natural を再起動してください。

NAT7399 : **Natural** システムファイル情報がありません。

テキスト	Natural システムファイル情報がありません。
[説明]	起動時、Natural は妥当性についてシステムファイル情報をチェックします。 Natural はシステムファイル情報を見つけることができませんでした。 プロファイルパラメータ FNAT で指定されたシステムファイルが 有効なシステムファイルではないか、またはシステムファイルは 無許可アクセスによって破壊されています。
[対処]	正しいシステムファイルで、Natural を再起動してください。

123

Natural システムエラーメッセージ 7401~7450

NAT7402 : ダイナミックパラメータの指定ができません。

テキスト	ダイナミックパラメータの指定はできません。
[説明]	Natural 管理者により、すべての Natural セッションにデフォルトパラメータが設定されています。動的なパラメータ指定はできません。すべてのダイナミックパラメータが無視されます。
[対処]	パラメータなしで、Natural を起動してください。

NAT7403 : 指定されたプロファイル :1: が見つかりません。DB/FNR :2:/:3:。

テキスト	指定されたプロファイル ... が見つかりません。DB/FNR .../...。
[説明]	Natural は、与えられたパラメータプロファイルで起動しますが、指定されたシステムファイル内でパラメータプロファイルを見つけることができませんでした。
[対処]	SYSPARM ユーティリティを使用して、プロファイル定義とシステムファイルをチェックしてください。

NAT7404 : 時差設定 (TD=AUTO) に失敗しました。

テキスト	時差設定 (TD=AUTO) に失敗しました。
[説明]	TD=AUTO の設定では、Natural が物理マシンタイムと論理マシンタイム間の差異を TD パラメータに設定します。この時に矛盾を発見しました。時差は、TD=0 に設定されます。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT7405 : LS および PS パラメータの結果は、**32760** を超えてはいけません。

テキスト	LS および PS パラメータの結果は、32760 を超えてはいけません。
[説明]	LS および PS パラメータ値により得られる結果が 32760 を超えてはいけません。
[対処]	LS および/または PS パラメータの値を小さく指定してください。

NAT7406 : プロファイル:**1**:を読み込むとき、エラーが発生しました。DB/FNR/RSP :**2**:/**3**:/**4**。

テキスト	プロファイル ... を読み込むとき、エラーが発生しました。DB/FNR/RSP .../.../....
[説明]	Natural は指定されたパラメータプロファイルを使用して開始されましたが、データベースがパラメータプロファイルを読み込もうとしたとき、エラーが発生しました。
[対処]	SYSPARM ユーティリティを使用して、データベースレスポンスコード、プロファイル定義およびシステムファイルをチェックしてください。

NAT7407 : タイムゾーン :**1**: が定義されていません。

テキスト	タイムゾーン ... が定義されていません。
[説明]	Natural パラメータモジュール (プロファイルパラメータ TD で) または Natural Security で定義されたタイムゾーンは、Natural コンフィグレーションモジュール NATCONFIG に事前定義されていません。
[対処]	Natural コンフィグレーションモジュール NATCONFIG にタイムゾーンを定義してください。

124 Natural システムエラーメッセージ 7501～7550

NAT7508 : 圧縮テーブルがいっぱいです。

テキスト	圧縮テーブルがいっぱいです。
[対処]	Natural パラメータモジュール内の CMPRTSZ パラメータ値を増やしてください。

NAT7509 : Entire の GETMAIN に失敗しました。

テキスト	Entire の GETMAIN に失敗しました。
[説明]	対応するバッファを使用しているサブシステムを実行できません。
[対処]	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7510 : CON-NECT の GETMAIN に失敗しました。

テキスト	CON-NECT の GETMAIN に失敗しました。
[説明]	対応するバッファを使用しているサブシステムを実行できません。
[対処]	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7511 : TRS の GETMAIN に失敗しました。

テキスト	TRS の GETMAIN に失敗しました。
[説明]	対応するバッファを使用しているサブシステムを実行できません。
[対処]	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7512 : VSAM の GETMAIN に失敗しました。

テキスト	VSAM の GETMAIN に失敗しました。
[説明]	対応するバッファを使用しているサブシステムを実行できません。
[対処]	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7513 : EDITOR の GETMAIN に失敗しました。

テキスト	EDITOR の GETMAIN に失敗しました。
[説明]	対応するバッファを使用しているサブシステムを実行できません。
[対処]	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7514 : PROCESS の GETMAIN に失敗しました (ASIZE) 。

テキスト	PROCESS の GETMAIN に失敗しました (ASIZE) 。
[説明]	対応するバッファを使用しているサブシステムを実行できません。
[対処]	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。 スレッド環境内で実行している場合はリージョンサイズを増やすか、Natural スレッドのサイズを増やします。

NAT7515 : DEBUG の GETMAIN に失敗しました。

テキスト	DEBUG の GETMAIN に失敗しました。
[説明]	対応するバッファを使用しているサブシステムを実行できません。
[対処]	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7516 : PC-CONNECTION の GETMAIN に失敗しました。

テキスト	PC-CONNECTION の GETMAIN に失敗しました。
[説明]	対応するバッファを使用しているサブシステムを実行できません。
[対処]	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7540 : DB2 の GETMAIN に失敗しました。

テキスト	DB2 の GETMAIN に失敗しました。
------	------------------------

NAT7543 : USERBUF バッファの GETMAIN に失敗しました。

テキスト	USERBUF バッファの GETMAIN に失敗しました。
------	--------------------------------

NAT7544 : :1: の GETMAIN 要求は失敗しました。

テキスト	... の GETMAIN 要求は失敗しました。
[説明]	要求されたバッファサイズは、現在のスレッド／パーティション／リージョン／タスク内の利用可能スペースサイズを超過しています。
[対処]	バッファのサイズを減らすか、または、大きなスレッド／パーティション／リージョン／タスク内で Natural を起動してください。

NAT7545 : :2: バッファのための :1: の GETMAIN に失敗しました (:3:/:4:) 。

テキスト	... バッファのための ... の GETMAIN に失敗しました (理由／レスポンス) 。
[説明]	要求されたバッファサイズは、現在のスレッド／パーティション／リージョン／タスクで利用可能なスペースを超過しています。可能性のある理由／レスポンスコードは次のとおりです。 (04/0) スレッド上限を超えました。 (52/n) オペレーティング (サブ) システム GETMAIN から 0 以外のレスポンスコード n が返されました。 (56/0) スレッドオーバーフローサイズ OVSIZE を超えました。 他の理由コードについては、Natural メッセージおよびコードドキュメントを参照してください。
[対処]	バッファのサイズを減らすか、 大きなスレッド／パーティション／リージョン／タスクで Natural を起動してください。 あるいは (56/0) であれば、OVSIZE を増やしてください。

NAT7546 : :1: バッファのための FREEMAIN に失敗しました (:2:/:3:) 。

テキスト	... バッファのための FREEMAIN に失敗しました (理由／レスポンス) 。
[説明]	内部エラーが発生しました。理由／レスポンスコードの説明は、Natural メッセージおよびコードドキュメントを参照してください。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT7547 : :1: バッファに対する **GETMAIN** が失敗しました - :2: を使用できません。

テキスト	... バッファに対する GETMAIN が失敗しました - :2: を使用できません。
[説明]	オプションのバッファの取得に失敗しました。このバッファを使用するコンポーネントを使用することができません。
[対処]	ストレージをより多く取得するには、スレッド/リージョンサイズを大きくするか、他のバッファサイズを小さくしてください。その後、Natural セッションを再スタートしてください。

NAT7548 : :1: は利用できません。理由/理由コード :2/:3:。

テキスト	... は利用できません。理由/理由コード .../...。
[説明]	示された Natural コンポーネントが利用可能ではありません。 可能性のある理由は、コンポーネントを実行するために必要とされるサブコンポーネントまたはモジュールが利用できないか、アクセスできないことです。 理由コードは次のとおりです。 04 - 初期化が失敗しました。 08 - GETMAIN が失敗しました。 12 - モジュールをロードできませんでした。 16 - モジュールが Natural にリンクされていません。 20 - この Natural バージョンでは、サブコンポーネントを実行できません。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

125

Natural システムエラーメッセージ 7551～7600

NAT7600 : :1: は :2: によってロックされました。

テキスト	オブジェクトがロックされています。
[説明]	ロックしようとしたオブジェクトは、例えば、他のユーザーがそのオブジェクトを編集しているため、すでにロックされています。
[対処]	そのオブジェクトが再度利用可能になるまで待ちます。 もしも、誤ってロックされている（例：システム障害の後など）場合は、オブジェクトのロックを解除するために、Natural システムコマンド UNLOCK を使用してください。

126

Natural システムエラーメッセージ 7601～7650

NAT7601 : アプリケーションマネージャ内でのエラー。

テキスト	アプリケーションマネージャ内でのエラー。
[説明]	アプリケーションマネージャ内でエラーが発生しました。

127

Natural システムエラーメッセージ 7651～7700

NAT7660 : サーバー **:1:** ポート番号 **:2:** への接続に失敗しました。ソケットコード **:3:**。

テキスト	サーバー ... ポート ... へのセッづくに失敗しました。ソケットコード ...。
[説明]	次の理由の1つにより、開発サーバーへの接続は失敗しました。 - 誤った開発サーバー名が指定されました。 指定されたポート ID が開発サーバーのポートと一致しません。 開発サーバーが起動していません。 開発サーバーとして位置付けられたサーバーマシンが起動していません。
[対処]	指定された名前は開発サーバー名と一致するか、 開発サーバーは起動しているか、 そのポートは指定されたポートと一致しているか、 そして、サーバーマシンはアクセス可能か（例：“ping” コマンド経由で） を確認してください。

NAT7661 : サーバー **Natural:1: (:2:)** と **Natural** スタジオ (**:3:**) のプロトコルが一致しません。

テキスト	サーバー Natural ... (...) と Natural スタジオ (...) のプロトコルが一致しません。
[説明]	Natural 開発サーバーと Natural スタジオのプロトコルバージョンが一致しません。プロトコルのより古い、または、より新しいバージョンを使用して、 Natural スタジオはサーバーとして実行できますが、いくつかの機能は実行できないかもしれません。 または、部分的にのみサポートされます。
[対処]	Natural 開発サーバーまたは Natural スタジオをアップグレードしてください。

NAT7662 : アプリケーション :1: 用の開発サーバーファイルがユニークではありません。

テキスト	アプリケーション ... 用の開発サーバーファイルがユニークではありません。
[説明]	指定された開発サーバーファイルは、アクティブ（起動）開発サーバーファイルと異なります。すべてのマップされたアプリケーションは、1つの共通の開発サーバーファイルを使用しなければなりません。
[対処]	現在のアプリケーションのための開発サーバーファイルを変更してください。

NAT7663 : NDV サーバーへの接続が失われました。または、ネットワーク障害です。

テキスト	NDV サーバーへの接続が失われました。または、ネットワーク障害です。
[説明]	<p>リモート Natural セッション、または Natural 開発サーバー（NDV）は異常終了しました。または、ネットワーク障害が発生しました。</p> <p>-</p> <p>接続終了についての情報を得るために、NDV トレースの出力を検討してください。NDV トレースにそのような情報を含んでいない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。</p> <p>サーバーに対してセッションを再マッピングしてください。</p> <p>-その問題が持続する場合は、バッファが到着したかどうかを NDV サーバートレース内でチェックしてください。</p> <p>-もしデータが到着していたら、後のトレース記録内のエラー情報をチェックしてください。</p> <p>もしデータが到着していない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。</p>
[対処]	上記の説明を見てください。

NAT7664 : コマンドは現在の状況には適用できません。

テキスト	コマンドは現在の状況には適用できません。
[説明]	<p>発行されたコマンドは、選ばれたリモート環境やアプリケーション状況で実行することができません。</p> <p>可能性のある理由は次のとおりです。</p> <p>- コマンドは、選ばれた環境またはアプリケーションで利用できません。</p> <p>例えば、コマンド "Connect" は複合アプリケーションに対して発行されます。</p> <p>- コマンドは、選ばれた環境またはアプリケーションの現在の状況では利用できません。</p> <p>例えば、接続された環境だけが稼働できますが、コマンド "Activate" は切断された環境に対して発行されます。</p>
[対処]	コマンドを発行するためのすべての条件が満たされているかどうかをチェックしてください。

NAT7665 : コマンドは **Natural** 開発サーバーによってサポートされていません。

テキスト	コマンドは Natural 開発サーバーによってサポートされていません。
[説明]	発行されたコマンドは、 Natural 開発サーバーのプロトコルバージョンによってサポートされていません。
[対処]	Natural 開発サーバーをアップグレードしてください。

NAT7666 : 無効な値が指定されました。

テキスト	無効な値が指定されました。
[説明]	プロパティに割り当てられている値、またはメソッドパラメータとして指定された値は、この状況では許されません。
[対処]	有効な属性値を割り当てるか、有効なメソッドパラメータを使用してください。

NAT7667 : **Natural :1:** は、**NDV** サーバーへアクセスするために使うことができません。

テキスト	Natural ... は、 NDV サーバーへアクセスするために使うことができません。
[説明]	この Natural バージョンでは、要求された NDV サーバーを使うことは可能ではありません。
[対処]	Natural スタジオをアップグレードしてください。

NAT7668 : 環境名 **:1:** はすでに存在しています。

テキスト	環境名 ... はすでに存在しています。
[説明]	指定された環境名は、すでに別のマップされた環境、またはマップされたアプリケーションによって使用されています。
[対処]	マップする環境に対して異なる名前を使用してください。

NAT7669 : この機能は利用できません。 **:1:** はインストールされていません。

テキスト	この機能は利用できません。 ... はインストールされていません。
[説明]	必要なコンポーネントは、指定された機能を実行するため、または、指定されたオブジェクトを処理するためにインストールされていなければなりません。
[対処]	コンポーネントをインストールしてください。 または、この機能は使用しないでください。

NAT7670：リモートデバッグを起動することができませんでした。:1:

テキスト	リモートデバッグを起動することができませんでした。
[説明]	リモートデバッグのためのセッションが起動されるのを防いだので、内部エラーが発生しました。詳細については NDV トレースを参照してください。トレースレベルは少なくともビット 15 がアクティブになっている必要があります。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT7671：リモートデバッグの終了中に内部エラーが発生しました。

テキスト	リモートデバッグの終了中に内部エラーが発生しました。
[説明]	リモートデバッグへの接続は内部エラーのために維持できませんでした。詳細については NDV トレースを参照してください。トレースレベルは少なくともビット 15 がアクティブになっている必要があります。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT7672：MAP/UNMAP コマンドのパラメータエラーです。

テキスト	MAP/UNMAP コマンドのパラメータエラーです。
[説明]	指定されたパラメータが正しくないので、MAP/UNMAP コマンドを実行することができません。 例えば、可能性のあるエラーは次のとおりです。 - MAP コマンドの必須パラメータが指定されていません (APPL= では、最低でもアプリケーション名を指定する必要があります。 ENV= では、最低でもサーバー名とポート番号を指定する必要があります)。 - UNMAP コマンドに対してパラメータが指定されていませんが、ローカル環境はアクティブです。 - UNMAP コマンドに指定されたアプリケーション/環境を見つけることができません。 詳細は、Natural システムコマンドドキュメントを参照してください。
[対処]	パラメータ指定を修正してください。

NAT7674：デバッグポートはすでに使用されています。

テキスト	デバッグポートはすでに使用されています。
[説明]	SPODDEBUGPORT パラメータ経由で指定されたデバッグポートは、すでに別のプログラムによって使用されています。 したがって、Natural アプリケーションへのリモート接続は確立できませんでした。
[対処]	SPODDEBUGPORT パラメータを別の値に設定してください。 または、SPODDEBUGPORT パラメータを 0 に設定してください。 そうすると、Natural スタジオはデバッグのために自動的にマシンの上の空きポートを選択します。

NAT7699 : :1: は :2: によってロックされました。

テキスト	... は ... によってロックされました。
[説明]	これについて詳細な説明はありません。

128

Natural システムエラーメッセージ 7701~7750

NAT7720 : コマンドはリモート環境では適用可能ではありません。

テキスト	コマンドはリモート環境では適用可能ではありません。
[説明]	発行されたコマンドは、リモート（サーバー）環境内では実行できません。
[対処]	適切な Natural スタジオのコマンドまたはツールを使用します。ファイル操作コマンドの場合は、要求される結果を得るために、 "オブジェクト メニュー" 操作、または "マウスの右ボタン" 操作を使用してください。

NAT7721 : コマンドはアプリケーションコンテキスト内では適用可能ではありません。

テキスト	コマンドはアプリケーションコンテキスト内では適用可能ではありません。
[説明]	発行されたコマンドは、アプリケーションのコンテキスト内では実行できません。
[対処]	ライブラリワークスペース内の適切なコマンドを使用するか、もしアプリケーションからオブジェクトのアンリンク（リンク解除）を行ないたい場合は、マウスの右ボタンを押し、 "Unlink" コマンドを使用してください。

NAT7722 : コマンドはローカル環境では適用可能ではありません。

テキスト	コマンドはローカル環境では適用可能ではありません。
[説明]	発行されたコマンドは、ローカル（クライアント）環境内では実行できません。
[対処]	適切な Natural スタジオのコマンドまたはツールを使用します。ファイル操作コマンドの場合は、要求される結果を得るために、 "オブジェクト メニュー" 操作、または "マウスの右ボタン" 操作を使用してください。

NAT7723 : サーバーからのメッセージ : :1:

テキスト	サーバーからのメッセージ : ...。
[説明]	サーバーは、特別の状況を示すメッセージを送りました。 例えば、 ライブラリを削除中/リネーム中に、1つまたはいくつかのオブジェクトは、 (第1にロックされたオブジェクトによって引き起こされて) 削除/リネームできませんでした。 サーバーはクライアントにこれを報告します。

NAT7724 : セッション再接続中にエラーが発生しました。

テキスト	セッション再接続中にエラーが発生しました。
[説明]	Natural 開発サーバーは、リモート開発のためのセッションを 再接続できませんでした。 考えられる理由は次のとおりです。 - Natural 開発サーバーのセッションディレクトリが壊れています。 - サーバーアドレススペースは、サブタスクの指定された制限を超過しています。 - リージョンサイズが小さすぎます (16 MB 未満のメモリ)。 - Natural スタジオは、不正なセッション識別子での再接続を 要求しています。
[対処]	Natural 開発サーバーのトレースファイルを調べて、追加のエラー 情報がないか確認します。

NAT7725 : 新規セッションディレクトリエントリまたはサブタスクを作成できません。

テキスト	新規セッションディレクトリエントリまたはサブタスクを作成できません。
[説明]	Natural 開発サーバーはセッションディレクトリ内に 新規エントリを作成できません。 または、リモート開発を処理するための新規サブタスクを作成できません。 考えられる理由は次のとおりです。 - サーバーアドレススペースは、サブタスクの指定された制限を超過しています。 - リージョンサイズが小さすぎます (16 MB 未満のメモリ)。
[対処]	Natural 開発サーバーのトレースファイルを調べて、追加のエラー 情報がないか確認します。

NAT7726 : 新規セッションを初期化することができません。

テキスト	新規セッションを初期化することができません。
[説明]	Natural 開発サーバーは、新規サブタスクの基礎的な初期化を実行できません。考えられる理由は 16MB より上のメモリ不足です。
[対処]	Natural 開発サーバーのトレースファイルを調べて、追加のエラー情報がないか確認します。

NAT7727 : セッションの実行に失敗しました。

テキスト	セッションの実行に失敗しました。
[説明]	Natural 開発サーバーは、セッションディレクトリ内に Natural セッションを位置付けることができません。考えられる理由は次のとおりです。 - そのセッションは、サーバーモニタを使いキャンセルされた。 - そのセッションディレクトリは、壊れている。 - Natural スタジオは、不正なセッション識別子での再接続を要求している。
[対処]	Natural 開発サーバーのトレースファイルを調べて、追加のエラー情報がないか確認します。

NAT7728 : I/O 実行は許可されていません。

テキスト	I/O 実行は許可されていません。
[説明]	リモート Natural セッションは、I/O 実行は許可されていないにもかかわらず、I/O を実行しました。 I/O 実行は、セッション初期化中や Natural Security のログオン処理中は許可されていません。
[対処]	Natural 開発サーバートレースファイル内の I/O バッファを見つけてください。そして、Software AG サポートに連絡してください。

NAT7729 : Natural 開発サーバーエラー - 予約済み（将来的に使用される予定）。

テキスト	NAT 開発サーバーエラー - 予約済み（将来的に使用される予定）。
------	------------------------------------

NAT7730 : I/O 実行中のエラー。

テキスト	I/O 実行中のエラー。
[説明]	Natural スタジオは、端末 I/O のために無効なデータを返します。 あるいは、16MB より上の利用可能な十分なメモリがありません。
[対処]	Natural 開発サーバーのトレースファイルを調べて追加のエラー情報がないか確認してから、Software AG サポートに連絡してください。

NAT7731 : プロトコル要素が見当たりません。

テキスト	プロトコル要素が見つかりません。
[説明]	Natural 開発サーバー (NDV) の要求を処理するために、NDV はプロトコルデータを必要とします。これらは、Natural スタジオによって送られませんでした。
[対処]	Natural 開発サーバーのトレースファイルを調べて追加のエラー情報がないか確認してから、Software AG サポートに連絡してください。

NAT7732 : NDV は Natural システムファイル上にインストールされていません。

テキスト	NDV は Natural システムファイル上にインストールされていません。
[説明]	Natural 開発サーバー (NDV) は、FNAT システムファイル上の NDV トランザクション - プロセッサモジュールを位置付けることができません。Natural 開発サーバーのインストールは不完全です。
[対処]	Natural 開発サーバー INPL が、指定された FNAT システムファイル上で実行されたかどうかチェックしてください。

NAT7733 : 未定義のライブラリ。LOGON が必須です。

テキスト	未定義のライブラリ。LOGON が必須です。
[説明]	Natural 開発サーバーセッションのログオンライブラリは、未定義です。これは通常、システムコマンド LOGOFF が実行されているか、または、Natural プログラムは RETURN ステートメントを実行し、SETUP レコードが見つからない場合に発生します。
[対処]	リモート環境の有効なライブラリへ LOGON コマンドを入力するか、継続するリモートツリービュー内の任意のライブラリをクリックしてください。

129

Natural システムエラーメッセージ 7951～8000

NAT7997 : PRNTWORK バッファのオーバーフロー。

テキスト	PRNTWORK バッファのオーバーフロー
[説明]	Natural は DEFINE PRINTER ステートメントによって要求された新しいワークファイルエリアとして PRNTWORK バッファ内でストレージを割り当てようとしたが、使用できるストレージが不足しています。
[対処]	Natural サポートに連絡してください。

NAT7998 : アクセスメソッド :1: の初期化に失敗しました。

テキスト	アクセスメソッド :1: の初期化に失敗しました。
[説明]	出力/ワークファイルアクセスメソッドの初期化に失敗しました。このアクセスメソッドは現在のセッション間では使用できません。このアクセスメソッドに対して設定した出力/ワークファイルは使用できません。
[対処]	以前表示されたアクセスメソッドのエラーをチェックしてください。これにより、詳細情報を参照できます。問題を修正し、セッションを再起動してください。

NAT7999 : 出力/ワークファイルバッファに対する GETMAIN に失敗しました。

テキスト	出力/ワークファイルバッファに対する GETMAIN に失敗しました。
[説明]	Natural は JCL、またはパラメータモジュールのエントリ経由で要求された出力/ワークファイルに対するストレージを割り当てようとしたが、Natural パーティション/リージョン/スレッド内に十分なスペースがありません。
[対処]	パーティション/リージョン/スレッドのサイズを大きくするか、出力/ワークファイル要求を削除してください。問題が解決しない場合は、Natural 管理者に出力/ワークファイルパラメータを確認するように連絡してください。

NAT8000 : NATURAL からの初期コールに対する **ADABAS** レスポンスコードです。

テキスト	NATURAL からの初期コールに対する ADABAS レスポンスコードです。
[説明]	NATURAL から ADABAS への初期コールに対する ADABAS レスポンスコードが受信されました。 エラーは "NAT8nnn" の形式で表示されます。"nnn" はレスポンスコードです。
[対処]	ADABAS システムが開始したことを確認してください。

130

Natural システムエラーメッセージ 8151～8200

NAT8200 : NATURAL トランザクションへの無効なプログラム切り替え。

テキスト	NATURAL 以外のトランザクションへの無効なプログラム切り替え。
[説明]	NATURAL 以外のトランザクションへ切り替えようとしたが、 NATURAL トランザクションコードを指定しました。 モジュール：NIIDEFTX、NIIDIRTX
[対処]	使用されたトランザクションコードをチェックしてください。 または、 適切な切り換えモジュールを使用してください。

131

Natural システムエラーメッセージ 8201～8250

NAT8201：会話形式のトランザクションへの無効なプログラム切り替え。

テキスト	会話形式のトランザクションへの無効なプログラム切り替え。
[説明]	会話形式以外のトランザクションから会話形式のトランザクションへの切り替えは許可されません。 モジュール：NIIDIRTX
[対処]	使用されたトランザクションコードをチェックしてください。 または、 適切な切り換えモジュールを使用してください。

NAT8210：フリーのワーク PCB がありません。

テキスト	フリーのワーク PCB がありません。
[説明]	フリーのワーク PCB がいないため、レポートを作成できません。 注：ワーク PCB はそれぞれの開いたレポートに割り当てられます。 モジュール：NATAM06
[対処]	NIMTRNTG 内の WRKPCBS パラメータを使用して、トランザクションコードテーブルのワーク PCB の数を増やします。 または、パラレルレポートの数を減らします。

NAT8211：レポートの印刷の宛先 :1: が定義されていません。

テキスト	レポートの印刷の宛先 :1: が定義されていません。
[説明]	NTPRINT マクロ、または DEFINE PRINTER ステートメントの OUTPUT パラメータで指定されている宛先が、正しい IMS/TM 宛先ではありません。 モジュール：NATAM06
[対処]	宛先をチェックしてください。 または、 システムプログラマに連絡してください。

NAT8212：行の長さがブロックサイズを超過しています。

テキスト	行の長さがブロックサイズを超過しています。
[説明]	現在の印刷行は、使用しているプリンタ宛先のブロックサイズを超過しています。 モジュール：NATAM06
[対処]	NTPRINT マクロの BLKSIZE パラメータを使用して、ブロックサイズを増やします。 または、 レポートの行サイズを減らします。

NAT8250：コマンドに必要なスペースがコマンドバッファ内にありません。

テキスト	コマンドに必要なスペースがコマンドバッファ内にありません。
[説明]	渡されたコマンドの長さが コマンドバッファのサイズを超えています。 注： CMCMMND によってコマンドが IMS/TM に送信される時、 コマンドバッファは I/O エリアとして使用されます。 モジュール：CMCMMND
[対処]	CMCMMND に渡されるコマンドの長さをチェックするか、 または、NIMPARM マクロの CMBSIZE パラメータを使用して、 環境テーブルのコマンドバッファのサイズを大きくします。

132

Natural システムエラーメッセージ 8251～8300

NAT8251：GCMD コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。

テキスト	GCMD コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。
[説明]	失敗した GCMD コールは、IMS/TM に渡されるコマンドのレスポンスセグメントを取得するために使用されました。 モジュール：CMCMMND
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT8252：会話型以外の NATURAL セッションでは、モジュールは許可されません。

テキスト	会話型以外の NATURAL セッションでは、モジュールは許可されません。
[説明]	会話型以外の、NATURAL 以外のトランザクションに切り替える場合は、メッセージが必要です。 モジュール：CMDIRNMZ
[対処]	環境をチェックしてください。 または、 適切な切り換えプログラムを使用してください。

NAT8253：プログラム切り替えが要求されましたが、メッセージがありません。

テキスト	プログラム切り替えが要求されましたが、メッセージがありません。
[説明]	会話型以外のトランザクションに切り替える場合は、メッセージを指定する必要があります。 モジュール：NIIDIRTX
[対処]	使用されたトランザクションコードをチェックしてください。 または、 適切な切り換えモジュールを使用してください。

NAT8254：NATURAL セッションを中断しているとき、無効なプログラム切り替えが実行されました。

テキスト	NATURAL セッションを中断しているとき、無効なプログラム切り替えが実行されました。
[説明]	SUSPEND 機能を使用しているとき、会話型 NATURAL セッションと会話が対外のトランザクションコードを切り替えることはできません。 モジュール：NIIDEFTX、NIIDIRTX
[対処]	使用されたトランザクションコードをチェックしてください。 または、 SUSPEND 機能を使用しないで下さい。

NAT8255：渡されたメッセージが入力メッセージバッファに対して大きすぎます。

テキスト	渡されたメッセージが入力メッセージバッファに対して大きすぎます。
[説明]	渡されたメッセージの長さが 入力メッセージバッファのサイズを超えています。 注： 入力メッセージバッファは、次に示すモジュールによってメッセージが IMS/TM に送信されるときに I/O エリアとして使用されます。 モジュール：NIIDEFTX、NIIDIRTX
[対処]	NIIDEFTX/NIIDIRTX に渡されたメッセージの長さをチェックしてください。 または、NIMPARM マクロの MISIZE パラメータを使用して、環境テーブルの入力メッセージバッファのサイズを大きくしてください。

NAT8256：NATURAL 以外のトランザクションへの無効なプログラム切り替え。

テキスト	NATURAL 以外のトランザクションへの無効なプログラム切り替え。
[説明]	NATURAL トランザクションに切り替えようとしたが、 NATURAL 以外のトランザクションコードを指定しました。 モジュール：NIIDEFT、NIIDIRT
[対処]	使用されたトランザクションコードをチェックしてください。 または、 適切な切り換えモジュールを使用してください。

NAT8257：SPA の外のデータを取得しようとした。

テキスト	SPA の外のデータを取得しようとした。
[説明]	指定されたオフセットで始まる指定された長さのエリアは、 完全に SPA 内に存在する必要があります。 モジュール：NIIGSPA
[対処]	プログラムで使用されているオフセットおよび/または長さを修正してください。

NAT8258 : SPA の外のデータを更新しようとしてしました。

テキスト	SPA の外のデータを更新しようとしてしました。
[説明]	指定されたオフセットで始まる指定された長さのエリアは、完全に SPA 内に存在する必要があります。 モジュール：NIIPSPA
[対処]	プログラムで使用されている長さまたはオフセット、あるいはその両方を修正します。

NAT8259 : 論理 PCB 名がトランザクションコードテーブルに定義されていません。

テキスト	論理 PCB 名がトランザクションコードテーブルに定義されていません。
[説明]	使用される各 PCB 名はトランザクションコードテーブルに定義されている必要があります。 モジュール：NIIPCBAD
[対処]	トランザクションコードテーブルをチェックしてください。 または プログラムで使用する PCB 名を変更してください。

NAT8260 : コマンドに必要なスペースがコマンドバッファ内にありません。

テキスト	コマンドに必要なスペースがコマンドバッファ内にありません。
[説明]	渡されたコマンドの長さがコマンドバッファのサイズを超えています。 注： NIICMD によってコマンドが IMS/TM に送信される時、コマンドバッファは I/O エリアとして使用されます。 モジュール：NIICMD
[対処]	NIICMD に渡されたコマンドの長さをチェックしてください。 または、NIMPARM マクロの CMBSIZE パラメータを使用して、環境テーブルのコマンドバッファのサイズを大きくしてください。

NAT8261 : CMD コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。

テキスト	CMD コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。
[説明]	失敗した CMD コールはコマンドを IMS/TM に送信するために使用されました。 モジュール：NIICMD
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT8262：返信の長さを 0 にすることはできません。

テキスト	返信の長さを 0 にすることはできません。
[説明]	IMS/TM に渡されるコマンド用のレスポンスセグメントを取得するには、返信の長さを 0 以外にする必要があります。 モジュール：NIIGCMD
[対処]	プログラムで使用される長さを修正します。

NAT8263：GCMD コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。

テキスト	GCMD コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。
[説明]	失敗した GCMD コールは、IMS/TM に渡されるコマンドのレスポンスセグメントを取得するために使用されました。 モジュール：NIIGCMD
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT8264：CHNG コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。

テキスト	CHNG コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。
[説明]	失敗した CHNG コールは、最初の代替 TP PCB の宛先を渡された値に設定するために使用されました。 注： 最初の代替 TP PCB は変更可能である必要があります。 モジュール：CMQUEUE、CMQUEUEEX、NIIDQUMS、NIISRTF
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT8265：ISRT コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。

テキスト	ISRT コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。
[説明]	失敗した ISRT コールは、最初の代替 TP PCB で設定された宛先にメッセージセグメントを送信するために使用されました。 モジュール：CMQUEUE、CMQUEUEEX、NIIDQUMS、NIISRTF、NIISRTM
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT8266：PURG コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。

テキスト	PURG コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。
[説明]	失敗した PURG コールは、最初の代替 TP PCB で設定された宛先に送信された現在のメッセージを暗黙的に終了するために使用されました。 モジュール：CMQUEUE、CMQUEUEEX
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT8267 : GU コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。

テキスト	GU コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。
[説明]	失敗した GU は IMS/TM メッセージキューから最初のメッセージセグメントを送信するために使用されました。 モジュール : CMGETMSG、NIIGMSG
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT8268 : 受け取ったメッセージが指定されたメッセージエリアに対して大きすぎます。

テキスト	受け取ったメッセージが指定されたメッセージエリアに対して大きすぎます。
[説明]	IMS/TM メッセージキューから取得されたメッセージの長さがプログラムで指定されたメッセージエリアの長さを超過しています。 モジュール : CMGETMSG、NIIGMSG
[対処]	プログラムで使用されるメッセージエリアの長さを大きくしてください。

NAT8269 : 渡されたメッセージが入力メッセージバッファに対して大きすぎます。

テキスト	渡されたメッセージが入力メッセージバッファに対して大きすぎます。
[説明]	渡されたメッセージの長さが入力メッセージバッファのサイズを超えています。 注 : 入力メッセージバッファは、次に示すモジュールによってメッセージが IMS/TM に送信されるときに I/O エリアとして使用されます。 モジュール : NIISRTF、NIISRTM
[対処]	NIISRTF/NIISRTM に渡されたメッセージの長さをチェックしてください。 または、NIMPARM マクロの MISIZE パラメータを使用して、環境テーブルの入出力メッセージバッファのサイズを大きくしてください。

NAT8270 : CHNG コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。

テキスト	CHNG コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。
[説明]	失敗した CHNG コールは、最初の代替 TP PCB の宛先を渡された値に設定するために使用されました。 注 : 最初の代替 TP PCB は変更可能である必要があります。 モジュール : CMBRCST、NIIBRCST
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT8271：メッセージが出力メッセージバッファに対して大きすぎます。

テキスト	メッセージが出力メッセージバッファに対して大きすぎます。
[説明]	渡されたメッセージの長さが出力メッセージバッファのサイズを超えています。 注： 出力メッセージバッファは、次に示すモジュールによってメッセージが IMS/TM に送信されるときに I/O エリアとして使用されます。 モジュール：CMBRCAST、CMPUTMSG、CMQUEUE、CMQUEUEEX、NIIDQUMS、NIIBRCST、NIIPMSG
[対処]	NIIBRCST、NIIPMSG 上記で示されたモジュールに渡されるメッセージの長さをチェックします。 または、NIMPARM マクロの MOSIZE パラメータを使用して、環境テーブルの出力メッセージバッファのサイズを大きくしてください。

NAT8272：ISRT コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。

テキスト	ISRT コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。
[説明]	失敗した ISRT コールは、IOPCB で設定された宛先に対する最初の代替 TP PCB レスポンスで設定された宛先に、メッセージセグメントを送信するために使用されました。 モジュール：CMBRCAST、CMPUTMSG、NIIBRCST、NIIPMSG
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT8273：PURG コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。

テキスト	PURG コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。
[説明]	失敗した PURG コールは、最初の代替 TP PCB で設定された宛先に送信された現在のメッセージを暗黙的に終了するために使用されました。 モジュール：CMBRCAST、NIIBRCST
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT8274：SPA のヘッダを上書きしようとしてしました。

テキスト	SPA のヘッダを上書きしようとしてしました。
[説明]	指定されたエリアは、SPA ヘッダより後で開始するする必要があります。 モジュール：NIIPSPA
[対処]	プログラムで使用されるオフセットを修正します。

NAT8275：受け取られたメッセージセグメントが入力メッセージバッファに対して大きすぎます。

テキスト	受け取られたメッセージセグメントが入力メッセージバッファに対して大きすぎます。
[説明]	IMS/TM メッセージキューから取得されたメッセージセグメントの長さがメッセージバッファのサイズを超過しています。 注： 入力メッセージバッファは NIIGSEG が IMS/TM からメッセージを取得するとき、I/O エリアとして使用されます。 モジュール：NIIGSEG
[対処]	受け取られたセグメントの長さが想定どおりであるかどうかチェックしてください。および/または入力メッセージバッファのサイズを大きくしてください。

NAT8276：GN コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。

テキスト	GN コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。
[説明]	失敗した GN コールは IMS/TM メッセージキューから次のメッセージセグメントを送信するために使用されました。 モジュール：CMGETSEG、CMSEGO、NIIGSEG
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT8277：受け取ったメッセージセグメントがメッセージエリアに対して大きすぎます。

テキスト	受け取ったメッセージセグメントがメッセージエリアに対して大きすぎます。
[説明]	IMS/TM メッセージキューから取得されたメッセージセグメントの長さがプログラムで指定されたメッセージエリアの長さを超過しています。 モジュール：CMGETSEG、CMGSEGO、NIIGSEG
[対処]	プログラムで使用されるメッセージエリアのサイズを大きくしてください。

NAT8278：PURG コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。

テキスト	PURG コールに失敗しました。ステータスコードは :1: です。
[説明]	失敗した PURG コールは、最初の代替 TP PCB で設定された宛先に送信された現在のメッセージを暗黙的に終了するために使用されました。 モジュール：NIIPURG
[対処]	システムプログラマに連絡してください。

NAT8279：指定されたエリアの一部または全部が、入力メッセージバッファにありません。

テキスト	指定されたエリアの一部または全部が、入力メッセージバッファにありません。
[説明]	指定されたオフセットで始まる指定された長さのエリアは、完全に SPA 内に存在する必要があります。 モジュール：NIIRETRM
[対処]	プログラムで使用されているオフセットおよび／または長さを修正してください。

NAT8280：サービスモジュールがオンライン環境で呼び出されていない可能性があります。

テキスト	サービスモジュールがオンライン環境で呼び出されていない可能性があります。
[説明]	端末指向の環境では、IMS/TM からのメッセージは NATURAL INPUT ステートメントによってのみ取得できます。 モジュール：CMGETMSG、CMGETSEG、CMSEGO
[対処]	プログラムを修正してください。

NAT8281：サービスモジュールがオンライン環境で呼び出されていない可能性があります。

テキスト	サービスモジュールがオンライン環境で呼び出されていない可能性があります。
[説明]	端末指向の環境では、NATURAL INPUT および／または WRITE ステートメントによってのみ、IOPCB を使用して IMS/TM へメッセージを送信できます。 モジュール：CMPUTMSG
[対処]	プログラムを修正してください。

NAT8290：NATURAL によって予約されている SPA エリアを上書きしようとしてしました。

テキスト	Natural によって予約されている SPA エリアを上書きしようとしてしました。
[説明]	指定されたオフセットで始まる指定された長さのエリアは、完全に Natural によって予約されている SPA 内に存在する必要があります。 モジュール：CMPUTSPA、NIIPSPA
[対処]	プログラムで使用されているオフセットおよび／または長さを修正してください。

NAT8300：誤ったプロトコルタイプ、またはプロトコルがサポートされていません。

テキスト	誤ったプロトコルタイプ、またはプロトコルがサポートされていません。
[説明]	要求ドキュメントは、オペランド 1 で要求された URL の先頭部分として使用されたドキュメントのタイプを必要とします。プロトコルタイプがないか、またはサポートされていないプロトコルタイプがオペランド 1 に指定されました。
[対処]	プロトコルタイプを有効なタイプに変更してください（例："http://"）。そして、再度プログラムを実行してください。

133

Natural システムエラーメッセージ 8301～8350

NAT8301 : URL 構文が間違っています。

テキスト	URL 構文が間違っています。
[説明]	REQUEST DOCUMENT は、オペランド 1 で要求された URL の正確な構文を必要とします。指定された URL 構文は正しくありません。 プロトコルタイプがない、もしくはサポートされていない プロトコルタイプがオペランド 1 に指定されました。
[対処]	オペランド 1 の URL を修正して、再度プログラムを実行してください。

NAT8302 : 要求メソッド :1: はサポートされていません。

テキスト	要求メソッド :1: はサポートされていません。
[説明]	REQUEST DOCUMENT は、ユーザー定義ヘッダー "REQUEST_METHOD" により異なる要求メソッドを使用するように忠告されました。 REQUEST DOCUMENT ステートメントは、指定された要求メソッドをサポートしません。
[対処]	ヘッダーの値を削除するか、あるいは ヘッダー "REQUEST_METHOD" を有効な値に変更してください。

NAT8303 : REQUEST DOCUMENT ステートメントの内部エラー。

テキスト	REQUEST DOCUMENT ステートメントの内部エラー。
[説明]	REQUEST DOCUMENT の実行中に内部エラーが発生しました。 エラーメッセージを書き出しています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT8304 : HTTP 要求は失敗しました。原因 :1:。

テキスト	HTTP 要求は失敗しました。原因 :1:。
[説明]	REQUEST DOCUMENT ステートメントはトランスポート層からエラーを受け取りました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT8305 : ヘッダー :1: が受け取り変数よりも長くなっています。

テキスト	ヘッダー :1: が受け取り変数よりも長くなっています。
[説明]	REQUEST DOCUMENT ステートメントは、受け取り変数よりも長いヘッダー値を返しました。
[対処]	GIVING 節を使用してこのエラーを無視するか、受け取った変数の長さを増やすか、またはダイナミック変数を使用します。

NAT8306 : 戻り値が受け取り変数よりも長くなっています。

テキスト	戻り値が受け取り変数よりも長くなっています。
[説明]	REQUEST DOCUMENT ステートメントは、受け取り変数よりも長い値を返しました。
[対処]	GIVING 節を使用してこのエラーを無視するか、受け取った変数の長さを増やすか、またはダイナミック変数を使用します。

NAT8307 : ヘッダー :1: を受け取り変数のフォーマット :2: に変換できません。

テキスト	ヘッダー :1: を受け取り変数のフォーマット :2: に変換できません。
[説明]	REQUEST DOCUMENT ステートメントは、受け取り変数のフォーマットの有効な英数字表現ではないヘッダー値を返しました。 LASTMSG はヘッダー値についての追加情報を示します。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正します。 受け取り変数のフォーマットを変更してください。

NAT8310 : 必要とする Internet Explorer の機能がありません。

テキスト	必要とする Internet Explorer の機能がありません。
[説明]	要求ドキュメントは、Internet Explorer 4 以上のテクノロジーに依存します。"wininet.dll" は特に重要です。 必要とする Internet Explorer の機能がなかったため、要求ドキュメントは失敗しました。
[対処]	Internet Explorer 4 以上の少なくとも 最小限インストールパッケージをインストールしてください。

NAT8311 : XML 文書の解析中のエラー。行 :1:、カラム :2:、メッセージ。 :3:。

テキスト	XML 文書の解析中のエラー。行 ...、カラム ...、メッセージ ...。
[説明]	XML パーサはエラーで終了しました。 XML 入力文書は構文的に正しくありません。 エラーが発生した行/カラム、およびパーサによって返されたメッセージがエラーメッセージに示されます。
[対処]	XML 入力文書を修正してください。

NAT8312 : XML パーサー処理中のエラー。理由 :1:。

テキスト	XML パーサー処理中のエラー。理由 ...。
[説明]	可能性のある理由は次のとおりです。 1 : パーサアクセスのエラー。XML パーサを利用できません。 2 : パーサインスタンスの要求は失敗しました。新規インスタンスを利用できません。 3 : パーサ初期化は失敗しました。 4 : XML 入力ドキュメントが無効です。 5 : サポートされないエンコードが使用されています。 6 : 内部解析保存エリアのスタックがオーバーフローしました。 7 : 解析オペランドのサイズ変更が失敗しました。
[対処]	XML パーサ条件または XML 文書をチェックしてください。

NAT8313 : :1: に対する **GETMAIN** が失敗しました。リターンコード :2:。

テキスト	... の GETMAIN に失敗しました。リターンコードは です。
[説明]	Natural for XML では内部バッファを割り当てることができません。 リターンコード = 4 : ストレージ不足です。 リターンコード > 4 : 内部エラー。
[対処]	リターンコード = 4 である場合は、スレッド/リージョン/パーティション/タスクのサイズを大きくします。 または、Software AG サポートに連絡してください。

NAT8314 : 利用できる Natural ICU ハンドラがありません。

テキスト	利用できる Natural ICU ハンドラがありません。
[説明]	Natural ICU ハンドラを利用できません。 可能性のある理由は次のとおりです。 - The ICU ハンドラモジュールが Natural にリンクされていないか、またはロードできません。 - ICU のセッションプロファイルパラメータが OFF に設定されています。 - Natural ICU の初期化中にエラーが発生しました。 Natural ICU ハンドラは Natural XML ハンドラ的前提条件です。
[対処]	エラーの理由によって異なります。初期化エラーが発生した場合は、セッションの初期化エラーメッセージを確認してください。

NAT8315 : Natural および Natural XML の互換可能でないバージョン。

テキスト	Natural および Natural XML の互換可能でないバージョン。
[説明]	Natural XML のバージョン 4.2 は Natural バージョン 4.2.1 以降とともにのみ使用できます。
[対処]	互換性のある Natural バージョンを使用してください。

NAT8316 : サポートされていないオペレーティング/TP システムです。

テキスト	サポートされていないオペレーティング/TP システムです。
[説明]	現在、Natural XML では BS2/UTM はサポートされていません。
[対処]	サポートされている環境を使用してください、

NAT8317 : Natural OS/TP ドライバでは LE370/CRTE が有効ではありません。

テキスト	Natural OS/TP ドライバでは LE370/CRTE が有効ではありません。
[説明]	REQUEST DOCUMENT ステートメントでは、使用される OS/TP ドライバはオプション LE370=ON または CRTE=ON を使用してコンパイルする必要があります。
[対処]	必要なオプションを使用してドライバをインストールしてください。

NAT8318 : モジュール :1: がリンクエディット内にありません。

テキスト	モジュール ... がリンクエディット内にありません。
[説明]	Natural フロントエンドスタブのリンクエディット内にモジュールがありません。
[対処]	リンクエディットにモジュールを追加してください。

NAT8319 : Natural ステートメント REQUEST DOCUMENT および PARSE が無効化されています。

テキスト	Natural ステートメント REQUEST DOCUMENT および PARSE が無効化されています。
[説明]	プロファイルパラメータ XML が "OFF" に設定されています。
[対処]	XML プロファイルパラメータ、またはサブパラメータ RDOC、PARSE の少なくとも 1 つを "ON" に設定してください。

NAT8320 : Natural XML 初期化は失敗しました。

テキスト	Natural XML 初期化は失敗しました。
[説明]	このエラーの原因については、このエラーメッセージとともに発行される詳細なエラーメッセージに記載されています。
[対処]	詳細なメッセージに記載された説明を参照してください。

NAT8321 : Natural ステートメント PARSE が無効化されています。

テキスト	Natural ステートメント PARSE が無効化されています。
[説明]	Natural プロファイルパラメータ XML のサブパラメータ PARSE が "OFF" に設定されています。
[対処]	PARSE サブパラメータの値を "ON" に変更します。

NAT8322 : Natural ステートメント REQUEST DOCUMENT が無効化されています。

テキスト	Natural ステートメント REQUEST DOCUMENT が無効化されています。
[説明]	Natural プロファイルパラメータ XML のサブパラメータ RDOC が "OFF" に設定されています。
[対処]	RDOC サブパラメータの値を "ON" に変更します。

NAT8323 : ネスト構造の解析ループは許可されません。

テキスト	ネスト構造の解析ループは許可されません。
[説明]	XML パーサーに対する再帰的なコールが Natural によって検出されました。
[対処]	プログラムを修正してください。

134 Natural システムエラーメッセージ 8951～9000

NAT9000：プリンタ :1: が無効か、またはありません。

テキスト	プリンタ ... が無効か、またはありません。
[説明]	レポート出力用に割り当てられたプリンタのいずれかで、出力エラーが発生しました。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

135

Natural システムエラーメッセージ 9051～9100

NAT9100：プリンタ :1: は利用可能ではありません。

テキスト	プリンタ ... は利用可能ではありません。
[説明]	NATURAL セッションに対して定義されていないプリンタ番号に対して印刷が要求されました。 プリンタは次のように定義します。 - 適切なジョブ制御ステートメントを使用して、バッチで定義します。 - NATURAL ダイナミックパラメータを使用してオンラインで定義します。
[対処]	プログラムのプリンタ参照とプリンタの定義が一致することを確認してください。

136

Natural システムエラーメッセージ 9101～9150

NAT9101：プリンタ出力ファイルでオーバーフローが発生しました。

テキスト	プリンタ出力ファイルでオーバーフローが発生しました。
[説明]	プリンタ出力ファイルのオーバーフローが発生しました。 末尾の2桁は、オーバーフローした プリンタファイルの番号です。
[対処]	プリンタ出力ファイルのサイズを大きくしてください。

137

Natural システムエラーメッセージ 9151～9200

NAT9200：ファイルスペースの残量がなくなりました。

テキスト	ファイルスペースの残量がなくなりました。
[説明]	このエラーメッセージは "92nn" という形式で表示されます。 ここで "nn" はスペースが使い果たされたファイルの番号です。
[対処]	Natural 管理者に連絡してください。

138

Natural システムエラーメッセージ 9851～9900

NAT9898：予期しないエンドオブファイル、または **CMOBJIN** の拡張されたエラー。

テキスト	予期しないエンドオブファイル、または CMOBJIN の拡張されたエラー。
[説明]	データをさらに読み込むことが要求されているにもかかわらず、 CMOBJIN データ入力ファイルがエンドオブファイル条件に到達しました。
[対処]	コントロールされた方法で STOP を使用してプログラムの実行を終了するか、または OBJIN ステートメントを省略します。

NAT9899：**CMSYNIN** での予期しないエンドオブファイル。

テキスト	CMSYNIN での予期しないエンドオブファイル。
[説明]	データまたなソース入力をさらに読み込むことが要求されているにもかかわらず、 CMSYNIN 入力ファイルがエンドオブファイル条件に到達しました。 CMSYNIN ファイルから読み込む場合は、プログラムのコントロール下でデータの読み込みを終了する必要があります。 END ステートメントを使用してプログラムを終了するか、 または FIN コマンドを使用して Natural 実行を終了する必要があります。
[対処]	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

139

Natural システムエラーメッセージ 9901～9950

NAT9901 : Natural/TSO ランタイム環境は TSO ではありません。

テキスト	Natural/TSO ランタイム環境は TSO ではありません。
[説明]	非 TSO 環境内で Natural/TSO が起動されました。
[対処]	Natural/TSO は TSO 環境内でのみ実行可能です。この環境の適切なフロントエンドインターフェイスをニュークリアスにリンクしてください。

NAT9902 : データセットをオープンできません - :1:

テキスト	必要なデータセットがオープンできません - ...。
[説明]	必要なデータセットがオープンできません。 JCL に指定されていないか正しく定義されていません。 あるいは他の理由でオープンできません。
[対処]	JCL に正しいデータセット定義を指定してください。 エラーの原因を確かめるために、ジョブログ内の オペレーティングシステムエラーメッセージをチェックしてください。

NAT9903 : NATSTUB が Natural ニュークリアス :1: にリンクされていません。

テキスト	NATSTUB が Natural ニュークリアス :1: にリンクされていません。
[説明]	モジュール NATSTUB が Natural ニュークリアスにリンクされていません。 または、共有ニュークリアス :1: がロードされています。 しかし、そのエン트리ポイントに NATSTUB が定義されていません。
[対処]	Natural ニュークリアスにモジュール NATSTUB をリンクしてください。 共有ニュークリアスを使用する場合、リンクジョブの エン트리ポイントとして CMSTUB を指定してください。

NAT9904 : 不正な Natural ニュークリアス -:1:

テキスト	Natural ニュークリアスの分割 - ...。
[説明]	Natural ニュークリアスモジュールのバージョン (エラーメッセージに示されている) がフロントエンドインターフェイスモジュールに対応していません。 例えば、フロントエンドによって、異なるバージョンの共有ニュークリアスがロードされました。
[対処]	正しい Natural ニュークリアスをリンクしてください。または、プロファイルパラメータ NUCNAME を使用して正しい共有ニュークリアス名を指定してください。

NAT9905 : 端末 I/O エラー -:1: : RC=:2:

テキスト	端末 I/O エラー -:1: : RC=:2:
[説明]	端末 I/O エラーが発生しました。I/O レスポンスコード RC=:2: は、要求 :1: が失敗した理由を示しています。 TSO 環境では、レスポンスコードは、失敗した TSO I/O 要求マクロ TPUT または TGET から返されます。
[対処]	TSO ドキュメントのレスポンスコードの説明をチェックしてください。 さらに細かく問題を分析するため、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9906 : Natural サーバーは LE メインルーチンとして実行することができません。

テキスト	Natural サーバーは LE メインルーチンとして実行することができません。
[説明]	Natural フロントエンド (NATOS) は、IBM 言語環境を初期化しなかったフロントエンドサーバスタブから制御を受け取りました。 LE370=YES で生成されたサーバーとしての NATOS は LE メインルーチンとして実行できません。
[対処]	LE370=NO オプション付きで NATOS を生成するか、可能であれば、LE サポート付きフロントエンドサーバスタブを生成してください。

NAT9907 : サポートされていないオペレーティングシステムのバージョンです。

テキスト	サポートされていないオペレーティングシステムのバージョンです。
[説明]	現在のオペレーティングシステムバージョンは、この Natural バージョンではサポートされていません。
[対処]	サポートされているオペレーティングシステムおよびバージョンは、Natural ドキュメントを参照してください。

NAT9908 : ニュークリアスモジュールは **16 MB** 境界より下にありません - :1:

テキスト	ニュークリアスモジュールは 16 MB 境界より下にありません - ...。
[説明]	メッセージに指定されたニュークリアスモジュールはオペレーティングシステム要件のために 16 MB 境界より下で実行しなければなりません。
[対処]	指定されたニュークリアスモジュールをパラメータ MODERMODE(24) で再リンクしてください。

NAT9909 : TP システムバージョンはサポートされていません。

テキスト	TP システムバージョンはサポートされていません。
[説明]	TP システム (例: Com-plete) の当バージョンは Natural によってサポートされません。 それは、Natural に必要な機能を含んでいない古いバージョンか、または使用している Natural バージョンがまだサポートしない新しいバージョンのどちらかです。
[対処]	TP システムのより新しいバージョンをインストールするか、Natural のより新しいバージョンをインストールしてください。

NAT9910 : セッション通信エリアがないか、不正です。

テキスト	セッション通信エリアがないか、不正です。
[説明]	Natural サーバーセッション通信エリアがないか、不正です。 セッション通信エリアは、Natural サーバーによって内部的に使用され、フロントエンドサーバスタブが提供しなければなりません。
[対処]	さらに細かく問題を分析するため、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9911 : 不正なストレージスレッドサイズが指定されました。

テキスト	不正なストレージスレッドサイズが指定されました。
[説明]	サーバーとして Natural を実行するときは、固定サイズのメインストレージスレッドの取得を必要とします。フロントエンドサーバスタブに定義されたスレッドサイズが不正です。 256 キロバイト~16 メガバイトの範囲内でなければなりません。
[対処]	フロントエンドサーバスタブ定義に正しいスレッドサイズを指定してください。

NAT9912 : スレッド番号が不正か大きすぎます。

テキスト	スレッド番号が不正か大きすぎます。
[説明]	サーバーとして Natural を実行するときは、メインストレージスレッドの取得を必要とします。フロントエンドサーバスタブに定義されたスレッド数が不正または大きすぎます。0～8191 の範囲内で、スレッドストレージの合計が2ギガバイトより小さくなければなりません。
[対処]	スレッド数またはフロントエンドサーバスタブ定義のスレッドサイズを減らしてください。

NAT9913 : サーバー環境はすでに初期化されています。

テキスト	サーバー環境はすでに初期化されています。
[説明]	フロントエンドサーバスタブは、サーバー環境を初期化するために Natural を要求したが、サーバー環境はすでに初期化されています。
[対処]	再初期化の前にサーバー環境を終了してください。 さらに細かく問題を分析するため、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9914 : 共通サーバーテーブル用の **GETMAIN** が失敗しました。

テキスト	共通サーバーテーブル用の GETMAIN が失敗しました。
[説明]	中央コントロールブロックのための GETMAIN が失敗したため、Natural サーバー環境は初期化できません。 十分なリージョン ストレージを利用できる必要があります。
[対処]	Natural サーバー用のリージョンサイズを拡張してください。問題を解決できない場合、詳細な問題分析のために SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9915 : スレッドストレージ用の **GETMAIN** が失敗しました。

テキスト	スレッドストレージ用の GETMAIN が失敗しました。
[説明]	ストレージスレッドの GETMAIN が失敗したため、Natural サーバー環境は初期化できません。十分なリージョン ストレージを利用できる必要があります。
[対処]	Natural サーバー用のリージョンサイズを拡張するか、フロントエンドスタブ定義のストレージスレッドの数やサイズを減らしてください。

NAT9916 : サーバー名トークン検索時のエラーです。 **RC=:1:**

テキスト	サーバー名トークン検索時のエラーです。 RC=...
[説明]	Natural サーバーの中心的なアンカーは MVS のネームトークンです。名前トークンの検索要求はメッセージに示される 10 進のリターンコードで失敗しました。リターンコードの説明は IBM の『MVS Authorized Assembler Services Reference』の IEANTRT マクロコールの説明を参照してください。
[対処]	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT9917 : サーバー名トークン作成時のエラーです。 **RC=:1:**

テキスト	サーバー名トークン作成時のエラーです。 RC=...
[説明]	Natural サーバーの中心的なアンカーは MVS のネームトークンです。名前トークンの作成要求はメッセージに示される 10 進のリターンコードで失敗しました。リターンコードの説明は IBM の『MVS Authorized Assembler Services Reference』の IEANTCR マクロコールの説明を参照してください。
[対処]	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT9918 : サーバー名トークン削除時のエラーです。 **RC=:1:**

テキスト	サーバー名トークン削除時のエラーです。 RC=...
[説明]	Natural サーバーの中心的なアンカーは MVS のネームトークンです。名前トークンの削除要求はメッセージに示される 10 進のリターンコードで失敗しました。リターンコードの説明は IBM の『MVS Authorized Assembler Services Reference』の IEANTDL マクロコールの説明を参照してください。
[対処]	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT9919 : サーバーファンクションコードが不正です。

テキスト	サーバーファンクションコードが不正です。
[説明]	フロントエンドサーバスタブが、不正なサーバーファンクションコードで Natural サーバーをコールしました。
[対処]	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9920 : ロールサーバーがアクティブではありません。 **SUBSID=:1:**。

テキスト	ロールサーバーがアクティブではありません。 SUBSID=:1:。
[説明]	Natural サーバー環境は、制限付きストレージスレッド数内で複数サーバーセッションを実行するために Natural ロールサーバーを必要とします。 指定した Natural サブシステム ID に対して開始したロールサーバーがないか、または SUBSID プロファイルパラメータが、Natural パラメータモジュールで不正に、またはダイナミックに指定されています。
[対処]	サブシステム ID に対する Natural ロールサーバーを開始、または SUBSID プロファイルパラメータを正しく設定する、またはロールサーバーなしで実行するために SUBSID="" を使用するか、またはフロントエンドサーバースタブ定義にこれを指定します。

NAT9921 : サーバー環境が初期化されていません。

テキスト	サーバー環境が初期化されていません。
[説明]	フロントエンドサーバースタブは、"initialize server" 以外のサーバーファンクションコードで Natural をコールしたので、Natural サーバー環境は非初期化状態にあります。
[対処]	状態を完全にリセットするためにフロントエンドサーバースタブをリスタートしてください。 詳細な問題分析については、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9922 : 初期化セッションはロールできません。

テキスト	初期化セッションはロールできません。
[説明]	フロントエンドサーバースタブは、Natural サーバーの初期化中にセッション作成、ロールアウト、ロールインサーバー機能を要求しました。サーバー初期化フェーズ時にこれらのサーバー機能は使用できません。
[対処]	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9923 : サーバークローンセッションが有効ではありません。

テキスト	サーバークローンセッションが有効ではありません。
[説明]	フロントエンドサーバースタブがセッション作成を要求したが、クローンセッションはまだ保存されていません。
[対処]	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9924 : セッション ID がないか、不正です。

テキスト	セッション ID がないか、不正です。
[説明]	Natural サーバーセッション ID は、Natural セッションを識別するためのユニークな内部 ID です。フロントエンドサーバスタブがセッション ID 以外、または 16 進の空値セッション ID (使用不可)、または修正されたセッション ID を渡しました。
[対処]	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9925 : セッション ID はすでに存在しています。

テキスト	セッション ID はすでに存在しています。
[説明]	フロントエンドサーバスタブがセッション作成を要求したが、同じセッション ID のセッションがすでに存在していて、実行の用意があります。
[対処]	さらに細かく問題を分析するため、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9926 : セッションはロールインスタータスではありません。

テキスト	セッションはロールインスタータスではありません。
[説明]	フロントエンドサーバスタブがセッションロールアウト、実行、またはクローン保存機能を要求したが、セッションはロールインした状態ではありません。
[対処]	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9927 : セッションはロールアウトステータスではありません。

テキスト	セッションはロールアウトステータスではありません。
[説明]	フロントエンドサーバスタブがセッションロールイン機能を要求したが、セッションはロールアウトした状態ではありません。
[対処]	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9928 : ロールアウト中、圧縮に失敗しました。 RC=:1:。

テキスト	ロールアウト中に圧縮が失敗しました。 RC=...。
[説明]	Natural スレッドストレージ圧縮が失敗しました。正確な理由は、10 進数のリターンコード RC=00nn で示されます。詳しくは Natural ドキュメントを参照してください。
[対処]	詳細な問題分析については、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9929 : ロールイン中、解凍に失敗しました。 **RC=:1:**。

テキスト	ロールイン中、圧縮解除に失敗しました。 RC=:1:。
[説明]	Natural スレッドストレージの圧縮解除が失敗しました。 正確な理由は、10 進数のリターンコード RC=00nn で示されます。詳しくは Natural のドキュメントを参照してください。
[対処]	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9930 : ロールバッファのための **GETMAIN** が失敗しました。

テキスト	ロールバッファのための GETMAIN が失敗しました。
[説明]	Natural セッションスレッドストレージロールアウト中、ロールバッファのための GETMAIN 要求が失敗しました。 圧縮されたセッションストレージを保存するために十分なリージョンストレージを有効にする必要があります。
[対処]	Natural サーバーに対するリージョンサイズを拡張するか、ロール機能として Natural ロールサーバーを使用してください。

NAT9931 : **AUTOTERM** 機能は初期化できません。

テキスト	AUTOTERM 機能は初期化できません。
[説明]	Natural サーバー環境で、自動サーバー終了機能は、サーバー初期化 TCB の意図しない DETACH によって生じる問題を回避するために有効です (例: MVS アベンド A03、サーバー資源クリーンアップ不可など)。AUTOTERM 機能は、ストレージ保護問題のために初期化することができません。
[対処]	フロントエンドサーバスタブ定義で AUTOTERM 機能を無効にするか 詳細な問題分析のために SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9932 : Natural ランタイムエラーが発生しました - :1:。

テキスト	Natural ランタイムエラーが発生しました - :1:。
[説明]	Natural サーバーセッションの実行中、示された Natural ランタイムエラー :1: が発生しました。
[対処]	Natural が発行したランタイムエラーメッセージをチェックしてください。これは、クライアント側に返されたデータ、またはサーバーの Natural 標準出力データセットにあります。

NAT9933 : ロールサーバーの **ALLOCATE** 要求が失敗しました。 **RC=:1:/:2:**。

テキスト	ロールサーバーの ALLOCATE 要求が失敗しました。 RC=.../...。
[説明]	セッション作成中、新規ロールファイルスロット作成のための ALLOCATE 要求が失敗しました。十分なロールファイルストレージを有効にする必要があります。失敗の理由は、10進数のリターンコード/理由コードで示されます。コードの詳細については、Natural のドキュメントを参照してください。
[対処]	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため Software AG サポートに連絡してください。

NAT9934 : ロールサーバーの **WRITE** 要求が失敗しました。 **RC=:1:/:2:**。

テキスト	ロールサーバーの WRITE 要求が失敗しました。 RC=.../...。
[説明]	セッションロールアウト中、Natural ロールサーバーへの WRITE 要求が失敗しました。失敗の理由は、10進数のリターンコード/理由コードで示されます。コードの詳細については、Natural のドキュメントを参照してください。
[対処]	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため Software AG サポートに連絡してください。

NAT9935 : ロールサーバーの **READ** 要求が失敗しました。 **RC=:1:/:2:**。

テキスト	ロールサーバーの READ 要求が失敗しました。 RC=:1:/:2:
[説明]	セッションロールイン中、Natural ロールサーバーからの READ 要求が失敗しました。失敗の理由は、10進数のリターンコード/理由コードで示されます。コードの詳細については、Natural のドキュメントを参照してください。
[対処]	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9936 : ロールサーバーの **FREE** 要求が失敗しました。 **RC=:1:/:2:**。

テキスト	ロールサーバーの FREE 要求が失敗しました。 RC=.../...。
[説明]	セッション終了中、Natural ロールサーバーへの FREE 要求が失敗しました。失敗の理由は、10進数のリターンコード/理由コードで示されます。コードの詳細については、Natural のドキュメントを参照してください。
[対処]	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため Software AG サポートに連絡してください。

NAT9937 : サーバー I/O サブタスクを開始できません。 RC=:1/:2:。

テキスト	サーバー I/O サブタスクを開始できません。 RC=:1/:2:。
[説明]	Natural サーバー環境で、I/O 操作全体は、サーバー初期化中に開始した別個の MVS サブタスクによって行なわれます。I/O サブタスクに対する ATTACH 要求が失敗しました。失敗の原因は RC=:1/:2: で示されます。 ここで、:1: は内部ファンクションコード :2: の 10 進のリターンコードです。
[対処]	さらに細かく問題を分析するため、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9938 : SMARTS 環境の終了は失敗しました。

テキスト	SMARTS 環境の終了は失敗しました。
[説明]	これについて詳細な説明はありません。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT9939 : :1: RC=:2:

テキスト	リモートフロントエンド通信エラー。 RC=.../...
[説明]	リモート TP 環境 (例: CICS) で Natural セッションをディスパッチするために Natural サーバー環境は Natural リモートフロントエンドを使用します。 例えば、これは NDV CICS アダプタによって使用されます。 このエラーは Natural サーバー環境とリモート TP 環境の間の通信でのエラーを示します。 RC の値の意味は、以下の例のようにエラーテキストに依存します。 - "Cannot load NCI front-end RC=" : RC は CICS EIB レスポンスコードを含んでいます。 - "Error at Remote Gateway Obtain/Restore" : RC は NDV リモートゲートウェイからのレスポンスコードを含んでいます。
[対処]	CICS EIB レスポンスコードの場合に、詳細なエラー情報のために CICS メッセージまたはリモートフロントエンドトレースを調べてください。 リモートゲートウェイ RC の場合、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT9940 : サーバーパラメータリストの指定がないか、無効です。

テキスト	サーバーパラメータリストの指定がないか、無効です。
[説明]	必須の Natural サーバーパラメータリストが指定されていないか、無効です。 Natural フロントエンドサーバスタブは、内部パラメータリスト (内部的なサーバー機能に依存して必須) を使って、Natural サーバーセッションと通信します。
[対処]	さらに細かく問題を分析するため、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9941 : LE/370 を使用する場合に適した **Smarts** バージョンではありません。

テキスト	LE/370 を使用する場合に適した Smarts バージョンではありません。
[説明]	Smarts バージョン V272 は、LE/370 プログラム用の CEEPIPI インターフェイスをサポートするために必要とされます。
[対処]	必要な Smarts バージョンをインストールしてください。

NAT9942 : サーバフロントエンドが **Natural** バージョンと互換可能ではありません。

テキスト	サーバフロントエンドが Natural バージョンと互換可能ではありません。
[説明]	フロントエンドサーバスタブでは、現在の環境依存ニュークリアス Natural 環境のバージョンとは異なる Natural バージョンが必要です。
[対処]	フロントエンドサーバスタブのドキュメントに従って、互換性のある Natural バージョンをインストールおよび使用してください。

NAT9943 : 非同期セッション用の **Natural** プログラムでロジックエラーが発生しました。

テキスト	非同期セッション用の Natural プログラムでロジックエラーが発生しました。
[説明]	入力データが要求されましたが、非同期セッションは入力デバイスなしで実行されます。 このエラーを回避するには、Natural システム変数 *SCREEN-IO をチェックしてください。
[対処]	プログラムロジックを修正します。

140

Natural システムエラーメッセージ 9951～9999

NAT9966：ライセンスチェックの失敗により、セッションが終了しました。

テキスト	ライセンスチェックの失敗により、セッションが終了しました。
[説明]	製品ライセンスに関する問題により、セッションが終了しました。有効なライセンスがないと、Natural を開始できません。ライセンスモジュールがリンクされていないか、無効か、または環境に対して不十分です。
[対処]	この問題に関する詳細な情報については、セッション初期化エラーメッセージをチェックしてください。正しいライセンスファイルがない場合は、Software AG に連絡してください。

NAT9967：処理されない LE 条件によって終了が強制されました - :1:

テキスト	処理されない LE 条件によって終了が強制されました - :1:
[説明]	LE (IBM 言語環境) サブプログラムの実行中にエラー条件が発生しました。エラーを処理するサブプログラムの条件ハンドラがアクティブではなかったため、コントロールはNatural LE の条件ハンドラに渡されました。 この条件ハンドラは、CEEDUMP に LE スナップダンプを書き込み、さらに詳細な LE エラーメッセージを発行するために、LE サービスを呼び出します。DU プロファイルパラメータに従って、Natural はダンプ付きで終了されています。
[対処]	LE エラー条件、メッセージ、およびスナップダンプをチェックしてエラーの理由を特定します。必要な場合は、LE サブプログラムを修正してください。

NAT9968 : DUE により **Natural** は強制終了されました - :1: :2: :3:。

テキスト	DUE により Natural は強制終了されました - :1: :2: :3:。
[説明]	エラー :3: が発生したので、Natural はダンプ付きで終了しました。 Natural プログラム :1: により、行番号 :2: でエラーが発生しました。 :3: は、ダンプを取得するためにプロファイルパラメータ DUE によって定義されたエラーメッセージ ID です。 :1: と :2: が不在の場合、エラーが発生したときに、アクティブなプログラムがありませんでした。
[対処]	生成されたダンプを分析して、エラーを修正します。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9969 : **Natural** がエラーループから抜けました - :1: :2: :3:。

テキスト	Natural がエラーループから抜けました - :1: :2: :3:。
[説明]	エラー :3: ループが発生し、Natural は終了しました。 Natural プログラム :1: により、行番号 :2: でエラーが発生しました。 パラメータ DU=FORCE が設定されている場合は、ダンプが生成されます。ダンプのレジスタ 1 には、Natural がエラーループから抜けて NAT9969 を発行する前に最後に発生したエラーの番号が含まれています。
[対処]	エラーを修正するか、または DU=FORCE を設定してダンプを生成してください。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9970 : **ITERM=ON** のために **Natural** の初期化が失敗しました。

テキスト	ITERM=ON のために Natural の初期化が失敗しました。
[説明]	Natural の初期化中にエラー条件が発生しました。 このメッセージは、他の Natural エラーメッセージが 1 つ以上表示された後に表示されます。 プロファイルパラメータ ITERM=ON が設定されているので、セッションは終了します。
[対処]	先行エラーメッセージに示されるようにエラーを修正するか、ITERM=OFF を設定してください (STACK=INPL では不可)。

NAT9971 : セッションはフロントエンドドライバによって終了しました - RC=:1:。

テキスト	セッションはフロントエンドドライバによって終了しました - RC=:1:。
[説明]	セッション初期化中に、環境依存ドライバは重大なエラーを検出したので、セッションは継続できません。 RC=:1: はドライバエラー理由コードを示します。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT9972 : Naturalモジュールが見つからないか、無効です -:1:。

テキスト	Naturalモジュールが見つからないか、無効です -:1:。
[説明]	初期化中に、Natural は、モジュール :1: がないか、またはそのメンテナンスレベルが一致しないことを検出しました。
[対処]	Natural ニュークリアスへ正しいモジュールをリンクして、Natural を再スタートしてください。

NAT9973 : 異常終了 :1: :2:。

テキスト	アベンド :1: :2:。
[説明]	予期しない内部的なランタイムエラーが発生しました。 セッションは終了し、ダンプが生成されました。 :1: は、エラーを生じたニュークリアスコンポーネントの名前です。 :2: は、追加エラー情報を含んでいます (オプション)。
[対処]	ダンプを保存して、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9974 : アベンドにより Natural は強制終了されました。:1:。

テキスト	アベンドにより Natural は強制終了されました。...
[説明]	エラーメッセージに示されたアベンド条件が発生した後、Natural は異常終了しました。 プロファイルパラメータDU=ONが設定されていました。アベンド条件は、使用中のオペレーティングシステムおよび (または) TP システムによって設定されます。アベンド条件の説明については適切なオペレーティングシステムや TP システムのドキュメントを参照してください。 アベンド条件の例として、次のようなものがあります。 "S0C7" - データ例外 "AICA" - CICS 環境下のループ "ATCH" - オペレータによるタスクのキャンセル (CICS)
[対処]	生成されたダンプを分析して、エラーを修正します。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9975 : バックエンドプログラムが見つかりません -:1:。

テキスト	バックエンドプログラムが見つかりません -:1:。
[説明]	Natural セッションは異常終了しましたが、セッション終了後に制御を受け取るプログラム :1: (プロファイルパラメータ PROGRAM で指定) は見つかりません。
[対処]	PROGRAM パラメータで正しいプログラム名が指定され、そのプログラムが適切なライブラリにあることを確認してください。

NAT9976：初期化バッファが小さすぎます。

テキスト	初期化バッファが小さすぎます。
[説明]	初期化バッファのスペースが不足しているため、Natural は初期化できませんでした。このバッファのサイズは、プロファイルパラメータ ISIZE によって決まります。
[対処]	Natural パラメータモジュールの ISIZE パラメータ値を大きくしてから、Natural セッションを再度開始してください。

NAT9977：入力処理中に恒久的な I/O エラーが発生しました。

テキスト	入力処理中に恒久的な I/O エラーが発生しました。
[説明]	バッチの処理中、Natural は入力データを受け取りませんでした。または、オンライン処理中の場合、I/O エラーが発生したとき、コンソールにこのメッセージが発行されます。このような場合、関連出力装置が操作不能と考えられます。
[対処]	入力データが Natural に正しく渡されることを確認してください。

NAT9978：実行／コンパイル中にエラーが発生しました。

テキスト	実行／コンパイル中にエラーが発生しました。
[説明]	Natural バッチの処理中に、プログラムをコンパイルまたは実行したときにエラーが発生しました。バッチ処理は、エラーの後も継続されます。セッションは、リターンコード "4" で終了します。
[対処]	任意の複数エラーメッセージに対して出力プロトコルをチェックしてください。エラーを訂正し、必要な場合はバッチジョブを再実行してください。

NAT9979：端末コンバータモジュールがリンクされていません - :1:

テキスト	端末コンバータモジュールがリンクされていません - ...
[説明]	端末タイプに対応するコンバータモジュールが Natural ニュークリアスにリンクされていないか、または現在の環境と互換可能でないため、サポートできない端末タイプ ... で Natural が呼び出されました。
[対処]	指定されていないモジュールを Natural ニュークリアスにリンクするか、またはプロファイルパラメータ TTYPE を使用して正しい端末タイプを指定します。

NAT9980 : ニュークリアスはレジデントページにありません - :1:

テキスト	ニュークリアスはレジデントページにありません - ...。
[説明]	呼び出されたプログラムは Com-plete レジデントプログラムとしてロードされていません。
[対処]	Com-plete レジデントプログラムとしてプログラムをロードしてください。

NAT9981 : バックエンドプログラムデータ用の **GETMAIN** は失敗しました。

テキスト	バックエンドプログラムデータ用の GETMAIN は失敗しました。
[説明]	バックエンドプログラムデータのために要求されたサイズは Natural スレッドに割り当てることができません。
[対処]	スレッドサイズを大きくしてください。

NAT9982 : セッション終了中にエラーが発生しました。

テキスト	セッション終了中にエラーが発生しました。
[説明]	セッション終了中にエラーが発生しました。 対応するエラーメッセージは前に発行されています。
[対処]	対応するエラーメッセージをチェックし、 必要であれば、エラーを修正してください。

NAT9983 : 会話 I/O が要求され、ニュークリアス/スレッドが置き換えられました。

テキスト	会話 I/O が要求され、ニュークリアス/スレッドが置き換えられました。
[説明]	ニュークリアスまたはスレッド、あるいはその両方が最後の 端末 I/O 中に置き換えられました。
[対処]	Natural ニュークリアスを (E) LPA 内に指定するか、または RELO=FORCE/ON を指定しない、 あるいはその両方を行います。

NAT9984 : Natural アドレス再配置が失敗しました - RC=:1:

テキスト	Natural アドレス再配置が失敗しました - RC=...
[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NAT9985：スレッドロックされたセッションをリカバーできません。

テキスト	スレッドロックされたセッションをリカバーできません。
[説明]	Com-Plete では Natural セッションをリカバーしようとしたのですが、セッションが RELO=OFF モードで実行されていたため、このことを実行できませんでした。セッションを終了する必要があります。
[対処]	セッションを RELO=ON で再スタートしてください。

NAT9986：Natural パラメータモジュールが見つからないか、無効です。

テキスト	Natural パラメータモジュールが見つからないか、無効です。
[説明]	Natural ニュークリアスに Natural パラメータモジュールがリンクされていません。または、リンクされたパラメータモジュールにエラーがあります。
[対処]	正しいマクロライブラリを使用して、Natural パラメータモジュールを再アセンブルし、Natural ニュークリアスに再リンクしてください。

NAT9987：Natural セッションは異常終了しました - RC=:1:。

テキスト	Natural セッションは異常終了しました - RC=:1:。
[説明]	Natural セッションは、Natural プログラム内にリターンコード :1: を返す TERMINATE ステートメントにより終了しました。
[対処]	対処は必要ありません。

NAT9988：システムファイル情報に誤りがあります。

テキスト	システムファイル情報に誤りがあります。
[説明]	Natural システムファイル FNAT のデータベース ID、ファイル番号が変更されましたが、Natural システム環境がこの変更に対して調整されていません。
[対処]	システム環境を調整するために、INPL ユーティリティの "A" 機能を使用してください。

NAT9989：Natural バージョンが一致していません。

テキスト	Natural バージョンが一致していません。
[説明]	初期化するとき、Natural は環境依存インタフェースのバージョン、Natural ニュークリアス、およびパラメータモジュールが適合するかをチェックします。
[対処]	パラメータモジュール、インターフェイスをアセンブルし、Natural ニュークリアスにリンクしてから再実行してください。

NAT9990 : **Natural** の初期化に失敗しました。

テキスト	Natural の初期化に失敗しました。
[説明]	Natural の初期化中に Natural セッションの継続が許可されなかったためエラー条件が発生しました。 このメッセージは、他の Natural エラーメッセージが 1 つ以上表示された後に表示されます。
[対処]	先行するエラーメッセージに示されたエラーを訂正してください。

NAT9991 : 必要なモジュールがリンクされていません - :1:。

テキスト	必要なモジュールがリンクされていません - :1:。
[説明]	初期化中、Natural は、モジュール :1: がないことを検出しました。 モジュールは Natural ニュークリアスを実行するために必要です。
[対処]	必要なモジュールを、Natural ニュークリアスにリンクし、Natural を再スタートしてください。

NAT9992 : 回復不可能なアベンド :1: のためにセッションは終了しました。

テキスト	回復不可能なアベンド :1: のためにセッションは終了しました。
[説明]	アベンド :1: から Natural セッションを回復しようとしているとき、他のアベンドが発生しました。 アベンドループを避けるために、Natural セッションは終了しました。
[対処]	生成されたダンプを分析して、エラーを修正します。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9993 : **Adabas** リンクモジュールがないか、無効です - :1:。

テキスト	Adabas リンクモジュールがないか、無効です - :1:。
[説明]	プロファイルパラメータ ADANAME に指定された Adabas リンクモジュール :1: がロードできないか、または不正です。 ロードライブラリがないか不正です。 あるいは、指定モジュールが存在しないか、正しくリンクされていません。
[対処]	有効なロードライブラリが Natural セッションにアタッチされており、そこに有効な Adabas リンクモジュールが存在することを確認してください。

NAT9994 : ダイナミックパラメータ文字列が長すぎます。

テキスト	ダイナミックパラメータ文字列が長すぎます。
[説明]	ダイナミックパラメータ機能で、Natural セッションの開始時に指定した文字列が長すぎます。32767 文字以内にする必要があります。これは Cmprmin ファイルから読み込まれたダイナミックパラメータを含みます。
[対処]	ダイナミックパラメータ文字列を減らして、Natural セッションを再実行してください。

NAT9995 : Natural セッションは正常に終了しました。

テキスト	Natural セッションは正常に終了しました。
[説明]	この端末/ユーザーの Natural セッションはエラー条件が発生することなく終了しました。 Natural は次のいずれかの方法で終了されました。 - NEXT/MORE モードでのコマンド FIN の入力 - NEXT モードでのコマンド %% の入力 - NEXT モードでの CLEAR キーの押下 - Natural プログラムでのステートメント TERMINATE の実行
[対処]	対処は必要ありません。

NAT9996 : Natural ニュークリアスモジュールをロードできません - :1: :2:。

テキスト	Natural ニュークリアスモジュールをロードできません - :1: :2:。
[説明]	Natural がリエントラントニュークリアスモジュール :1: をロードできません。Natural のフロントエンド部分は、TP または OS 依存のロード要求を試行して、エラー条件 :2: を受け取りました。
[対処]	NUCNAME パラメータによって指定された共有ニュークリアス名をチェックするか、対応する名前を持つリエントラント部分を再リンクしてください。正しいロードライブラリに Natural がアクセス可能かどうかをチェックしてください。

NAT9997 : メモリ不足で Natural を開始できません - :1: :2:K RC=:3:。

テキスト	メモリ不足で Natural を開始できません - :1: :2:K RC=:3:。
------	--

[説明]	<p>Natural は、要求したすべてのバッファを取得できません。 Natural はユーザーエリア、端末エリア、I/O エリア、ファイル バッファなどのバッファを使用します。 これらのうち1つでもストレージの取得に失敗すると、Natural は 初期化することができません。追加情報は次のとおりです。 :1: バッファタイプ (NATCONFIG に記述) :2: バッファサイズ (KB) :3: GETMAIN 要求からのリターンコード 04 = ストレージ不足です。 08 = バッファタイプが不正です。 10 = バッファタイプが重複しています。 18 = バッファ長が不正です。 1C = バッファタイプが NATCONFIG に定義されていません。 30 = モジュール NATCONFIG がリンクされていません。 34 = 物理 GETMAIN に失敗しました。</p>
[対処]	<p>34 = 物理 GETMAIN に失敗しました。RC=04/34: バッファサイズを小さくするか、より大き なスレッド/パーティションを割り当ててください。 その他のリターンコードの場合、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NAT9998 : 入力ファイルにおいて I/O エラーが発生しました - :1:。

テキスト	入力ファイルにおいて I/O エラーが発生しました - :1:。
[説明]	入力ファイル (例: CMSYNIN または CMOBJIN) のバッチ処理中に、 I/O エラーが発生しました。:1: は、入力ファイル名を示します。
[対処]	ジョブログでオペレーティングシステムのエラーメッセージをチェックして、 エラーを修正します。

NAT9999 : 出力ファイルにおいて I/O エラーが発生しました - :1:。

テキスト	出力ファイルにおいて I/O エラーが発生しました - :1:。
[説明]	CMPRINT などの出力ファイルのバッチ処理中に I/O エラーが発生しました。 :1: は、出力ファイル名を示します。
[対処]	ジョブログでオペレーティングシステムのエラーメッセージをチェックして、 エラーを修正します。

141 Com-plete/SMARTS 環境下の Natural のアベンド コード

- Com-plete/SMARTS 環境下の Natural のアベンドコードおよびエラーメッセージ 978

このドキュメントでは、Natural Com-plete/SMARTS TP インターフェイスにより発行されるアベンドコードについて説明します。

次のトピックについて説明します。

Com-plete/SMARTS 環境下の Natural のアベンドコードおよびエラーメッセージ

コード	説明
301	CMABEND によってアベンドが強制され、DU=ON/FORCE が指定されています。セッションは、DU=ON をクリーンアップし、DU=FORCE のクリーンアップはせずに、直ちに終了されます。IOCB フィールドの TPABCDE (レジスタ 10+x18C) には、アベンドコードが含まれます。IOCB オフセット x'290' には PSW および レジスタ 0~15 が含まれます。
302	アベンドが発生し、DU=ABEND が指定されています。このセッションは異常終了する前にクリーンアップされます。IOCB オフセット x'290' には PSW および レジスタ 0~15 が含まれます。
304	アベンドが発生し、Natural は処理する準備ができていません。このセッションはクリーンアップせずに直ちに終了します。IOCB オフセット x'290' には PSW および レジスタ 0~15 が含まれます。
305	アベンドが発生し、Natural の BB はアドレス指定できません。
307	Com-plete 環境下の Natural セーブエリアスタックがすべて使用されています。
308	アベンドが発生し、Natural Com-plete ABEXIT ハンドラが反復的にアベンドします。
309	アテンションキーが押されましたが、Natural は処理する準備ができていません。このセッションはクリーンアップせずに直ちに終了します。IOCB オフセット x'290' には PSW および レジスタ 0~15 が含まれます。
310	端末 I/O で予期しないエラーが発生しました。このセッションはクリーンアップせずに直ちに終了します。IOCB オフセット x'290' には PSW および レジスタ 0~15 が含まれます。
313	ABEXIT エントリで予期しないエラーが発生しました。このセッションはクリーンアップせずに直ちに終了します。IOCB オフセット x'290' には PSW および レジスタ 0~15 が含まれます。
312	端末 I/O の間に、Natural 共有ニュークリアスが移動され、Natural 再配置モジュールがゼロ以外のリターンコードを返しました。

142 CICS 環境下の Natural のメッセージ

- CICS 環境下の Natural のアベンドコードとエラーメッセージ 980
- CICS 環境下の Natural の情報メッセージ 1003
- NCISCPRI 警告およびエラーメッセージ 1004

CICS 環境下の Natural のアベンドコードとエラーメッセージ

このセクションでは、Natural/CICS TP インターフェイスにより発行されるアベンドコード、SCP 環境初期化エラー、SCP 環境リカバリエラー、SCP 処理エラーおよび Natural CICS インターフェイスセッションエラーについて説明します。

Natural システムメッセージとは異なり、これらのメッセージおよびコードの長い説明テキストは、このドキュメントだけで提供されます。オンラインでは提供されません。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- SCP 環境初期化エラー
- SCP 環境リカバリエラー
- SCP 処理のエラー
- Natural CICS インターフェイスセッションエラー

Natural CICS インターフェイスのアベンドコードと対応するエラーメッセージが、次の順にグループごとに記載されています。

NI nn SCP 環境初期化エラー
 NR nn SCP 環境リカバリエラー
 NS nn SCP 処理のエラー
 NT nn CICS 環境下の Natural のセッションエラー

Natural システム制御プログラム (SCP) は、Natural CICS インターフェイスの一部です。SCP 障害のほとんどは、ダンプで知ることができます。

 **注意:** このドキュメントのすべてのメッセージは、実際には、大文字と小文字が混在したフォーマットで表示されます。

SCP 環境初期化エラー

NIAB - INIT、初期化中にアベンド $xxxx$ が発生しました

[説明]	システムの環境初期化中に CICS トランザクションアベンド $xxxx$ が発生しました。
[対処]	アベンドコードをチェックしてエラーを修正するか、ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NIAD - xxxxxxxx、ADABAS リンケージルーチンにアベンド xxxx があります

[説明]	システム初期化時に、Natural プロファイルパラメータ ADANAME で指定した Adabas リンケージモジュール xxxxxxxx で、CICS トランザクションアベンド xxxx が発生しました(Natural の『パラメータリファレンス』ドキュメントを参照)。
[対処]	Adabas ドキュメントをチェックしてエラーを修正するか、ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NI01 - INIT、ディレクトリエクステンション (eeeeeeee) にストレージがありません

[説明]	システム初期化時に、CICS ストレージボトルネックにより、システムディレクトリエクステンションの EXEC CICS GETMAIN コマンドが失敗しました。CICS エラー条件は eeeeeeee です。
[対処]	CICS 動的ストレージを増やします。

NI02 - INIT、有効なスレッドがありません

[説明]	<p>システム初期化時に、システムが操作不能です。これは、すべてのスレッドグループが TYPE=SHR ですが、有効なスレッドがないためです。</p> <p>a) スレッドグループの定義が正しく設定されていません。</p> <p>b) CICS TS の前の CICS バージョンにおいて：TYPE=SHR スレッドの GETMAIN/GETVIS 要求が失敗しました。</p> <p>c) CICS Transaction Server システムにおいて：TYPE=SHR スレッドの EXEC CICS GETMAIN SHARED 要求が失敗しました。</p>
[対処]	<p>a) システムディレクトリで NCMTGD マクロを使用してスレッドグループ定義をチェックし、OSCOR/GETVIS または関連する CICS (E)DSA に、すべての TYPE=SHR スレッド GETMAIN 要求を満たす、十分なストレージが利用可能であることを確認します。</p> <p>b) OSCOR/GETVIS ストレージを増やします。</p> <p>c) 関連する CICS (E)DSA を増やします。</p>

NI03 - INIT、利用可能な CICS ロール機能がありません

[説明]	システム初期化時に、システムに TYPE=SHR または TYPE=GETM スレッドグループはありますが、これらで利用可能な CICS ロール機能がなく、NCI システムが Natural ロールサーバーを使用しないように定義されています。
[対処]	<p>VSAM RRDS ロールファイルを使用する場合</p> <p>a) VSAM RRDS ロールファイルが割り当てられていること (IDCAMS DEFINE CLUSTER) と適切にフォーマットされていること (NATSCPRI プログラム) をチェックします。</p> <p>b) CICS 起動 JCL および CICS FCT で、VSAM RRDS ロールファイルが適切に定義されていることをチェックします。</p> <p>c) VSAM RRDS ロールファイルがサポートされているかどうかをチェックします (NCMPRM マクロの ROLLFLS パラメータ)。</p> <p>d) VSAM RRDS ロールファイル名が CICS 環境下の Natural の定義と一致しているかどうかをチェックします (NCMPRM マクロの PREFIX パラメータ)。CICS の補助の一時ストレージを使用する場合</p> <p>e) TS CI-SIZE が 4K 以上であるかどうか、および、CICS 起動 JCL で DFHTEMP データセットが定義されているかどうかをチェックします。CICS のメインの一時ストレージを使用する場合</p> <p>f) NCMDIR マクロの TSRECSZ で、ゼロ以外の値を指定することにより、CICS のメインの一時ストレージをロール機能として利用できるようにします。</p>

NI04 - INIT、ロール/SIP サーバー SUBSID xxx が見当たらないか、アクティブではありません

[説明]	システム初期化時に：SIP サーバーかロールサーバーまたは両方を使用するように、Natural CICS 環境が指定されていますが (NCISPCB で CICSPLX=YES または SIPSERV=YES または ROLLSRV=YES)、有効な Natural プロファイルパラメータ SUBSID が指定されていないか、指定されたサブシステムがアクティブではありません。
[対処]	<p>a) SUBSID プロファイルパラメータを使用して、有効なサブシステム ID を指定します。</p> <p>b) 指定されたサブシステム ID 用のロールサーバーか SIP サーバーまたは両方を起動します。</p>

NI05 - INIT、初期化出口 xxxxxxxx によって中止されました

[説明]	システム初期化時に、NCISTART のシステム初期化出口により、初期化プロセスが中止されました。リターンコードは xxxxxxxx です。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

SCP 環境リカバリエラー

NRAB - RCVR、ディレクトリリカバリ中にアベンド xxxxx が発生しました

[説明]	システムリカバリ時に、システム環境をリカバリ中に CICS トランザクションアベンド xxxxx が発生しました。
[対処]	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NR01 - SIR ブロックチェーンを回復することができません

[説明]	セッションの初期化またはセッション終了時に、セッション情報レコード (SIR) ブロックの前方か後方または両方のチェーンが切断されており、システムはシステム制御レコードを使用してこれから回復することができません。
[対処]	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NR02 - スレッドストレージオーバーフロー

[説明]	システムの保全性チェックがアクティブな SCP 要求で、スレッドの接頭辞と接尾辞が一致していません。
[対処]	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NR03 - スレッドグループ (インデックス) の失敗

[説明]	<p>システムの保全性チェックをアクティブにした SCP 要求で、次のいずれかが発生しています。</p> <p>a) スレッドグループインデックスのベクターが、スレッドグループの数と一致していません。</p> <p>b) スレッドグループインデックスが、対応するスレッドグループをポイントしていません。</p> <p>c) スレッドグループブロックのサイズが、そのタイプおよび定義と一致していません。</p> <p>d) スレッドグループの名前が共通システムの接頭辞と一致しません。</p>
[対処]	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NR04 - ディレクトリエクステンションの失敗

〔説明〕	システムディレクトリエクステンションが、システムディレクトリと一致していないか、そのアイキャッチャーが共通システムの接頭辞と一致しません。
〔対処〕	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NR05 - VSAM ロールファイル（ディレクトリ）の失敗

〔説明〕	NCI システムが Natural ロールサーバーを使用しないように定義されています。システムの健全性チェックをアクティブにした SCP 要求で、次のいずれかが発生しています。 a) VSAM ロールファイルの名前が共通システムの接頭辞と一致しません。 b) VSAM ロール機能 RCB スロットが、オンラインディレクトリのビットマップと一致していません。
〔対処〕	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

SCP 処理のエラー

NSAB - SCP、SCP 処理中にアベンド xxxx が発生しました

〔説明〕	SCP 処理中にアベンド xxxx が発生しました。
〔対処〕	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NSAD - xxxxxxxx、ADABAS リンケージルーチンにアベンド xxxx があります

〔説明〕	SCP 処理中に、Natural プロファイルパラメータ ADANAME で指定した Adabas リンケージモジュール xxxxxxxx で、CICS トランザクションアベンド xxxx が発生しました(Natural の『パラメータリファレンス』ドキュメントを参照)。
〔対処〕	Adabas ドキュメントをチェックしてエラーを修正するか、ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NS01 - SCP、IOCB に対する GETMAIN に失敗しました (eeeeeeee)

〔説明〕	セッション初期化時に、CICS ストレージボトルネックにより、TYPE=NONE スレッドグループに属するトランザクションの IOCB ストレージに対する EXEC CICS GETMAIN コマンドが失敗しました。CICS エラー条件は eeeeeeee です。
〔対処〕	CICS ストレージを増やすか、スレッド境界のトランザクション ID を使用します。

NS02 - SCP、システム初期化／リカバリの失敗 xxxx

[説明]	以前のシステム初期化またはリカバリの失敗のため、Natural システム環境が操作不能です。xxxx は、初期化 (NI nn) およびリカバリ (NR nn) メッセージコードをそれぞれ示しています。
[対処]	失敗の理由を確認します。エラーを修正し、新しいシステムディレクトリのコピーをロードして、システム初期化を再スタートします。

NS03 - SCP、ロールイン中に、BB が無効です

[説明]	セッションの再開時に、IOCB および BB コントロールブロックのポインタが一致していないか、IOCB がポイントしている BB がこのセッションの有効なストレージの範囲にありません。
[対処]	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NS04 - SCP、ロールイン中に、IOCB が見つかりません

[説明]	セッションの再開時に、IOCB および SIR ポインタが一致していないか、セッションの "古いスレッド" への IOCB ポインタが無効です。
[対処]	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NS05 - SCP、利用可能なスレッド (eeeeeeee) がありません

[説明]	<p>a) セッションの初期化時または再開時に、EXEC CICS GETMAIN コマンド (TYPE=GETM スレッドグループに属するトランザクションのスレッドストレージに対するコマンド) が失敗しました。CICS エラー条件は eeeeeeee です。</p> <p>b) TYPE=SHR スレッドグループに有効なスレッドがありません。</p> <p>c) 再配置可能ではないセッションのスレッドが失われました。</p>
[対処]	<p>a) CICS 動的ストレージを増やします。</p> <p>b) および c) ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS06 - SCP、利用可能な CICS ロール機能がありません

[説明]	<p>NCI システムが Natural ロールサーバーを使用しないように定義されています。セッション初期化時に、次のいずれかの理由で、CICS ロール機能が新しい Natural セッションに利用できません。</p> <p>a) すべての VSAM RRDS ロールファイルがすべて利用可能ではなく、一時ストレージがすべて利用可能ではありません。</p> <p>b) CICS の補助の一時ストレージがすべて利用可能ではありません。</p> <p>c) CICS のメインの一時ストレージが許可されていません。</p>
[対処]	<p>a) 現在の VSAM RRDS ロールファイルのサイズを増やすか、追加の VSAM RRDS ロールファイルをアロケートします。</p> <p>b) CISIZE を 4K 以上に設定することにより、CICS の補助の一時ストレージを Natural ロール機能として利用できるようにします。</p> <p>c) NCMDIR マクロの TSRECSZ パラメータでゼロ以外の値を指定して、メイン一時ストレージを許可します。</p>

NS07 - SCP、スレッドグループが利用できません

[説明]	<p>セッション初期化時に、現在のトランザクションに関連付けられた TYPE=SHR スレッドグループに有効なスレッドがありません。</p>
[対処]	<p>システムディレクトリの生成で、NCMTGD 指定でスレッドグループ定義をチェックします。</p>

NS08 - xxxxxxxx、システムディレクトリが見当たらないか無効です (eeeeeeee)

[説明]	<p>SCP 要求で、次のいずれかが発生しました。</p> <p>a) Natural システムディレクトリの EXEC CICS LOAD コマンドが失敗しました (有効な PPT エントリがないか、ディレクトリ名が不正)。xxxxxxx はロードするモジュールの名前を示し、eeeeeeee は CICS エラー条件です。</p> <p>b) ロードされたディレクトリモジュールが適切にリンクされていません。</p> <p>c) ロードされたディレクトリモジュールが NCISTART に適合していません。</p>
[対処]	<p>CEDF を使用して、どの説明に該当するかをチェックします。</p> <p>a) または b) の場合は、SCP 環境を適切に設定します。</p> <p>c) の場合は、適切なマクロライブラリで NCISPCB を再アSEMBルします。</p>

NS09 - SCP、利用可能なセッション情報レコードがありません

[説明]	<p>セッション初期化時に、次のいずれかが発生しました。</p> <p>a) プライマリ SIR ブロックがいっぱいで、セカンダリ SIR ブロックが許可されていません。</p> <p>b) セカンダリ SIR ブロックの EXEC CICS GETMAIN コマンドが、CICS ストレージボトルネックにより、失敗しました。</p> <p>c) セッションの再開時に、SIR と再スタートデータが矛盾しています。</p>
[対処]	<p>a) プライマリ SIR ブロック (NCMDIR マクロの USERS パラメータの最初のサブパラメータ) を増やすか、セカンダリ SIR ブロック (NCMDIR マクロの USERS パラメータの 2 番目のサブパラメータ) を許可します。</p> <p>b) CICS 動的ストレージを増やします。</p> <p>c) ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS10 - SCP、ロールアウト中、圧縮エラーが発生しました

[説明]	<p>セッション中断時に、次のいずれかが発生しました。</p> <p>a) IOCB のロールファイルビットマップがすべて使用されています。つまり、128 を超えるレコードがロール機能に書き込まれます。</p> <p>b) ロールアウトされるストレージのサイズが、セッションの VSAM RRDS ロールファイルスロットにおさまりません。</p> <p>c) ロールアウトされるストレージのサイズが、現在割り当てられているセッションのストレージを超えています。</p>
[対処]	<p>a) の場合、より大きなコントロールインターバルのサイズを使用して、VSAM RRDS または CICS の補助の一時ストレージサイズを再定義します。</p> <p>b) および c) の場合、ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡します。</p>

NS11 - SCP、ロールアウト中に BB が無効です

[説明]	<p>セッション中断時に、IOCB と BB ポインタが一致していないか、IOCB の BB ポインタがこのセッションの有効なストレージの範囲にありません。</p>
[対処]	<p>ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS12 - xxxxxxxx, ロールアウト、**FC=ffff**、**RSP=ccc**、**RSP2=rrr**、**eeeeeeee**

[説明]	<p>セッション中断時に、ロール機能I/O 要求が失敗しました。</p> <p>xxxxxxx - CICS ロール機能名</p> <p>ffff - エラーが発生した EXEC CICS コマンド (EIB フィールド EIBFN)</p> <p>ccc - EXEC CICS コマンドレスポンスコード (EIB フィールド EIBRESP)</p> <p>rrr - EXEC CICS コマンド理由コード (EIB フィールド EIBRESP2)</p> <p>eeeeeeee - CICS エラー条件</p>
[対処]	<p>ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS13 - xxxxxxxx, ロールイン、**FC=ffff**、**RSP=ccc**、**RSP2=rrr**、**eeeeeeee**

[説明]	<p>セッション再開時に、ロール機能 I/O 要求が失敗しました。</p> <p>xxxxxxx - CICS ロール機能名</p> <p>ffff - エラーが発生した EXEC CICS コマンド (EIB フィールド EIBFN)</p> <p>ccc - EXEC CICS コマンドレスポンスコード (EIB フィールド EIBRESP)</p> <p>rrr - EXEC CICS コマンド理由コード (EIB フィールド EIBRESP2)</p> <p>eeeeeeee - CICS エラー条件</p>
[対処]	<p>ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS14 - コントロールレコードアクセス、FC=ffff、RSP=ccc、RSP2=rrr、eeeeeeee

[説明]	<p>セッションの初期化またはセッション終了時に、SCP システムコントロールレコードへのアクセスが失敗しました。</p> <p><i>ffff</i> - エラーが発生した EXEC CICS コマンド (EIB フィールド EIBFN)</p> <p><i>ccc</i> - EXEC CICS コマンドレスポンスコード (EIB フィールド EIBRESP)</p> <p><i>rrr</i> - EXEC CICS コマンド理由コード (EIB フィールド EIBRESP2)</p> <p><i>eeeeeeee</i> - CICS エラー条件</p>
[対処]	<p>ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS15 - SCP、同期、FC=ffff、RSP=ccc、RSP2=rrr、eeeeeeee

[説明]	<p>セッションの同期またはシリアライゼーション時に、ENQ/DEQ/WAIT EVENT としての要求が失敗しました。次のパラメータが適用されます。</p> <p><i>ffff</i> - エラーが発生した EXEC CICS コマンド (EIB フィールド EIBFN)</p> <p><i>ccc</i> - EXEC CICS コマンドレスポンスコード (EIB フィールド EIBRESP)</p> <p><i>rrr</i> - EXEC CICS コマンド理由コード (EIB フィールド EIBRESP2)</p> <p><i>eeeeeeee</i> - CICS エラー条件</p>
[対処]	<p>ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS16 - SCP、Natural セッションが失われました

[説明]	<p>セッションの再開時に、スレッドでもロール機能でもセッションデータが見つかりません。</p>
[対処]	<p>ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS17 - SCP、システムコントロールレコードが無効です

[説明]	<p>セッションの中断またはセッション終了時、SIR ブロックをリリースするときに、SCP システムコントロールレコードが現在のシステムと矛盾しています。</p>
[対処]	<p>ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS18 - SCP、システムディレクトリエクステンションが見当たらないか無効です

[説明]	<p>SCP 要求で、次のいずれかが発生しました。</p> <p>a) システムディレクトリにエクステンションがありません。</p> <p>b) ディレクトリとエクステンションが一致していません。</p>
[対処]	<p>ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS19 - SCP、重複する端末 ID で xxxxxxxx が発生しました

[説明]	<p>Natural セッション開始時に、Natural CICS インターフェイスが、上記の端末 ID がまだ/すでに存在していることを検知しました。このメッセージは、DUPTID=NO が NCIPARM で指定されているときにのみ表示されます。</p> <p>a) 既存のセッションは "切断" されています。つまり、端末が事前にセッションを終了することなしに CICS から切断されたか、Natural がアベンド後に適切にクリーンアップしませんでした。</p> <p>b) Natural CICS 端末 ID 出口により、一意でない論理端末 ID が生成されています。</p> <p>c) 同一の端末 ID を持つ CICS リージョンが同じ Natural SIP サーバーかロールサーバーまたは両方を共有しています。</p> <p>d) ユーザーの CICS 自動インストール出口により、一意でない CICS 端末 ID が生成されています。</p>
[対処]	<p>Natural CICS インターフェイスがこれらの重複した端末 ID を内部的に処理するように、NCIPARM で DUPTID=YES を指定します。</p> <p>a) SYSTP E,U を使用して、競合する Natural セッションをキャンセルします。</p> <p>b) Natural CICS 端末 ID 出口を修正します。</p> <p>c) Natural ロールサーバーか SIP サーバーまたは両方を共有するすべての CICS リージョンで、一意の端末 ID を指定するか、一意でない端末 ID を持つ CICS リージョンでこれらの Natural リソースを共有しないようにします。</p> <p>d) CICS 自動インストール出口を修正します。</p>

NS21 - SCP、再配置の失敗 rrrrrrrr が xxxxxxxx で発生しました

[説明]	セッションの再開時に、再配置プロセスが失敗しました。 rrrrrrrr - 再配置モジュールリターンコード xxxxxxx - エラーのアドレス
[対処]	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NS22 - SCP、圧縮の失敗 NUS02nn が xxxxxxxx で発生しました

[説明]	セッション中断時に、圧縮プロセスが失敗しました。詳細については、関連付けられた NUS02nn メッセージを参照してください。 xxxxxxx - アドレス
[対処]	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NS23 - SCP、圧縮解除の失敗 NUS02nn が xxxxxxxx で発生しました

[説明]	セッション再開時に、圧縮解除プロセスが失敗しました。詳細については、関連付けられた NUS02nn メッセージを参照してください。 xxxxxxx - アドレス
[対処]	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NS30 - ロールサーバー ALLOC の失敗、RSP=ccc、RSP2=rrr

[説明]	セッション初期化時に、セッションをロールサーバーに登録する要求が失敗しました。 ccc - ロールサーバーリターンコード rrr - ロールサーバー理由コード
[対処]	ロールサーバーのリターンコードと理由コード（ ロールサーバー要求の理由コード ）をチェックします。ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NS31 - ロールサーバー FREE の失敗、RSP=ccc、RSP2=rrr

[説明]	<p>セッション終了時に、セッションをロールサーバーから登録解除する要求が失敗しました。</p> <p>ccc - ロールサーバーリターンコード</p> <p>rrr - ロールサーバー理由コード</p>
[対処]	<p>ロールサーバーのリターンコードと理由コード（ロールサーバー要求の理由コード）をチェックします。ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS32 - ロールサーバー WRITE の失敗、RSP=ccc、RSP2=rrr

[説明]	<p>セッション中断時に、セッションのデータをロールサーバーに渡す要求が失敗しました。</p> <p>ccc - ロールサーバーリターンコード</p> <p>rrr - ロールサーバー理由コード</p>
[対処]	<p>ロールサーバーのリターンコードと理由コードをチェックします（Naturalの『オペレーション』ドキュメントの「ロールサーバーメッセージ、コンディションコードおよびアベンドコード」を参照）。ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS33 - ロールサーバー READ の失敗、RSP=ccc、RSP2=rrr

[説明]	<p>セッション再開時に、セッションのデータをロールサーバーから取得する要求が失敗しました。</p> <p>ccc - ロールサーバーリターンコード</p> <p>rrr - ロールサーバー理由コード</p>
[対処]	<p>ロールサーバーのリターンコードと理由コードをチェックします（Naturalの『オペレーション』ドキュメントの「ロールサーバーメッセージ、コンディションコードおよびアベンドコード」を参照）。ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS34 - ロールサーバー STATS の失敗、RSP=ccc、RSP2=rrr

[説明]	<p>ロールサーバー統計の SYSTP ユーティリティ要求が失敗しました。</p> <p>ccc - ロールサーバーリターンコード</p> <p>rrr - ロールサーバー理由コード</p>
[対処]	<p>ロールサーバーのリターンコードと理由コードをチェックします (Natural の『オペレーション』ドキュメントの「ロールサーバーメッセージ、コンディションコードおよびアベンドコード」を参照)。ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS39 - ロールサーバーがアクティブではありません

[説明]	<p>NCI 環境で Natural ロールサーバーを使用しますが (NCMDIR 内の ROLLSRV=YES)、現在アクティブではありません。ダンプは作成されません。</p>
[対処]	<p>Natural ロールサーバーを起動します。</p>

NS40 - SIP サーバー ALLOC の失敗、RSP=ccc、RSP2=rrr

[説明]	<p>セッション初期化時に、セッションを認可サービスマネージャの SIP ハンドラに登録する要求が失敗しました。</p> <p>ccc - SIP サーバーリターンコード</p> <p>rrr - SIP サーバー理由コード</p>
[対処]	<p>ASM のリターンコードと理由コードをチェックします (Natural の『オペレーション』ドキュメントの「ASM メッセージ、コンディションコードおよびアベンドコード」を参照)。ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS41 - SIP サーバー FREE の失敗、RSP=ccc、RSP2=rrr

[説明]	<p>セッション終了時に、セッションを認可サービスマネージャの SIP ハンドラから登録解除する要求が失敗しました。</p> <p>ccc - SIP サーバーリターンコード</p> <p>rrr - SIP サーバー理由コード</p>
[対処]	<p>ASM のリターンコードと理由コードをチェックします (Natural の『オペレーション』ドキュメントの「ASM メッセージ、コンディションコードおよびアベンドコード」を参照)。ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS42 - SIP サーバー READ の失敗、RSP=ccc、RSP2=rrr

[説明]	<p>セッションの再開時に、セッション情報レコード (SIR) を認可サービスマネージャの SIP ハンドラから取得する要求が失敗しました。</p> <p><i>ccc</i> - SIP サーバーリターンコード</p> <p><i>rrr</i> - SIP サーバー理由コード</p>
[対処]	<p>ASMのリターンコードと理由コードをチェックします (Naturalの『オペレーション』ドキュメントの「ASM メッセージ、コンディションコードおよびアベンドコード」を参照)。ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS43 - SIP サーバー BROWSE-F の失敗、RSP=ccc、RSP2=rrr

[説明]	<p>セッション情報レコードを前方にブラウズする SYSTP ユーティリティ要求が失敗しました。</p> <p><i>ccc</i> - SIP サーバーリターンコード</p> <p><i>rrr</i> - SIP サーバー理由コード</p>
[対処]	<p>ASMのリターンコードと理由コードをチェックします (Naturalの『オペレーション』ドキュメントの「ASM メッセージ、コンディションコードおよびアベンドコード」を参照)。ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS44 - SIP サーバー BROWSE-B の失敗、RSP=ccc、RSP2=rrr

[説明]	<p>セッション情報レコードを後方にブラウズする SYSTP ユーティリティ要求が失敗しました。</p> <p><i>ccc</i> - SIP サーバーリターンコード</p> <p><i>rrr</i> - SIP サーバー理由コード</p>
[対処]	<p>ASMのリターンコードと理由コードをチェックします (Naturalの『オペレーション』ドキュメントの「ASM メッセージ、コンディションコードおよびアベンドコード」を参照)。ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS45 - SIP サーバー WRITE の失敗、RSP=ccc、RSP2=rrr

[説明]	<p>セッションの中断時に、セッション情報レコード (SIR) を認可サービスマネージャの SIP ハンドラに渡す要求が失敗しました。</p> <p><i>ccc</i> - SIP サーバーリターンコード</p> <p><i>rrr</i> - SIP サーバー理由コード</p>
[対処]	<p>ASMのリターンコードと理由コードをチェックします (Naturalの『オペレーション』ドキュメントの「ASMメッセージ、コンディションコードおよびアベンドコード」を参照)。ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS46 - SIP サーバー QUERY の失敗、RSP=ccc、RSP2=rrr

[説明]	<p>SIP サーバー統計の SYSTP ユーティリティ要求が失敗しました。</p> <p><i>ccc</i> - SIP サーバーリターンコード</p> <p><i>rrr</i> - SIP サーバー理由コード</p>
[対処]	<p>ASMのリターンコードと理由コードをチェックします (Naturalの『オペレーション』ドキュメントの「ASMメッセージ、コンディションコードおよびアベンドコード」を参照)。ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。</p>

NS49 - SIP サーバーがアクティブではありません

[説明]	<p>NCI 環境が CICS アプリケーションリージョンを切り替えることができるように定義されています (NCMDIR のパラメータ CICSPLX=YES)。これにより、認可サービスマネージャの SIP ハンドラがアクティブである必要がありますが、現在アクティブではありません。ダンプは作成されません。</p>
[対処]	<p>認可サービスマネージャの SIP ハンドラを起動します。</p>

NS50 - スワップマネージャスワッププールインストールの失敗 (NUSnnnn)

NS51 - スワップマネージャセッションインストールの失敗 (NUSnnnn)

NS52 - スワップマネージャセッションロールアウトの失敗 (NUSnnnn)

NS53 - スワップマネージャセッションロールインの失敗 (NUSnnnn)

NS54 - スワップマネージャ正常終了の失敗 (NUSnnnn)

NS55 - スワップマネージャ異常終了の失敗 (NUSnnnn)

[説明]	スワップマネージャの失敗には、NUSnnnn エラーメッセージが発行され、トランザクションはダンプ付きで終了されます。ダンプ付きのアベンドコードはエラーが発生しているスワップ操作によって異なります。
[対処]	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NS59 - スワップマネージャモジュール NATSWPMG がインストールされていません

[説明]	スワップマネージャモジュール NATSWPMG が Natural ニュークリアスにリンクされていません。
[対処]	Natural ニュークリアスを、含んでいるモジュール NATSWPMG に再リンクします。

Natural CICS インターフェイスセッションエラー

NTAD - xxxxxxxx、ADABAS リンケージルーチンにアベンド xxxx があります

[説明]	Natural プロファイルパラメータ ADANAME で指定した Adabas リンケージモジュール xxxxxxxx で、CICS トランザクションアベンド xxxx が発生しました(Naturalの『パラメータリファレンス』ドキュメントを参照)。
[対処]	Adabas ドキュメントをチェックしてエラーを修正するか、ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NT02 - セッションが管理者 uuuuuuuu tttt によってキャンセルされました

[説明]	<p>ユーザーセッションが、SYSTP のシステム管理者機能または CICS ノードエラープログラム (NEP) 処理により、キャンセルされました。</p> <p>uuuuuuuu - システム管理者のユーザー ID (*USER)</p> <p>tttt - システム管理者の端末 ID (*INIT-ID)</p>
[対処]	システム管理者に連絡してください。

NT04 - 端末 ID 出口で中止されました xxxxxxxx

[説明]	セッションの初期化時または再開時に、Natural CICS インターフェイス端末 ID 出口 NCITIDEX が、リターンコード xxxxxxxx でセッションを中止しました。
[対処]	端末 ID 出口内で中止の理由をチェックします。

NT05 - 外部 CALLNAT インターフェイスレベルの失敗

[説明]	端末 I/O で、Natural CICS インターフェイスが、現在の CICS リンクレベルと Natural 外部 CALLNAT インターフェイスレベルとの間の矛盾を検知しました。セッションはキャンセルされます。
[対処]	ダンプを出力して、Software AG サポートに連絡してください。

NT06 - 端末なしで SEND が試行されました

[説明]	メッセージのとおりです。
[対処]	*DEVICE=ASYNCR の場合、Natural では、セッションパラメータ SENDER が指定されていない限り、画面 I/O (DISPLAY、WRITE、など) を発行してはいけません。SENDER パラメータでセッションを再開し、端末出力を取得するか、ダンプをチェックします。

NT07 - タスク終了時のエラー：FC=ffff、RSP=ccc、RSP2=rrr、eeeeeeee

[説明]	<p>セッションの中断またはセッション終了時に、EXEC CICS RETURN コマンドが失敗しました。</p> <p><i>ffff</i> - エラーが発生した EXEC CICS コマンド (EIB フィールド EIBFN)</p> <p><i>ccc</i> - EXEC CICS コマンドレスポンスコード (EIB フィールド EIBRESP)</p> <p><i>rrr</i> - EXEC CICS コマンド理由コード (EIB フィールド EIBRESP2)</p> <p><i>eeeeeeee</i> - CICS エラー条件</p>
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NT08 - 端末 WRITE エラー FC=ffff、RSP=ccc、RSP2=rrr、eeeeeeee

[説明]	<p>EXEC CICS SEND コマンドが失敗しました。</p> <p><i>ffff</i> - エラーが発生した EXEC CICS コマンド (EIB フィールド EIBFN)</p> <p><i>ccc</i> - EXEC CICS コマンドレスポンスコード (EIB フィールド EIBRESP)</p> <p><i>rrr</i> - EXEC CICS コマンド理由コード (EIB フィールド EIBRESP2)</p> <p><i>eeeeeeee</i> - CICS エラー条件</p>
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NT09 - 端末 READ エラー FC=ffff、RSP=ccc、RSP2=rrr、eeeeeeee

[説明]	<p>EXEC CICS RECEIVE コマンドが失敗しました。</p> <p><i>ffff</i> - エラーが発生した EXEC CICS コマンド (EIB フィールド EIBFN)</p> <p><i>ccc</i> - EXEC CICS コマンドレスポンスコード (EIB フィールド EIBRESP)</p> <p><i>rrr</i> - EXEC CICS コマンド理由コード (EIB フィールド EIBRESP2)</p> <p><i>eeeeeeee</i> - CICS エラー条件</p>
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NT10 - メッセージ切り替えエラー：FC=ffff、RSP=ccc、RSP2=rrr、eeeeeeee

[説明]	<p>Natural CICS インターフェイスメッセージの切り替えトランザクションの EXEC CICS SEND 要求が失敗しました。</p> <p><i>ffff</i> - エラーが発生した EXEC CICS コマンド (EIB フィールド EIBFN)</p> <p><i>ccc</i> - EXEC CICS コマンドレスポンスコード (EIB フィールド EIBRESP)</p> <p><i>rrr</i> - EXEC CICS コマンド理由コード (EIB フィールド EIBRESP2)</p> <p><i>eeeeeeee</i> - CICS エラー条件</p>
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NT11 - ASYNCH SEND 失敗 : FC=ffff、RSP=ccc、RSP2=rrr、eeeeeeee

[説明]	<p>非同期 Natural セッションが、メッセージを SENDER/OUTDEST セッションパラメータで指定された機能（端末/出力先）にルーティングすることができませんでした。</p> <p><i>ffff</i> - エラーが発生した EXEC CICS コマンド（EIB フィールド EIBFN）</p> <p><i>ccc</i> - EXEC CICS コマンドレスポンスコード（EIB フィールド EIBRESP）</p> <p><i>rrr</i> - EXEC CICS コマンド理由コード（EIB フィールド EIBRESP2）</p> <p><i>eeeeeeee</i> - CICS エラー条件</p>
[対処]	エラーが発生した CICS コマンドおよびレスポンスコードをチェックします。

NT12 - ASYNC START 失敗 : FC=ffff、RSP=ccc、RSP2=rrr、eeeeeeee

[説明]	<p>擬似会話型非同期 Natural セッションが、継続タスクを開始できませんでした。</p> <p><i>ffff</i> - エラーが発生した EXEC CICS コマンド（EIB フィールド EIBFN）</p> <p><i>ccc</i> - EXEC CICS コマンドレスポンスコード（EIB フィールド EIBRESP）</p> <p><i>rrr</i> - EXEC CICS コマンド理由コード（EIB フィールド EIBRESP2）</p> <p><i>eeeeeeee</i> - CICS エラー条件</p>
[対処]	エラーが発生した CICS コマンドおよびレスポンスコードをチェックします。

NT13 - COMMAREA WRITE エラー : FC=ffff、RSP=ccc、RSP2=rrr、eeeeeeee

[説明]	<p>Natural セッションはセッション再スタートデータを CICS の一時ストレージに書き込むことができませんでした。</p> <p><i>ffff</i> - エラーが発生した EXEC CICS コマンド（EIB フィールド EIBFN）</p> <p><i>ccc</i> - EXEC CICS コマンドレスポンスコード（EIB フィールド EIBRESP）</p> <p><i>rrr</i> - EXEC CICS コマンド理由コード（EIB フィールド EIBRESP2）</p> <p><i>eeeeeeee</i> - CICS エラー条件</p>
[対処]	エラーが発生した CICS コマンドおよびレスポンスコードをチェックします。

NT89 - xxxxxxxx、矛盾する CICS バージョン：**MACLIB=xxxx SYSTEM=yyyy**

[説明]	指定されたモジュールが、現在アクティブなバージョン (yyyy) とは異なる、CICSバージョン xxxxのマクロでアセンブルされています。
[対処]	NCISTART を適切な CICS マクロライブラリでアセンブルします。

NT90 - xxxxxxxx、バックエンドプログラム/トランザクションが見当たりません (eeeeeeee)

[説明]	セッションパラメータ PROGRAMまたは CALLNAT 'CMPGMSET' のフロントエンドプログラムで指定された、バックエンドプログラムまたはトランザクションが存在しません。バックエンドトランザクションには、バックエンド "プログラム" 名 STR=xxxx または RET=xxxx が含まれます。 eeeeeeee - CICS エラー条件
[対処]	プログラムまたはトランザクション名およびその CICS プログラムおよびトランザクション定義をそれぞれチェックします。

NT91 - xxxxxxxx、ADABAS リンケージルーチンが見当たらないか無効です (eeeeeeee)

[説明]	a) 指定されたモジュールの CICS LINK/LOAD 要求が失敗しました。 eeeeeeee - CICS エラー条件 b) 要求されたモジュールは、有効な CICS コマンドレベルプログラムではありません。
[対処]	a) Natural プロファイルパラメータ ADANAME (Natural の『パラメータリファレンス』ドキュメントを参照) が、適切な Adabas リンケージプログラムを指定しているか、CICS で定義されているか、および、CICS で利用可能なライブラリでリンクされているかをチェックします。 b) Natural プロファイルパラメータ ADANAME で指定されたモジュールが Adabas コマンドレベルバージョンであるか、および、適切にリンクされているかをチェックします。

NT92 - xxxxxxxx、Natural ニュークリアスモジュールが見当たらないか無効です (eeeeeeee)

[説明]	<p>xxxxxxx = NATPARM の場合：</p> <p>a) NATPARM が、xxxxxxx = NATSTUB の CICS インターフェイスにリンクされていません。</p> <p>b) Natural ニュークリアスは CICS インターフェイスにリンクされていますが、NATSTUB は CICS インターフェイスにリンクされていません。</p> <p>c) NATSTUB は、CICS インターフェイスにリンクされていない共有 Natural ニュークリアスのエントリポイントではありません。</p> <p>それ以外の場合：</p> <p>d) 共有 Natural ニュークリアスモジュールをロードできません。 xxxxxxx.eeeeeee - CICS エラー条件。</p>
[対処]	<p>a) Natural パラメータモジュールを CICS インターフェイスにリンクします。</p> <p>b) モジュール NATSTUB を CICS インターフェイスにリンクします。</p> <p>c) 共有 Natural をリンクするエントリポイント CMSTUB を指定するか、NUCNAME セッションパラメータで適切なモジュールを指定します。</p> <p>d) セッションパラメータ NUCNAME が CICS プログラム定義と一致しているか、および、共有 Natural ニュークリアスが適切にリンクされているかをチェックします。</p> <p>z/OS の場合のみ：共有 Natural ニュークリアスを LPA/ELPA にロードする必要がある場合、CICSSIT または起動パラメータで LPA=YES が指定されているかをチェックします。</p>

NT93 - xxxxxxxx、Natural ドライバモジュールが見当たらないか無効です

[説明]	<p>指定されたモジュールがリンクされていないか無効です。または、CICS インターフェイスと同じシステムメンテナンス (SM) レベルを持っていません。</p>
[対処]	<p>適切なモジュールを CICS インターフェイスにリンクします。</p>

NT94 - xxxxxxxx、必須モジュールにアクセスできません

[説明]	<p>Natural CICS インターフェイスが、次の理由で、指定されたモジュールにアクセスできません。</p> <p>a) このモジュールは "境界の上" にありますが、NCISTART は 24 ビットモードで実行されます (共有 Natural ニュークリアスなど)。</p> <p>b) モジュールを変更できません。</p>
[対処]	<p>a) Natural CICS インターフェイスおよび指定されたモジュールを、一貫した AMODE/RMODE でリンクします。</p> <p>b) CICS プログラム定義で、指定されたモジュールを NORENT オプションとリンクし、EXECKEY=USER で定義します (CICS トランザクションサーバー)。</p>

NT95 - TRANSACTION xxxx、TWA サイズが小さすぎます

[説明]	<p>Natural 用のトランザクションワークエリアのサイズが小さすぎます。128 バイト以上である必要があります。</p>
[対処]	<p>トランザクション xxxx 用の CICS トランザクション定義エントリで、TWSIZE パラメータを修正します。</p>

NT96 - Natural トランザクション xxxx が見当たらないか無効です

[説明]	<p>フロントエンドパラメータリストで指定された Natural 擬似会話型再スタートトランザクション ID が存在しません。</p>
[対処]	<p>トランザクションコードおよびその CICS トランザクション定義エントリをチェックします。</p>

NT97 - NATURAL がリセットされました。再スタートしてください

[説明]	<p>CICS 環境下の Natural のシステムディレクトリモジュールの新しいコピーがロードされています。既存のセッションは存続できません。</p>
[対処]	<p>セッションは終了しました。</p>

NT98 - セッションが終了しました、xxxx アベンドが発生しました

[説明]	<p>アベンド xxxx が発生し、Natural は続行できません。</p>
[対処]	<p>セッションがダンプ付きで終了されます。</p>

NT99 - セッションが終了しました、回復不可能なアベンド xxxx/yyyy

〔説明〕	アベンド yyyy. を処理中に、2 番目のアベンド xxxx が発生しました。
〔対処〕	セッションがダンプ付きで終了されます。パラメータ DU=ON を指定して、問題を再現し、最初のアベンドのダンプを取得します。

CICS 環境下の Natural の情報メッセージ

CICS 環境下の Natural の情報メッセージは、NCI 環境起動メッセージと、終了メッセージや WTL により発行されるメッセージなどのその他のメッセージで構成されます。

NCI0000	不明なメッセージ NCInnnn
NCI0001	NciPfx Natural/CICS インターフェイスバージョン nnn Lvl nnn
NCI0002	NciPfx Natural システムをインストール中
NCI0003	NciPfx Natural システムが正しく開始されました
NCI0004	NciPfx Natural システムリセット
NCI0005	NciPfx 古い Natural システムをアンインストール中
NCI0006	NciPfx NCIPARM 生成パラメータが修正されました
NCI0007	NciPfx NCI システムディレクトリ dir-name が address にあります
NCI0008	NciPfx NCI システムディレクトリエクステンションが address にあります
NCI0009	NciPfx NCI ディレクトリエクステンションが address でリリースされました
NCI0010	grp-name、スレッドグループをインストール中、スレッドサイズ = nnnnn
NCI0011	grp-name、スレッドグループを終了中、スレッドサイズ = nnnnn
NCI0012	grp-name、スレッドグループ (type) が利用可能です：スレッド = nnn
NCI0013	grp-name、利用可能なスレッドがないため、スレッドグループ (type) が終了しました
NCI0015	grp-name、スレッドが address でリリースされました
NCI0016	thd-name、スレッドが address に割り当てられました
NCI0017	thd-name、スレッド割り当ての失敗：failure
NCI0020	NciPfx VSAM ロールファイルの最大スレッドサイズ：nnnnn
NCI0040	NciPfx NCI ダイナミックパラメータを dest-id からロード中
NCI0041	NciPfx NCI 共通ダイナミックパラメータを削除中
NCI0042	NciPfx NCI 共通ダイナミックパラメータを address で削除しました
NCI0043	NciPfx NCI 共通ダイナミックパラメータを address でロードしました
NCI0044	NciPfx NCI ダイナミックパラメータのロードの失敗 failure
NCI0050	NciPfx type プールをインストール中、サイズ = nnnnnnn Pool-name
NCI0051	NciPfx type プールキャッシュを作成中、サイズ = nnnnnnn

NCI0052	<i>NciPfx type</i> プールキャッシュを削除中、サイズ = <i>nnnnnnnn</i>
NCI0053	<i>NciPfx type</i> プールを <i>address</i> に割り当てました、サイズ = <i>nnnnnnnn</i>
NCI0054	<i>NciPfx type</i> プールを <i>address</i> でリリースしました、サイズ = <i>nnnnnnnn</i>
NCI0055	<i>NciPfx type</i> プール GETMAIN 失敗: <i>failure</i>
NCI0056	<i>NciPfx type</i> プールキャッシュが作成されました ALET = <i>xxxxxxx</i>
NCI0056	<i>NciPfx type</i> プールキャッシュが作成されました 64-bit <i>address</i>
NCI0057	<i>NciPfx type</i> プールキャッシュが削除されました ALET = <i>xxxxxxx</i>
NCI0057	<i>NciPfx type</i> プールキャッシュが削除されました 64-bit <i>address</i>
NCI0058	<i>NciPfx type</i> プールキャッシュ作成の失敗: <i>failure</i>
NCI0059	<i>NciPfx type</i> プールキャッシュ削除の失敗: <i>failure</i>
NCI0060	<i>NciPfx</i> スワッププールが正常に初期化されました <i>pool-name</i>
NCI0100	メッセージが CMWTL によって生成されました
NCI0110	メッセージが CMTRACE によって生成されました
NCI0200	Natural 終了メッセージ
NCI0210	z/VSE がデバッグメッセージを送信します
NCI0300	<i>server-id</i> : マスタセッションがインストールされました
NCI0301	<i>server-id</i> : マスタセッションのインストールが失敗しました
NCI0302	<i>server-id</i> : サーバー環境が終了しました

NCISCPRI 警告およびエラーメッセージ

次のメッセージが、Natural 用の VSAM ロールファイルの初期化中に出力される場合があります。Natural の『インストール』ドキュメントの「Natural CICS インターフェイスのインストール手順」の対応する手順も参照してください。

mmmmmmm 要求がオフセット *xxxxx* で失敗しました、RTC=*rrrr*、ERROR=*eeee*、FTNCD=*ffff*
(E)

VSAM マクロ要求が失敗しました。*mmmmmmm* はエラーが発生したマクロです。*xxxxx* は NCISCPRI 内のマクロ要求のオフセットです。*rrrr*、*eeee* および *ffff* は VSAM マクロ要求のリターン、フィールドバックおよびファンクションコードです。

レコードサイズが最適な **CI-SIZE** から 7 を引いた値を下回っています (W)

(非ブロック) VSAM ファイルの場合、最大可能レコードサイズはコントロールインターバルのサイズから 7 を引いた値です。レコードサイズがこの値を下回る場合、ディスクスペースが無駄になっており、追加のロール I/O が生じる場合があります。

アクセスしたファイルは **RRDS** ファイルではありません (E)

初期化する VSAM ファイルは、RRDS ではなく、KSDS か ESDS ファイルです。VSAM RRDS ファイルのみが Natural 用の VSAM ロールファイルとしてサポートされます。

レコードサイズが許可される最小の **4089** を下回っています (E)

Natural CICS インターフェイスによりサポートされる最小 VSAM コントロールインターバルのサイズは 4096 で、CICS 環境下の Natural によりサポートされる最小のレコードサイズは対応する最適レコードサイズです。

パラメータ入力は現在使用されていないため、無視されました (W)

NCISCPRI は、JCL ストリームでパラメータ入力を必要としません。しかし、利用可能な場合は取得されます (エンドオブデータまで)。メッセージは、NULL ファイルに発行されません。

143

IMS/TM 環境下の Natural のエラーコード

■ 3500	1010
■ 3501	1010
■ 3502	1010
■ 3503	1011
■ 3505	1011
■ 3506	1011
■ 3507	1011
■ 3508	1012
■ 3509	1012
■ 3510	1012
■ 3511	1012
■ 3513	1013
■ 3515	1013
■ 3517	1013
■ 3518	1013
■ 3519	1014
■ 3520	1014
■ 3521	1014
■ 3522	1014
■ 3523	1015
■ 3524	1015
■ 3525	1015
■ 3527	1015
■ 3530	1016
■ 3531	1016
■ 3600	1016
■ 3601	1017
■ 3602	1017
■ 3604	1017
■ 3605	1018
■ 3607	1018
■ 3611	1018

■ 3612	1019
■ 3613	1019
■ 3614	1019
■ 3620	1019
■ 3621	1020
■ 3623	1020
■ 3624	1020
■ 3626	1020
■ 3627	1021
■ 3628	1021
■ 3629	1021
■ 3630	1022
■ 3631	1022
■ 3632	1022
■ 3633	1022
■ 3634	1023
■ 3635	1023
■ 3636	1023
■ 3640	1024
■ 3641	1024
■ 3642	1024
■ 3650	1024
■ 3651	1025
■ 3652	1025
■ 3661	1025
■ 3662	1025
■ 3663	1026
■ 3664	1026
■ 3665	1026
■ 3666	1026
■ 3668	1027
■ 3669	1027
■ 3670	1027
■ 3671	1027
■ 3672	1028
■ 3673	1028
■ 3680	1028
■ 3682	1028
■ 3683	1029
■ 3684	1029
■ 3685	1029
■ 3686	1030
■ 3690	1030
■ 3692	1030
■ 3800	1031

■ 3801	1031
■ 3802	1031
■ 3803	1031
■ 3804	1032
■ 3805	1032
■ 3810	1032
■ 3811	1033
■ 3812	1033
■ 3813	1033
■ 3814	1033
■ 3815	1034
■ 3816	1034
■ 3820	1034
■ 3821	1034
■ 3822	1035
■ 3823	1035
■ 3830	1035
■ 3831	1036
■ 3832	1036
■ 3950	1036
■ 3951	1036
■ 3960	1037
■ 3961	1037
■ 3962	1037
■ 3963	1037
■ 3970	1038
■ 3971	1038
■ 4093	1038

このセクションでは、NaturalIMS インターフェイス (NII) により発行される場合があるエラーコードおよびメッセージについて説明します。

エラーテキストは、タイプが "アベンド" および "ダンプ付きアベンド" で、サーバー環境にないエラーには発行されません。サーバー環境が使用される場合、エラーコードがレジスタ 15 の呼び出し元に返されます。

3500

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	CONV/NONC/NTRD ドライバ
理由	BMP リージョンで CONV、NONC または NTRD タイプのドライバを実行することが許可されていません。
対処	インストールをチェックします。

3501

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	BMP ドライバ
理由	MPP リージョンで BMP タイプのドライバを実行することが許可されていません。
対処	インストールをチェックします。

3502

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIIMPP
理由	メッセージキューに対する GU が失敗しました。
対処	レジスタ 15 に含まれているステータスコードをチェックします。

3503

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	すべてのドライバ
理由	Natural IMS インターフェイスモジュールをロードすることができません。
対処	ドライバの NIINAME パラメータかリージョンの STEPLIB 連結または両方を確認します。

3505

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	すべてのドライバ。
理由	トランザクションコードテーブル内のエントリが見つかりませんでした。
対処	トランザクションコードテーブルを確認します。

3506

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	すべてのドライバ。
理由	NII パラメータモジュール内のエントリが見つかりませんでした。
対処	トランザクションコードテーブルか環境テーブルまたは両方を確認します。

3507

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIMPP
理由	メッセージキューに対する GN が失敗しました。
対処	メッセージに含まれているステータスコードを確認します。

3508

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIMPP
理由	受け取った入力メッセージは、入力メッセージバッファを超えています。
対処	環境テーブルの入力メッセージバッファのサイズを増やします。

3509

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIINITS
理由	セッション開始出口 NIIXSSTA が、Natural セッションの異常終了を要求しました。
対処	メッセージに含まれているリターンコードを確認します。

3510

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIIMPP
理由	終了メッセージの ISRT が失敗しました。
対処	レジスタ 15 に含まれているステータスコードをチェックします。

3511

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIIMPP
理由	SPA の ISRT が失敗しました。
対処	レジスタ 15 に含まれているステータスコードをチェックします。

3513

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	すべてのドライバ
理由	作業エリア用のストレージ、バッファまたは Natural スレッドを取得することができませんでした。
対処	レジスタ 15 に含まれている理由コードを確認するか、リージョンのサイズを増やします。またはこの両方を行います。

3515

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIBTCH、BMP ドライバ
理由	オープンに失敗しました。
対処	メッセージに含まれている DD 名用の BMP JCL をチェックします。

3517

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIOLDSN
理由	セッション再開出口 NIIXSTAR が、Natural セッションの異常終了を要求しました。
対処	メッセージに含まれているリターンコードを確認します。

3518

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIISRTQ
理由	Natural プロファイルパラメータ SENDER で指定された、プリンタ出力先の CHNG 呼び出しに失敗しました。
対処	レジスタ 15 に含まれているステータスコードをチェックします。無効なプリンタ出力先が指定された可能性があります。

3519

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIISRTQ
理由	割り当てられたプリンタ出力先への ISRT 呼び出しに失敗しました。
対処	レジスタ 15 に含まれているステータスコードをチェックします。

3520

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIISRTQ
理由	割り当てられたプリンタ出力先の PURG 呼び出しに失敗しました。
対処	レジスタ 15 に含まれているステータスコードをチェックします。

3521

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	BMP ドライバ
理由	Natural が無効なリターンコードで終了したか、NII エラーが発生しアベンドを要求しました。
対処	Natural エラーによってアベンドが発生した場合、CMPRINT にエラーメッセージが含まれます。IMS 環境下の Natural のエラーによってアベンドが発生した場合、以前にエラーメッセージ付きで WTO が発行されています。

3522

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIMPP
理由	この SPA は、SPA バッファに指定されたサイズを超えています。
対処	環境テーブルをチェックします。

3523

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIBTCH
理由	バックエンドプログラムエリアのストレージを割り当てることができませんでした。
対処	TERMINATE ステートメントをチェックするか、BMP リージョンのサイズを増やします。またはこの両方を行います。

3524

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIBTCH
理由	バックエンドプログラムをロードできませんでした。
対処	メッセージに含まれるバックエンドプログラム名かリージョンの STEPLIB 連結または両方をチェックします。

3525

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIIDRIV
理由	セーブエリアスタックはすべて使用されています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

3527

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIMPP
理由	RELO=FORCE が指定されましたが、新しいスレッド用のメモリが不足しています。最初に割り当てられたスレッドが、端末 I/O の前に使用したスレッドと同じストレージ位置にある場合、RELO=FORCE は 2 番目のスレッド用にストレージを割り当てます。
対処	リージョンのサイズを増やします。

3530

タイプ	アベンド
発行元モジュール	NIIBOOTS、CONV/NONC ドライバ
理由	名前／トークンのペアを得ることができません。
対処	レジスタ 15に含まれているリターンコードかリージョンの STEPLIB 連結または両方をチェックします。

3531

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIBOOTS
理由	ドライバをロードできません。
対処	レジスタ 15に含まれているリターンコードかリージョンの STEPLIB 連結または両方をチェックします。

3600

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIVTRTA
理由	トランザクションタイプがドライバタイプと一致しません。例えば、トランザクションコードテーブルでトランザクションコード会話型が指定されたが、ドライバタイプは非会話型である場合や、その逆の場合などがあります。
対処	トランザクションコードテーブルをチェックします。

3601

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIVTRTA
理由	SPA が小さすぎます。SPA は最低 157 バイトと、トランザクションテーブルで定義された Natural Reserved Area のオフセットの合計である必要があります。
対処	トランザクションコードテーブルを確認するか、SPA サイズを増やします。またはこの両方を行います。

3602

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIVTRTA
理由	IOPCB が PSB 内の唯一の PCB です。少なくとも他の 1 つの PCB が必要です。
対処	PSB をチェックします。

3604

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIVTRTA
理由	十分な代替 TP PCB がありません。PSB に、追加のワーク PCB としてトランザクションコードテーブルで指定された数の、代替の修正可能な TP PCB が含まれていません。
対処	トランザクションコードテーブルか PSB または両方をチェックします。

3605

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIVTRTA
理由	メッセージ PCB は修正可能な代替 TP PCB ではありません。トランザクションコードテーブルで別のメッセージ PCB が指定されましたが、PSB には十分な数の修正可能な代替 TP PCB が含まれていません。
対処	トランザクションコードテーブルか PSB または両方をチェックします。

3607

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIVTRTA
理由	論理 PCB 名に指定された PCB 番号が、PCB の最大数を超過しています。
対処	トランザクションコードテーブル、またはメッセージに含まれる PCB 名の PSB をチェックします。

3611

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIINITS
理由	ユーザー出口 NIIXRFNU が返したロールファイル番号が、1 から環境テーブルで定義されている使用可能なロールファイルの総数の範囲にありません。つまり、使用できるロールファイルの総数を超過しています。
対処	ユーザー出口を修正します。

3612

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIDRIV
理由	ロールサーバー ALLOC 要求が失敗しました。メッセージにリターンコード/理由コードが含まれています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

3613

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIDRIV
理由	ロールファイルがいっぱいなため、ロールサーバー ALLOC 要求が失敗しました。
対処	ロールファイルのサイズを増やすか、ロールファイルの数を増やします。

3614

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIDRIV、NIIOLDSN、NIIENDSN、NIIWTERM
理由	ロールサーバーがアクティブではありません。
対処	ロールサーバーステータスをチェックして、ロールサーバーを再起動します。

3620

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIOLDSN
理由	アドレスの再配置中にエラーが発生しました。メッセージに NATRELD リターンコードが含まれています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

3621

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIOLDSN
理由	Natural セッションの開始以降に IPL が発生し、TERMIPL=YES が環境テーブルで指定されています。
対処	セッションを再スタートします。

3623

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIOLDSN
理由	Natural セッションの開始以降、別の Natural 製品バージョンが、Natural システム管理者によってインストールされています。アクティブな Natural セッションがすべて終了されます。
対処	セッションを再スタートします。

3624

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIOLDSN
理由	誤ったユーザーズレッドがロールインされました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

3626

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIOLDSN
理由	Natural セッションの開始以降、ロールサーバーによって使用されるロールファイルが、Natural システム管理者によって再フォーマットされています。アクティブな Natural セッションがすべて失われます。
対処	セッションを再スタートします。

3627

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIOLDSN
理由	ロールサーバー READ 要求が失敗しました。メッセージにリターンコード/理由コードが含まれています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

3628

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIDRIV、NIIOLDSN、NIIENDSN、NIIWTERM
理由	<p>Natural システム管理者が、SYSTP ユーティリティまたはアプリケーションプログラミングインターフェイス USR3002N を使用して、ロールサーバーから Natural セッションを削除しました。</p> <p>このエラーは次の場合にも発生する可能性があります。</p> <p>Natural セッションは（使用できないリソースのため）IMS/TM によって中断されており、同じ LTERM で新しい Natural セッションが開始されました。中断された Natural セッションが、IMS/TM によって後で再スケジュールされる場合、中断された Natural セッションはエラー付きでキャンセルされます。</p>
対処	セッションを再スタートします。

3629

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIOLDSN
理由	IMS/TM LTERM に現在ログオンしている IMS/TM ユーザーは、この LTERM で IMS/TM 会話を開始したユーザーとは異なります。セキュリティの理由から、IMS/TM 会話（および対応する Natural セッション）を終了します。
対処	セッションを再スタートします。

3630

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIMSESS
理由	トランザクションコードテーブルで指定された MSPCB は、複数セッションデータベースに対応しません。
対処	トランザクションコードテーブルか PSB または両方をチェックします。

3631

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIMSESS
理由	複数セッションデータベースへのアクセスが失敗しました。
対処	メッセージに含まれているステータスコードを確認します。

3632

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIMSESS
理由	再開するためのトランザクションコード用のエントリが、トランザクションコードテーブルで見つかりません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

3633

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIMSESS
理由	SPA またはメッセージの ISRT 呼び出しが失敗しました。
対処	メッセージに含まれているステータスコードを確認します。

3634

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIMSESS
理由	再開するトランザクションコード用の CHNG 呼び出しが失敗しました。
対処	メッセージに含まれるステータスコードを確認し、Software AG サポートに連絡してください。

3635

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIMSESS
理由	端末名に正しくない文字があるため、複数セッションの接頭辞を構成できませんでした。ダンプのエラーレジスタのレジスタ 2 が正しくない文字をポイントしています。
対処	端末名をチェックするか、NIIXMSSP 出口を使用します。またはこの両方を行います。

3636

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIMSESS
理由	NIIXMSSP 出口から無効なリターンコードを受け取りました。ダンプのエラーレジスタのレジスタ 2 にリターンコードが含まれます。
対処	出口をチェックします。

3640

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIPFAM
理由	CHNG 呼び出しの予期しないステータスコード。
対処	メッセージに含まれるステータスコードを確認し、Software AG サポートに連絡してください。

3641

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIPFAM
理由	ISRT 呼び出しの予期しないステータスコード。
対処	メッセージに含まれるステータスコードを確認し、Software AG サポートに連絡してください。

3642

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIPFAM
理由	PURG 呼び出しの予期しないステータスコード。
対処	メッセージに含まれるステータスコードを確認し、Software AG サポートに連絡してください。

3650

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIICDBPC
理由	データベースが使用できず、TERMDB=YES が環境テーブルで指定されています。
対処	データベースを起動します。

3651

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIICDBPC
理由	PCB の PROCOPT オプションが更新に設定されていますが、データベースが更新に使用できず、TERMDB=YES が環境テーブルで指定されています。
対処	データベースをチェックします。

3652

タイプ	アベンド
発行元モジュール	NIINQYE
理由	INQY ENVIRON 呼び出しに失敗しました。レジスタ 15 に、バイト単位 0 および 1 のリターンコードと、バイト単位 2 および 3 の理由コードが含まれています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

3661

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIWTERM
理由	プログラムのリリース中にエラーが発生しました。メッセージに NATRELSE リターンコードが含まれています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

3662

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIWTERM
理由	SPA 用の代替 PCB への ISRT 呼び出しが失敗しました。
対処	メッセージに含まれているステータスコードを確認します。

3663

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIWTERM
理由	メッセージ用の代替 PCB への ISRT 呼び出しが失敗しました。
対処	メッセージに含まれているステータスコードを確認します。

3664

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIIWTERM
理由	SPA 用の ISRT 呼び出しに失敗しました。
対処	レジスタ 15 に含まれるステータスコードをチェックします。

3665

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIIWTERM
理由	メッセージ用の ISRT 呼び出しに失敗しました。
対処	レジスタ 15 に含まれるステータスコードをチェックします。

3666

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIWTERM
理由	現在の圧縮スレッドサイズが、ロールファイル用に定義された最大スロットサイズを超えています。メッセージに、ロールファイルに必要なバイト単位のスロットサイズが含まれています。 注：このメッセージは、ロールファイルが使用されている場合のみ、つまり、NIMPARM パラメータ ROLLSRV=NO が設定されている場合に表示されます。
対処	ロールファイルのスロットサイズを増やします。

3668

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIWTERM
理由	ロールサーバー WRITE 要求が失敗しました。メッセージにリターンコード/理由コードが含まれています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

3669

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIWTERM
理由	Natural トランザクションコードを使用して、Natural 以外のセッションに切り替えようとした。
対処	アプリケーションを修正します。

3670

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIWTERM
理由	非会話型トランザクションコードから会話型へ直接切り替えることはできません。
対処	アプリケーションを修正します。

3671

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIWTERM
理由	トランザクションを切り替えるための CHNG 呼び出しに失敗しました。メッセージに、トランザクションコードおよびステータスコードの最初の 5 バイトが含まれています。
対処	ステータスコードを確認するか、アプリケーションを修正します。またはこの両方を行います。

3672

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIWTERM
理由	存在しないトランザクションコードへ直接切り替えを行っています。
対処	トランザクションコードまたは IMSGEN をチェックします。

3673

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIIWTERM
理由	存在しないトランザクションコードへ遅延切り替えを行っています。
対処	トランザクションコードまたは IMSGEN をチェックします。

3680

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIISIPSS
理由	SPATID 用のサブシステムエントリが見つかりませんでした。メッセージに、環境テーブルで指定されたサブシステム ID が含まれています。
対処	環境テーブルでサブシステムをチェックするか、認可サービスマネージャが起動されていることを確認します。またはこの両方を行います。

3682

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIISIPSS
理由	セッション情報プール (SIP) がいっぱいです。
対処	SIP スロットの数を増やして、認可サービスマネージャを再スタートします。詳細については、Natural for Mainframes の『オペレーション』ドキュメントの「認可サービスマネージャ」を参照してください。

3683

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIISIPSS
理由	認可サービスマネージャがアクティブではありません。 端末指向の非会話型環境が使用されている場合、認可サービスマネージャをアクティブにする必要があります。
対処	認可サービスマネージャを起動します。 詳細については、Natural for Mainframes の『オペレーション』ドキュメントの「認可サービスマネージャ」を参照してください。

3684

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIISIPSS
理由	認可サービスマネージャの SIP 機能が無効になっています。 端末指向の非会話型環境が使用されている場合、SIP 機能をアクティブにする必要があります。
対処	Natural for Mainframes の『オペレーション』ドキュメントの「認可サービスマネージャ」の手順に従って、SIP 機能を有効にして、認可サービスマネージャを起動します。

3685

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIISIPSS
理由	認可サービスマネージャの SIP 機能が失敗しました。 メッセージにリターンコードおよび理由コードが含まれています。
対処	リターン／理由コードの詳細については、Natural for Mainframes の『オペレーション』ドキュメントの「認可サービスマネージャ」を参照してください。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

3686

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIISIPSS
理由	SPA バッファのサイズが SIP スロットのサイズを超えています。
対処	Natural for Mainframes の『オペレーション』ドキュメントの「認可サービスマネージャ」の説明に従って SIP スロットのサイズを増やします。

3690

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIDRIV、NIIOLDSN、NIISIPSM
理由	サブシステムエントリが見つかりませんでした。メッセージに、Natural プロファイルパラメータ SUBSID で指定されたサブシステム ID が含まれています。
対処	NATPARM のサブシステムをチェックするか、ロールサーバーまたは認可サービスマネージャ（モニタが使用されている場合のみ）が起動されていることを確認します。またはこの両方を行います。

3692

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIENDSN
理由	ロールサーバー FREE 要求が失敗しました。メッセージにリターンコード／理由コードが含まれています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

3800

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIBDAMR
理由	ロールファイルの1つに DCB が割り当てられていません。メッセージに、ロールファイルの DD 名が含まれています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

3801

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIBDAMR
理由	ロールファイルの OPEN に失敗しました。
対処	メッセージに含まれている DD 名用のリージョン JCL をチェックします。

3802

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIBDAMR
理由	NIIBDAMR には無効なファンクションコードです。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

3803

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIBDAMR
理由	空いているスロットがロールファイルにありません。メッセージに、ロールファイルの DD 名が含まれています。
対処	ロールファイルのサイズを増やします。

3804

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIBDAMR
理由	Natural セッションの開始以降、ロールファイルが、Natural システム管理者によって再フォーマットされています。アクティブな Natural セッションがすべて失われます。
対処	セッションを再スタートします。

3805

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIBDAMR
理由	ロールファイルは、現在の Natural セッションによって使用されている Natural バージョンと互換性のない Natural バージョンでフォーマットされています。このエラーは通常、最新の Natural バージョンの Natural ロールファイル初期化モジュールでロールファイルがフォーマットされていることを示します。
対処	適切な Natural バージョンの Natural ロールファイル初期化モジュールで、ロールファイルを再フォーマットします。

3810

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIISEOS
理由	CHNG 呼び出しに失敗しました。
対処	メッセージに含まれているステータスコードを確認します。

3811

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIISEOS
理由	非会話型の Natural セッションから会話型へ切り替えようとした。
対処	アプリケーションをチェックします。

3812

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIISEOS
理由	代替 PCB へのメッセージの ISRT 呼び出しが失敗しました。
対処	メッセージに含まれているステータスコードを確認します。

3813

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIISEOS
理由	代替 PCB への SPA 用の ISRT 呼び出しが失敗しました。
対処	メッセージに含まれているステータスコードを確認します。

3814

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIISEOS
理由	ダミーメッセージ用の ISRT 呼び出しに失敗しました。
対処	メッセージに含まれているステータスコードを確認します。

3815

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIISEOS
理由	IOPCB への SPA 用の ISRT 呼び出しが失敗しました。
対処	レジスタ 15 に含まれているステータスコードをチェックします。

3816

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIISEOS
理由	存在していないトランザクションコードに切り替えようとしてしました。
対処	トランザクションコードまたは IMSGEN をチェックします。

3820

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIISIPSM
理由	認可サービスマネージャがアクティブではありません。モニタリング機能を使用している場合、認可サービスマネージャをアクティブにする必要があります。
対処	Natural for Mainframes の『オペレーション』ドキュメントの「認可サービスマネージャ」の説明に従って、認可サービスマネージャを起動します。

3821

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIISIPSM
理由	認可サービスマネージャの SIP 機能が無効になっています。モニタリング機能を使用している場合、SIP 機能をアクティブにする必要があります。
対処	Natural for Mainframes の『オペレーション』ドキュメントの「認可サービスマネージャ」の手順に従って、SIP 機能を有効にして、認可サービスマネージャを起動します。

3822

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIISIPSM
理由	認可サービスマネージャのSIP機能から、予期しないリターンコードを受け取りました。メッセージにリターンコードおよび理由コードが含まれています。
対処	リターンコードについては、Natural for Mainframesの『オペレーション』ドキュメントの「認可サービスマネージャ」を参照してください。必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

3823

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIISIPSM
理由	SIP サーバプールがいっぱいです。
対処	Natural for Mainframesの『オペレーション』ドキュメントの「認可サービスマネージャ」の説明に従って、認可サービスマネージャのSIPスロットの数を増やします。

3830

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIIACT
理由	アカウントングレコードを書き込むために /LOG コマンドを発行するときに、CMD コマンドが失敗しました。アカウントングに ACTLOG=LOG が設定されている場合、トランザクションコードで /LOG コマンドを使用することが認可されている必要があります。
対処	レジスタ 15 に含まれているステータスコードをチェックします。

3831

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIIACT
理由	アカウントレコードを書き込むときに /LOG コマンドが失敗しました。
対処	レジスタ 15 に含まれているステータスコードをチェックします。

3832

タイプ	ダンプ付きアベンド
発行元モジュール	NIIACT
理由	アカウントレコードを SMF に書き込むときに、認可サービスマネージャが失敗しました。
対処	レジスタ 15 に含まれているステータス/理由コードをチェックします。

3950

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIESTAE
理由	システムアベンドコードがインターセプトされました。
対処	ダンプを確認します。

3951

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIESTAE
理由	反復的なシステムアベンドコードがインターセプトされました。
対処	ダンプを確認します。

3960

タイプ	エラー
発行元モジュール	CMGETMSG、NIGETMSG
理由	検索されたメッセージが、入力メッセージバッファの指定されたサイズを超えています。
対処	入力メッセージバッファのサイズを増やします。

3961

タイプ	エラー
発行元モジュール	CMGETSEG、CMGSEGO
理由	受け取ったセグメントが、入力メッセージバッファに収まりません。
対処	入力メッセージバッファのサイズを増やします。

3962

タイプ	アベンド
発行元モジュール	CMSVC13D、NIIU3962
理由	Natural セッションが要求に応じて異常終了されました。
対処	アプリケーション開発者に連絡してください。

3963

タイプ	エラー
発行元モジュール	CMSTCKSY
理由	同期 STCK の値を取得することができませんでした。
対処	システム管理者に連絡してください。

3970

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIOLDSN
理由	COMPOSE が 端末 I/O を発行し、Natural ニュークリアスが移動されました。
対処	COMPOSE を使用するときは、Natural ニュークリアスは (E) LPA に入れるか、専用のリージョンを使用して Natural ニュークリアスをプリロードリストに入れます。

3971

タイプ	エラー
発行元モジュール	NIIOLDSN
理由	COMPOSE が 端末 I/O を発行し、Natural スレッドが移動されました。
対処	COMPOSE を使用するときは、専用のリージョンを使用して、RELO=FORCE を指定しないようにします。

4093

タイプ	ダンプ付きエラー
発行元モジュール	NIIERROR
理由	不明なエラーが発生しました。メッセージに元のエラー番号が含まれています。このエラーは、レポートされたエラー番号がエラーメッセージファイル NIIMSGT に含まれていない場合に、発生する場合があります。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

144

BS2000/OSD 環境下の Natural のバッチエラーメッ

セージ

■ NB20001 - Natural パラメータモジュールが見つかりません	1040
■ NB20002 - バッファプールマネージャの CMP の有効化におけるエラー	1040
■ NB20003 - バッファプールマネージャの CMP の要求におけるエラー	1040
■ NB20004 - リエントラント部分の CMP の有効化におけるエラー	1040
■ NB20005 - グローバルバッファプールの CMP の有効化におけるエラー	1041
■ NB20006 - Natural のリエントラント部分のロードにおけるエラー	1041
■ NB20007 - シリアライゼーション項目の有効化におけるエラー	1041
■ NB20008 - アクセス要求のエンキューにおけるエラー	1041
■ NB20009 - アクセス要求のキュー解除におけるエラー	1041
■ NB20010 - ADABAS コミュニケーションを確立できません	1042
■ NB20020 - サーバーエラーによりセッションが終了しました	1042
■ NB20022 - NAF CMP の初期化中のエラー	1042
■ NB20023 - NAF パラメータモジュールがリンクされていません	1042
■ NB20025 - モジュール NATINV が最初にニュークリアスにリンクされていません	1042
■ NB20026 - モジュール NATLAST がニュークリアスにリンクされていません	1043
■ NB20027 - 次のアドレスのリンクエラー：nnnnnnnn	1043
■ NB20030 - ダイナミックパラメータファイルの読み込み中のエラー	1043
■ NB20031 - ダイナミックパラメータファイルのオープン中のエラー	1043
■ NB20032 - Natural バッチドライバのリエントラント部分が見つかりません	1043
■ NB20040 - フロントエンドのリエントラント部分が異なるアドレスモードを示していま す	1044
■ NB20041 - モジュール NATINV の無効なバージョン	1044
■ NB20042 - マクロ BS2STUB の無効なバージョン	1044

このセクションでは、Natural BS2000/OSD バッチドライバにより発行される場合があるエラーメッセージについて説明します。

Natural システムメッセージとは異なり、これらのエラーメッセージの長い説明テキストは、このドキュメントだけで提供されます。オンラインでは提供されません。

NB20001 - Natural パラメータモジュールが見つかりません

[説明]	フロントエンドおよびリエントラント部分で Natural パラメータモジュールが見つかりません。
------	--

NB20002 - バッファプールマネージャの CMP の有効化におけるエラー

[説明]	Natural バッファプールのメモリプールを有効にするときにエラーが発生しました。リターンコードには、レジスタ 15 の SVC リターンコードが含まれています。
------	--

NB20003 - バッファプールマネージャの CMP の要求におけるエラー

[説明]	Natural バッファプールのメモリプールを要求するときにエラーが発生しました。リターンコードには、レジスタ 15 の SVC リターンコードが含まれています。
------	---

NB20004 - リエントラント部分の CMP の有効化におけるエラー

[説明]	Natural ロードプールのメモリプールを有効にするときにエラーが発生しました。リターンコードには、レジスタ 15 の SVC リターンコードが含まれています。
------	---

NB20005 - グローバルバッファプールの CMP の有効化におけるエラー

[説明]	グローバルバッファプールのメモリプールを有効にするときにエラーが発生しました。リターンコードには、レジスタ 15 の SVC リターンコードが含まれています。
------	---

NB20006 - Natural のリエントラント部分のロードにおけるエラー

[説明]	Natural ニュークリアスをロードするときにエラーが発生しました。リターンコードには、レジスタ 15 の SVC リターンコードが含まれています。
------	---

NB20007 - シリアライゼーション項目の有効化におけるエラー

[説明]	Natural 起動用のシリアライゼーション項目を有効にするときにエラーが発生しました。リターンコードには、レジスタ 15 の SVC リターンコードが含まれています。
------	--

NB20008 - アクセス要求のエンキューにおけるエラー

[説明]	Natural セッション初期化用のシリアライゼーションキューをエンキューするときにエラーが発生しました。
------	---

NB20009 - アクセス要求のキュー解除におけるエラー

[説明]	Natural セッション初期化用のシリアライゼーションキューをキュー解除するときにエラーが発生しました。
------	---

NB20010 - ADABAS コミュニケーションを確立できません

[説明]	ADACOM 生成パラメータで指定されたリンクモジュール ADALNK または ADAUSER が Natural フロントエンドにリンクされておらず、動的に再ロードすることもできません。
------	--

NB20020 - サーバーエラーによりセッションが終了しました

[説明]	リソースが利用可能でないためセッションを初期化できませんでした。
------	----------------------------------

NB20022 - NAF CMP の初期化中のエラー

[説明]	Natural Advanced Facilities 用のメモリプールを初期化するときにエラーが発生しました。レポートを NATSPOOL で出力することができません。
------	---

NB20023 - NAF パラメータモジュールがリンクされていません

[説明]	Natural Advanced Facilities パラメータモジュールが見つかりませんでした。
------	--

NB20025 - モジュール NATINV が最初にニュークリアスにリンクされていません

[説明]	Natural ニュークリアスをリンクするときに NATINV モジュールが最初のモジュールとして含まれていませんでした。
------	---

NB20026 - モジュール NATLAST がニュークリアスにリンクされていません

[説明]	NATLAST モジュールが Natural ニュークリアスのリンクに含まれていませんでした。NATLAST は最後のモジュールとして含まれる必要があります。
------	---

NB20027 - 次のアドレスのリンクエラー：nnnnnnnn

[説明]	NATBS2BATCH 生成パラメータの LINK または LINK2 で指定されたモジュール "nnnnnnnn" が見つかりませんでした。モジュールが Natural TIAM フロントエンドにリンクされていない可能性があります。
------	---

NB20030 - ダイナミックパラメータファイルの読み込み中のエラー

[説明]	パラメータファイルを読み込むときに DVS エラーが発生しました。
------	-----------------------------------

NB20031 - ダイナミックパラメータファイルのオープン中のエラー

[説明]	パラメータファイルを開くときに DVS エラーが発生しました。
------	---------------------------------

NB20032 - Natural バッチドライバのリエントラント部分が見つかりません

[説明]	バッチドライバのリエントラント部分が、リエントラント部分にもフロントエンド部分にも見つかりません。
------	---

NB20040 - フロントエンドのリエントラント部分が異なるアドレスモードを示しています

[説明]	Natural のリエントラント部分の PARMOD パラメータに指定された値（24 または 31 のいずれか）が、フロントエンド部分に指定された値に対応していません。
------	--

NB20041 - モジュール NATINV の無効なバージョン

[説明]	フロントエンド部分で最初にリンクされているモジュール NATINV の無効なバージョン。
------	--

NB20042 - マクロ BS2STUB の無効なバージョン

[説明]	フロントエンド部分でリンクされているモジュール BS2STUB の無効なバージョン。
------	--

145 TIAM 環境下の Natural のエラーメッセージ

- NRTnnnn メッセージ 1046

このセクションでは、Natural TIAM TP インターフェイスにより発行される場合があるエラーメッセージ（**NRTnnnn** メッセージ）について説明します。

Natural システムメッセージとは異なり、これらのメッセージおよびコードの長い説明テキストは、このドキュメントだけで提供されます。オンラインでは提供されません。

NRTnnnn メッセージ

NRT0001 - Natural パラメータモジュールが見つかりません

〔説明〕	フロントエンドおよびリエントラント部分で Natural パラメータモジュールが見つかりません。
------	--

NRT0002 - バッファプールマネージャの CMP の有効化におけるエラー

〔説明〕	Natural バッファプールのメモリプールを有効にするときにエラーが発生しました。リターンコードには、レジスタ 15 の SVC リターンコードが含まれています。
------	--

NRT0003 - バッファプールマネージャの CMP の要求におけるエラー

〔説明〕	Natural バッファプールのメモリプールを要求するときにエラーが発生しました。リターンコードには、レジスタ 15 の SVC リターンコードが含まれています。
------	---

NRT0004 - リエントラント部分の CMP の有効化におけるエラー

〔説明〕	Natural ロードプールのメモリプールを有効にするときにエラーが発生しました。リターンコードには、レジスタ 15 の SVC リターンコードが含まれています。
------	---

NRT0005 - グローバルバッファプールの CMP の有効化におけるエラー

〔説明〕	グローバルバッファプールのメモリプールを有効にするときにエラーが発生しました。リターンコードには、レジスタ 15 の SVC リターンコードが含まれています。
------	---

NRT0006 - Natural のリエントラント部分のロードにおけるエラー

[説明]	Natural ニュークリアスをロードするときにエラーが発生しました。リターンコードには、レジスタ 15 の SVC リターンコードが含まれています。
------	---

NRT0007 - シリアライゼーション項目の有効化におけるエラー

[説明]	Natural 起動用のシリアライゼーション項目を有効にするときにエラーが発生しました。リターンコードには、レジスタ 15 の SVC リターンコードが含まれています。
------	--

NRT0008 - アクセス要求のエンキューにおけるエラー

[説明]	Natural セッション初期化用のシリアライゼーションキューをエンキューするときにエラーが発生しました。
------	---

NRT0009 - アクセス要求のキュー解除におけるエラー

[説明]	Natural セッション初期化用のシリアライゼーションキューをキュー解除するときにエラーが発生しました。
------	---

NRT0010 - ADABAS コミュニケーションを確立できません

[説明]	ADACOM 生成パラメータで指定されたリンクモジュール ADALNK または ADAUSER が Natural フロントエンドにリンクされておらず、動的に再ロードすることもできません。
------	--

NRT0020 - サーバーエラーによりセッションが終了しました

[説明]	リソースが利用可能でないためセッションを初期化できませんでした。
------	----------------------------------

NRT0021 - Natural によってサポートされていない端末タイプ

[説明]	Natural セッションが Natural によってサポートされていない端末から開始されました。
------	---

NRT0022 - NAF CMP の初期化中のエラー

[説明]	Natural Advanced Facilities 用のメモリプールを初期化するときにエラーが発生しました。レポートを NATSPOOL で出力することができません。
------	---

NRT0023 - NAF パラメータモジュールがリンクされていません

[説明]	Natural Advanced Facilities パラメータモジュールが見つかりませんでした。
------	--

NRT0025 - モジュール NATINV が最初にニュークリアスにリンクされていません

[説明]	Natural ニュークリアスをリンクするときに NATINV モジュールが最初のモジュールとして含まれていませんでした。
------	---

NRT0026 - モジュール NATLAST がニュークリアスにリンクされていません

[説明]	NATLAST モジュールが Natural ニュークリアスのリンクに含まれていませんでした。NATLAST は最後のモジュールとして含まれる必要があります。
------	---

NRT0027 - 次のアドレスのリンクエラー：nnnnnnnn

[説明]	NATTIAM 生成パラメータの LINK または LINK2 で指定されたモジュール "nnnnnnnn" が見つかりませんでした。モジュールが Natural TIAM フロントエンドにリンクされていない可能性があります。
------	---

NRT0030 - ダイナミックパラメータファイルの読み込み中のエラー

[説明]	ダイナミックパラメータファイルの読み込みに失敗しました。
------	------------------------------

NRT0031 - ダイナミックパラメータファイルのオープン中のエラー

[説明]	パラメータファイルのオープン中に DMS エラーが発生しました。
------	----------------------------------

NRT0032 - TIAM ドライバのリエントラント部分が見つかりません

[説明]	TIAM ドライバのリエントラント部分が、リエントラント部分にもフロントエンド部分にも見つかりません。
------	---

NRT0040 - フロントエンドのリエントラント部分が異なるアドレスモードを示しています

[説明]	Natural のリエントラント部分の PARMOD パラメータに指定された値（24 または 31 のいずれか）が、フロントエンド部分に指定された値に対応していません。
------	--

146 UTM 環境下の Natural のエラーメッセージ

■ NUInnnn メッセージ	1052
■ NUSnnnn メッセージ	1068
■ NUWnnnn メッセージ	1072

このセクションでは、Natural UTM TP インターフェイスにより発行される場合があるエラーメッセージについて説明します。Natural システムメッセージとは異なり、これらのメッセージおよびコードの長い説明テキストは、このドキュメントだけで提供されます。オンラインでは提供されません。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- **NUI***nnnn* メッセージ
- **NUS***nnnn* メッセージ
- **NUW***nnnn* メッセージ

エラーメッセージは、次の順にグループごとに記載されています。

- NUI***nnnn* タスク初期化エラーにより発生するエラーメッセージ
- NUS***00nn* ユーザーセッションエラーにより発生するエラーメッセージ
- NUW***nnnn* 警告

NUI

次のエラーメッセージが、Natural CICS または Natural UTM TP インターフェイスにより発行される場合があります。これらはタスク初期化エラーにより発生します。レジスタ 15 の内容（つまり、対応するマクロ呼び出しのリターンコード）がエラーメッセージと一緒に発行されません。

NUI0003 - フロント部分の位置が 16 MB 境界を超えていますが、PARMOD=(31,ABOVE) は定義されていません

[説明]	フロント部分が 16 MB 境界を超える位置にロードされており、これはマクロ NATUTM のパラメータ PARMOD で定義されていません。
[対処]	マクロ NATUTM を PARMOD=(31,ABOVE) でアセンブルするか、フロント部分を下にロードします。

NUI0004 - ロールファイルを開くときの DMS エラー nnnn (nnnn は DMS エラーコード)

[説明]	Natural ロールファイルを開くときにエラーが発生しました。
[対処]	BS2000/OSD コマンド "/HELP nnnn" を発行します。

NUI0006 - アクセス要求のキュー解除におけるエラー

[説明]	DEQAR マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、DEQAR マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0007 - Natural ロードプールの不適切なアドレス

[説明]	Natural ロードプールのアドレスは、対応する UTM タスクによってすでに使用されています。
[対処]	マクロ ADDON の各モジュール CMPSTART のパラメータ ADDR で、固定ロードプールアドレスを定義します。

NUI0008 - シリアライゼーション項目の有効化におけるエラー

[説明]	ENASI マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、ENASI マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0009 - ロールファイルの ENACO のエラー

[説明]	ENACO マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。コンティンジェンシー定義が Natural ロールファイルへの非同期書き込みに初期化されます。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、ENACO マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0010 - ロールファイルの ENAEI のエラー

[説明]	ENAEI マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。イベント制御処理が Natural ロールファイルへの非同期書き込みに初期化されます。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、ENAEI マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0011 - スプール出力タスクの ENAEI のエラー

〔説明〕	ENAEI マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。イベント制御処理が Natural Advanced Facilities プリンタタスクに初期化されます。
〔対処〕	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、ENAEI マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0012 - ユーザー出口 "RMSPOOL" が見つかりません

〔説明〕	RMSPOOL オペランドが、NATUTM マクロの SPOOL キーワードパラメータで定義されています。ただし、RMSPOOL ユーザー出口が、非リエントラント部分にもリエントラント部分にも見つかりません。
〔対処〕	ユーザープログラムを RMSPOOL エントリ名で、フロントエンドまたはリエントラント部分へリンクするか、NATUTM マクロの SPOOL キーワードパラメータを修正します。

NUI0013 - アクセス要求のエンキューにおけるエラー

〔説明〕	ENQAR マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
〔対処〕	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、ENQAR マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0014 - NATSPOOL 出力タスクの入力におけるエラー

〔説明〕	Natural Advanced Facilities プリンタタスクの ENTER マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
〔対処〕	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、ENTER マクロのエラーコードを参照してください。NATUTM マクロの SPOOL キーワードパラメータで、ENTER マクロ呼び出しのパラメータ定義をチェックします。

NUI0016 - Natural ニュークリアスがリンクされていません

〔説明〕	Natural ニュークリアスが Natural ロードプールで見つかりませんでした。
〔対処〕	Natural ニュークリアスをリエントラント部分にリンクします。

NUI0017 - "TERMTAB=SWP" の定義はグローバルスワッププールにのみ許可されています

[説明]	端末コントロールテーブルは、グローバルスワッププールでのみ割り当てることができます。
[対処]	キーワードパラメータ TERMTAB のオペランドを変更するか、グローバルスワッププールを生成します。

NUI0018 - スプール出力タスクの POSSIG のエラー

[説明]	Natural Advanced Facilities プリンタタスクの POSSIG マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、POSSIG マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0020 - リンク名 N-A-M-E による RDTFT または FSTAT のエラー

[説明]	Natural スワップファイルの RDTFT または FSTAT マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、RDTFT または FSTAT マクロのエラーコードを参照してください。UTM スタートアップジョブでスワップファイルに定義されたリンク名をチェックします。Natural スワップファイルのリンク名は、"PAMNAT" です。

NUI0021 - タスクユーザースレッドの REQM/RELM のエラー

[説明]	タスク関連の Natural ユーザースレッドの REQM または RELM マクロを呼び出すときに、エラーが発生しました (MAXSIZE)。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、REQM または RELM マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0022 - マクロ BS2STUB の無効なバージョン

[説明]	バージョン番号がドライバのバージョンと一致しません。
[対処]	マクロ BS2STUB の適切なバージョンを使用します。

NUI0023 - Natural ロールファイルのサイズが小さすぎます

[説明]	1つの圧縮 Natural ユーザーワークエリアの最小サイズが利用できません（マクロ NATUTM のパラメータ ROLLTSZ を参照）。
[対処]	<p>Natural ロールファイルの必要なサイズを次のように計算します。</p> $\text{ROLLTSZ} / 2 * \text{ユーザーの最大数} = nnn$ <p>ここで、<i>nnn</i> は PAM ページの数</p> <p>新しい Natural ロールファイルを BS2000/OSD ファイルコマンドで定義します。ユーザーの最大数は、アクティブユーザーの最大数である必要があります（適切にログアウトしていないユーザーも含まれます。これは、タスクファイルテーブルに登録されているすべてのユーザーです）。</p>

NUI0025 - モジュール NATSTUB がリンクされていません

[説明]	NATSTUB モジュールが Natural ロードプールで見つかりませんでした。
[対処]	Natural ニュークリアスをリエントラント部分にリンクします。

NUI0026 - 初期化エラー REPRO-2000 : nn

[説明]	REPRO-2000 スプールシステムが初期化エラー (<i>nn</i>) を送信しました。
[対処]	対応する REPRO-2000 スプールシステムのドキュメントを参照してください。

NUI0027 - CSECT/エントリ P-R-O-G-R-A-M のリンクエラー

[説明]	P-R-O-G-R-A-M モジュールがフロントエンド部分にリンクされていませんが、キーワードパラメータ LINK、LINK2、LINK3 または LINK4 によって NATUTM マクロに定義されています。
[対処]	NATUTM マクロの LINK、LINK2、LINK3 または LINK4 キーワードパラメータ内の仕様、およびリエントラントではない部分のリンクジョブ内の INCLUDE ステートメントをチェックします。

NUI0028 - 定義された NUAADDR は高すぎます (16 MB 境界未満ではない)

[説明]	キーワードパラメータ NUAADDR のオペランド内の Natural ユーザーワークエリアに定義されたアドレスが正しくありません。
[対処]	セクション「UTM 環境の Natural」で、キーワードパラメータ NUAADDR の説明を参照してください (Natural の『TP モニタインターフェイス』ドキュメント内)。

NUI0029 - NATSPOOL プリンタタスクが利用できません

[説明]	Natural Advanced Facilities プリンタタスクへのイベント要求を満たすことができませんでした。
[対処]	UTM アプリケーションを開始する前に、Natural Advanced Facilities プリンタタスクを開始します。

NUI0032 - 定義された NUAADDR はすでに使用されており、使用できません

[説明]	マクロ NATUTM 内のキーワードパラメータ NUAADDR のオペランドで定義されたアドレスはすでに使用されています。
[対処]	アプリケーションの共通メモリプール用に定義されたすべてのアドレスを確認して、未使用のアドレスを Natural ユーザーワークエリアに定義します。

NUI0036 - システムエラー！ ... KDCOFF を実行してください

[説明]	回復不可能なシステムエラーが発生したため、Natural UTM アプリケーションを実行し続けることができません。
[対処]	アプリケーションを "KDCSHUT NORMAL/DUMP" で終了する必要があります。オペレータコンソールか SYSLST ファイル "LST.UTM-Anwendungsname.TSN" のいずれかまたは両方で、対応する NUInnnn エラーメッセージをチェックします。

NUI0037 - MINF SVC におけるエラー

[説明]	Natural ユーザーワークエリアの MINF マクロを呼び出すときに、エラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで MINF マクロのエラーコードを参照し、Software AG サポートに連絡してください。

NUI0038 - エリアの MINF を 32 MB を超える値に指定することはできません

[説明]	マクロ NTSWPRM 内のパラメータ MAXSIZE が、32 MB を超える値で定義されています。
[対処]	マクロ NTSWPRM 内のパラメータ MAXSIZE のオペランドを修正します。

NUI0040 - フロントおよびリエントラント部分に異なるアドレスモードかフロント部分の位置が含まれています

[説明]	マクロ NATUTM の PARMOD キーワードパラメータのオペランドが、NURENT マクロに指定されたオペランドと同じではありません。
[対処]	マクロ NATUTM および NURENT のアセンブリジョブ内のキーワードパラメータ PARMOD に定義されたオペランドをチェックします。これらは同じである必要があります。

NUI0042 - ADABAS リンクモジュールのエントリアドレスが見つからないか、エントリが重複しています

[説明]	モジュール ADALNN がフロントエンド部分にリンクされていないか、マクロ NATUTM 内のキーワードパラメータ ADACALL のオペランドが ADACALL=ADABAS で定義されており、モジュール ADAUTM がフロントエンド部分にリンクされています。
[対処]	フロントエンド部分のリンクジョブをチェックして、マクロ NATUTM のアセンブリジョブ内のキーワードパラメータ ADACALL の定義を確認します。

NUI0045 - CLEAR 文字 "BLANK" または 16 進 "40" は UTM KB および SPAB に許可されていません

[説明]	KDCDEF 内の最大パラメータ CLRCH のオペランドが CLRCH=C' または CLRCH=X'40' で定義されています。
[対処]	KDCDEF で別の CLEAR 文字を定義します。

NUI0046 - グローバルスワッププールを使用するときは ROLLACC=UPAM-SY は許可されません。

[説明]	Natural ロールファイルへの同期書き込みが可能なのは、Natural がローカルスワッププールと動作する場合だけです。
[対処]	マクロ NATUTM 内のパラメータ ROLLACC のオペランドを UPAM-AS または FASTPAM に変更するか、ローカルスワッププールをマクロ ADDON で定義して、マクロ BS2STUB をアセンブルします。

NUI0047 - スワッププールシリアライゼーションのロジック (ENQUEUE/DEQUEUE YES/NO) が適合していません

[説明]	グローバルスワッププールは、スワッププールシリアライゼーションの enqueue/dequeue ロジックで初期化されており、マクロ NATUTM 内のグローバル変数 ENQDEQ は、NO に設定されています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUI0048 - VORGANGSEXIT NUERROR が定義されていません

UTM-TACS : YYYYYYYY/ZZZZZZZZ

YYYYYYYY	UTM TAC Vorgang を表します。
ZZZZZZZZ	UTM TAC Actual を表します。

[説明]	Natural UTM ドライバまたは1つ以上の UTM 部分プログラムに、Vorgangsexit "NUERROR" が定義されていません。
[対処]	適切な UTM TAC に、TAC 定義でオペランド EXIT を修正し、KDCDEF で EXIT=NUERROR を定義します。

NUI0049 - モジュール NURENT がロードプールおよびフロント部分で見つかりません

[説明]	マクロ NURENT のアセンブル済みモジュールが見つかりません。
[対処]	共有 Natural ニュークリアスを使用する場合、マクロ NURENT のアセンブル済みモジュールをリエントラント部分またはフロントエンド部分にリンクします。

NUI0050 - "MULTI-PASS" のバージョンが適合していません

[説明]	使用されている MULTI-PASS のバージョンが、使用されている Natural UTM ドライバ (NATUTM マクロ) に適合していません。
[対処]	適切な MULTI-PASS のバージョンおよびシステムメンテナンスレベル (NTMODEM および NTMVCHK マクロ) を使用します。

NUI0051 - スワッププールパラメータモジュール (ACMSPRM) が見つかりません

[説明]	スワッププールパラメータモジュールが、アプリケーションのフロントエンド部分にもリエントラント部分にもリンクされていません。
[対処]	スワッププールパラメータモジュール (マクロ NTSWPRM) をアセンブルし、アプリケーションのフロントエンドまたはリエントラント部分にリンクします。

NUI0052 - 非同期トランザクションの REQM におけるエラー

[説明]	非同期トランザクションの Natural ユーザースレッドの REQM マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、REQM マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0053 - NUCNAME (Natural ニュークリアスの名前) のオペランドが見つかりません

[説明]	マクロ NATUTM またはマクロ NTPRM (Natural パラメータモジュール) 内のキーワードパラメータ NUCNAME のオペランドが定義されていません。
[対処]	マクロ NATUTM またはマクロ NTPRM のキーワードパラメータ NUCNAME のオペランドで、リンクされた Natural のリエントラント部分の名前を定義します (この名前は、Natural ロードプールの名前でもあります)。

NUI0054 - モジュール NATINV が最初にリンクされていないか、バージョンが正しくありません

[説明]	モジュール NATINV がリエントラント部分の最初のモジュールとしてリンクされていないか、NATINV のバージョンが正しくありません。
[対処]	適切なバージョンのモジュール NATINV を最初のモジュールとしてアプリケーションのリエントラント部分にリンクします。

NUI0055 - モジュール N-A-M-E が見つからないか、バージョンが正しくありません

[説明]	モジュール N-A-M-E が見つからないか、不適切なバージョンが使用されていました。
[対処]	適切なバージョンのモジュールを Natural UTM アプリケーションにリンクします。

NUI0056 - グローバルスワッププールはグローバルバッファプールでのみ許可されます

[説明]	アプリケーションがグローバルスワッププールおよびローカル Natural バッファプールで開始されました。ただし、グローバルスワッププールはグローバルバッファプールとの組み合わせだけで許可されます。
[対処]	アプリケーションをグローバル Natural バッファプールで生成するか、ローカルスワッププールを使用します。

NUI0057 - 不適切なスワッププールパラメータモジュール

[説明]	不適切にアセンブルされたスワッププールパラメータモジュールがアプリケーションにリンクされています。
[対処]	マクロ NTSWPRM をアセンブル中に発生したエラーを修正します。

NUI0059 - ロールスレッドサイズの長さ (ROLLTSZ) が使用されているスワッププールで異なります

[説明]	アプリケーションと動作しているグローバルスワッププールは、ロールスレッドサイズが異なる別のアプリケーションから初期化されています。
[対処]	マクロ NATUTM 内のキーワードパラメータ ROLLTSZ のオペランドを修正します。キーワードパラメータ ROLLTSZ のオペランドは、同じグローバルスワッププールと動作するすべてのアプリケーションで同じである必要があります。

NUI0060 - BS2STUB のアドオンテーブルのエントリ N-A-M-E が見つかりません

[説明]	エントリ N-A-M-E がアセンブル済みマクロ BS2STUB のアドオンテーブルで見つかりません。
[対処]	エントリ N-A-M-E をマクロ ADDON で定義し、マクロ BS2STUB をアセンブルします。

NUI0061 - パラメータ APPLNAM (NATUTM) と APPLNAME (KDCDEF) のオペランドが異なります

[説明]	マクロ NATUTM 内でキーワードパラメータ APPLNAM に定義されたオペランドが、KDCDEF 定義内のパラメータ APPLNAME のオペランドと異なります。
[対処]	マクロ NATUTM 内のキーワードパラメータ APPLNAM のオペランドを修正します。

NUI0063 - Natural スワッププールサイズがユーザースロットサイズ未満です

[説明]	Natural スワッププールのサイズが、1つのスワッププールユーザースロットのサイズ（マクロ NTSWPRM 内のパラメータ SWPSLSZ）を下回っています。
[対処]	Natural スワッププールを大きくします。マクロ ADDON またはモジュール CMPSTART のパラメータサイズを修正します。

NUI0064 - 共通メモリコントロールプールがいっぱいです

[説明]	コントロールプールに利用可能なフリースペースがありません。
[対処]	SYSTP ユーティリティ機能 E および副機能 C を使用して、コントロールプールをクリアします。コマンド行に「 clear 」と入力します。

NUI0065 - NAF 通信の ENAMP または REQMP におけるエラー

[説明]	Natural Advanced Facilities との通信用の共通メモリプール用の ENAMP または REQMP マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、ENAMP または REQMP マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0067 - LFH=YES が定義されていますが、アドレス ADAVP がみつかりません

[説明]	Adabas Large File Handler が使用されますが（マクロ NATUTM 内のキーワードパラメータ LFH が LFH=YES で定義されています）、モジュール ADAVP がフロントエンド部分にリンクされていません。
[対処]	モジュール ADAVP をフロントエンド部分にリンクします。

NUI0068 - ロールファイル名がグローバルスワッププールのロールファイルと同じではありません

[説明]	複数のアプリケーションがグローバルスワッププールと動作しますが、Natural ロールファイルの名前がグローバルスワッププールを初期化したアプリケーション内のロールファイル名と異なります。
[対処]	Natural UTM アプリケーションの開始ジョブ内の Natural ロールファイルの名前を変更します。

NUI0069 - 定義されたローカルスワッププールはすでに存在します

[説明]	ローカルスワッププールは1つのアプリケーションでのみ使用できます。
[対処]	スワッププール用のマクロ ADDON 内のパラメータ NAME のオペランドを変更し、マクロ BS2STUB をアセンブルします。

NUI0070 - TCTSVE のオペランドがグローバルスワッププールと同じではありません

[説明]	複数のアプリケーションがグローバルスワッププールと動作しますが、マクロ NATUTM 内のキーワードパラメータ TERMTAB の2番目のオペランドがグローバルスワッププールを初期化したアプリケーション内のキーワードパラメータ TERMTAB と異なります。
[対処]	パラメータ TERMTAB の2番目のオペランドを修正します。パラメータ TERMTAB のオペランドは、同じグローバルスワッププールと動作するすべてのアプリケーションで同じである必要があります。

NUI0071 - TERMTAB および SWPUSID のオペランドがグローバルスワッププールと同じではありません

[説明]	複数のアプリケーションがグローバルスワッププールと動作しますが、マクロ NATUTM 内のキーワードパラメータ TERMTAB および SWPUSID のオペランドがグローバルスワッププールを初期化したアプリケーション内のキーワードパラメータと異なります。
[対処]	マクロ NATUTM のアセンブリジョブ内のキーワードパラメータ TERMTAB および SWPUSID を修正します。

NUI0072 - ローカル SWP または ロールファイルが別のアプリケーションによって使用されています

[説明]	定義されたローカルスワッププールまたは Natural ロールファイルはすでに別のアプリケーションによって使用されています。
[対処]	ローカルスワッププール用のマクロ ADDON 内のパラメータ NAME のオペランドを変更するか、別の Natural ロールファイルを作成します。またはこの両方を行います。アプリケーションの起動ジョブで、ロールファイルの名前を変更します。

NUI0073 - Natural ロールファイルのクローズ中のエラー (FASTPAM : LINK=AAAAAAAA)

AAAAAAAA	FASTPAM リンク名を示します。
PAMNAT	WRITE 用の FASTPAM リンクの名前を示します。
PAMNATRD	READ 用の FASTPAM リンクの名前を示します。

[説明]	Natural ロールファイル用のアクセスメソッドが FASTPAM であり、Natural ロールファイルがクローズされる時にエラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUI0074 - BBBB 用の FASTPAM AAAAAAAA の無効化におけるエラー

AAAAAAAA	I/O エリアプールまたは環境を示します。
BBBBB	WRITE または READ を示します。

[説明]	Natural ロールファイル用のアクセスメソッドは FASTPAM であり、WRITE または READ 用に、FASTPAM 環境または FASTPAM I/O エリアプールを無効化中にエラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUI0075 - Natural パラメータモジュールが見つかりません

[説明]	Natural パラメータモジュールが、アプリケーションのリエントラント部分にもフロントエンド部分にもリンクされていません。
[対処]	アセンブルを行い、Natural パラメータモジュールをアプリケーションのリエントラント部分かフロントエンド部分にリンクします。

NUI0077 - FASTPAM リンク名 "PAMNATRD" 用の FILE マクロの呼び出しからのエラー

[説明]	Natural ロールファイルのアクセスメソッドは FASTPAM であり、リンク名 PAMNATRD 用の FILE マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUI0078 - 1つのグローバルスワッププールで動作する Natural UTM アプリケーションは最大5つです

[説明]	グローバルスワッププールが、5つの異なる Natural UTM アプリケーションで現在使用されているか、使用されていました。
[対処]	グローバルスワッププールを終了して再起動するか、アプリケーション用の新しいスワッププールを定義します。

NUI0080 - FASTPAM アクセスリスト用の REQM SVC からのエラー

[説明]	FASTPAM アクセスリスト用の REQM マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、REQM マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0081 - FASTPAM イベント項目を有効化中の ENAEI SVC からのエラー

[説明]	FASTPAM イベント項目用の ENAEI マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、ENAEI マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0082 - DSOFEI SVC からのエラー (FASTPAM イベントリストを準備します)

[説明]	FASTPAM イベントリスト用の DSOFEI マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、DSOFEI マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0085 - AAAA 用の FASTPAM 環境を有効化中のエラー

AAAA	"非同期書き込み" または "同期読み取り" を示します。
------	-------------------------------

[説明]	非同期書き込みまたは同期読み取り用の FASTPAM 環境を有効にできません。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUI0086 - AAAA 用の FASTPAM I/O エリアプールを有効化中のエラー

AAAA	"非同期書き込み" または "同期読み取り" を示します。
------	-------------------------------

[説明]	非同期書き込みまたは同期読み取り用の FASTPAM I/O エリアを有効にできません。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUI0087 - AAAA をオープン中の FASTPAM エラー、DMS エラー：NNNN

AAAA	OUTIN、INOUT または INPUT を示します。
NNNN	DMS エラーコードを示します。

[説明]	FASTPAM 用の Natural ロールファイルを開くときにエラーが発生しました。
[対処]	BS2000/OSD コマンド "/HELP NNNN" を発行します。

NUI0088 - 非同期書き込み中の FASTPAM エラー

[説明]	FASTPAM 経由で Natural ロールファイルに非同期書き込み中にエラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUI0089 - 同期 AAAA 中の FASTPAM エラー

AAAA	WRITE または READ を示します。
------	-----------------------

[説明]	FASTPAM 経由での Natural ロールファイルへの同期書き込みまたは Natural ロールファイルからの同期読み取り中にエラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUI0090 - モジュール BS2STUB が見つからないか、BS2STUB が異なるアドレスモードを示しています

[説明]	マクロ BS2STUB のアセンブリ済みモジュールがアプリケーションのフロント部分にリンクされていないか、マクロ BS2STUB のパラメータ PARMOD のオペランドに、マクロ NATUTM 内のパラメータ PARMOD とは異なるアドレッシングモードが含まれています。
[対処]	マクロ BS2STUB のアセンブル用のパラメータ PARMOD のオペランドで、アドレッシングモード (24/31) を修正します。

NUI0091 - モジュール BS2STUB がリンクされていますが、アドオン製品テーブルが見つからないか無効です。

[説明]	BS2STUB モジュールがアプリケーションのフロントエンド部分にリンクされていますが、アドオンテーブルが見つからないか、アドオンテーブルが無効です。モジュール BS2STUB をアセンブル中に ADDON マクロでエラーが発生しました。
[対処]	エラーを修正し、再アセンブルしてリンクします。

NUI0092 - アドオンテーブルエントリ BBBB の実行中における AAAA でのエラー

AAAA	呼び出されたマクロの名前を示します。
BBBB	適切な共通メモリプールの名前を示します。

[説明]	アドオンテーブルエントリ BBBB の実行中に、マクロ AAAA の呼び出しでエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、AAAA マクロのエラーコードを参照してください。

NUI0093 - AAAA という名前の共通メモリプールはすでに利用可能です

AAAA	共通メモリプールの名前を示します。
------	-------------------

[説明]	新しい共通メモリプールを有効にしますが、定義された名前を持つ共通メモリプールはすでに利用可能です。
[対処]	マクロ ADDON の呼び出しのパラメータ NAME のオペランドを変更して、マクロ BS2STUB をアセンブルし、再アセンブルしてリンクします。

NUI0303 - ロールファイルに無効なブロックサイズが指定されました

[説明]	FILE コマンドで、Natural ロールファイルに対して無効なブロックサイズが指定されました。
[対処]	ロールファイル用の FILE コマンドでブロックサイズを指定しないようにします (LINK=PAMNAT)。

NUI0304 - 古いグローバルスワッププールに新しい Natural ロールファイル

[説明]	古いグローバルスワッププールが利用可能ですが、新しい Natural ロールファイルが割り当てられました。
[対処]	スワッププールを終了して再起動します。

NUI0305 - 古いグローバルスワッププールに対して、ロールファイルのサイズが減らされたか増やされました

[説明]	古いグローバルスワッププールが利用可能ですが、ロールファイルのサイズが減らされたか増やされました。
[対処]	スワッププールを終了して再起動します。

NUSnnnn メッセージ

次の Natural UTMTP インターフェイスエラーメッセージが、ユーザーセッションエラーで発生します。

NUS0001 - KDCDEF 内のパラメータ KB=NNN のオペランドが小さすぎます - 最小値は NNN バイトです

NNN	最小の KB の長さをバイトで示します。
-----	----------------------

[説明]	UTM ドライバは KDCDEF での定義よりも大きな KB の長さが必要です。
[対処]	修正した KB の長さで KDCDEF を再起動します。

NUS0002 - ロールファイル操作中の DMS エラー AAAA

AAAA	DMS エラーコードを示します。
------	------------------

[説明]	Natural ロールファイルにアクセスするときにエラーが発生しました。
[対処]	BS2000/OSD コマンド "/HELP AAAA" を発行します。

NUS0024 - 非同期書き込み用 SOLSIG におけるエラー

[説明]	Natural ロールファイルへの非同期書き込み用の SOLSIG マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、SOLSIG マクロのエラーコードを参照してください。

NUS0030-非同期書き込み中のファイルイベントのコントロールブロックにおけるエラー

[説明]	Natural ロールファイルへの非同期書き込み中に、ファイルイベントのコントロールブロックにエラーコードが含まれています。
[対処]	ダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0031 - 新しい Natural セッションが開始されました、UTM TAC を入力してください。

[説明]	ユーザーが Natural UTM アプリケーションにログオンしようとしたときに、UTM が再起動の状況を認識しました。Natural UTM ドライバにより "PEND FI" とのトランザクションが終了されます。
[対処]	有効なトランザクションコードを入力して、Enter キーを押します。

NUS0033 - Natural ロールファイルがいっぱいです

[説明]	指定された Natural ロールファイルのサイズが小さすぎます。
[対処]	Natural ロールファイルを大きくします (LINK=PAMNAT)。

NUS0034 - ロールファイルまたは端末コントロールテーブルがいっぱいです

[説明]	内部端末コントロールテーブルがいっぱいです。
[対処]	マクロ NATUTM 内のキーワードパラメータ TERMTAB のオペランドを TERMTAB=(SWP,...) で定義している場合は、Natural ロールファイルを大きくします。そうでない場合は、キーワードパラメータ TERMTAB のオペランド内の PAM のページ数を大きくします。

NUS0035 - 出力先 "BBBBBBBB" のプログラム "AAAAAAAA" の FPUT エラー、 UTM KCRC : 333 1 4444

AAAAAAAA	Natural プログラム名を示します。
BBBBBBBB	プリンタ名を示します。
333 1 4444	UTM リターンコードです。

[説明]	UTM コマンド FPUT を使用する印刷ジョブでエラーが発生しました。
[対処]	対応する UTM ドキュメントで、UTM リターンコードを参照します。

NUS0043 - XXXX からのエラー - UTM RC : ZZZ

XXXX	SPUT または SGET を示します。
ZZZ	UTM リターンコードを示します。

[説明]	SPUT または SGET の後に UTM からエラーが発生しました。
[対処]	対応する UTM ドキュメントでリターンコードを参照して、Software AG サポートに連絡してください。

NUS0044 - プログラム XXXXX のロードに失敗しました、 BIND エラーコード : ZZZZ

XXXXX	動的にロードされるモジュールの名前を示します。
ZZZX	BIND マクロのエラーコードを示します。

[説明]	3GL プログラムを動的にロード中に、BIND マクロからエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、BIND マクロのエラーコードを参照してください。

NUS0058 - PAM コンティンジェンシールーチン内の CHKEI からのエラー

[説明]	PAM コンティンジェンシールーチン内の CHKEI マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、CHKEI マクロのエラーコードを参照して、Software AG サポートに連絡してください。

NUS0062 - SYSLST へのアクセス中のマクロ N-A-M-E からのエラー

[説明]	Natural トレース機能（マクロ NTPRM 内の ETRACE）がアクティブにされており、SYSLST へのアクセス中にマクロ N-A-M-E の呼び出しでエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、N-A-M-E マクロのエラーコードを参照して、Software AG サポートに連絡してください。

NUS0079 - RSOFEI SVC からのエラー（FASTPAM 環境への要求）

[説明]	FASTPAM イベントを要求する RSOFEI マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、RSOFEI マクロのエラーコードを参照してください。

NUS0088 - 非同期書き込み中の FASTPAM エラー

[説明]	FASTPAM 経由で Natural ロールファイルに非同期書き込み中にエラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUS0089 - 同期 AAA 中の FASTPAM エラー

AAA	WRITE または READ を示します。
-----	-----------------------

[説明]	FASTPAM 経由の Natural ロールファイルへの同期の書き込みまたは読み込み中に、エラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUS0094 - 強制会話型 I/O は可能ではありません

[説明]	強制会話型 I/O は実行できません。セッションは終了しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUS0302 - Natural ロードプールの更新後の再配置中のエラー

[説明]	Natural ロードプールが更新され、再配置エラーが発生しました。
[対処]	ダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUWnnnn メッセージ

次の Natural UTM TP インターフェイスのエラーメッセージは警告です。

NUW0019 - 警告 - SWP ディレクトリを常駐ディレクトリとして宣言しようとした後に CSTAT マクロでエラー

[説明]	パラメータ SWDPAGE のオペランドが値 NO で定義されており、マクロ CSTAT、パラメータ LINK=DYNPRM を呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、CSTAT マクロのエラーコードを参照してください。

NUW0039 - 警告 - PARMOD=(31,ABOVE) が定義されていますが、フロント部分が境界より下にロードされています

[説明]	マクロ NATUTM 内のキーワードパラメータ PARMOD のオペランド PARMOD が、PARMOD=(31,ABOVE) で定義されていますが、フロント部分が 16 MB 境界よりも下にロードされています。
[対処]	フロントエンド部分のリンクジョブを修正します。PROG 命令にはオペランド LOADPT=X'ADDRESS' または LOADPT=*XS が含まれている必要があります。

NUW0041 - 警告 - STXIT SVC が次の RC で失敗しました：NN

NN	マクロ STXIT からのエラーコードを示します。
----	---------------------------

[説明]	STXIT マクロを呼び出すときにエラーが発生しました。
[対処]	対応する BS2000/OSD ドキュメントで、STXIT マクロのエラーコードを参照して、Software AG サポートに連絡してください。

NUW0083 - 警告 - AAAA 用の FASTPAM 環境が常駐ではありません

AAAAA	"非同期書き込み" または "同期読み取り" を示します。
-------	-------------------------------

[説明]	非同期書き込みおよび同期読み取り用の FASTPAM 環境が常駐ではありません。
[対処]	このドキュメントの UTM セクション内のキーワードパラメータ ROLLACC の説明を参照してください（アクセスメソッド FASTPAM の必須条件）。

NUW0084 - 警告 - AAAA 用の FASTPAM I/O エリアプールが常駐ではありません

AAAAA	"非同期書き込み" または "同期読み取り" を示します。
-------	-------------------------------

[説明]	非同期書き込みおよび同期読み取り用の FASTPAMI/O エリアプールが常駐ではありません。
[対処]	このドキュメントの UTM セクション内のキーワードパラメータ ROLLACC の説明を参照してください (アクセスメソッド FASTPAM の必須条件)。

147 CICS および openUTM 環境下で有効な Natural スワッププールマネージャのエラーメッセージ

■ NUS0100 - ロールスレッドのオーバーフロー、Natural ユーザーズレッドの長さ = NNN KB	1076
■ NUS0102 - ロールファイルへの書き込み中のタイムアウト	1076
■ NUS0104 - 不適切なスワッププールディレクトリ - システム管理者に連絡してください	1076
■ NUS0106 - 待機タイムアウト、SWP ディレクトリが一時的にロックされています - Enter キーを押してください	1077
■ NUS0108 - SWP ディレクトリが永続的にロックされています、修復が起動されます - TAC を入力してください	1077
■ NUS0109 - スワッププールエラー N - スワッププールが修復されます	1077
■ NUS0110 - ロールファイルへの TTTT 書き込みが失敗しました、ユーザーズレッドが失われました	1077
■ NUS0112 - ロールファイルからロールイン後の不適切なユーザーズレッド	1078
■ NUS0113 - スワッププールが修復されました - ユーザーズレッドが失われました	1078
■ NUS0114 - 内部エラー - FREE が合計スワッププールエントリを超えています	1078
■ NUS0116 - 内部エラー - ユーザー / 端末 ID またはプロセス ID が見当たりません	1078
■ NUS0118 - SWP ディレクトリスロットが非アクティブ化ルーチンからロックされています	1079
■ NUW0120 - スワッププール初期化データにアクセスできませんでした、Adabas RC=AA DB=BB FILE=CC OPCD=DD	1079
■ NUI0122 - Natural プロファイルの無効なスロットサイズテーブル	1079
■ NUI0123 - パラメータモジュールの無効なスロットサイズテーブル	1080
■ NUI0124 - Natural スワッププールの定義されたサイズが小さすぎます、最小値 = NNNN KB	1080
■ NUI0125 - 不適切なスワッププールパラメータモジュール	1080
■ NUS0126 - ESA データスペースからのユーザーズレッドの読み取りに失敗しました (RC=nn)	1080
■ NUS0127 - ESA データスペースへのユーザーズレッドの書き込みに失敗しました (RC=nn)	1081
■ NUI0128 - SWP ESA データスペースの初期化に失敗しました (RC=nn)	1081

CICS および openUTM 環境下で有効な Natural スワッププールマネージャのエラーメッセージ

このセクションでは、Natural スワッププールマネージャにより発行される場合がある、エラーメッセージ NUS01nn、NUW01nn、NUI01nn をエラー番号ごとに（グループごとではない）昇順にソートして、説明します。これらのエラーメッセージは、ユーザーセッションエラーで発生します。

NUS0100 - ロールスレッドのオーバーフロー、Natural ユーザーズレッドの長さ = NNN KB

NNN は、圧縮ユーザーズレッドのサイズを KB で示します。

[説明]	圧縮 Natural ユーザーズレッドが、定義されたロールファイルのスレッドサイズより長くなっています。
[対処]	UTM 環境：ロールスレッドのサイズを増やします（マクロ NATUTM 用のパラメータ ROLLTSZ）。

NUS0102 - ロールファイルへの書き込み中のタイムアウト

[説明]	Natural ロールファイルへの非同期書き込みがタイムアウトしました。
[対処]	UTM 環境：非同期書き込みの待機のミリ秒数を増やします（マクロ NTSWPRM のパラメータ WRITMS）。

NUS0104 - 不適切なスワッププールディレクトリ - システム管理者に連絡してください

[説明]	スワッププールディレクトリの内部エラー。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUS0106 - 待機タイムアウト、SWP ディレクトリが一時的にロックされています - Enter キーを押してください

[説明]	ロックされていないスワッププールディレクトリの待機中にタイムアウトが発生しました。
[対処]	Enter キーを押して、トランザクションを再スタートします。

NUS0108 - SWP ディレクトリが永続的にロックされています、修復が起動されます - TAC を入力してください

[説明]	内部エラー、スワッププールディレクトリが永続的にロックされています。スワッププール修復がスワッププールマネージャから開始されます。
[対処]	トランザクションコードで入力し、スナップダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0109 - スワッププールエラー N - スワッププールが修復されます

N | 内部エラー番号を示します。

[説明]	内部エラー、スワッププールがスワッププールマネージャから修復されます。
[対処]	スナップダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0110 - ロールファイルへのTTTT書き込みが失敗しました、ユーザースレッドが失われました

TTTT | ユーザーの論理端末の名前を示します。

CICS および openUTM 環境下で有効な Natural スワッププールマネージャのエラーメッセージ

[説明]	Natural ユーザーズレッドを Natural ロールファイルに書き込むときにエラーが発生しました。
[対処]	Natural セッションを再スタートします。

NUS0112 - ロールファイルからロールイン後の不適切なユーザーズレッド

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0113 - スワッププールが修復されました - ユーザーズレッドが失われました

[説明]	スワッププールの修復後、Natural ユーザーズレッドが失われました。
[対処]	Natural セッションを再スタートします。

NUS0114 - 内部エラー - FREE が合計スワッププールエントリーを超えています

[説明]	内部エラー、スワッププールが修復されます。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0116 - 内部エラー - ユーザー / 端末 ID またはプロセス ID が見当たりません

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUS0118 - SWP ディレクトリスロットが非アクティブ化ルーチンからロックされています

[説明]	スワッププールが、管理者によって SYSTP 経由で非アクティブにされます。ディレクトリスロットは現在ロックされています。
[対処]	ENTER キーを押します。

NUW0120 - スワッププール初期化データにアクセスできませんでした、Adabas RC=AA DB=BB FILE=CC OPCD=DD

AA	Adabas レスポンスコードを示します。
BB	データベース ID を示します。
CC	ファイル番号を示します。
DD	Adabas 操作コードを示します。

[説明]	Natural システムファイルからスワッププール初期化データを読み込むときに、Adabas エラーが発生しました。スワッププールパラメータモジュールのスワッププール初期化データが使用されています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

NUI0122 - Natural プロファイルの無効なスロットサイズテーブル

[説明]	Natural システムファイルからスワッププール初期化データを読み込んだ後に、スワッププールマネージャがスワッププール用の無効なスロットサイズテーブルを検出しました。
[対処]	SYSTP ユーティリティ、TIAM 環境下の機能 SP を使用して、適切なスワッププール用のスワッププール初期化データを確認します。

NUI0123 - パラメータモジュールの無効なスロットサイズテーブル

[説明]	スワッププールパラメータモジュール内のスロットサイズテーブルが無効です。マクロ NTSWPRM をアセンブルするときにエラーが発生しました。
[対処]	エラーを修正し、再アセンブルしてリンクします。

NUI0124 - Natural スワッププールの定義されたサイズが小さすぎます、最小値 = NNNN KB

[説明]	Natural スワッププールのサイズが、マクロ NTSWPRM 内のパラメータ SWPSLSZ の定義されたオペランドには小さすぎます。
[対処]	マクロ NTSWPRM のアセンブリジョブ内のパラメータ SWPSLSZ のオペランドを変更するか、Natural スワッププール（マクロ ADDON のパラメータ SIZE）を大きくします。

NUI0125 - 不適切なスワッププールパラメータモジュール

[説明]	マクロ NTSWPRM をアセンブルするときにエラーが発生しました。
[対処]	エラーを修正し、再アセンブルしてリンクします。

NUS0126 - ESA データスペースからのユーザースレッドの読み取りに失敗しました (RC=nn)

nn	内部エラー番号。
----	----------

[説明]	ユーザースレッドが ESA データスペースから読み取られるときに、内部エラーが発生しました。
[対処]	ダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0127 - ESA データスペースへのユーザースレッドの書き込みに失敗しました (RC=nn)

<i>nn</i>	内部エラー番号。
-----------	----------

[説明]	ユーザースレッドがESAデータスペースに書き込まれるときに、内部エラーが発生しました。
[対処]	ダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUI0128 - SWPESA データスペースの初期化に失敗しました (RC=nn)

[説明]	データスペースディレクトリの初期化中にエラーが発生しました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

148

圧縮／圧縮解除エラーメッセージ

■ NUS0201 - 無効な操作コードまたは最初のエントリが圧縮バッファではありません	1084
■ NUS0202 - テーブルエレメントの数がゼロです	1084
■ NUS0203 - テーブルエレメントの数が最大値を超えています	1084
■ NUS0204 - スレッドの合計長が圧縮を下回っています	1084
■ NUS0205 - バッファタイプが見当たりません	1085
■ NUS0206 - 圧縮されたバッファが合計長を超えています	1085
■ NUS0207 - 合計長が上限を超えています	1085
■ NUS0208 - 不適切な合計バッファ長	1085
■ NUS0209 - 不適切な使用済みバッファ長	1085
■ NUS0210 - スレッドが圧縮解除するには小さすぎます	1086
■ NUS0211 - バッファオフセット／アドレスが正ではありません	1086
■ NUS0212 - バッファソート順におけるエラー	1086
■ NUS0213 - 不適切なバッファの重複	1086
■ NUS0214 - 合計または使用済みバッファ長が無効です	1086
■ NUS0215 - 操作には無効なスレッドステータス	1087
■ NUS0216 - 接頭辞における無効なバッファ長	1087
■ NUS0217 - 接頭辞における無効な長さの最小値	1087
■ NUS0218 - 接頭辞における無効な長さの最大値	1087
■ NUS0219 - 圧縮バッファ前の無効な長さ	1087
■ NUS0220 - 圧縮スレッドで CMCCBR が呼び出されました	1088
■ NUS0221 - CMCCBR スレッドステータスが未定義です	1088
■ NUS0222 - 無効なバッファ ID またはアイキャッチャーが破壊されています	1088
■ NUS0223 - 外部バッファの CMFREMP からのエラー	1088
■ NUS0224 - 下のバッファの物理 GETMAIN エラー	1088
■ NUS0225 - 下の可変バッファの物理 GETMAIN エラー	1089
■ NUS0226 - ワークプールの FREE MAIN が行われませんでした	1089
■ NUS0227 - ストレージオーバーフロー - zzz を yyy バイト超えています	1089
■ NUS0228 - ビットテーブルバッファの GETMAIN が失敗しました	1089

このセクションでは、内部エラーの結果、Naturalスレッド圧縮ルーチンにより発行される場合があるエラーメッセージ（NUS02nn）について説明します。

NUS0201 - 無効な操作コードまたは最初のエントリが圧縮バッファではありません

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0202 - テーブルエレメントの数がゼロです

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0203 - テーブルエレメントの数が最大値を超えています

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0204 - スレッドの合計長が圧縮を下回っています

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0205 - バッファタイプが見当たりません

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0206 - 圧縮されたバッファが合計長を超えています

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0207 - 合計長が上限を超えています

[説明]	Natural ユーザーズレッドが小さすぎます。
[対処]	Natural ユーザーズレッドを大きくします (UTM 環境で、マクロ NTSWPRM のパラメータ MAXSIZE のオペランドを変更します)。

NUS0208 - 不適切な合計バッファ長

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0209 - 不適切な使用済みバッファ長

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0210 - スレッドが圧縮解除するには小さすぎます

[説明]	Natural ユーザーズレッドが小さすぎます。
[対処]	Natural ユーザーズレッドを大きくします (UTM 環境で、マクロ NTSWPRM のパラメータ MAXSIZE のオペランドを変更します)。

NUS0211 - バッファオフセット／アドレスが正ではありません

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0212 - バッファソート順におけるエラー

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0213 - 不適切なバッファの重複

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0214 - 合計または使用済みバッファ長が無効です

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0215 - 操作には無効なスレッドステータス

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0216 - 接頭辞における無効なバッファ長

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0217 - 接頭辞における無効な長さの最小値

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0218 - 接頭辞における無効な長さの最大値

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0219 - 圧縮バッファ前の無効な長さ

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0220 - 圧縮スレッドで CMCCBR が呼び出されました

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0221 - CMCCBR スレッドステータスが未定義です

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0222 - 無効なバッファ ID またはアイキャッチャーが破壊されています

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0223 - 外部バッファの CMFREMP からのエラー

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0224 - 下のバッファの物理 GETMAIN エラー

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0225 - 下の可変バッファの物理 GETMAIN エラー

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0226 - ワークプールの FREE MAIN が行われませんでした

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

NUS0227 - ストレージオーバーフロー - zzz を yyy バイト超えています

yyy	キーワードパラメータ OVSIZEM または WPSIZEM により定義された値を超えるバイト数を示します。
zzz	Natural パラメータモジュール NTPRM のキーワードパラメータ OVSIZEM または WPSIZEM のオペランドに定義された値を示します。

[説明]	物理 GETMAIN の間に、Natural パラメータモジュール NTPRM 内のキーワードパラメータ OVSIZEM または WPSIZEM で定義された最大サイズの 1 つを超えています。
[対処]	Natural パラメータモジュールの OVSIZEM または WPSIZEM の最大サイズを増やします。

NUS0228 - ビットテーブルバッファの GETMAIN が失敗しました

[説明]	内部エラーが発生しました。
[対処]	対応するダンプを Software AG サポートに送信してください。

149

NAT7545 の GETMAIN エラー番号

■ エラー 04：スレッドの上限値を超えています	1092
■ エラー 08：無効なバッファタイプ	1092
■ エラー 12：圧縮テーブルがいっぱいです	1092
■ エラー 16：バッファがすでに存在します	1093
■ エラー 20：最初に要求されたバッファが PCB ではありません	1093
■ エラー 24：無効な GETMAIN の長さ	1093
■ エラー 28：物理バッファテーブルのアドレスが見当たりません	1093
■ エラー 32：物理バッファテーブルがいっぱいです	1093
■ エラー 36：不適切なバッファ接頭辞テーブルのエントリ (CMBPFT)	1094
■ エラー 40：物理 FREEMAIN が行われませんでした	1094
■ エラー 44：ワークプールまたは固定バッファが下ではなく上に割り当てられています	1094
■ エラー 48：バッファ接頭辞テーブルのエントリのアドレスが解決されませんでした	1094
■ エラー 52：CMGETMP からのエラー - メッセージ NAT7545 の :4: を参照	1095
■ エラー 56：スレッドオーバーフローサイズが NTPRM で定義された OVSIZE を超えています	1095
■ エラー 60：Getmain バッファサイズが最小 バッファサイズを下回っています	1095
■ エラー 64：Getmain バッファサイズが最大 バッファサイズを上回っています	1095
■ エラー 68：境界未満のワークプールの合計サイズが最大サイズを超えています	1096
■ エラー 72：境界を超えるワークプールの合計サイズが最大サイズを超えています	1096

このドキュメントでは、失敗した GETMAIN 要求の結果としてエラーメッセージ NAT7545 に表示されるエラー番号について説明します。

```
NAT7545 getmain of :1: for :2: buffer failed (:3:/:4:)
```

ここで、**:3:**には、次のいずれかのエラー番号が含まれます。また、

:4:には、以下で説明される長さ固有の情報、または、オペレーティングシステムからのレスポンスコードが含まれることがあります。

エラー 04：スレッドの上限値を超えています

[説明]	Natural ユーザースレッドが小さすぎます。
[対処]	Natural スレッドの長さを増やします。

エラー 08：無効なバッファタイプ

[説明]	内部エラー、使用されているバッファタイプが有効ではありません。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 12：圧縮テーブルがいっぱいです

[説明]	内部エラー、圧縮テーブルの上限値を超えています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 16：バッファがすでに存在します

[説明]	内部エラー、既存のバッファの GETMAIN が実行されました。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 20：最初に要求されたバッファが PCB ではありません

[説明]	内部エラー、Natural 常駐コントロールブロックが見当たりません。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 24：無効な GETMAIN の長さ

[説明]	内部エラー、GETMAIN のバッファ長が無効です。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 28：物理バッファテーブルのアドレスが見当たりません

[説明]	内部エラー、物理バッファテーブルのアドレスが見つかりません。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 32：物理バッファテーブルがいっぱいです

[説明]	内部エラー、物理バッファテーブルの上限値を超えています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 36：不適切なバッファ接頭辞テーブルのエントリ (CMBPFT)

[説明]	内部エラー、NATCONFIG 内のバッファ接頭辞テーブルのエントリが破壊されています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 40：物理 FREEMAIN が行われませんでした

[説明]	内部エラー、ワークプールの FREEMAIN が行われませんでした。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 44：ワークプールまたは固定バッファが下ではなく上に割り当てられています

[説明]	内部エラー、ワークプールまたは固定バッファが、16 MB 境界の下に割り当てられていません。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 48：バッファ接頭辞テーブルのエントリのアドレスが解決されませんでした

[説明]	モジュール NATCONFIG 内のエントリ CMBPFT のアドレスが解決されていません。
[対処]	モジュール NATCONFIG を Natural ニュークリアスにリンクする必要があります。

エラー 52：CMGETMP からのエラー - メッセージ NAT7545 の :4: を参照

〔説明〕	オペレーティングシステムからの物理 GETMAIN エラー。
〔対処〕	詳細については、オペレーティングシステムからの理由コードおよびレスポンスコードを参照してください。

エラー 56：スレッドオーバーフローサイズが NTPRM で定義された OVSIZE を超えています

:4:

〔説明〕	Natural パラメータモジュール（マクロ NTPRM）で定義された OVSIZE を超えています。
〔対処〕	Natural パラメータモジュールの OVSIZE を増やします。

エラー 60：Getmain バッファサイズが最小バッファサイズを下回っています

〔説明〕	内部エラー、バッファ長が最小バッファサイズを下回っています。
〔対処〕	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 64：Getmain バッファサイズが最大バッファサイズを上回っています

〔説明〕	内部エラー、バッファ長が最大バッファサイズを上回っています。
〔対処〕	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 68：境界未満のワークプールの合計サイズが最大サイズを超えています

:4:

[説明]	16 MB 境界未満のすべてのワークプールの合計サイズが、Natural パラメータモジュール（マクロ NTPRM）内のキーワードパラメータ WPSIZE の 3 番目のオペランドで、定義された最大サイズを超えています。
[対処]	マクロ NTPRM 内のキーワードパラメータ WPSIZE の 3 番目のオペランドを増やします。

エラー 72：境界を超えるワークプールの合計サイズが最大サイズを超えています

:4:

[説明]	16 MB 境界を超えるすべてのワークプールの合計サイズが、Natural パラメータモジュール（マクロ NTPRM）内のキーワードパラメータ WPSIZE の 4 番目のオペランドで、定義された最大サイズを超えています。
[対処]	マクロ NTPRM 内のキーワードパラメータ WPSIZE の 4 番目のオペランドを増やします。

150

NAT7546 の FREEMAIN エラー番号

■ エラー 100：バッファの接頭辞における不適切な合計バッファ長	1098
■ エラー 104：固定バッファタイプの無効な FREEMAIN 長	1098
■ エラー 108：可変バッファの無効な FREEMAIN 長	1098
■ エラー 112：使用済みの長さが FREEMAIN バッファ長を上回っています	1099
■ エラー 116：16 MB 境界未満の固定バッファの Freemain が失敗しました	1099
■ エラー 120：物理バッファのアイキャッチャーが破壊されています	1099
■ エラー 124：物理バッファ用の Freemain がすでに行われています	1099
■ エラー 128：物理バッファの無効な FREEMAIN 長	1100
■ エラー 132：Freemain 長がワークプールのサイズを超えています	1100
■ エラー 136：Freemain 長が物理ストレージの合計サイズを超えています	1100
■ エラー 140：Freemain 用の無効なバッファアドレス	1100
■ エラー 144：可変／固定バッファ用の CMFREMP からのエラー	1101
■ エラー 148：ワークプール用の CMFREMP からのエラー	1101
■ エラー 152：FREEMAIN ALL 中の CMFREMP からのエラー	1101
■ エラー 156：スレッド外部のバッファ用の CMFREMP からのエラー	1101

このドキュメントでは、失敗した FREEMAIN 要求の結果としてエラーメッセージ NAT7546 に表示されるエラー番号について説明します。

```
NAT7546 freemain of :1: buffer failed (:2:/:3:)
```

ここで、**:2:**には、次のいずれかのエラー番号が含まれます。また、**:3:**には、オペレーティングシステムからのレスポンスコードが含まれます。

エラー 100：バッファの接頭辞における不適切な合計バッファ長

[説明]	内部エラー、バッファの接頭辞に無効な合計バッファ長が含まれます。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 104：固定バッファタイプの無効な FREEMAIN 長

[説明]	内部エラー、固定バッファの無効な FREEMAIN 長
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 108：可変バッファの無効な FREEMAIN 長

[説明]	内部エラー、可変バッファの無効な FREEMAIN 長
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 112：使用済みの長さが FREEMAIN バッファ長を上回っています

[説明]	内部エラー、既存の可変バッファの長さが減らされましたが、最大値から使用された長さ と最小値から使用された長さの合計が新しい（減らされた）バッファ長を超えています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 116：16 MB 境界未満の固定バッファの Freemain が失敗しました

:3:

[説明]	オペレーティングシステムからの 16 MB 境界未満の固定バッファの FREEMAIN エラー。
[対処]	詳細については、オペレーティングシステムからの理由コードおよびレスポンスコードを参照してください。

エラー 120：物理バッファのアイキャッチャーが破壊されています

[説明]	内部エラー、ワークプール内の物理バッファのアイキャッチャーが破壊されています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 124：物理バッファ用の Freemain がすでに行われています

[説明]	内部エラー、ワークプール内の物理バッファ用の FREEMAIN がすでに行われています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 128：物理バッファの無効な FREEMAIN 長

[説明]	内部エラー、物理バッファの FREEMAIN 長が無効です。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 132：Freemain 長がワークプールのサイズを超えています

[説明]	内部エラー、物理バッファの FREEMAIN 長がワークプールのサイズを超えています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 136：Freemain 長が物理ストレージの合計サイズを超えています

[説明]	内部エラー、物理バッファの FREEMAIN 長が物理ストレージの合計サイズを超えています。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 140：Freemain 用の無効なバッファアドレス

[説明]	内部エラー、FREEMAIN のバッファアドレスが有効ではありません。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

エラー 144：可変／固定バッファ用の CMFREMP からのエラー

:3:

[説明]	オペレーティングシステムからの可変または固定バッファの FREEMAIN エラー。
[対処]	詳細については、オペレーティングシステムからの理由コードおよびレスポンスコードを参照してください。

エラー 148：ワークプール用の CMFREMP からのエラー

:3:

[説明]	オペレーティングシステムからのワークプール用の FREEMAIN エラー。
[対処]	詳細については、オペレーティングシステムからの理由コードおよびレスポンスコードを参照してください。

エラー 152：FREEMAIN ALL 中の CMFREMP からのエラー

:3:

[説明]	FREEMAIN ALL 中のオペレーティングシステムからの FREEMAIN エラー。
[対処]	詳細については、オペレーティングシステムからの理由コードおよびレスポンスコードを参照してください。

エラー 156：スレッド外部のバッファ用の CMFREMP からのエラー

:3:

[説明]	スレッド外部に割り当てられたバッファ用のオペレーティングシステムからの FREEMAIN エラー。
[対処]	詳細については、オペレーティングシステムからの理由コードおよびレスポンスコードを参照してください。

151 プログラム CMPSTART のメッセージ

■ CMP0001 - プール名：グローバルプールがアクティブです	1105
■ CMP0002 - データスペース名：データスペースが作成されました	1105
■ CMP0003 - SYSDTA でパラメータが見つかりません	1105
■ CMP0004 - SYSDTA からのパラメータの読み込みに失敗しました	1105
■ CMP0005 - プール名：グローバルプールは正常に終了しました	1106
■ CMP0006 - データスペース名：データスペースは正常に破壊されました	1106
■ CMP0007 - プール名：グローバルプールはオペレータの要求により異常終了しました	1106
■ CMP0008 - プール名：グローバルプールはキャンセルにより終了しました	1106
■ CMP0009 - プール名：マクロ name におけるエラー、プールが割り当てられていません、 R15=nn	1107
■ CMP0010 - プール名：要求されたプールはすでに有効です	1107
■ CMP0011 - プール名：グローバル Natural ロードプールを "PFIY=YES" で有効にする必要があ ります	1107
■ CMP0012 - プール名：Natural タイプ、プール初期化に失敗しました、プールが割り当てら れていません、R15=nn	1107
■ CMP0013 - キーワードパラメータ名の定義が見当たりません	1108
■ CMP0014 - キーワードパラメータ名のオペランドが有効ではありません	1108
■ CMP0015 - キーワードパラメータ名のオペランドが最大長を超えています	1108
■ CMP0016 - 名前がキーワードパラメータに有効な名前ではありません	1108
■ CMP0017 - 指定されたサイズは境界を超える場所には大きすぎます	1109
■ CMP0018 - 指定されたサイズは境界未満の場所には大きすぎます	1109
■ CMP0019 - 13 MB を超えるアドレスは境界未満の場所には無効です	1109
■ CMP0020 - 16 MB 未満のアドレスは境界を超える場所には無効です	1109
■ CMP0021 - "TYPE" が定義される場合、"LIBR" の定義は許可されません	1110
■ CMP0022 - ライブラリが定義されています、"NAME" のオペランドが 8 文字を超えていま す	1110
■ CMP0023 - Natural バッファプールの名前が 8 文字を超えています	1110
■ CMP0024 - "PFIY=YES" を定義する場合、パラメータ "ADDR" のオペランドも定義する必要があ ります	1110
■ CMP0025 - パラメータ "TYPE" または "LIBR" の 1 つのオペランドが見当たりません	1111
■ CMP0026 - "DESA=YES" を定義する場合、パラメータ "DATA=" も定義する必要があります	1111
■ CMP0027 - ESA データスペース要求で、パラメータ "LIBR" は定義できません	1111

- CMP0028 - マクロ "ASHARE" を使用する場合、"PFI=YES" を定義する必要があります 1111
- CMP0029 - CMPSTART は BS2000 バージョン 10.0 以上でのみ実行します 1112
- CMP0030 - オペレータ要求のエラー、コマンドが見つかりません 1112
- CMP0031 - ジョブ変数名：マクロ名のエラー、R15=nn 1112

このドキュメントでは、BS2000/OSD 環境下の Natural でグローバル共通メモリプールを開始するタスクを行うプログラム CMPSTART により発行される場合があるエラーメッセージ (CMP $nnnn$) について説明します。

プログラム CMPSTART の詳細については、Natural の『オペレーション』ドキュメントの「共通メモリプール」を参照してください。

CMP0001 - プール名：グローバルプールがアクティブです

[説明]	共通メモリプールが正常に有効にされ、アクティブです。
[対処]	なし

CMP0002 - データスペース名：データスペースが作成されました

[説明]	ESA データスペースが正常に作成されました。
[対処]	なし

CMP0003 - SYSDTA でパラメータが見つかりません

[説明]	SYSDTA で、パラメータ定義が見当たりません。
[対処]	CMPSTART の実行用のジョブ制御をチェックします。

CMP0004 - SYSDTA からのパラメータの読み込みに失敗しました

[説明]	RDATA マクロからのエラー。
[対処]	CMPSTART の実行用のジョブ制御をチェックします。

CMP0005 - プール名：グローバルプールは正常に終了しました

[説明]	共通メモリプールが正常に終了しました。
[対処]	なし

CMP0006 - データスペース名：データスペースは正常に破壊されました

[説明]	ESA データスペースが正常に破壊されました。
[対処]	なし

CMP0007 - プール名：グローバルプールはオペレータの要求により異常終了しました

[説明]	共通メモリプールはオペレータによりコンソール経由で終了されました。
[対処]	なし

CMP0008 - プール名：グローバルプールはキャンセルにより終了しました

[説明]	共通メモリプールが CANCEL コマンドで終了しました。
[対処]	なし

CMP0009 - プール名：マクロ name におけるエラー、プールが割り当てられていません、R15=nn

〔説明〕	マクロ name によるエラーが発生しました。R15 にエラー番号が含まれます。
〔対処〕	Software AG サポートに連絡してください。

CMP0010 - プール名：要求されたプールはすでに有効です

〔説明〕	定義された名前の共通メモリプールがすでに有効にされています。
〔対処〕	共通メモリプール名を変更します。

CMP0011 - プール名：グローバル Natural ロードプールを "PFI=YES" で有効にする必要があります

〔説明〕	グローバル Natural ロードプールのパラメータ PFI が NO (デフォルト) で定義されています。
〔対処〕	Natural ロードプールに PFI=YES を定義します。

CMP0012 - プール名：Natural タイプ、プール初期化に失敗しました、プールが割り当てられていません、R15=nn

〔説明〕	バッファ/エディタ/スワッププールの初期化中にエラーが発生しました。R15 にエラー番号が含まれます。
〔対処〕	Software AG サポートに連絡してください。

CMP0013 - キーワードパラメータ名の定義が見当たりません

[説明]	共通メモリプールを有効にするには、キーワードパラメータ名を定義する必要があります。
[対処]	対象の共通メモリプール用にパラメータを指定します。

CMP0014 - キーワードパラメータ名のオペランドが有効ではありません

[説明]	キーワードパラメータ名用の無効なオペランド。
[対処]	オペランドを適切なキーワードパラメータ用に修正します。

CMP0015 - キーワードパラメータ名のオペランドが最大長を超えています

[説明]	キーワードパラメータ名のオペランドが長すぎます。
[対処]	オペランドを適切なキーワードパラメータ用に修正します。

CMP0016 - 名前がキーワードパラメータに有効な名前ではありません

[説明]	不明なキーワードパラメータ名。
[対処]	キーワードパラメータの名前を修正します。

CMP0017 - 指定されたサイズは境界を超える場所には大きすぎます

[説明]	定義されたプールサイズ（キーワードパラメータ SIZE のオペランド）が 16 MB 境界を超えるプールの場所の最大可能サイズ（2047 メガバイト）を超えています。
[対処]	キーワードパラメータ SIZE のオペランドを修正します。

CMP0018 - 指定されたサイズは境界未満の場所には大きすぎます

[説明]	定義されたプールサイズ（キーワードパラメータ SIZE のオペランド）が 16 MB 境界未満のプールの場所の最大可能サイズ（10 メガバイト）を超えています。
[対処]	キーワードパラメータ SIZE のオペランドを修正します。

CMP0019 - 13 MB を超えるアドレスは境界未満の場所には無効です

[説明]	定義されたメガバイト数（キーワードパラメータ ADDR のオペランド）が 16 MB 境界未満のプールの場所の最大可能数（13 メガバイト）を超えています。
[対処]	キーワードパラメータ ADDR のオペランドを修正します。

CMP0020 - 16 MB 未満のアドレスは境界を超える場所には無効です

[説明]	定義されたメガバイト数（キーワードパラメータ ADDR のオペランド）は 16 MB 境界を超えるプールの場所に対して 16 MB を下回ることはできません。
[対処]	キーワードパラメータ ADDR のオペランドを修正します。

CMP0021 - "TYPE" が定義される場合、"LIBR" の定義は許可されません

[説明]	パラメータ LIBR はロードプールにのみ許可されます。ロードプールの定義には、パラメータ TYPE は許可されません。
[対処]	プール定義を修正します。

CMP0022 - ライブラリが定義されています、"NAME" のオペランドが 8 文字を超えています

[説明]	共通メモリプールにロードされるモジュールの名前は 8 文字を超えることはできません。
[対処]	キーワードパラメータ NAME のオペランドを修正します。

CMP0023 - Natural バッファプールの名前が 8 文字を超えています

[説明]	Natural バッファプールの名前 (TYPE=NAT) は 8 文字を超えることはできません。
[対処]	キーワードパラメータ NAME のオペランドを修正します。

CMP0024 - "PFIY=YES" を定義する場合、パラメータ "ADDR" のオペランドも定義する必要があります

[説明]	共通メモリプールのアドレスを固定する場合、キーワードパラメータ ADDR のオペランドを定義する必要があります。
[対処]	キーワードパラメータ ADDR のオペランドを定義します。

CMP0025 - パラメータ "TYPE" または "LIBR" の 1 つのオペランドが見当たりません

[説明]	ロードプールには、パラメータ LIBR が必要であり、他のすべてのプールに、パラメータ TYPE の定義が行われる必要があります。
[対処]	プール定義を修正します。

CMP0026 - "DESA=YES" を定義する場合、パラメータ "DATA=" も定義する必要があります

[説明]	ESA データスペースを割り当てる場合、データスペースのサイズを定義する必要があります。
[対処]	キーワードパラメータ DATA のオペランドを定義します。

CMP0027 - ESA データスペース要求で、パラメータ "LIBR" は定義できません

[説明]	ロードプール（パラメータ LIBR が定義されています）には、ESA データスペースの要求は拒否されます。逆の場合も同様です。
[対処]	プール定義を修正します。

CMP0028 - マクロ "ASHARE" を使用する場合、"PFI=YES" を定義する必要があります

[説明]	モジュールをマクロ ASHARE でロードプールにロードする場合（LOAD=ASHARE）、"PFI=YES" を定義する必要があります。
[対処]	キーワードパラメータ PFI のオペランドを修正します。

CMP0029 - CMPSTART は BS2000 バージョン 10.0 以上でのみ実行します

[説明]	10.0 未満のバージョンの BS2000/OSD で、CMSTART は実行できません。
[対処]	なし

CMP0030 - オペレータ要求のエラー、コマンドが見つかりません

[説明]	オペレータ要求のコマンドが無効です。
[対処]	有効なコマンドで要求を再試行します。

CMP0031 - ジョブ変数名：マクロ名のエラー、R15=nn

[説明]	ジョブ変数の実行中に、マクロ <i>name</i> からエラーが発生しました。R15 にエラー番号が含まれます。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

152 Natural グローバルバッファプールマネージャの メッセージ

- Natural グローバルバッファプールマネージャ構文エラーメッセージ 1114
- Natural グローバルバッファプールマネージャランタイムメッセージ 1115
- Natural グローバルバッファプールマネージャドライバのメッセージ 1117

このセクションでは、z/OS および z/VSE 環境下の Natural グローバルバッファプールマネージャにより発行される情報およびエラーメッセージについて説明します。

すべてのメッセージのフォーマットは次のとおりです。

```
GBPnnnn xxxxxxxx: message text
```

ここで、*nnnn* と *xxxxxxx* は、Natural グローバルバッファプールが実行されている環境でのそれぞれメッセージ番号とジョブ名です。使いやすくするために、ジョブ名メッセージの部分は次のメッセージのリストでは省略されています。斜体の表記はメッセージの変数の部分を示します。

以下では次のトピックについて説明します。

Natural グローバルバッファプールマネージャ構文エラーメッセージ

Natural グローバルバッファプールマネージャ構文エラーメッセージは、明白で、説明不要なメッセージです。*xxxx* は無効なコマンドまたはパラメータです。適切なコマンドおよびパラメータ構文については、Natural の『オペレーション』ドキュメントを参照してください。

メッセージ番号	メッセージテキスト
GBP0001	無効なコマンド： <i>xxxx</i>
GBP0002	複数のコマンドが指定されています
GBP0003	無効なパラメータキーワード： <i>xxxx</i>
GBP0004	バッファプール名パラメータが見当たりません
GBP0005	無効なバッファプール名： <i>xxxx</i>
GBP0006	NATBUFFER に左カッコがありません
GBP0007	NATBUFFER に右カッコがありません
GBP0008	バッファプールサイズが数値ではありません： <i>xxxx</i>
GBP0009	バッファプールサイズが 100K 未満です： <i>xxxx</i>
GBP0010	バッファプールサイズが大きすぎます： <i>xxxx</i>
GBP0011	無効なモードが指定されています： <i>xxxx</i>
GBP0012	テキストブロックサイズが数値ではありません： <i>xxxx</i>
GBP0013	テキストブロックサイズは、 <i>xxxx</i> ではなく、1、2、4、8、12 または 16 である必要があります
GBP0014	無効なバッファプールタイプ： <i>xxxx</i>
GBP0015	無効なプリロードリスト名： <i>xxxx</i>

GBP0016	無効なサブシステム ID：xxxx
GBP0017	アイドル時間が数値ではありません：xxxx
GBP0018	アイドル時間が有効な範囲外にあります：xxxx
GBP0019	バッファプールキャッシュサイズが数値ではありません：xxxx
GBP0020	バッファプールキャッシュサイズが有効な範囲外にあります：xxxx
GBP0021	RESIDENT は、xxxx ではなく、Y または N または A である必要があります
GBP0022	METHOD は、xxxx ではなく、S または N である必要があります
GBP0023	CONFIRM は、xxxx ではなく、Y または N である必要があります
GBP0024	PLUGIN は、xxxx ではなく、BP または NOBP である必要があります
GBP0025	REGISTER は、xxxx ではなく、Y または N である必要があります

Natural グローバルバッファプールマネージャランタイムメッセージ

メッセージ番号	メッセージテキスト
GBP0000	xxxx (メッセージの変数の部分だけで構成されるダミーメッセージ)
GBP0099	メッセージテキストモジュールが見当たらないか無効です：pgm-name
GBP0100	パラメータが指定されていません
GBP0101	指定されたパラメータ：xxxx
GBP0102	オペレータ入力：xxxx
GBP0103	ファイルからの入力：xxxx
GBP0104	必須モジュールが見当たらないか無効です：pgm-name
GBP0105	ストレージを取得できません：xxxx
GBP0106	FREEMAIN は成功しませんでした
GBP0107	名前/トークンサービスの失敗：error-info
GBP0108	バッファプールマネージャモジュールが矛盾しています：pgm-name
GBP0109	プールの割り当てまたは割り当て解除の失敗：error-info
GBP0110	GBP がアクティブではありません：gbp-name/subsid
GBP0111	GBP がアクティブです：gbp-name/subsid - DIR=dir-addr ADDR=gbp-addr
GBP0112	GBP が更新されました：gbp-name/subsid - DIR=dir-addr ADDR=gbp-addr
GBP0113	GBP が停止しました：gbp-name/subsid - DIR=dir-addr ADDR=gbp-addr
GBP0114	GBP がすでにアクティブです：gbp-name/subsid - DIR=dir-addr ADDR=gbp-addr
GBP0115	GBP がまだ使用中です：gbp-name/subsid - DIR=dir-addr ADDR=gbp-addr
GBP0116	関連付けられた GBP が失われました gbp-name/subsid
GBP0117	GBP gbp-name/subsid にシャットダウンが強制されました

Natural グローバルバッファプールマネージャのメッセージ

GBP0118	GBP <i>gbp-name/subsid</i> のシャットダウンを強制するには Y を応答します
GBP0119	シャットダウンが中止されました、応答は x です
GBP0120	GBP 用のキャッシュの作成: <i>gbp-name/subsid</i>
GBP0121	GBP 用のキャッシュの削除: <i>gbp-name/subsid</i>
GBP0122	GBP キャッシュ作成の失敗: <i>error-info</i>
GBP0123	GBP キャッシュ削除の失敗: <i>error-info</i>
GBP0124	GBP キャッシュが作成されました: <i>cache-name,cache-token,cache-ALET</i>
GBP0125	GBP キャッシュが削除されました: <i>cache-name,cache-token,cache-ALET</i>
GBP0126	ALET スタックのオーバーフロー。 GBP キャッシュを作成できません
GBP0127	キャッシュが GBP 用にすでに存在します: <i>gbp-name/subsid</i>
GBP0128	GBP 用に使用可能なキャッシュがありません: <i>gbp-name/subsid</i>
GBP0129	GBP キャッシュがジョブ <i>job-name</i> によって所有されていません
GBP0130	SUBSID 用に使用可能なグローバルバッファプールがありません: <i>subsid</i>
GBP0131	SUBSID のすべてのグローバルバッファプールのリスト: <i>subsid</i>
GBP0132	BP-Name/SUBSID サイズ (KB) A (GBP) A (DIR) ALET キャッシュサイズ キャッシュオーナー
GBP0133	次のグローバルバッファプールをシャットダウンします
GBP0134	グローバルバッファプールのシャットダウンを継続するには Y を応答します
GBP0135	選択条件に一致するグローバルバッファプールがありません
GBP0136	ジョブが GBP キャッシュを所有していません
GBP0137	GBP キャッシュがジョブ <i>job-name</i> によって所有されていません
GBP0138	データスペースキャッシュは ESA 以外の環境ではサポートされません
GBP0140	GBP キャッシュの所有のため RESIDENT=N が無視されました:
GBP0141	GBP キャッシュの所有のため TERMINATE が中止されました:
GBP0145	グローバルパラメータ設定: <i>xxxx</i>
GBP0150	フォーマットされたダンプ
GBP0151	GBP <i>gbp-name/subsid</i> 用のフォーマットされたダンプ
GBP0154	グローバルバッファプールマネージャが操作不能です
GBP0158	NATBPMG4 からの不適切な Retcode、機能 REINIT: <i>rtc</i>
GBP0159	NATBPMG4 からの不適切な Retcode、機能 INIT: <i>rtc</i>
GBP0197	適用される Zap がありません
GBP0198	適用される Zap:
GBP0199	Natural グローバルバッファプールマネージャのバージョン: <i>xxxx</i>

*Error-info*フォーマットは次のとおりです。失敗した機能 (マクロ)、サブ機能、要求のリターン (RC) またはキャンセルコード (CC)、要求失敗の理由コード。

関連する IBM 要求マクロのリターンコードまたはアベンドコードの説明については、関連する IBM ドキュメントを参照してください。

Natural グローバルバッファプールマネージャドライバのメッセージ

次のメッセージは、Natural グローバルバッファプールマネージャのオペレーティングシステム別のドライバモジュールによって発行されます。

メッセージ番号	メッセージテキスト
GBP0200	指定されたファイルは存在しません： <i>file-name</i>
GBP0201	ファイル <i>file-name</i> からパラメータ入力を読み込み中
GBP0202	ファイル <i>file-name</i> を読み込むときに EOF が発生しました
GBP0203	ファイル <i>file-name</i> の読み込み中にエラー
GBP0204	サブシステムストレージ保護機能が必要です
GBP0205	不十分な認証： <i>error-info</i>
GBP0206	ジョブがオペレータによりキャンセルされました
GBP0207	回復不可能なアベンド <i>abend-code</i> のためにジョブがキャンセルされました

次のメッセージは、Natural グローバルバッファプールマネージャの z/OS ドライバモジュールによって発行されます。

メッセージ番号	メッセージテキスト
GBP0300	z/OS が必要です
GBP0301	MODIFY または STOP コマンドのみが許可されます
GBP0302	オペレータから STOP コマンドを受け取りました

次のメッセージは、Natural グローバルバッファプールマネージャの z/VSE ドライバモジュールによって発行されます。

メッセージ番号	メッセージテキスト
GBP0400	VSE/ESA 2.4 以上が必要です
GBP0401	通信の準備ができています
GBP0402	オペレータから受け取った入力がありません
GBP0403	JCL オーバーランのためにジョブがキャンセルされました

153 ロールサーバーメッセージ

■ RSM0001 - サブシステム ID が無効です	1122
■ RSM0002 - ロールファイル番号が数値ではありません	1122
■ RSM0003 - 無効な数のロールファイル	1122
■ RSM0004 - LRB スロットの数が指定されていません	1122
■ RSM0005 - LRB スロットの数が数値ではありません	1123
■ RSM0006 - LRB スロットの数 > 32767	1123
■ RSM0007 - 無効な CF 構造名	1123
■ RSM0008 - IEANTRT からの不適切なリターンコード：rc	1123
■ RSM0009 - DCB バッファを取得できませんでした。理由：reasoncode	1123
■ RSM0010 - DDNAME の OPEN に失敗しました：ddname	1124
■ RSM0011 - 重複したロールファイル DSN	1124
■ RSM0012 - 一時ロールファイルバッファを取得できませんでした。理由：reasoncode	1124
■ RSM0013 - RF ディレクトリバッファを取得できませんでした。理由：reasoncode	1124
■ RSM0014 - LRB ディレクトリを取得できませんでした。理由：reasoncode	1125
■ RSM0015 - データスペースの作成に失敗しました。理由：reasoncode	1125
■ RSM0016 - ALESERV ADD が失敗しました。理由：reasoncode	1125
■ RSM0017 - LRB のサイズ > 524287 ブロック	1125
■ RSM0018 - LX テーブルを取得できませんでした。理由：reasoncode	1126
■ RSM0019 - ロールサーバーバージョン 42x がアクティブです	1126
■ RSM0020 - サブタスクが終了しました：taskname rc	1126
■ RSM0021 - サブタスク終了が開始されました	1126
■ RSM0022 - すべてのサブタスクが終了しました	1126
■ RSM0023 - MODIFY または STOP 以外のコマンドを受け取りました	1127
■ RSM0024 - トレースがアクティブにされました	1127
■ RSM0025 - トレースを停止しました	1127
■ RSM0026 - コマンドはアクティブな状態でのみ許可されます：command	1127
■ RSM0027 - 不明なコマンド command	1127
■ RSM0028 - すでに割り当て解除されています	1128
■ RSM0029 - メインタスク内の反復的なアベンド。CANCEL コマンドを待機中	1128
■ RSM0030 - 最低値が数値でないか無効です	1128
■ RSM0031 - 最高値が数値でないか無効です	1128
■ RSM0032 - ワークバッファを取得できませんでした：reasoncode	1129

■ RSM0033 - すべてのリソースが割り当て解除されました	1129
■ RSM0034 - START は割り当て解除の状態でのみ許可されます	1129
■ RSM0035 - START パラメータが見当たりません	1129
■ RSM0036 - DUMP がロールファイル n に成功しました	1129
■ RSM0037 - DUMP がロールファイル n に失敗しました	1130
■ RSM0038 - SNAP が失敗しました。タスク RB を取得できませんでした	1130
■ RSM0039 - XES 機能が使用可能ではありません	1130
■ RSM0040 - IXLCONN に失敗しました。理由コード：reasoncode	1130
■ RSM0041 - CF 初期化が次のリストで成功しました：n	1131
■ RSM0042 - CF 初期化が次のリスト／RSN コードで失敗しました：reasoncode	1131
■ RSM0043 - IXCJOIN が失敗しました。リターン／理由コード：reasoncode	1131
■ RSM0044 - Act conn バッファを取得できませんでした	1132
■ RSM0045 - 適用された Zap：	1132
■ RSM0046 - ロールファイルはジョブ jobname ASID asid により使用中です	1132
■ RSM0047 - オペレータコマンド：command	1132
■ RSM0048 - IARV64 GETSTOR が失敗しました。リターンコード：rc	1133
■ RSM0049 - RSN=FAILURE で CF から切断されました	1133
■ RSM0050 - RSN=NORMAL で CF から切断されました	1133
■ RSM0051 - ロールファイル n は CF 構造より新しい状態です	1133
■ RSM0052 - IARV64 GETSTOR 用のストレージが十分ではありません - MEMLIMIT を増やしま す	1134
■ RSM0053 - SNAP に十分なメモリではありません	1134
■ RSM0054 - SYSUDUMP の OPEN に失敗しました	1134
■ RSM0055 - CF 構造に十分なリストが含まれません	1134
■ RSM0056 - LRB スロットサイズが無効か、数値ではありません	1135
■ RSM0057 - IEANTCR からの不適切なリターンコード：rc	1135
■ RSM0058 - ロールサーバーが subsid ですすでにアクティブです：ジョブ jobname ASID asid	1135
■ RSM0059 - ロールファイル dname がバージョン 412 未満です	1135
■ RSM0060 - ユーザー出口がロードされました：NATRSU14	1136
■ RSM0061 - ロールファイルが使用されていない場合はスロットサイズを指定する必要があ ります	1136
■ RSM0062 - インコアロールファイルで実行中	1136
■ RSM0063 - カップリング機能は使用されません	1136
■ RSM0064 - 最高／最低値が無視されました	1137
■ RSM0065 - XES イベント出口が予期しないイベントタイプを受け取りました：nn	1137
■ RSM0066 - REBUILD の開始：CF 構造は一時的に使用できません	1137
■ RSM0067 - REBUILD の終了：CF 構造が再度使用可能です	1137
■ RSM0068 - LRB スロットサイズパラメータが無視されました	1138
■ RSM0069 - 無効な非アクティビティタイム	1138
■ RSM0070 - 無効なタイムアウトチェック時間	1138
■ RSM0071 - タイムアウトチェック時間が非アクティビティタイムなしで指定されていま す	1138
■ RSM0072 - タイムアウト処理の開始中	1139
■ RSM0073 - タイムアウト処理が n セッションを削除しました	1139
■ RSM0074 - タイムアウト処理がリターンコード rc で終了しました	1139

■ RSM0075 - TIMEOUT ON/NOW が拒否されました：有効なタイムアウトパラメータがありません	1139
■ RSM0076 - タイムアウト処理が無効にされました	1140
■ RSM0077 - 無効な TIMEOUT パラメータ。NAT、NOW、ON、OFF、TOC、または?を指定してください	1140
■ RSM0119 - 有効なロールサーバー設定：	1140
■ RSM0190 - +++++ 診断の開始 +++++	1140
■ RSM0190 - +++++ 診断の終了 +++++	1141

このセクションでは、Naturalロールサーバーにより発行される場合があるメッセージについて説明します。Naturalシステムメッセージとは異なり、これらのメッセージおよびコードの長い説明テキストは、このドキュメントだけで提供されます。オンラインでは提供されません。

RSM0001 - サブシステム ID が無効です

[説明]	4文字を超えるサブシステム ID が指定されました。
[対処]	1~4文字のサブシステム ID を指定します。

RSM0002 - ロールファイル番号が数値ではありません

[説明]	2番目のパラメータが数値ではありません。
[対処]	有効な番号を指定します。

RSM0003 - 無効な数のロールファイル

[説明]	5を超える数が指定されました。
[対処]	0~5の範囲の数を指定します。

RSM0004 - LRB スロットの数が指定されていません

[説明]	3番目のパラメータが省略されました。
[対処]	これは必須のパラメータです。有効な数を指定します。

RSM0005 - LRB スロットの数が数値ではありません

[説明]	3 番目のパラメータが数値ではありません。
[対処]	有効な数を指定します。

RSM0006 - LRB スロットの数 > 32767

[説明]	指定した LRB スロットの数が大きすぎます。
[対処]	最大で 32767 個の LRB スロットを指定します。

RSM0007 - 無効な CF 構造名

[説明]	16 文字を超える構造名が指定されました。
[対処]	16 文字以下の構造名を指定します。

RSM0008 - IEANTRT からの不適切なリターンコード：rc

[説明]	名前/トークンサービスがリターンコード <i>rc</i> を返しました。
[対処]	IEANTRT 要求からのリターンコードに関する情報については、IBM の最新の『 <i>MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference</i> 』マニュアルを参照してください。

RSM0009 - DCB バッファを取得できませんでした。理由：reasoncode

[説明]	STORAGE OBTAIN 要求が <i>reasoncode</i> で失敗しました。
[対処]	ロールサーバーに使用可能な仮想ストレージを増やします。(JCL EXEC ステートメントの REGION オプション。)

RSM0010 - DDNAME の OPEN に失敗しました：ddname

[説明]	DDNAME <i>ddname</i> で指定されたロールファイルを開けませんでした。
[対処]	有効なロールファイル DSN を指定します。

RSM0011 - 重複したロールファイル DSN

[説明]	2つのロールファイル DDNAMES に同じ DSN が指定されました。
[対処]	各ロールファイルに一意の DSN を指定します。

RSM0012 - 一時ロールファイルバッファを取得できませんでした。 理由：reasoncode

[説明]	STORAGE OBTAIN 要求が <i>reasoncode</i> で失敗しました。
[対処]	ロールサーバーに使用可能な仮想ストレージを増やします。（JCL EXEC ステートメントの REGION オプション。）

RSM0013 - RF ディレクトリバッファを取得できませんでした。理 由：reasoncode

[説明]	STORAGE OBTAIN 要求が <i>reasoncode</i> で失敗しました。
[対処]	ロールサーバーに使用可能な仮想ストレージを増やします。（JCL EXEC ステートメントの REGION オプション。）

RSM0014 - LRB ディレクトリを取得できませんでした。理由： reasoncode

[説明]	STORAGE OBTAIN 要求が <i>reasoncode</i> で失敗しました。
[対処]	ロールサーバーに使用可能な仮想ストレージを増やします。(JCL EXEC ステートメントの REGION オプション。)

RSM0015- データスペースの作成に失敗しました。理由：reasoncode

[説明]	DSPSERV マクロが理由コード <i>reasoncode</i> を返しました。
[対処]	DSPSERV CREATE 要求からの理由コードに関する情報については、IBM の最新の『 <i>MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference</i> 』マニュアルを参照してください。

RSM0016 - ALESERV ADD が失敗しました。理由：reasoncode

[説明]	DSPSERV マクロが理由コード <i>reasoncode</i> を返しました。
[対処]	ALESERV ADD 要求からの理由コードに関する情報については、IBM の最新の『 <i>MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference</i> 』マニュアルを参照してください。

RSM0017 - LRB のサイズ > 524287 ブロック

[説明]	LRB スロット数に LRB スロットサイズを掛けた値が 2 GB を超えています。
[対処]	LRB スロット数を少なく指定するか、小さいスロットサイズを指定します。

RSM0018 - LX テーブルを取得できませんでした。理由：reasoncode

[説明]	STORAGE OBTAIN 要求が <i>reasoncode</i> で失敗しました。
[対処]	ロールサーバーに使用可能な仮想ストレージを増やします。(JCL EXEC ステートメントの REGION オプション。)

RSM0019 - ロールサーバーバージョン 42x がアクティブです

[説明]	ロールサーバーが正常に初期化され、準備が整いました。
[対処]	なし

RSM0020 - サブタスクが終了しました：taskname rc

[説明]	<i>taskname</i> で示されるサブタスクが終了しました。リターンコードがゼロでない場合、リターンコードが <i>rc</i> で示されます。
[対処]	ゼロ以外の <i>rc</i> がレポートされたら、Software AG に連絡してください。

RSM0021 - サブタスク終了が開始されました

[説明]	TERM または DEAL オペレータコマンドに応じて、ロールサーバーがサブタスクの終了を開始しました。
[対処]	なし

RSM0022 - すべてのサブタスクが終了しました

[説明]	TERM または DEAL オペレータコマンドに応じて、サブタスクを終了するプロセスが終了しました。
[対処]	なし

RSM0023 - MODIFY または STOP 以外のコマンドを受け取りました

[説明]	ロールサーバーが MODIFY または STOP 以外の CIBVERB を受け取りました。
[対処]	Software AG にお問い合わせください。

RSM0024 - トレースがアクティブにされました

[説明]	TRSTART オペレータコマンドに応じて、内部トレース機能が開始されます。
[対処]	なし

RSM0025 - トレースを停止しました

[説明]	TRSTOP オペレータコマンドに応じて、内部トレース機能が停止されます。
[対処]	なし

RSM0026 - コマンドはアクティブな状態でのみ許可されます： command

[説明]	DEALlocated の状態では、ロールサーバーはオペレータコマンド <i>command</i> を受け取れません。
[対処]	START オペレータコマンドを発行して、拒否されたコマンドを繰り返します。

RSM0027 - 不明なコマンド command

[説明]	無効なオペレータコマンドがロールサーバーに発行されました。
[対処]	入力ミスをチェックして、修正します。

RSM0028 - すでに割り当て解除されています

[説明]	ロールサーバーがすでに割り当て解除の状態のときに、オペレータコマンド DEALlocate が発行されました。
[対処]	なし

RSM0029 - メインタスク内の反復的なアベンド。CANCEL コマンドを待機中

[説明]	アベンドリカバリ中に、アベンドが発生しました。
[対処]	ロールサーバーにより開始されたタスクをキャンセルして、Software AG に連絡してください。

RSM0030 - 最低値が数値でないか無効です

[説明]	6 番目のパラメータが数値でないか、10 を超えています。
[対処]	最低値を 0～10 の間で指定します。

RSM0031 - 最高値が数値でないか無効です

[説明]	7 番目のパラメータが数値でないか、10 を超えています。
[対処]	最高値を 0～10 の間で指定します。

RSM0032 - ワークバッファを取得できませんでした：reasoncode

[説明]	STORAGE OBTAIN 要求が <i>reasoncode</i> で失敗しました。
[対処]	ロールサーバーに使用可能な仮想ストレージを増やします。(JCL EXEC ステートメントの REGION オプション。)

RSM0033 - すべてのリソースが割り当て解除されました

[説明]	DEALlocate オペレータコマンドに応じて、ロールサーバーが割り当て解除の状態になりました。
[対処]	なし

RSM0034 - START は割り当て解除の状態でのみ許可されます

[説明]	ロールサーバーがアクティブな状態のときに、START オペレータコマンドが発行されました。
[対処]	START コマンドを発行する前に DEALlocate コマンドを発行します。

RSM0035 - START パラメータが見当たりません

[説明]	START オペレータコマンドが不十分なパラメータで発行されました。
[対処]	START コマンドを修正し、再発行します。

RSM0036 - DUMP がロールファイル *n* に成功しました

[説明]	ローカルロールバッファのロットとロールファイルディレクトリが正常にディスクのロールファイル <i>n</i> に書き込まれました。
[対処]	なし

RSM0037 - DUMP がロールファイル *n* に失敗しました

[説明]	ロールサーバーがスロットとディレクトリをロールファイル <i>n</i> に書き込めませんでした。
[対処]	付加されているメッセージに正常なダンプを妨げているエラー状況が示されているかどうかを確認します。

RSM0038 - SNAP が失敗しました。タスク RB を取得できませんでした

[説明]	STORAGE OBTAIN 要求が失敗しました。
[対処]	ロールサーバーに使用可能な仮想ストレージを増やします。(JCL EXEC ステートメントの REGION オプション。)

RSM0039 - XES 機能が使用可能ではありません

[説明]	環境エラー。XES 機能が使用可能ではありません。このエラーは、XES 機能を使用するのに必要なカップリング機能ハードウェアがないために発生します。
[対処]	システムに対し再度 IPL を実行するか、IBM に連絡してください。

RSM0040 - IXLCONN に失敗しました。理由コード：reasoncode

[説明]	5 番目のパラメータとして指定されたカップリング機能構造への接続を確立できませんでした。
[対処]	『z/OS Programming: Sysplex Services Reference』で理由コードの意味を確認し、示された対処を実行します。

RSM0041 - CF 初期化が次のリストで成功しました：n

[説明]	ロールファイル <i>n</i> のロールファイルディレクトリが 5 番目のパラメータとして指定されたリスト構造で確立されました。
[対処]	なし

RSM0042 - CF 初期化が次のリスト／RSN コードで失敗しました： reasoncode

[説明]	ロールファイル <i>n</i> のロールファイルディレクトリを 5 番目のパラメータとして指定されたリスト構造で確立できませんでした。理由コードは次のとおりです。	
	12	STORAGE OBTAIN が失敗しました。
	16	初期化中にアベンドが発生しました。
	20	割り当てられた構造がロールファイルディレクトリを維持するには小さすぎます。
	24	構造の失敗または接続が失われました。
[対処]	理由コード 12 の場合：	ロールサーバーに使用可能な仮想ストレージを増やします。 (JCL EXEC ステートメントの REGION オプション。)
	理由コード 16 の場合：	Software AG にお問い合わせください。
	理由コード 20 の場合：	CFRM ポリシーで CF 構造にサイズを増やして定義します。
	理由コード 24 の場合：	オペレータコマンド SETXCF FORCE,STR,STRNAME= <i>name</i> を使用して構造をリセットします。エラーが解決しない場合は、IBM に連絡してください。

RSM0043 - IXCJOIN が失敗しました。リターン／理由コード： reasoncode

[説明]	ロールサーバーが IXC メッセージグループを結合できませんでした。
[対処]	『z/OS プログラミング：Sysplex Services Reference』で理由コードの意味を確認し、示された対処を実行します。

RSM0044 - Act conn バッファを取得できませんでした

[説明]	STORAGE OBTAIN 要求が失敗しました。
[対処]	ロールサーバーに使用可能な仮想ストレージを増やします。(JCL EXEC ステートメントの REGION オプション。)

RSM0045 - 適用された Zap :

[説明]	Zapがロールサーバーに適用されると、このメッセージが発行され、その後に適用されたZapのリストが表示されます。
[対処]	なし

RSM0046 - ロールファイルはジョブ jobname ASID asid により使用中です

[説明]	別のロールサーバーがロールファイルを使用中であるため、ロールサーバーを開始できません。他のロールサーバーが、名前が <i>jobname</i> 、アドレススペースが <i>asid</i> のジョブまたは開始タスクで実行されています。メッセージの後にロールファイルの DSN が表示されます。
[対処]	すべてのロールサーバーが専用のロールファイルを使用していることを確認します。

RSM0047 - オペレータコマンド : command

[説明]	ロールサーバーがオペレータコマンドを JESMSG LG に反映します。
[対処]	なし

RSM0048 - IARV64 GETSTOR が失敗しました。 リターンコード：rc

[説明]	ロールサーバーはローカルロールバッファのメモリオブジェクトを使用します。メモリオブジェクトは IARV64 サービスを使用して取得されます。GETSTOR 機能が失敗しました。
[対処]	IBM の最新の『 <i>MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference</i> 』マニュアルの IARV64 の説明で、対処を確認します。

RSM0049 - RSN=FAILURE で CF から切断されました

[説明]	ロールサーバーが、失敗による終了を、参加している他のロールサーバーに通知するために、パラメータ REASON=FAILURE でカップリング機能構造から切断されました。
[対処]	なし

RSM0050 - RSN=NORMAL で CF から切断されました

[説明]	ロールサーバーが、正常終了を、参加している他のロールサーバーに通知するために、パラメータ REASON=NORMAL で、カップリング機能構造から切断されました。
[対処]	なし

RSM0051 - ロールファイル n は CF 構造より新しい状態です

[説明]	ロールファイルが新しくフォーマットされましたが、カップリング機能構造にはそのロールファイルディレクトリがまだ含まれます。
[対処]	ロールファイルをフォーマットした後、オペレータコマンド SETXCF FORCE,STR,STRNAME= <i>name</i> を使用して、CF 構造を再度初期化します。

RSM0052 - IARV64 GETSTOR 用のストレージが十分ではありません - MEMLIMIT を増やします

[説明]	ローカルロールバッファを保持するのに十分なメモリをメモリオブジェクトで割り当てることができません。アロケート可能な量は、JCL EXEC ステートメントの MEMLIMIT パラメータおよび SMF 出口 IEFUSI でコントロールされます。
[対処]	MEMLIMIT パラメータで使用可能なストレージの量を増やすか、IEFUSI 出口を変更します。

RSM0053 - SNAP に十分なメモリではありません

[説明]	STORAGE OBTAIN 要求が失敗したため、SNAP ダンプを取得できませんでした。
[対処]	ロールサーバーに使用可能な仮想ストレージを増やします。(JCL EXEC ステートメントの REGION オプション。)

RSM0054 - SYSUDUMP の OPEN に失敗しました

[説明]	SYSUDUMP を開くことができなかつたため、SNAP ダンプを取得できませんでした。
[対処]	ロールサーバーのジョブまたは開始タスクに SYSUDUMP の DD ステートメントが含まれていることを確認します。

RSM0055 - CF 構造に十分なリストが含まれません

[説明]	各ロールファイルに関して、ロールサーバーは、CF 構造の個別のリストでディレクトリを維持します。 既存の構造に含まれるリストの数が使用されるロールファイルの数を下回っています。
[対処]	次のオペレータコマンドを使用して、CF 構造を再度初期化します。 SETXCF FORCE,STR,STRNAME=name、または使用するロールファイルの数を減らします。

RSM0056 - LRB スロットサイズが無効か、数値ではありません

[説明]	4 番目のパラメータが数値でないか、10000000 を超えています。
[対処]	入力ミスを修正するか、LRB スロットサイズに少ない数を指定します。

RSM0057 - IEANTCR からの不適切なリターンコード：rc

[説明]	名前／トークンサービスがリターンコード rc でリクエストの作成を拒否しました。
[対処]	IBM の最新の『 <i>MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference</i> 』マニュアルで、IEANTCR の説明から対処を確認します。

RSM0058 - ロールサーバーが subsid ですすでにアクティブです：ジョブ jobname ASID asid

[説明]	ロールサーバーが、最初のパラメータ、subsid で指定された Natural サブシステムで、別のロールサーバーがすでにアクティブであることを検出しました。他のロールサーバーが、名前が <i>jobname</i> 、アドレススペースが <i>asid</i> のジョブまたは開始タスクで実行されています。
[対処]	各 MVS イメージの Natural サブシステムごとに 1 つのロールサーバーのみを開始します。

RSM0059 - ロールファイル ddname がバージョン 412 未満です

[説明]	<i>ddname</i> で指定されたロールファイルに互換性のないフォーマットが含まれています。
[対処]	NATRSRFI を使用してロールファイルをフォーマットし直します。Natural の『オペレーション』ドキュメントの「Natural ロールサーバーの操作」を参照してください。

RSM0060 - ユーザー出口がロードされました：NATRSU14

[説明]	ユーザー出口 NATRSU14 がロードされ、ユーザーをロールファイルにアロケートするために呼び出されます。
[対処]	なし

RSM0061 - ロールファイルが使用されていない場合はスロットサイズを指定する必要があります

[説明]	ロールファイルを使用せずに実行すると、LRB スロットサイズのデフォルト値を決定できません。
[対処]	LRB スロットサイズを 4 番目のパラメータとして指定します。

RSM0062 - インコアロールファイルで実行中

[説明]	ロールファイルの数について 2 番目のパラメータに 0 が指定されています。Natural スレッドはローカルロールバッファスロットでのみ保持され、ロールサーバーが終了するときに失われます。
[対処]	なし

RSM0063 - カップリング機能は使用されません

[説明]	ロールファイルの数について 2 番目のパラメータには 0 が指定されていますが、5 番目のパラメータには CF 構造が指定されています。Natural を並列シスプレックスの複数の MVS イメージで実行できるようにするためには、ロールサーバーがロールファイルを使用している必要があります。オペレーションはロールファイルなしで続行しますが、ロールサーバーは他の MVS イメージの他のロールサーバーと通信しません。
[対処]	並列シスプレックスでロールファイルを指定するか、ロールファイルがゼロの場合には CF 構造名を指定しないようにします。

RSM0064 - 最高／最低値が無視されました

[説明]	ロールファイルの数について 2 番目のパラメータに 0 が指定されていますが、最低値または最高値も指定されています。ロールファイルがない場合、最低値または最高値は無意味です。オペレーションは継続します。
[対処]	ロールファイルがゼロの場合には、最低値または最高値は指定しないようにします。

RSM0065 - XES イベント出口が予期しないイベントタイプを受け取りました：nn

[説明]	CF 構造への接続の出口が処理できないイベントタイプを受け取りました。nn は、イベントタイプに対応する番号です。
[対処]	Software AG サポートに連絡してください。

RSM0066 - REBUILD の開始：CF 構造は一時的に使用できません

[説明]	オペレータコマンド SETXCF START,REBUILD... がロールファイルディレクトリを保持するカップリング機能構造に発行されました。Rebuild のオペレーションが完了するまで、ロールサーバーオペレーションが停止します。
[対処]	なし

RSM0067 - REBUILD の終了：CF 構造が再度使用可能です

[説明]	オペレータコマンド SETXCF START,REBUILD... がロールファイルディレクトリを保持するカップリング機能構造に発行されました。Rebuild が完了し、ロールサーバーが通常のオペレーションを再開します。
[対処]	なし

RSM0068 - LRB スロットサイズパラメータが無視されました

[説明]	ロールファイルで実行する場合、ロールファイルのスロットサイズが LRB スロットサイズを決定します。
[対処]	このパラメータは、ロールファイルなしで実行するときのみ指定します。

RSM0069 - 無効な非アクティビティタイム

[説明]	8 番目の起動パラメータまたは TIMEOUT NAT パラメータが数値ではないか、10000000 を超えています。
[対処]	有効な数を指定します。

RSM0070 - 無効なタイムアウトチェック時間

[説明]	9 番目の起動パラメータまたは TIMEOUT TOC パラメータが数値ではないか、有効な時刻ではありません。
[対処]	<i>h</i> 、 <i>hh</i> 、 <i>hmm</i> 、または <i>hhmm</i> の形式で有効な時間を指定します。

RSM0071 - タイムアウトチェック時間が非アクティビティタイムなしで指定されています

[説明]	有効な 8 番目のパラメータ（または、先行する TIMEOUT NAT <i>nnnn</i> コマンド）なしで、9 番目の起動パラメータまたは TIMEOUT TOC パラメータが指定されました。
[対処]	有効な非アクティビティタイムを起動パラメータとして指定するか、TIMEOUT TOC の前に TIMEOUT NAT <i>nnnn</i> コマンドを発行します。

RSM0072 - タイムアウト処理の開始中

[説明]	非アクティブなセッションを検出して削除するルーチンが実行中です。
[対処]	なし

RSM0073 - タイムアウト処理が n セッションを削除しました

[説明]	タイムアウトチェックが、起動パラメータとして、または、TIMEOUT NAT コマンドで指定された非アクティビティタイムを超えて非アクティブであった n セッションを検出し、削除しました。
[対処]	なし

RSM0074 - タイムアウト処理がリターンコード rc で終了しました

[説明]	非アクティブなセッションを検出して削除するルーチンがリターンコード rc で終了しました。リターンコード 12 の場合、 rc は rc/rsn の形式になります。ここで、 rsn は理由コードです。
[対処]	リターンコード、理由コードおよび実行する対処の説明については、「 ロールサーバー要求のリターンコードおよび理由コード 」を参照してください。

RSM0075 - TIMEOUT ON/NOW が拒否されました：有効なタイムアウトパラメータがありません

[説明]	このコマンドが発行される前に、有効な非アクティビティタイムか有効なタイムアウトチェック時間またはこの両方が指定されていません。
[対処]	TIMEOUT ON の場合、非アクティビティタイムおよび有効なタイムアウトチェック時間を起動パラメータとして指定するか、このコマンドの前に TIMEOUT NAT および TIMEOUT TOC コマンドを指定します。TIMEOUT NOW の場合、非アクティビティタイムを起動パラメータとして指定するか、このコマンドの前に TIMEOUT NAT を指定します。

RSM0076 - タイムアウト処理が無効にされました

[説明]	タイムアウト処理が TIMEOUT OFF コマンドにより無効にされました。
[対処]	なし

RSM0077 - 無効な TIMEOUT パラメータ。 NAT、NOW、ON、OFF、TOC、または ? を指定してください

[説明]	TIMEOUT オペレータコマンドが無効なサブパラメータで発行されました。
[対処]	有効な TIMEOUT コマンド構文については、『オペレーション』ドキュメントの「 <i>Natural</i> ロールサーバーの操作」を参照してください。

RSM0119 - 有効なロールサーバー設定：

[説明]	このメッセージはロールサーバーの起動時に発行されます。このメッセージの後に、さまざまなコンテンツから構成され、この実行に有効なパラメータを要約した複数の RSM0119 メッセージが表示されます。 選択された RSM0119 メッセージは、TIMEOUT オペレータコマンドに応じて発行されません。
[対処]	なし

RSM0190 - +++++ 診断の開始 +++++

[説明]	このメッセージは、DIAGNOSE オペレータコマンドに対応して発行されます。 このメッセージの後に、Software AG により提供される診断 Zap の性質に応じて、さまざまなテキストから構成される複数の RMS0190 メッセージが表示されます。
[対処]	診断 Zap で提供されるアドバイスに従います。

RSM0190 - +++++ 診断の終了 +++++

[説明]	このメッセージは、DIAGNOSE オペレータコマンドに対応して発行されます。このメッセージは、DIAGNOSE コマンドにより生成される出力の終了を示します。
[対処]	診断 Zap で提供されるアドバイスに従います。

154 ロールサーバー要求のリターンコードおよび理由コード

このセクションでは、ロールサーバー要求のリターンコードおよび理由コードについて説明します。Naturalシステムメッセージとは異なり、これらのメッセージおよびコードの長い説明テキストは、このドキュメントだけで提供されます。オンラインでは提供されません。

ロールサーバー要求を発行する TP インターフェイスは、失敗したロールサーバー要求により返された一部の理由コードを解釈し、特定のエラーメッセージを発行しますが、その他の理由コードは解釈されません。その他の理由コードは、より一般的なエラーメッセージテキストと一緒にレポートされます。

リターンコード：

10進	説明
0	正常終了。
4	ディスク I/O 終了を待ってください。
8	待ってから、この呼び出しを再開してください。
12	エラー、理由コードを参照してください。
16	異常終了。
20	反復的なアベンド。
28	ロールサーバーがアクティブではありません。
32	ワークエリアで GETMAIN が失敗しました。
36	要求ブロックは書き込み保護されています。

ロールサーバー要求のリターンコードおよび理由コード

リターンコード 12 とともに返された理由コード：

16 進	10 進	機能タイプ	説明
04	04	ALLOC	<p>ロールファイルがいっぱいです。</p> <p>対処：ロールファイルを増やして、再フォーマットします。</p> <p>注：ロールサーバーのドキュメントに記載されているロールファイルの再フォーマットに関する制約をよくお読みください。</p>
08	08	STATS 以外すべて	<p>ABEND がインターセプトされ、SNAP ダンプが取得されました。</p> <p>対処：Software AG サポートに連絡してください。</p>
0C	12	ALLOC	<p>ユーザー出口 NATRSU14 により返されたロールファイル番号が無効です。</p> <p>対処：ユーザー出口を修正します。</p>
10	16	FREE READ WRITE	<p>要求ブロックで要求者により渡されたロールファイル番号が無効です。</p> <p>考えられる理由：要求ブロックが、最後に正常に実行されたロールサーバー機能以降、上書きされています。</p> <p>対処：Software AG サポートに連絡してください。</p>
14	20	FREE READ WRITE	<p>要求ブロックで要求者により渡されたロールファイルスロットの数が無効です。</p> <p>考えられる理由：要求ブロックが、最後に正常に実行されたロールサーバー機能以降、上書きされています。</p> <p>対処：Software AG サポートに連絡してください。</p>
18	24	FREE READ WRITE	<p>要求ブロックで要求者により渡された ID を持つユーザー用に割り当てられたロールファイルスロットはありません。</p> <p>考えられる理由：要求ブロックが、最後に正常に実行されたロールサーバー機能以降、上書きされています。</p> <p>対処：Software AG サポートに連絡してください。</p>
1C	28	READ WRITE	<p>提示された (WRITE) または要求された (READ) 圧縮 Natural スレッドのサイズがゼロです。</p> <p>考えられる理由：要求ブロックが、最後に正常に実行されたロールサーバー機能以降、上書きされています。</p> <p>対処：Software AG サポートに連絡してください。</p>
20	32	READ WRITE	<p>圧縮 Natural スレッドのサイズが最大ロールファイルスロットを超えています。</p> <p>考えられる理由：</p>

ロールサーバー要求のリターンコードおよび理由コード

16進	10進	機能タイプ	説明
			<p>READ：要求ブロックが、最後に正常に実行されたロールサーバー機能以降、上書きされています。</p> <p>WRITE：圧縮Naturalスレッドがロールファイルスロットに収まらず、必要なオーバーフロースロットを割り当てる十分なフリースペースがロールファイルにありません。</p> <p>対処：ロールファイルを増やします。</p>
24	36	READ WRITE	<p>内部タスクコミュニケーション用に使用される内部コントロールブロックを割り当てるできませんでした。</p> <p>対処：ロールサーバーのアドレススペースに使用可能なスペース量を増やします。問題が解決しない場合は、Software AG サポートに連絡してください。</p>
28	40	READ WRITE	<p>非同期 READ/WRITE 要求用の中間バッファを割り当てるできませんでした。</p> <p>対処：ロールサーバーのアドレススペースに使用可能なスペース量を増やします。問題が解決しない場合は、Software AG サポートに連絡してください。</p>
2C	44	READ	<p>要求された圧縮 Natural スレッドのサイズが、先行する WRITE 要求で使用されるサイズと同じではありません。</p> <p>考えられる理由：要求ブロックが、最後に正常に実行されたロールサーバー機能以降、上書きされています。</p> <p>対処：Software AG サポートに連絡してください。</p>
30	48	READ WRITE	<p>ABEND がインターセプトされ、ロールサーバーのアドレススペースに SNAP ダンプが発行されました。</p> <p>対処：Software AG サポートに連絡してください。</p>
34	52	READ	<p>READ タスクが中間バッファを割り当てるできませんでした。</p> <p>対処：ロールサーバーのアドレススペースに使用可能なスペース量を増やします。問題が解決しない場合は、Software AG サポートに連絡してください。</p>
38	56	READ WRITE STATS	<p>Natural スレッドのアドレスが要求ブロックで指定されていません。</p> <p>考えられる理由：要求ブロックが、最後に正常に実行されたロールサーバー機能以降、上書きされています。</p> <p>対処：Software AG サポートに連絡してください。</p>
3C	60	FREE READ WRITE	<p>要求ブロック内のディレクトリエントリへのポインタが無効です。</p> <p>考えられる理由：要求ブロックが、最後に正常に実行されたロールサーバー機能以降、上書きされています。</p> <p>対処：Software AG サポートに連絡してください。</p>

ロールサーバー要求のリターンコードおよび理由コード

16進	10進	機能タイプ	説明
40	64	READ	<p>要求ブロックで指定されたロールサーバー init タイムスタンプがゼロです。</p> <p>考えられる理由：要求ブロックが、最後に正常に実行されたロールサーバー機能以降、上書きされています。</p> <p>対処：Software AG サポートに連絡してください。</p>
44	68	すべて	<p>Sysplex Services for Data Sharing (XES) が予期しない理由コードを返しました。XES 理由コードが要求反応エリア (ラベル RSPAXRNC) でロールサーバーにより返されました。</p> <p>対処：詳細な理由および提案される対処については、『シスプレックス・サービス解説書』を参照してください。理由がシステム定義によるものではない場合は、Software AG サポートに連絡してください。</p>
48	72	すべて	<p>カップリング機能への接続が失われました。</p> <p>考えられる理由：ハードウェアまたはシステムソフトウェアの問題。</p> <p>対処：z/OS システム管理者に連絡してください。</p>
4C	76	すべて	<p>カップリング機能構造が失敗しました。</p> <p>考えられる理由：ハードウェアまたはシステムソフトウェアの問題 (IBM サポートに連絡してください)</p> <p>対処：ロールサーバーを停止し、カップリング機能構造の割り当てを解除し、ロールファイルを再フォーマットします。</p>
50	80	READ	<p>カップリング機能の問題またはロールサーバーの問題のために、異なる z/OS イメージで実行された前の WRITE 要求が正常に終了されませんでした。</p> <p>対処：シスプレックスに参加するロールサーバーのメッセージログで、この状況を示すメッセージを確認します。</p>
54	84	FREE	<p>特定のユーザーのエントリがカップリング機能構造で見つかりませんでした。</p> <p>考えられる理由：要求ブロックが、最後に正常に実行されたロールサーバー機能以降、上書きされています。</p> <p>対処：Software AG サポートに連絡してください。</p>
58	88	READ	<p>待機キューエレメントを割り当てることができませんでした。</p> <p>対処：ロールサーバーのアドレススペースに使用可能なスペース量を増やします。問題が解決しない場合は、Software AG サポートに連絡してください。</p>
5C	92	READ	<p>カップリング機能構造の特定のエントリに含まれる情報が、前の WRITE 要求がないことを示しています。</p> <p>対処：Software AG サポートに連絡してください。</p>

ロールサーバー要求のリターンコードおよび理由コード

16 進	10 進	機能タイプ	説明
60	96	DEALLOC	一般ユーザー ID の長さが、1 未満か 16 を超えています。 対処：Software AG サポートに連絡してください。
64	100	DZAP READ WRITE	呼び出し元により提供された受け取りストレージエリアが書き込み保護されています。 対処：Software AG サポートに連絡してください。
68	104	FREE READ WRITE	要求ブロックで参照される ECB が整列されていないか、書き込み保護されています。 対処：Software AG サポートに連絡してください。
70	112	すべて OC	セッションが、無効なユーザー ID でロールファイルスロットを要求しました。 対処：Software AG サポートに連絡してください。
74	116	FREE WRITE READ	セッションが、無効なタイムスタンプでロールサーバー要求を提示しました。 対処：Software AG サポートに連絡してください。
104-13C	260-316	すべて	内部エラーが発生しました。 対処：Software AG サポートに連絡してください。

155 SIP サービスのリターンコードおよび理由コード

■ リターンコード	1150
■ リターンコード 0 の SIP 理由コード	1150
■ リターンコード 12 の SIP 理由コード	1150

このドキュメントでは、セッション情報プール（SIP）サービス要求のリターンコードおよび理由コードについて説明します。Naturalシステムメッセージとは異なり、これらのメッセージおよびコードの長い説明テキストは、このドキュメントだけで提供されます。オンラインでは提供されません。

このドキュメントでは、以下のトピックについて説明します。

リターンコード

10進	説明
0	機能が正常に終了しました。
4	認証サーバーが使用できません
8	パラメータリストが書き込み保護されています。
12	エラー、理由コードを参照してください。
16	異常終了。
20	カップリング機能（CF）インターフェイスエラー。
24	ワークエリアなしのアベンド、反復的なアベンド。

リターンコード 0 の SIP 理由コード

10進	説明
4	SIP サービスローカルのみ（カップリング機能なし）。

リターンコード 12 の SIP 理由コード

一般的なエラー

10進	説明
104	SIP サービスが使用できません。
108	ワークエリアで GETMAIN が失敗しました。
112	ファンクションコードが正しくありません。

ALLOC 機能エラー

10進	説明
8	無効なキー（セッション ID）。
12	重複したキー（セッション ID）。
16	セッション情報プールがいっぱいです。
20	要求された長さがスロットサイズを超えています。

FREE 機能エラー

10進	説明
4	無効なスロットアドレス。
8	無効なキー（セッション ID）。
12	スロット／キーの不一致。

WRITE 機能エラー

10進	説明
4	無効なスロットアドレス。
8	無効なキー（セッション ID）。
12	スロット／キーの不一致。
16	バッファがアドレス指定できません。
20	無効なバッファ長。

GET UNIQUE 機能エラー

10進	説明
4	無効なスロットアドレス。
8	無効なキー（セッション ID）。
12	スロット／キーの不一致。
16	バッファが修正できません。
24	キー（セッション ID）が見つかりません。
28	情報：出力が切り捨てられます。

GET SEQUENTIAL 機能エラー

10進	説明
16	バッファが修正できません。
20	無効なバッファ長。

QUERY 機能エラー

10進	説明
16	バッファが修正できません。
20	無効なバッファ長。

156

認可サービスマネージャのメッセージ

■ ASM0001 - サブシステム ID が無効です	1154
■ ASM0002 - グループ名がありません：シスプレックスでの削除の伝播が無効にされています	1154
■ ASM0003 - IEANTRT からの予期しないリターンコード：rc	1154
■ ASM0004 - LX テーブルを取得できませんでした。理由：理由コード	1155
■ ASM0005 - 認可サービスマネージャバージョン vrs がアクティブです	1155
■ ASM0006 - MODIFY または STOP 以外のコマンドを受け取りました	1155
■ ASM0007 - トレースがアクティブにされました	1155
■ ASM0008 - トレースを停止しました	1156
■ ASM0009 - 無効なコマンド：コマンド	1156
■ ASM0010 - SNAP ルーチンからの不適切なリターンコード：rc	1156
■ ASM0011 - サブタスクが終了しました：タスク名 rc	1156
■ ASM0012 - サブタスクの終了を処理中です	1157
■ ASM0013 - カップリング機能は SIP に使用されません	1157
■ ASM0014 - 無効な SIP CF 構造名	1157
■ ASM0015 - 無効な数の SIP スロットが指定されました	1157
■ ASM0017 - nnnn スロットで SIP CF 構造に接続しています	1157
■ ASM0018 - nnnn スロットで SIP CF 構造が初期化されています	1158
■ ASM0019 - SIP スロットの数が指定されていません：SIP サービスは使用できません	1158
■ ASM0020 - 無効な SIP スロットサイズが指定されました	1158
■ ASM0021 - IEANTCR からの予期しないリターンコード：rc	1158
■ ASM0045 - 適用された Zap：	1159
■ ASM0047 - オペレータコマンド：コマンド	1159
■ ASM0058 - ASM がすでに subsid でアクティブです：ジョブ jobname ASID asid	1159
■ ASM0066 - REBUILD の開始：CF 構造は一時的に使用できません	1159
■ ASM0067 - REBUILD の終了：CF 構造が再度使用可能です	1160
■ ASM0119 - 有効な認可サービスマネージャサーバー設定：	1160

このセクションでは、Natural 認可サービスマネージャ (ASM) により発行される場合があるメッセージについて説明します。Natural システムメッセージとは異なり、これらのメッセージおよびコードの長い説明テキストは、このドキュメントだけで提供されます。オンラインでは提供されません。

ASM0001 - サブシステム ID が無効です

[説明]	4 文字を超えるサブシステム ID が指定されました。
[対処]	1~4 文字のサブシステム ID を指定します。

ASM0002 - グループ名がありません：シスプレックスでの削除の伝播が無効にされています

[説明]	2 番目のパラメータが指定されませんでした。ASM は並列シスプレックスで他の ASM と通信しません。
[対処]	なし

ASM0003 - IEANTRT からの予期しないリターンコード：rc

[説明]	名前/トークンサービスがリターンコード <i>rc</i> を返しました。
[対処]	IEANTRT 要求からのリターンコードに関する情報については、IBM の最新の『 <i>MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference</i> 』マニュアルを参照してください。

ASM0004 - LX テーブルを取得できませんでした。理由：理由コード

〔説明〕	STORAGE OBTAIN 要求が <i>reasoncode</i> で失敗しました。
〔対処〕	ASM に使用可能な仮想ストレージを増やします。（JCL EXEC ステートメントの REGION オプション。）

ASM0005 - 認可サービスマネージャバージョン *vrs* がアクティブです

ここで、*vrs* はバージョン、リリース、システムメンテナンスレベルを示します。

〔説明〕	ASM が正常に初期化され、準備が整いました。
〔対処〕	なし

ASM0006 - MODIFY または STOP 以外のコマンドを受け取りました

〔説明〕	ASM が MODIFY または STOP 以外の CIBVERB を受け取りました。
〔対処〕	Software AG にお問い合わせください。

ASM0007 - トレースがアクティブにされました

〔説明〕	TRSTART オペレータコマンドに応じて、内部トレース機能が開始されます。
〔対処〕	なし

ASM0008 - トレースを停止しました

[説明]	TRSTOP オペレータコマンドに応じて、内部トレース機能が停止されます。
[対処]	なし

ASM0009 - 無効なコマンド：コマンド

[説明]	無効なオペレータコマンドが ASM に発行されました。
[対処]	入力ミスをチェックして、修正します。

ASM0010 - SNAP ルーチンからの不適切なリターンコード：rc

[説明]	SNAP ダンプを取得できませんでした。リターンコードは次のとおりです。	
	20	STORAGE OBTAIN 要求が失敗しました。
	24	SYSUDUMP を開くことができませんでした。
[対処]	リターンコード 20 の場合：	ASM に使用可能な仮想ストレージを増やします。（JCL EXEC ステートメントの REGION オプション。）
	リターンコード 24 の場合：	ASM のジョブまたは開始タスクに SYSUDUMP の DD ステートメントが含まれていることを確認します。

ASM0011 - サブタスクが終了しました：タスク名 rc

[説明]	<i>taskname</i> で示されるサブタスクが終了しました。リターンコードがゼロでない場合、リターンコードが <i>rc</i> で示されます。
[対処]	ゼロ以外の <i>rc</i> がレポートされたら、Software AG に連絡してください。

ASM0012 - サブタスクの終了を処理中です

[説明]	TERM オペレータコマンドに応じて、ASM はサブタスクの終了を開始しました。
[対処]	なし

ASM0013 - カップリング機能は SIP に使用されません

[説明]	CF 構造名が 3 番目のパラメータで指定されませんでした。
[対処]	なし

ASM0014 - 無効な SIP CF 構造名

[説明]	16 文字を超える構造名が指定されました。
[対処]	16 文字以下の構造名を指定します。

ASM0015 - 無効な数の SIP スロットが指定されました

[説明]	4 番目のパラメータが数値ではありません。
[対処]	入力ミスを修正します。

ASM0017 - nnnn スロットで SIP CF 構造に接続しています

[説明]	構造がすでに割り当てられ、nnnn スロットを含んでいます。
[対処]	なし

ASM0018 - nnnn スロットで SIP CF 構造が初期化されています

[説明]	構造が割り当てられていませんでしたが、ASMによって初期化されました。スロットの数は4番目のパラメータで指定された数とASMが作成できたスロットの数のうち、少ない方です。
[対処]	なし

ASM0019 - SIP スロットの数が指定されていません：SIP サービスは使用できません

[説明]	スロットの数が4番目のパラメータとして指定されず、CF構造が3番目のパラメータとして指定されませんでした。セッション情報プール(SIP)が使用できません。
[対処]	なし

ASM0020 - 無効な SIP スロットサイズが指定されました

[説明]	5番目のパラメータが数値でないか、無効な数です。
[対処]	256、512、1024、2048、または4096を指定します。

ASM0021 - IEANTCR からの予期しないリターンコード：rc

[説明]	名前/トークンサービスがリターンコード <i>rc</i> を返しました。
[対処]	IEANTCR 要求からのリターンコードに関する情報については、IBMの最新の『 <i>MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference</i> 』マニュアルを参照してください。

ASM0045 - 適用された Zap :

[説明]	Zap が ASM に適用されると、このメッセージが発行され、その後に適用された Zap のリストが表示されます。
[対処]	なし

ASM0047 - オペレータコマンド : コマンド

[説明]	ASM がオペレータコマンドを JESMSGLG に反映します。
[対処]	なし

**ASM0058 - ASM がすでに subsid でアクティブです : ジョブ jobname
ASID asid**

[説明]	ASM が、最初のパラメータ、subsid で指定された Natural サブシステムで、別の ASM がすでにアクティブであることを検出しました。他の ASM が、名前が <i>jobname</i> 、アドレススペースが <i>asid</i> のジョブまたは開始タスクで実行されています。
[対処]	各 MVS イメージの Natural サブシステムごとに 1 つの ASM のみを開始します。

ASM0066 - REBUILD の開始 : CF 構造は一時的に使用できません

[説明]	オペレータコマンド SETXCF START,REBUILD... がセッション情報プール (SIP) データを保持するカップリング機能構造に発行されました。Rebuild のオペレーションが完了するまで、SIP オペレーションが停止します。
[対処]	なし

ASM0067 - REBUILD の終了：CF 構造が再度使用可能です

[説明]	オペレータコマンド SETXCF START,REBUILD... がセッション情報プール (SIP) データを保持するカップリング機能構造に発行されました。Rebuild が完了し、SIP サービスが通常のオペレーションを再開します。
[対処]	なし

ASM0119 - 有効な認可サービスマネージャサーバー設定：

[説明]	このメッセージは、認可サービスマネージャの起動時に発行されます。このメッセージの後に、さまざまなコンテンツから構成され、この実行に有効なパラメータを要約した複数の ASM0119 メッセージが表示されます。
[対処]	なし

157 Natural for DL/I インターフェイスステータスコードおよびアベンドコード

- ステータスコード 1162
- アベンドコード - CICS 環境下のみ 1162

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

ステータスコード

処理中、Natural for DL/I は内部で DL/I ステータスコードをチェックします。ユーザープログラムによるステータスコードのチェックが必要になることはあまりありませんが、特定のエラー条件でのみ、プログラム内のステータスコードのチェックが必要になることがあります。この目的のため、すべての DL/I ステータスコードには、対応する Natural エラーメッセージが含まれます。Natural の『ステートメント』ドキュメントの説明に従って、ON ERROR ステートメントを使用して、これらのエラーをチェックすることができます。

エラーメッセージは、NAT3850～NAT3899 の範囲で生成されます。

アベンドコード - CICS 環境下のみ

このセクションでは、実行が異常終了した場合に Natural for DL/I により発行されるコードについて説明します。

各アベンドのエントリには、「Problem Determination Guide」セクションにリストされている提案が記載され、問題を解決するためにシステムプログラマが実行する必要がある対処が説明されています。また、各エントリには、関連するモジュールの名前がリストされています。

アベンドの前のレジスタのコンテンツは、Natural for DL/I 共通エリア (DSECT NDCA) のフィールド CAABREGS の 16 進のオフセット +x154 にあります。Natural for DL/I 共通エリアを検索するには、レジスタ 3 コンテンツを使用するか、Natural スレッドで視覚的な識別子 "NDCA" を検索します。

以下に参考情報を示します。

NDL0	NDL7	NDLK	NDLR
NDL1	NDL8	NDLL	NDLS
NDL2	NDL9	NDLM	NDLT
NDL3	NDLF	NDLN	NDLU
NDL4	NDLG	NDLO	NDLV
NDL6	NDLI	NDLP	

NDL0

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	THCのエントリが見つかりませんでした。 R2がTSAのエントリをポイントしています。ここで、TSAFLG1はTHCのエントリ（引数=TSACOMID）が存在することを示しますが、CMTBREQマクロでは見つかりませんでした。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLRGNEX
問題判定	項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）、9。

NDL1

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	無効な操作タイプ。 NDMSIOコントロールブロック内の入力操作コードが、R7によりポイントされた操作コードテーブルで見つかりませんでした。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSIOBA
問題判定	項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）、9。

NDL2

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	無効な操作タイプ。 NDMSIOコントロールブロック内の入力操作コードが、R7によりポイントされた操作コードテーブルで見つかりませんでした。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSIOCX
問題判定	項目 1（トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER)）、9。

NDL3

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	不明な DL/I ステータスコード。 R6 によりポイントされた PCB の DL/I ステータスコードが、RF によりポイントされたテーブル内のどの DL/I ステータスコードとも一致しません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSIORC
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDL4

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	不明な DL/I リターンコード。 UIBFCTR か UIBDLTR のいずれかに、不明な値が含まれています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSIOCX
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDL6

〔説明〕	PCB が見つかりません。 PCB が R7 によりポイントされた PCB マップで見つかりませんでした。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSPFRE
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDL7

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	セグメントが見つかりません。 R6 でポイントされた PCB 割り当てマップ内のセグメント ID と同じプログレッシブ ID 番号を持つ、RC によりポイントされたセグメントテーブルで、セグメントが見つかりません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSPFRE
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDL8

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	PCB マップでエントリが見つかりません。 TSA (TSAPCBN) 内の番号と一致する PCB 相対番号を持つ PCB マップで、エントリが見つかりませんでした。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSPHOR
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDL9

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	PCB マップエントリが見つかりません。 R2 によりポイントされた引数フィールド値 (NCB 内の PCBFRST) を持つ PCB マップエントリが検出されましたが、CAPCMAP によりポイントされた PCB マップのテーブルでこのエントリが見つかりませんでした。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSPHOR
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLF

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	セーブエリアを取得できません。 セーブエリアに十分なエリアが使用できません。
対処	NDMCPARM の SASIZE パラメータを増やします。
モジュール	NDLCSAVE または NDLGWDLI または NDLTRABA または NDLTRACI。
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLG

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	無効なバックトークンの要求。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSSBAN
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLI

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	無効なレベル番号。 入力レベル番号が SSA と一致しません。R5 が SSA をポイントしています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSGU00
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLK

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	AIX フィールドの5つ以上のエントリが、SSA リストへの出力対象として指定されています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSFSSA
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLL

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	提供された COMID では TSA エントリが見つかりません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSFSSA
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLM

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	THC エントリが見つかりません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLRRI00
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLN

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	THC エントリが見つかりません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLRDTSA
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLO

〔説明〕	不明なイベントが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLGWDLI
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLP

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	PCB マップで PCB エントリが見つかりません。 TSAPCBN と同じ PCB 相対番号 PCMPCBRB の PCB マップで、PCB エントリが見つかりません。R5 は最後に使用された PCB を示します。R7 は PCM の NCB エントリを示します。R6 は TSA を示します。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSRLIN
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLR

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	PCB マップで NCB エントリが見つかりません。 R2 によりポイントされた引数 PCBFRST の NCB エントリが、CAPCMAP によりポイントされた PCB マップのテーブルで見つかりませんでした。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSRLIN
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLS

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	ロールイン中に NSB が見つかりません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSRLIN
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLT

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	ロールイン中に NDB が見つかりません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSRLIN
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLU

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	ロールイン中に UDF が見つかりません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSRLIN
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

NDLV

内部エラーが発生しました。

〔説明〕	無効なセグメント名。
対処	Software AG サポートに連絡してください。
モジュール	NDLSGU00
問題判定	項目 1 (トレースパラメータ = (CMD、REQ、SER))、9。

158

Natural for VSAM インターフェイスのアベンド

コード

このセクションでは、VSAM 用 Natural インターフェイスにより発行される場合があるアベンドコードについて説明します。

Natural for VSAM アベンドコードは、先頭に NV が付いた 2 桁の番号です。

アベンドコード	説明
その他：	
NV01	予期しない内部エラー。
NV02	ビュー内のネスト構造のグループが多すぎます。
NV03	ビュースキャン内のエラー。
NV07	内部バッファ処理エラー。
NV09	ESDS ファイルの NVS アップグレード処理に失敗しました。
NV10	再配置エラー。
NV11	ロールアウトエラー。
NV12	システムファイル処理：破損した可変レコード、フィールド長がゼロです。
NV13	ロールインエラー。
NV15	DDM バッファプール処理の予期しないエラー。
NV16	ルーチン NATSEFA からの予期しないエラー。
NV18	PATH=CHECK または RLS=CHECK 処理の予期しないエラー。
Natural for VSAM 初期化：	
NV20	予期しない FREEMAIN エラー。
I/O モジュール NVSMISC：	
NV30	無効な I/O 要求 (DCR)。
NV31	ENDREQ エラー。

アベンドコード	説明
NV32	I/O 要求により RPL がアクティブです。
NV33	FREEMAIN エラー（物理）。
NV34	GENCB/MODCB ACB エラー。
NV35	GENCB/MODCB RPL エラー。
NV36	SHOWCB エラー。
NV38	パス処理の AIX アップグレードエラー。
NV39	FWA キューがいっぱいです。
NV40	FWA エントリが見つかりません。
NV41	内部エラー（NTOPRB/OPRB）。
NV42	BACKWARD 処理の予期しないエラー。

アベンドコード	説明
I/O モジュール NVSCICS :	
NV60	内部エラー（DCRREQCD が無効）。
NV61	内部エラー（FREEMAIN が失敗）。
NV62	破損した exec インターフェイスブロック（EIB）。
NV64	内部エラー（*NUMBER）。
NV65	FWA キューがいっぱいです。
NV66	FWA エントリが見つかりません。
NV67	BACKWARD 処理の予期しないエラー。

159

Entire Transaction Propagator のアベンドコード

ここに記載されているアベンドコードは、Entire Transaction Propagator CICS インターフェイス（製品コード：ETC）の操作中に発生する可能性があります。

次のいずれかのアベンドが発生しても、CICS ABEND 出口が（例えば、Natural 内などで）設定されていると、表示されない場合があります。いずれの場合でも、エラーメッセージは、オペレータコンソールおよび CICS ジョブログに書き込まれます。

コード	説明
ETC0	ETC 内部エラーが発生しました。 Software AG サポートに連絡してください。
ETC1	パラメータモジュール ETCPARM が ETC にリンクされていません。
ETC2	ETPNUC が ETC にリンクされていません。
ETC3	ETCPARM マクロ呼び出しの ADANAME パラメータで指定されたモジュールをロードできませんでした。
ETC4	リンク手順と ADALNC から生じるモジュールの CICS レベルタイプは同じである必要があります。両方ともコマンドレベル、または両方ともマクロレベルである必要があります、この2つを組み合わせることは許可されていません。
ETC5	ETCPARM マクロ呼び出しの ADANAME パラメータで指定されたモジュールが、サポートされる Adabas バージョンの ADALNC マクロレベルのモジュールではありません。
ETC6	ETC がインストールされた CICS のバージョンはサポートされていません。
ETC7	ETCNUC と ETCPARM のバージョンが一致しません。
ETC8、ETC9	ETC 内部エラーが発生しました。 Software AG サポートに連絡してください。
ETCA	TWA が存在しないか、TWA の長さが十分ではありません。
ETCB	すべての PUSER スロットが使用されているか、ユーザー固有のスロットが見つかりません。
ETCC	EXECKEY (CICS) が ETC に設定されています。EXECKEY (USER) を設定する必要があります。

160

RPC サーバーフロントエンドのメッセージ

■ RPC0001 PARM 文字列が見当たりません	1176
■ RPC0002 Natural ドライバ名が長すぎます：name	1176
■ RPC0004 スレッドサイズが数値でないか大きすぎます：value	1176
■ RPC0006 スレッドの数が数値でないか大きすぎます：value	1176
■ RPC0007 Natural ドライバが見つかりません：name	1177
■ RPC0010 偽装用の認可環境が確立されました	1177
■ RPC0011 Natural RPC サーバーを起動中	1177
■ RPC0012 Natural RPC サーバーを再起動中	1177
■ RPC0013 Natural RPC サーバーを終了中	1178
■ RPC0014 Natural Security ログオンが失敗したか、Natural スタックで見当たりません	1178
■ RPC0015 偽装が SAF RC／理由 xxxx/yyyy で失敗しました	1178
■ RPC0016 偽装が CICS RC／理由 xxxx/yyyy で失敗しました	1178
■ RPC0017 Natural RPC サーバー環境を初期化中	1178
■ RPC0018 Natural RPC サーバーセッションテンプレートを作成中	1179
■ RPC0019 Natural RPC サーバー環境を終了中	1179
■ RPC0020 Natural RPC サーバーをトランスポートから切断中	1179

このセクションでは、RPC サーバーフロントエンドにより発行されるメッセージについて説明します。

タイプ"エラーメッセージ"のメッセージが表示されると、RPCサーバー環境が異常終了します。

RPC0001 PARM 文字列が見当たりません

タイプ	エラーメッセージ。
[説明]	RPC サーバーフロントエンドパラメータの PARM 文字列が、EXEC カードに指定されていません。

RPC0002 Natural ドライバ名が長すぎます : name

タイプ	エラーメッセージ。
[説明]	PARM 文字列内の Natural z/OS バッチニュークリアスの名前が 8 文字を超えています。無効な名前がメッセージに表示されています。

RPC0004 スレッドサイズが数値でないか大きすぎます : value

タイプ	エラーメッセージ。
[説明]	PARM 文字列のスレッドサイズの値が無効です。無効な値がメッセージに表示されています。

RPC0006 スレッドの数が数値でないか大きすぎます : value

タイプ	エラーメッセージ。
[説明]	PARM 文字列内のスレッド数の値が無効です。無効な値がメッセージに表示されています。

RPC0007 Natural ドライバが見つかりません：name

タイプ	エラーメッセージ。
[説明]	Natural z/OS バッチニュークリアスをロードできませんでした。STEPLIB 連結をチェックします。

RPC0010 偽装用の認可環境が確立されました

タイプ	情報メッセージ。
[説明]	偽装が z/OS モードで可能であることを示します。このメッセージは、Natural RPC サーバーフロントエンドが AC=1 でリンクされており、APF 認可ライブラリからロードされている場合に発行されます。

RPC0011 Natural RPC サーバーを起動中

タイプ	情報メッセージ。
[説明]	通常の起動メッセージ。

RPC0012 Natural RPC サーバーを再起動中

タイプ	情報メッセージ。
[説明]	ロールサーバーでの問題を示します。このメッセージは通常、アクティブな Natural セッションがロールサーバーから削除されているときに発行されます。

RPC0013 Natural RPC サーバを終了中

タイプ	情報メッセージ。
[説明]	Natural RPC サーバ環境が正常に終了されます。

RPC0014 Natural Security ログオンが失敗したか、Natural スタックで見当たりません

タイプ	エラーメッセージ。
[説明]	Natural プロファイルパラメータ AUTO=OFF が指定されている場合、Natural Security ログオンをプロファイルパラメータ STACK で指定する必要があります。

RPC0015 偽装が SAF RC / 理由 xxxx/yyyy で失敗しました

タイプ	情報メッセージ。
[説明]	RPC サーバトレースの情報メッセージ。

RPC0016 偽装が CICS RC / 理由 xxxx/yyyy で失敗しました

タイプ	情報メッセージ。
[説明]	RPC サーバトレースの情報メッセージ。

RPC0017 Natural RPC サーバ環境を初期化中

タイプ	情報メッセージ。
[説明]	Natural RPC サーバ環境の初期化を示す通常の起動メッセージ。

RPC0018 Natural RPC サーバーセッションテンプレートを作成中

タイプ	情報メッセージ。
[説明]	後に開始されたすべての Natural RPC サーバーにより使用される Natural テンプレートセッションの作成を示す通常の起動メッセージ。

RPC0019 Natural RPC サーバー環境を終了中

タイプ	情報メッセージ。
[説明]	Natural RPC サーバー環境が正常に終了されます。

RPC0020 Natural RPC サーバーをトランスポートから切断中

タイプ	情報メッセージ。
[説明]	このメッセージは、Natural RPC サーバーの異常終了中に発行されます。

161 出力ファイル／ワークファイルサーバー

NATPWSV2 のエラーメッセージ

- PWS001：モジュール "BS2STUB" 内のアドオンテーブルが無効であるか使用できません 1182
- PWS002：共通メモリコントロールプールがいっぱいです 1182
- PWS003：name という名前の共通メモリプールはすでに利用可能です 1182
- PWS004：アドオンテーブルエントリ cmp-name の実行中の macro name からのエラー、RC：
nnnn 1182
- PWS005：BS2STUB のアドオンテーブル内のエントリ TYPE=PWK が見つかりません 1183
- PWS006：イベント終了名の ENAEI が失敗しました、RC：nnnnnnnn 1183
- PWS007：終了コンティンジェンシーの ENACO が失敗しました、RC：nnnnnnnn 1183
- PWS008：サーバー終了の SOLSIG が失敗しました、RC：nnnnnnnn 1183
- PWS009：出力ファイル／ワークファイルサーバー SOLSIG イベントの ENAEI が失敗しまし
た、RC：nnnnnnnn 1183
- PWS010：出力ファイル／ワークファイルサーバー SOLSIG イベントの DSOFEI が失敗しま
した、RC：nnnnnnnn 1184
- PWS011：出力ファイル／ワークファイルサーバー SOLSIG イベントの RSOFEI が失敗しま
した、RC：nnnnnnnn 1184
- PWS012：出力ファイル／ワークファイルサーバー POSSIG イベントの ENAEI が失敗しまし
た、RC：nnnnnnnn 1184
- PWS013：出力ファイル／ワークファイルサーバー POSSIG イベントの DPOFEI が失敗しま
した、RC：nnnnnnnn 1184
- PWS014：出力ファイル／ワークファイルサーバー POSSIG イベントの RPOFEI が失敗しま
した、RC：nnnnnnnn 1185
- PWS015：クライアントコントロールブロック (TSN) が見つかりません 1185

このセクションでは、BS2000/OSDでのRPCバッチサーバー環境用の出力ファイル／ワークファイルサーバー NATPWSV2からのエラーメッセージについて説明します。

出力ファイル／ワークファイルサーバーからのすべてのエラーメッセージは、ファイル LST.PWKSERVER.tsnn への SYSLST99 に書き込まれます。

PWS001：モジュール "BS2STUB" 内のアドオンテーブルが無効であるか使用できません

対処：

PWS002：共通メモリコントロールプールがいっぱいです

対処：

PWS003：name という名前の共通メモリプールはすでに利用可能です

対処：

PWS004：アドオンテーブルエントリ cmp-name の実行中の macro name からのエラー、RC：nnnn

対処：マニュアル『*Makroaufrufe an den Ablaufteil (macro calls for the runtime part)*』で、マクロ呼び出しのリターンコードをチェックし、対応する措置を取るか、必要であれば、Software AG サポートに連絡してください。

PWS005：BS2STUB のアドオンテーブル内のエントリ TYPE=PWK が 見つかりません

対処：

PWS006：イベント終了名の ENAEI が失敗しました、RC：nnnnnnnn

対処：マニュアル『*Makroaufrufe an den Ablaufteil (macro calls for the runtime part)*』で、マクロ ENAEI のリターンコードをチェックし、対応する措置を取るか、必要であれば、Software AG サポートに連絡してください。

PWS007: 終了コンティンジェンシーの ENACO が失敗しました、RC： nnnnnnnn

対処：マニュアル『*Makroaufrufe an den Ablaufteil (macro calls for the runtime part)*』で、マクロ ENACO のリターンコードをチェックし、対応する措置を取るか、必要であれば、Software AG サポートに連絡してください。

PWS008：サーバー終了の SOLSIG が失敗しました、RC：nnnnnnnn

対処：マニュアル『*Makroaufrufe an den Ablaufteil (macro calls for the runtime part)*』で、マクロ SOLSIG のリターンコードをチェックし、対応する措置を取るか、必要であれば、Software AG サポートに連絡してください。

PWS009：出力ファイル／ワークファイルサーバー SOLSIG イベント の ENAEI が失敗しました、RC：nnnnnnnn

対処：マニュアル『*Makroaufrufe an den Ablaufteil (macro calls for the runtime part)*』で、マクロ ENAEI のリターンコードをチェックし、対応する措置を取るか、必要であれば、Software AG サポートに連絡してください。

PWS010：出力ファイル／ワークファイルサーバー SOLSIG イベントの DSOFEI が失敗しました、RC：nnnnnnnn

対処：マニュアル『*Makroaufrufe an den Ablaufteil (macro calls for the runtime part)*』で、マクロ DSOFEI のリターンコードをチェックし、対応する措置を取るか、必要であれば、Software AG サポートに連絡してください。

PWS011：出力ファイル／ワークファイルサーバー SOLSIG イベントの RSOFEI が失敗しました、RC：nnnnnnnn

対処：マニュアル『*Makroaufrufe an den Ablaufteil (macro calls for the runtime part)*』で、マクロ RSOFEI のリターンコードをチェックし、対応する措置を取るか、必要であれば、Software AG サポートに連絡してください。

PWS012：出力ファイル／ワークファイルサーバー POSSIG イベントの ENAEI が失敗しました、RC：nnnnnnnn

対処：マニュアル『*Makroaufrufe an den Ablaufteil (macro calls for the runtime part)*』で、マクロ ENAEI のリターンコードをチェックし、対応する措置を取るか、必要であれば、Software AG サポートに連絡してください。

PWS013：出力ファイル／ワークファイルサーバー POSSIG イベントの DPOFEI が失敗しました、RC：nnnnnnnn

対処：マニュアル『*Makroaufrufe an den Ablaufteil (macro calls for the runtime part)*』で、マクロ DPOFEI のリターンコードをチェックし、対応する措置を取るか、必要であれば、Software AG サポートに連絡してください。

PWS014：出力ファイル／ワークファイルサーバー POSSIG イベントの RPOFEI が失敗しました、RC：nnnnnnnn

対処：マニュアル『*Makroaufrufe an den Ablaufteil (macro calls for the runtime part)*』で、マクロ RPOFEI のリターンコードをチェックし、対応する措置を取るか、必要であれば、Software AG サポートに連絡してください。

PWS015：クライアントコントロールブロック (TSN) が見つかりません

対処：

索引

め

メッセージおよびコード, 1

